国営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

新保遺跡

2 0 0 1

新 潟 県 教 育 委 員 会 財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団

広大な水田を有する本県は、過去、幾度となく中小規模の水田整備を実施し、社会情勢に対応してきました。しかし、近年の整備は、格段に大規模なものになって来ています。これに拍車をかけたのがガット・ウルグアイラウンドで、その関連の施策はさらなる規模拡大と計画の促進を招きました。しかし、事業地内のいくつかの市町村では埋蔵文化財に対する調査体制が、この急速な展開に追いつかず、ほ場整備事業の大きな問題の一つとなってきました。県教育委員会では、これらの状況を深刻に受けとめ、市町村の調査体制では対処できない調査量をもつものについて厳選し、発掘調査の協力をすることにしました。

本書はこの協力の一環として、発掘調査した中頸城郡柿崎町「新保遺跡」の調査記録であります。

新保遺跡は平安時代、室町時代、江戸時代を中心とした遺跡で、その主体は平安時代中頃と考えられ、数多くの掘立柱建物を中心に井戸や溝が発見されました。特に平安時代の古墓は全国的に見ても類例の少ない好資料で、県内における埋葬儀礼を考える上で、重要な位置付けが与えられるものです。また大型建物の脇の溝からは、多量に一括廃棄された土器が見つかっており、今後の当該期資料の基準の一つになると思われます。

今回の調査成果が、今後の本県における平安時代を初めとした考古学研究に 資するとともに、県民の方々から埋蔵文化財に対する理解と認識を深める契機 にしていただければ幸いです。

最後に、本調査に参加された地元の方々並びに柿崎町教育委員会と柿崎町に は多大なご協力とご援助を頂きました。また、北陸農政局および上越土地改良 建設事業所、柿崎町土地改良区には格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

平成13年3月

新潟県教育委員会

教育長 野 本 憲 雄

## 例 言

- 1. 本報告書は、新潟県中頸城郡柿崎町上直海字新保1814ほかに所在する新保(しんぼ)遺跡の発掘調査報告書である。発掘調査は国営ほ場整備事業(国営農地再編整備事業)に伴い、(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団(以下、埋文事業団)が北陸農政局から受託して実施した。
- 2. 発掘調査は、新潟県教育委員会から依頼を受け、埋文事業団が平成9年5月から12月および平成10年4月から10月に実施した。発掘調査面積は、平成9年度7,000㎡、平成10年度3,900㎡の合計10,900㎡である。
- 3. 整理及び報告書にかかる作業は、平成10年10月から平成12年12月にかけて埋文事業団が行った。
- 4. 出土遺物及び記録類は、柿崎町教育委員会が保管・管理している。遺物の注記は遺跡名の前に調査年度を付し、「97シンボ」、「98シンボ」とした。また出土地点及び層位を併記した。
- 5. 古墓は柿崎町教育委員会が(株)きりん工房に委託し、型取り保存を行った。
- 6. 平成10年度の遺構平面図作成は(有)中郷測量設計に委託して行い、航空写真の撮影は(株)朝日航洋に委託を 行った。
- 7. 本書の作成は埋文事業団の職員・嘱託員があたった。ただし、自然科学分析(木製品樹種同定・大型植物化石 同定・貝類遺体同定・獣骨同定・花粉分析・プラントオパール分析・木炭樹種同定・放射性炭素年代測定)は (株)パレオ・ラボに依頼した。
- 8. 平安時代の古墓に関しては、奈良国立文化財研究所飛鳥藤原宮跡発掘調査部長 黒崎直氏から現地にて指導を賜った。
- 9. 引用参考文献は著者および発行年(西暦)を文中に[]で示し、巻末に掲載した。
- 10. 既成の地図・図版を用いた場合は、その出典を記した。
- 11. 本書に掲載した遺物の番号は、古墓出土遺物、土器、木器、石器、陶・土・金属製品別に通し番号とし、実測 図・写真ともに共通番号とした。
- 12. 本書の作成に関わる作業は石川が担当し、遺構原図作成は会田が主に担当した。遺物の実測・トレース・写真撮影は整理嘱託員が行った。図版作成については、(株)セビアスに依頼した。
- 13. 本書は石川智紀、高橋洋一、会田哲郎が分担執筆したもので、執筆分担は第 II 章 1 が高橋、第 II 章 2 が会田、第 IV 章 2 が高橋・会田・石川、その他は石川である。編集は石川及び (株) セビアスが行った。
- 14. 発掘調査から本書の作成に至るまで、下記の方々から多くのご教示・ご協力を頂いた。ここに記し厚く御礼申し上げる。(五十音順、敬称略)

相沢 央 浅田員由 荻野繁春 柿崎町教育委員会 柿崎町土地改良区 金子拓男

黒崎 直 高 正龍 小島幸雄 小林昌二 小林義孝 小林義廣 坂井秀弥

笹沢正史 新保誠吾 関 雅之 仙田幸造 田中 靖 立木宏明 富田 憲

冨山正明 野口俊樹 橋本博文 秦 繁治 原田昌幸 北陸農政局上越土地改良建設事業所 松村恵司 水澤幸一 水村伸行 室岡 博 安村俊史 山口直子 横山勝栄 渡辺達郎

# 目 次

第	Ι	章 調査に全る経緯	· 1
第	II	章 遺跡の位置と環境	
	1	遺跡周辺の地理的環境	. 2
		歴 史 的 環 境	
	_	正 人 II 水 元	J
第	Ш	章調査の概要	
	1	遺跡確認調査	. 8
	2	グリッドの設定	. 8
	3	調査の方法と経過	. 9
	4	調 査 体 制	12
	5	整理・報告の体制	13
Esta			
第	IV	章遺跡の調査	
	1	層 序	15
	2	遺 構	16
	A	A 記述の方法と遺構の分類	
		(1) 基 本 方 針	
		(2) 遺構番号の表記方法	
		(3) 遺構の形態分類	
		(4) 掘立柱建物・井戸・土坑・ピット	
	E	3 遺 構 各 説	
		(1) 古墳時代の遺構	
		(2) 平安時代の遺構         (3) 中 世 の 遺 構	
		(4) 近世の遺構	
	2	古 墓	
	3		33
第	V	章 遺   物	
	1	概 况	36
	2	平安時代の土器・陶器	36
	3	中世の土器・陶磁器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	51
	4	近世の土器・陶磁器	58
	5	古墳時代以前の土器	61

	木器・木製品		63
7	石器・石製品		69
8	陶製品・土製品・金属製品		75
第 VI			
1	新保遺跡出土木製品の樹種同定		
_			
2	新保遺跡井戸内出土大型植物化石の同定		
3	新保遺跡出土貝類遺体の同定		
4	新保遺跡出土獣骨の同定		
5	古墓出土土器内土の花粉分析		92
6	古墓出土土器内土のプラント・オパールタ	分析	95
7	古墓出土木炭の樹種同定		97
8	古墓出土木炭の放射性炭素年代測定		
O	TEH LANGUAGE TO THE STATE OF TH		
第VII	章 ま と め		
1	遺構について		101
2	遺物について		104
3	古墓について		
J			107
《宴			111
《弓	用・参考文献》		112
	<del>[</del> ]		
	挿図	目次	
第 1			指物の組接ぎ模式図 · · · · · · · · 66
第 1 第 2	図 新保遺跡周辺の第四紀地質図2	目次 <sup>第16図</sup> <sup>第17図</sup>	指物の組接ぎ模式図 ····· 66 粉挽臼の各名称と細部の分類 ···· 69
	図 新保遺跡周辺の第四紀地質図 ···· 2 図 遺跡の位置と周辺の遺跡 ··· 5 図 確認調査のトレンチの位置と	第 16 図 第 17 図 第 18 図	粉挽臼の各名称と細部の分類 ···· 69 古墳時代管玉の製作工程模式図 ··· 73
第 2 第 3	図 新保遺跡周辺の第四紀地質図 2 図 遺跡の位置と周辺の遺跡 5 図 確認調査のトレンチの位置と 調査必要範囲 9	第 16 図 第 17 図 第 18 図 第 19 図	粉挽臼の各名称と細部の分類 ・・・・・ 69古墳時代管玉の製作工程模式図 ・・・・・ 73出土壺内土壌の花粉化石分布図 ・・・・ 94
第 2 第 3 第 4	図 新保遺跡周辺の第四紀地質図 2 図 遺跡の位置と周辺の遺跡 5 図 確認調査のトレンチの位置と 調査必要範囲 9	第 16 図 第 17 図 第 18 図	粉挽臼の各名称と細部の分類 ···· 69 古墳時代管玉の製作工程模式図 ··· 73
第 第 第 第 第 第 第 第 第 <del>1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</del>	図 新保遺跡周辺の第四紀地質図 2 図 遺跡の位置と周辺の遺跡 5 図 確認調査のトレンチの位置と 調査必要範囲 9	第 16 図 第 17 図 第 18 図 第 19 図	粉挽臼の各名称と細部の分類
第 2 第 3 第 5	図 新保遺跡周辺の第四紀地質図 2 図 遺跡の位置と周辺の遺跡 5 図 確認調査のトレンチの位置と 調査必要範囲 9 図 グリッド設定図 10 図 調査範囲図 11 図 調査区の地形図と基本層序 16	第 16 図 第 17 図 第 18 図 第 19 図 第 20 図	粉挽臼の各名称と細部の分類69古墳時代管玉の製作工程模式図73出土壺内土壌の花粉化石分布図94出土壺内土壌のブラント・オパール分布図96新保遺跡遺構全体図101新保遺跡の遺構配置102
第第 第 第 第 第 第 第 第 第	図 新保遺跡周辺の第四紀地質図 2 図 遺跡の位置と周辺の遺跡 5 図 確認調査のトレンチの位置と 調査必要範囲 9 図 グリッド設定図 10 図 調査範囲図 11 図 調査をの地形図と基本層序 16 図 遺構の平面形態と断面形態の分類 17	第 16 図 第 17 図 第 18 図 第 19 図 第 20 図 第 21 図 第 22 図 第 23 図	粉挽日の各名称と細部の分類       69         古墳時代管玉の製作工程模式図       73         出土壺内土壌の花粉化石分布図       94         出土壺内土壌の       7ラント・オパール分布図         ずラント・オパール分布図       96         新保遺跡遺構全体図       101         新保遺跡の遺構配置       102         柿崎町新保遺跡 II 期遺構平面図       103
第第 第第第第第第	図 新保遺跡周辺の第四紀地質図 2 2 遺跡の位置と周辺の遺跡 5 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	第 16 図 第 17 図 第 18 図 第 19 図 第 20 図 第 21 図 第 22 図 第 23 図 第 24 図	粉挽臼の各名称と細部の分類 69 古墳時代管玉の製作工程模式図 73 出土壺内土壌の花粉化石分布図 94 出土壺内土壌の 7ラント・オパール分布図 96 新保遺跡遺構全体図 101 新保遺跡の遺構配置 102 柿崎町新保遺跡Ⅱ期遺構平面図 103 和島村門新遺跡B期遺構平面図 103
第第 第第第第第第 第 10	図 新保遺跡周辺の第四紀地質図 2 遺跡の位置と周辺の遺跡 5 図 確認調査のトレンチの位置と 調査必要範囲 9 図 グリッド設定図 10 図 調査範囲図 11 調査区の地形図と基本層序 16 図 遺構の平面形態と断面形態の分類 17 図 98SD1000 出土遺物分布図 24 図 須恵器の器種分類 38 図 土師器の器種分類 41	第 16 図 第 17 図 第 18 図 第 19 図 第 20 図 第 21 図 第 22 図 第 23 図 第 24 図 第 25 図	粉挽臼の各名称と細部の分類 69 古墳時代管玉の製作工程模式図 73 出土壺内土壌の花粉化石分布図 94 出土壺内土壌の プラント・オパール分布図 96 新保遺跡遺構全体図 101 新保遺跡の遺構配置 102 柿崎町新保遺跡Ⅱ期遺構平面図 103 和島村門新遺跡B期遺構平面図 103 古墓の釘配置模式図 108
第第 第第第第第第第 11	図 新保遺跡周辺の第四紀地質図 2 遺跡の位置と周辺の遺跡 5 図 確認調査のトレンチの位置と調査必要範囲 9 図 グリッド設定図 10 図 調査範囲図 11 調査区の地形図と基本層序 16 週構の平面形態と断面形態の分類 17 図 98SD1000 出土遺物分布図 24 図 須恵器の器種分類 38 図 土師器の器種分類 41 内面黒色土器の器種分類 42	第 16 図 第 17 図 第 18 図 第 20 図 第 21 図 第 22 図 第 23 図 第 24 図 第 25 図 第 26 図	粉挽臼の各名称と細部の分類 69 古墳時代管玉の製作工程模式図 73 出土壺内土壌の花粉化石分布図 94 出土壺内土壌の 96 新保遺跡遺構全体図 101 新保遺跡の遺構配置 102 柿崎町新保遺跡Ⅱ期遺構平面図 103 和島村門新遺跡B期遺構平面図 103 古墓の釘配置模式図 108 木棺復原図 109
第第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 11 12	図 新保遺跡周辺の第四紀地質図 2 2 遺跡の位置と周辺の遺跡 5 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	第 16 図 第 17 図 第 18 図 第 19 図 第 20 図 第 21 図 第 22 図 第 23 図 第 24 図 第 25 図	粉挽臼の各名称と細部の分類 69 古墳時代管玉の製作工程模式図 73 出土壺内土壌の花粉化石分布図 94 出土壺内土壌の プラント・オパール分布図 96 新保遺跡遺構全体図 101 新保遺跡の遺構配置 102 柿崎町新保遺跡Ⅱ期遺構平面図 103 和島村門新遺跡B期遺構平面図 103 古墓の釘配置模式図 108
第第 第第第第第第第 11	図 新保遺跡周辺の第四紀地質図 2 遺跡の位置と周辺の遺跡 5 確認調査のトレンチの位置と 調査必要範囲 9 グリッド設定図 10 図 調査範囲図 11 調査区の地形図と基本層序 16 図 遺構の平面形態と断面形態の分類 17 図 98SD1000 出土遺物分布図 24 図 須恵器の器種分類 38 図 土師器の器種分類 41 図 内面黒色土器の器種分類 42 施釉陶器の器種分類 42 図 施釉陶器の器種分類 43 中世の土器・陶磁器の器種分類 52	第 16 図 第 17 図 第 18 図 第 20 図 第 21 図 第 22 図 第 23 図 第 24 図 第 25 図 第 26 図	粉挽臼の各名称と細部の分類       69         古墳時代管玉の製作工程模式図       73         出土壺内土壌の花粉化石分布図       94         出土壺内土壌の       96         新保遺跡遺構全体図       101         新保遺跡の遺構配置       102         柿崎町新保遺跡 II 期遺構平面図       103         和島村門新遺跡 B 期遺構平面図       103         古墓の釘配置模式図       108         木棺復原図       109         鉄釘の出土状況と

# 表 目 次

第	1	表	遺跡周辺の遺跡一覧4	第 13 表	獣骨の同定結果 92
第	2	表	確認調査一覧 8	第 14 表	産出花粉化石一覧表 94
第	3	表	古墓出土遺物観察表35	第 15 表	試料1g当たりの
第	4	表	新保遺跡出土木製品の樹種同定一覧表 … 80		プラント・オパール個数 96
第	5	表	農具同定結果 81	第 16 表	新潟県柿崎町新保遺跡
第	6	表	大型植物化石分析試料一覧 83		古墓出土炭化材樹種 97
第	7	表	近世(97SE1000・98SE650)の	第 17 表	放射性炭素年代測定結果 100
			大型植物化石一覧表 85	第 18 表	補正暦年代値 100
第	8	表	中世 (98SE392 · 98SE729 · 98SE958)	第 19 表	新保遺跡器種構成比率 105
			の大型植物化石一覧表 85	第 20 表	新保遺跡食膳具構成比率 105
第	9	表	中世 (98SE813) の	第 21 表	無台椀形態別個体数 106
			大型植物化石一覧表 86	第 22 表	遺構計測表 115
第	10	表	中世 (98SE763) および	第 23 表	遺構覆土詳細観察表 120
			平安時代(98SE674・98SE764)の	第 24 表	土器・陶磁器観察表 130
			大型植物化石一覧表 86	第 25 表	木器・木製品観察表 147
第	11	表	平安時代(98SE1124)の	第 26 表	石器・石製品観察表 151
			大型植物化石一覧表 87	第 27 表	陶製品・土製品・金属製品観察表 152
第	12	表	貝類遺体の同定結果92		

# 図版目次

図		面		
図版	1	遺構全体配置図		
図版	2	遺構全体実測図 1	$(25 \sim 27F,$	$25 \sim 27G$ , $25 \sim 27H \boxtimes$ )
図版	3	遺構全体実測図 2	$(27 \sim 29F,$	$27 \sim 29$ G、 $27 \sim 29$ H区)
図版	4	遺構全体実測図 3	(29 · 30F,	29·30G、29·30H区)
図版	5	遺構全体実測図 4	$(25{\sim}27\mathrm{H},$	$25 \sim 27I, 25 \sim 27J, 25 \sim 27K \boxtimes$
図版	6	遺構全体実測図 5	$(27{\sim}29\mathrm{H},$	$27 \sim 29I, 27 \sim 29J, 27 \sim 29K \boxtimes$
図版	7	遺構全体実測図 6	(29 · 30H,	29 · 30I、29 · 30J、29 · 30K ☒)
図版	8	遺構全体実測図 7	$(24 \sim 26 K,$	$24 \sim 26$ L, $24 \sim 26$ M $\boxtimes$ )
図版	9	遺構全体実測図 8	$(25 \sim 27 \text{K},$	$25 \sim 27$ L, $25 \sim 27$ M $\boxtimes$ )
図版	10	遺構全体実測図 9	$(27 \sim 29 K,$	$27 \sim 29$ L, $27 \sim 29$ M $\boxtimes$ )
図版	11	遺構全体実測図10	$(29 \sim 31 \text{K},$	$29 \sim 31$ L, $29 \sim 31$ M $\boxtimes$ )
図版	12	遺構全体実測図11	(31K, 31 ·	32L、31·32M区)
図版	13	遺構全体実測図12	(33K, 32 ·	33L、32·33M区)
図版	14	遺構全体実測図13	$(22 \sim 24L,$	$22 \sim 24 M$ , $22 \sim 24 N$ , $22 \sim 24 O \boxtimes$ )
図版	15	遺構全体実測図14	$(24 \cdot 25M,$	24 · 25N、24 · 25O、24 · 25P区)
図版	16	遺構全体実測図15	$(25 \sim 27 \mathrm{M})$	$25 \sim 27$ N, $25 \sim 27$ O, $25 \sim 27$ P $\boxtimes$ )
図版	17	遺構全体実測図16	$(27 \sim 29M,$	$27 \sim 29$ N, $27 \sim 29$ O, $27 \sim 29$ P区)
図版	18	遺構全体実測図17	$(29 \sim 31M,$	$29 \sim 31$ N, $29 \sim 31$ O, $29 \sim 31$ P $\boxtimes$
図版	19	遺構全体実測図18	$(31 \cdot 32M,$	31 · 32N, 31 · 32O, 31P区)
図版	20	遺構全体実測図19	$(32 \sim 34M,$	$32 \sim 35N, 32 \sim 350  \text{E}$ )
図版	21	遺構全体実測図20	$(22 \sim 24P,$	$22 \sim 24Q$ , $22 \sim 24R \boxtimes$ )
図版	22	遺構全体実測図21	(24 · 25P,	24 · 25Q、24 · 25R区)
図版	23	遺構全体実測図22	$(25 \sim 27P,$	$25 \sim 27Q$ , $25 \sim 27R \boxtimes$ )
図版	24	遺構全体実測図23	$(27 \sim 30P,$	$27 \sim 29 Q \boxtimes$

```
図版 25 遺構個別実測図 1 (SB1 · 2)
図版 26 遺構個別実測図 2 (SB3 · 4 · 8 · 9)
図版 27 遺構個別実測図 3 (SB13)
図版 28 遺構個別実測図 4 (SB12·14)
図版 29 遺構個別実測図 5 (SB6 · 10 · 11)
図版 30 遺構個別実測図 6 (SB5 · 7)
図版 31 遺構個別実測図 7 (98SE281 · 333 · 1224、98SK272 · 283 · 488、98P662)
図版 32 遺構個別実測図 8 (98SE390 · 674 · 1226、98SK569 · 611 · 612 · 673、98P672)
図版 33
       遺構個別実測図 9 (98SE650 · 693 · 694 · 695 · 696、98SK648、98P649 · 665 · 707)
図版 34 遺構個別実測図 10 (98SE17 · 67 · 200 · 709、98SK38 · 64、98P15 · 708)
図版 35 遺構個別実測図11 (98SE162 · 277 · 403 · 604、98SK128)
       遺構個別実測図12 (97SE1405、98SE180 · 392 · 393 · 394 · 395)
図版 36
図版 37 遺構個別実測図13 (98SE169・179・257・258、98SK791、98P163・705)
図版 38 遺構個別実測図14 (97SE2050、98SE181 · 250 · 719 · 723 · 725、98P741)
図版 39
       遺構個別実測図15 (97SE1670、97SK1115 · 1116 · 1234 · 1403、98SE729 · 763)
図版 40 遺構個別実測図16 (97SE774 · 2026 · 2630 · 2940)
図版 41 遺構個別実測図 17 (97SE1951 · 1957 · 1958 · 1964 · 1989)
図版 42
       遺構個別実測図18(97SE1655 · 1952 · 1971 · 1972 · 2020 · 2022)
図版 43 遺構個別実測図19 (97SE523 · 1805 · 1970 · 2009 · 2015 · 2021)
図版 44 遺構個別実測図 20 (97SE497 · 516 · 517 · 518 · 522 · 523)
図版 45 遺構個別実測図 21 (97SE457 · 1550 · 1551 · 1839、97SK1840)
図版 46 遺構個別実測図22 (97SE1531 · 1624 · 1689 · 1830 · 1842 · 1859 · 1869)
図版 47 遺構個別実測図 23 (98SE806 · 1137 · 1370 · 1377、98SK821 · 1185、98P1135)
図版 48  遺構個別実測図 24 (97SE2629、97SK1427、98SE764 · 958 · 1419 · 1420、98SK884 · 956 ·
                      1350, 98P1354)
図版 49 遺構個別実測図 25 (97SE2702 · 2706 · 2707、97SK1046 · 2625)
図版 50 遺構個別実測図 26 (97SE2703 · 2704 · 2705、97SK905 · 1100 · 2767)
図版 51 遺構個別実測図 27 (97SE 564 · 598 · 599 · 932 · 1232 · 1355 · 1360、97SK 1230)
図版 52 遺構個別実測図 28 (97SE200 · 450 · 496 · 540 · 773 · 1231、97SK549)
図版 53 遺構個別実測図 29 (97SE561 · 586 · 979 · 1000 · 1233)
       遺構個別実測図30 (97SE280 · 300 · 440 · 980、97SK226 · 562 · 563 · 981 · 982、97P206)
図版 54
図版 55 遺構個別実測図 31 (97SE6 · 50 · 95、97P64、98SE1126、98P1125)
図版 56 遺構個別実測図32 (97SE5 · 204 · 205、97SK45 · 91 · 92、97P44、98SE1031、98P925 · 929)
図版 57
       遺構個別実測図33 (97SE46 · 302 · 303 · 423, 97SK219, 97P389, 97SX47, 98SK1041 · 1070)
図版 58  遺構個別実測図 34 (98SE1089 · 1124、98SK1139 · 1165)
図版 59 遺構個別実測図 35 (97SE730 · 976 · 2729 · 2730、97SK969 · 1402 · 2701)
図版 60
       遺構個別実測図36 (97SE623 · 624 · 1467 · 2708、97SK690 · 696 · 717)
図版 61 遺構個別実測図37 (97SE109・110・122・625・1483・1484、97SK626)
図版 62 遺構個別実測図 38 (97SE160 · 1137 · 1226 · 1413 · 1485、97SK142 · 1154、97P1408)
図版 63 遺構個別実測図 39 (97SE178 · 179 · 248 · 433 · 936 · 1206)
図版 64 遺構個別実測図 40 (97SE291 · 422 · 859 · 861、97SK264 · 390、97P287 · 432 · 956)
図版 65 遺構個別実測図 41 (98SE813、98SK807 · 809 · 811 · 813、98P852)
図版 66 遺構個別実測図 42 (97SX48 · 1249)
図版 67 遺構個別実測図 43 (97SD2 · 100 · 201 · 1500 · 2607 · 2932)
図版 68 遺構個別実測図 44 (98SD22 · 23 · 279 · 520 · 601 · 671 · 893 · 899 · 1000 · 1028 · 1073 ·
                      1310 \cdot 1044 \cdot 1045 \cdot 1046 \cdot 1047 \cdot 1048 \cdot 1049)
図版 69
       古墓実測図・出土遺物1
図版 70 古墓実測図・出土遺物 2
図版 71 遺構出土土器 1 (平安時代)
図版 72
       遺構出土土器 2 (平安時代)
図版 73 遺構出土土器 3 (平安時代)
```

図版 74 遺構出土土器 4 (平安時代)

```
図版 75 遺構出土土器 5 (平安時代)
```

- 図版 76 遺構出土土器 6 (平安時代)
- 図版 77 遺構出土土器 7 (平安時代)
- 図版 78 遺構出土土器 8 (平安時代)
- 図版 79 遺構出土土器 9 (平安時代)
- 図版 80 遺構出土土器 10 (平安時代)
- 図版 81 遺構出土土器 11 (平安時代)
- 図版 82 遺構出土土器 12 (平安時代)
- 図版 83 遺構出土土器 13 (平安時代)
- 図版 84 遺構出土土器 14 (平安時代)
- 図版 85 遺構出土土器 15 (平安時代)
- 図版 86 遺構出土土器 16 (平安時代)
- 図版 87 遺構出土土器 17 (平安時代)
- 図版 88 遺構出土土器 18 (平安時代、中・近世)
- 図版 89 遺構出土土器 19 (中・近世)
- 図版 90 遺構出土土器 20 (中・近世)
- 図版 91 遺構出土土器 21 (中・近世)
- 図版 92 遺構出土土器 22 (中・近世)
- 図版 93 遺構出土土器 23 (中・近世)
- 図版 94 遺構出土土器 24 (中・近世)
- 図版 95 遺構出土土器 25 (中・近世)
- 図版 96 遺構出土土器 26 (中・近世)
- 図版 97 遺構出土土器 27 (中・近世)
- 図版 98 遺構出土土器 28 (中・近世)
- 図版 99 遺構出土土器 29 (中・近世)
- 図版100 遺構出土土器30(中·近世) 図版101 包含層出土土器1(平安時代)
- 図版102 包含層出土土器 2 (平安時代・中世)
- 図版103 古墳時代以前土器 1
- 図版104 古墳時代以前土器 2
- 図版105 木器実測図1(斎串、漆器)
- 図版106 木器実測図 2 (曲物1)
- 図版107 木器実測図3 (曲物2、折敷、桶)
- 図版108 木器実測図 4 (下駄、草履)
- 図版109 木器実測図 5 (箸、緯打具、刀子鞘、火鑚板、叩板、建築部材)
- 図版110 木器実測図6 (横槌、鍬身、田下駄)
- 図版111 木器実測図7 (竪杵、踏鋤)
- 図版112 木器実測図8 (柱根)
- 図版113 木器実測図 9 (97SE5井戸側、97SE200井戸側1)
- 図版114 木器実測図10 (97SE200井戸側2)
- 図版115 木器実測図11 (98SE1124井戸側1)
- 図版116 木器実測図12 (98SE1124井戸側2・他)
- 図版117 石器実測図 1 (石臼、茶臼、石鉢、転用石鉢)
- 図版118 石器実測図 2 (宝篋印塔塔身、宝塔相輪、五輪塔火輪・水輪・地輪、砥石1)
- 図版119 石器実測図 3 (砥石2、石硯、鉄滓付着礫)
- 図版120 石器実測図 4 (石鏃、石錐、石鏃未成品、スクレイパー、二次調整剥片)
- 図版121 石器実測図 5 (石核、打製石斧、磨製石斧)
- 図版122 石器実測図6 (玉未製品、磨面翡翠)
- 図版123 石器実測図7 (磨石類)
- 図版124 石器実測図8 (軽石、石錘)
- 図版125 陶製品(風字硯、融着品、転用砥石、メンコ)
- 図版126 土製品·金属製品(羽口、土錘、装飾品、刀子、鉄釘、鍋耳、留具、銭貨、鍛冶滓)

## 写真図版

57 F 1 0 F	·····································	55 F 1 F 0	[ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [
	新保遺跡周辺景観・調査区全景		土器・陶磁器 10(424~474)
	古墓検出状況		土器・陶磁器 11 (475~499)
	古墓土層断面・出土遺物		土器・陶磁器 12(500~526)
	98SE1124 検出状況・98SD1000 検出状況	図版173	
図版131		図版174	土器・陶磁器 14(540~548)
図版132	遺構個別写真 1	図版175	土器・陶磁器 15(549~565)
図版133	遺構個別写真 2	図版176	土器・陶磁器 16(566~588)
図版134	遺構個別写真 3	図版177	土器・陶磁器 17(589~610)
図版135	遺構個別写真 4	図版178	土器・陶磁器 18(611~647)
図版136	遺構個別写真 5	図版179	土器・陶磁器 19(648~664)
図版137	遺構個別写真 6	図版180	土器・陶磁器 20(665~692)
図版138	遺構個別写真 7	図版181	土器・陶磁器 21(693~721)
図版139	遺構個別写真 8	図版182	土器・陶磁器 22(722~760)
図版140	遺構個別写真 9	図版183	土器・陶磁器 23(761 ~ 795)
図版141	遺構個別写真10	図版184	木器・木製品 1 (木1~19)
図版142	遺構個別写真11	図版185	木器・木製品 2 (木20~32)
図版143	遺構個別写真12	図版186	木器・木製品 3 (木 33 ~ 42)
図版144	遺構個別写真13	図版187	木器・木製品 4 (木 43 ~ 64)
図版145	遺構個別写真14	図版188	木器・木製品 5 (木 65 ~ 68)
図版146	遺構個別写真15	図版189	木器・木製品 6 (木69~83)
図版147		図版190	木器・木製品 7 (木84~93)
図版148	遺構個別写真17	図版191	木器・木製品 8 (木 94 ~ 109)
図版149	遺構個別写真18	図版192	木器・木製品 9 (木 110~ 123)
図版150		図版193	木器・木製品 10(木 124~ 139)
図版151	遺構個別写真20	図版194	石器・石製品 1 (石 1 ~ 15)
図版152	遺構個別写真21	図版195	石器・石製品 2 (石 16 ~ 47)
図版153	遺構個別写真22	図版196	石器・石製品 3 (石 48 ~ 71)
図版154	遺構個別写真23	図版197	
図版155	遺構個別写真24	図版198	陶製品・土製品・金属製品(他1~44)
図版156	遺構個別写真25	図版199	新保遺跡出土木材組織顕微鏡写真 1
図版157	98SD1000集中区1出土状況(合成)	図版200	新保遺跡出土木材組織顕微鏡写真 2
図版158	古墓 1	図版201	新保遺跡出土木材組織顕微鏡写真 3
図版159	古墓 2	図版202	新保遺跡出土木材組織顕微鏡写真 4
図版160	古墓出土遺物(墓1~4、6~14)	図版203	出土した大型植物化石 1
図版161	土器·陶磁器 1 (1~44)	図版204	出土した大型植物化石 2
図版162	土器・陶磁器 2 (45~100)	図版205	出土した大型植物化石 3
図版163	土器・陶磁器 3 (101~141)	図版206	出土した大型植物化石 4
図版164	土器・陶磁器 4 (142~196)	図版207	タニシ科遺体・出土した獣骨
図版165	土器·陶磁器 5 (197~246)	図版208	新保遺跡(試料B)の花粉化石
図版166	土器·陶磁器 6 (247~294)	図版209	新保遺跡の花粉分析プレパラート
図版167	土器·陶磁器 7 (295~346)	図版210	新保遺跡のプラント・オパール
図版168	土器·陶磁器 8 (347~399)	図版211	新保遺跡古墓出土炭化材
図版169	土器·陶磁器 9 (400~423)		

## 第1章 調査に至る経緯

柿崎町・吉川町の存在する頸城北部地区は、高田平野の北西部に位置している。この水田地帯の生産性をさらに高めるべく、国営農地再編パイロット事業(後に、国営農地再編整備事業)が計画された。

柿崎町教育委員会(以下、柿崎町教委)は整備事業に先立ち、平成4年3月に新潟県教育委員会(以下、 県教委)の協力を得て予定地内の詳細分布調査を行った。柿崎町内では新たに9遺跡の所在が確認され、 遺跡台帳に登録を行った。新保遺跡、新保北遺跡は昭和54(1979)年度に県教委が発刊した『新潟県遺 跡地図』には記載されていない。遺跡台帳によると、新保遺跡は昭和56年に県の遺跡詳細分布調査で、 新保北遺跡は平成4年の調査で登録されている。

今回整備予定地内である上直海工区 (12 団地) の柿崎町側には江島新田遺跡、江島神社遺跡、新保遺跡、新保北遺跡、八枚田遺跡の5遺跡が存在している。平成5・6・8年度に柿崎町教委主体で確認調査が実施され、その結果、江島新田遺跡、新保北遺跡(新保遺跡隣接部は新保遺跡に統合)、八枚田遺跡は立会施工とした。残りの2遺跡に対しては本調査が必要と判断され、調査合計面積が26,600㎡に決定した。柿崎町は予定年度内の調査終了が困難と判断し、県教委に対し協力を依頼した。県教委は諸条件を加味し、北陸農政局の事業を受託することに決定した。北陸農政局上越土地改良建設事業所(以下、上越事業所)、県教委、柿崎町教委、埋文事業団の四者は平成9年3月から調整会議を開始した。

このような流れで、3月27日付けで上越事業所長から県教育長に発掘調査依頼(「9上事149号」)があり、県教委はこれを埋文事業団に3月31日付け「教文第1721号」で再依頼した。埋文事業団はこれを受けて調査費用の見積を提出し、その後農政局による随意契約の審査を経た。4月22日付け「9上事第258号」において上越事業所、柿崎町、埋文事業団は覚書を締結し、費用負担割合が北陸農政局側89.67%、柿崎町側10.33%に決定した。埋文事業団は委託者である北陸農政局と5月9日に委託契約を締結し、5月から現地調査に入った。

調査は平成9年度1年間の予定であったが、調査に入るのが遅かったこと、遺構密度が濃密なために手間取り、受託した範囲内に調査未了部分が生じたことなどから、平成10年度も引き続き受託を行った。 県教委から埋文事業団には3月19日付け「教文第1315号」で再依頼があり、埋文事業団は3月末に農政局に調査見積を提出した。その後4月7日に三者による覚書を締結し、埋文事業団は北陸農政局と4月9日に委託契約を締結し、現地調査に入った。

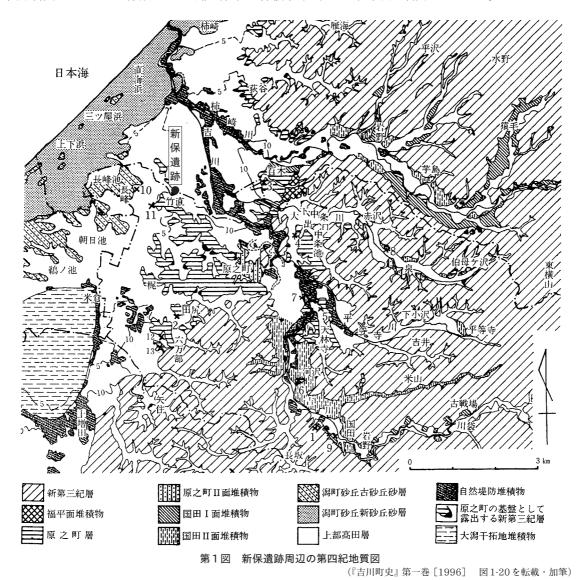
県が、ほ場整備事業に着手するに至った経緯及び市町村との費用負担の基本的考え方は、新潟県埋蔵文 化財調査報告書第89集に詳しい。以下はその一部を抜粋し、一部改変したものである。

受託の方法 現在農業関連の発掘調査は、当該市町村と事業主体者(県農地及び農政局)が費用の負担 契約を締結して行っている。負担割合は、ほ場整備事業における個人農家負担分の割合に基づいて、文化 財側が農家負担分の割合を持ち、その他が農地側となっている。今回埋文事業団が受託するのは、農地側 負担の中からとし、文化財側負担分の発掘調査は、市町村とした。しかし、文化財側負担額がどれほどに なるかは、当該市町村教委と埋文事業団の調査費合計によって決まってくる。そのため、事業主体者を含 めた三者がお互いに下記の区分を把握しておく必要性があることから、三者による基本協定を締結するこ ととした。

## 第Ⅱ章 遺跡の位置と環境

## 1 遺跡周辺の地理的環境

新保遺跡は、中頸城郡柿崎町大字上直海字新保に所在する。柿崎町は新潟県南西部、上越地方に広がる高田平野の北東部に位置し、町域の北から東は柏崎市及び米山(992.6m)の西南麓、南は吉川町、南西は大潟町と接する。遺跡は沖積平野の中の独立丘(埋没段丘)上とその南及び東側の水田に立地し、標高は水田部で4.9~5.7m、丘陵部は頂部で約7.8mを測る。遺跡の北西方向200m程の所に同じような地形に立地する江島神社遺跡が所在する。新保遺跡の東約1㎞程の所には吉川が北流し、柿崎町下条集落で柿崎川と合流して日本海に注いでいる。これらの河川の流路沿いには沖積面との比高1~3mの自然堤防が形成され、集落や畑などに利用されている。北西方向の海岸部には潟町砂丘が発達し、その背後に柿崎川や吉川などによって形成された比較的低湿な沖積平野が広がり、水田に利用されている。



柿崎町の地盤は、海岸部の砂丘地区と後背湿地の発達する低地部の地区から成っている「北陸建設弘済 会1980]。海岸部の砂丘地区は、砂丘が発達しており潟町砂丘と呼ばれている。潟町砂丘は上越市五智か ら柿崎町竹ヶ鼻にかけて長さ20km、幅1.5~2.5km、高さ10~40mの規模で発達し、砂丘の幅は中央部 の潟町付近で2.5 kmと最も広く[新潟県1978]、北東及び南西にいくにつれて狭くなる。砂丘表面は複雑 な起伏を示し上越市黒井で標高 10m、犀潟 15m、四ッ谷浜 25m、潟町駅付近で 40m と最も高くなり、上 下浜30m、直海浜20m [新潟県1978] と、柿崎町側にいくにつれて低くなっている。内陸側では砂丘の 発達が悪く、幅1~1.5km、標高5m前後の平坦地が広く分布している。砂丘は全体的にみると海岸線に 並行しているが、土底浜から北東部ではほぼ東西方向に無数の小さな尾根がのびており [戸根1981]、こ の尾根の背後の谷に潟湖が並んでいる。潟町砂丘はその内部に赤褐色の粘質土があって、この層を境にし て第四紀完新世に堆積した上部のサラサラした砂の新期砂丘砂層と、更新世に堆積した下部の固く固結し た砂の潟町砂層とから構成されている [高田平原団体研究グループ1965]。 潟町砂層はウルム氷期最盛期 の海退に伴って形成されたものと考えられ、古砂丘 IとⅡに区分されている [新潟古砂丘グループ1967]。 新期砂丘砂層は内陸側より海岸側に厚く堆積しており、海岸側の丘の斜面や起伏の凹地では最大層厚30 ~40mを測る[新潟県1978]が、潟町砂層の高度が高い潟町-上下浜の小高い所では薄いか見られない。 低地部の地区は、柿崎川沿いを中心に粘性土、砂、腐植土などから成る沖積層が厚さ20~40mで分 布し[北陸建設弘済会1980]、上部高田層と呼ばれている。柿崎町の沖積平野を構成する上部高田層は 青灰色粘土層を主とし、所々にレンズ状の砂層を挟む堆積物から成る。場所によっては下部にシルトやシ ルト質粘土を挟み、最上部に泥炭層を挟んでいる。この上部高田層の厚さは柿崎川下流域では40m [吉 川町史1996]に達する。

平野の北東~南東側の周辺には比高10~30mの洪積台地があり、平野の中心に向かって傾斜し、末端は比高数mの微高地となって沖積面下に没している[吉川町史1996]。この台地は吉川町の原之町から竹直、六万部に至る地域及び柿崎川流域に至る丘陵と平野の境に断続的に分布している。この地形面は原之町面、これを構成する地層は原之町層と呼ばれている。この洪積台地は高い面から低い面へ順に福平面、原之町I面、II面に区分される。原之町I面は吉川中学校付近(標高30m)から北西に向かって傾斜し、柿崎町の江島新田まで分布する。江島新田付近では標高5m程で、水田面(沖積平野の高田面)との比高は1m前後である[吉川町史1996]。原之町I面は丘陵と同様に樹枝状の谷が刻まれ、その谷底は谷の奥まで水田として耕作されている。原之町層は原之町I面などの洪積台地を構成する地層で、沖積平野の下にも分布する厚い地層である。台地の表面には厚さ1m前後のローム層があり、その下位は粘土、シルト、砂、及びそれらの混合物の不規則な互層からなる。それぞれの層の厚さは数十㎝~数mにわたっている。この原之町層は柿崎町上直海付近で、沖積層(上部高田層)の下位に地下約30~58mにわたって堆積している[吉川町史1996]。新保遺跡は吉川町竹直と柿崎町江島新田集落の間に位置し、土層観察で同様のローム層と粘性土やシルトを主体とした層が観察されている。

## 2 歷史的環境

ここでは、高田平野の北東部に位置する柿崎町を中心とした縄文時代から近世の遺跡を概観する。遺跡の内容については「埋蔵文化財包蔵地カード」をもとに、既刊の発掘調査報告書の成果を加えた。ただし、 石造物・塚・経塚については割愛した。

#### 2 歴史的環境

柿崎町周辺の地形区分は潟町砂丘、潟湖、高田面(氾濫原性低地上位面)、丘陵の4つに区分できる(前節参照)。各時代の遺跡分布を見ると、海岸沿いの砂丘上は古墳時代から中世の遺跡が主体を占め、潟湖周辺は縄文時代中期・後期の遺跡が多く見られる。高田面に奈良・平安時代、中世の遺跡が位置する。

### A 縄 文 時 代

縄文時代の遺跡は、潟町砂丘、潟湖周辺に分布しており、高田面や丘陵にはあまり見られない。鍋屋町遺跡は潟町砂丘に立地する遺跡で、前期後半の標識資料となった鍋屋町I式、鍋屋町II式などが出土している [寺村・室岡ほか1960]。長峰遺跡は長峰池周辺の丘陵に位置する。中期前葉の木目状撚糸文が多く見られ、連続爪形文や蓮華文と組み合わせたものもある [室岡・関ほか1974]。新保遺跡は長峰遺跡の近距離に位置し、同様に中期前葉の土器片が出土している。

### B弥生時代

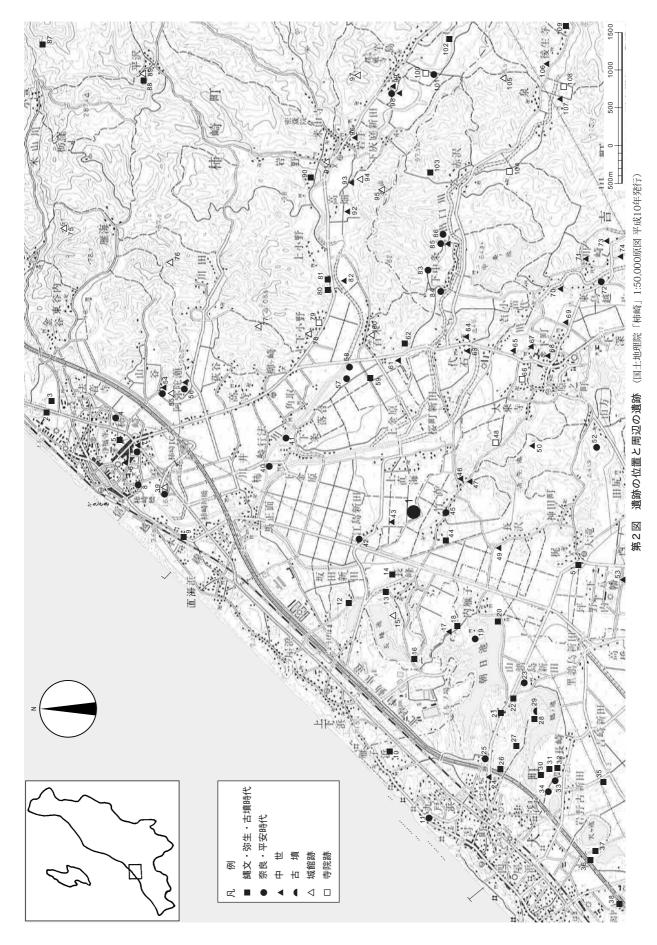
弥生時代は遺跡調査例が少なく明瞭でない。長峰遺跡で竪穴住居跡が1軒検出された[室岡・関ほか1974]。報文では古墳時代前期とされているが、弥生時代後期の可能性が指摘できる。木崎山館城跡遺跡は、柿崎川下流右岸の独立砂丘上に立地する遺跡である。1989年の河川改修の際に一部が調査され、後期の北陸系土器などが出土した[室岡1990]。鵜ノ池周辺では、巻遺跡でクリス型石剣、鉾形石製模造品、銅鏃など採集され[室岡1974]、南端に位置する長崎遺跡で磨製石剣が見つかっている[室岡1986]。

## C 古墳時代

高田平野周辺は県内最大の古墳集中地帯である。古墳の時期を区別すると平野の西側縁辺部は中期から後期、東側縁辺部は後期古墳が多く分布する。頸北地区は古墳分布の中心を離れるが、大潟町の丸山古墳 [小野・桑原1988] が分布域の北東端に位置しており注目される。集落遺跡は海岸線に連なる砂丘列内側に分布しており、長峰池などの潟湖周辺が中心であったと考えられている [本間1996]。

1 新 保 平安/中世/近世 29 丸山古墳 古墳 57 荒田割B 平安 85 中条製鉄跡 平安空町 22 鰯 屋 町 鋼文 30 東 向 崎 縄文 58 向 川 原 平安 86 外 屋 敷 平安 31 四 番 割 鑑文復間 60 百 木 館 室町 88 平 沢 縄文後間 55 長 峰 縄文後期 33 新 床 平安 61 切 道 シ 中世 89 音戸寺跡 中世〜近世 66 人 見 山 中世 34 中 崎 平安 62 沖 の 原 縄文中・後期 90 大 二 反 縄文 7 利 加 甲安/中世 35 戸 み 62 沖 の 原 縄文中・後期 90 大 二 反 縄文 7 利 加 甲安/中世 35 戸 み 64 代石臼崎柱下 室町 91 米 山寺館 中世 91 北 山寺館 中世 10 袴 形 縄文 38 敷 ヶ 池 縄文・甲世 66 八 京 前 野 室町 92 杉 ノ 木 平安/中世 11 九 戸 浜 奈良 39 木 崎 山 縄文・中世 67 下 川 康 鎌倉・安土 95 岩 号 城跡 中世 11 九 戸 浜 奈良 39 木 崎 山 縄文・中世 67 下 川 康 鎌倉・安土 95 岩 号 城跡 中世 11 長峰城跡 江戸 43 江島神社 古墳後期/中世 71 下 土 橋 室町 99 堀 ノ 内 中世 15 長峰城跡 江戸 43 江島神社 古墳後期/中世 71 下 土 橋 室町 99 堀 ノ 内 中世 16 市 町 縄文・伊世 45 屋敷 ※ 平安 74 中央保育園前 平安 74 中央保育園前 20 前日池々底 親文・中世 10 紙文・中世 10 紙文・中世 10 紙文・伊世 10 紙文・中世 11 版文・伊世 10 銀文・伊世 10 展東・寺跡 中世 11 版文・中世 11 版文・伊世 11 版文・中世 11 版文・伊世 11 版文・中世 11 版文・中世 11 版文・中世 11 版文・中世 11 版文・中世 11 版文・中世 11 版文・伊世 11 版文・中世 11 版文・日世 10 版文・中世 11 版文・中世 10 版文・中世 10 原 京 城文・中世 11 版文・中世 10 版文・中世 10 原東・野  10 成 東・野  10 成 東・野		遺 跡 名	時代区分		遺 跡 名	時代区分		遺跡名	時代区分		遺跡名	時代区分
2         鍋屋町         縄文         30         東向崎         縄文         58         向川原         平安         86         外屋敷         平安           3         外ケ沢 B         縄文使別         31         四番割         縄文後期         60         百木館跡         室町         88         平沢         縄文と期           5         長崎         縄文後期         60         百木館跡         室町         88         平沢         縄文と期           6         人見山         中世         34         中崎         平安         62         沖の原         縄文中・後期         90         大二反         縄文           7         桐畑平安/中世         35         戸々 島         鍋文/等生/古墳         63         屋敷内 南         北上 後期         90         大二反         縄文           9         出市 街畑平安/中世         35         戸々 島         縄文/等生/事生/事         64         代石山神社下室町         91         米山寺館         中世         91         米山寺館         中世         92         北         北         北         第         本学女中世         90         出         カノ内館跡         中世         11         九戸寺院         第         金         株式日本・安         62         沖の原         瀬上・金         43         上海・東         第         金         金         本	1	新 保	平安/中世/近世	29	丸山古墳	古墳	57		平安	85		平安~室町
4 大久保 占填中期         32 長 崎 縄文後期         60 百 木館 跡 室町         88 平 沢 縄文後期           5 長 峰 縄文後期         33 新 床 平安         61 切 通 シ 中世         89 百 戸 寺跡 中世〜近世           6 人見 山 中世         34 中 崎 平安         61 切 通 シ 中世         89 百 戸 寺跡 中世〜近世           7 桐 畑 坪安/中世         35 戸 々 島 織文/弥生/古墳 63 展 敷 内 南北/室町         91 米山寺館 中世           8 とんび山 平安         36 畑ヶ池北         40 円 縄文/弥生/古墳 65 島 倉 鎌倉/南北/室町         92 杉 ノ 木 平安/中世           9 出 羽 古墳中・後期         37 飛 山 縄文中期         65 島 倉 鎌倉/南北/室町         93 高 原 中世           10 袴 形 縄文         38 畑ヶ池北         40 行 法 平安         66 大乗寺跡 室町         94 立/内館跡 中世           11 九戸 浜 奈良         39 木 崎 山 縄文へ中世         67 下 川 原 鎌倉/安生 95 冒井 城 中世           12 坂田新田 縄文後期         40 行 法 平安         68 里 方 中世         96 浦 神 縄文/平安/中世           13 長 峰 縄文/弥生         41 大 浦 平安         68 里 方 中世         96 浦 神 縄文/平安/中世           15 長峰 城跡 江戸 43 江島神社 古墳後期/中世         71 下 土 橋 室町         97 米山寺城 室町           16 市 町 縄文/中世 45 屋 敷 添 平安         73 篠 井 鎌倉/平安         100 東泉寺跡 中世           17 笹 山 縄文/中世 45 屋 敷 添 平安         73 篠 井 鎌倉/平安         100 東泉寺跡 中世           18 乾 池 離 株式 42 上 社 所 2 年 株 2 上 社 M 2 上 社 M 2 年 株 2 上 社 M 2	2	鍋屋町	縄文	30	東向崎	縄文	58	向 川 原	平安	86		平安
5 長 蜂 縄文後期         33 新 床 平安         61 切 通 シ 中世         89 音戸寺跡 中世〜近世           6 人 見 山 中世         34 中 崎 平安         62 沖 の 原 縄文中・後期         90 大 二 反 縄文           7 桐 畑 平安/中世         35 戸 々 島 縄文/弥生/古墳 63 屋 敷 内 南北/室町         91 米 山 寺館 中世           8 とんび山 平安         36 蜘 ケ池北 縄文         64 代石山神江 室町         91 米 山 寺館 中世           9 出 羽 古墳中・後期         37 飛 山 縄文中期         65 島 倉 鎌倉/南北/室町         92 杉 ノ 木 平安/中世           10 袴 形 縄文         38 蜘 ケ 池 縄/古墳/平〜近世         66 大乗寺跡 室町         94 立/内館跡 中世           11 九 戸 浜 奈良         39 木 崎 山 縄文/平生         67 下 川 原 鎌倉〜宮士         95 岩 寿城 中世           12 坂田新田 縄文後期         40 行 法 平安         68 里 方 中世         97 米 山 寺城 室町           13 長 峰 織文/弥生         41 大 浦 平安         69 - 丁田 鎌倉〜室町         97 米 山 寺城 室町           14 樋 詰 縄文         42 江 島 弥生/古墳/平安         70 立 ノ 内 中世         98 芋 島 縄文/平安/中世           15 長峰城跡 江戸         43 江島神社 括墳後期/中世         71 下 土 橋 室町         99 堀 ノ 内 中世           16 市 町 縄文         44 竹直神社 縄 「古墳/平/中世         71 下 土 橋 室町         99 堀 ノ 内 中世           17 世 山 縄文/中世         45 屋 敷 ※ 平安         73 篠 井 鎌倉〜室町         101 上 小 森 平安           18 蛇 池 織及後期         46 池 緑 室町         74 中央保育協前 室町         102 五十嵐遠崎 縄文           19 向 山 平安         47 芝 山 縄文 小 世 経期         74 中央保育協前 室町         102 五十嵐遠崎 縄文 <td>3</td> <td>外ヶ沢B</td> <td>縄文中・後期</td> <td>31</td> <td>四番割</td> <td>縄文後期~弥生</td> <td>59</td> <td>荒田割</td> <td>古墳中期</td> <td>87</td> <td>竹ノ平</td> <td>縄文</td>	3	外ヶ沢B	縄文中・後期	31	四番割	縄文後期~弥生	59	荒田割	古墳中期	87	竹ノ平	縄文
6 人見山中世         34 中崎平安         62 沖の原和文中後期90大二反和           7 桐畑甲安/中世35 戸々島。縄文/弥生/占墳63屋敷内南北/室町91米山寺館中世         90大二反和           8 とんび山平安36 畑ケ池北縄文 64 代石山神下室町92 杉ノ木平安/中世         91 出羽占墳中・後期37飛山縄文中世 65島倉 倉鎌倉/南北/室町93高原中世           9 出羽占墳中・後期37飛山縄文中世 67下川原鎌倉〜安土95 岩手城跡中世         10 袴形縄文 38 畑ケ池北縄で、一世 66大乗寺跡室町 94立ノ内館跡中世           11 九戸浜奈良 39木崎山縄文〜中世 67下川原鎌倉〜安土95岩手城跡中世         94立ノ内館跡中世           12 坂田新田縄文後期 40 行法平安 68 里方中世 996浦沖縄文/平安/中世 13長崎継文/弥生41大浦平安 68 ー丁田鎌倉〜室町 97米山寺城室町         97米山寺城室町           14 極語縄文 42 江島弥生/古墳/平安70立ノ内中世 15長崎城跡江戸 43 江島神社古墳後別/中世 77 上橋室町 99 堀ノ内中世 16市町縄文 44 竹直神社縄/古墳/平/中世 72 東島超平安 100 東泉寺跡中世         99 堀ノ内中世 17 本年安/中世           16 市町縄文 44 竹直神社縄/古墳/平/中世 72 東島超平安 100 東泉寺跡中世         10 東泉寺跡中世           17 笹山 縄文/中世 45屋敷 深平安 73 篠井鎌倉〜室町 101上小森平安/中世 10 山平安 47 芝山縄文/中世 75 雁海城中中世 103 内山田縄文/中世 104上願寺中世 104上願寺中世 105泉城中期         104上願寺中世 105泉城中期           20 朝日池を底縄文中・後期 48 十二社跡江戸 76月田田城室町前期 104上願寺中世 105泉 城中世 22屋敷割縄文 50稲場・大宝町 78 下小野館室町 105泉 城中世 106高沢入中世 22屋敷割縄文 50稲場・大宝町 78 下小野館室町 107両毛中世 108室上寺跡 106高沢入中世 24表新田中世 52株朝 79 林泉寺跡室町 107両毛中世 108室上寺跡25 旭ノ 24表新田中世 52株朝東安 51代宮・発縄文・映明/室町 108室上寺跡 409 目の西縄文・中世 25株月 25 旭ノ端奈良・平安 53 樋田 25株別中世 81 栃ヶ原 25町 82 町 100 伝来寺跡 鎌倉〜安土 25 旭ノ端奈良・平安 53 樋田 25株別中世 81 栃ヶ原 25町 82 町 100 伝来寺跡 鎌倉〜安土 80 栃ヶ原 25町 82 下 35 樋田 25 世 82 番組文 109 目の西縄文 25 番組文 25 世 82 番組文 109 目の西縄文 25 番組文 109 目の西縄文 25 番組文 25 世 82 番組文 109 目の西縄文 25 番組工 25 世 82 番組文 109 目の西縄 25 日 25 世 82 番組工 25 日 25 日 25 世 82 番組工 25 日 25 世 82 番組工 25 日 25 日 25 世 25 租 25 番組工 25 日 25	4	大 久 保	古墳中期	32	長 崎	縄文後期	60	百木館跡	室町	88	平 沢	縄文後期
7 桐 畑 平安/中世         35 戸 々 島 縄文/弥生/古墳 63 屋 敷 内 南北/室町         91 米山 寺館 中世           8 とんび山 平安         36 畑 ヶ池北         縄文         64 代石山神社下室町         92 杉 ノ 木 平安/中世           9 出 羽 古墳中・後期         37 飛 山 縄文中期         65 島 倉 鎌倉/南北/室町         93 高 原 中世           10 袴 形 縄文         38 蜘 ヶ 池 縄/古墳/平〜近世         66 大 乗 寺跡 室町         94 立ノ内館跡 中世           11 九 戸 浜 奈良         39 木 崎 山 縄文~中世         67 下 川 原 鎌倉/安土         95 岩 寿 城跡 中世           12 坂田新田 縄文後期         40 行 法 平安         68 里 方 中世         96 浦 沖 縄文/平安/中世           13 長 峰 縄文/弥生         41 大 浦 平安         69 一 丁 田 鎌倉〜室町         97 米山 寺城 室町           14 極 詰 縄文         42 江 島 弥生/古墳/平安         70 立 ノ 内 中世         98 芋 島 縄文/平安/中世           15 長峰城跡 江戸         43 江島神社 福紀/古墳/平/中世 72 東 島 越 平安         100 東泉 寺跡 中世           17 笹 山 縄文/中世         44 竹 直神社 縄/ 古墳/平/中世 72 東 島 越 平安         100 東泉 寺跡 中世           18 蛇 池 織文後期         46 池 縁 室町         73 篠 井 鎌倉〜室町         101 上 小森 平安           18 蛇 池 瀬文後期         46 池 縁 室町         74 中央保育網前 室町         102 五 土 嵐遠跡 縄文           19 向 山 平安         47 芝 山 縄文/中世         75 雁 海 城 中世         103 内 山 田 縄文中期           20 朝日池々底         47 芝 山 銀文後期 中世         76 川 田 城 室町 105 泉 城 中世           21 北屋敷割         48 十 二 社跡 江戸戸 76 川 田 城 室町 105 泉 城 中世           22 屋敷割         49 和 東	5	長 峰	縄文後期	33	新 床	平安	61	切 通 シ	中世	89	音戸寺跡	中世~近世
8 とんび山 平安 36 蜩ヶ池北 縄文 64 代石山神社下 室町 92 杉 ノ 木 平安/中世 9 出 羽 古墳中・後朋 37 飛 山 縄文中期 65 鳥 倉 鎌倉/南北/室町 93 高 原 中世 10 袴 形 縄文 38 蜩ヶヶ池 縄乙古墳・平安 66 大乗寺跡 室町 94 立ノ内館跡 中世 11 九 戸 浜 奈良 39 木 崎 山 縄文~中世 67 下 川 原 鎌倉~安土 95 岩 手 城 跡 中世 12 坂田 新田 縄文後期 40 行 法 平安 68 里 方 中世 96 浦 沖 縄文/平安/中世 13 長 峰 縄文/弥生 41 大 浦 平安 69 一 丁 田 鎌倉~室町 97 米 山 寺 城 室町 14 樋 詰 縄文 42 江 島 弥生/古墳/平安 70 立 ノ 内 中世 98 芋 島 縄文/平安/中世 15 長峰 城 跡 江戸 43 江 島 神 社 古墳後期/中世 71 下 土 橋 室町 99 堀 ノ 内 中世 16 市 町 縄文 44 竹 直 神社 縄 15墳/平/中世 72 東 島 越 平安 100 東 泉 寺 跡 中世 17 世 山 縄文/中世 45 屋 敷 添 平安 73 篠 井 鎌倉~室町 101 上 小 森 平安 18 乾 池 縄文後期 46 池 縁 室町 74 中央保育網前 室町 102 五十嵐遺跡 縄文 19 向 山 平安 47 芝 山 縄文/中世 75 雁 海 城 中世 103 内 山 田 縄文中期 20 朝日池々底 縄文中・後期 48 十二 社 跡 江戸 76 川 田 城 室町前期 104 上 願 寺 中世 121 北屋 敷割 縄文前・中・後期 49 九 号 中世 77 小 野 城 室町 106 高 沢 入 中世 22 屋 敷 割 縄文 50 稲 場 先 室町 78 下 小野館 106 高 沢 入 中世 24 表 新 田 中世 52 林 割 平安 80 栃 ヶ 原 縄文中期/室町 108 堂 上 寺 5 地 26 古 新 田 縄文中期 54 山 原 奈良/平安/中世 82 玉 橋 中世 110 伝 東 寺 鎌倉~安土 27 巻 縄文~古墳 55 山 谷 館 83 後 谷 平安	6	人 見 山	中世	34	中 崎	平安	62	沖の原	縄文中・後期	90	大 二 反	縄文
9 出 羽 古墳中・後朋         37 飛 山 縄マ中期         65 鳥 倉 鎌倉/南北/室町         93 高 原 中世           10 袴 形 縄文         38 蜘 ヶ池 縄/古墳/平~近世         66 大乗寺跡 室町         94 立ノ内館跡 中世           11 九 戸 浜 奈良         39 木 崎 山 縄文~中世         67 下 川 原 鎌倉~安土         95 岩号城跡 中世           12 坂田新田 縄文後期         40 行 法 平安         68 里 方 中世         96 浦 沖 縄文/平安/中世           13 長 峰 縄文/弥生         41 大 浦 平安         69 一 丁 田 鎌倉~室町         97 米 山寺城 室町           14 樋 諸 縄文         42 江 島 弥生/古墳/平安 70 立 ノ 内 中世         98 芋 島 縄文/平安/中世           15 長峰城跡 江戸         43 江島神社 古墳後期/中世         71 下 土 橋 室町         99 堀 ノ 内 中世           16 市 町 縄文/中世         45 屋 敷 添 平安         73 篠 井 鎌倉~室町         100 東泉寺跡 中世           17 笹 山 縄文/中世 45 屋 敷 添 平安         73 篠 井 鎌倉~室町         101 上 小 森 平安           18 蛇 池 縄文後期         46 池 縁 室町         74 中央保育園前 室町         102 五十嵐遺跡         縄文           19 向 山 平安         47 芝 山 縄文/中世         75 雁 海 城 中世         103 内 山 田 縄文中期           20 朝日池々底 縄文文中・後期         48 十 二 社跡 江戸         76 川 田 城 室町 102 五十嵐遺跡         縄文 中世           21 北屋敷割 縄文前・中・後期         49 九 号 中世         77 小 野 城 室町         106 高 沢 入 中世           22 屋敷割         縄文 市・後期         49 九 号 中世         77 小 野 城 室町         106 高 沢 入 中世           23 西ノ畑 縄交線/平安         51 代 官 免 縄文 下外 原 島         銀文・中世	7	桐 畑	平安/中世	35	戸々島	縄文/弥生/古墳	63	屋 敷 内	南北/室町	91	米山寺館	中世
10	8	とんび山	平安	36	蜘ヶ池北	縄文	64	代石白山神社下	室町	92	杉ノ木	平安/中世
11 九 戸 浜 奈良     39 木 崎 山 縄文~中世     67 下 川 原 鎌倉~安土     95 岩 牙 城 跡 中世       12 坂田新田 縄文後期     40 行 法 平安     68 里 方 中世     96 浦 沖 縄文/平安/中世       13 長 峰 縄文/弥生     41 大 浦 平安     69 一 丁 田 鎌倉~室町     97 米 山 寺 城 室町       14 樋 詰 縄文     42 江 島 弥生/古墳/平安 70 立 ノ 内 中世     98 芋 島 縄文/平安/中世       15 長峰城跡 江戸     43 江 島 神社 古墳後期/中世 71 下 土 橋 室町     99 堀 ノ 内 中世       16 市 町 縄文     44 竹 直神社 縄/古墳/平/中世 72 東 島 越 平安     100 東泉寺跡 中世       17 笹 山 縄文/中世 45 屋 敷 添 平安     73 篠 井 鎌倉~室町     101 上 小 森 平安       18 蛇 池 縄文後期     46 池 縁 室町     74 中央保育網前 室町     102 五十嵐遺跡 縄文       19 向 山 平安     47 芝 山 縄文/中世     75 雁 海 城 中世     103 内 山 田 縄文中期       20 朝日池夕底 縄文中・後期     48 十 二社跡 江戸     76 川 田 城 室町前期     104 上 願 寺 中世       21 北屋敷割 縄文市・後期     49 九 号 中世     77 小 野 城 室町     105 泉 城 中世       22 屋敷割     縄文     50 稲 場 先 室町     78 下小野館     106 高 沢 入 中世       22 屋敷割     縄文 市・後期     49 九 号 中世     77 小 野 城 室町     106 高 沢 入 中世       23 西ノ畑 縄文後期/平安     51 代 官 免 縄文     79 林泉寺跡 室町     107 両 毛 中世       24 表新田 中世     52 林 割 平安     80 栃 ケ 原 縄文 中期/室町     108 堂 上寺跡       25 池 ノ端 奈良・平安     53 樋 田 縄交後・廃期/中世     81 栃 ヶ 原 島     109 旨 の 西 縄文       26 古新田 縄文や期     54 山 原 奈良/平安/中世     81 栃 中世     110 伝東寺跡 鎌倉~安土       27 巻 縄文~古墳     55 山 谷 館     83 後	9	出 羽	古墳中·後期	37	飛山	縄文中期	65	鳥 倉	鎌倉/南北/室町	93	高 原	中世
12 版田新田 繩文後期     40 行 法 平安     68 里 方 中世     96 浦 沖 繩文/平安/中世       13 長 峰 繩文/弥生     41 大 浦 平安     69 一 丁 田 鎌倉~室町     97 米山寺城 室町       14 樋 請 繩文     42 江 烏 弥生/古墳/平安 70 立 ノ 内 中世     98 芋 烏 繩文/平安/中世       15 長峰城跡 江戸     43 江島神社 古墳後期/中世 71 下 土 橋 室町     99 堀 ノ 内 中世       16 市 町 繩文     44 竹 直神社 繩/古墳/平/中世 72 東 烏 越 平安     100 東泉寺跡 中世       17 笹 山 繩文/中世     45 屋 敷 添 平安     73 篠 井 鎌倉~室町     101 上 小 森 平安       18 蛇 池 縄文後期     46 池 縁 室町     74 中央保育關前 室町     102 五十嵐遺跡 縄文       19 向 山 平安     47 芝 山 縄文/中世     75 雁 海 城 中世     103 内 山 田 縄文中期       20 朝日池々底 縄文中・後期     48 十二社跡 江戸     76 川 田 城 室町前期     104 上 願 寺 中世       21 北屋敷割 縄文前・中・後期     49 九 号 中世     77 小 野 城 室町     105 泉 城 中世       22 屋敷割 縄文     50 稲 場 先 室町     78 下小野館     106 高 沢 入 中世       23 酉 ノ 畑 縄文後期/平安     51 代 官 免 縄文     79 林泉寺跡 室町     107 両 毛 中世       24 表 新 田 中世     52 林 割 平安     80 栃 ヶ 原 縄文中期/室町     108 堂上寺跡       25 池 ノ 端 奈良・平安     53 樋 田 縄交後・晩期/中世     81 栃 ヶ 原 圏     109 旨 の 西 縄文       26 古 新 田 縄文中期     54 山 原 奈良/平安/中世     82 玉 橋 中世     110 伝東寺跡 鎌倉~安土       27 巻 縄文~古墳     55 山 谷 館     83 後 谷 平安     83 後 谷 平安	10	袴 形	縄文	38		縄/古墳/平~近世	66	大乗寺跡	室町	94		
13 長 峰 縄文/弥生       41 大 浦 平安       69 一 丁 田 鎌倉~室町       97 米山寺城 室町         14 樋 詰 縄文       42 江 島 弥生/古墳/平安 70 立 ノ 内 中世       98 芋 島 縄文/平安/中世         15 長峰城跡 江戸       43 江島神社 古墳後期/中世 71 下 土 橋 室町       99 堀 ノ 内 中世         16 市 町 縄文       44 竹直神社 縄/古墳/平/中世 72 東 島 越 平安       100 東泉寺跡 中世         17 笹 山 縄文/中世 45 屋 敷 添 平安       73 篠 井 鎌倉~室町       101 上 小 森 平安         18 蛇 池 縄文後期 46 池 縁 室町 74 中央保育廟前 室町 102 五十嵐遺跡 縄文       19 向 山 平安       47 芝 山 縄文/中世 75 雁 海 城 中世 103 内 山 田 縄文中期         20 朝日池々底 縄文中・後期 48 十二社跡 江戸 76 川 田 城 室町前期 104 上 願 寺 中世       105 泉 城 中世         21 北屋敷割 縄文前・中・後期 49 九 号 中世 77 小 野 城 室町 105 泉 城 中世       105 泉 城 中世         22 屋 敷 割 縄文 50 稲 場 先 室町 78 下小野館 106 高 沢 入 中世       106 高 沢 入 中世         23 西 ノ 畑 縄文後期/平安 51 代 官 免 縄文 79 林泉寺跡 室町 107 両 毛 中世         24 表 新 田 中世 52 林 割 平安 80 栃 ケ 原 縄文中期/室町 108 堂上寺跡         25 池 ノ 端 奈良・平安 53 樋 田 縄交後・晩期/中世 81 栃 ヶ 原 縄文 中川/室町 108 堂上寺跡         26 古 新 田 縄文中期 54 山 原 奈良/平安/中世 82 玉 橋 中世 110 伝東寺跡 鎌倉~安土         27 巻 縄文~古墳 55 山 谷 館	11	九 戸 浜		39	木 崎 山	縄文~中世	67	下 川 原	鎌倉~安土	95	岩手城跡	中世
14 樋 詰 縄文     42 江 島 弥生/古墳/平安 70 立 ノ 内 中世     98 芋 島 縄文/平安/中世       15 長峰城跡 江戸     43 江島神社 古墳後期/中世 71 下 土 橋 室町     99 堀 ノ 内 中世       16 市 町 縄文     44 竹直神社 縄/古墳/平/中世 72 東 島 越 平安     100 東泉寺跡 中世       17 笹 山 縄文/中世 45 屋 敷 添 平安     73 篠 井 鎌倉~室町 101 上 小 森 平安       18 蛇 純 縄文後期     46 池 縁 室町 74 中央保育廟前 室町 102 五十嵐遺跡 縄文       19 向 山 平安     47 芝 山 縄文/中世 75 雁 海 城 中世 103 内 山 田 縄文中期       20 朝日池々底 縄文中・後期 48 十二社跡 江戸 76 川 田 城 室町前期 104 上 願 寺 中世       21 北屋敷割 縄文前・中・後期 49 九 号 中世 77 小 野 城 室町 105 泉 城 中世       22 屋 敷 割 縄文     50 稲 場 先 室町 78 下小野館 106 高 沢 入 中世       23 西 ノ 畑 縄文後期/平安 51 代 官 免 縄文 79 林泉寺跡 室町 107 両 毛 中世       24 表 新 田 中世 52 林 割 平安     80 栃 ケ 原 縄文中期/室町 108 堂上寺跡       25 池 ノ 端 奈良・平安 53 樋 田 縄文後・晩期/中世 81 栃 ヶ 原 縄文     109 旨 の 西 縄文       26 古 新 田 縄文中期 54 山 原 奈良/平安/中世 82 玉 橋 中世 110 伝東寺跡 鎌倉~安土       27 巻 縄文~古墳 55 山 谷 館	12	坂田新田	縄文後期	40			68		中世	96	浦 沖	縄文/平安/中世
15 長峰城跡 江戸     43 江島神社 古墳後期/中世 71 下土橋 室町 99 堀ノ内 中世 16 市町 縄文 44 竹直神社 縄/古墳/平/中世 72 東島越 平安 100 東泉寺跡 中世 17 笹 山 縄文/中世 45 屋敷 添 平安 73 篠 井 鎌倉~室町 101 上 小 森 平安 18 蛇 池 縄文後期 46 池 縁 室町 74 中央保育園前 室町 102 五十嵐遺跡 縄文 19 向 山 平安 47 芝 山 縄文/中世 75 雁 海城 中世 103 内山 田 縄文中期 20 朝日池々底 縄文中・後期 48 十二 社跡 江戸 76 川田 城 室町前期 104 上 願寺中世 21 北屋敷割 縄文前・中・後期 49 九 号中世 77 小 野城 室町 105 泉 城 中世 22 屋敷割 縄文 50 稲 場先 室町 78 下小野館 106 高沢人中世 23 西ノ畑 縄文後期/平安 51 代 管免 縄文 79 林泉寺跡 室町 107 両 毛中世 24 表新田中世 52 林 割 平安 80 栃 ケ原 縄文中期/室町 108 堂上寺跡 25 池ノ端 奈良・平安 53 樋田 縄文後・晩期/中世 81 紙 栃 ケ原 8 縄文 109 旨の西縄文 26 古新田 縄文中期 54 山原 奈良/平安/中世 82 玉 橋 中世 110 伝東寺跡 鎌倉~安土 27 巻 縄文~占墳 55 山 谷館	13			41			69	一丁田	PARAM 33 4	97		室町
16     市     町     縄文     44     竹 直神 社     縄/古墳/平/中世     72     東     島     越     平安     100     東泉寺跡     中世       17     笹     山     縄文/中世     45     屋     敷     深     平安     73     篠     井     鎌倉〜室町     101     上     小     森     平安       18     蛇     池     縄文後期     46     池     縁     室町     74     中央保育網前     室町     102     五十嵐遺跡     縄文       19     向     山     平安     後期     47     芝     山     縄文/中世     75     雁     海     市     中世     103     内     山     縄文中期       20     朝日池々底     縄文中・後期     49     九     号     中世     77     小     野     城     空町前期     104     上     願     寺     中世       21     北     屋敷割     縄文     50     稲     場     先     室町     105     泉     城     中世       22     屋敷割     縄文     50     稲     場     先     室町     78     下小野館     106     高     沢     入     中世       23     西     ノ     畑     銀     全     四     29     本     下の野     本 <td>14</td> <td>樋 詰</td> <td>縄文</td> <td>42</td> <td>江 島</td> <td>弥生/古墳/平安</td> <td>70</td> <td></td> <td></td> <td>98</td> <td></td> <td></td>	14	樋 詰	縄文	42	江 島	弥生/古墳/平安	70			98		
17         笹         山         縄文/中世         45         屋         敷         添         平安         73         篠         井         鎌倉~室町         101         上         小         森         平安           18         蛇         池         縄文後期         46         池         縁         室町         74         中央保育網前         室町         102         五十嵐遺跡         縄文           19         向         山         平安         山         縄文/中世         75         雁         海         中世         103         内         山         田         地文中期         中世         103         内         山         田         東京         中世         76         川         田         室町前期         104         上         願         中世         77         小         野         城         中世         105         泉         城         中世         20         北         裏         財         本         室町         105         泉         城         中世         20         本         第         本         本         中世         20         本         事         本         上         願         東         上         原         市         地世         上         原         中世	15	長峰城跡	江戸	43	江島神社	古墳後期/中世	71			99	堀ノ内	
18 蛇     池     縄文後期     46     池     縁     室町     74     中央保育園前     室町     102     五十嵐遺跡     縄文       19 向     山     平安     47     芝     山     縄文/中世     75     雁     海     城     中世     103     内     山     田     縄文中期       20 朝日池々底     縄文中・後期     48     十二 社跡     江戸     76     川     田     城     室町前期     104     上     願     寺     中世       21     北屋敷割     縄文前・中・後期     49     九     号     中世     77     小     野     城     中世     105     泉     城     中世       22     屋敷割     縄文     50     稲     場     先     室町     78     下小野館     106     高     沢     人     中世       23     西     ノ     畑     縄文後期/平安     51     代     宮     縄文     79     林泉寺跡     室町     107     両     モ     中世       24     表新田中世     52     林     割     平安     80     栃 ヶ原     縄文中期/空町     108     堂上寺跡       25     池     ノ 端     会     平安     53     植     田     銀文後・喫財/中世     82     玉     橋     中世     110     伝東寺跡 <td< td=""><td>16</td><td>市町</td><td>縄文</td><td>44</td><td>竹直神社</td><td>縄/古墳/平/中世</td><td>72</td><td>東 鳥 越</td><td>平安</td><td>100</td><td>東泉寺跡</td><td>中世</td></td<>	16	市町	縄文	44	竹直神社	縄/古墳/平/中世	72	東 鳥 越	平安	100	東泉寺跡	中世
19 向 山 平安     47 芝 山 縄文/中世     75 雁 海 城 中世     103 内 山 田 縄文中期       20 朝日池々底 縄文中・後期     48 十二社跡 江戸     76 川 田 城 室町前期     104 上 願 寺 中世       21 北屋敷割 縄文前・中・後期     49 九 号 中世     77 小 野 城 室町     105 泉 城 中世       22 屋敷割 縄文     50 稲 場 先 室町     78 下小野館     106 高 沢 入 中世       23 西ノ畑 縄文後期/平安     51 代 官 免 縄文     79 林泉寺跡 室町     107 両 モ 中世       24 表新田中世     52 林 割 平安     80 栃 ケ 原 縄文中期/室町     108 堂上寺跡       25 池ノ端 奈良・平安     53 樋 田 縄文後・晩期/中世 81 栃ヶ原 B 縄文     109 旨 の 西 縄文       26 古新田縄文中期     54 山 原 奈良/平安/中世 82 玉 橋 中世     110 伝東寺跡 鎌倉~安土       27 巻 縄文~古墳     55 山 谷 館     83 後 谷 平安	17	笹 山		45			73			101		
20 朝日池々底 縄文中・後期     48 十二社跡 江戸     76 川 田 城 室町前期     104 上 願 寺 中世       21 北屋敷割     縄文前・中・後期 49 九 号 中世     77 小 野 城 室町     105 泉 城 中世       22 屋 敷割     縄文     50 稲 場 先 室町     78 下小野館     106 高 沢 入 中世       23 西 ノ 畑 縄文後期/平安     51 代 官 免 縄文     79 林泉寺跡 室町     107 両 毛 中世       24 表 新 田 中世     52 林 割 平安     80 栃 ヶ 原 縄文中期/室町     108 堂上寺跡       25 池 ノ 端 奈良・平安     53 極 田 縄交後・晩期/中世 81 栃 ヶ 原 B     縄文     109 旨 の 西 縄文       26 古 新 田 縄文中期     54 山 原 奈良/平安/中世 82 玉 橋 中世     110 伝東寺跡 鎌倉~安土       27 巻 縄文~古墳     55 山 谷 館     83 後 谷 平安	18	蛇池	縄文後期	46	1	室町	74	中央保育園前	室町	102	五十嵐遺跡	> .
21 北屋敷割 縄文前・中・後期 49 九 号 中世     77 小 野 城 室町     105 泉 城 中世       22 屋 敷 割 縄文     50 稲 場 先 室町     78 下小野館     106 高 沢 入 中世       23 西 ノ 畑 縄文後期/平安     51 代 官 免 縄文     79 林泉寺跡 室町     107 両 毛 中世       24 表 新 田 中世     52 林 割 平安     80 栃 ケ 原 縄文中期/室町     108 堂上寺跡       25 池 ノ 端 奈良・平安     53 樋 田 縄交後・晩期/中世 81 栃 ケ 原 8     縄文     109 旨 の 西 縄文       26 古 新 田 縄文中期     54 山 原 奈良/平安/中世 82 玉 橋 中世     110 伝東寺跡 鎌倉~安土       27 巻 縄文~古墳     55 山 谷 館     83 後 谷 平安	19	向 山	平安	47	芝 山	縄文/中世	75	雁 海 城	中世	103	内 山 田	縄文中期
22 屋敷割縄文     50 稲場先室町     78 下小野館     106 高沢人中世       23 西ノ畑縄文後期/平安     51 代官免縄文     79 林泉寺跡室町     107 両毛中世       24 表新田中世     52 林割平安     80 栃ヶ原縄文中期/室町     108 堂上寺跡       25 池ノ端奈良・平安     53 樋田縄交後・晩期/中世81 栃ヶ原 8     縄文     109 旨の西縄文       26 古新田縄文中期     54 山原奈良/平安/中世82 玉橋中世110 伝東寺跡鎌倉~安土       27 巻縄文~古墳     55 山谷館     83 後谷平安	20	朝日池々底	縄文中・後期	48	十二社跡	江戸	76	川田城	室町前期	104	上願寺	中世
23 西 ノ 畑 縄文後期/平安     51 代 官 免 縄文     79 林泉寺跡 室町     107 両 毛 中世       24 表 新 田 中世     52 林 割 平安     80 栃 ヶ 原 縄文中期/室町 108 堂上寺跡       25 池 ノ 端 奈良・平安     53 樋 田 縄文後・晩期/中世 81 栃ヶ原 B 縄文     109 旨 の 西 縄文       26 古 新 田 縄文中期     54 山 原 奈良/平安/中世 82 玉 橋 中世 110 伝東寺跡 鎌倉〜安土       27 巻 縄文〜古墳     55 山 谷 館     83 後 谷 平安	21	北屋敷割	縄文前・中・後期	49	九 号	中世	77	小 野 城	室町	105	泉城	中世
24 表 新 田 中世     52 林 割 平安     80 栃 ヶ 原 縄文中期/室町     108 堂 上 寺跡       25 池 ノ 端 奈良・平安     53 樋 田 縄文後・晩期/中世 81 栃ヶ原 B 縄文     109 旨 の 西 縄文       26 古 新 田 縄文中期     54 山 原 奈良/平安/中世 82 玉 橋 中世     110 伝 東 寺跡     鎌倉〜安土       27 巻 縄文〜古墳     55 山 谷 館     83 後 谷 平安	22	屋敷割	縄文	50	稲 場 先	室町	78	下小野館		106	高 沢 入	中世
25     池 ノ 端 奈良・平安     53     樋 田 縄文後・晩期/中世 81 栃ヶ原 B 縄文     109 旨 の 西 縄文       26     古 新 田 縄文中期     54 山 原 奈良/平安/中世 82 玉 橋 中世 110 伝東寺跡 鎌倉〜安土       27     巻 縄文〜古墳 55 山 谷 館     83     後 谷 平安	23	西ノ畑	縄文後期/平安	51	代 官 免	縄文	79	林泉寺跡	室町	107	両 毛	中世
26 古新田縄文中期     54 山原奈良/平安/中世82玉橋中世110 伝東寺跡鎌倉~安土       27 巻縄文~古墳55山谷館83後谷平安	24	表 新 田	中世	52	林 割	平安	80	栃ヶ原	縄文中期/室町	108	堂上寺跡	
27 巻 縄文~古墳 55 山 谷 館 83 後 谷 平安	25	池ノ端	奈良・平安	53	樋 田	縄文後·晩期/中世	81	栃ヶ原B	縄文	109	旨の西	縄文
3 1021 AX 101 A A A 12	26	古 新 田	縄文中期	54	山 原	奈良/平安/中世	82	玉 橋	中世	110	伝東寺跡	鎌倉~安土
28 丸 山 56 蟹 狭 奈良/平安/中世 84 和 田 平安	27	巻	縄文~古墳	55	山 谷 館		83	後 谷	平安			
	28	丸 山		56	蟹狭	奈良/平安/中世	84	和 田	平安			

第1表 遺跡周辺の遺跡一覧



#### 2 歴史的環境

柿崎町大久保遺跡は砂丘南斜面に立地する古墳時代中期の集落遺跡である。竪穴住居跡2軒が検出され、坩・杯・高杯などが出土した[室岡1972]。吉川町長峰遺跡では壁際にピットを伴う竪穴住居跡が確認されている。遺物の年代から4世紀初~5世紀の集落と推定される[室岡・関ほか1984]。長峰遺跡と同じ砂丘列上に位置する樋詰遺跡は、5世紀後半~6世紀前半の遺跡である。竪穴住居跡が3軒検出され、2号住居跡から甕・壺・紡錘車などが出土した[秦ほか1996]。

## D 奈良・平安時代

『和名類聚抄』「承平八(938)年]によると、越後国の管郡は頸城郡・三島郡・魚沼郡・古志郡・蒲原郡・磐船郡・沼垂郡の7郡である。また頸城郡には「沼川・都宇・栗原・原木・板倉・高津・物部・五公・夷守・佐味」の10の郷名が記され、郡のランクとしては中郡(8~11郷)に相当する [熊田1996]。他の郡は3~5の郷数である。郷数はその地の人口や耕地面積などの生産力を反映していたと考えられるから、頸城郡は人口が多く、生産力の高かった地と想定される [木村1996]。越後国府は頸城郡に所在したと記されるが、現段階では国府跡及び国分寺跡などの所在地は確定されていない。官衙関連と推定される遺跡は、国府に関連すると推定される上越市今池遺跡群 [坂井ほか1984]、『新井市史』で国分寺跡と推定される上越市本長者原廃寺遺跡、頸城郡衙に関連すると考えられる新井市栗原遺跡 [坂井ほか1982] が挙げられる。また柿崎町木崎山遺跡は、四面廂付掘立柱建物や倉庫様の総柱建物など多数の建物群が検出されており、佐味駅に関連した遺跡と考えられている [戸根1986]。このように官衙関連と推定される遺跡は幾つかあるが、今後は推定地を確定するために、遺構配置や墨書土器・木簡を含めた総合的な検討が必要である。

北陸道諸国を貫く官道は、陸上官道と公式海路がある [藤岡 1975]。天帳十 (833) 年に成立した『令義解』巻第八、厩牧令、諸道置駅馬条によると、東海道や東山道の中路に対し北陸道は小路に格付けされている。駅制を見ると、『延喜式』兵部省 [延長五 (927) 年] に「滄海8疋、鶉石・名立・水門・佐味・三嶋・多太・大家各5疋、伊神2疋、渡戸船2疋」と越後国の駅と駅馬の数が記されている。『新潟県史』では、当遺跡から北約2㎞離れた柿崎町馬正面を佐味駅に比定している [木村1986]。また馬正面に近い木崎山遺跡では、「郡」「佐巳□」と記された墨書土器が出土しており、佐味郷あるいは佐味駅に通じるものと考えられる。

周辺の遺跡では、9世紀初頭から11世紀初頭、13世紀から14世紀後半の遺跡である芋島遺跡がある。両面廂を備えた $4\times2$ 間の総柱の掘立柱建物が注目され、生け垣か柵列と考えられるピットが南東側を囲む。また完形若しくは完形に近い形で、杯や椀が一括で出土した溝も検出されている[高橋1997]。上小森遺跡は10世紀中葉から11世紀初頭の遺跡で、掘立柱建物8棟・竪穴式住居2軒・井戸1基が検出された。掘立柱建物は $4\times2$ 間の組み合わせが多く重複している。また、ほぼ同様の偏位で $5\times4$ 間の建物の中に $3\times2$ 間の建物が2棟検出されており、比較的大きな建物が縮小していったとも考慮でき、建替えの可能性も考えられている。遺物は一之口遺跡東地区[鈴木・春日ほか1994]のⅢ期に比定される[高橋1996]。

#### E 中 世

平安時代末から中世にかけて郡郷制と荘園制の発展があげられる。頸城郡の場合、国府が設置されていた関係か国衙領が多くみられるが、初期荘園・寄進地系荘園の成立もみられた。北陸地方における初期荘園は東大寺領荘園が著名であり、頸城郡では石井荘・吉田荘・真沼荘がみられる。西大寺領荘園には桜井

在・津村荘がある。柿崎町に関しては鳥羽十一面堂領の寄進地系荘園として佐味荘が挙げられる。佐味荘の史料上の初見は、『吾妻鏡』文治二(1186)年三月十二日の条である。鳥羽十一面堂は鳥羽上皇御願になるものであり、佐味の荘の成立を鳥羽院政期に想定できる[荻野1986]。佐味荘の所領関係を示す史料は文安四年(1447)まで断続的に存在し、下条・河井・高寺・柿崎・赤沢・武直・顕法寺城の地名が記されていることから、今日の柿崎町から吉川町にかけての荘域をもつ荘園であったと推定されている[木村1984]。佐味郷は寄進地系荘園の佐味荘へ変遷し、文安四年以降の史料に見えない所を見ると、戦国時代に入って消滅したと考えられる[大場・花ヶ崎1976]。

周辺の遺跡では、新保遺跡から北西約200mに位置する江島神社遺跡がある。15世紀から16世紀の遺跡で土塁と堀で区画された建物群が検出された[高橋1998]。杉の木遺跡は10世紀から15世紀の集落遺跡で、出土遺物より13世紀前半を主体とする[高橋・杉本1998]。浦沖遺跡は9世紀から15世紀の集落遺跡で、新旧関係は不明だが、共に廂を持った6間×4間、4間×2間の総柱建物が重複する。遺物は12世紀から14世紀の珠洲焼と、手づくね土師器が主に出土している[杉本・高橋1998]。樋田遺跡は13世紀から15世紀の遺跡で、村落内を溝で区画しており、掘立柱建物が69棟以上、井戸367基などが検出された[室岡ほか1989]。このように村落内に区画溝を有し、井戸を多数掘削する状況は、新保遺跡でも共通している。

## F 近 世

陸上交通が再整備され、五街道の一つである中山道追分宿から分岐し高田城下に至る脇街道が北国街道である。元来北国街道は、荘園・公領年貢の輸送路を始めとし、戦国時代でも上杉氏が軍事用道路として積極的に交通整備を進めてきた。参勤交代が始まってからは、諸藩の大名が江戸とを結ぶ交通路として賑わいを見せたが、幕府が佐渡を直轄領とし、金銀山の開発に当たった後、江戸と佐渡を結ぶ交通路としての重要度が高まり、出雲崎まで街道が延長した。柿崎宿も街道沿いの宿場町として設けられている。

柿崎町周辺は、『越後国絵図』[慶長二年(1597)] で概略を知りうる。絵図には上直海村、隣接する 竹直村の記載はあるが、江島新田はまだ存在していない。石高は上直海村535石6斗8升6合、竹直村 211石4升9合と記されている。また吉川流域に下条堰の名称が見られ、用水開削による水田開発を窺わ せる。下条堰用水の流路先は水田に没して不明だが、新保遺跡の南側を西流している、現在の町の境界線 を兼ねた用水につながる可能性が高い。坂井は15世紀から16世紀にかけて中世集落が大きく変化して いることを指摘し、その変化が体系的な水田開発を伴うものであったと推測している。用水の開削時期は 不明だが、このことから16世紀頃と推定している [坂井1996]。

一方鈴木は、慶長三(1598)年に入封した堀秀治の時代に、上直海村・竹直村を含む12村は、毎年のように水不足で干害にあい半作にもならない状況であった。そこで「岩堰取立」すなわち岩堰新設を願い出たと述べている [鈴木1996]。慶長二年の絵図で既に「下条堰」の名や用水が見られることから、この開削は規模を拡張したものとも考えられる。また鈴木も「在来の簡単な小堰を上流の大規模なせき止め引水可能な場所に移す計画」であると想像している。堀兵庫守の奉行で岩堰普請は完成し、旧新田と合わせて4000石余の水田が灌漑されることになった。天和三(1683)年の郷帳では、上直海村885石9斗余、同新田75石7斗余。竹直村720石7斗余、同新田69石4斗余と石高の増加を見たといわれ、江島新田の名も郷帳に記載されている。17世紀には高田藩が郡郷単位で大用水路から中小用水路を開削し新田開発に努めている。新保遺跡でも17世紀代の遺構・遺物が一定量認められる。

## 第Ⅲ章 調査の概要

## 1 遺跡確認調査(第3図)

平成8年度以前における新保遺跡及び新保北遺跡における確認調査は、柿崎町教委を主体として下記のように平成5・6・8年度にかけて5回実施されている。調査方法は、対象地域全体に任意にトレンチ (試掘溝)を設定し、重機・人力による掘削・精査を行う。そして遺構・遺物の有無を確認して、土層堆積状況などを記録するというものである。

その結果、段丘部ではほぼ全面的に、段丘に隣接する水田区でもほぼ全てのトレンチから遺物が出土した。土師器や須恵器など平安時代の遺物を中心として、珠洲焼など中世の遺物が混在している。また新保 北遺跡でも同様な遺物が、農道と用水路が交わる部分を中心に出土している。水田部で遺構が検出された トレンチは散在しているが、丘陵部では濃密な部分もあることが判明した。

よって確認調査の結果、本調査範囲と立会い施工範囲が次のように決められた。

[本調査範囲] ①農道に囲まれる丘陵を中心とした部分 (8,900 ㎡)→新保遺跡

②丘陵の東側に隣接する水田部分(4,000㎡)→新保北遺跡

[立 会 施 工] 遺物は出土したが遺構の密度が少ない範囲(排水路「1-5号排水路」と

新規農道「5号支線道路A'」の交点を中心とした範囲)→新保北遺跡

なお、平成 10 年度の本調査開始時点で、遺跡の範囲が東側にさらに拡大することが予想された。そのため、5 月 7 日~13 日にかけて本調査範囲の東側約 70,000 ㎡を対象に再確認調査を実施した。確認面積は1,273 ㎡で、その結果、遺跡全体の広がりは30,000 ㎡に及ぶことが確認されている。

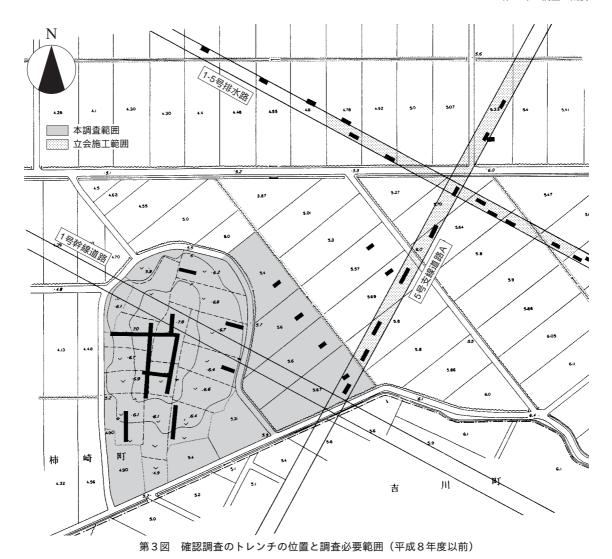
調査期間	遺 跡 名 (調査対象所在地)	対象面積	確認面積
平成5年7月19日~22日	新保遺跡(上直海字新保)	8,900 m²	336 m²
平成6年4月18・19日	新保遺跡(上直海字新保)	600 m²	34 m²
平成6年9月12・13日	新保北遺跡(上直海字八枚田1436ほか)	2,700 m²	82 m²
平成6年12月19・20日	新保北遺跡(上直海字新保1324ほか)	2,700 m²	89 m²
平成8年12月18・19日	新保北遺跡(上直海字新保1342ほか)	9,750 m²	50 m²

第2表 確認調査一覧

## 2 グリッドの設定 (第4図)

今回の新保遺跡の調査区は、新保北遺跡も含めて遺跡群全体の一端であることが確認調査の結果から判明していた。そして今回柿崎町教委が主体となって調査した江島神社遺跡も、新保遺跡から北西方向約200m程に立地しており、ほぼ同時期の遺跡であるため両遺跡の関連性が想定されていた。またほ場整備終了後の今後の開発に伴う発掘調査を考慮し、柿崎町教委と共通のグリッドを設定することにした。よって、大グリッドの方向と区割りを国土座標軸に一致させることにした。

グリッド杭の打設は測量業者に委託した。グリッドは大・小の2種あり、大グリッドは10m四方を単



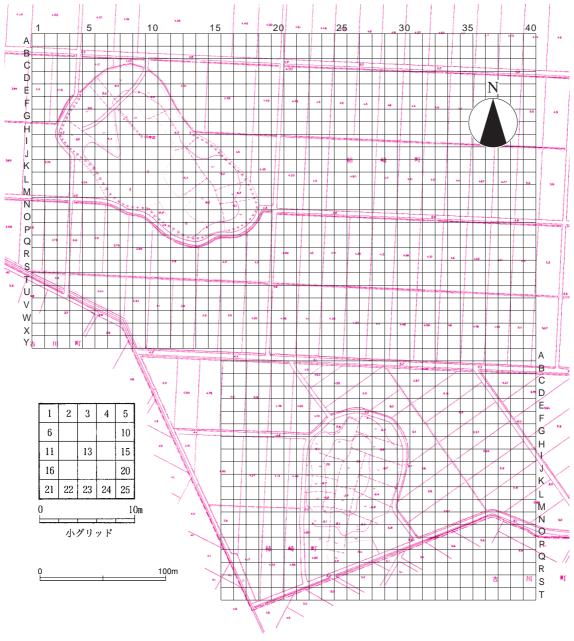
位とし、小グリッドは大グリッドを 2m四方に 25等分したものである。大グリッドの名称は、北西隅の杭を基点として東西方向を算用数字、南北方向をアルファベットとし、両者の組合せにより「25H」のように表示した。小グリッドは  $1\sim25$  の算用数字で表し、北西隅を 1、南西隅を 25 とし、「25H-1」のように大グリッド表示の後につけて呼称した。

グリッドの東西方向の基点は両遺跡共通とし、「1」の座標値は「Y=-10250」である。南北方向は 25 グリッドを 1 単位とし、それぞれ  $A\sim Y$  までのアルファベットを付した。江島神社遺跡と新保遺跡は 別単位に属し、新保遺跡の基点「A」の座標値は「X=137550」である。遺跡内では 26 P 杭の座標値が 「X=137400、Y=-10000」を示す。

## 3 調査の方法と経過

平成9年度は5月9日の委託契約締結後から本格的な調査を開始した。平成9年度の調査区約8,900㎡ は南北に長く、北側約8割が現況畑地の段丘部分、南側2割が現況水田部分であった。そのため天候が良 好なうちに水田部分の終了を予定して、南側から調査を開始した。委託締結とほぼ同時に重機を投入し、 耕作土の除去を開始した。遺構平面図の作成にはサイトシステムを用いた。土層観察のベルトを南北方向

#### 3 調査の方法と経過

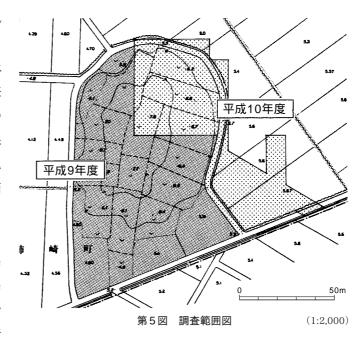


第4図 グリッド設定図

に20m間隔 (24・26・28・30ライン) で設定し、その脇に排水溝を設けた。調査区南端にも排水溝を設け、そこに全ての排水が集中して流れるようにした。当初6月までに終了すると思われたが、予想以上に遺構が集中していることが判明した。また深さが1mを超える遺構も多く、毎朝の湧水による排水作業で多くの手間を費やした。また作業員40名体制で計画していたが、月ごとの平均作業員数は6割程度の状況であった。そのような状況の中で、7月に頸城村で行われていた村教育委員会の調査が終了し、その作業員が加わることとなった。班編成を組みなおし、7月から段丘部分の調査に着手した。

段丘部の調査は南側からMラインまでを区切りとし、水田部と併行して作業を進めた。水田部より遺構密度は薄くなったが、素掘りの井戸が多数検出され、同様に手間がかかった。270区では10m四方の大グリッド内に、10基の井戸が集中して検出されている。調査区の西側ではSB2を中心とした掘立柱建物が検出され、ほぼ同時期に水田部でもSB1が検出された。両者の方向軸が揃っていることから、規格

性のある集落配置であることが確認された。MラインからKラインの間は10月から調査を開始した。また10月からは吉川町から作業員の増員を行った。調査開始後、28K・L、29K・L区に遺構の密集区が検出された。一方段丘の尾根26ライン以西からは遺構がほとんど見つからなかった。そこで26ライン以西を調査する班と、遺構集中区を調査する班に分けて調査を進行させた。26ライン以西では予想通り遺構がほとんど検出されなかったが、25H区で古墓が検出された。遺構集中区では複数の切り合いが認められ、また中・近世の素掘りの井



戸も多数存在した。遺構掘削が進行すると足場の確保が困難となり、大勢の作業員を投入することができなくなった。このままでは年度内終了は困難と考え、11月から調査員を増員して対応したが状況は変わらなかった。そこで現在調査している範囲までを平成9年度に確実に終了させ、それ以外を調査未了区として次年度に引き継ぐこととした。調査未了区は約2,000㎡で、26K杭を南西端とする。12月10日までに調査区内のベルトコンベアを撤去し、12月11日に空撮を行った。遺跡は次年度に引き継ぐことにしたが、調査区内は井戸が開口状態であったため、コンパネで塞ぎ、調査区をトラロープで囲って立ち入り禁止の看板を設置した。12日に現場内の作業を終了し、作業員を解散した。15日に文化行政課の終了確認を受け、17日までにプレハブを含めて撤収を完了させた。

平成10年度も引き続き新保遺跡の調査を受託した。当初の調査予定面積は水田部分(4,000㎡)と、 丘陵部の平成9年度未了部分(2,000㎡)を含む6,000㎡であった。調査着手前の予想では、水田部分に ついては集落の中心からややはずれた縁辺部で、遺構・遺物の量は希薄であると考えられた。

水田部分の調査は4月20日から着手した。調査範囲の北東隅から表土剥ぎを開始したところ、多量の遺物と明瞭な遺物包含層(層厚10㎝程度)が確認されたため、調査予定地は確認調査の結果内容と異なることが考えられた。また遺跡は東側へさらに拡大することが予想された。そのため4月24日に上越事業所・柿崎町教委・埋文事業団の三者で現地協議を行い、範囲を確認するための再確認調査を実施することに決定した。またその結果次第では、新保遺跡の調査面積の変更も予想された。しかし遺物・遺構密度が当初の予想より濃密であり、調査面積の変更が無い場合には期間内に終了することが困難と判断し、確定するまでは水田部分の表土剥ぎを継続して行うことにした。表土剥ぎの作業は、耕作土中にも多量の遺物が含まれたため難航した。そこで途中から重機を1台増加して対応を図った。

柿崎町教育委員会は5月7日から、南側部分についても新保遺跡が拡大していることが想定されたので 吉川町教育委員会が5月12日から再確認調査を実施した。その結果、ほ場整備工事予定地内に存在する 遺跡全体の広がりは30,000 ㎡以上に及ぶこと、その内、切土されるために発掘調査を必要とする範囲は 15,000 ㎡であることが判明した。

この場合、調査期間は3年間にも及ぶこと、施工中のほ場整備工事を休止又は地区除外しなければなら

#### 4 調査体制

ないこと、調査費が新たに7,500万円程度必要なことから、六者(上越事業所、柿崎町、吉川町、柿崎町土地改良区、吉川町土地改良区、文化行政課)で協議した結果、遺跡を発掘調査しないで、盛土保護工法で対応することとした。新保遺跡についても関連することから、調査部分の盛土工法範囲と発掘調査範囲について、6月1日に四者協議(上越事業所、柿崎町教委、文化行政課及び埋文事業団)がなされた。その結果、a. 舗装される新農道部分下、b. 丘陵部及び平成9年度調査区との隣接区、c. 水田部分で包含層が浅く盛土工法では遺物を保存できない範囲の計3,900㎡について調査することになり、平成10年度の調査面積が確定した。

遺構の平面図作成は平成9年度同様にサイトシステムを用いた。ただし、昨年度の反省から調査員が専従で当たることは不利と判断し、地元の測量業者から調査員を派遣してもらうことに決定した。段丘部分の調査は、古墓の調査と平面図の作成を除いて7月中旬までにほぼ終了し、7月23日に空撮を行った。古墓の調査は7月から調査員1名が専従して当たり、7月14~15日に奈良国立文化財調査研究所の黒崎直氏から現地指導を頂いた。また古墓は柿崎町教委と協議の結果、県内において類例が無く、非常に重要であることから型取り移築保存することに決定した。型取り作業は8月中旬に行った。

水田部分の遺物包含層の除去は7月でほぼ終了し、遺構確認を8月から開始した。漸移層が存在し、遺構確認は手間を要した。また排水溝設置作業で、遺物が集中している溝が検出されていた経緯があるため、調査員が慎重になりすぎた。溝も同様にプランの検出が困難であり、ほぼ大枠の幅で線を引き、中央部から脇へ掘り広げて遺構の肩を検出することにした。遺物は細片以外は柱として残し、地点を図面に残してから取り上げた。この溝の出土状況及び、古墓の出土状況は8月22日に現地説明会を開催し、300名を超える人の来跡があった。水田部は主に遺構確認と湧水に手間取ったが、大型建物(SB13)と溝を含む一連の建物が検出された。調査終了期限は9月末であったため、9月21日から人数調整を行い、撤収作業と併行して現地調査を進めた。水田部分の空撮は9月29日に行った。10月2日に大型建物を含む遺跡全体の完掘写真を撮影し、撤収も含めて平成10年度の調査を終了した。

## 4 調 査 体 制

発掘調査は県教委が主体となり、委託を受けた埋文事業団が下記の調査体制・期間で実施した。発掘調査体制は以下のとおりである。

[平成9年度]

調査期間 平成9年5月9日~12月17日

主 体 新潟県教育委員会(教育長 平野清明)

調查受託 (財)新潟県埋蔵文化財調查事業団 (理事長 平野清明)

管 理 須田 益輝 (専務理事・事務局長)

若槻 勝則 (総務課長)

亀井 功(調査課長)

庶 務 泉田 誠(総務課主事)

調查指導 高橋 保(調查課調查第3係長)

調査担当 石川 智紀(同文化財調査員)

調査職員 高橋洋一(同主任調査員)・村上義則(同嘱託員)・桑原 喬(同嘱託員)

#### 「平成10年度]

調査期間 平成10年4月13日~10月2日

主 体 新潟県教育委員会(教育長 野本憲雄)

調查受託 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団 (理事長 野本憲雄)

管 理 須田 益輝 (専務理事・事務局長)

若槻 勝則 (総務課長)

本間 信昭(調査課長)

庶 務 椎谷 久雄(総務課主事)

調查指導 田海 義正 (調查課調查第3係長)

調査担当 石川 智紀(同文化財調査員)

調查職員 高橋洋一(同主任調查員)・会田哲郎(同文化財調查員)・坂上有紀(同嘱託員)

## 5 整理・報告の体制

整理・報告は、県教委の委託を受けて、埋文事業団が実施した。整理期間は平成10年度10月の現地調査終了時点から、平成12年度の12月までの約2年2ヶ月である。平成9・10年度は遺物の洗浄を現場で終了させ、注記を一部まで終了させた。しかし平成10年度の出土量に対応できず、注記の大半を外部に委託した。平成9・10年度の冬期間の作業は職員3人体制で、当該年度の図面整理を中心に行った。平成9年度は職員2名、整理嘱託員4名の体制で行った。土器の接合・復元・実測、木器の実測・トレース、遺構のトレース用原図の作成作業を中心に行った。土器は4・5月に出土遺物の分類と台帳の作成を行い、8月までに接合・復元を終了した。9月に掲載遺物を選択し、10~12月中旬までに約700点の実測を行った。木器は8月から整理を開始した。特に井戸枠部材、柱痕などの大型木製品が多かったことから、全点簡易写真を撮影して台帳を作成し、そこから報告遺物の掲載を行った。実測は小型木製品を含め10月までに約140点行い、11月にトレースを終了させた。遺構の個別図は、サイトシステムのプロッターで作成した平面図と、人力作図の断面図とを照合させ、修整を行って下図とした。個別図の整理終了後、全体図の修整を行った。遺構数が多いため、12~3月までほぼ3ヶ月半と多くの時間を要した。

平成10年度は職員1名、整理嘱託員3名の体制で行った。土器の実測・トレース・写真撮影、石器の実測・トレース・写真撮影、木器の写真撮影、図版組み、原稿執筆、編集・校正が主な作業である。また4月には井戸の覆土水洗物の選別作業を行った。現地で井戸の覆土を水洗して得られた有機物が、総重量100kg弱あったため、種実等を選別するのに1ヶ月を要した。選別された有機物の一部は、遺構の性格・周辺の環境復元のために分析機関に分析を依頼した。土器は追加分約100点を7・8月に実測・トレースした。石器は5月に分類・台帳の作成を行った。実測は6月下旬~7月、トレースは8月である。9月~10月中旬に土器・石器・木器の写真撮影を行った。作業期限は12月であり、11月から柿崎町へ資料を返却するための準備作業を開始した。

全ての実測図版・写真図版の図版組みは業者に委託し、作業の効率化を図った。8月以降から委託を行った。仮レイアウトまで事業団側で行い、トレース原図及び下図を業者に入稿した。業者は図版組み終了後に随時担当者に返却し、校正を行ってからまた再入稿する形で進められた。原稿の執筆は随時行っていたが、本格的な執筆は9月以降から行い、校正・編集と併行して作業を進めた。

#### 5 整理・報告の体制

平成11・12年度の整理体制は、下記の通りである。

#### 「平成11年度]

主 体 新潟県教育委員会(教育長 野本憲雄)

整理受託 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団 (理事長 野本憲雄)

管 理 須田 益輝 (専務理事・事務局長)

若槻 勝則(総務課長)

本間 信昭(調査課長)

庶 務 椎谷 久雄 (総務課主任)

整理指導 田海 義正 (調査課調査第3係長)

整理担当 石川 智紀(同文化財調査員)

整理職員 会田哲郎 (同文化財調查員)・笹崎文子 (同嘱託員)・中川祥子 (同嘱託員) 柳谷栄子 (同嘱託員)・矢部千栄子 (同嘱託員)

#### [平成12年度]

主 体 新潟県教育委員会(教育長 野本憲雄)

調査受託 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団 (理事長 野本憲雄)

管 理 須田 益輝 (専務理事・事務局長)

長谷川司郎(総務課長)

戸根与八郎 (調査課長)

庶 務 椎谷 久雄(総務課班長)

整理指導 北村 亮 (調査課整理担当課長代理)

整理担当 石川 智紀( 同 第一班班長)

整理職員 笹崎文子(同嘱託員)・柳谷栄子(同嘱託員)・矢部千栄子(同嘱託員)

## 第Ⅳ章 遺跡の調査

## 1 層 序(第6図)

調査地域は独立丘(埋没段丘)と周辺の平坦地に分かれ、現況は段丘上が畑地、平坦地は全て水田として利用されていた。段丘部分は南北幅約100m、東西幅約75m、標高7.8~5.4mを測る。26K杭付近を頂点とし縁辺部に向かって緩やかに傾斜している。縁辺部は水田部の拡張(侵食)などにより、部分的に方形に削平されている。段丘より南側の水田部分を見ると、東側から西側に向かって緩やかに傾斜し、標高5.2~4.4mを測る。土層の観察はグリッドラインに沿って数本の観察用ベルトを残し、任意の地点で行った。しかし段丘部分と水田部分の対応関係を明確に出来なかった。これは、段丘部分で観察される地山層(原之町層)は、水田の地山層(上部高田層)下に深く潜り込んでいる(第Ⅱ章1参照)ことによる。よって、I層(表土・耕作土)、Ⅱ層(遺物包含層)、Ⅲ層(漸移層)、Ⅳ層(地山層)の大枠の基準で分層を行い、必要に応じて細分した。基本層序は段丘部分と水田部分に分けて記述を行い、色調は観察地点の色調を記した。遺構確認面はⅢ層及びIV層の上面である。

#### [段丘部分]

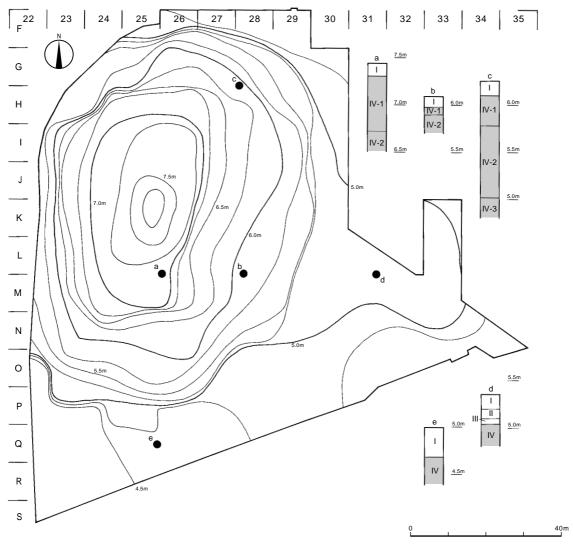
26M1区(地点a)、28L22区(地点b)、28G21区(地点c)の土層を記載した。

- I 層 暗褐色土 現畑地耕作土
- II・III 層 無し (耕作土を除去した時点で、IV-1 層またはIV-2 層が露出)。
- N-1層 褐色 (10YR4/6)~黄褐色 (10YR5/6) 土 粘性は弱く、締りが強い。ローム層で細かく均質である。段丘頂部が厚く堆積し、周縁部に向かい薄くなる。
- IV-2層 橙色 (5YR7/8)~明赤褐色 (2.5YR5/8) 粘質土 粘性有り、締り強い。緻密な粘質土で、ブロック状に堆積する。塊で崩落しやすく、遺構覆土に2~10 cm大で含まれる。
- IV-3層 灰白色 (7.5YR8/2) 粘質土 粘性有り、締り強い。緻密で均質。層中に明赤褐色土が幅 2 mm、長10 mm位で繊維状に入る。

#### [水田部分]

31M4区(地点d)、25Q15区(地点e)の土層を記載した。

- I 層 青灰色~灰黄褐色粘質土 現水田耕作土
- II 層 褐色 (7.5YR4/6)~黒褐色 (10YR3/1) 土 粘性は弱く、締りが強い。マンガン粒含む。 平安時代の遺物包含層で、段丘東側及び南東側の水田部では最大厚 20 cm位で確認できる。 しかし現農道が位置した30N~30P区を境に西側では薄く、または見られなくなる。
- Ⅲ 層 灰色 (7.5YR5/1)+褐色 (7.5YR4/6) シルト質土 粘性、締り有り。炭粒少量含む。漸 移層で、遺物が所々に混じる。Ⅱ層同様に30N~30P区を境に見られなくなる。
- IV 層 灰黄褐色(10YR5/2)シルト質土 粘性、締り有り。



第6図 調査区の地形図と基本層序

## 2 遺 構

## A 記述の方法と遺構の分類

## (1) 基 本 方 針

個々の遺構を説明するにあたっては、観察表・遺構各説・図面図版・写真図版を用いた。全ての遺構について種別・地区・出土遺物を記載した表を作成し、主要な井戸・土坑などについては規模等を記載した観察表 (第22表)を作成した。特に重要と思われる遺構は遺構各説・図面図版・写真図版での解説を加えた。遺構各説では観察表から読み取れる情報 (規模など)を特に必要な場合を除いて省き、写真図版は選択して掲載した。

### (2) 遺構番号の表記方法

遺構番号は調査年度別に、時代・グリッドに関係なく全て1番からの通し番号とし、遺構種別の後ろに番号を付した。その結果、年度によって同一の通し番号が生じるため、区別する必要から遺構種別の前に

年度を付した。ただし、掘立柱建物に関しては、調 査年度に関係なく別途に番号を付してある。

遺構種別は略称を用い、掘立柱建物を「SB」、柵列を「SA」、井戸を「SE」、土坑を「SK」、溝を「SD」、ピットを「P」、不明遺構を「SX」とした。古墓、畝状小溝については略称せずそのままの用語を用いた。

遺構名の表記例

 97
 SE
 200

 (調査年度)(遺構種別)(遺構番号)

## (3) 遺構の形態分類 (第7図)

遺構の平面形態と断面形態の分類は、和泉 A 遺跡 [荒川・加藤ほか1999] の分類基準に基づいた。

#### a. 平面形態

円 形:長径が短径の1.2倍未満のもの

楕円形:長径が短径の1.2倍以上のもの

方 形:長軸が短軸の1.2倍未満のもの

長方形:長軸が短軸の1.2倍以上のもの

不整形: 凸凹で一定の平面形をもたないもの

#### b. 断面形態

台形状: 底部に平坦面をもち、緩やか~急斜度に

立ち上がるもの

箱 状:底部に平坦面をもち、ほぼ垂直に立ち上がるもの

弧 状:底部に平坦面をもたない皿状で、緩やかに立ち上がるもの

半円状:底部に平坦面をもたない碗状で、急斜度に立ち上がるもの

U字状:確認面の長径よりも深さの値が大きく、ほぼ垂直に立ち上がるもの

袋 状:確認面の径よりも底部の径が大きく、内傾して立ち上がるもの

V字状:点的な底部をもち、急斜度に立ち上がるもの

漏斗状:下部がU字状、上部がV字状の二段構造からなるもの

階段状:階段状の立ち上がりをもつもの

## (4) 掘立柱建物・井戸・土坑・ピット

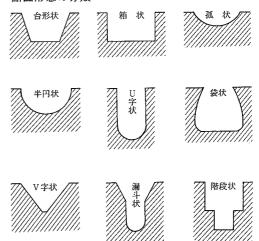
#### a. 掘立柱建物

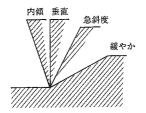
- ① 柱間の多い方向を「桁行」(長軸)、少ない方向を「梁間」(短軸)とした。
- ② 「柱掘形」は確認面での形状、「柱痕」は平面・断面及び底面で確認できる柱が位置した部分、「柱根」 は残存した柱材である。
- ③ 方位は「桁行」(長軸)方向が、北を中心に東西に偏する角度で表した。
- ④ 面積は基本的に長軸×短軸である。

#### 平面形態の分類



#### 断面形態の分類





第7図 遺構の平面形態と断面形態の分類

(荒川・加藤 [1999] より転載)

#### 2 遺 構

#### b. 井戸・土坑・ピット

- ① 平面形の規模は最大径を計っているが、部分的に極端な張り出しがある場合は、全体の形状を良く残していると思われる位置で計測している。長軸方向の計測は平面形態を考慮して計測し、短軸は長軸と直交する方向の最長部で計測した。
- ② 深度(深さ)は確認面からの最深部を計測した。
- ③ 基本的には長軸(長径)及び短軸(短径)が80 cm以上の掘り込みを井戸・土坑に分類し、それに満たない大きさの掘り込みをピットに分類した。
- ④ 井戸と土坑の分類については、深度が長軸に比して1.2倍を超えるものを基本的に井戸としたが、覆土の堆積状況や遺物出土状況を考慮して井戸に分類したものもある。

### B遺構各説

記述は時代(古墳→平安→中世→近世)、遺構種別(SB→SA→SE→SK→P→SD→SX)、調査年度  $(97 \rightarrow 98)$ 、遺構番号 (小→大) の順で行い、所属時期が不明な遺構については推定される時代の部分で 記述を行った。

#### (1) 古墳時代の遺構

#### 

古墳時代の遺物は丘陵部を中心に少量づつ散布しており、水田部を含めた遺跡全体から出土している。 よって小規模ながらも丘陵部を中心に集落が営まれていたものと思われる。しかし、明確に当期に属する と判断された遺構は数基程度と少ない。また丘陵部は後世の土地改変によりかなり削平されていることか ら、既に煙滅した遺構もあったものと思われる。以下の各説で述べる遺構は、いずれも丘陵部の頂部付近 で検出されている。

#### b. 遺構各説

#### 98 S K 38 (図版5·34)

26I15区に位置する古墳時代の土坑である。平面形は $N-75^{\circ}-E$ を長軸とする楕円形を呈する。覆土は褐色土の単層で炭化粒を微量に含む。遺物( $757\sim760$ )は甕が比較的まとまって出土している。

#### 97 S X 1204 (図版2)

25H16、26H11区に位置する平面プランが不明瞭な遺構である。長軸440㎝、底面は北側に斜方向に落ち込み、最大深度は60㎝である。覆土は褐色土の単層で、地山に複雑に入り込んでいる部分もあることから風倒木痕の可能性が高い。遺物(753~756)が全て古墳時代に属することから当期のものと判断した。

#### (2) 平安時代の遺構

#### a. 概 観

平安時代の遺物は、丘陵部で少なく、遺物包含層が残る南東側水田部から大半が出土している。遺構もこの水田部から掘立柱建物跡・井戸・溝・土坑などが多数検出されている。丘陵上にもある程度の遺構が存在していたと思われるが、後世の削平(土地改変)のため一部しか残っていない。遺構群から離れた北西側の丘陵頂部では、9世紀後半に造営された古墓が検出された。

掘立柱建物の内、SB1~4・8・9・11~14号が平安時代に所属する。建物は軸方向などから、N-72~78°—Wを示すSB1~4のグループと、N-43~48°—Wを示すSB8・9・11~14のグループに大別される。関連すると考えられる遺構内の出土遺物から構築の時間差と捉えられる。調査区南東側を中心とする前者のグループは、古墓と軸の方向を同じくすることから9世紀中~後半頃(I期)と考えられ、調査区東側を中心とする後者のグループは、隣接する溝の出土遺物から9世紀末~10世紀前半頃(II期)と考えられる。建物の柱穴配置や規模は後世の削平により明らかでないものも多いが、I・II期ともに規格性のある建物配置が認められる。井戸は方形プランで井戸枠を持つ井戸と、円形で素掘りの井戸の両者が検出されたが、数は少ない。方形プランの軸方向はII期の建物に近い。

I期のSB1とSB2は約33m程離れて位置するが、桁行の長さがほぼ等しく、梁間の方向が同一延長線上に並んでいる。SB3は削平により規模が明らかでないが、SB2に近接することから若干の時間差があると考えられる。柱掘形内からの出土遺物は少ない。SB2の柱掘形内には平安時代の遺物よりも、古墳時代の遺物が多く、この遺跡では比較的古い時期に構築されたと考えられる。

II 期は大型建物 SB13 を中心とする。SB13 の付属建物と考えられる SB12・14 は、13号と軸方向を同じくし、溝を挟んで10m西側に位置する。SB12・14の南西桁行を合わせた長さは、SB13 の桁行長と一致する。SB13号の西側に隣接した溝には遺物が数百個体集中廃棄された場所があり、完形品が複数枚重ねられた状態で出土している。この3棟は区画溝で囲まれ、北西側には柵列を持ち、南東側に畑と考えられる畝状小溝が位置している。SB8・9・11 はこの遺構群からやや離れるが、建物の軸がほぼ同じことから同時期の建物である可能性が高い。SB8 を基に規格性を考えると、北西辺の延長方向に SB11が位置し、南東辺の延長方向に SB9が位置している。それぞれの西端ピット間の距離は、SB8と SB11で約35m、SB8と SB9で約13mである。

#### b. 遺構各説

### SB1 (図版21·22·25)

 $23 \cdot 24$ Q、 $23 \cdot 24$ R区に位置する掘立柱建物である。桁行4間(9.8m)×梁間2間(6.4m)で、平面形は長方形を呈する。主軸はN-78°-Wとほぼ東西方向である。平面積は約63 ㎡で、束柱穴及び廂柱穴は無い。柱間寸法は北側桁行が $220 \sim 260$  cmとばらつくが、南側では $230 \sim 240$  cmとほぼ等間であり、梁間は両辺とも $300 \sim 310$  cmのほぼ等間である。柱掘形は長軸 $110 \sim 150$  cmとばらつきがあるものの、ほぼ方形を呈する。深さは $16 \sim 56$  cmとばらつき、桁行方向の深度が深い。柱痕が確認された柱掘形では、柱痕がほぼ垂直に観察されることから、抜き取られた可能性は低い。柱径は25 cm前後と推定される。

97P725の東側には切り合う形で97P1321が検出されたが、新旧関係は確認できなかった。他の柱掘形と形態・規模が類似することから、部分的な建替え、または補強的な性格が考えられる。

#### SB2 (図版15·25)

 $24 \cdot 25$ M、 $24 \cdot 25$ N区に位置する掘立柱建物である。桁行4間(9.6m)×梁間3間(8.0m)で、平面形は長方形を呈する。主軸はN -73° - Wとほぼ東西方向で、約33m程南に位置するSB1と桁行長・梁間方向をほぼ同一にする。平面積は約77㎡で、東柱穴及び廂柱穴は無い。柱間寸法は、桁行が両辺とも $230 \sim 240$ cmとほぼ等間だが、梁間が $230 \sim 270$ cmとばらつく。柱掘形は97P1432のように楕円形を呈するものもあるが、基本的には方形を呈する。柱掘形は長軸 $70 \sim 140$ cm、深度 $10 \sim 84$ cmとばらつくが、これは建物の南側の8割以上が斜方向に大きく削平されている結果による。削平の少ない北辺

#### 2 遺 構

桁行の柱掘形の形状は、柱を据える部分が階段状に1段低くなっている。他の柱掘形はこの1段低い部分のみが残存していたと思われる。柱痕は柱掘形の全ての底面から、灰白色に粘土化して確認されている。しかし柱掘形の覆土除去時点では柱痕は確認されず、また底面に達する柱痕覆土は斜方向に観察されていることから、柱は抜き取られた可能性が高い。底面の柱痕から柱径は25㎝前後と推定される。

#### SB3 (図版16·26)

26N区に位置する掘立柱建物である。後世の削平のため全体規模は不明だが、桁行4間  $(9.8 \text{m}) \times$ 梁間1間又は2間 (4.4 m) と推定される。柱間寸法は桁行で220~250 cmとややばらつく。主軸はN-72°-Wとほぼ東西方向で、柱掘形は長軸78~90 cmの方形を呈する。深度は10~34 cmと浅い。南辺桁行の97P2604のプランは不明瞭で、わずかに褐色の覆土が残存しているのみであった。柱痕は北西端の97P2605で検出され、柱径は24 cm前後と推定される。

#### SB4 (図版14·26)

23N・O区に位置する掘立柱建物で、後世の削平のため西側の規模は不明である。また南東端のピットは室町時代の井戸により切られている。 $SB1\sim3$ の状況から、 $N-73^{\circ}-W$ のほぼ東西方向の主軸が想定される。桁行2間 (5.4m)×梁間1間 (5.4m) が検出され、柱間寸法は桁行が270 cmの等間で、梁間はその倍数となっている。柱掘形は長軸90~112 cmのほぼ方形を呈し、深度は38~60 cmである。柱痕は97P2610を除いて検出されたが、断面が西側に傾いているピットもあり、抜き取られた可能性もある。柱径は21 cm前後と推定される。

#### SB8 (図版3·4·26)

29G・H区に位置する掘立柱建物で、後世の削平により東側が湮滅しているため、全体規模は不明である。北西辺2間  $(5.0 \,\mathrm{m})$ 、南西辺1間  $(2.3 \,\mathrm{m})$  が確認され、軸方向が $\,\mathrm{N}-48\,^\circ-\mathrm{W}\,\varepsilon$ をす。柱痕等は確認できず、推定柱間距離は北西辺250  $\,\mathrm{cm}$ 等間、南西辺230  $\,\mathrm{cm}$ である。柱掘形はほぼ方形を呈し、長軸50~73  $\,\mathrm{cm}$ 、深さ28~34  $\,\mathrm{cm}$ である。掘形埋土は褐色土を基本とし、固く締まる。

#### SB9 (図版7·26)

 $30\text{H}\cdot\text{I}$ 区に位置する掘立柱建物で、後世の削平により北側及び柱掘形の上部のほとんどが湮滅している。桁行 5間(11.0m)が確認され、軸方向が  $N-48^\circ-\text{W}$  をなす。柱痕等は確認できなかった。推定柱間距離は97P743-P792間で  $180\sim200\,\text{cm}$ とほぼ等間をなすが、97P792-P732間で  $250\,\text{cm}$ 及び  $300\,\text{cm}$ と広がる。柱掘形はほぼ方形を呈し、長軸  $80\sim95\,\text{cm}$ 、深さ  $18\,\text{cm}$ 以下である。

#### SB11 (図版5·29)

 $26 \cdot 27$ J区に位置する掘立柱建物で、後世の削平により東側が湮滅しているため、全体規模は不明である。北西辺 2間(5.4m)、南西辺 2間(4.5m)が確認され、軸方向が N -48° - W をなす。推定柱間距離は北西辺 270 cm等間、南西辺は 200 cm および 250 cm である。柱掘形は方形ないし楕円形で、長軸 65  $\sim 100$  cm、深さ  $40 \sim 70$  cm を測る。 98P641 の底面西寄りで柱痕が確認され、柱径は 22 cm 前後と推定される。

#### SB12 (図版19·28)

 $31 \cdot 32$ N区に位置する掘立柱建物で、全体の規模が桁行4間 (9.3m)×梁間3間 (7.0m) を呈し、床束柱を持つ。北東辺と南東辺に位置する柱掘形は比較的小規模なため、この部分はL字状を呈する母屋と別の施設の可能性がある。また北東部分の柱間 (260 cm程) の中央にはそれぞれ柱が存在し、補強されたような感じがある。主軸は $N-43^{\circ}-W$ で、SB13 · SB14と桁行方向を同一にする。平面積は約60 ㎡

で、柱間寸法は200~250 cmである。柱掘形の規模はばらつくが基本的に楕円形を呈し、深度は30~50 cmである。柱痕から柱径は25 cm前後と推定される。

#### SB13 (図版12·13·20·27)

 $31\sim33$ L、 $32\cdot33$ M区に位置し、主軸方向はN $-44^\circ$ -Wをなす。調査区外に一部かかり不明部分があるが、全体の規模は桁行10間(22.5m)×梁間4間(10.7m)、平面積が約241㎡と大型の建物である。構造としては母屋が桁行9間×梁間2間、北東・南東・南西の3面に1間の廂をもつ建物と推定され、母屋中央に床束柱を持つ。溝が近接し、北東を98SD899、南西・北西を98SD1000に囲まれる。柱掘形は不整な円形を呈し、規模は長軸90~150㎝でほとんどが100㎝前後、深度は50~110㎝である。柱間寸法は桁行が200~250㎝、梁間が260~280㎝と梁間方向が広い。98P1212のみから径約24㎝の柱根(木78)が検出されている。南西に位置するSB12・SB14と桁行方向を同一にし、同時期に建てたものと思われる。

#### SB14 (図版11·12·28)

 $30 \cdot 31$ M区に位置する掘立柱建物で、全体の規模が桁行 3間(6.6m)×梁間 2間(4.6m)、平面積は約 30 ㎡である。南東面の 1 間はピット規模から、廂または入り口施設と思われる。南端のピットは検出できなかった。主軸方向は  $N-43^\circ-W$ で、SB12 · SB13 と桁行方向を同一にする。柱掘形はほぼ方形を呈し、長軸  $135\sim170$  cm、深さ  $100\sim130$  cmを測る。柱間寸法は桁行・梁間とも  $220\sim240$  cmである。北西辺の  $98P1397 \cdot P1335 \cdot P1252$  には径  $25\sim30$  cmの柱根(木  $69\cdot70\cdot71$ )が良好に残存し、 $98P1335 \cdot P1247$  を除くピットから礎板または根固めと思われる加工木材が出土している。

#### SA(図版11)

98P1362から98P814方向へ延びる柵列で、軸方向はN $-42\degree$ -Eをなす。5間(13.7m)分が検出されたが、調査区外へ続く可能性を残す。当初は建物のピットと考えたが、対応するピットが少ないことから柵列と判断した。しかし、98P1362-98SE1370、98P816-98P8460・98SE1377を結ぶラインは柵列と直交している。また98P846からは径約27cmの柱痕(木76)が出土している。柵列の柱掘形は長軸80~120cmの方形または楕円形を呈し、深度は50~105cmとばらつくが60cm位のピットが多い。柱間寸法は240~260cmである。

#### 97 S E 5 (図版 18 · 56)

29N19区に位置する井戸で、方形の井戸枠(木80~83)が残存する。掘形は無く、枠を上方で組上げた後に、壁面に押し下げて止めたような様相を呈する。枠の内径は長軸82cm、短軸65cm、木組みは打抜ホゾで南北の枠木にホゾ穴を持つ。井戸側と判断されるものは検出されなかったが、スギの皮と思われる破片が同一覆土中に散乱しており、これを井戸側としていた可能性がある。覆土は底面付近ほど粘性が強いが、全て同質の土である。

#### 97 S E 200 (図版 17 · 52)

29N16・17区に位置する井戸で、南東方向からの土圧によって崩落したと思われる井戸側(木84~109)が残存している。斜面部下端の変換する部分に位置し、上面が現代用水路と中世の溝(97SD2)の攪乱を受けていたことからプランの検出は困難であった。井戸の崩落後(廃絶後)に井戸側の一部は抜き取られたものと思われ、北西辺にあたる側板は無い。側板は92・94のように井戸側の木組みと無関係なホゾ穴や加工痕があることから再利用品と思われ、また105・106のように長さ調整のために下部が削り取られたと思われる側板もある。掘形断面は階段状で、平面形は上部が方形を呈するが、下部はほ

#### 2 遺 構

ぼ円形を呈する。側板は中段の平坦面を基面に設置されており、南西辺以外の側板はずれ落ちたものと考えられる。水溜部分には意図的に入れたと思われる径5cm前後の円礫が多量に出土している。遺物(82~86)は破片が多い。

#### 97 S E 517 (図版 10 · 44)

29M6区に位置する素掘りの井戸である。丘陵部上で検出された数少ない井戸の一つで、ほぼ円形を呈する。④層は両壁面にあり、掘形埋土であった可能性もある。遺物(88~91・石100)の出土は少ないが、底面付近から緑釉皿(88)の底部が出土している。

#### 98 S E 674 (図版4 · 32)

29F5・10区に位置する素掘りの井戸である。調査区内の最北東端で検出された井戸で、締りの緩い 土が堆積する。土師器小皿(119)が出土した②層下位は未分解植物を含む。未分解植物の種実同定の結果(p86)、クサギ、メロン仲間が出土している。

#### 98 S E 709 (図版4 · 34)

30H8区に位置する素掘りの井戸で、98P708を切る。平面形は $N-37^\circ-E$ を長軸とする楕円形を呈する。深度 120 cmと浅いが、堆積状況から井戸と判断した。覆土は7層に分層されるが、上半の①~④層では土師器( $123\sim126$ )が多く、⑥・⑦層では須恵器甕( $120\sim122$ )が混じって出土している。

#### 98 S E 764 (図版 13 · 48)

33L12区に位置する素掘りの井戸で、ほぼ円形を呈する。SB13の雨落溝と考えられる98SD899の覆土除去中に検出された。覆土の色調が近似していたため新旧関係は不明である。覆土は5層に分層され、①~④層は地山土を含んだレンズ状堆積を呈する。底面付近は青みがかった灰白土と未分解植物を含んでいたことから⑤層は細分が可能と考えられる。⑤層から径5㎝前後の偏平礫が多量に出土している。遺物(127~131・769)は土師器椀が多く、鍋の耳状鉄製品(他37)なども出土している。未分解植物の種実同定の結果(p86)、木本7分類群、草本18分類群が出土し、草本のイネ、オオムギ、アサが比較的多産している。骨片も検出され、ウマ上顎臼歯と同定(p92)されている。

#### 98 S E 1124 (図版 20·58)

3301区に位置する井戸で、方形に組んだ井戸側(木110~138)が残存する。調査区の排水溝切りの作業中に検出されたため、掘形上面の形状は不明確であるが、ほぼ方形を呈していたと思われる。また98SD1000との新旧関係は確認することができなかった。井戸側の軸方向はやや東偏し、掘形に対してやや南東方向に寄る。西辺以外は数次にわたる補修の痕跡が窺え、特に北辺に側板が多い。元々軟質地盤であること、利用者が北側方向から利用(建物が井戸の北側に位置する)していたと考えられることなどから、北側が特に崩れやすかったためと推測される。また井戸側側板は97SE200同様に全て再利用品と考えられるが、側板自体が下部も摩滅しているため、上下を反転しての複数回に渡る利用がなされたと考えられる。木組みは東西桟木が両端を凹状に加工し、南北桟木の打抜ホゾを受ける形を取る。

遺物は④層下部から⑥層にかけて出土し、特に枠木より約  $30\sim50$  cm下には厚さ  $1.0\sim1.5$  cmの板材が数十枚廃棄されていた。またその下部からは、完形の土器( $441\cdot443\sim447$ )が木製皿(木  $3\cdot$  育串(木  $1\cdot2$ )・刀子(他 34)とほぼ同レベルで出土している。土器などは意図的に入れたものと考えられ、井戸に関わる祭祀を行った際の遺物と考えたい。未分解植物も多く、種実同定の結果(p87)、木本 15 分類群、草本 20 分類群、その他に菌核が出土した。モモ等も含まれている。

#### 97 S K 92 (図版 18 · 56)

29N20区に位置する土坑である。井戸枠を持つ97SE5・97SE200に近い。①層とした径25cm程のピット状の落ち込みは、近接する新しい時期のピットの覆土とは明らかに異なる。ほぼ中央に位置しており、性格は不明であるが、土坑を埋める際に伴うピットの可能性もある。遺物(77~81)は他の土坑と比較して相対的に多い。97SK92より約6m程南に位置する97SK91は、規模・形態・覆土が類似し、同時期の遺構と考えられる。

#### 97 S K 969 (図版 21 · 59)

23R24区に位置する土坑である。出土遺物は無いが、周辺に室町時代以後の遺構が存在しないことから平安時代に属すると思われる。覆土は暗褐色土を基本とし、3層に分層される。調査区の南西端に位置し、SB1に伴うものと考えられる。

#### 97 S K 1154 (図版 23 · 62)

 $26Q15 \cdot 20$ 区に位置する土坑である。遺物( $96 \sim 101 \cdot 76$  石 81)が比較的多い土坑で、③・④層からの出土が多い。④層は炭粒を多く含み、被熱した礫も含む。また新保遺跡では出土数が少ない墨書土器片(99)が出土している。

#### 97 S K 1100 (図版 16 · 50)

27N21区に位置する土坑で、SB3に近接する。長軸3mを越す大型の土坑だが、深度は最大で36cmと 浅い。遺物は少なく、土師器の長甕が1点だけ出土している。底面は中央部に向かって緩やかに傾斜し、 覆土は基本的にレンズ状をなすことから自然に堆積したと思われる。

#### 98 S K 884 (図版 13 · 48)

33K12・17区に位置する土坑である。平面形はN-25°-Eを長軸とする不定形で、深度 18 cmと浅い。覆土は黒褐色土の単層で、炭化粒と褐灰色土が全体的に含まれる。断面は中央部がやや尖り気味の弧状を呈する。遺物( $140\sim143$ )は土師器椀が主体だが、緑釉陶器も出土している。SB13に伴う時期の土坑と考えられるが、98SD899・98SD893を間に挟んでいる。

#### 98 S D 893 (図版 13 · 68)

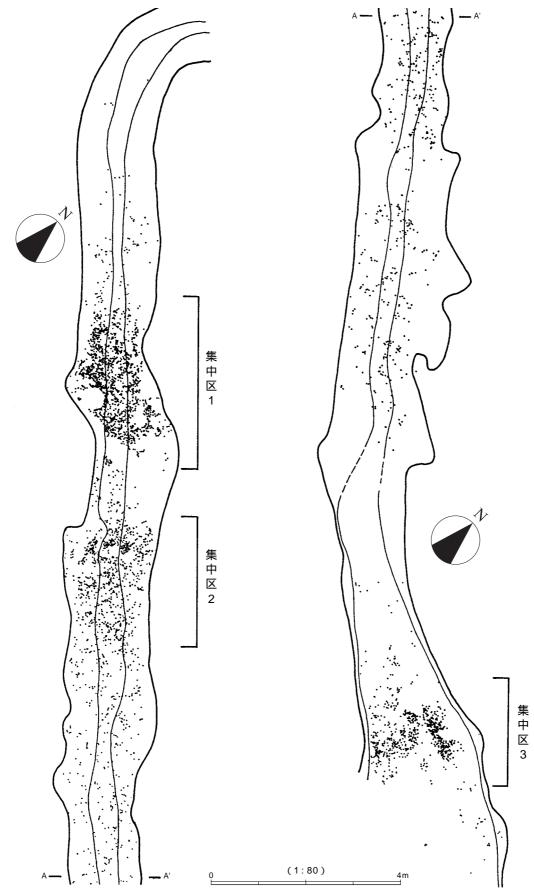
33K16区から 33L15区方向に延びる溝で、98SD899 と同様に SB13 を囲む区画溝と考えられる。 33L3区で室町時代の 98SE958 に切られる。幅は  $50 \sim 80$  cm、深度は最大で 25 cm程度、溝底面は北西から南東に向かって傾斜する。覆土は黒褐色の単層で、炭化粒を部分的に含む。

#### 98 S D 899 (図版 13 · 68)

33K21区から  $33M5 \cdot 10$ 区方向へ延びる溝で、 33L23区付近で二股に枝分かれする。遺物の出土状況から溝の掘り込みはII層(包含層)中にあることが推定されたが、確認できなかったためIII層(漸移層)上面でプラン確認を行った。全体的にプランは不明瞭で、いくつかの遺構が重複している可能性が高い。またこの溝はSB13の区画溝と雨落溝を兼ねた溝と思われるが、枝分かれ部分はSB13の柱穴と重複する。基本的には 98SD1000 とほぼ同規模の溝で、幅 180 cm以下と考えられる。溝底面は緩やかに北西から南東に向かって傾斜し、深度は  $8\sim30$  cmを測る。遺物( $144\sim179$ 、石  $27\cdot64$ )は 98数出土したが、細片が多い。

#### 98 S D 1000 (図版 12 · 20 · 68)

この溝は98SD899と共に、区画溝と雨落溝を兼ねた溝と思われる。SB13の南西側に桁行方向に沿って隣接し、31L8・9区から34O1区方向に延びる。走向方向はN-43°-Wだが、31L8区でSB13を



第8図 98SD1000出土遺物分布図

取り巻くように直角に曲がる。排水溝の掘削中に検出され、その断面観察の結果、溝の掘り込みはII層(包含層)中にあることが確認されたが、全体的なプランの確認はIII層(漸移層)の上面で行った。全体的にプランが不明瞭であり、溝幅は一定していない。何度もオーバーフローを繰返したものと思われる。溝幅は340杭付近で3.0mと広がるが、基本的には150~180cmである。断面は弧状を呈するが、32M19区から33N12区の長さ10m程の範囲では、中央が一段低くなる漏斗状を呈している。溝底面は緩やかに北西から南東に向かって傾斜している。確認した深度は25~30cmであるが、本来の深度が観察される32M1区の断面では40cm弱を測る。

溝から出土した遺物は多量で、大半が9世紀第4四半期~10世紀第1四半期頃の時期に属する。遺物が集中する場所は3ヶ所あり、それぞれ「集中区1~3」と仮称する。集中区1は32M杭付近を中心とした約3.5×1.5mの範囲、集中区2は32M7・12区を中心とした約3.0×1.5mの範囲、集中区3は33N25区を中心とした約2.4×2.0mの範囲である。その内集中区2・3は完形品も含むが、その主体は破片である。それに対して集中区1からは、完形品に近い土師器椀や内面黒色土器椀・皿が数百個体、複数枚重ねられた状態で出土している。祭祀行為に伴う遺物(斎串など)が共伴していないことから、これは大規模な饗宴後の食器類の一括廃棄行為と推定される。重ねられていた土器に一定したセット関係は見られなかった。同様な食器類の一括廃棄行為は、和島村下ノ西遺跡 [田中1998] のSK01で既に確認されており、1000個体を超える土器が出土している。

#### 98 S D 1028 (図版 18 · 19 · 68)

30M19区から 31N23区方向に延びる溝である。プランは不明瞭で検出が困難であった。溝幅  $110\sim245$  cm、深度  $10\sim28$  cmを測る溝の底面は凹凸が著しい。南東の延長方向に位置する 98SX1024 · 98P1018 などは一連の遺構である可能性が高い。

#### 98 S D 1073 (図版11·18·68)

30M8区で直角に曲がる溝で、約8m離れて並走する98SD1310同様に、SB14の区画溝兼雨落溝と考えられる。溝は北東方向が31L8区で98SD1000と連結し、南東方向は31M21区で終結する。しかしその延長方向に位置する同規模の98SD1033・1034などは一連の溝である可能性が高い。溝底面は北西から南東にほぼ平らで、溝幅が約55cm、深度約15cmを測る。

#### 畝 状 小 溝 (図版 20 · 68)

33・34N区に位置し、98SD1000よりやや西偏したN-52°-Wの方向へ走る。遺構番号は98SD1043~1049・1051・1052・1166・1261が相当する。98SD1261は98SD1000に切られる。大型建物SB13の南西に近接し、軸方向もほぼ同じことから同時期に営まれたものと考えられる。33・34M区へも若干延びていると思われるが、確認面の掘り下げすぎにより検出できなかった。溝は幅約30cm前後、深度5cm以下と一定している。

#### 97 S X 48 (図版 24 · 66)

29P24区から30P12区にかけて位置する遺構で、大半は調査区外に延びる。調査時点では一連の遺構と判断したが、平面プランが長方形を呈する遺構(東側)と、楕円形を呈する遺構(西側)に分割される可能性が高い。東側は底面がほぼ平らな浅い台形状を呈し、覆土は単層である。西側は中央部に向かって緩やかに傾斜する弧状を呈し、覆土がレンズ状に堆積する。遺物(74・75)は細片が多いが、西側の遺構の底面付近から多く出土している。

### (3) 中世の遺構

#### a. 概 観

丘陵部で検出された遺構の大半は、出土遺物から15世紀に属する。千基を超える径20~30㎝程の掘立柱建物の柱穴、百数十基の井戸跡、区画溝などが検出されている。遺構の集中区は3ヶ所(集中区1~3)あり、区画溝(97SD2・100・1500)によって規制されている。集中区1は28・29K、28・29L区を中心とした部分で、丘陵頂部からやや南東方向へ一段下がった平坦面に位置する。遺構密度が最も高いが、近世の遺構も少なからず重複している。時期による覆土の違いは見られない。集中区2は27~29O・P区を中心とした部分で、一番広範囲である。丘陵縁辺部から水田部分に渡っており、旧地形では高い部分だったと考えられる。集中区3は24・25O、24・25P区を中心とした部分である。中央部からやや下がった丘陵の縁辺部で、24P区は大きく削平されている。他に27・28G、27~29H区も遺構は多いが、集中区よりも密度が希薄で、近世に属する遺構も多く混在している。それに対し、丘陵頂部より西側(26ライン以西、Mライン以北)の遺構は希薄であり、北西からの強い季節風を避けるための集落配置が窺える。

掘立柱建物のピットは数多く検出されたが、数回の建替えによると思われる重複のため、建物の柱穴配置を把握するまでに至らなかった。集中区1で検出されたSB7は、中世に属する可能性が高いが明確ではない。しかし建物配置の方向性としては、SB7同様に、斜面の傾斜方向に対して桁行を垂直に向けていたと思われる。井戸もほぼ集中区に重なるように多く検出され、建物の近くに構築されていたことが窺える。しかし270区で検出された10基程の井戸群は、集中区2よりやや北西に離れ、さらに標高が高い位置に構築されているという特異な状況を示す。井戸は全て素掘りの井戸で、枠や曲物等の井戸側を設置しているものは無かった。井戸の確認面での平面プランはほとんどが円形及び楕円形だが、底面付近で方形を呈するものもあり、上面の地山が崩落したものが多いことを示す。底面付近の覆土に未分解植物を含むものは多く、水洗によって多数の大型種実を検出している。井戸内からは石造物が数点出土しており、墓も遺跡内の近い場所にあったと考えられる。土壙墓が28F区で1基だけ検出されており、集中区から北方向の離れた場所に埋葬されている。溝は遺構集中区を分割するような位置に存在することから、区画としての役割が主目的だったと思われるが、97SD100の26P・Q区で見られる状況は、水を利用した作業場を想定させる。またこの溝は出土遺物から、近世まで埋没せず使用されていたと考えられる。

#### b. 遺構各説

### SB7 (図版10·30)

 $28 \cdot 29$ L、 $28 \cdot 29$ M区に位置する掘立柱建物である。桁行4間(11.0m)×梁間1間(4.5m)で、長短比が5:2の長方形を呈する。主軸はN-4°-Eと南北方向で、立地する斜面の傾斜方向に対してほぼ直交する。平面積は約50㎡で、東柱穴及び廂柱穴は無い。桁行の柱間寸法は中央と両端で異なり、中央が約300cmあるのに対し、両端は約240cmと狭い。深度は $60 \sim 85$ cmとほぼ一定している。

#### 97 S E 6 (図版 18 · 55)

29N8・9区に位置する素掘りの井戸で、確認面のプランがほぼ長方形を呈する。確認面プランが方形または長方形を呈する井戸は少ない。覆土は基本的にレンズ状の堆積をなすが、木片等が①層中から含まれていることや、その出土状況から人為的な埋め土である可能性が高い。底面付近から連歯下駄(木36~39)が片方づつ計4点出土している。

#### 97 S E 50 (図版 17 · 55)

29〇1区を中心に位置する素掘りの井戸で、長軸が330㎝を越す大型の井戸である。南東で97P64を切る。調査は深度220㎝まで掘り下げたが、壁面の崩落が激しくて中断したため底面を確認していない。①~③層から珠洲焼甕片・自然礫が多く出土し、接合率も高い。この井戸が埋まった後に意図的に廃棄されたものと思われる。⑦層中には藁のような未分解植物を多く含み、壁面の崩落によると思われる地山のブロック土も多く含まれる。湧水のため出土状況を把握できなかったが、⑦層から地輪(石24)、漆器(木11・12)、筒型容器(木31・32)・樹皮草履(木42)等が出土している。

#### 97 S E 109 (図版 23 · 61)

26P21区に位置する卵形に近い楕円形の素掘りの井戸で、西側で97SE110を切る。調査は深度220cmまで掘り下げた時点で終了した。覆土は5層まで分層したが、⑤層の下層は粘質が高い暗褐色土に変わるため細分される。④層で厚さ5mm以下の薄い炭層が帯状に混じるが、性格は不明である。焼土のようなものは確認できなかった。⑥層上面には人為的につき固めたような締まった土があり、①~④層まで水平堆積をなすこと等からも、埋め戻された井戸と考えられる。遺物では踏鋤(木68)の出土が注目される。

#### 97 S E 553 (図版 10 · 44)

28M1区に位置する素掘りの井戸で、南東側で97SE522を切る。越前焼の甕片(549)が出土しており、中世の中では比較的時期の新しい井戸であるが、特に形状的な差異は認められない。

#### 97 S E 598 (図版 16 · 51)

27022区に位置する素掘りの井戸で、底面から約50cm上まで人頭大以上の自然礫が廃棄されていた。 礫は被熱しているものもある。覆土は3層に分層され、深い部分ほど粘性が高くなるが土質的な差は明確 でない。礫廃棄後に人為的に埋め戻された土と思われる。礫中から連弁文が刻まれた宝塔相輪(石13) が出土している。

#### 97 S E 773 (図版 17 · 52)

28N21区に位置する遺構で深度は86cmと浅いが、検討の結果、素掘りの井戸と判断した。調査時は底面全面に、周辺の地山と同色調の固く締まった土が検出されたため、完掘と判断していた。しかし覆土に自然堆積の様相が見られない、底面が傾斜している、また97SE109のような人為的なつき固めの事例があることから、深度はさらに深いと思われる。井戸がある程度自然に埋まったか人為的に埋めた時点で、つき固める行為をし、さらに埋め戻しを行ったものと考えられる。

#### 97 S E 1957 (図版10 · 41)

28K18・23区に位置する素掘りの井戸で、長軸が340㎝を越す大型の井戸である。南側を97SE1958に切られる。断面は極端な漏斗状を呈する。覆土はレンズ状堆積をするが、所々に地山の深い部分に存在する土を挟んでいることから、他の遺構を構築する際に土捨場として利用された可能性がある。

#### 97 S E 2021 (図版10 · 43)

28L12区に位置する素掘りの井戸で、底面付近から木製品・木材が他の遺構より比較的多く出土した。 曲物(木 $25\sim27$ )、箸(木46)、火鑽板(木56)等がある。ゴミ捨場として廃棄された可能性が高い。 97 S E 2022(図版  $10\cdot42$ )

29K17・22区に位置する素掘りの井戸で、南側を97SE1839に切られる。推定長軸120㎝と比較的小型だが、深度は238㎝と深い。断面の最低幅は70㎝程度で、人間が入って土を掘り上げることが出来る限界の幅と思われる。石製品が他の遺構より比較的多く、③層部分を中心に出土している。一括して廃

#### 2 遺 構

棄されたと思われ、石臼(石6)、石鉢(石9・11)、地輪(石21・22)が出土している。

#### 97 S E 2706 · 2707 (図版 15 · 49)

2503・4・7・8区に位置する素掘りの井戸で、南西側に位置する97SE2706が97SE2707を切る。また97SE2706はその南西側の97SE2703も切っている。97SE2706と97SE2707は両井戸とも長軸が250㎝を越す大型の井戸である。97SE2706の覆土は22層に分かれ、各層がブロック状を呈していることから人為的に埋められた可能性が高い。基本的には南西方向に傾斜している。一方97SE2707は南東方向に傾斜する堆積を示す。この土の大部分は周辺の地山の色調と類似することから、他の遺構を構築する際に土捨場として埋められたものと考えられる。両井戸から遺物は出土していない。

#### 98 S E 258 (図版7·37)

2915・10、3011・6区に位置する素掘りの井戸で、98P261に切られる。平面形は円形に近い方形を呈する。①層~③層の上半から同一個体と考えられる珠洲焼甕片(603)が出土した。上部の層序は基本的にレンズ状堆積を示すが、遺物が中央部に向かって急傾斜な面を持って出土していることから、廃棄行為を伴う埋め土とも考えられる。他に器種不明の瓦器(606)が出土している。

#### 98 S E 392 (図版7·36)

29H19区に位置する素掘りの井戸で、北側に緩傾斜の平坦面をもつが基本的に漏斗状を呈する。覆土はレンズ状堆積で10層に分層され、全て自然堆積と考えられる。遺物は⑦層から石臼(石5)が出土し、⑩層から未分解植物とともに木製品類(木13~19・53・61)が出土した。漆器椀は破損品であるが、計7個体がほぼ同レベルから出土している。未分解植物の種実同定の結果(p85)、木本7分類群、草本7分類群が出土している。オニグルミ、クリ、ウメまたはモモ、ヤマブドウなど可食植物が多い。

## 98 S E 393 (図版6·36)

 $28J13 \cdot 18$ 区に位置する素掘りの井戸で、上面が不整な円形を呈するが、下面が南北に細長い長方形を呈する。北側で 98SE394 を切る。 覆土⑥層には炭と焼土が多量に混じっていた。しかし、特に井戸の壁面に被熱したような痕跡は見られなかったため、埋め戻しに伴う井戸祭祀ではなく、後で人為的に投げ込まれたものと思われる。共伴している自然礫は被熱しているため、これと関連している可能性が高いが、遺物( $608 \sim 611$ )等は被熱していない。

## 98 S E 729 (図版7·39)

30J19・20・24・25区に位置する素掘りの井戸である。覆土は4層に分層したが、①層は他のピットの可能性が高い。中世土師器(616~621)が比較的多く出土した。④層の底部は未分解植物を多く含み、木製品(木50・51・65)が出土している。未分解植物の種実同定の結果(p85)、木本3分類群、草本3分類群が出土し、草本でイネが多産している。木製品で田下駄が出土しており、その関係が注目される。

#### 98 S E 763 (図版7·39)

30J18・23区に位置する素掘りの井戸である。覆土は4層に分層され水平に堆積する。④層下部は粘性が強まり、灰白土が多く含まれる。底面付近は灰白土がさらに増え、灰白土と未分解植物がより一層多く含まれる事から、覆土は6層に分層が可能である。遺物は少なく、土師質皿、天目椀の破片等が出土している。また土壌の水洗で銅製留め具が出土した。未分解植物の種実同定の結果(p86)、木本10分類群、草本21分類群が出土しているが、特に草本のメロン仲間が多産している。

#### 98 S E 813 (図版 11 · 65)

30L5区に位置し、近世の遺構である98SK813の底面から検出された素掘りの井戸である。覆土は4層に分層(図の③~⑥層)される。遺物は平安時代のものも比較的多く入りこむ。未分解植物を多く含む⑥層からは有溝石錘(石104)が出土している。未分解植物の種実同定の結果(p86)、木本6分類群、草本13分類群が出土した。木本ではクリ、トチノキが多産し、草本ではイネ、アサ、ナス、ヒョウタン仲間、メロン仲間が比較的多産している。

### 98 S E 958 (図版 13 · 48)

33L3区に位置する素掘りの井戸で、平安時代の98SD893を切る。覆土はほぼ水平に堆積し、底面付近に未分解植物を含む。未分解植物の種実同定の結果(p85)、木本4分類群、草本7分類群が出土した。遺物は珠洲焼甕片(626)、田下駄(木66)と考えられる木製品が出土している。

### 98 S E 1226 (図版3 · 32)

27G25、28G21区に位置する素掘りの井戸である。断ち割りによって調査を行った。長軸96 mに対し深度は326 mと深く、長深比は1:3.4である。覆土は10層に分層され、水平堆積を基本とするが、東側にやや傾斜する。この井戸は西側が上方にあたる緩傾斜に位置しており、覆土は西側からの流入により、自然に堆積したものと推定される。遺物は⑤層から須恵器片、底面から銭貨が出土している。

#### 97 S K 2701 (図版 22 · 59)

25P19区に位置する土坑で、井戸の可能性もある。平面形はほぼ南北方向を主軸とする不整な方形を呈する。土坑を取囲むように四隅にピットが位置するが、新旧関係・性格は不明である。ピットは深度をほぼ同じくすることから一連のものと考えられ、遺構の上屋構造に関連するピットである可能性が高い。

## 98 S K 488 (図版3 · 31)

28F21区に位置する土壙墓である。円形を呈し、長軸96 cm、深度34 cmを測る。副葬品は底面付近から漆器の皿か椀(木10)と銭貨(他39a~39f)が計6枚出土している。銭貨はややばらついて出土していることから、緡(サシ)の状態で副葬されたのではなく、漆器の上に置かれていたと考えられる。現状での遺構深度はやや浅いが、覆土に骨片が含まれていないため土葬の可能性が高い。中世の墓は群集する可能性が高いが、周囲に同様の遺構は検出されなかった。しかし98SK488が斜面の肩部に位置していることを考慮すると、他の土壙墓は既に削平された北側斜面に位置していた可能性が高い。

### 98 S K 1185 (図版 11 · 47)

 $30M13 \cdot 14 \cdot 18 \cdot 19$  区に位置する土坑である。長軸 226 cm、深度 42 cm と比較的大型で、平面形が N-37° - Eを長軸とする長方形、全体形状は箱形を呈する。平安時代の SB14のピットと溝を切る。底面はやや凹凸があり、覆土は 2 層に分層される。遺物( $631 \sim 636 \cdot 779$ 、他  $30 \cdot 31$ )は 2 層から多く出土した。

#### 97 P 1019 (図版 15)

25P1区に位置するピットで、径約45 cm、深度約80 cmを測る。確認面下5 cm程の位置で、完形の灯明皿が2枚重なった状態で出土した。正位の状態であり、性格は不明であるが地鎮の可能性もある。

### 97 S D 2 (図版 16~18 · 67)

丘陵部(27M17区)から緩やかに湾曲して水田部(30P14区)方向へ延びる溝で、調査区外まで延びる。29O5 · 10区で近世の97SD201に切られる。溝は丘陵部と水田部で規模が若干異なり、断面形状も異なる。水田部は幅約130~200 cm、深度が20~35 cmで断面は緩い弧状を呈する。丘陵部に近い部

#### 2 遺 構

分が狭くて浅くなる。丘陵部は幅約  $120\sim150$  cm、深度が  $40\sim45$  cm で断面は半円状またはV 字状に近くなる。溝は 27M17 区で急斜度に立ち上がる。

この溝は97SD100、97SD1500と関連する区画溝と考えられる。これらの区画溝の時期であるが、いずれも覆土中位以上で近世の遺物(489・490)が出土している。しかし、底面から近世の遺物が出土してないことや、中世の遺構集中区を分割する位置にあることなどから、この溝は室町時代に構築された可能性が高い。

### 97 S D 100 (図版 16 · 23 · 67)

97SD2 同様に丘陵部(26O9区)から水田部(26Q24・25区)方向へ延びる溝である。ほぼ南北の方位に一致する。水田部は幅約  $130\sim170\,\mathrm{cm}$ 、深度が  $30\sim35\,\mathrm{cm}$ で断面は基本的に台形状を呈するが、西側には幅  $30\sim70\,\mathrm{cm}$ の平坦面がつく。丘陵部は幅約  $170\sim210\,\mathrm{cm}$ 、深度が約  $64\,\mathrm{cm}$ で断面は台形状または V字状に近くなる。水田部分で見られるような平坦面は無いが、西側部分には緩傾斜面がある。溝は 26O9区で急斜度に立ち上がる。この溝は 97SD2 同様に区画溝としての役割を持つが、水田部分にある西側の平坦面は、作業場としての役割を持っていたと思われる。丘陵部分では中位以上で、東方向から土器が廃棄されたように出土している。

#### 97 S D 1500 (図版8 · 67)

97SD2の延長方向の26M3区から始まり、25L25区で屈曲し、22M10区方向へ延びる溝である。97SD2との間は現状で約9.2m(約30間)あり、溝で区画された集落の出入り口部分と考えられる。幅約120~180 cm、深度が30~45 cmで西側に行くにつれ浅くなる。断面は基本的に弧状を呈する。覆土は深いところで5層に分層され、自然堆積を示す。幅約130~170 cm、深度が30~35 cmで断面は台形状を呈する。

### 97 S X 47 (図版 18 · 57)

29O25区に位置する遺構で、平面形が不整形を呈する。断面形は中央部に向かって緩やかに落ち込み、深度24cmと浅い。遺物は少ないが、珠洲焼甕片が出土している。

### 97 S X 1249 (図版23 · 66)

26R1・2・3区に位置する遺構で、半分以上が調査区外にかかる。遺構全体の平面形状は不明であるが、調査部分の形状から東西を長軸とする楕円形を呈するものと推定される。規模は長軸600 cm以上と推定され、深度87 cmとかなり大型の遺構である。壁面は緩やかな台形状を呈し、中程に緩傾斜の平坦面が巡る。覆土は3層に分かれる。出土遺物は珠洲焼片等が少量出土している。

## (4) 近世の遺構

## a. 概 観

近世に属する遺構の大半は丘陵部上で検出されている。またそのほとんどは中世に構築された区画溝の 北側に位置している。近世の建物は中世の遺構集中区1内では不明確だが、28J区を中心とした大体 90×50m程の範囲内で散在していたと思われる。柱穴配置が捉えられた建物は3棟あるが、特に26J区 のSB10は丘陵部の頂部に建築され、掘形規模も大きく柱径も太いことから、一般の住居とは異なった建 物の可能性がある。井戸は重複することも無く散在し、SB5・6の間の27L区付近で若干多い。標高の 高い位置に構築される井戸も多く、その選地条件が注目される。区画溝より南側の遺構は少ないが、 270区で大型の井戸(97SE1000)が単基で検出されている。また丘陵上以外の遺構では、中世の遺構 集中区1の東隣、30K・L区で方形プランの遺構(98SK807など)が検出されている。

#### b. 遺構各説

#### SB5 (図版9·30)

 $26 \cdot 27$ L区を中心に位置する掘立柱建物である。桁行4間 (8.6m)×架間1間 (4.7m) で、長短比が約2:1の長方形を呈する。主軸は $N-20^\circ-E$ で、立地する斜面の傾斜方向に対してほぼ直交する。平面積は約40㎡で、東柱穴及び廂柱穴は無い。全体的に上面が削平されているが、残りの良い西側では幅約50㎝の雨落溝がつく。桁行の柱間寸法は約210~220㎝とほぼ等間で、深度は110㎝前後である。ピットからの遺物の出土は無く、調査時は平安時代の遺構と考えたが、掘形プランの違い(方形と円形)、近世の建物SB10と長軸方向が同一、切合いの無い周辺の井戸が全て近世に属することなどから、近世に構築された建物であると考えた。

#### SB6 (図版10·29)

 $27 \cdot 28$ L、 $27 \cdot 28$ M区を中心に位置する掘立柱建物である。桁行 3間(6.5m)×梁間 1 間(4.7m)で、梁間の規模は SB5 と共通する。軸方向は  $N-63^\circ-W$  である。平面積は約 31 ㎡で、束柱穴は無い。桁行の柱間寸法は約  $200\sim230$  cmで、深度は  $30\sim80$  cmとばらつく。

#### SB10 (図版5·29)

26J区を中心に位置する掘立柱建物で、桁行 3間(6.4m)×梁間 1間(4.5m)を基本とする。平面積は約 29 ㎡で、SB6とほぼ同規模の建物である。西側桁行の北側延長方向に 1 間離れて同規模のピット(98P56)が位置するが、対応するピットが検出されなかったため性格は不明である。また東側桁行の規模がほぼ一定しているのに対し、西側は束柱穴的な小規模なピットで構成されている。主軸は $N-21^\circ-E$ で、SB5とほぼ同一である。柱間寸法は約 210 cmとほぼ等間で、掘形の規模は径が  $90\sim100$  cm、深度は85~100 cmである。断面で柱痕が垂直に確認されており、抜き取りの痕跡は無い。柱径は約 24 cm前後と推定される。

建物と軸方向を同じくして、西側には98SD23が4.8~5.0m離れて位置し、南側には97SD2932が4.2m離れて位置している。この溝は区画溝としては浅く、雨落溝としては建物から離れすぎていることから、塀の基礎部分であった可能性がある。この建物は遺跡内で一番高台に位置すること、建物の構造が他とは異なっていることを考慮すると、一般住居とは性格が異なる建物である可能性が高い。

#### 97 S E 774 (図版9 · 40)

27M2・3区に位置する素掘りの井戸で、上面が楕円形を呈するが、下面はほぼ方形を呈する。覆土は下部が水平堆積、上部がレンズ状堆積をなす。未分解植物のような有機質は含まれない。底面付近から柄の付いた桶(木35)、いわゆる肥柄杓のようなものが出土しているため、トイレであった可能性もある。

## 97 S E 1000 (図版 17·53)

2704・5・9・10区に位置する素掘りの井戸で、長軸が350㎝を越す大型の井戸である。南東で室町時代の井戸、97SE1233を切る。調査は深度240㎝まで掘り下げたが、壁面の崩落が激しくて中断したため、底面を確認していない。遺物は⑭・⑮層から多く出土し、珠洲焼片(647~654)・近世陶磁器(644・645)などがある。この井戸が埋まった後に意図的に廃棄されたものと思われる。覆土のレンズ状堆積が終了する付近で遺物が多く出土するような状況は、97SE50と共通する。⑯層以下は壁面の崩落によると思われる地山のブロック土が多く含まれ、未分解植物も含む。未分解植物の種実同定の結果(p85)、木本11分類群、草本15分類群が出土した。この⑯層以下からは径5㎝前後の偏平礫が多く出土

している。

#### 97 S E 1550 (図版 11 · 45)

29K18区に位置する素掘りの井戸で、断面は大型井戸に共通する漏斗状を呈する。礫が多く廃棄されている井戸で、ゴミ捨場として利用されたと思われる。④・⑤層からは石造物が出土しているが、再利用を試みたものがまとまっていることに注目される。

#### 97 S E 2940 (図版9 · 40)

26L17・18・22・23区に位置する素掘りの井戸で、SB5の西側に近接する。遺跡内でも高い場所に位置し、深度200cm弱まで掘り下げたが湧水は確認できなかった。断面は壁面の崩落により袋状を呈してからU字状に落ち込む。調査時にも壁面が崩落し、底面まで調査はできなかった。覆土は褐色土を含む部分までを8層に分層したが、その下層は地山の崩落土が主体であったと思われる。⑤層には焼土と焼骨片が含まれていたが、陸獣の骨片と同定(p92)されている。

#### 98 S E 17 (図版5 · 34)

26I23区に位置する素掘りの井戸で、SB10の西側に近接する。遺跡内で最も標高が高い位置に構築されている。地山が固く締まるため壁面の崩落も無く、断面はほぼ垂直を呈する。深度290cmまで掘り下げたが危険なため調査を終了した。湧水は確認できなかった。確認面から70cm程下で、遺物(665~668)がまとまって出土している。

#### 98 S E 169 (図版7·37)

29I12・13区に位置する素掘りの井戸である。確認面は円形のプランだが、掘り下げると方形を呈し 底面へ達する。覆土は4層以上に分層されるが、遺物(672~682)は②層(確認面下60cm)までしか 出土していない。井戸が埋まった後にゴミ捨場として利用されたと思われる。

### 98 S E 200 (図版5·34)

 $26I20 \cdot 25$ 区に位置する素掘りの井戸で、SB10の北側に隣接し、北東に位置する 98SX201 を切る。遺跡内でも高い場所に位置し、深度 260 cmまで掘り下げたが底面は確認できなかった。 覆土は 12 層以上に分層され、 9 層以下には壁面の崩落による地山の層状ブロックが含まれる。 遺物( $683 \sim 689$ )のほとんどは 9 層までに出土している。 9 層と 9 個層の境(確認面下 170 cm)では、径 30 cm位の平石が水平状態で出土しているが、意図的なものかどうかは不明である。

### 98 S E 650 (図版4・33)

29G25区に位置する素掘りの井戸で、②層から近世陶磁器片(690~696)、礫などが混在して出土した。ゴミ捨場として利用されたと思われる。③層は黒褐色の粘質土ともに未分解植物を多量に含み、水洗した結果では総量12.6kg出土している。未分解植物の種実同定の結果(p85)、木本8分類群、草本16分類群が出土した。木本ではサンショウが比較的多産し、草本ではイネ、メロン仲間が多産している。木製品では折敷(木33・34)の底板と思われるものが出土している。

## 98 S E 806 (図版 11 · 47)

30K18区に位置する素掘りの井戸で、98SK807に切られる。⑤層は98SE650の③層同様に未分解植物を多量に含み、水洗した結果では総量11.1kg出土している。木製品は出土しなかった。

#### 98 S K 807 · S K 811 (図版 11 · 65)

30K18・19・23・24区に位置する土坑である。断面が階段状を呈し、覆土も水平に分層されることから上部(98SK807)と下部(98SK811)で別遺構と判断したが、同一の遺構である可能性も高い。

平面形状は98SK809、98SK813 同様に方形または長方形を基本としている。新旧関係は98SK809 が一番新しい。98SK807 は深度  $15\sim30\,\mathrm{cm}\,\mathrm{c}$ 、覆土は $2\,\mathrm{Pm}$ にか層される。98SK811の本来の深度は不明だが、98SK807 底面からの深度約  $25\,\mathrm{cm}\,\mathrm{em}\,\mathrm{d}$ る。底面はいずれも凹凸が少ない。これらの遺構は多少の前後関係はあるものの全て一連の遺構と考えられる。当初は小区画水田の一つとも考えたが、耕作を繰り返したような覆土の乱れも見られないため、性格は不明である。

#### 98 S K 809 (図版11 · 65)

30K25、30L5区に位置する土坑で、ほぼ方形を呈し、深度は $7\sim15\,\mathrm{cm}$ と浅い。性格は不明である。

### 98 S K 813 (図版 11 · 65)

 $30L4 \cdot 5 \cdot 9 \cdot 10$  区に位置する土坑で、長方形を呈する。底面からは室町時代の井戸である 98SE813 が確認されている。北東は 98SK809 に切られる。深度は  $20 \sim 35$  cm で、覆土は 2 層に分層される。遺物は 17 世紀の唐津の擂鉢片(705)が出土している。

#### 98 P 741 (図版7·38)

30J15区に位置するピットで、長軸62cm、深さ96cmを測る。ピットとしては大型の部類で、覆土もレンズ状堆積していることから、井戸の可能性もある。1層下部で火輪(石17)と礫が同レベルで出土している。②層まで自然堆積した時点で、廃棄されたものと考えられる。

#### 97 S D 201 (図版 18 · 67)

3001区を中心に検出された溝で、97SD2を切る。溝は2905区から緩やかに深くなり、北東方向へ延びる。遺構の立ち上がりは確認することが出来なかった。規模は最大幅約4.8m、最大深度約55㎝を測り、南東側が深い。覆土は2層に分層され、②層からは木の葉や枝などの有機物が多く出土した。遺物(637~641、木30・57)もほとんどが底面に近い②層中からの出土である。溝の性格としては、97SD2同様に区画溝としての性格も考えられるが、有機物の溜まったような出土状況を考慮すると、水溜め場として利用されていた可能性が高い。

## 3 古 墓 (図版 69·70)

古墓は調査区の北西、丘陵頂部の25H19区で検出された。古墓の構造の推定復元については第VII章3で詳細を述べることとし、ここでは概略と出土遺物について記す。

墓は「木炭槨墓」[伊賀1992]または木炭槨木棺墓と呼称できる葬法である。構造は隅丸長方形の土壙の中央に木棺を置き、槨(木の箱)で囲う。木棺と槨の間に木炭を多量に充填する。その槨の外側は掘り上げた土で埋め戻される。掘形の主軸方向はN-21°-Eである。掘形の底面全面に薄く(厚さ2~3㎝位)の木炭が敷かれ(木炭床)、木炭床の下(掘形底面直上)から、数個体分の土師器が投げ割られたようにまとまりをもって出土している。埋葬前の儀礼行為に伴う遺物と考えられる。土師器の残存状況は悪く、土圧もしくはその後の埋葬作業によって踏み潰されたものと思われる。

規模は掘形が長  $3.4 \times \text{幅} 2.4 \times \text{深} 0.6 \text{m}$ 、木炭槨が現存長  $2.4 \times \text{II} 1.3 \times \text{深} 0.3 \text{m}$  ある。木棺の規模は、平面的にほぼ原位置を保っていると思われる鉄釘の配置から、外寸で長  $168 \times \text{III} 4.8 \times \text{III}$  に付着した木質の痕跡から約  $3 \sim 4 \text{cm}$ と推定され、木棺の内寸は長  $162 \times \text{III}$  を加る。木棺の継手・仕口の名称は、第  $15 \cdot 16$  図を参照にした。底板と側板の継手は、釘が検出されなかったことから不明で

ある。小口板と長側板の継手は釘による胴付で三枚組接ぎ状を呈する。釘は四隅全て長側板側から上下段に2本、小口板側から中段に1本の計3本が出土している。また側板のほぼ中段のレベルから縦方向の釘が間隔を持って検出されており、側板は1枚の板では無く、2枚がカスガイ釘によって接がれていたと考えられる。棺蓋を留める釘は、小口板側に2本ずつ、長側板側に4本ずつの計12本を基本にして出土している。南東隅の小口板側で釘が2本近接して検出されたが、蓋板が打ち込みにより割れ、再度打ち直したものと考えられる。

木槨に関する釘等は出土していない。東西土層断面の槨と推定されるラインの近くから、鉄釘状のものが1点だけ出土しているが、基本的に使用されていないと思われる。また掘形底面にも木槨を支えるような杭等の痕跡は検出されなかった。組合せ式か、側板を直接土で押さえていたと考えられる。木炭槨のプランの内側周縁には、幅 $10 \times$ 高 $3 \, \mathrm{cm}$ 程の土の周堤が検出されている(図版70)。木槨は底板が無く、蓋板(天板)がある構造と思われる。槨の側縁から立ち上がるラインは徐々に内傾していることが観察され、天板の中央が土圧によって押され、それが槨の側板に影響を及ぼしたものと考えられる。

木炭槨の四隅には、須恵器長頸壺(墓1・2)が2点(北西・南西)、灰釉瓶(墓4)が1点(北東)、灰釉長頸壺(墓3)が1点(南東)副葬されていた。出土状況は須恵器が完形であったのに対し、灰釉陶器はいずれも口縁部が欠けている。木炭槨内に破片がみられないことから既に割れていたか、または埋納前に故意に打ち欠いたものと考えられる。須恵器は小泊窯跡群のカメ畑3号窯式(850年前後)に、灰釉陶器は猿投窯跡群の黒笹90号窯式(840~900年頃)期の前半の製品に比定され、埋納土器の生産年代が極めて近似していることが確認された。このことから新保遺跡で検出された古墓の造営時期は、9世紀後半(第3四半期)である可能性が高い。また木炭の放射性炭素年代測定の結果、交点年代としてAD815年、840年、855年の年代が得られており(第VI章8参照)、その可能性を裏付ける。南東隅の灰釉長頸壺の底面には、「石神」の墨書がある。他に副葬品としては、木棺内の北側底面近くから径14.5㎜、厚さ6.7㎜、重量2.05gの水晶製の平玉(墓5)が1点出土している。玉の形状から碁石か双六子の可能性も考えられる。女性墓と推定される京都府長野古墓には球玉であるが、同様に無孔の水晶製の玉が2点出土している。

鉄釘は9本(墓6~14)を図示した。6・7は小口板側から打たれた中段の「長軸釘」、8は「カスガイ釘」、9~11は長側板側から打たれた上下段の「短軸釘」、12~14は蓋を留める「蓋釘」である。釘には錆に固定された木質部が残り、材同士の境界も明瞭に認められる。長軸釘と短軸釘の下半部の木目は釘に対し垂直方向を示すが、その付着の仕方は若干異なる。長軸釘には木質部が分厚く付着するのに対し、短軸釘にはあまり付着していない。蓋釘は12・13が小口板側、14が長側板側に位置する。小口板側の蓋釘の木目は上半も下半も横方向であるが、直交している。釘のX線観察の結果、長さの異なる3種類の釘が使用されていることがわかる。全て釘頭がL字形に折り曲げられた折頭タイプで、釘身の断面は一辺5~6 mmの方形を呈する。全長は6・8が8.7 cm(2寸9分)、7・9~11が7.5 cm(2寸5分)、12~14が6.0 cm(2寸)と推定される。7は他の長軸釘より短いが、全体としては結合部分によって使い分けをしている傾向が認められる。

図版 No.	報 No.	種別	器種	法 量 (cm·g)				- 備 考
				口径	底 径	器高	重 量	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /
70	1	須 恵	長頸壺	15.7	11.2	27.8	1780	回転ヘラ切り後ロクロケズリ
70	2	須 恵	長頸壺	14.1	10.9	25.4	1425	回転ヘラ切り後ロクロケズリ
70	3	灰 釉	長頸壺		9.3	(22.3)	1027	回転ヘラ切り後ロクロケズリ体部外 面ケズリ調整。底面墨書「石神」
70	4	灰 釉	瓶	7.4	10.4	22.0	966	回転ヘラ切り後ロクロケズリ体部外 面ケズリ調整
図版 No.	報 No.	種別	器種	法 量 (cm·g)				Ht14
				最大長	最大幅	最大厚	重 量	- - -
70	5	水晶玉	平 玉	14.5	14.5	6.7	2.1	
70	6	鉄 釘	長軸釘	95.0	34.0	10.0	19.5	釘身推定長 87mm
70	7	鉄 釘	長軸釘	80.5	23.5	14.0	13.8	釘身推定長 75mm
70	8	鉄 釘	カスガイ釘	93.5	39.5	13.0	22.6	釘身推定長 87mm
70	9	鉄 釘	短軸釘	77.0	27.0	14.0	14.0	釘身推定長 75mm
70	10	鉄 釘	短軸釘	52.0	27.0	11.0	7.7	釘身推定長 75mm
70	11	鉄 釘	短軸釘	76.0	27.5	11.0	11.7	釘身推定長 75mm
70	12	鉄 釘	蓋 釘	63.0	25.6	15.0	8.7	釘身推定長 60mm
70	13	鉄 釘	蓋 釘	54.0	18.0	18.0	7.2	釘身推定長 60mm
70	14	鉄 釘	蓋釘	46.2	26.0	10.0	7.9	釘身推定長 60mm

第3表 古墓出土遺物観察表

# 第V章 遺物

# 1 概 況

出土遺物の総数は、調査終了時で平箱(54×34×10㎝内測)約350箱と多量に出土している。内訳は土器類約150箱、木器類(井戸材・柱痕含む)約125箱、石器類(搬入礫含む)約75箱、その他は数箱である。時期別には古代(平安時代)のものが大半を占め、中世、近世、古墳時代とつづく。弥生時代・縄文時代の遺物は、土器が数点のみ、石器は一定量出土している。調査区の大半は遺物包含層が薄いかまたは存在せず、遺物を層位的に検出することができなかった。遺物は残存率が高いもの、出土例の少ないものから任意に選択して図化した。

個々の遺物を説明するにあたっては、観察表(第 24~27表)・遺物各説・実測図(図版 70~126)・写真(図版 160~198)を用いた。土器・陶磁器(図版 70~104、161~183)は遺構出土のものを中心に選択し、時代(平安→中世→近世→古墳以前)、調査年度(97→98)、遺構番号(小→大)の順を基本にした。遺構種別は(SE、SKなど)順不同としたが、掘立柱建物の柱穴出土遺物は先頭に配した。木器・木製品(図版 105~116、184~193)、石器・石製品(図版 117~124、194~197)、陶製品・土製品・金属製品(図版  $125 \cdot 126$ 、198)は種別毎に分類し、選択して図化した。遺物各節では出土位置・法量・手法など観察表から読み取れる情報は必要な場合をおいて省き、特徴的な遺物を中心に記述を行った。

分類は器種ごとに行ったが、表現方法は各時期を通じて次のように統一した。形態(径高指数含む)・ 手法による分類をアルファベットで(A・B・・・・)と表し、さらに細分する場合は算用数字で(1・2・・・・) や(a・b・・・)を用いた。また法量による分類はローマ数字で(I・Ⅱ・・・・)と表し、必要に応じて組み合 わせた。

# 2 平安時代の土器・陶器

### A 概 観

平安時代の遺物は段丘部で少なく、遺物包含層が良好に残る南東側水田部から大半が出土している。土器は土師器・内面黒色土器(以下、内黒土器)が大半を占め、須恵器がそれにつづく。特に大型掘立柱建物 (SB13) に隣接する98SD1000には、土器が集中して廃棄されていた場所があり、完形を含めた多量の土師器・内黒土器が出土している。施釉陶器では灰釉陶器が一定量、緑釉陶器が十数点出土している。

## B形態分類

### (1) 須 恵 器(第9図)

食膳具と貯蔵具に大別できる。器種は食膳具に杯蓋・無台杯・有台杯・稜椀が、貯蔵具には鉢・壺蓋・ 短頸壺・長頸壺・長胴壺・横瓶・甕がある。

#### a. 杯 蓋

有台杯に伴う蓋である。全形を把握できる資料は少ない。口径は13.4~17.6㎝の範囲で、15㎝前後のものが多い。つまみの形状から大きく2種類程度に分類できる。口縁端部は垂直的なものよりも、屈曲が緩くて外傾しているものが多い。また体部は全体的に短く、天井部に広い面を有するものが多い。A類はつまみが偏平な宝珠形を呈し、中央部が錘状に隆起するもの。B類はつまみがボタン状で中央部がくぼむものである。口径に対する割合が高い。

### b. 無 台 杯

杯のうち、高台を持たないもの。口径は11.0~13.5 cmの範囲内で、平均12.2 cm前後のものが多い。 径高指数(「器高」÷「口径」×100)は22~29の範囲内で、平均26を示す。底部は基本的に回転ヘラ切り後無調整であり、回転糸切りのものは少ない。器形の傾向として、底面は平坦を呈するものが多く、膨らむものがわずかながら見られる。中央部が上げ底状になるものは見られない。体部はやや内湾するものの、基本的には直線的である。壁厚は底部~体部まで一定した厚さで、薄いものが多い。

分類は径高指数、底部の切り離し手法、体部との境の形状の点から行った。回転へラ切りで体部との境が緩やかな一群を、径高指数からA類(指数27以上)、B類(指数24~26)、C類(指数23以下)に分類した。A類は身が深く、C類が浅くなる。またヘラ切りで、体部との境に角を持つ一群をD類とし、回転糸切りのものはE類とした。D・E類は数量が少ない。口径からはI類(12.6 cm以上)、Ⅱ類(12.5 cm以下)とした。

#### c. 有 台 杯

杯のうち、高台を持つもの。口径は $11.6 \sim 16.0$  cmの範囲内で、径高指数も $26 \sim 46$  とばらつく。底部の切り離しは基本的に回転へラ切りである。器形の傾向として、体部は急斜度に立ち上がり、器高も低いものが多い。体部は基本的に直線的で、口縁付近で外反するものが一定量見られる。

分類は経高指数から 40 以上を A 類とし、高台の形状から 2 類に細分した。 A1 類は一般的な方形に近い高台を持つもので、A2 類は断面三角形を呈している。 B 類は指数 35 ~ 39 を示すもので、数量は少ない。 口縁が端部に向かって先細りしながら外反する。 C 類は指数 30 ~ 34 を示し、体部の立ち上がりと形状から 3 類に分類した。 C1 類は体部が比較的緩やかな傾斜を持つもので、他の形態と比較して胎土にばらつきが見られる。 C2 類は体部が急斜度に直線的に立ち上がり、口縁部付近で外反するもの。 C3 類は同様に急斜度に立ち上がるが、全体的に緩く内湾するものとした。 D 類は径高指数 29 以下のもので、身が浅い。全体的な特徴は C2 類と類似する。 E 類は灰釉陶器の器形を模倣したような一群をまとめた。 A2 類及び E 類は出土量が少なく、数点程度と思われる。

#### d. 稜 椀

体部に明瞭な稜を持つもので、数点出土している。口縁は大きく外反し、体部のほぼ中央に稜を持つ。 体部下半はロクロケズリが施される。底面の切り離しは回転糸切りで、高台貼付後にロクロケズリを施し ている。

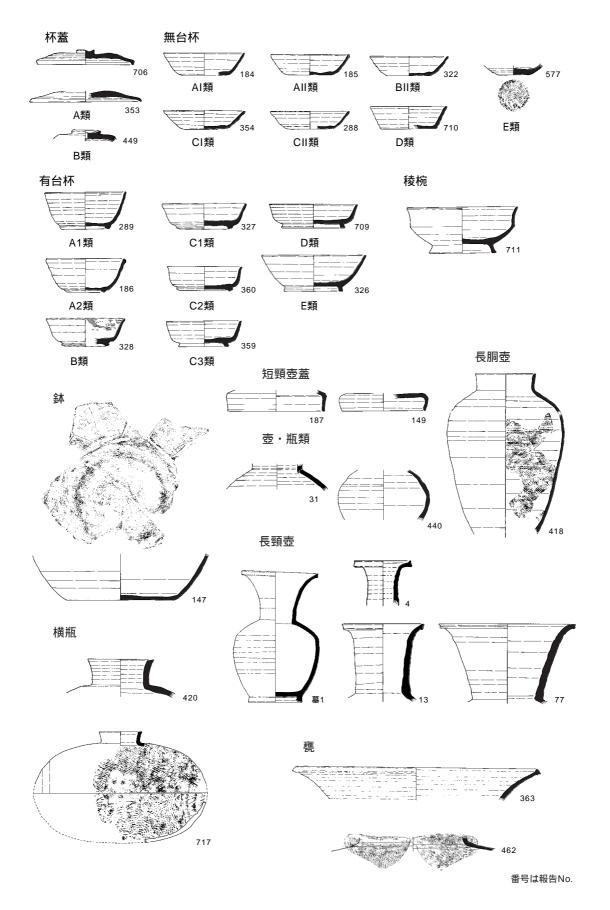
#### e. 鉢

底部のみで、口縁部は出土していない。平底を呈し、軟質なため底面の調整は不明である。内面全体に ハケ目が認められる。

## f. 壺 蓋

短頸壺の蓋で、全形を把握できる資料は出土していない。口径は $11.6 \sim 15.2$  ㎝とばらつく。口縁は直

## 2 平安時代の土器・陶器



第9図 須恵器の器種分類

線的に垂下するものと、やや内傾して口すぼみになるものがある。また口縁端部の形状は丸く収まるものと、端部のみ外反して面を持つものがある。

### g. 短 頸 壺

口縁部が短く直立し、球胴形の体部を持つものである。体部のみでは長頸壺等と判別できないため、 壺・瓶類として分類した。

#### h. 長 胴 壺

口縁部が短く直立し、長い胴部を持つものである。1点だけ出土している。

## i. 長 頸 壺

長い頸部を持つものを一括したが、口縁部の形状が似る広口壺(広口瓶)も何点か含まれていると思われる。口縁端部が上方に屈曲するもの、上方につまみ出して断面三角形を呈するもの、緩やかに抜けるものなど、形状によって細分も可能と思われるが分類は行っていない。口縁端部は外面に凹状の面を持つ。また断片資料のため今回図示しなかったが、凸帯付きの体部や四耳壺(または双耳壺)の耳部分が数点出土している。

### j. 横 瓶

俵形の体部に「く」の字状に外反する口縁部が付くもの。出土量は少ない。体部の閉塞部分の形状が丸 みを帯びた狭いものと、緩やかに湾曲して広い面を持つものが認められる。

#### k. 甕

大型で丸底を呈する甕を一括した。破片数は多いが全体形が分かる資料は出土していない。体部外面の 打圧痕は平行線文が多く、格子目文が少量ある。また内面の押圧痕は同心円文が圧倒的に多く、平行線文 が数点程度認められる。

## (2) 土 師 器(第10図)

出土土器の中で最も数量が多く出土している。食膳具と煮沸具に大別できる。器種は食膳具に無台椀・ 大椀・小皿・有台椀・皿・有台皿・有台盤が、煮沸具には小甕・長甕・鍋がある。他に器種不明だが、体 部に段を持つ資料が存在する。

## a. 無 台 椀

出土量が最も多い。底部切り離し技法は大半が回転糸切り無調整で、糸切り後に底部と体部下半にロクロケズリを施すものが少量存在する。径高指数と法量の組み合わせにより分類した。また内黒土器の椀と形態が共通することから、統一した基準で分類を行った。径高指数での分類は40以上をA類、39~35をB類、30~34をC類、29以下(最低値27)をD類とした。土師器無台椀でA類は無い。口径からの分類は2cm刻みとし、I類(17.1cm以上)、II類(15.1~17.1cm)、II類(13.1~15.0cm)、IV類(11.1~13.0cm)とした。また椀の形態を持つものでも、11.0cm以下は全て小皿とし、21.0cm以上は大椀に分類した。

#### b. 大 椀

無台椀と形態が共通するが、口径が21 cmを超える大形のものを一括した。数量は少ないが、土師器より内黒土器の方にやや多く見られる。

## c. 小 皿

口径11.0 cm以下を全て小皿とした。内黒土器には認められない。形態から3種に分類できる。A類は

#### 2 平安時代の土器・陶器

無台椀の形態と類似するもので、体部が全体的に緩く内湾する。B類は底径が小さく、体部が内湾するものの直線的である。ロクロナデが強い。C類は体部が直線的で、口縁部に向かい徐々に先細りとなる。

#### d. 有 台 椀

椀のうち、高台を持つもので数量は少ない。今回図示した中で土師器の有台椀は1点のみである。形態 は内黒土器有台椀の、身の深いA類に類似する。

#### e M

無台椀より底径が口径に対する割合が高く、径高指数が20以下を示すものを一括した。径高指数と口縁部の形状から3分類される。A類は径高指数15~20を示し、口径と底径の比率が1/2以下である。外側に大きく開いた体部は口縁付近で上方に屈曲する。B類はA類同様に径高指数15~20。底径1/2以上と広く、体部は緩やかに内湾して立ち上がる。C類は径高指数14以下と最も浅く、また比較的小形である。底径が広く体部は短い。口縁部で段を持って外方へ屈曲する。造りは他の皿と比較して精緻で、底面はロクロケズリ調整される。

#### f. 有 台 皿

外側に大きく開く体部を持ち、底部と体部の境に外踏ん張りの高台を持つ。内黒土器に多い器形で、未製品の可能性もある。形態は内黒土器の有台皿A類と類似する。

#### g. 有 台 盤

長めの「ハ」字状に開く高台を持つもので、身の部分が盤状または鉢状を呈すると思われる。高台端部 は丸く収まるものと、内側方向にやや引き出されるものがある。

#### h. 小 甕

全てロクロ成形で、底部は不明瞭だが回転糸切り無調整が基本である。口縁部の形態により3分類できる。A類は口縁部が受け皿状に屈曲し、端部が内側に巻かれて丸く収まる。B類は口縁部が受け皿状に緩く屈曲し、端部が上方もしくはやや内側につまみあげられている。C類は口縁部が受け皿状に緩く屈曲し、端部がわずかにつまみあげられるものである。

### i. 長 甕

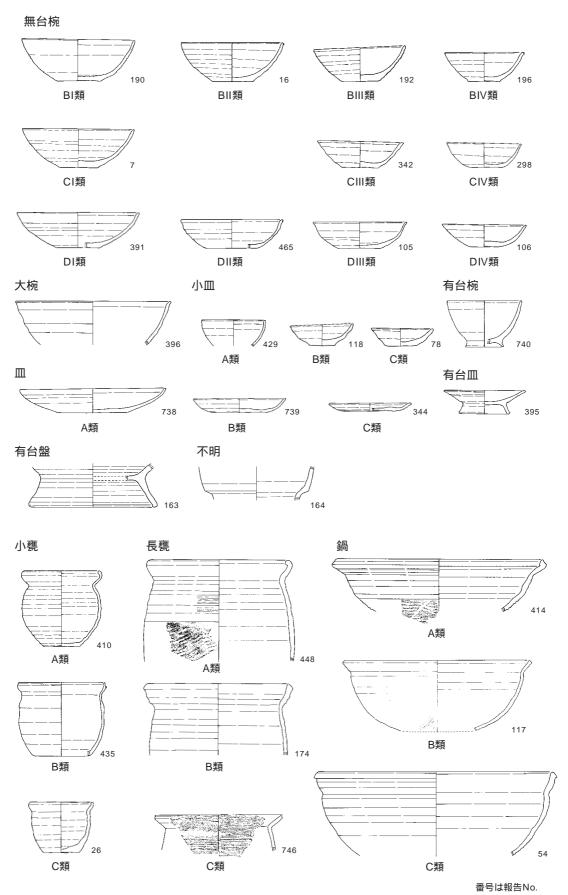
底部付近は図化していないが、平底と思われるものは出土していない。全て丸底の形態と考えられる。 口縁部の形態で細分した。A類は口縁部が受け皿状に屈曲し、端部が内側に巻かれて丸く収まる。B類は 口縁部が受け皿状に屈曲し、端部に向かって徐々に肥厚する。外側に面を持ち、断面が長三角形状を呈す る。端部はわずかにつままれる。C類は口縁部が直線的に外傾するもので、端部は外側に面を持つ。幅の 太いカキ目が明瞭に認められる。

#### i. 鍋

全形を把握できる資料は出土していない。口縁部の形態で細分した。A類は口縁部が受け皿状に屈曲し、端部が上方につまみあげられて外側に面を持つ。B類は口縁部が受け皿状に屈曲し、端部に向かって徐々に肥厚する。外側に面を持ち、断面が長三角形状を呈する。端部はわずかにつままれる。C類は口縁部が受け皿状に緩く屈曲して、端部は外側に面を持つ。面は下方にわずかに突出して段をなす。

### k. 不 朗 品

器種が不明のもので、1点だけ出土している。口縁部下端、もしくは体部付近の破片と思われ、古墳時代に見られる二重口縁と似るが、胎土は平安時代の土師器に類似する。



第10図 土師器の器種分類

## (3) 内面黒色土器 (第11図)

ほとんどが食膳具である。器種は無台椀・大椀・有台椀・有台皿・鉢があり、1 点だけ小甕状のものが ある。

### a. 無 台 椀

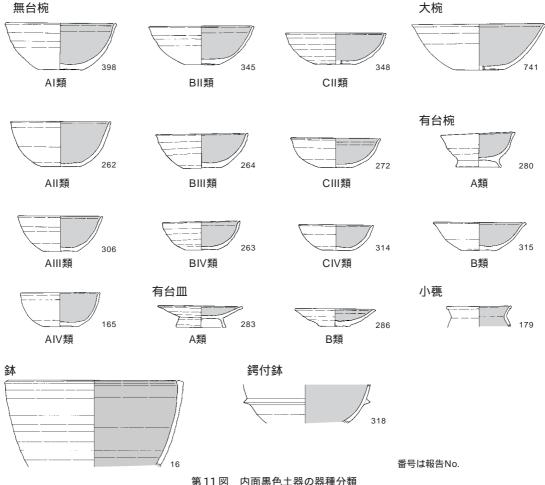
出土量が土師器の無台椀に次いで多い。底部切り離し技法は回転糸切りで、糸切り後に底部と体部下半 にロクロケズリを施す個体が多い。内面にはミガキ調整が施され、口縁部近くは横方向、底部から体部に かけては見込み中央から縦方向に施されて放射状を呈する。分類は土師器無台椀と同様の基準で行った。 径高指数でA類(指数40以上)、B類(指数39~35)、C類(指数30~34)、D類(指数29以下)と した。土師器無台椀で見られた D 類の身が浅い器形は、内黒土器には無い。口径からは I 類(17.1 cm以 上)、II類(15.1~17.1 cm)、III類(13.1~15.0 cm)、IV類(11.1~13.0 cm)とした。また 21.0 cm以 上の大型品は、土師器同様に大椀に分類した。

#### b. 大

無台椀と形態が共通するが、口径が21 cmを超える大形のもので、数量は少ない。

#### c. 有 台 椀

椀のうち、高台を持つもので数量は少ない。身の部分の形状から2種類に分類した。身が深いものをA 類、無台椀の身と類似するものをB類とした。A類は身の部分の径高指数が50以上(全形を把握できる



第11図 内面黒色土器の器種分類

280 で 64、427 で 55)を示すと考えられ、無台椀が 30  $\sim$  44 の範囲に納まるのに対して明瞭に分類できる。

#### d. 有 台 皿

無台の皿は無く、全て外踏ん張りの「ハ」字状に開く高台を持っていたと考えられる。体部は外側に大きく開き、口縁端部がそのまま丸く収まるものと、端反りを呈するものがある。高台が残存するもの(A 類)と、底面の擦れの痕跡から、高台剥離後にそのまま使用されたと思われるもの(B類)に細分した。

#### e. 鉢

数点出土しており、口縁部の形状が椀とは明らかに異なる。口径が $22.4 \sim 27.0 \,\mathrm{cm}$ と大形で、 $24 \,\mathrm{cm}$ 前後の個体が多い。体部の器厚は厚手で、口縁部付近が最も厚く、上方に面を持つ。端部は内側につままれるものと外側につままれるものがある。

#### f. 小 甕

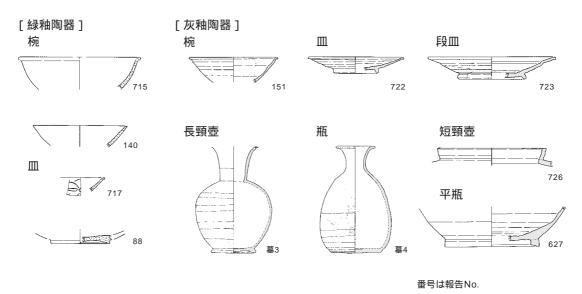
形態から小甕と呼称した。口縁部は「く」字状に緩く外反し、端部がわずかに肥厚して丸く収まる。

## (4) 緑 釉 陶 器 (第12図)

緑釉陶器の破片は27点出土している。そのほとんどが10g以下の細片で、接合するものも少なく、個体数は不明である。胎土の質は硬質なもの、土師器のように軟質なもの、その中間的なものが認められ、中間的なものが最も多い。軟質の緑釉陶器は釉も剥落しやすく、土師器と混同して分類している可能性が高い。器種では椀と皿が認められる。椀は口縁部が先細りになって直線的に抜けるものと、端反りを呈するものがある。皿の口縁破片は少ないが、やや端反りとなる。印刻花文を施すものも見られる。底部は平底、平高台、蛇ノ目高台の3種が認められる。細片のため時期比定は困難だが、形態的な特徴から平尾政幸の編年[平尾1994]のI期新(810~840年頃)~II期古(840~870年頃)内で収まるものと思われる。

#### (5) 灰 釉 陶 器(第12図)

灰釉陶器の破片は462点出土している。その内10g以下の細片が75%と大半を占める。接合資料は1 割程度で、全形を把握できるものは少ない。器種は椀・皿・段皿・耳皿・長頸壺・短頸壺・短頸壺蓋・



第12図 施釉陶器の器種分類

#### 2 平安時代の土器・陶器

瓶・平瓶が認められるが、椀類と皿類、壺類と瓶類の破片形状は類似しており、器種細分できない資料も多い。椀の口縁部は大半が端反りの形状を呈する。皿類の口縁部は、皿としたものが端反りを呈するのに対して、段皿はそのまま直線的に抜けている。胎土はやや粗く須恵器の胎土に類似したものと、混入物がほとんど見られない白く精緻なものの大きく2種が認められる。胎土分析を行っていないが、前者は猿投産、後者は東濃産と考えられる。椀・皿類に限定して両者の比率を見ると、325点中で猿投産が217点(67%)、東濃産が108点(33%)である。また壺・瓶類で東濃産と考えられるのは非常に少量である。詳細な検討は出来なかったが、大半は猿投の黒笹90号窯式(840~900年)の製品と考えられる。

## C遺物各説

#### $SB1 (1 \cdot 2)$

1は97P665より出土した杯蓋で、口径14.8cm、端部は内傾する。2は97P1251より出土した小甕で A 類に分類される

#### SB2 (3)

3は97P1434より出土した口径9.2cmの長頸壺で、口縁端部のつまみあげは弱い。

#### SB4 (4)

4は97P2610より出土した口径 7.0 cmの長頸壺の口頸部で、口縁部が大きく外反してほぼ直角をなす。 端部は上方につまみあげられる。

#### SB8 (5)

5 は98P389より出土した。ロクロ成形の中世土師器皿B1Ⅱ類に類似し、後世の撹乱により混じりこんだものと思われる。

### $SB12 (6 \cdot 7)$

共に98P1072より出土した土師器無台椀で、6はBII類、7はCI類に分類される。

### $SB13 (8 \sim 66)$

大型掘立柱建物の柱穴より出土したものを遺構別に掲載した。32 は無台杯 BII 類で底面に板状圧痕が認められる。33 は有台杯 C2 類で、体部は直線的に立ち上がる。13・31 は長頸壺で、13 は口縁部の外反が弱く、端部も斜方向に引き出される。45 は壺・瓶の底部で、高台は内端接地する。土師無台椀は口径17.1 cm以上のI類(14・17)と13.0 cm以下のIV類(15・22・34・37・55・60・61)があり、小形品が多い。内黒無台椀はII類(36)、III類(20・63)、IV類(8・9・29・30・35・39・47・56)があり、土師無台椀同様に小形品が多い。27 は小皿で、椀の形態に類似した A類に分類される。28・38・62 は皿で、A類(38)とC類(28・62)に分類される。38 は底面中央が内側に膨らむ。C類の2点は口縁部が端反りを呈し、底面はロクロケズリで調整される。62 には赤彩の痕跡が認められる。内黒土器では他に有台皿(18・49)、鉢(16・40・58)が出土している。16 は口縁部付近が最も厚く、端部は内面にやや引き出される。内面は横位にヘラケズリ調整が施される。

10・21・26・41・42・50・51・57は小甕で、A類 (10・21・42・57)、B類 (41・50)、C類 (26) が認められる。19・24・52・59・65・66は長甕で、B類 (19・59) とC類 (24) が認められる。24は内外面共にカキ目調整で、口縁端部は外側に面を持つ。鍋はA類 (44)、B類 (25・43・53)、C類 (12・54) があり、11の体部は内外面カキ目で調整される。

緑釉陶器が1点、98P1177から出土している。23は平底の皿と考えられ、胎土が軟質なためほとんど

の釉が剥落している。底部と体部の境はわずかに屈曲し、体部は外傾して直線的に延びる。

#### $SB14 (67 \sim 71)$

68 は須恵器無台杯 AII 類に、67・71 は土師器無台椀 CIV 類に分類される。

#### 97 P 40 (72 · 73)

72 は無台杯で、底部外面に横断する一筋の灯明痕状のものが認められる。73 は手づくねの中世土師器 皿 A1d 類に分類したが、平安時代末の遺物である可能性も残す。

#### 97 S K 91 (76)

76 は浅くて小形な土師器無台椀で、DIV 類に分類される。体部が屈曲しており、皿 A 類に類似した特徴を持つ。

#### 97 S K 92 $(77 \sim 81)$

比較的小皿が多く出土した土坑で、78・79はC類に分類される。12世紀の遺物と考えられる。他に出土数の少ない土師器有台皿(80)が出土している。

#### 97 S E 200 $(82 \sim 86)$

井戸枠を持つ井戸で、遺物は細片しか出土していない。甕片(82・83)2点と土師器無台椀の底部(84~86)3点を図示した。椀は全て回転糸切りである。

#### 97 S E 517 $(88 \sim 91)$

88 は緑釉陶器の皿の底部で、蛇ノ目高台を呈する。高台中央がくぼみ、内側がやや浮いて外端接地となる。胎土は緻密で硬質である。89 の小皿はC類に分類され、12 世紀の遺物と考えられる。

#### 97 S K 626 (92 · 93)

92は土師器椀 CIV 類に、93は小甕の A 類に分類される。

### 97 S K 1154 $(96 \sim 101)$

96~99 は無台椀で、96~98 は全て CIV 類に分類される。98 は墨書土器で、「四」、「皿」または部首「アミガシラ」などが考えられるが不明である。

### **97 P 1217** (102)

102は小甕のB類で、口縁部は体部から短く屈曲し、上方へ直立する。

### 97 S K 1402 (103 · 104)

103・104は土師器無台椀で、103には灯明痕が認められる。

### 97 S E 1413 $(105 \sim 107)$

全て土師器の無台椀で、105はDⅢ類、106はDIV類に分類される。107は口径からⅢ類に相当し、105と共に口縁が端反りを呈する。

## **97 P 1628** (108)

108 は横瓶の体部片で、外面は平行打圧痕、内面は円形押圧痕後にカキ目が施される。体部外面は自然釉が被り、緑色を呈する。

#### 98 S D 671 $(111 \sim 117)$

111 は短頸壺の蓋で、口縁は垂直に落ちてから端部で外反する。114 は内黒無台椀 CN 類に分類したが、口縁部が端反りを呈し、有台椀の可能性がある。117 は鍋の全形を把握できる数少ない資料である。口縁部が受け皿状に屈曲し、端部に向かって徐々に肥厚する。外側に面を持ち、断面が長三角形状を呈する。端部はわずかにつままれる。鍋 B 類に分類される。内面の調整は不明瞭だが、外面体部上半がカキ

#### 2 平安時代の土器・陶器

目、下半は平行打圧痕が認められる。

#### 98 P 672 (118)

118は小皿B類で、外面はロクロナデの凹凸が明瞭に残る。

#### 98 S E 674 (119)

119は小ⅢB類で、口縁部が一段薄くなっている。器高が不均一で造りが粗い。

#### 98 S E 709 $(120 \sim 126)$

122 は壺か瓶の底部で、内面に横位のカキ目が明瞭に残る。底部外面は薄い黒色を呈し、硯として転用された可能性もある。124 は有台皿に分類したが、底部壁厚が厚いため有台鉢の可能性もある。

#### 98 P 789 (132)

132 は内黒有台椀の底部で、体部のロクロナデと底面のケズリが明瞭に残る。高台は三角形を呈し、端部が外方へつまみ出される。

#### 98 S K 884 $(140 \sim 143)$

140 は緑釉陶器の椀で、やや内湾するものの直線的に抜ける。端部は先細りを呈する。141 · 142 は 土師器無台椀 Ⅳ 類、143 は内黒土器無台椀 Ⅲ 類にそれぞれ分類される。

#### 98 S D 899 $(144 \sim 179)$

多量の土器を出土した98SD1000と、SB13を挟んで反対側に位置する溝である。98SD1000と比較して細片が多いが、出土した器種は多様である。土師器・内黒土器共に無台椀が主体で、口径の小形なものが多い。土師器椀にはBIV類(154・159)とCIV類(155~158・160)があり、内黒椀にAIV類(165)とCII類(167)が認められる。径高指数は不明だが168~170は口径が167に近く、III類に分類される。145・146は有台杯で、体部が急激に立ち上がり、口縁でやや外反する。高台端面は窪み、内端で接地する。147は須恵器で器種不明だが、内面の底部と体部にハケ目が認められ、口縁が広く開口していたと考えられる。よって大鉢と呼称した。焼成が悪く器面が風化しているため底面の調整は不明だが、無台であったと思われる。全体的に器壁は薄造りである。149は短頸壺の蓋で、口縁が内湾しながら落ち、端部が内側に面を持って収まる。

151~153は灰釉陶器で、151・152の椀はいずれも端反りを呈する。153の皿は高台断面が三角形をなし、内端接地する。161は土師器の大椀で、推定口径22.0㎝を測る。163は土師器有台盤としたもので、上部が欠損しているため全体形は不明である。身の内面は外面と比較してやや荒れており、使用の結果とも思われる。高台は内外面共にロクロナデが明瞭に残り、端部はわずかに内側に折り返される。164は器種不明で、胎土は土師器の煮炊具に類似するが、形状は古墳時代の二重口縁壺と類似する。179は内黒土器の小甕状のもので、1点だけ出土している。口縁は「く」字状に屈曲して外反し、端部がやや肥厚して丸く収まる。

#### 98 P 965 (183)

183 は中世土師器皿、ロクロ成形のB2I類に分類され、内外面全面に灯明痕の煤が付着する。

#### 98 S D 1000 $(184 \sim 415)$

232点を図示した。184~286が集中区1、287~320が集中区2、321~352が集中区3よりの出土で、353~415がその他の地点からの出土である。器種別の点数は須恵器の無台杯12点、有台杯10点、杯蓋1点、壺・瓶類5点、甕1点、土師器の無台椀125点、大椀1点、皿3点、有台皿1点、有台盤2点、小甕5点、長甕2点、鍋3点、内黒土器の無台椀40点、有台椀3点、有台皿13点、鉢類3点、灰

釉陶器の皿1点、段皿1点である。土師器の無台椀が圧倒的に多い。それぞれ種別毎に概観する。

無 台 杯 AI類 (184)、AII類 (185)、BII類 (322~325・355・356)、CI類 (321・354)、CII類 (288)、その他 (287) がある。口径が12.5 cm以下で、径高指数 $24\sim26$  を示す個体が多く、その内4点は集中区3からの出土である。287は墨書土器で、口径からI類に分類される。字体は2文字と思われ、「十暦」と思われる。288と354の底部内面には墨痕状の薄い黒色が認められる。

有 台 杯 A1類 (289・358)、A2類 (186)、B類 (328)、C1類 (327・357)、C2類 (360)、C3類 (359)、E類 (326)がある。他に底部を欠損するが体部の角度から有台杯に分類される361がある。形態に偏りは見られないが、径高指数の中間的なものが少なく、身が深いA類 (指数40以上)と身が浅いC類 (指数30~34)にほぼ分化される。A1類の高台は外端接地となるが、C類の高台は内端接地のものが多い。186の有台杯は高台貼付後に丁寧なケズリが施され、高台は断面三角形を呈し、他とは異なる。集中区2出土のもの(289)と接合した。底面より体部の方がやや分厚い。328は口縁部の外反が大きい形態で、施釉陶器の影響を受けた可能性がある。内面口縁部付近を中心にタール状の付着物が認められる。357の底面にはヘラ記号「×」が記されている。326はE類で、1点だけ出土している。灰釉陶器椀の模倣と考えられ、98SD1024出土のもの(416)と接合した。

杯 蓋 353 は天井部が厚く、体部との境界は緩やかである。また口縁部端の屈曲も弱い。つまみ部が欠損するが、A 類と思われる。

壺・瓶類 187は短頸壺の蓋で、口縁が垂直に落ちて端部はそのまま丸く収まる。188は長頸壺の口頸部で、口縁部は水平方向に湾曲し、端部は上方へ引き出される。189は横瓶の体部で、内外面共にロクロナデ後のカキ目のみが見られる。329は回転糸切りの平底を呈する。体部との境は外方へせり出した形態をとる。灰釉陶器の瓶と形態が類似している。362は体部下半で、底面が大きく外側に膨らむ。

**甕** 363 は推定口径 52.0 cmの大甕で、ラッパ状に大きく開く。口縁端部は上方へつまみ出される。端部 外面は中央が深い凹線状を呈する。

土師器無台椀 図示した無台椀125点を分類すると、BI類2点、BⅢ類3点、BⅣ類36点、CⅢ類2点、CⅣ類78点、DI類1点、D4類2点、その他1点となる。口径11.1~13.0㎝、径高指数30~34のCⅣ類が6割以上を占める。内面や外面に赤彩を施したものも多く、可能性あるものも含めて48点と4割弱を占める。口縁部付近に集中する傾向もあるが、内面の見込みに「の」字状の渦巻文を施すものが数点有る。251・252・302・387の口縁内面には灯明痕が認められる。260は墨書土器で、字体は不明である。301の底面にはヘラ記号状の「-」が見られる。

大 椀 396は口径24.4㎝を測る。器壁が薄く、器面は風化している。口縁端部はわずかに端反りとなる。

血 A類(261・303)とC類(344)が認められる。303は口縁部が上方へ屈曲して稜を持つ。 内外面赤彩される。344の底面はロクロケズリで調整される。

有 台 皿 1点出土している。395の形態は内黒土器有台皿A類と類似しており、同様のケズリ調整も行われている。未製品の可能性が高い。外面には赤彩が見られる。

有台盤 304は身の下部で、体部が緩やかに湾曲している。器壁は徐々に薄くなり、口縁部まであまり深くならない形状と考えられる。305は高台で、高さ5cm前後を測る。大きく「ハ」字状に開き、端部は丸く収まる。内外面ロクロナデが明瞭である。

小 **甕** A類 (409・410)、B類 (320・411)、その他 (408) に分類され、カキ目調整が多い。

#### 2 平安時代の土器・陶器

長 **甕**  $319 \cdot 412$  があり、いずれも B 類である。口縁部が断面長三角形に近く、端部は上方につままれる。

鍋 A類 (413・414) と C類 (415) がある。 A類の端部は内側に屈曲し、やや窪んだ端面を外側に持つ。 415 は端部が外面にナデ下ろされ、やや尖る。 C類の数量は少ないが、全体的に精良な造りである。

内黒土器無台椀 図示した無台椀40点を分類すると、AI類2点、AII類1点、AIII類2点、AIV類1点、BII類1点、BIII類1点、BIII類1点、BIII類1点、CII類1点、CIII類6点、CIV類8点となる。口径13.1~15.0 cm、径高指数39~35のBIII類が最も多く、土師器無台椀で大半を占めたCIV類がその次に多い。また土師器無台椀で見られなかった。身の深いA類(指数40以上)も一定量認められる。外面に赤彩を施すものも多く、16点出土しており、土師器同様ほぼ4割に赤彩していることが確認された。底面切り離しは回転糸切りで、ほとんどにロクロケズリ調整が施されるが、349は糸切り無調整である。213・309の口縁部にはタール状の付着物が認められる。212は墨書土器で、2文字で構成される。底部に近い上字は則天文字の「天」に類する文字と考えられる。また下字はやや幅広だが「九」であろう。則天文字の「天」については亀田町牛道遺跡から18点出土しており、その出土状況から祭祀的な意味合いで捉えている[立木1999]。

有 台 椀 身の径高指数が50以上のA類 (280)、無台椀の身と類似したB類 (315・404) に分類される。280の高台は体部との境から大きく開き、内端で接地する。315・404は高台が剥落した有台椀で、口縁部は端反りとなる。形態的には灰釉陶器の椀に類似する。

有 台 皿 高台を有するものを A 類( $281 \sim 285 \cdot 316 \cdot 351$ )、高台の剥落したものを B 類( $279 \cdot 286 \cdot 350 \cdot 352 \cdot 405 \cdot 406$ )として分類した。 A 類 7点、 B 類 6点のほぼ同数で、高台が剥落しやすかったことが窺える。底面は高台を中心にケズリが施されるが、中央部無調整で回転糸切り痕を残すものもある。

鉢 類 317・407は鉢で、317は体部が直立気味で、口縁部は徐々に肥厚して上方に平らな面を持つ。407は椀のように緩く内湾して立ち上がる。口縁端部は内面がわずかに面取りされている。318は 鍔付の鉢で、体部中央に断面三角形の隆帯が巡る。内面は横位のミガキ調整が施される。

灰釉陶器 細片が大半で、2点だけ図示した。364は段を持たない皿の口縁部で、端部のみ端反りとなる。365は口縁部から1/3程の所に段を持つ段皿で、底部大半を欠損する。体部は緩傾斜で内湾しながら立ち上がり、段を持って口縁部に至る。口縁部は外反して、上方に平らな面を持つ。高台は薄く、先端は尖り気味である。

#### 98 S D 1024 $(416 \sim 418)$

416 は有台杯E類としたもので、体部が緩やかに内湾して立ち上がり、口縁端部へ向かって徐々に器壁が薄くなる。高台断面は長方形に近く、端面が若干窪む。外面は灰を被り白っぽい。器形が他の須恵器有台杯と異なり、灰釉陶器椀の模倣と考えられる。98SD1000集中区3出土のもの(326)と接合した。418 は須恵器の口縁が直立する瓶である。体部の器壁は薄く、長胴で全形が砲弾型を呈する。内面体部上半は横位のカキ目、下半は同一工具によりハケ目が施される。

#### 98 P 1042 (420)

420 は横瓶の口縁部で、内面にわずかながらカキ目が認められる。外反する口縁部は他の横瓶と比較 して長めで、端部はやや内傾した面をなす。

#### 98 S K 1070 (424)

424は口縁が直立する有台杯で、C3類に分類される。高台は剥落しているが安定性が良く、そのまま使用されたものと思われる。

## 98 S D 1073 $(425 \sim 427)$

425 は無台椀 CIV 類に分類される。内面は赤彩されている。426 は端部が上方へつまみあげられ外側に面を持つ。長頸壺に分類したが、頸部に向かってすぼまる気配が無いため、広口壺の可能性もある。427 は内黒の有台杯で、高台端を欠損する。須恵器の有台杯の形状に類似し、急激に立ち上がった体部は口縁部で外反する。

#### 98 P 1081 (428 · 429)

428 は壺か瓶の体部下半で、内面には細いハケ目が無数に認められる。429 は小皿 A 類で、内外面が 赤彩される。

#### 98 P 1101 (432)

432 はⅢB類に分類され、底部切り離しは回転ヘラ切りである。

#### 98 P 1102 (433)

433は無台杯の底部で、底面は中央部がやや膨らむ。中央が膨らむ形態は当遺跡で少ない。

#### 98 P 1103 (434)

434は杯蓋で、口縁端部はつままれて垂下するが、内面に段差はほとんど認められない。

#### 98 P 1110 (435)

435 は小甕 B 類で、外面全面に煤が付着する。内面も口縁部以外に、底部付近にも多く認められる。

## **98 S E 1124** (439 ~ 448)

完形品が数個体まとまりをもって出土している。須恵器は全形を把握できる資料はない。図示しなかったが、底面の広い有台杯が他の椀とほぼ同レベルから出土している。441・443~445は土師器無台椀で、441はBIV類、他はCIV類に分類される。深さがやや異なるがほぼ同じ法量を示す。441・443・444の内面には曲線を基調とした墨痕とも思われる線が幾筋も認められる。また441・443は内面のみ赤彩が施される。446は内黒有台椀BIV類、447は有台皿A類に分類される。

### **98 P 1135** (449 · 450)

449 は杯蓋のつまみ部分で、つまみは大きめで口径に対する比率が高い。杯蓋のB類とした。この形態の数量は少なく、焼成温度も低いためか全体的に色調が白い。450 は甕の口縁部で、端部は外方に折り返され下に垂下する。端部外面はわずかに窪む。449・450共に焼成が軟質で、胎土も類似している。

#### 98 P 1235 (453 · 454)

453 は薄手の土師器無台椀で、口径 12.0 cmと小形である。口縁端部の内外面に灯明痕が残る。454 は内黒土器有台皿の口縁部で、端部は直線的に抜けている。

## **98 P 1314** (458)

458 は有台杯 C2 類に分類される。器壁が厚手の造りで、高台は「ハ」字状に開き内端接地する。端面の4 窪みは比較的大きい。内端の接地面には板状圧痕が認められる。

#### 98 P 1335 (462)

462は甕の体部で、外面は平行打圧痕、内面は円形もしくは放射状の押圧痕が認められる。

#### 2 平安時代の土器・陶器

#### 98 P 1344 (463)

463 は小甕の口縁部で、端部が上方へつまみあげられるB類に分類した。

#### 98 P 1362 (464)

464は甕の体部片で、外面は格子目打圧痕、内面は平行押圧痕である。この手法のものは少ない。

### 98 P 1459 (471)

471 は口縁端部が内傾し、長甕A類に分類される。口縁部がやや長めの造りである。

### 包 含 層 (706~743)

706~714は須恵器である。706~708は杯蓋で、いずれもつまみが偏平な宝珠形を呈するA類に分類される。つまみには中央部がやや窪むもの(706)と隆起するもの(708)がある。708の端部は長めで、断面直方体を呈する。706と707は短めで断面三角形を呈する。709の有台杯は底面が広く、体部が外反しながら立ち上がる。色調が白く、遺跡内では古い様相を示すものである。98P1135より出土した杯蓋の449は、この709の胎土・色調に類似しており、対になる可能性がある。710の無台杯は体部との境に角をもって立ち上がる。無台杯D類とした。全体的に薄手で、9世紀中頃の小泊産と考えられる。711・712は稜椀である。711は全形を把握できる資料で、全体的に厚手の造りである。体部のほぼ中央に稜を持ち、上半は外反しながら垂直方向へ延びる。端部は丸く収まる。高台は「ハ」字状に長く大きく開き、端部が裾広がりになって全面で接地する。内面と体部上半はロクロナデ、下半と底部はロクロケズリが施される。713は短頸壺の蓋で口縁が内傾して落ちる。端部は外方につまみ出され、内側に面を持つ。714は横瓶で、外面平行打圧痕、内面は円形押圧痕+カキ目で、閉塞部付近にはあまり見られない。口縁端部は内傾した面を持つ。

715~719 は緑釉陶器である。715・716 は椀で、端反りを呈する。715の外面はわずかな凹凸があり、ミガキ調整によるものと思われる。717~719 は皿で、717 は内面に花文が印刻される。718 は底部片で、回転糸切り無調整の平高台を呈する。形態から山背産の可能性が高い。719 は蛇ノ目高台を呈し、内端が大きく浮き上がる。胎土は硬質で、88 と形態も類似する。

720~732は灰釉陶器で、椀(720・721)、皿(722・732)、段皿(723)、長頸壺(724・725・727・731)、短頸壺(726)、瓶(728~730)に分類できる。720は端反りである。721の高台は外側に引き出され鋭い稜を持つ。722の体部は口縁部に向かって徐々に薄くなり、口縁端部をわずかに丸める。高台は長方形で内端接地する。723は比較的大形の段皿で、体部に2段の段を持つ。高台はわずかに内湾して大きく開く。724は上下への引き出しが鋭い。一方727は下方のみに引き出す。725は底部で、内面に自然釉が付着する。高台は短く外側に突き出され、端面に稜を持つ。726の口縁はほぼ直角に屈曲し、内面は丁寧にナデが施される。728は瓶の体部で無釉である。内面に接合痕が明瞭に残る。729は体部下端の底部との境を沈線引きし、高台状に区画している。730は逆に境が窪んでいる。730は小形の長頸壺としたが、薬壺の可能性もある。732は皿の底部で、高台周辺を人為的に打ち欠いている。

733~737、741~743 は土師器である。733 は無台椀 CIV 類、734 は無台椀 DIV 類に分類される。734 は内面に円形の赤彩が認められる。735 は皿 A 類で、口径 23.0 cmと最も大形である。736 は皿 B 類に分類される。737 は土師器の有台椀で、身の部分の径高指数が 54 を示す。体部は急傾斜でやや内湾しながら立ち上がり、口縁部でやや外反する。断面三角形の高台は底部と体部の境に位置し、外傾して接地する。741・742 は長甕 A 類で、内外面ロクロナデ後カキ目が施される。743 は長甕 C 類で、口縁部は短く屈曲し、内外面太幅のカキ目が施される。

 $738 \sim 740$  は内黒土器である。738 は口径 21.2 cmの大椀で、口縁端部がわずかに外反する。739 は有台椀 A 類としたが、内湾する対部から口縁が大きく外反しており別器種の可能性も高い。740 は有台皿 A 類である。

# 3 中世の土器・陶磁器

## A 概 観

中世の遺物は遺物包含層が存在しなかったことから、遺構出土のものが中心である。よって中世の遺構が集中する部分、集中区1 (28・29K、28・29L区を中心とした部分)、集中区2 (27~29O・P区を中心とした部分)、集中区3 (24・25O、24・25P区を中心とした部分)からの出土が大半である。土器は珠洲焼を主体とし、中世土師器が一定量存在する。中国陶磁器の青磁・白磁の出土量は少ないが、瀬戸・美濃焼より多く出土している。越前焼は甕の体部片が数点出土したのみである。珠洲については吉岡康暢の編年区分[吉岡1994]、瀬戸・美濃焼は藤沢良祐の編年区分[藤沢1993]を参考にした。

## B 形 態 分 類 (第13図)

## (1) 珠 洲 焼

#### (2) 中世土師器

土師質土器とも言われ、平安時代以前の土師器と区別するために中世土師器の語を用いた。器種は皿類に限定され、48点を図化した。成形技法上分類すると、手づくねによるもの(A類)と口クロ成形によるもの(B類)が見られ、A類が約3分の2を占める。B類は見込みにロクロナデによる渦状の凹凸が残る。A類は横ナデが弱く胎土に砂を多く含むもの(1類)と、横ナデが強く胎土が精良なもの(2類)の2種に大別できる。B類は口径によりやや形状が異なり、10.0 cmを境にⅠ類とⅡ類に分類できる。またA・B類とも形態上の特徴から、次のように細分を行った。

A1a類 器壁が全体的に厚く、外面の口縁やや下を指1本分だけ強く横ナデするため、体部中央に稜を 持つ。

A1b類 器壁が全体的に厚く、底径が狭い丸底状を呈する。口縁端部は丸く収まる。

A1c類 底径が広く、体部(口縁部)を短く屈曲させる。

A1d類 1a~1c類以外を一括した。体部が直線的で、端部は先細りとなる。B類と似る。

A2a類 小形で丸底を呈する。口縁部は外反し、端部がわずかにつまみ上げられる。

A2b類 中~大型で平底を呈する。直線的な体部は口縁部で外反し、端部がつまみ上げられる。

A2c類 2a・2b類以外を一括した。口縁部は体部より肥厚して先細りに収まる。数量は少ない。

B1I 類 10.0 cm以下で、体部(口縁部)が底部から直線的に上方へ立ち上がる。

#### 3 中世の土器・陶磁器

B2I 類 10.0 cm以下で、体部(口縁部)が斜めに立ち上がる。

B1Ⅲ類 10.1 cm以上で、体部が直線的またはやや内湾する。□縁部は先細りとなる。

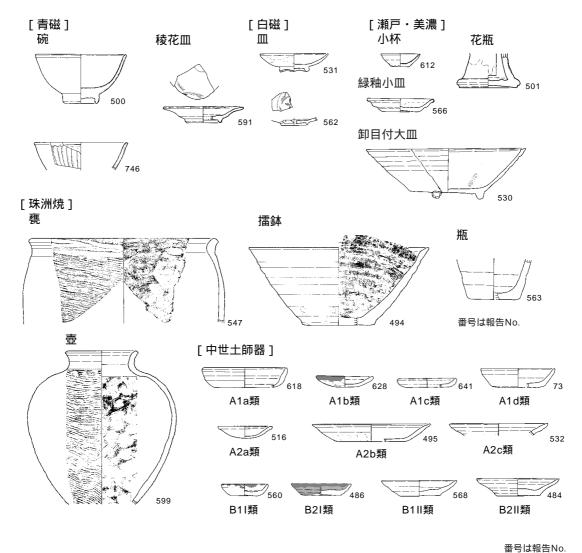
B2Ⅱ類 10.1 cm以上で、体部下半で大きく括れて立ちあがり、口縁部は先細りとなる。

## (3) 青 磁

青磁には碗と皿が認められる。破片点数は碗が53点、皿が20点出土している。全形を把握できる資料が少ない。碗に関しては上田秀夫 [1982] の分類を参考に、該当するものを観察表に記した。碗は体部が内湾しながら上方へ立ち上がるのがほとんどで、端反りになるものが少量有る。体部の文様は蓮弁文が施されるものが多い。皿は口縁が花弁状をなす稜花皿が大半である。時期は15世紀を中心としたものが多い。

## (4) 白 磁

数量は少ない。器種は皿のみが認められる。大半が15世紀後半に主体をもつ、高台の四方を削り込む 割高台の無文皿である。1点だけ高台が薄くて低い、見込みに文様を持つものがある。



第13図 中世の土器・陶磁器の器種分類

## (5) 瀬戸・美濃焼

数量は少ない。器種は小杯・緑釉小皿・花瓶・卸目付大皿などが出土している。

### (6) 越 前 焼

中世陶磁の中で最も出土数量が少なく、甕と擂鉢の破片が数点出土しているのみである。

## C遺物各説

#### 97 S D 2 $(476 \sim 492)$

476 は白磁の四方割高台皿である。見込みに重ね焼きの目跡が4ヶ所認められる。477~481 は珠洲焼である。477・478 は甕で、477 はⅢ期と思われる。479~481 は擂鉢で、479・480の口縁端面は内傾している。480 には彫りの深い波状文が認められ、V期の製品と思われる。481 は底部のみで不明だが、卸目も粗くほぼ同じ時期であろう。482~488 は中世土師器皿でA1c類 (488)、A2b類 (482・483・485)、B2I類 (486・487)、B2II類 (484) が認められる。485~487 は灯明痕が認められ、486 底面を除くほぼ全面にタール状の付着物が認められる。489 は越中瀬戸の丸皿と考えられる。490 は近世陶磁皿だが、磨滅のため産地等不明である。491・492 など平安時代の遺物も多く混在している。

#### 97 S E 6 (493)

珠洲焼の甕で、底部に近い体部片である。断面に漆接ぎ痕が認められる。

#### 97 S E 50 $(494 \sim 497)$

494は珠洲焼擂鉢でほぼ全形を把握できる。内傾した口縁端面に波状文が施文される。底部内面は磨滅して卸目が消えている。外面には指頭圧痕が見られる。造りがシャープであり、端面の内傾はきついが V期の製品と考えた。494は手づくねの中世土師皿で、16世紀のA2b類に分類される。496・497は須恵器の壺・瓶類である。

### 97 S E 95 (498 · 499)

498・499 は珠洲焼擂鉢で、共に V 期と思われる。卸目は1単位当たり498で9本、499で7本である。

### **97 S D 100** $(500 \sim 519)$

500 は青磁碗で、体部はやや内湾しながら立ちあがる。底面は基本的に露胎で、釉は高台内面まで及ぶ。基本的に無文だが、外面口縁部に幅2㎜の条線が横位に巡る。見込みには不動明王を示す梵字「カーン」に類似した印刻が見られる。また破損面に漆接ぎが認められる。501 は瀬戸・美濃焼の花瓶脚部である。底部が裾広がりに開き、端部に段を持つ。底面は回転糸切りで中央部がやや窪む。502~507 は珠洲焼で、502・503 が甕、504~507 は擂鉢である。504・505 が V 期、506 が VI 期と思われる。508~517 は中世土師皿で、A1b 類(515・517)、A2a 類(514・516)、A2b 類(508・509・512・513)、B1 II 類(510・511)が認められる。515・517 に灯明痕が認められる。518・519 は近世陶磁で、唐津焼である。518 は大皿で藁灰釉がかかる。見込みに胎土目が4点確認され、肥前 I -2 期(1594~1610 年)に比定される。519 は皿としたが椀の形状に近い。

## **97SE 1 0 9** $(520 \sim 522)$

520・521 は珠洲焼の甕と擂鉢で、520 は頸部が無くて肩も張らないことから VI 期と考えられる。522

#### 3 中世の土器・陶磁器

は須恵器杯蓋で、中央部が膨張している。

#### **97 P 169** (523)

523 は瀬戸美濃焼の緑釉小皿で、口径 10.0 cmを測る。

#### 97 P 143 (524)

524 は珠洲焼擂鉢で、口縁端部は内側につまみ出されて尖り、端面は外傾している。外面の口縁部下に 1本の沈線が巡る。Ⅲ期の製品で、卸目は1単位(幅2.1 cm)当たり12本である。

### **97 S E 179** $(525 \sim 528)$

525 は青磁碗で、大きな蓮弁文が認められる。14世紀~15世紀前半に比定される。526・527 は珠洲焼擂鉢で、526が V期、527が VI 期と考えられる。526の片口部には指頭圧痕が見られる。528 は回転糸切りの15世紀の中世土師皿で、B2I 類に分類される。

#### 97 P 213 (529)

529 は珠洲焼擂鉢で、底径 14.6 cm、体部は急激に立ち上がり大きく開く。

#### **97 S E 248** (530)

530 は瀬戸美濃焼の卸目付大皿で、口径33.6 cmを測る。古瀬戸後期様式Ⅱ期(15世紀第1四半期)に 比定される。底面には脚が3ヶ所貼り付けられ、内面の体部に格子卸目が見られる。釉は内外面の体部上 半までかけられ、他は露胎である。見込みに6ヶ所の黒褐色の焼痕が見られる。

#### 97 S E 291 (531)

531 は四方割高台の白磁皿で、見込みに重ね焼き痕の目跡が4ヶ所見られる。二次被熱により全体が黒ずみ、釉には貫入が認められる。

## 97 S E 302 (532)

532 は中世土師皿で、A2c 類に分類される。数量が少ないが、16世紀のものであろう。

#### 97 P 344 (533)

533 は中世土師皿で、B1I類に分類される。口縁全周に灯明痕が認められる。

### **97 S K 390** (534 · 535)

 $534 \cdot 535$  は中世土師皿で、534 はA2b 類、535 はA2a 類に分類される。いずれも京都系の手づくねで、胎土は精良である。16 世紀に比定される。

### 97 S E 450 (536)

536は中世土師皿で、手づくねのA1c類に分類される。13世紀後半~14世紀のものである。

### **97 S E 457** (537)

537は片口の擂鉢で、形状から珠洲焼IV期に比定した。口縁部は直線的で、端面を外に持つ。卸目は密に施され単位不明である。色調が赤味を帯びており、別の産地の製品である可能性もある。

#### 97 S E 497 (540)

540 は中世土師皿で、A2b 類に分類される。底部内外面に灯明痕が観察される。この形態で灯明皿として使用されるものは非常に少ない。

### **97 S E 516** (541)

541はⅣ期と考えられる珠洲焼擂鉢で、卸目は1単位6本の工具を2回引いている。

## **97 S E 522** $(542 \sim 544)$

542 は外面縦方向に稜を持つ青磁碗で、蓮弁文を呈すると考えられる。高台は釉被りにより断面三角形

を呈し、先端部のみ露胎となる。外底面は高台付近に一段段を持つ。13世紀後半~14世紀の製品であろう。543 · 544 は珠洲焼擂鉢の体部で、時期は不明である。

#### **97 S E 523** (545)

545は中世土師皿で、B1Ⅱ類に分類される。

#### **97 S E 553** $(546 \sim 550)$

546 は蓮弁文の青磁碗で、蓮弁が細線で線描きされる。剣頭は緩やかな波状を呈するが、単位の意識は認められる。内面中央付近に2本の条線が横位に巡る。547・548 は珠洲焼きの甕と擂鉢で、V 期の製品と考えられる。547の口頸部には捻った縄状の圧痕が認められる。549 は越前焼の大甕片である。550 は中世土師皿で、A2a 類に分類される16世紀の皿である。

#### **97 P 565** (551)

551 は珠洲焼の甕で、口縁部の屈曲が弱い。VI 期の製品と考えられる。

### **97 S E 564** (552)

552 は珠洲焼擂鉢の底部片で、卸目は磨滅する。外面に指頭圧痕が観察される。

#### 97 S E 598 (554)

554 は珠洲焼の甕でV期と考えられる。断面には漆接ぎ痕が見られる。

#### 97 S K 696 (556)

556は中世土師皿で、B1Ⅱ類に分類される。

#### 97 S E 730 (557)

557 は珠洲焼の甕で、方頭状の口縁部から屈曲し、体部はやや膨らむがほぼ直線的に垂下する。VI 期 に比定され、外面は横方向から斜方向への叩きの境が明瞭に観察できる。

### 97 S E 932 (558)

558 珠洲焼壺の体部下半片で、断面には漆接ぎ痕が見られる。矢羽根状の打圧痕から Ⅲ 期と考えられる。

### 97 S E 976 (559)

559 はV期の珠洲焼擂鉢で、端面がやや内傾する。卸目は中位よりやや上までで、1単位(幅3.2 cm) 14本が4対(8単位)施される。

### **97 P 1019** (560 · 561)

完形の中世土師皿が正位の状態で、2枚重なって出土した。560・561 共にロクロ成形のB1I類に分類され、口縁部全面にタールが付着する。561 の内面には指紋が明瞭に残る。

#### 97 S K 1064 (562)

562 は白磁の皿である。釉の透明感が高い。器壁が薄く断面三角形の低い高台がつく。外面に蓮弁様の、見込みに草花様の模様が見られる。時期は不明である。

## 97 S X 1249 (563)

563は珠洲焼の瓶と考えられる。底径8.4㎝を測る。

### 97 S E 1360 (564)

564は珠洲焼甕で、断面に漆接ぎ痕が認められる。V期と考えられ、体部に花押状の印刻がある。

## **97 P 1408** (565 · 566)

565は白磁の皿で、高台は露胎である。566は瀬戸美濃焼の緑釉小皿である。口縁は分厚い。

#### 3 中世の土器・陶磁器

#### 97 S D 1500 (567)

567は近世陶磁の丸形皿で、見込み蛇ノ目釉剥ぎである。1680~1740年の波佐見窯産と思われる。

#### 97 S E 1805 (568)

568 は中世土師皿で、B1Ⅱ類に分類される。

#### **97 S E 1951** $(570 \sim 572)$

全て珠洲焼である。570・571 は壺で、570の口縁端部は外方へ引き出れ、上に面を持つ。571 は底径10.4 cm、底面切り離しは静止糸切りである。572 は甕で、平行打圧痕により菱目を呈する。

### **97 S E 1957** $(573 \sim 577)$

 $573 \sim 576$  は珠洲焼擂鉢で、 $573 \cdot 574$  の口縁形状から IV 期の製品と考えられる。 $576 \cdot 577$  も造りが共通しており、ほぼ同時期のものであろう。577 は須恵器無台杯 E 類で、底面は回転糸切りである。

### **97 S E 1971** $(579 \sim 581)$

579 は珠洲焼の壺体部片、580 は擂鉢である。579 の平行打圧痕は矢羽根状を呈する。580 はほぼ全体が残る。端面は外傾し、わずかに内側につままれる。卸目は1 単位17 本と細く、4 対(8 単位)施文される。581 は中世土師皿で、A1d 類に分類される。579・580 が皿期(13 世紀中~後)に比定される。

#### **97 S E 2021** (582 · 583)

582 · 583 は珠洲焼擂鉢で、582 は端面が内傾して波状文が施文される。体部との境は明瞭な稜をなす。外面の口縁部下は強くなでられ、凹線状を呈する。583 の卸目は密で、1 単位 7 本である。

#### $97 S E 2022 (584 \cdot 585)$

584 · 585 珠洲焼甕で、584 が IV 期、585 が V 期と考えられる。

## **97 S E 2026** (586 · 587)

586 は青磁碗の底部で、高台は外面に段を持つ。底面は基本的に露胎で、釉は高台内面まで及ぶ。見込みには縁取りの円文の中に草花様文が印刻される。587 は中世土師皿 B1II 類に分類される。

#### **97 S K 2705** $(588 \sim 590)$

588 · 589 は珠洲焼甕で、588 が体部中位、589 は体部下位である。590 は中世土師皿 B1Ⅱ 類に分類でき、時期は15世紀と考えられる。

### **97 S E 2729** $(591 \sim 593)$

591 は青磁の稜花皿で、口縁内面に文様を施す。底面は露胎で、高台内面まで釉が及ぶ。見込み中央に釉が無い部分があり、蛇ノ目釉剥ぎ状を呈する。15世紀に比定される。592・593 は珠洲焼甕で、同一個体の可能性が高い。頸部に捻った縄状圧痕が認められ、593 は縦位の沈線が刻まれる。V期(1380~1450年)に比定され、591とほぼ同時期のものであろう。

## 98 P 178 (595)

595 は瀬戸美濃焼の鉄釉の碗である。口縁部が茶色、他は黒色をなし、天目碗のような色調を呈する。 器壁が薄く、器形から16世紀後半位と考えられるが不明である。

#### 98 S E 179 (596)

596は瀬戸物焼の鉄釉の碗で、削り出し高台である。天目碗の底部と類似する。

#### **98 S E 257** $(598 \sim 601)$

全て珠洲焼である。598の壺片は下半に横〜斜位の擦痕が認められ、研磨具への転用が窺える。599も 壺で、口縁部は緩く外販している。端部は外傾した狭い面を持つ。V期に比定される。600は甕片で、断 面に漆接ぎ痕が残る。601は擂鉢である。

#### 98 S E 258 $(602 \sim 606)$

602 は瀬戸美濃焼の皿の底部である。603 は珠洲焼甕で、底部に近い部分のため器面が磨耗している。604 は須恵器の壺・瓶類とした。605 は珠洲焼の擂鉢で、口縁部はほぼ直線的に先細りとなる。胎土も不良で、VI 期の製品であろう。606 は瓦質土器の鉢と考えられる。隆帯が巡り、その上位に径1 cm程の点線の円形スタンプ文が印刻される。

### 98S E 281 (607)

607は珠洲焼擂鉢である。卸目は密に施文されるが、1単位(幅1.8cm)当たり7本である。

#### 98 S E 393 $(608 \sim 611)$

全て珠洲焼である。608・609 は甕片、610 は壺である。610 は底径 7.4 cmと小形で、底面はケズリ調整される。体部下半に指頭圧痕が認められる。611 は擂鉢で、接合面は無いが同一個体として図示した。端面は内傾し、なだらかに下る体部は中位で急激に落ち込む。端面は磨れて滑らかである。V期の製品と考えられ、卸目は1単位(幅 2.1 cm)当たり10本である。

#### 98 S E 696 (612)

612 は瀬戸美濃焼の小杯で、鉄釉がかぶる。古瀬戸後期様式Ⅲ期(1420~1440年)に比定される。

#### 98 S E 725 (613 · 614)

 $613 \cdot 614$  は珠洲焼擂鉢である。613 の端面は外傾し、内側にわずかにつままれる。614 は最下端の幅 2.4 cm程が明瞭に削られている。卸目は幅広で、 $613 \cdot 614$  ほぼ同じである。613 は IV 期の製品に分類した。

## 98 S E 729 $(615 \sim 621)$

中世土師皿  $(616 \sim 621)$  がまとまって出土した井戸である。手づくねのA1a類  $(616 \sim 618, 621)$  とA1c類  $(619 \cdot 620)$  に分類される。 $616 \cdot 617 \cdot 621$  には灯明痕が認められる。全て13世紀後 $\sim 14$ 世紀のものと思われる。615 は珠洲焼の片口擂鉢で、口縁部はわずかに内傾している。卸目は観察されない。皿期 (13世紀中 $\sim$ 後) と考えられ、中世土師とほぼ年代が一致する。

### 98 S E 813 $(622 \sim 624)$

622 は珠洲焼の体部片である。卸目は観察されない。623・624 は土師器の小皿で、623 が C 類、624 が B 類に分類される。

### 98 P 935 (625)

625は中世土師皿でA2b類に分類される。16世紀の京都系土師器で、端部が上方につままれる。

#### 98 S E 958 (626 · 627)

626 は珠洲焼甕の頸部に近い部分である。627 は灰釉陶器の平瓶で、底径 20.0 cmを測る大形品である。 高台は方形を呈し、内側がやや浮いて外端接地となる。内面には自然釉が全面に認められる。器壁は底部 と体部の境が最も厚く、体部上方へ向かって徐々に薄くなる。

#### **98 P 1023** (628 · 629)

628 · 629 共に中世土師皿 A1b 類に分類され、口縁部全周に灯明痕が認められる。

#### 98 S K 1185 $(631 \sim 636)$

 $631 \sim 633$  は珠洲焼である。631 は甕の口縁部で、内面は稜を持ちながら屈曲している。海綿骨針を多く含む。 $632 \cdot 633$  は擂鉢で、632 は器壁が薄い。卸目は両者ほぼ同じで、1 単位(幅3.0 cm)当たり 11

#### 4 近世の土器・陶磁器

 $\sim$  12本である。634 は須恵器有台杯で、高台は全面で接地する。635 · 636 は土師器の長甕片である。 包 **含**  $\mathbf{B}$  (744  $\sim$  752)

744~751 は青磁で、744~749 が碗、750・751 が稜花皿である。744 は口縁端部が外方へ短く折れ、上方に面を持つ。内外面無文で時期不明だが、14世紀以前の資料と考えられる。745 は無文で、口縁部は大きく外反する。15世紀に比定される。746・748 は丸彫りの蓮弁文を有し、形状も崩れていないことから15世紀後半と考えられる。747 は体部が直線的に開く。基本的に無文だが、口縁部外面に1条の沈線文が巡る。749 は大型の蓮弁文を有し、14~15世紀前半頃の製品と思われる。破損面に漆接ぎ痕が認められる。750・751 の稜は緩く、釉も碗に比べて分厚い。内面には口縁部に縁取るような沈線文、体部に箆書きで花文様が施される。750 は外面に横位の沈線が巡る。751 は体部下半で屈曲して底部へと続く。

# 4 近世の土器・陶磁器

## A 概 観

近世に属する遺構の大半は丘陵部上で検出されている。中世同様に遺物包含層が存在しなかったことから、遺構出土の遺物が中心である。しかし、近世の遺構には一括して廃棄したと思われるものがいくつか存在し、各年代対比の資料となり得る。遺物は生産地から肥前系陶磁器、瀬戸系陶磁器、越中瀬戸に大別できる。他に中・近世の瓦質土器が少量存在する。

## B 土 器 分 類 (第14図)

肥前系陶磁器の器種・年代観については『九州陶磁の編年』[九州近世陶磁学会 2000] を参考にした。 碗・皿・鉢・瓶・甕・擂鉢などが認められ、皿は体部~口縁部の形態から丸形皿と端反り皿に分類できる。 碗は全形が把握できるものが少なく分類は行っていない。近世の瀬戸・美濃陶磁器は少ないが、碗・皿・ 擂鉢が認められる。皿は全て端反りとなる志野産である。越中瀬戸は小壺が大半で、1点だけ小皿が出土 している。瓦質土器の出土は少量で、器種不明品が多い。図示した2点は香炉と鉢と考えられる。

## C遺物各説

### 97 S D 201 $(637 \sim 641)$

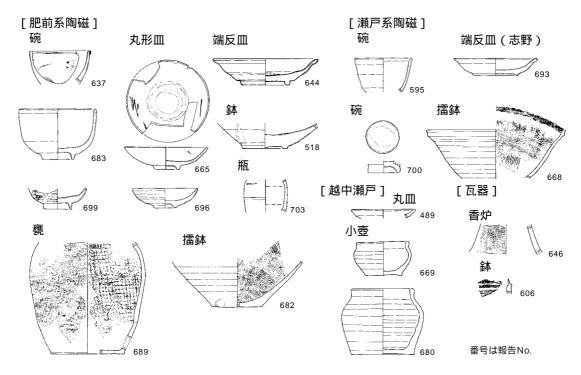
637 は染付の碗で、草花文様が描かれる。初期伊万里と考えられ、肥前系 $\Pi-2$ 期(1640~1650)に 比定される。638~640 は皿で、638 は胎土目、639・640 は砂目と考えられる。638・640 は削り出 しの低高台である。639 は口縁部が釉により肥厚している。640 は被熱しており、釉が変色している。 641 は中世土師 $\Pi$ A1c 類で、13 世紀後半~14 世紀の手づくねのものである。

## $97 S E 774 (642 \cdot 643)$

近世の井戸であるが、珠洲焼擂鉢を2点図示した。642は端面が内傾して波状文が施文される。体部との境は明瞭な稜をなす。外面の口縁部下は強くなでられ、凹線状を呈する。582と同一個体の可能性があり、同様にV期と考えられる。643は卸目が密に施文され、単位は不明である。

## 97 S E 1000 $(644 \sim 655)$

644は唐津の端反り皿で、内外面灰釉である。底部が分厚い造りで、見込みは蛇ノ目釉剥ぎされる。肥



第14図 近世の土器・陶磁器の器種分類

前 IV 期(1690~1780年)の製品であろう。645 は染付碗の底部で、見込みに「福」と思われる「示(シメスヘン)」のみ認められる。646 は瓦質土器で、香炉と考えられる。内面に残存するタール状付着物から、裾広がりの器形を呈する。放射状の沈線の先端に正五角形を三重にしたスタンプ文が数個印刻される。647~654 は珠洲焼で、647~650 が擂鉢、651~654 は甕である。擂鉢の口縁部形状は類似し、内傾した面は持つが直線的である。649 には崩れた波状文が認められる。いずれも VI 期に比定される。651・652 は底部片で、651 は立ち上がり部分がなだらかなのに対し、652 は角を持って立ち上がる。底面は両者ケズリ痕が観察される。653 は底部以外の全形を把握できる。円頭状の口縁部は「く」字状に強く屈曲し、体部へつながる。頸部は無い。体部は肩を張らず、緩く湾曲してから直線的に落ちていく。上端から 1/4程のところに最大径が位置している。IV 期(1280~1380年)の製品と思われる。655 は瀬戸美濃焼の緑釉小皿である。

### **97 S E 1531** (656 · 657)

656 は越中瀬戸の小壺で、口縁部は短く直立し、端部は肥厚している。657 は中世土師皿 B2II 類で、15世紀後半~16世紀に位置付けられる。

## $97 S E 1550 (658 \cdot 659)$

658 は瀬戸系の皿で、低高台である。17 世紀初めの胎土目の時期に併行すると思われる。659 は越前焼の大甕の体部片である。

#### 97 S E 1670 (660)

660は近世陶磁で、口縁が内湾している。釉に貫入が多い。時期は不明である。

### 97 S E 1972 (661)

661 は越中瀬戸の小壺で、底面回転糸切りである。体部は器壁を薄くしながら内湾し、口縁端部をわず かに外反させる。全面鉄釉(錆釉)で赤褐色を呈する。

#### 4 近世の土器・陶磁器

#### 97 S E 2940 $(662 \sim 664)$

662 は波佐見 IV 期(1650~1680年)に比定される近世陶磁皿で、被熱している。 $663 \cdot 664$  は珠洲焼の甕である。664 は断片であり時期不明だが、V期かVI期と思われる。

#### 98 S E 17 $(665 \sim 668)$

665 は波佐見 IV 期に比定される近世陶磁皿で、見込みの蛇ノ目釉剥ぎは薄い。内面口縁部付近に簡略 化した雲様の文様が描かれる。666・667 は越中瀬戸小壺で、667 は底面中央が内向する。668 は瀬戸 系の擂鉢で、口縁部外面は折り返され凹状を呈する。17世紀前半頃と思われる。

### 98 P 44 (669)

669は越中瀬戸の小壺で、器高5.2 cmと最も小形である。内面に煤状の付着物が認められる。

#### 98 P 46 (670) · 98 P 49 (671)

670・671 は越中瀬戸の小壺で、底面回転糸切りである。670 は無釉、671 は鉄釉がかけられる。

#### 98 S E 169 $(672 \sim 682)$

近世陶磁が廃棄されたと思われる井戸で、上層から多く出土している。 $672 \sim 678 \cdot 682$  が肥前系、 $679 \cdot 680$  が越中瀬戸、681 が瀬戸系擂鉢である。 $672 \cdot 673$  はいずれも京焼風で、肥前の皿期かIV期の製品と考えられる。 $674 \cdot 675 \cdot 678$  の丸形皿は外面が灰釉、内面が銅緑釉で蛇ノ目釉剥ぎされる。肥前系内野山窯の製品と考えられ、肥前IV期( $1690 \sim 1780$ 年)に比定される。676 は蛇ノ目釉剥ぎされ、波佐見V1期( $1680 \sim 1740$ 年)と思われる。677 は体部が屈曲する皿で、鉄絵が描かれる。唐津II期( $1610 \sim 1650$ 年)の例に近い。 $679 \cdot 680$  は鉄釉が施される。682 は底面回転糸切りの唐津の擂鉢で、肥前皿期( $1650 \sim 1690$ 年)であろう。卸目は密に施され、1 単位(幅4.7 cm)当たり 15 本である。これらの遺物の年代から、この井戸は 17 世紀末  $\infty$  18 世紀初め頃に廃棄されたものと考えられる。

### 98 S E 200 $(683 \sim 689)$

683・684・689が肥前系陶磁器、685~688は越中瀬戸の小壺である。683は陶胎染付の碗で、被熱のため釉が白色化している。口縁部はほぼ垂直に立ち上がる。肥前Ⅲ期に比定される。684は蛇ノ目釉剥ぎされる丸形皿で、波佐見V1期に比定される。689は底径11.6㎝の唐津の甕で、器壁が薄い。同一工具による格子目の打圧痕・押圧痕が体部内外面及び底部外面に認められる。17世紀頃のものであろう。98 S E 650 (690~696)

全て近世陶磁の皿である。 $690\cdot 691\cdot 696$  が肥前系、 $692\sim 695$  は瀬戸系である。肥前系は全て丸形皿だが、691 はわずかに端部が内傾する。690 は被熱のため釉が若干弾けている。釉がけは内面と体部中位までを基本としているが、696 は釉垂れして高台内面まで及んでいる。 $690\cdot 691$  が肥前 I-1 期  $(1580\sim 1594$  年)、696 が I-2 期  $(1594\sim 1610$  年)と考えられる。 $692\sim 695$  は瀬戸系の志野皿と呼ばれるもので、17 世紀初めに位置付けられる。白色を呈し、口縁部は端反りとなる。釉は全面に施釉されるが、692 の高台内面は露胎である。また692 のその露胎部には、「上□」と読める 2 文字の墨書が見られる。1 点だけ露胎であり、さらにその1 点に墨書されていることを考えると、この墨書は生産地で書かれた可能性が極めて高い。692 の見込みには胎土目跡が3 ヶ所見られ、重ね焼き時の一番下であったことが窺える。695 は直線距離で129 m離れた23S9 区 1 層出土のものと接合している。

#### **98 S E 695** (697)

697は肥前系の皿で、Ⅲ期(1650~1690年)の製品と考えられる。内面は円を基調にした刷毛塗り 文様が見られる。薄く蛇ノ目釉剥ぎされ、被熱のためか、煤状炭化物が付着している。

### 98 S E 806 (698)

698は越中瀬戸の小壺で、底面回転糸切りである。

#### 98 S K 807 $(699 \sim 704)$

699・701~704が肥前系、700が瀬戸系である。699は碗で、体部外面に波状文、見込みに放射状文が刷毛塗りされている。畳付部には砂目状のものが認められる。肥前 IV 期と考えられるが、不明である。701は蛇ノ目釉剥ぎの皿で、内面に簡略化した文様の一部が認められる。665 同様に波佐見 V1 期に比定される。702は皿で、内面に砂目が見られることから肥前 II 期の製品であろう。703 は色絵の瓶である。体部外面は白釉を下地に中央に赤線で2本、上位に鳥の尾羽の先端のようなものが描かれている。704 はⅢ 期の唐津の擂鉢であろう。700 は全体が薄い黄褐色を呈し、緑釉が一部に見られる。黄瀬戸の碗と思われる。

#### 98 S K 813 (705)

705 は擂鉢片で、682 と同じ17世紀代のものであろう。

# 5 古墳時代以前の土器

#### a. 弥生~古墳時代 (753~793)

古墳時代の遺物は丘陵部を中心に少量づつ散布しており、水田部を含めた遺跡全体から出土している。 器種は須恵器に杯・杯蓋・高杯・器台があり、土師器に杯・高杯・器台・甕・壺が認められる。須恵器は 全て5世紀代の遺物と考えられる。

弥生時代の遺物は少量で、ほとんどが細片のため器種不明なものが多い。また古墳時代の遺物と判断したものの中にも含まれている可能性が高い。弥生時代後期の法仏式に比定されるスタンプ文を有する器台 (792・793) が出土しているので、他の遺物もその前後に納まるものと思われる。縄文時代の土器は調査区全体でも数点しか出土していない。図示した2点はいずれも中期初頭の特徴を持つ。

### 97 S X 1204 $(753 \sim 756)$

753 は脚部の3方に円孔を持つ器台で、中央部も孔が貫通している。754 は口縁部内外面横ナデ、体部外面は左上斜位のハケ目が見られる。755 は二重口縁状を呈し、壺の口縁部または器台の脚部と思われる。ラッパ状に大きく開き、外面中程に段を持つ。756 は調整不明で、底部内面は黒色を呈する。

### 98 S K 38 $(757 \sim 760)$

全て内外面ハケ目調整が施される。757は甕の底部~体部で、底径が3.2cmと小さい。758は口縁がほぼ直立状に外傾し、口縁下部はやや肥厚する。760は小形壺で、器形的には758と類似している。759は口縁部が「く」字状を呈し、緩やかに外反して抜ける。

#### 包含層ほか (761~793)

 $761 \sim 771$  は須恵器である。 $761 \sim 763$  が杯蓋、 $764 \sim 767$  が杯身、 $768 \cdot 769$  が高杯、 $770 \cdot 771$  が器台に分類される。杯蓋は $761 \cdot 762$  が口径 14.0 cm前後、763 が 9.7 cm とやや小形である。口縁端部は内傾した面を持ち、 $761 \cdot 763$  が凹状、762 は平らである。口縁部と天井部を画する稜はいずれも張り出しが小さい。口縁部の下がりは761 が緩く、 $762 \cdot 763$  は急傾斜である。杯身の口径は764 が14.0 cm、765 で 11.6 cmを測る。口縁部の立ち上がりは764 が緩やかに上方へ立ち上がるのに対し、 $765 \sim 767$  は強く外反しながら立ち上がる。口縁端部はいずれも丸く収める。764 の受部は断面三角形で、上面が下が

#### 5 古墳時代以前の土器

るものの、765~767は受部が上がり、受口状になっている。764と765~767で形状が異なり、多少の時期差が考えられる。768・769は高杯である。768は口径15.3 cm、脚基部径が4.7 cmを測る。体部は緩く内湾しながら上方へ立ち上がり、口縁端部を先細りにして収める。口縁部と体・底部画する稜の張り出しは弱い。杯身底部と脚部にはカキ目が施され、体部に同一工具による櫛描列点文が巡る。脚部に長方形透かし窓が3ヶ所認められる。769は杯身底部のみが残存し、カキ目が施されている。770・771は器台で、770は上部1/3位までカキ目が見られる。771は底径8.0 cmを測り、底縁内面は受口状になって接地している。底縁外面の屈曲部には沈線が巡り、底縁を除いた全面にカキ目が施される。中位よりやや下に円孔の透かしが3ヶ所に見られる。772・773の胎土は土師質に見られるが、形態から須恵器の焼成不良品の可能性がある。口径は772が10.1 cm、773が8.8 cm程と小形だが、763とほぼ対の法量を呈する。身の形状は764に類似するが、口縁部の立ち上がりは短い。

 $774 \sim 784 \cdot 786 \cdot 787 \cdot 789$  が古墳時代、 $785 \cdot 788 \cdot 790 \sim 793$  が弥生時代と考えられる。  $774 \sim 776$  は高杯である。 774 は口径 14.0 cm、体部下端に段を持ち、口縁部は緩く外反しながら先細りになって抜ける。 口縁外面は緩い稜で体部と区画され面を持つ。 775 は身の底部で、緩やかに湾曲し、口縁との接合部で欠損している。 脚部の接合ホゾが残存する。 776 の脚部内面には接合痕が明瞭に残る。 777 は器台の脚部で、内面は螺旋状に撫でられ、その後ヘラケズリされている。

778~789は甕である。778は口縁外面に面を持ち、胎土に砂粒を多く含む。779は「く」字状に屈曲し、口縁部が大きく外反している。780~782・784も同様の形態を持つが口縁は短めである。782は鋭く屈曲して明瞭な稜を持ち、口縁端部外面に面を持つ。ハケ目が明瞭に認められる。784は体部まで残存するが、器面が磨滅しており調整不明である。783の口縁は段を持って外反し、垂直的な頸部を持つ。785は弥生後期の甕で、内外面横ナデされる。口縁端部は上方と下方へ引き出され、外面に凹状の面を持つ。下端に体部との接合痕が残る。786は短い口縁部が上方やや斜位に立ち上がり、上方に面を持つ。787は底径6.0㎝を測り、外面下端は横位にヘラケズリされ、内面にハケ目が認められる。788は二重口縁状を呈する甕、もしくは壺と思われる。789は甕の底部で、内面が薄い黒色を呈する。ハケ目が認められる。

 $790 \sim 793$  は弥生後期の土器である。790 は高杯の口縁部と考えられ、内外面共に強い横ナデで、大きく外傾した口縁部は中程で緩く屈曲している。791 は器台の口縁部で、外面に擬凹線が $3 \sim 4$  条巡る。792 は装飾器台の装飾部で、外面は中央の稜で二段に別れ、上段の緩く湾曲した面に「 $\infty$ (横 S 字)」のスタンプ文が巡る。下段は無文と思われる。上面は内側に内傾し、「J」字のスタンプ文を巡らせる。外面全体に赤彩の痕跡が認められる。793 は器台の脚部で、先端がやや浮く。上面には不明瞭だが、「 $\infty$ 」のスタンプ文が施される。

## b. 縄文時代(794·795)

2点だけ図示した。いずれも小型深鉢の頸部付近である。794は沈線により蓮華状文が施され、横位の 半隆起線で体部と区画される。795は印刻により蓮華状文が施されている。

# 6 木器・木製品

木器・木製品は全て遺構からの出土である。遺物の構成は、挽物・曲物などの容器類が最も多く、下駄などの服飾具、箸などの食事具、農具などが定量確認できる。一方、工具・雑具は少ない。このほか掘立 柱建物の柱根や器種不明の部材、井戸側の構築材も出土している。

木器の形態・技法については、主に『木器集成図録 近畿古代編』・『木器集成図録 近畿原始編』[奈良国立文化財研究所1985・1993]、『日本民具辞典』[日本民具学会1997] を参考にした。

## A 祭 祀 具

### 斎 串 (1・2)

平安時代の井戸である98SE1124から2点出土している。赤外線観察の結果、両者に墨痕は認められなかった。1は厚さ3mm程の板目材で、先端部を鋭利に加工する。2は厚さ3mm程の柾目材が用いられ、両側縁から緩やかな抉りが入る。頭部は剣先形または宝珠形を呈する。

## B 容 器

容器は製作技法によって大別され、当遺跡では挽物・曲物・結物が出土している。挽物は横軸轆轤の回転力を利用して製作した木製品の総称で、回転する荒形を鉋で挽いて仕上げる容器。また器形が丸くなることから、丸物とも呼ばれる。曲物は樹皮や薄く割り裂いた板を曲げて側板とし、底板を紐(樺皮)・釘・接着剤などで結合した容器。結物は湾曲した短冊形の板を底板に沿って筒状に並べ、箍(タガ)で締めた容器である[上原1994]。

### 挽 物 $(3 \sim 19)$

平安時代の遺物は3のみで、他は室町時代以降と考えられる。挽物の椀や皿類には漆を塗ったものが多く、3以外は漆が塗られている。樹種同定の結果では3がケヤキ、他はブナ類と同定されている。一般的な傾向として、ブナは木目がさほど目立たず、ゆがみやすく、また汚れやすい。それが漆を塗る理由の一つに挙げられている。

塗装される漆の名称については、頸城村水久保遺跡の塗膜分析報告 [四柳1996] を参考に、「赤色漆」・「黒色漆」とした。内外面共に赤色または黒色の場合は、それぞれ「総赤色漆」・「総黒色漆」とし、内面赤色外面黒色は「内赤外黒色漆」と呼称した。ただし肉眼観察で、色調が赤色漆で2種、黒色漆で2種に分類が可能なため、次のように細分を行った。色調は『新版 標準土色帳』[小山・竹原1991] に基づき() 内に記した。

「赤色漆①」: 朱色に近い色を呈する。

「赤色漆②」: 暗赤褐色(2.5YR3/3)を呈する。

「黒色漆①」: 黒色(N1.5/) を呈する。

「黒色漆②」: 黒褐色 (5YR2/1) を呈する。黒色漆①より色調が薄い。

3は口径19.0cmの皿で、外面は底部と体部の境を浅い沈線で区画する。体部は緩やかに立ち上がり、 底部に比して壁面がやや薄い。漆の痕跡は見られない。4~9は低い高台をもち、浅い椀もしくは皿と考 えられる。4は総黒色漆①で、高台部と口縁部を欠損する。内面の底部と体部の境付近に赤色漆①で文様

#### 6 木器・木製品

の断片が見えるが、詳細は不明である。5は口縁部を欠損し、内面の底部と体部の境に稜線状の段をもつ。総黒色漆①で、見込み中央には赤色漆①で「三」様の模様が描かれる。6は総黒色漆①だが外面の遺存状況が悪く、木地の露出している部分が多い。内面に赤色漆①で草花様と考えられる文様が描かれる。7も6同様に総黒色漆①であり、赤色漆①で草花様の模様が描かれる。8は低い高台のみが残存する。総黒色漆①で、見込みに赤漆で放射状の草花と考えられる模様が描かれる。9は内赤①外黒色①漆で、底部のみが残存する。内面の赤色漆上に生漆とも考えられる赤黒い漆が付着し、縮み皺も観察できる。10は土壙墓である98SK488からの出土で、漆塗膜のみが残存する。総黒色漆②で、器種は不明である。塗膜内面に残る木目から、横木地柾目取りと考えられる。11は椀の体部で、口縁端部まで壁厚が一定した分厚い造りである。内外面共に表面が剥落しており、外面に木目が明瞭に見られる。総赤色漆①で、下地の黒色も観察できる。12は合子で、底面は削りによる高台状を呈する。口縁部の受け口はL字形を呈し、深さ6㎜を測る。蓋は出土していない。総黒色漆①で、外面の中央には幅4㎜程の赤色漆①が横位に巡る。

13~19は98SE392の底面付近から、やや標高差をもって一括して出土している。13は口端を欠損するがほぼ全形を把握できる。内赤②外黒色①漆で、口径13.0 cm、器高8.5 cm、高台の高さ2.2 cmを測る。底部(高台部)は厚く、底面は中央に向かってやや窪む。外面には横方向の削り痕が明瞭に残る。14も内赤②外黒色①漆で、欠損しているが13の形態と類似する。15・19の椀は総黒色漆②で、体部の立ち上がりは13と比較して若干緩やかである。19は削り痕が明瞭に残る。16・17は底部が13・14より薄く、体部の立ち上がりなどから浅い椀と考えられる。漆は両者共に内赤②外黒色①漆で共通している。18のみ総赤色漆①で、浅い椀と考えられる。底面に赤色漆①は塗られず、下地となる黒色漆①が観察できる。

### 円 形 曲 物 (20~32)

底板を中心に図示した。遺構によっては側板も出土しているが、大半は破砕しており遺存状況は不良である。底板には刃痕と長楕円形状の調整痕が認められる。側板と結合するための樺(または桜)皮が残存しているものも数点あり、基本的には3ヶ所で結合(20・23・31・32)する。21は1ヶ所にしか見られず、側面に目釘跡も見られない。26は側縁付近に計11ヶ所の小孔が見られるが、基本的には2孔1組であり、計5ヶ所で結合していたと考えられる。30は周縁上面を切り欠いて段を設けている。22は側面に厚さ2㎜弱の黒褐色の付着物が巡る。付着物には垂直方向の板目の痕跡が残り、結物の底板であった可能性が高い。また中央にφ1.2㎝程の斜方向の小孔があり、蓋として再利用されたと考えられる。29は厚さ3~6㎜のやや厚手の板を筒状に曲げている。側面にφ4㎜程の小孔が縦方向に並び、紐状のもので綴じ合わせを行ったと見られる。直径は復元すると約7㎝となる。31・32は97SE50より出土した同一セットで、現代の茶筒のようなものと思われる。円板の径の比較から31が底、32が蓋部分と考えられる。側板は残存していたが、大部分が年輪の目に沿って割れ落ちた。側板の始点は長軸方向に弧状に切り欠かれ、樺皮によって綴じられている。

### 長方形曲物 (33・34)

折敷・折櫃とよばれるもので、33・34の底板は共に98SE650から出土している。内外面に無数の刃痕が明瞭に残る。同一個体の可能性も残すが、33が短辺側に2孔1組の側板との結合孔があるのに対し、34には見られない。板目材が用いられ、隅に面を持つことから平面形は八角形と考えられる。

### 結 物(35)

いわゆる「桶」に分類されるものだが、35は柄が付属することから「肥柄杓」の形態を呈する。柄は

付属した状態で出土してないが、覆土水洗の結果、φ 2.5 cm前後の加工した棒状の木片が見つかっている。側板の下半には竹の箍を螺旋状に巻いて締めた痕跡が明瞭に残る。上半にも不明瞭ながら、箍の痕跡が観察できる。柄の結合関連としては、底板の中央からややずれた部分に長方形の孔と、それに対応するように欠損した木釘?が斜方向に延びている。側板はa~oの15枚あり、aとhが対面に位置する。aは上端に切り欠きがあり、その下に2ヶ所の小孔がつく。前者に柄を載せ、後者に紐を通して結わえたものと考えられる。hには下寄り中央に方形の小孔と木釘が見られる。側板には柾目と板目が無造作に使用されており、再利用品と思われる。

### C 服 飾 具

#### 下 駄 $(36 \sim 41)$

製作方法から、台歯を一木から作った「連歯下駄」と台に歯を差し込んだ「差歯下駄」に分類される。 遺跡から出土した下駄は全て連歯下駄で、室町時代の遺物と考えられる。97SE6の底面付近からは36~ 39の計4点がまとまって出土した。

足板の平面形状は、長方形ないしは隅丸長方形を呈するもの(38・39)、側縁が直線的で前後端が半円状を呈するもの(36・40)、側縁がやや湾曲して小判型を呈するもの(37・41)の3種に大別できる。前壺(前穴・前緒穴)は前歯の直前中央に、後壺(後穴・横緒穴)は後歯の内側に配される点は共通するが、壺の形状は方形を呈するものと円形を呈するものがある。基本的には方形だが、37は前後壺、41は前壺が円形である。41の前壺は孔径も小さく、錐で開けたと思われる。歯の幅は基本的に足板幅とほぼ同じだが、41のみ下辺幅が広く台形状を呈する。41は歯の側面形が直線的で他の下駄とは異なり、また全体に黒色漆が薄く塗られている。

用材はほとんどが半割丸太材を削り出したものだが、36 · 38 は歯の部分に芯を持った芯持丸太材を使用している。樹種は36 · 37 がコシアブラ、41 がカエデ属、他はクリと同定された。

#### 草 履(42)

黒褐色を呈する樹皮で作られており、裏面(外皮)は凹凸が著しい。全体形状は前幅の広い楕円形を呈し、長16.2 cm、幅7.7 cmと履物としてはやや小形である。名久井は江戸時代の記録に樹皮を利用した履物が散見されることから、「少なくとも秋田・青森両県ではごく普通に見られるものだったらしい」と述べている[名久井1999]。草履の補強材(中板)とも考えられるが、実用品であった可能性が高い。

### D 食 事 具

#### 箸 (43~52)

箸はきわめて粗雑な削りで、棒状に整形されている。平城京の事例では直径0.5㎝内外で、長さ17~22㎝のものが全体の80%を占めるとあり、ほぼその傾向に合致する。63は断面が長方形を呈し、箸以外の用途も考えられる。45・49は他に比して長さも大きく、径も太い。43がヒノキ、他はスギ材である。

### E 紡 織 具

### 織 具(53)

平面形がカツオ節形を呈することから杼 (緯打具) としたが、断面は滴形を呈さず台形に近い。緯打ち (緯糸を経糸の間に打ち込むこと) の際につく経糸の痕跡も、表面が軟質なため認められない。

#### 具 F I

#### 刀 子 鞘(54)

刀子の柄の可能性もある。平面は基本的に長方形を呈し、中幅がやや狭い。断面形は隅欠きの長方形を 呈し、正裏面に刀身状の刳り抜きがある。裏面の上小口からの刳り抜きは幅1.2 cmで深さ0.2 cm、長さは

刀背部分で4.2㎝を測る。表面の下小口からの刳り 抜きは幅 1.6 cm で深さ 0.25 cm とやや深く、長さは 14.1 cmを測る。刃先の形状は類似する。この刳り抜 きの裏面にも同様の沈線引きが見られるが、刳り抜き は施されない。その他にも正裏面に沈線引きが見られ る。鞘・柄の両者の可能性があるが、単独では刀身が 安定せず、組み合せ式かもしくは物指的な性格も考え られる。

#### 板 (57)

羽子板形の身に、平面が長台形状の柄をつくりだす。 柄の先端は焼失し、炭化している。身は中央が長軸方 向にやや窪むが、叩いた痕跡は認められない。また裏 面の柄に近い部分は、柄の方向から斜方向に切り込み を入れ、ハの字型に一段低く加工される。表裏両面に 刃物痕跡を無数にとどめているので、作業台か俎板 (まないた) として使われた可能性もある。

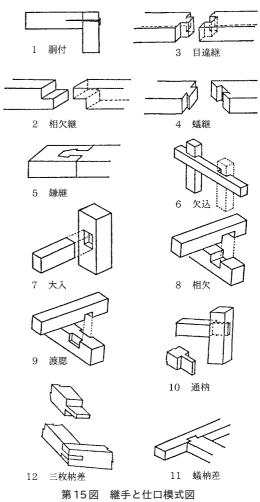
#### G 雑 具

### 火 鑚 板(55・56)

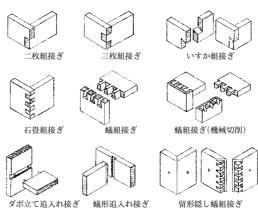
回転摩擦式の発火具で、火鑽杵(回転棒)で摩擦す る木片を火鑽臼(火鑽板)という。55は板の側辺に V字形の刻みが9ヶ所あり、全ての刻みに使用の痕跡 が認められる。正裏両面から使用されるが、最下端の 臼はわずかな使用で黒変していない。窪みも浅く、V 字形の刻みが明瞭に残る。 臼の径は最大で 1.5 cm を測 る。56は刻みを持たない板材だが、表面に黒変した 1ヶ所の回転摩擦痕が認められる。

## 材 (58~61)

用途不明だが、他の部材と組み合わさって製品を構 成すると思われるものをまとめた。木材の「接ぎ」に 関する「継手」・「仕口」の名称は黒崎 [1994] と府 中家具[2000]を参考にした(第15・16図)。58 は上面から外斜方向の切り欠きを施し、全体形はT字



(黒崎 [1994] より転載)



第16図 指物の組接ぎ模式図 (府中家具 [2000] より出力)

形を呈する。表面には刃痕が残る。楔としての利用が考えられる。59 は直方体を呈し、上小口を一段切り落とした枘(ホゾ)とし、下小口を相欠状に加工する。枘の根元部分には長方形状の刳り抜きが見られる。60 はやや下細りの直方体を呈し、中央に相欠状の削りを入れる。61 は浅い箱型の側板と考えられる。両小口の対角位置を台形状に切り欠き、いすか組接ぎと考えられる。両小口共に直交方向となる木釘が残る。左側面は上面に位置する部分で丁寧に仕上げられ、右側面には底板と結合する4ヶ所の木釘が認められる。

### 不 明 品 (139)

98SE1124から出土した板材で、平面形は菱形に近い形を呈する。中央部が厚く、周縁部分へ向かうにつれてやや薄くなる。側縁には数回にかけて削った加工痕が認められる。

### H 農 具

#### 横 槌(62)

豆類や麦の脱粒・脱穀・殻落とし・藁打ちなどに使用される槌で、1 点出土している。割木が用いられ、 不明瞭であるが、面取りによる整形と考えられる。身と柄は明瞭に分かれ、横断面形は柄が円形、身が隅 丸三角形を呈する。身は先端に向かいやや先細りとなる。横槌の材料には弾力性のある堅木がよく、ヤマ クワ・カシ・ヒイラギなどが用いられるが、樹種同定の結果ケヤキと同定された。

#### 鍬 (63)

鍬の身で、平面形は頭部上端面がやや湾曲するものの、ほぼ直線的な台形を呈する。断面形は側縁が山形に切り欠かれた算盤球形となる。窓(柄孔)の平面形は先幅より後幅が若干広い台形を呈し、縦断面が斜方向に穿孔される。裏面から柄を挿入したと見られ、着柄角度は約83°と推定される。先端に鉄製の鍬先による圧痕等は認められない。

### 田 下 駄 (64~66)

1枚板を用いた板型田下駄が1点と、枠型田下駄の部材と考えられるものが2点出土している。65はU字状に足枠を削り出し、結緒を通す孔を両側に開ける。裏面には足枠と対応するように、高さ3cm弱の円錐状の突起が計4ヶ所削り出されている。このような横長の板型田下駄は、白根市馬場屋敷下層遺跡からも出土している[白根市教育委員会1984]。64・65は左側を欠損しているため全体形状が不明だが、前壺と思われる部分があること、長さが35cm前後と大形であることから田下駄の部材である可能性が高い。64は平面に凹凸があり厚さが一定していない。66は厚さが一定し、部分的に磨れた痕跡が見られる。

### 竪 杵 (67)

芯持丸太材を用い、一端を欠損する。残存する木口面は平坦に整えられ、調整痕が明瞭に残る。身の断面は数回の削りにより、面を持った円形を呈する。握りは2方向から削り込み加工され、身に寄った部分で最小径となる。握り中央部の高まりは手の滑り止めとしての機能が考えられる。

### 踏 鋤 (68)

足で踏んで土を返す鋤のことで、犂(すき)と区別するために踏鋤と呼称される。犂は牛馬に引かせて 田畑を耕す畜力耕耘機のことで唐鋤(からすき)とも呼ばれる。新保遺跡の例は股木を利用しており、股 部分に調整痕が明瞭に残る。台木(鋤身)は長  $69.2\,\mathrm{cm}$ 、底面が緩く湾曲する。台木の木口面に設けられ た足掛けは幅  $10.0\,\mathrm{cm}$ 、高さ  $3.0\,\mathrm{cm}$ で平坦に仕上げられる。面取りされた柄は、断面長方形~円形を呈する。長  $119.5\,\mathrm{cm}$ 、径  $4.2\,\sim\,5.5\,\mathrm{cm}$ を測る。機能部(鋤身先)に対する柄の角度は約  $40\,^\circ$  をなす。

### I 建 築 材

#### 柱 根 (69~79)

中~大形の柱根を11点図示した。復元できた住居に伴うものは69~71がSB14、78がSB13から出土している。丸木を使用するものと割木を使用するものがあり、径が小形の74のみ削り出しによるものである。木口の面は加工により平底を呈するものと、尖底を呈するものがある。尖底を呈する柱根は72・73に見られるように調整痕が明瞭に残る。出土した柱穴の径は柱根の最大幅とほぼ等しく、打ち込み柱であったと見られる。柱に使用された木材は全てクリと同定された。立木時の直径は、丸木の69で30.0 cm、71で25.4 cm、77で19.5 cmを測り、他の割木もほぼ同様の木材を使用したと考えられる。69は平底を呈し、木口面は周縁から中心部に向けてのチョウナ痕が残る。また図示した正面の下端は大きく切り欠かれており、斧による切り倒し時の痕跡と想定される。

#### 井 戸 材 (80~138)

97SE5の部材4点(80~83)、97SE200の部材26点(84~109)、98SE1124の部材29点(110~138)を図示した。側板は全て転用材と考えられ、所々にその痕跡を残す。

80~83は97SE5から出土した枠木(横桟)で、80・81が東西(長辺)、82・83が南北(短辺)に位置する。仕口は通し枘で、80・81の枘は長6×幅5×厚3㎝の直方体を呈する。82・83は短軸に長い長方形の枘穴を設けるが、82の上枘穴は平面L字形を呈する。82は中央部に幅7㎝、深さ4㎝の直方体の刳り抜きがあり、表面に木釘痕が残る。裏面の左側縁には調整痕が明瞭に残る。83は断面L字形を呈し、下端木口方向からφ2㎝程の円柱状の刳り抜きがある。裏面には82同様に木釘痕がほぼ等間に認められる。これらの点からこの井戸の部材も再利用品と考えられる。

84~109は97SE200から出土し、横桟3点(107~109)、隅柱3点(104~106)、側板20点(84~103)を図示した。横桟の仕口は通し枘で、109の枘は長6×幅2×厚4㎝程の直方体を呈し、根元部分がわずかに抉れる。107・108は仕口の加工は見られないが、側板の下端付近から出土しており、下端を抑えていた可能性が高い。枘穴を持つ隅柱は3点出土し、104・106は上端を欠損する。105の枘穴は長10×幅6㎝の長方形を呈し、109の枘に比して大きい。側板の加工痕を見ると、枘穴を設けるものが3点有り、91が1孔、92が2孔、94が4孔開けられている。90・92・97の下端には、幅3.6~4.0㎝程の1段低い斜方向の溝欠きが認められ、追い入れ接ぎの痕跡と見られる。溝の中央には長1.2㎝程の長方形に近い小穴が各1孔あり、釘かダボによって接いでいたと考えられる。また96・98・99・101などのように、下端を正面からノミ状工具によって一段低く切り欠かれているものがある。もともと長い板材であったものを、適当な長さに工具で抉り、厚みを減じた時点で折り割っていたと考えられる。亀田町牛道遺跡[立木1999]の例では、同様に工具の打割による切断痕を持つものと、板材の端部が平滑な面を持った鋸引きによる切断と考えられるものが使用されている。

110~138は98SE1124から出土し、横桟3点(136~138)、隅杭3点(133~135)、側板23点(110~132)を図示した。側板は調査時点で最内のものと、加工痕のあるものから選択した。97SE200と比較して遺存状況は悪く、側板の下部分も摩滅している。上下反転して繰り返し使用されたと想定される。横桟の仕口は三枚枘差で、136の枘は右(北東隅)側が長6×幅3×厚4㎝程の四角錐状に加工するのに対し、左(北西隅)側は先細りとして素材の形状をそのまま保つ。137・138の枠木の枘受けは穴ではなく、長4㎝の方形に切り欠いた凹字形を呈する。138は柾目材が用いられ、枘受方向から裂けて

いる。 $133\sim135$  の隅杭は $\phi$  6.5 cm程の丸木材を使用し、下端部を先細りに削るが基本的に形状を良く残す。横桟の四隅に位置するが、土止め的なものではなく、目印的な機能が考えられる。側板の下部分は摩滅しているものが多く、97SE200 の部材のように切断痕、組接ぎの加工痕が観察されるものが少ない。 耐穴を設けるものは2 点有り、131 がほぼ縦列に4 孔、132 の右側縁に2 孔開けられている。124 は下端から6 cm程上の中央に長1.7 ×幅1.0 cmの長方形の小穴があり、図示した以外の側板1 点にも同様の小穴が確認されている。釘による胴付の痕跡と考えられ、転用前は住居等の壁材であったと推定される。

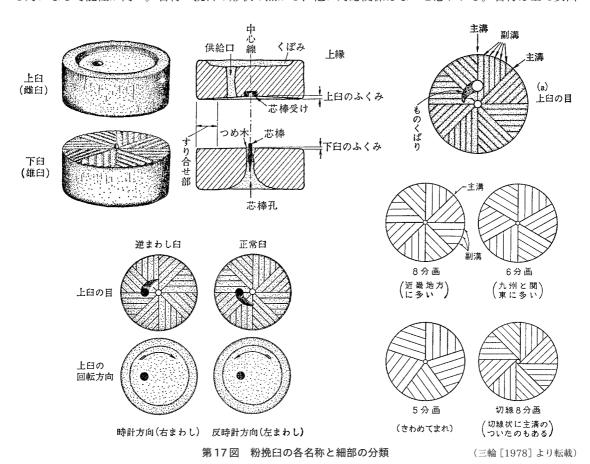
### 7 石器・石製品

石器・石製品は遺構からの出土が大半で、砥石、磨石類などが最も多く、石製品が定量確認できる。遺構・包含層出土のものを全て含めて種別毎に整理し、掲載遺物を選択した。時期の特定が困難な遺物が多いが、大きく平安時代以後の遺物(図版119~121)と、古墳時代以前の遺物(図版122~126)に考えられるもので分けた。

### A 平安時代以後の遺物

#### 粉 挽 臼 (1~6)

臼の各部位名称については三輪 [1978] を参考にした (第17図)。上臼・下臼共に直径  $28.0 \sim 31.8$  cm (推定含む) で、30 cm前後を基本としている。挽き木は大半が横打ち込み式で、上臼の側面に方形の打込孔がある。上臼と下臼の組み合わせでは、 $1\cdot 2$  が 97SE1000 から出土しており、径もほぼ同じことから対になる可能性が高い。石材・挽目の形状の点から、他に対応関係はないと思われる。石材は全て安山



岩が使用されている。1 は径31.8 cmの上臼で、挽目6分画の正常臼である。溝の本数は主溝・副溝合わせて4~7本、供給口を欠損するが、ものくばりの先端部が認められる。上縁はやや湾曲し、くぼみ部分の底面はほぼ平坦を呈する。下面のふくみは緩やかである。2 は1と対応する下臼と考えられる。大部分を欠損し、溝幅が1と比較してやや幅広である。3 は上臼で、1/4が残存する。方形に近い供給口が認められ、挽目は6分画と考えられる。4 は推定径28.0 cmの下臼で、ふくみは緩やかである。挽目6分割で、溝本数は5・6本と考えられる。溝は比較的幅広く、断面が角の取れた波形を呈する。5 は高さが7.0 cmの上臼で、他と比較して薄手である。挽目の分割数は不明で、溝本数もばらつく。側面の打込孔も下面に接していることから、複数回の使用により全体が磨り減り、溝も数回彫り直されたものと考えられる。6 は径28.0 cmの上臼で、挽目は彫り直しにより溝が交差するが、基本的には6分画の正常臼と考えられる。一分画の溝の本数はばらつきがあり、最高で11本である。供給口から反時計方向に長さ7.4 cmのものくばりが認められる。上縁は平坦で、くぼみ部分の底面もほぼ平坦を呈する。下面のふくみは1と比較して深い。側面がやや湾曲し、打込孔は先細りの断面楔形を呈する。周縁の欠損は規則的であり、人為的に打ち欠いた可能性もある。

### 茶 臼 (7)

下臼で半分以上を欠損する。受皿径33.6 cm、臼部径15.8 cmと推定され、臼の挽目は確認できない。下面は大きく抉れる。全体が被熱し、赤褐色を呈している。

### 石 鉢 (8~11)

8・9は粉挽臼同様に安山岩製で、底部から体部にかけて直線的に立ち上がる。8の口縁は平坦を呈する。両者共に内面が磨り減っており、擂鉢的な使用の痕跡が認められる。新井市坪ノ内館跡 [新潟県教委1986] の報文中では、「陶器のすり鉢と同じ機能」が想定されている。三輪は同様の形態の石鉢に対し、一般的な食用・薬用のほか、臭い移りしないためにニンニク専用に使われた山形県の「にんにく鉢」の事例を紹介している [三輪1978]。

10・11は抉りが深く、石造物を石鉢に転用したものと考えられる。くぼみ部分に8・9のような擂鉢的な磨りの痕跡は認められない。10は水輪、11は地輪が転用されており、11は上下面の四隅が斜方向に面取りされている。

### 宝篋印塔塔身(12)

1点だけ97SE1550より出土し、長15.5 cm程の立方体を呈する。4面には金剛界の四方仏を意味する「ウーン (東)」「タラーク (北)」「キリーク (南)」「アク (西)」の種子が薬研彫りされている (左から順)。 宝 塔 相 輪 (13)

1点だけ97SE598より出土している。彫りの浅い逆U字状の簡素な蓮華文が請花に刻出される。請花は上部を文様に対応させるように縁取り、全体で9枚の蓮弁を表現する。

#### 五 輪 塔 (14~24)

空風輪以外が出土している。 $14 \sim 18$  は火輪で、正面形状が偏平的な $15 \cdot 16$  と、それ以外のものに分類が可能である。軒反りは全体的に緩やかで、 $14 \cdot 17$  の軒端はやや反って長刀状を呈する。ホゾ穴の平面形は17 が円形、他は方形を呈する。14 は底面に径8 cm前後、深さ4 cm弱の孔が4 ケ所穿たれ、転用しようとした痕跡が認められる。17 は右縁の軒線と対角の軒線が面取りされているが、性格は不明である。 $19 \cdot 20$  は水輪で、20 は大部分を欠損する。19 は白色の凝灰岩製で、摩滅のため不明瞭だが、縦長の種子「キリーク」が刻まれる。上下面とも抉りは浅く、ほぼ平坦を呈する。 $21 \sim 24$  は地輪で、上幅と下幅

がほぼ等しく、逆台形を呈するものは無い。21 · 23 は幅と高さがほぼ等しい立方体を呈する。22 は上面が大きく湾曲しており、上下逆の可能性がある。24 は下面が接地時の安定性のために大きく抉られている。

### 砥 石 (25~34)

砥石は54点出土しているが、そのほとんどは欠損している。完形を呈するものは32・33のみである。 断面の形状から方形を呈するもの(26~31・33)と、長方形を呈するもの(25・32・34)に大別される。また使用による結果から、中央部が磨り減った形態(25~30)と両端が磨り減ってカツオ節形を 呈する形態(31・33・34)に分類できる。作業面は基本的に4面で、上下面に磨りの痕跡は認められず、切り出し時の痕跡が明瞭に残る。作業面には細かな線状痕が認められるものが多く、基本的に右下がりである。27は下面のほぼ中央に一条の沈線が刻まれ、左右均等に直交方向の線状痕が認められる。また25の下面にも欠損後に付けられた一条の沈線がある。26は全面が黒褐色を呈し、被熱したと考えられる。32は断面長方形を呈し、左側縁は緩く湾曲する。全面に磨面が観察され、表裏面には暗赤色を呈する漆が付着する。目の粗さから25が荒砥石、32が仕上げ砥石、他は中砥石に分類される。

### 筋 砥 石 (35~38)

筋状の磨痕を有するものを一括した。36 は表面に5条、右側面に1条の直線的な沈線が認められる。 溝幅2㎜で断面は鋭いV字状を呈し、刃部を研いだものと思われる。正面と側面は風化のためざらつくが、 裏面には明瞭な磨りの痕跡が残る。36 は上下欠損により全体形状は不明だが、残存するほぼ全ての面に 磨痕が認められる。正面左下の擂鉢的にやや窪む部分だけ、磨痕が無い。断面は三角形を基本とし、頂部 に面を持つため不整な六角形を呈する。正面に2条、裏面左に3条、右に1条の短い筋線が認められる。 溝幅1.5~3㎜で断面はV字状に近い。37 は上下裏面を欠損し、正面中央に1条の沈線が認められる。 溝幅2㎜で、断面はU字状を呈する。全面の磨面は非常に滑らかである。正面・右側面・上下欠損面に タール状の付着物が認められる。38 は下面のみを欠損し、残存する5面に磨面を持つ。正面の十字溝の ほか、右上に2ヶ所、右下に1ヶ所、同様な溝状の磨痕が認められる。溝は断面U字状を呈し、幅5㎜程 の十字溝は交点部分が一番厚く、端部に向かい薄くなる。泥岩製で仕上げ砥石と思われるが、装飾品の可 能性も残す。

### 硯 (39 · 40)

中世に属すると思われる硯が2点出土している。39は幅8.5 cm、厚さ1.9 cm、上部を欠損する。断面は中央部が一番厚く、側端部を低くして墨溜まりとしている。両側縁の墨溜まりには黒色の墨痕が明瞭に残る。正面のみ被熱したように、面が弾けて凹凸が著しい。外面には整形のための痕跡が認められ、左右下面は垂直方向に、裏面は左下がり方向の線状痕が明瞭に残る。また裏面には、幅4~5 mmのチョウナ痕的な浅い削りが数条認められる。40 は幅3 cmと小型で、携帯用の硯と考えられる。表面の窪みは1 mm以下と浅い。

### 鉄滓付着礫 (41~43)

出土した鉄滓の多くは平安時代に属すると考えられることから、41~43も平安時代の遺物と考えられる。付着した鉄滓の色調は、オリーブ灰色~オリーブ黒色を呈する。42・43は白色の砂岩と類似するが、ほぼ全面が不規則に破損しており、高温で被熱した炉壁の一部である可能性も高い。42は鉄滓周辺が特に熱のため変色し、灰色を呈する。41は安山岩で、全体が熱のため赤変している。付着した鉄滓は磁着度が高く、T字状の窪みが認められる。礫の断面は42と同様に、鉄滓周辺が熱により半月状に白色化し

#### 7 石器・石製品

ている。左側面は平坦な自然面をなし、下面も欠損によりほぼ平坦をなす。この一方の平坦面を接地面と し、羽口を抑えるための台石として利用していた可能性がある。

### B 古墳時代以前の遺物

#### 石 鏃(44)

小型の石鏃が1点だけ出土している。ほぼ完形の凹基無茎鏃で、安山岩製である。側縁は直線的で、現存長1.6 cmを測る。表面は風化し、剥離調整の観察は困難である。

#### 石 錐(45)

黒曜石製の石錐の先端部分と考えられ、1点だけ出土している。正面方向から急斜度の剥離を施し、断面三角形を呈する。裏面には主要剥離面と思われる横剥ぎの面を残す。欠損面と思われる上面にも裏面を打点とした数回の剥離が施され、再利用しようとした可能性がある。

#### 石 鏃 素 材 $(46 \sim 53)$

石鏃の製作関連資料と考えられるものを一括した。46は石鏃の未成品で、平面形は基部が湾曲した三角形を呈する。断面形は中央部が最も厚く、正面側に偏った菱形を呈する。正裏面から調整が施されるが全体的に粗く、厚みを減じきれずに廃棄されたと考えられる。

 $47\sim50$  は楔形石器と呼称されるもので、全て薄手の素材である。 $47\cdot49$  が4極 2 対、 $48\cdot50$  が 2 極 1 対と考えられる抉入部と、それに伴う打点面のつぶれが認められる。47 は自然面側から周縁に剥離調整が施される。48 は左右側面に調整を施すが、右側面の調整は急斜度でスクレイパー的である。50 の右側面はほぼ直角をなし、平坦を呈することから折断された可能性がある。51 は縦長の剥片で、主要剥離面を大きく残す。二次調整は少なく、全て自然面側から施される。 $52\cdot53$  は比較的厚手の素材で、粗い周縁剥離調整が施される。小形の偏平な母岩を打割する際に、51 のような薄手の素材と $52\cdot53$  のような厚手の素材が生じたものと思われる。

47~51のように素材の自然面を残す剥片は多く出土しており、その石材の大半はチャートである。縄 文中期前葉を主体とする吉川町長峰遺跡の報文中では、調整が片面の縁辺のみに施され、素材の自然面を 大きく残す一群に注目し、海岸の標石を母岩とした石鏃の製作工程を復元している [小池1984]。新保 遺跡も長峰遺跡と近距離に位置し、同様の石鏃製作工程をとっていたと考えられる。

### スクレイパー $(54 \cdot 55)$

54 は長楕円の偏平礫を素材とし、片面の周縁のみに連続した調整が施される。55 は縦長剥片を素材とし、右上側縁部に正裏面から連続した細かい剥離が施し、刃部としている。54・55 の剥離調整部分は湾曲し、素材の形状を残している。

### 2次加工剥片(56~58)

2次加工が施されるが、形態分類不可能な剥片を一括した。56 は主要剥離面を大きく残す横長剥片で、 裏面から粗い剥離が施される。57 は両側縁を欠損もしくは折断されているために平面長方形を呈する。 横方向からの剥離を基本とし、上面にも急斜度の剥離が施される。58 は裏面に自然面を大きく残す。石 鏃素材剥片の形態に類似するが、他に比して大形である。周縁から大形の剥離調整が施される。

#### 石 核(59・60)

59 は断面が厚く、全面に中~小形の剥離面を有することから石核に分類した。上部は欠損している。 剥離に一定した方向性は見られないが、右側縁のみ両面から剥離が施され、スクレイパーとして利用も可 能である。60 は偏平礫を素材とした石核で、自然面を大きく残す。正面は左→右・上→下方向の順の剥離が、裏面は右→左方向を基本とした剥離が認められる。

#### 打製石斧(61~64)

刃部2点と基部2点を図示した。欠損のため全体形状は不明だが、61・62・64が短冊形、63が撥形を呈すると考えられる。61はガラス質安山岩製で、横方向からの剥離によって形状を整える。刃部のみ縦方向の剥離が観察される。表面は風化し、使用痕は観察できない。62は自然面を残し、裏面からの剥離により形状を整える。刃部に細かな剥離が観察されるが、微細であり、使用痕とは判断できない。63は片面調整を基本とした打製石斧で、正面に滑らかな自然面を持つ。横断面はレンズ状を呈する。64の正裏面の平滑面は磨面とも自然面とも考えられる。断面が厚い楕円形を呈し、側面と上面に2次加工が施される。上面には敲打痕も認められる。

### 磨製石斧(65・66)

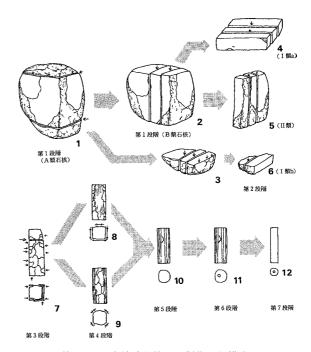
2点を図示した。横断面が明瞭な角をなすものは無く、65がややそれに近い。全体形状は65が撥形、66が短冊形を呈する。65は大きさが12.0cmで、磨製石斧としては中~小型の部類に属する。器面が風化のため不明瞭だが、全面に研磨の痕跡が認められる。側縁と刃部に施された剥離は深く、敲打+研磨の過程で磨り消しきれていない。66の正面は自然面をそのまま利用し、裏面の研磨も粗雑である。また最大厚も中心線から外れる。刃部には微細な剥離が認められる。

#### 玉作素材 (柱状剥片・剥片・石核・その他) (67~75)

管玉等の玉作関係の資料と考えられるものが計26点出土しており、9点を図示した。管玉の製品は出土していない。その内75は他と異なり、玉作素材以外の製品である可能性がある。石材は全て凝灰岩と見られ、色調の内訳は緑色23点の赤色3点で、9割弱が緑色凝灰岩である。柱状剥片等の観察の結果、弥生時代に見られるような擦切り溝を伴う資料は認められず、全て古墳時代の玉作素材である可能性が高い。古墳時代の玉作遺跡の一つに柏崎市行塚遺跡が挙げられ、第18図のような製作工程の復元を行って

いる [伊藤 1985]。図示した 67~69 は第3 段階、70・71 は第2段階、72~74 は第1段 階にそれぞれ相当すると思われる。図は任意に 展開したため、主要剥離面が必ずしも裏面に位 置していない。また行塚遺跡の資料には白濁面 が認められ、それを火熱処理による調整剥離の 痕跡であると指摘しているが、風化等の面と判 別できなかったため図示しなかった。

67~69は角柱状に調整が施されるもので、 縦剥ぎの素材(縦長剥片)を使用していると思 われる。行塚遺跡例では縦長剥片素材は稀で、 そのほとんどが横長剥片であることが報告され ている。67は裏面に横方向のリングが観察さ れるが、左面に観察されるリングより湾曲が緩 やかであり、作出される前段階の剥離と判断し た。67は正・左右面方向から連続した細かい



第18図 古墳時代管玉の製作工程模式図 (伊藤 [1985] より転載)

剥離が入れられる。68 は右面に正裏面方向からの交互剥離が認められる。69 は断面が三角形に近い素材である。裏面に観察される欠損のような面は、剥離調整を行うより古い段階の剥離と考えられ、調整段階で欠損したと考えるよりは適当な形状であれば、玉素材として利用されたものと考えられる。70・71 は断面がやや不整形だが、角柱状に調整される前の柱状剥片に分類される。70 は横長剥片、71 は下部に自然面を残す縦長剥片と考えられ、両側面は折断された可能性を残す。72~74 は第1段階のB類石核に相当する盤状石核である。72 は縦方向からの剥離が多い。73 は右面と下面に打点が認められ、横長剥片が作出されている。74 は不整な立方体を呈し、下面に最も新しい剥離が位置する。

75 は赤色の凝灰岩でチャートに近い硬質の石材である。右側縁の稜線は数度の剥片剥離によりつぶれ、 鈍角を呈する。正裏面には剥離以前の研磨面が見られるが、研磨の方向に規則性は無い。石材的に玉作り 関連とも考えられるが、性格は不明である。

### 玉 (76)

外径3.7㎜、厚さ1.7㎜の滑石製の臼玉で、近世の井戸の覆土水洗中に検出された。

#### 翡 翠 (77 ∼ 79)

3点出土している。肉眼観察では79の透明度が一番高い。77は正裏右面に、78は右面に平坦面を持ち、研磨痕が認められる。77は剥離の稜線が研磨によって磨り消されている部分が観察され、剥離→研磨の工程が窺える。下面の剥離は新しく、意図的な剥離でなく欠損の可能性がある。78の剥離は全て研磨後のものであり、同様に欠損した可能性がある。

#### 磨 石 類 (80~90)

磨石類は素材となる礫の正裏面および側面に、磨痕・凹痕・敲打痕のいずれかの痕跡が認められるもので、出土石器中最も数が多い。石材により器面の風化程度は異なり、今回機能面が認められずに搬入礫と判断したものの中にも磨石類が含まれていた可能性が高い。特に磨痕のみの磨石類は判別が難しい。磨石類の分類は3種類の痕跡を複合的に分類している、塩沢町五丁歩遺跡の報告[高橋保雄1992]の基準に従った。石材は質が異なるが、安山岩と砂岩が多く使用されている。今回は手持ちできる形態のみ図化を行ったが、大型の礫で磨面を有する、置き砥石と考えられる砕片も一定量存在している。

 $80\sim85\cdot90$  は磨痕のみ認められ、A類に分類される。A類は素材形状を大きく修整し、横断面形が方形を呈するものと、素材形状を保持し横断面形が楕円~円形を呈するものに分類される [加藤 1999]。形状の変化は少ないが、 $81\sim85$  は前者に、 $80\cdot90$  は後者に分類される。82 は横断面形が方形を呈し、使用頻度の高さが窺える。正裏面に機能面を有するものは $80\sim82\cdot84$  で、 $82\cdot84$  は左右側面にも機能面を有する。 $81\cdot83\sim85$  は長軸方向の上下面に磨痕が認められ、平坦面を呈している。85 は全体が卵形を呈するが、表面風化のため磨りによる結果かは不明である。90 は全面に磨痕が認められ、左側縁付近には砥石に見られるような明瞭な擦痕が観察される。裏面には欠損後、周縁を打ち欠くような剥離が入れられる。

86・87・89 は磨痕と凹痕が複合する B 類に分類される。86 は正裏面及び左右側面に磨痕、正裏面と右側面に凹痕が見られる。正裏面の凹痕は縦列方向に複数穿たれている。87 は正裏面に磨痕と凹痕が見られるが、凹痕は極めて浅い。表面が風化しているため側面の痕跡は判別しにくいが、横断面形が方形に近いことから磨面としていた可能性もある。89 は正面に径 5.8~6.5 cm、深さ 1.2 cm程の大型の凹痕を残す。正面の右側面から下面、裏面もほぼ同様な範囲に明瞭な磨痕が見られる。正面には放射状の亀裂が認められ、凹痕内部に少量のタール状の物質が付着する。凹痕の中央部を中心として、被熱した可能性がある。

88 は凹痕のみが認められ、E類に分類される。正面には縦列方向に3ヶ所、裏面には2ヶ所の凹痕が 観察される。凹痕の深度は比較的深い。

#### 軽 石 (91~93)

軽石は砕片を含めて13点出土している。軽石の使用については、弥生時代後期の上越市裏山遺跡の報告で分析がなされており、面的な磨耗の痕跡から「軽石製研磨具」と呼称している [野水2000]。軽石の石質は均質な海綿質で、基本的に軟質である。そのため表面が風化し、明確に磨痕とは判断できなかった。しかし新保遺跡出土のものにも所々に平滑な面を持つものがあり、時期は違うが同様な使用法をされたものと思われる。

#### 

石錘は27点出土し、その8割が完形を呈する。104を除いて、そのほとんどは自然礫に粗い剥離を施した礫石錘である。礫石錘は縄掛け部の位置から、94~101・103のように2極のものと、102のように4極のものに分類が可能である。礫石錘26点中23点が2極石錘で、9割弱を占める。完形を呈する(小形な103を除く)石錘の平均重量は194gを測る。また長幅比は $0.58\sim1.00$ の範囲で平均0.77を示し、平面が楕円形の偏平礫が多く使用されている。103は長4.0 cm、重量17.0gと小形で、楔形石器の可能性もある。

104は上部 1/3 程の部分に横位の溝を巡らせ、直交する溝が頭頂部を通って裏面の溝に達する。このようなT字状の縄掛け部を有する石錘を、藤巻は有頭棒状石錘と呼称し、県内では古代(奈良・平安)に集中して所属することを示している [藤巻 1998]。新保では中世の井戸(98SE813)より出土しているが、井戸は平安時代の包含層が厚く存在する範囲に位置しているため、同様に平安時代に属する可能性もある。重量は2,100gであり、他の石錘の10倍近く重い。

## 8 陶製品・土製品・金属製品

### A陶製品

### 風 字 硯(1)

33K1区から1点出土している。大型建物SB13に近く、北側に位置する。左下の陸~縁部分が残存し、 裏面には高1.5 cm程の脚部が付く。陸部はやや起伏が有り、中央部方向に磨りによる滑らかな面を持つ。 墨痕は認められない。裏面以外に自然釉が見られるが、陸部分は磨耗している。脚部先端には融着を防ぐ ための焼台(粘土塊)が取り切れずに付着しており、本来の脚部高は1.3 cmを測る。焼台を除く面は平坦 で、硯首方向に傾斜する。

### 融 着 品(2)

須恵器の甕の体部片が2点融着している。外面平行叩き、内面円形当て具で、上部片の内面と下部片の 外面が接する。全体が通常時の面の湾曲と逆方向に湾曲する。製品に焼台が融着して流通してきたその破 片とは考えられず、2次利用の被熱による産物と思われる。

### 転用砥石 (3·4)

2点出土している。3・4は珠洲焼の甕片で、3が正裏面と側面に、4は正面に明瞭な磨痕が認められる。4の磨痕は横方向の帯状を呈し、中央部がわずかに窪んでいる。

#### 8 陶製品・土製品・金属製品

#### メ ン コ $(5 \sim 23)$

甕等の破片の周辺に人為的な打ち欠きの剥離を有するもので、円形を意識したものが多い。43 点出土しており、須恵器 24 点(平均重量 9.2g)、珠洲焼 19 点(平均重量 10.9g)で若干須恵器片が多いが、時代を通じてほぼ変わらない利用傾向を示す。 $5\sim14$  が須恵器、 $15\sim23$  が珠洲焼である。用途については諸説有るが、判然としていない。他遺跡では磨痕が認められ、研磨具として報告しているものも多い。新保遺跡では器面の風化と判断つかないものもあるが、基本的に磨痕は認められなかった。

### B土製品

#### 羽 □ (24 · 25)

フイゴの羽口は数点出土しているが、そのほとんどは砕片である。 $24 \cdot 25$ の口縁端部は溶解し、スラグが付着している。24には放射状の亀裂が認められる。外径は24が約7.0 cm、25が約6.5 cmに復元できる。壁厚は2.0 cm程で、孔径は24が2.8 cmを測る。

#### $\pm$ **鐘** (26~32)

形状から管状( $26\sim29$ )と球状( $30\sim32$ )に分類できる。管状土錘は長 $4.8\sim6.8\,\mathrm{cm}$ 、外径 $3.4\sim4.1\,\mathrm{cm}$ 、貫通孔径 $1.2\sim1.6\,\mathrm{cm}$ を測る。 $27\,\mathrm{o}$ 焼成は良好で硬質であり、上下端部に面を持つ。それ以外は軟質であり、側面が端部に向かって湾曲した先細りの形を呈する。球状土錘は $4\,\mathrm{点}$ 出土しており、その内2点は中世の土坑( $98\mathrm{SK}1185$ )から出土している。弥生時代後期が主体の上越市裏山遺跡で、同形態のものが $17\,\mathrm{点}$ 出土している [小池 $\mathrm{Err}$ 2000]。軸長と最大径がほぼ等しい球形を呈し、軸長及び最大径が $2.8\sim4.7\,\mathrm{cm}$ の範囲で収まる。新保遺跡例は $3.7\sim4.0\,\mathrm{cm}$ とほぼ平均に近い法量を呈し、肉眼観察でも類似性が高い。裏山遺跡の報文では有孔土製品と呼称され、錘として使われた可能性が低いことが指摘されている。

### 装 飾 品(33)

用途不明の土製品で、垂下可能な貫通孔を有するため装飾品とした。水田耕作土中より出土し、所属時期は不明である。全体が短い円筒状を呈し、上半中央に貫通孔を有する。貫通孔は両面回転穿孔により断面鼓形を呈し、正面径 7 mm、裏面径 12 mmを測る。正面には孔と接する幅 4 mmの縦方向の溝が付随する。

### C金属製品

### 刀 子 (34 · 35)

鉄製の刀子が2点出土している。出土遺構の時期から34が平安時代、35が室町時代と推定される。刀子の各部名称については『小刀図鑑』[柴田光男ほか1969] を参考にした。34は切先を欠損する。刀身は両面平造りで、刃部が錆で膨れて面を持つ。茎(なかご)長21㎜で目釘孔は無い。棟区(茎と刀身の背が接する部分)は平坦である。35は切先と中心尻(茎先端)を欠損する。刀身は両面平造りで、錆膨れしているが刃部が鋭利なことが確認できる。棟区にやや段を持つ。茎の現存長20㎜で、柄の木質部が一部付着している。

### 紅 (36)

平安時代の大型建物 SB13 の柱穴より出土した。釘先を欠損する。釘頭は長軸 2.5 cm、短軸 2.0 cmの楕円形を呈し、釘身断面は長方形を呈する。釘頭と身の結合部は錆のため観察できない。

#### 鍋 耳(37)

両側と下側を欠損するが、全体は半円形を呈すると思われる。形状は鍋の耳部分に類似し、平安時代の井戸より出土したが、中世以降の遺物が撹乱により流入した可能性がある。径8㎜程の円孔が2孔あり、湾曲した上縁に断面V字状の切り込みが1ヶ所認められる。黒褐色を呈し、重量感がある。

#### 装飾留具(38)

中世の井戸である98SE763の下層覆土より1点出土した。酸化が進行しておらず、黄橙色を呈する。 平面形状は長楕円形を基本とし、上部がやや先細りとなる。側面は正面から幅2mm程折り込まれている。 裏面下部中央に位置する舌部は、ほぼ垂直に8mm程突出する。返し等は無く、打ち込み式の装飾留具と思われ、指物や小刀等に留めたものと思われる。

#### 銭 貨(39~41)

寛永通寶以前の銭貨は40枚弱が出土している。39a~39fは中世の土壙墓である98SK488より出土している。六道銭を示す6枚が出土し、永楽通寶(初鋳1408年)を含むことから15世紀以降の墓の年代が与えられる。40は98SE1226の底面より出土し、他に治平通寶の破片が出土している。図示した以外に寛永通寶も数枚出土しているが、その多くは包含層よりの出土である。寛永通寶は3期(1697年以降)の新寛永が多く、1期(1636~1659年)の古寛永は少ない。近世の出土遺物は17世紀代のものが多く、銭貨の様相とは若干異なる。

#### 鍛 冶 滓 (42~44)

鉄片及び鉄滓と思われるものは調査区全体に散布しているが、大型建物 SB13の南側、32・33N区を中心とした平安時代の包含層より多く出土している。砕片を含めて304点出土し、総重量は13.5kgを測る。炉の底面に生成されるいわゆる椀形滓は13点出土し、SB12・98SD1000(33N区)・98SD899(33L区)に分布のまとまりが見られる。その内2点(42・43)を図示した。42は裏面が大きく湾曲する。厚さ2㎝弱の板状の鉄滓に、鉄滓混じりの土塊が形状を保持しながら付着している。43に土塊の付着は見られず、中央部の厚さは2㎝弱を測る。両者の板状部分の厚みが一定しており、一度に精製される鉄の量が決まっていたことが窺える。44は上部の鉄部分と思われる以外は緑灰色を呈する。緑灰色部分は面を持った割れ口を示し、炉壁の一部であった可能性がある。横方向の帯状に、砂鉄と思われる物質が付着している。

# 第Ⅵ章 自然科学分析

## 1 新保遺跡出土木製品の樹種同定

松葉 礼子 (パレオ・ラボ)

### Aはじめに

新保遺跡は新潟県中頸城郡柿崎町大字上直海字新保(国営ほ場整備用地内)の低地に立地する。遺跡は平安時代(9世紀後半~10世紀頃)と中世(室町時代、15世紀頃)、近世(17・18世紀)の3時期が中心で、木製品の時期もこれに相当する。今回調べた木製品は曲物、折敷、漆器、箸、連歯下駄、草履、井戸材、柱根、農具などである。新潟県内でこれらの生活用具などの樹種同定が行われた事例は三島郡和島村にある13~15世紀の大武遺跡の生活用具他[松葉2000]、岩船郡神林村にある中近世の天王前遺跡、有明的場遺跡、石川遺跡の柱根他[パリノ・サーヴェイ株式会社1998]、一之口遺跡東地区の古墳時代後期の住居建築部材と古墳時代前期~10世紀前後の川から出土した遺物[パリノ・サーヴェイ株式会社1994]などがある。

これらの結果から、曲物や箱物、斎串、井戸枠などの板状の部材を利用する製品にはスギが多く利用され、漆器にはブナ属、杭、柱根などにはクリが主要な樹種として利用されていることが分かってきた。

しかし、これらの結果は時期や地域が異なっているため新保遺跡の日常生活用具などを同定することに よって、樹種選択がどのような共通性をもっているのか調べるために、樹種を同定した。

### B試料と方法

分析対象試料は、古代、中世、近世の曲物/折敷、漆器、箸、連歯下駄、草履、井戸材、柱根、農具など計85点である(第4表)。

同定には、木製品から直接片刃剃刀を用いて、木材組織切片を横断面、接線断面、放射断面の3方向作成した。これらの切片はガムクロラールにて封入し、永久標本とした。樹種の同定はこれらの標本を光学顕微鏡下で観察し、現生標本との比較して行った。主要な分類群を代表する標本については写真図版に示し、同定根拠は後述する。なお、同定に用いられた標本はプレパラート番号(NGT328~413)を付し株式会社パレオ・ラボに保管されている。

### トウヒ属 Picea Pinaceae

図版 199 1a~1c:NGT362

水平・垂直両樹脂道を共に持つ針葉樹材。樹脂道の周囲にはエピセリウム細胞が見られる。早材から晩 材への移行は緩やかで、晩材部の量はやや多い。放射組織は放射柔細胞と放射仮道管と放射樹脂道からな り、単列と紡錘形がある。放射組織の上下端には放射仮道管があり、その内壁には角張った有縁壁孔がみ うけられる。放射柔細胞の垂直壁には単穿孔が数珠状を呈す。分野壁孔はごく小型のトウヒ型で1分野に 2~4個存在する。

以上の形質により、マツ科のトウヒ属の材と同定した。トウヒ属はいずれも常緑高木の針葉樹で日本ではエゾマツを始めとして7種が含まれている。

### スギ Cryptomerica japonica (L.fil.) D.Don Taxodiaceae

図版199 2a~2c:NGT381

水平・垂直両樹脂道を持たない針葉樹材。早材から晩材にかけての移行は急で、年輪界は明瞭。樹脂細胞が早材部から晩材部にかけて接線方向に散在する。放射組織は放射柔細胞のみからなり単列。分野壁孔は大型のスギ型で、通常1分野あたり2個存在する。

以上の形質により、スギ科のスギの材と同定した。スギは常緑の針葉樹で、本州〜屋久島の温帯〜暖帯 に分布している。

### ヒノキ Chamaecyparis obtusa (Sieb. et Zucc.) Endl. Cupressaceae

図版 199 3a~3c:NGT359

水平・垂直両樹脂道を持たない針葉樹。早材から晩材への移行はやや急で、年輪界は明瞭。樹脂細胞が早材部と晩材部の境に接線状に散在しており、水平壁は結節状に肥厚している。放射組織は、放射柔組織のみからなり、単列。分野壁孔は中型のトウヒ〜ヒノキ型で、1分野に1〜3個存在する。

以上の形質から、ヒノキ科のヒノキの材と同定した。ヒノキは、常緑高木の針葉樹で、福島県~屋久島 の温帯に分布する。ヒノキ、サワラ両者の区別が曖昧なものについてはヒノキ属と同定した。

#### アサダ Ostrya japonica Sargent Betulaceae

図版 200 4a~4c:NGT411

中~小型の壁の厚い道管が放射方向に複数複合し、散在する散孔材。晩材部に向けて直径が徐々に小さくなり、密度も低くなる。道管の内壁には微細な螺旋肥厚があり、道管の穿孔は単一。木部柔組織は短接線状。放射組織は1~3細胞幅、時に結晶を持つ。

以上の形質により、カバノキ科のアサダと同定した。アサダは北海道~九州の温帯から暖帯に分布する 落葉高木である。

#### クリ Castanea creneta Sieb. et Zucc. Fagaceae

図版 200 5a~5c:NGT346

年輪の始めに、やや放射方向に伸びた大型の丸い道管が一列に並ぶ環孔材。晩材部では、小型で、薄壁の角張った道管が、火炎状から放射状に配列する。道管の穿孔は単一。木部柔組織は、晩材部で接線状から短接線状。放射組織は単列同性で、道管との壁孔は、対列状を呈す。

以上の形質より、ブナ科のクリの材と同定した。クリは北海道~九州の温帯~暖帯に分布する落葉性高 木、あるいは中高木である。

### ブナ属 Fagus Fagaceae

図版 200 6a~6c:NGT404

小型で丸い道管が年輪界に向けて徐々に径を減じながら散在する散孔材。道管の穿孔は単一もしくは横 棒の少ない階段状。放射組織は巾の広い複合状と単列からなり、同性。

以上の形質により、ブナ科のブナ属の材と同定された。ブナ属には北海道~九州の温帯に分布するブナ と本州(岩手県以南)~九州の中間温帯に分布するイヌブナとが含まれる。

#### コナラ属コナラ節 Quercus Sect. Prinus Fagaceae

図版 201 7a~7c:NGT330

大型で丸い道管が単独、時に複合して年輪界に一列に並ぶ環孔材。晩材部では急激に径を減じた多角で 薄壁の道管が散在し火炎状を呈し、木部柔組織が接線状に配列する。放射組織は単列と大型の複合放射組 織からなり、同性。道管放射組織間壁孔は楕円形の対列状~柵状。

以上の形質により、ブナ科のコナラ節の材と同定した。コナラ節にはカシワ、ミズナラ、コナラ、ナラ ガシワ等が含まれ、いずれも落葉高木である。

#### ケヤキ Zelkova serrata (Thunb.) Makino Ulmaceae

図版 201 8a~8c:NGT394

年輪の始めに大型で丸い道管が一列に並ぶ環孔材。晩材部で薄壁の多角形の小道管が多数集合して接線 方向〜斜め接線方向に配列する。道管穿孔は単一。小道管内部に螺旋肥厚がある。木部柔組織は周囲状〜

#### 1 新保遺跡出土木製品の樹種同定

連合翼状を呈し、放射組織は1~8列程度の異性で、その上下端は時に大きめの結晶細胞が見られる。以上の形質により、ニレ科のケヤキの幹材と同定した。ケヤキは、本州~九州の暖帯~温帯に分布する落葉高木である。

#### カエデ属 Acer Aceraceae

図版 201 9a~9c:NGT347

中型の丸い道管が単独もしくは複合して年輪内に均一に散在する散孔材。道管の穿孔は単一で、内壁には微細な螺旋肥厚が見受けられる。放射組織は単列同性で、1~4細胞幅。木部柔組織はしばしば年輪界付近で結晶を持つ。

以上の形質により、カエデ科のカエデ属の材と同定された。カエデ属には28種含まれ、亜熱帯性のものを除けば落葉広葉樹である。

タカノツメ Evodiopanax innovans (Sieb. et Zucc.) Nakai Araliaceae

図版 202 10a~10c:NGT350

中型で丸い道管が単独で年輪界にまばらに並ぶ環孔材。晩材部では径を減じた小型でやや角張った道管が単独あるいは斜め接線方向に2~数個複合して散在する。道管穿孔は単一。放射組織は1~4細胞幅程度の異性。道管放射組織間の壁孔は大型の交互状である。

以上の形質によりウコギ科のタカノツメの材と同定した。タカノツメは落葉高木で北海道~九州の温帯 ~暖帯に分布している。

#### エゴノキ属 Styrax Styracaceae

図版 202 11a~11c:NGT377

小型で丸い道管が年輪界に向けて徐々に径を減じながら、単独もしくは放射方向に3個ほど複合して散在する散孔材。道管の穿孔は横棒の少ない階段状。木部柔組織は晩材部で接線状を呈する。放射組織は1~4細胞幅程度の異性である。

以上の形質から、エゴノキ科のエゴノキ属の材と同定した。エゴノキ属にはエゴノキ、ハクウンボク、 コハクウンボクが含まれ、いずれも落葉小高木。

### C 結 果

確認された樹種は針葉樹がトウヒ属、スギ、ヒノキの3種で広葉樹がアサダ、クリ、ブナ属、コナラ属 コナラ節、ケヤキ、カエデ属、タカノツメ、エゴノキ属の8種合計11種である。最も多く確認された樹 種はスギの24点で次にクリ20点、ブナ属17点、ヒノキが14点である(第4表)。スギは箸、井戸枠に 多く、クリは柱根、ブナ属は漆器、ヒノキは曲物に多く調査対象の製品により樹種が決まっていると考え

樹種	曲物新敷	漆器	箸	連歯下駄	草履	井戸材	柱根	農具	その他 木製品	総計
トウヒ属	1									1
スギ	3		9			8		1	3	24
ヒノキ	10		1						3	14
アサダ									1	1
ク リ				3		1	11	4	1	20
ブナ属		15						2		17
コナラ節						1				1
ケヤキ		1						1		2
カエデ属				1						1
タカノツメ				2						2
エゴノキ属									1	1
樹皮					1					1
総計	14	16	10	6	1	10	11	8	9	85

第4表 新保遺跡出土木製品の樹種同定一覧表

られる。時期による差は、出土遺物の差異もあるので明瞭ではない。

特徴的な樹種選択が見られる製品がある。まず、曲物にヒノキが多い。大武遺跡でもヒノキは1割程度 確認されているが、スギはそれを上回っていた[松葉2000]。新保遺跡ではスギは大型の井戸材や箸に 多く (コナラ節は隅杭、クリは横桟である)、その点は他の遺跡と共通した結果が得られている。柱根は 11点すべてクリが利用されている。これらの柱根には底部形状が尖底と平底の2種類あるが、いずれも クリが利用されていた。通常柱の底部は平面であることが多い。特に低地の場合沈下防止目的に底面積を 広げるために礎板や受け木と呼ばれる木材を下に敷くぐらいである。尖底は天王前遺跡でも確認されてお り、比較的小径の柱に多いようであるが。周辺の土壌条件などを含めて検討する必要がある。柱にクリが 利用されることは天王前遺跡ですでに確認されている[パリノ・サーヴェイ株式会社1998]。天王前遺 跡ではコナラ節やクヌギ節、ヒノキの柱根も確認されているが、本遺跡ではクリのみである。柱根などに クリが多いのはクリの木材が保存性に長けていることが最大の原因であると考えられる。クリを柱材に利 用する傾向は縄文時代からあり(三内丸山遺跡や真脇遺跡など)、古代に西日本ではヒノキ・コウヤマキ などの針葉樹が、東日本では住居にコナラ属コナラ節やクヌギ節などが多く出土する。しかし、東北地方 の山王遺跡では新保遺跡同様クリが多い結果が得られている [松葉・鈴木1996]。宮城県はヒノキ・ス ギ双方とも自生地からはなれていると考えられ、針葉樹の中心であるモミ属は材質が軽軟である。その上 遺跡の立地が低地で丘陵部が2次林化していないためクリの礎板とクリの柱が最も多く利用されたと考え られる。本遺跡の植生の状況は木製品のみの同定であるので本結果からは不明であるが、これと近似した 傾向があるのではないだろうか。

農具はクリとコナラ節、スギ、ケヤキであった。田下駄、竪杵、火鑽板にはクリとスギが利用され、踏鋤身・柄にはブナ属が、横槌にはケヤキ、鍬身にブナ属が利用されている。弥生時代の鍬には西日本でアカガシ亜属、北関東・長野以北でクヌギ節とアカガシ亜属、東北ではクヌギ節が一般的ではないかと考えられているが [鈴木1999]、ここではこれらの樹種はまったく利用されていない。ブナ属は腐りやすく継続的な利用には適していないと考えられるが、鍬や鋤などの硬さを必要とする製品で使われている。

漆器はブナ属が16点中15点(古代ケヤキ1点)を占めている。漆器の胎部は挽物であるので、回転整形のしやすい木材(ケヤキ・ブナ属・トチノキ・トネリコ属ほか)が時代・時期などに関わらず出土する傾向がある。ブナ属は特に中世や近世から利用頻度が増加する樹種で、ブナ属で作られた漆器は比較的木胎部が厚い製品が多く外見に特徴がある。前述した山王遺跡では挽物・漆器とも上質と考えられているケヤキが多い。木材資源量や木材加工者の違いが影響しているかもしれない。他に、樹皮製の草履、箸にスギが多い(10点中9点)事などがあげられる。

ton et	プレパラート			_						Nds.		146	24-	=			$\neg$
報告	プレハラート	樹種	製品名	.	部位な	الما م	木	取	ł)	遺		構	法	量		年	代
番号	NGTNo.	1以1生	₹XHH1	1	디어 마스	, C	1	41	9	年	種	番 号	長さ	幅	厚さ	7	14
63	NGT404	ブナ属	農具	Ĺ	鍬	身	柾		目	97	SE	2729	21.5	10.9	2.5	中	世
64	NGT405	スギ	農具	Ĺ	田下	駄	柾		目	97	SK	976	33.7	11.5	2.2		
67	NGT384	クリ	農具	Ĺ	堅	杵	丸		木	97	SE	2708	51.6	7.6	7.6	古	代
65	NGT409	クリ	農具	Ĺ	田下	駄	柾		目	98	SE	729	46.3	21.9	7.9	中	世
66	NGT386	クリ	農具	Ĺ	田下	駄	板		目	98	SE	958	37.5	10.2	2.0	古	代
56	NGT385	クリ	農具	Ĺ	火 鑚	板	柾		目	97	SE	2021	19.9	6.4	1.1	中	世
68	NGT410	ブナ属	農具	Ĺ	踏鋤身	・柄	枝ź	分かれ	部	97	SE	109	身 69.2	15.0	4.0	中	世
62	NGT406	ケヤキ	農具	Ļ	横	槌	割		木	98	SE	179	20.8	12.8	11.0	中	世

第5表 農具同定結果

## D 考 察

これらの結果から、全体的にブナ属やヒノキなど従来利用頻度が低い樹種が増加しており、木材利用に変化が伺われる。新保遺跡は大武遺跡よりも若干新しいことから、木材・木製品の資源調達に変化がある可能性はある。一方でクリも柱材で確認された。中世でクリが利用される傾向は局地的に確認されている。埼玉県所沢市の山口城跡や埼玉県朝霞市の岡・向山遺跡で栽培と考えられる60~80%を越えるクリ属の花粉が確認されている[鈴木1994、所沢市教育委員会1993]。コンラット・タッドマン[1999]によると全国的に木材が枯渇し始めたのは特に中世以降、戦国時代の記念物造営で決定的に欠乏したと指摘されている。本遺跡では農具の樹種やブナ属・ヒノキなどの樹種の出土することから、木材資源が豊富でなくなったなかでの樹種選択の結果と推測される。

#### 《引用文献》

コンラッド・タッドマン 1998 『日本人はどのように森をつくってきたのか』築地書館: pp200

松葉礼子・鈴木三男 1996 「宮城県多賀城市山王遺跡多賀前地区出土木材の樹種」『山王遺跡Ⅲ —仙塩道路建 設関係遺跡発掘調査報告書—多賀前地区遺物編』 宮城県教育委員会 ・ 建設省東北地方建設 局: pp239-283

松葉礼子 2000 「第 VI 章 1. 大武遺跡出土木製品の樹種同定」『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 97集 一般国道 116 号和島バイパス関係発掘調査報告書 I 大武遺跡 I (中世編)』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団: pp46-57

松葉礼子 1999 「溜池遺跡・汐留遺跡・墨田区三遺跡から出土した木製品の樹種から類推される近世江戸 城周辺の木材消費」『植生史研究』7: pp59-70

パリノ・ザーヴェイ株式会社 1994 「第V章 自然科学分析 一之口遺跡東地区から出土した木質遺物および 種実遺体の同定」『新潟県埋蔵文化財調査報告書第60集 北陸自動車道 上越市春日・木田 地区発掘調査報告書 IV 一之口遺跡東地区(本文編)』新潟県教育委員会・財団法人新潟県 埋蔵文化財調査事業団:pp147-167

鈴木三男 2000 『木材. 考古学と自然科学③ 考古学と植物学(辻誠一郎編)』同成社:pp151-187. 東京

鈴木 茂・吉川昌伸 1994 「鎌倉市永福寺跡における鎌倉時代の植生変遷」『植生史研究』2: pp45-51

鈴木 茂 1994 「低地堆積物の花粉化石」『朝霞市文化財調査報告書第17集 岡・向山遺跡発掘調査報告書』 埼玉県朝霞市教育委員会・埼玉県朝霞市遺跡調査会: pp126-138

島地 謙・伊東隆夫・林 昭三・鈴木三男・光谷拓実・布谷知夫・能城修一 1988 『日本の遺跡出土木製品総覧』 雄山閣:pp296. 東京

所沢市教育委員会編 1993 『所沢市文化財調査報告書第38集 山口城跡第6次』所沢市教育委員会: pp103

# 2 新保遺跡井戸内出土大型植物化石の同定

新山 雅広 (パレオ・ラボ)

## Aはじめに

新保遺跡は、新潟県柿崎町に所在する。本遺跡では、平成9・10年度の発掘調査により、平安時代(9世紀後半~10世紀)・中世(15・16世紀)・近世(17・18世紀)の各時期の井戸遺構が検出されている。ここでは、各井戸遺構から出土した大型植物化石を検討し、(1)遺構の性格の推定、(2)当時の周辺植生の推定、(3)各時期ごとの傾向を把握することを試みた。

### B 試 料

大型植物化石の検討は、井戸の土壌を2mm目の篩で水洗選別して採集され、フィルムケースに収納された合計 59 試料について行った(第6 表)。

遺構名	時	期	調 査 区	層位	備考	フィルムケース整理 No.
				(3)	東西ベルト	15~17
97SE1000	近	世	270-4.5.9.10	(4)	東西ベルト	20~22
						23 ~ 29
98SE392	中	世	29H-19			37、38
98SE650	近	世	29G-25			40 ~ 44
98SE674	平	安	29F-5·10			46
98SE729	中	世	30J-19·20·24·25	3		54、55
905E129	"	IH.	301-19.20.24.25			56 ~ 58
				3		64、65
98SE763	中	世	30J-18·23	34		66
902E103	"	IH.	300-10.79	4		$67 \sim 71$
						73、74
98SE764	平	安	33L-12			$75 \sim 77$
98SE813	中	世	30L-5	6		84~93
98SE958	中	世	33L-3			94
						95 ~ 97
					井戸枠内土	98
98SE1124	平	安	33O-5		掘下げ2回目	99~101
					掘下げ4回目	102 ~ 104
					掘下げ5回目	105、106

第6表 大型植物化石分析試料一覧

### C 出土した大型植物化石

出土した大型植物化石の一覧を表2~6に示した。なお、出土した大型植物化石の中で、明らかに炭化したものは、未炭化のものと区別して一覧表中に示したが、もともと黒っぽい種実で小さいものなどには不明瞭なものがあり、これらは未炭化として扱った。それには、カラスザンショウ(No.99、102の一部など)、トチノキ(No.89の一部など)、ブドウ属(No.66など)、カキノキ(No.73の一部など)、アサ(No.95の一部など)が含まれる。以下に、各遺構ごとに出土した大型植物化石を記載する。

### a) 平安時代の井戸

98SE674 (第10表): 木本ではクサギ、草本ではメロン仲間のみが出土した。

#### 2 新保遺跡井戸内出土大型植物化石の同定

98SE764 (第10表): 木本7分類群、草本18分類群が出土した。木本では、オニグルミ、エノキ属、サクラ節、サンショウ、ブドウ属、カキノキ、ヤブデマリが出土した。草本では、イネ、オオムギ、アサが比較的多産し、コムギ、ヒエ、ヒエ属、ソバ、ササゲ属B、マメ科、ゴマ、ヒョウタン仲間、メロン仲間なども出土した。

98SE1124 (第11表): 木本15分類群、草本20分類群、その他に菌核が出土した。木本では、カラスザンショウ、アカメガシワが多産し、オニグルミ、モモ、ブドウ属、ミズキ、ゴマギなども出土した。草本では、イネ、アサ、カナムグラ、ミゾソバ、ヤナギタデ、ナス、ヒョウタン仲間、メロン仲間が比較的多産し、キビ、ヒエ属、ノブドウ、エゴマ近似種、シソ近似種なども出土した。

### b) 中世の井戸

98SE392 (第8表): 木本7分類群、草本7分類群が出土した。木本では、オニグルミ、クリ、ウメまたはモモ、ヤマブドウ、ブドウ属、エゴノキ、クサギが出土した。草本では、イネ、アサ、キカラスウリまたはモミジカラスウリが比較的多産し、アオツヅラフジ、ササゲ属B、マメ科、メロン仲間も出土した。98SE729 (第8表): 木本3分類群、草本3分類群が出土した。木本では、クリ、ブドウ属、分類群不明の芽が出土した。草本では、イネが多産し、アサ、ササゲ属Bも出土した。

98SE763 (第8表): 木本10分類群、草本21分類群が出土した。木本では、クリ、エノキ属、カキノキが比較的多産し、オニグルミ、コブシ、モモ、アンズ、サンショウ、ヤマブドウ、ブドウ属も出土した。草本では、メロン仲間が非常に多産し、イネ、オオムギ、コムギ、ヒエ、ヒエ属、アサ、ソバ、ササゲ属B、マメ科、エゴマ近似種、ナス、ヒョウタン仲間、カボチャまたはトウガンなども出土した。

98SE958 (第8表): 木本4分類群、草本7分類群が出土した。木本では、オニグルミ、エノキ属、カラスザンショウ、ブドウ属が出土した。草本では、カヤツリグサ科、アサ、サナエタデ近似種、アオツヅラフジ、マメ科、ナス、メロン仲間が出土した。

98SE813 (第9表): 木本6分類群、草本13分類群が出土した。木本では、クリ、トチノキが多産し、オニグルミ、エノキ属、ヤマブドウ、ブドウ属も出土した。草本では、イネ、アサ、ナス、ヒョウタン仲間、メロン仲間が比較的多産し、ヒエ属、ササゲ属A、ササゲ属B、マメ科、エゴマ近似種、カボチャまたはトウガンなども出土した。

### c) 近世の井戸

97SE1000 (第7表): 木本11分類群、草本15分類群が出土した。木本では、エノキ属、コブシ、サクラ節が多産し、サンショウ、ブドウ属、ミズキ、クサギ、ヤブデマリなども出土した。草本では、イネがやや多産し、オオムギ、コムギ、アサ、ソバ、ノブドウ、メロン仲間なども出土した。

98SE650 (第7表): 木本8分類群、草本16分類群が出土した。木本では、サンショウが比較的多産し、エノキ属、モモ、サクラ節、カラスザンショウ、ヤマブドウ、ブドウ属、クサギも出土した。草本では、イネ、メロン仲間が多産し、コムギ、ヒエ、アサ、ソバ、エゴマ近似種、ナス、ヒョウタン仲間、ゴボウ近似種なども出土した。

A) West will	dar ().					97SE	E1000						-	98SE650	0	
分 類 群	部 位	15	16	17	20	21	23	24	25	26	29	40	41	42	43	44
エノキ属	果 実						16									
	核	34			8		74					1				
コブシ	種 子	1			1			12								
モモ	核													2		
サクラ属サクラ節	核	5			12		17(2)					1				
フジ属	芽						4									
サンショウ	種 子	1				(1)	1					3	6			
カラスザンショウ	種 子	2											1			
ヤマブドウ	種 子											1				
ブドウ属	種 子						1 (1)					3				
ミズキ	核	1 (1)			1											
クサギ	核						2						(1)			
ヤブデマリ	核				1		2									
不明	芽						1									
	穎			1						2 (2)		(10)				58(20)
イネ	炭化穎果											1				
	炭化胚乳		7			4			1			1			1	
オオムギ	炭化胚乳					1			2							
コムギ	炭化胚乳	1					4					2				
ヒエ	穎											4 (4)				
ウキヤガラ	果 実											1 (1)				
ホタルイ属	果 実						1					1				
アサ	種 子	(1)			(2)		(2)					1 (10)				
カナムグラ	種 子						1 (1)									
ソバ	果 実						(1)					1				
1	炭化果実	1														
ミゾソバ	果 実						3									
イシミカワ	果 実	1			1											
サナエタデ近似種	果 実	2														
ヤナギタデ	果実						1									
ギシギシ属	果実	1			2		1					(2)				
マメ科	英											(2)				
エノキグサ	種 子	1										1				-
ノブドウ	種 子	1					4									
ガガイモ	種 子											1				
エゴマ近似種	果 実											3 (3)				-
イヌコウジュ属 またはシソ属	果 実										1					
ナス	種 子											1				-
ナス キカラスウリまたは	種 子											1				-
キカラスワリまたは モミジカラスウリ	種 子						2 (2)					2				
ヒョウタン仲間	種 子											(1)				
メロン仲間	種 子	1										21(10)				
ゴボウ近似種	果 実															1

## 第7表 近世 (97SE1000・98SE650) の大型植物化石一覧表

(数字は個数、( )内は半分ないし破片の数)

分 類 群	部位	98SI	E392		9	98SE729	9		98SE958
万 規 群	部 1近	37	38	54	55	56	57	58	94
オニグルミ	核								(1)
	炭化核	(1)							
クリ	果 実	(1)				(1)			
エノキ属	核								1
ウメまたはモモ	核	(1)							
カラスザンショウ	種 子								1
ヤマブドウ	種 子	(2)							
ブドウ属	種 子	(3)		1					(1)
エゴノキ	種 子	1 (1)							
クサギ	核	1							
不明	芽			1 (5)		9(26)			
	穎							1	
イネ	炭化穎果					2	1		
	炭化胚乳		12	1 (1)	13(3)	6 (1)	65(2)		
カヤツリグサ科	果 実								1
アサ	種 子	(11)				(1)			(1)
サナエタデ近似種	果 実								2 (3)
アオツヅラフジ	種 子								1
	炭化種子	1							
ササゲ属 B	炭化種子	(1)				1			
マメ科	種 子	1							
	炭化種子	1 (1)							(1)
ナス	種 子								(1)
キカラスウリまたは	種 子	3 (3)							
モミジカラスウリ	-	,							
メロン仲間	種 子	(1)							(2)

第8表 中世 (98SE392・98SE729・98SE958) の大型植物化石一覧表 (数字は個数、( )内は半分ないし破片の数)

### 2 新保遺跡井戸内出土大型植物化石の同定

All Meet made	ANT LL					98S	E813				
分 類 群	部位	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93
オニグルミ	炭化核	(1)									
クリ	果 実	(4)	(5)		(7)	(7)	(15)	(6)	(4)	(5)	(6)
エノキ属	核							3		1	1
トチノキ	種 子	(8)	(13)	(3)	(10)	(6)	(14)	(7)	(15)	(12)	(12)
ヤマブドウ	種 子									1	
ブドウ属	種 子							(1)		1 (1)	
	穎		4 (6)		(7)		(8)	1 (5)	2 (6)	(3)	1 (7)
イネ	炭化穎果		1				1				
	炭化胚乳		4		4		3	6	6	5 (1)	10
ヒエ属	穎								(2)		
アサ	種 子	(3)	(9)		2 (3)		(1)	2 (5)	3 (2)	1 (5)	3 (5)
カナムグラ	種 子								1		
ヤナギタデ	果 実				1						1
ササゲ属 A	炭化種子								1	1	
ササゲ属 B	炭化種子								1		
マメ科	炭化種子										1
エゴマ近似種	果 実						1	2	1 (1)		
ナス	種 子	1	6		1			5	6 (1)	6	5
ヒョウタン仲間	果 実	(8)	(15)		(11)	(2)	(9)	(13)	(10)	(9)	(10)
	種 子		31(9)		36(6)		2 (1)	33(11)	38(9)	24(6)	41(12)
	炭化種子									1	
カボチャまたはトウガン	種 子		2		2			3	2	1	1
メロン仲間	種 子		7 (2)		3 (2)		3 (1)	9	4 (1)	3 (1)	4 (4)

第9表 中世 (98SE813) の大型植物化石一覧表

(数字は個数、( )内は半分ないし破片の数)

All Meet made						98SI	E763					98SE674	5	98SE764	Į
分 類 群	部 位	64	65	66	67	68	69	70	71	73	74	46	75	76	77
オニグルミ	核							(3)	(2)					(2)	
クリ	果 実				(32)	1 (9)	(1)			(4)					
エノキ属	核			1	1		6			7			2		
コブシ	種 子				(1)										
モモ	核			1		(2)			(1)						
アンズ	核					1									
サクラ属サクラ節	核												1		
サンショウ	種 子	1					2			3 (1)			1		
ヤマブドウ	種 子						1								
ブドウ属	種 子			1	1		2			5			5		
カキノキ	種 子				2 (7)		(6)			(5)			3		
クサギ	核											3			
ヤブデマリ	核												1		
	穎			(1)			(5)						(8)		
イネ	炭化穎果												1		
	炭化胚乳		1							4	3		5		16
オオムギ	炭化胚乳									1			7 (1)		3
コムギ	炭化胚乳									2			4		
ヒエ	炭化穎果									1					
CT	炭化胚乳												1		
ヒエ属	穎				(1)								1		
エノコログサ属	穎						1						1		
ホタルイ属	果 実												(1)		
カヤツリグサ科	果 実												1		
アサ	種 子						4 (6)			2 (7)			2(21)		
カナムグラ	種 子						1			1			3		
ソバ	果 実						1						1		
ミゾソバ	果 実									1					
サナエタデ近似種	果 実									1			3 (1)		
ボントクタデ	果 実						(2)			1			1 (3)		
アオツヅラフジ	種 子									1					
ササゲ属B	炭化種子									(1)			1		
	炭化種子									(1)			1 (1)		
マメ科	莢			(1)			(4)			(11)					
エゴマ近似種	果 実						(2)								
ナス	種 子				1					3					
ゴマ	種 子												1		
スズメウリ	種 子						2			2					
キカラスウリまたは	150 ->	(1)													
モミジカラスウリ	種 子	(1)													.
ヒョウタン仲間	種 子									(1)			4 (1)		
カボチャまたはトウガン	種 子				1		3								
メロン仲間	種 子	(1)		1 (1)	5 (1)		69(13)		1	20(18)		(1)	1 (3)		

第10表 中世 (98SE763) および平安時代 (98SE674・98SE764) の大型植物化石一覧表

(数字は個数、( )内は半分ないし破片の数)

A Mint made	Aut LL						98SE	1124					
分 類 群	部 位	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106
オニグルミ	炭化核	(1)											
コブシ	種 子					1							
ホオノキ	種 子											1	
モモ	核	(1)							1			(1)	
カラスザンショウ	種 子	6 (1)				7 (1)			21			(1)	
キハダ	種 子					1			1				
アカメガシワ	種 子	5				2 (1)			3			10(1)	
アオハダ	種 子						1			1			
ブドウ属	種 子	(1)										(1)	
イイギリ	種 子								1				
ミズキ	核					1						1	
エゴノキ	種 子	1											
コハクウンボク	炭化種子	1											
ゴマギ	核								1				
不明	芽					2 (1)	2					(1)	
イネ	穎							1			(1)		
	炭化胚乳	(1)	3			2	3		1	2		(1)	4
キビ	炭化胚乳											1	
ヒエ属	穎								1				
ウキヤガラ	果 実	1											
イボクサ	種 子					1 (2)							
アサ	種 子	14(3)							(1)				
カナムグラ	種 子	32(7)				1			1 (1)				
ミゾソバ	果 実			2		13(6)		2 (3)	1 (3)				
サナエタデ近似種	果 実					1			1 (1)			1 (1)	
ボントクタデ	果 実					1							
ヤナギタデ	果 実	9 (9)		1		17(11)			5(12)			6 (2)	
タデ属	果 実					1			1			2 (1)	
ノブドウ	種 子	(1)				1							
セリ科	果 実			(1)									
エゴマ近似種	果 実											1	
シソ近似種	果 実					2							
ナス	種 子	1				3			5			10(1)	
ナス属	種 子								2			1	
ヒョウタン仲間	種 子	10(1)			3								
メロン仲間	種 子	1			1	3 (3)			35(1)			46(13)	
菌核						1							

第11表 平安時代 (98SE1124) の大型植物化石一覧表

(数字は個数、( )内は半分ないし破片の数)

### D 考 察

### (1) 遺構の性格

いずれの井戸も栽培・利用植物と井戸周辺の環境に由来すると考えられる種実類が出土した。栽培・利用植物は、井戸周辺の栽培地からの流入の可能性もあるが、炭化したものが多くあり、生活の場で投棄されたものが流入したか、直接投棄されたものではなかろうか。井戸は、飲料水を得るためや栽培地へ水を供給するためなどに使用されていたことが予想されるが、中世の98SE813は、産状が他の井戸とやや異なる。すなわち、クリ果実破片、トチノキ種子破片、ヒョウタン仲間果実破片といった大型の種実類の破片が非常に目立つ。これらは、完形がまったくなく、すべてが破片であり、またトチノキは種子のみであり、果皮といった他の部位は出土していない。従って、これらは生活の場で利用された後に不用(ゴミ)となったものが流入したのではいかと思われ、98SE813は本来の井戸として機能しておらず、ゴミ捨て場であった可能性も考えられる。

### (2) 周 辺 植 生

### a) 平安時代

98SE1124周辺には、オニグルミ、コブシ、ホオノキ、カラスザンショウ、キハダ、アカメガシワ、アオハダ、ブドウ属、イイギリ、ミズキ、エゴノキ、コハクウンボク、ゴマギといった落葉広葉樹が生育していた。また、ウキヤガラ、イボクサ、ミゾソバ、サナエタデ近似種、ボントクタデ、ヤナギタデ、

#### 2 新保遺跡井戸内出土大型植物化石の同定

セリ科などが生育する湿地的環境がみられ、カナムグラ、ノブドウといった蔓植物も生育していた。 98SE764周辺には、オニグルミ、エノキ属、サクラ節、サンショウ、ブドウ属、ヤブデマリといった落 葉広葉樹が生育していた。また、ホタルイ属、ミゾソバ、サナエタデ近似種、ボントクタデなどが生育す る湿地的環境とエノコログサ属などが生育する乾いた環境もみられ、蔓植物のカナムグラも生育していた。 98SE674はクサギとメロン仲間しか出土せず、周辺に落葉広葉樹のクサギが生育していたのであろう。

#### b) 中 世

98SE392周辺には、エゴノキ、クサギといった落葉広葉樹が生育していた。利用植物のオニグルミ、クリ、ヤマブドウ、ブドウ属、アオツヅラフジ、キカラスウリまたはモミジカラスウリは周辺の植生に由来する可能性もあるが、人の生活からの由来が考えられ、特に炭化して出土したオニグルミ、アオツヅラフジはその可能性が高い。98SE729は、クリ、ブドウ属、分類群不明の芽が出土したが、クリ、ブドウ属は利用植物であり、周辺の植生に由来したものかは分からない。98SE958周辺には、エノキ属、カラスザンショウが生育していた。オニグルミ、ブドウ属は生活の場からの由来かもしれない。また、サナエタデ近似種が生育する湿地的環境がみられたと思われる。98SE813から出土した木本は、すべて利用植物であり、特にクリ、トチノキは生活からの由来の可能性が高い。その他は、周辺に生育していた可能性もある。草本は、低湿地の雑草のヤナギタデや蔓植物のカナムグラが出土した。98SE763周辺にはエノキ属、コブシ、サンショウ、ヤマブドウ、ブドウ属といった落葉広葉樹が生育していた。また、ミゾソバ、サナエタデ近似種、ボントクタデ、スズメウリが生育する湿地的環境とエノコログサ属が生育する乾き気味の環境がみられ、蔓植物のカナムグラ、アオツヅラフジが生育していた。

### c) 近 世

97SE1000周辺には、エノキ属、コブシ、サクラ節、フジ属、サンショウ、カラスザンショウ、ブドウ属、ミズキ、クサギ、ヤブデマリといった落葉広葉樹が生育していた。エノキ属は多産し、果実ごと出土したが、井戸のごく近くに生育していたのであろう。また、ホタルイ属、ミゾソバ、イシミカワ、サナエタデ近似種、ヤナギタデが生育する湿地的環境とギシギシ属が生育する乾き気味の環境もみられ、蔓植物のカナムグラ、ノブドウも生育していた。98SE650周辺には、エノキ属、サクラ節、サンショウ、カラスザンショウ、ヤマブドウ、ブドウ属、クサギといった落葉広葉樹が生育していた。また、ウキヤガラ、ホタルイ属が生育する湿地的環境とエノキグサが生育する乾き気味の環境がみられ、蔓植物のガガイモも生育していた。

### (3) 各時期ごとの傾向

各時期とも栽培植物と食用や薬用などとして利用可能な植物が揃って出土しており、出土分類群の大半を占めている。利用可能な植物は、実際に利用されていたかどうかは不明であり、井戸周辺の植生に由来するものか、人の生活に由来するものかは分からない。しかし、栽培植物と共に出土しており、炭化したものも出土していることから、利用されていた可能性が十分に考えられる。各時期の栽培植物および主な利用植物は、以下の通りである。なお、ヒエ属、ササゲ属 A、ササゲ属 B、マメ科、イヌコウジュ属またはシソ属は、明らかな栽培植物ではないが、その可能性が十分に考えられる分類群である。

#### a) 平安時代

栽培植物:モモ、カキノキ、イネ、オオムギ、コムギ、キビ、ヒエ、ヒエ属、アサ、ソバ、ササゲ属B、マメ科、エゴマ近似種、シソ近似種、ナス、ゴマ、ヒョウタン仲間、メロン仲間。

利用植物:オニグルミ、エノキ属、サクラ節、サンショウ、ブドウ属、ミズキ、ゴマギ、ヤブデマリ、 ノブドウなど。

#### b) 中 世

栽培植物:モモ、アンズ、カキノキ、イネ、オオムギ、コムギ、ヒエ、ヒエ属、アサ、ソバ、ササゲ属 A、ササゲ属 B、マメ科、エゴマ近似種、ナス、ヒョウタン仲間、カボチャまたはトウガン、メロン仲間。 利用植物:オニグルミ、クリ、エノキ属、サンショウ、トチノキ、ヤマブドウ、ブドウ属、アオツヅラフジ、キカラスウリまたはモミジカラスウリなど。

### c) 近 世

栽培植物:モモ、イネ、オオムギ、コムギ、ヒエ、アサ、ソバ、マメ科、エゴマ近似種、イヌコウジュ 属またはシソ属、ナス、ヒョウタン仲間、メロン仲間、ゴボウ近似種。

利用植物:エノキ属、サクラ節、サンショウ、ヤマブドウ、ブドウ属、ミズキ、ヤブデマリ、ノブドウ、 キカラスウリまたはモミジカラスウリなど。

各時期の栽培植物を比較すると、近世で出土したものは、イヌコウジュ属またはシソ属、ゴボウ近似種を除くすべてが平安時代でも中世でも出土している。それは、モモ、イネ、オオムギ、コムギ、ヒエ、アサ、ソバ、マメ科、エゴマ近似種、ナス、ヒョウタン仲間、メロン仲間であり、これらは平安時代には既に利用されており、近世に至るまで利用されていたと考えられる。また、カキノキ、ササゲ属Bは平安時代と中世で、キビ、シソ近似種、ゴマは平安時代のみで出土しているが、これらも平安時代には既に利用されていたと考えられる。アンズ、ササゲ属A、カボチャまたはトウガンは中世のみで、ゴボウ近似種は近世のみで出土しており、それぞれの時期には既に利用されていたと考えられる。

### E 主な大型植物化石の形態などの記載

オニグルミ Juglans ailanthifolia Carr. 核、炭化核

No.70、71、76、95 は縫合線に沿って半分に割れたもの。その他は、半分未満の破片である。No.95 の炭化核は、先端が欠けていたが、人による利用痕(打撃痕)かは判断し得なかった。

### クリ Castanea crenata Sieb. et Zucc. 果実

クリは殆どが破片であった。No.84、85 は約1個分、No.88 は約2個分、No.68 の破片は約3個分、No.67 は約8個分、その他は1個分未満である。

### モモ Prunus persica Batsch 核

核のおよその長さ-幅-厚さ(単位mm)は、No.42(近世)が28-17-12と29-17-13、No.66(中世)が29-不明-不明、No.95(平安)が22-17-不明、No.102(平安)が23-17-14である。幅、厚さは時代によりあまり変わりはないが、長さが異なる。平安時代は丸っこく、小さい割りに厚みがあり、中世と近世は細長い。時代の差による品種あるいは栽培技術の違いを示唆しているのかもしれない。なお、No.37出土の核は、表面の状態が悪く、ウメかモモか区別し得なかった。

#### アンズ Prunus armeniaca Linn. 核

長さ約19 mm、幅約16 mm、厚さ約9 mm。ウメやモモに比べ、表面には穴や溝のような顕著な深い窪みはなく、偏平で縁辺が急に薄くなる。

### トチノキ Aesculus turbinata Blume 種子

出土したのは5~37mm程度の破片である。No.84、85、86、88は約1個分、その他は1個分未満で

#### 2 新保遺跡井戸内出土大型植物化石の同定

ある。

ヤマブドウ Vitis coignetiae Pulliat ex Planch. 種子

長さ5.0m以上の約 $5.0 \sim 6.0$ mをヤマブドウとした。

ブドウ属 Vitis 種子

長さ5.0m未満の約4.0~4.5mmをブドウ属とした。

カキノキ Diospyros kaki Thunb. 種子

破片については、No.73 は約1個分、No.69 は約2個分、No.67 は約3個分、その他は1個分未満である。

イネ Oryza sativa Linn. 穎、炭化穎果、炭化胚乳

出土したのは、未炭化の穎と炭化胚乳である。炭化胚乳の中には、穎(籾殻)が残っているものもあり、 炭化穎果として区別した。

ヒエ Echinochloa crus-galli P.Beauv. var. fumentacea Trin. 炭化類果、炭化胚乳

胚乳は、長さ約2.2 mm、幅約1.8 mm。胚は幅が広く、長さは果長の2/3程度を占める。臍はうちわ形である。額は、光沢があり、滑らかである。なお、ヒエ属としたものは、破片であったり、状態が悪かったものである。

ソバ Fagopyrum esculentum Moench. 果実、炭化果実

果実は三稜形で断面は三角形。中央に線があり、線から斜め上に密に筋が走る。長さ約 $4.0 \sim 6.0 \, \mathrm{mm}$ 。 タデ属 Polygonum 果実

長さ約 $2.3 \sim 2.6$  mm、幅約 $1.8 \sim 2.0$  mm、やや光沢のある褐色ないし黒褐色で二面の倒卵形のものと長さ約2.8 mm、幅約1.4 mm、黒色で三稜形のものとが出土したが一括してタデ属とした。

ササゲ属A Vigna A 炭化種子

No.91 は長さ約6.2 mm、幅約4.0 mm。No.92 は一端が欠けており、長さ不明(3.1 mm以上)、幅約2.3 mm。種子の外形は、中央がへこみ、両端が立ち上がる。臍は中央からややずれた位置にあり、突出する。大きさは小さいが、手持ちの標本のササゲに類似する。

ササゲ属B Vigna B 炭化種子

長さ約4.9~5.9 mm、幅約3.3~4.0 mm、厚さ約3.6 mm。No.37 は、子葉内面の幼根と初生葉が残っており、幼根がゆるやかに斜めに立ち上がり、幼根と初生葉の子葉内面に占める比率が小さいことことから、吉崎[吉崎 1992] によるアズキの仲間と考えられる。No.56、75、91 は、種子の外形は角張る。このうち、No.75 は、臍が残っており、臍の周囲は肥厚し、臍の長さは種子の長さの半分程度を占める。大きさは小さいが、手持ちの標本の原生栽培アズキに類似する。その他のササゲ属と同定されるものも含め、これらを一括してササゲ属Bとした。

マメ科 Leguminosae 種子、炭化種子、莢

炭化種子は、長さ約 $4.1 \sim 10.0$  mm、幅約 $2.7 \sim 6.1$  mm、厚さ約 $2.3 \sim 4.1$  mm。発泡が著しいなどで状態が悪く、これ以上の同定には至らなかったが、大半はササゲ属 B であろう。No.37 出土の未炭化種子は、黒灰色の扁平で長さ約3.4 mm、幅約3.0 mm。中央からややずれた位置に円形の小さな臍がある。莢は小さく、このような野生種と思われるマメ科の莢であろう。

エゴマ近似種 Perilla frutescens (L.) Britt. cf. var. japonica Hara 果実

大きさ2.0 mm以上の約 $2.0 \sim 3.2$  mmをエゴマ近似種とした。

シソ近似種 Perilla frutescens (L.) Britt. cf. var. crispa (Thunb.) Benth. 果実

大きさ約 $1.8\,\mathrm{mm}$ (No.99)をシソ近似種とした。なお、約 $1.5\,\mathrm{mm}$ のもの(No.29)はイヌコウジュ属(Mosla)またはシソ属とした。

ナス Solanum melongena Linn. 種子

大きさ 3.0 mm以上の約  $3.0 \sim 3.8$  mmをナスとした。なお、大きさ 3.0 mm未満の約  $2.0 \sim 2.6$  mmをナス属とした。

ヒョウタン仲間 Lagenaria siceraria Standl. 果実、種子

果実は、いずれも  $5\sim25$  mm程度の小さな破片であり、果皮の厚さは約  $1.5\sim2.0$  mmである。種子の一部を計測した結果、平安時代は長さ約  $9.8\sim14.7$ (平均 12.5) mm、幅約  $4.3\sim7.0$ (平均 6.0) mm、長さ/幅  $1.71\sim2.42$ (平均 2.08)。中世は長さ約  $11.2\sim16.3$ (平均 12.5) mm、幅約  $5.0\sim7.3$ (平均 5.6) mm、長さ/幅  $1.81\sim2.36$ (平均 2.14)。中世の方がより細身な種子のようである。

カボチャまたはトウガン Cucurbita moschata Duch. and/or Benincasa hispida Cogn. 種子

長さ約 $10.2 \sim 11.5$  mm、幅約 $4.9 \sim 6.4$  mm。種子は偏平楕円形で上端が翼状に発達する。No.67、69は 周縁を取り囲む毛が顕著であるが、他は毛がないか不明瞭である。

メロン仲間 Cucunis melo Linn. 種子

側面観は長楕円形、上面観は薄い両凸レンズ形。平安時代、中世については出土したものの一部について長さの計測を行った。その結果は、以下の通りである。

平安時代:長さ5.3~9.2 mm (平均8.2 mm) で藤下 (1984) による6.0 mm以下の小粒種子 (雑草メロン型) が約8%、6.1~8.0 mmの中粒種子 (マクワ・シロウリ型) が約31%、8.1 mm以上の大粒種子 (モモルディカメロン型) が約62%であった。

中世:長さ $5.5 \sim 10.0$  mm(平均7.2 mm)で小粒種子が約6%、中粒種子が約48%、大粒種子が約46%であった。

ゴボウ近似種 cf. Arctium lappa Linn. 果実

長さ約5.3 mm、幅約2.3 mm。果実はやや湾曲し、表面には多数の平行した筋がある。

### 菌核

腐った樹木の表面などにつく菌の集合である。大きさ、形などは様々であるが、出土したものは、黒色で球形の仁丹状のものがたくさん集まったものである。

《引用・参考文献》

吉崎昌一 1990 「北海道恵庭市柏木川 11 遺跡の植物遺体」『北海道恵庭市発掘調査報告書』pp104-113

吉崎昌一 1992 「古代雑穀の検出」『考古学ジャーナル』No.355

藤下典之 1984 「出土遺体よりみたウリ科植物の種類と変遷とその利用法」『古文化財に関する保存科学と 人文・自然科学-総括報告書』同朋社: pp638-654

## 3 新保遺跡出土貝類遺体の同定

樋泉 岳二(早稲田大学人間科学部非常勤講師)

出土標本はいずれも黄褐色~褐色を呈し角質で薄く、半透明である。ほぼ卵形で一端がやや尖る。同

#### 5 古墓出土土器内土の花粉分析

心円状の成長輪をもち、その焦点は中心近くにあって、やや窪む。これらの特徴から、出土標本はすべてタニシ科 Viviparidae のフタと同定された。日本産タニシ科貝類としては、マルタニシ Cipangopaludiana chinensis laeta・オオタニシ C. ussuriensis japonica・ヒメタニシ Sinotaia quadrata histricaがあり、とくに前2者は各地の水田・水路や湖沼に普通である。出土標本をマルタニシ・オオタニシと比較すると、前者に近いように思われるが、現生標本の比較検討が十分でないので、ここでは種の同定を控える。フタの長径は15㎜前後のものが多く、No.28では20㎜程度のものもみられた。これらがマルタニシまたはオオタニシのものと仮定すれば、殻高30~45㎜前後の成貝と推定され、とくに比較的若い個体が主体をなしていると考えられる。

標本番号	遺構名	時 期	調 査 区	層位	備考	種 名	部 位	数	長 径(mm)
19	97SE1000	近世	270-4 · 5 · 9 · 10	(13)	東西ベルト	タニシ科	フタ	1	15 ±
28	97SE1000	近世	270-4 · 5 · 9 · 10	-		タニシ科	フタ	4	$12.5 \pm \sim 21 \pm$
39	98SE392	中世	29H-19	-		タニシ科	フタ	4	13 ± ~ 16 ±
45	98SE650	近世	29G-25	-		タニシ科	フタ	1	15.5

第12表 貝類遺体の同定結果

## 4 新保遺跡出土獣骨の同定

西本 豊弘(国立歴史民俗博物館)

遺 構 名	時 期	調 査 区	層 位	フィルムケース整理 No.	同 定 結 果
97SE2940	近世	26L-17 · 18 · 22 · 23	(5)	33	陸獣骨片
98SE764	平安	33L-12		78	ウマ上顎臼歯

第13表 獣骨の同定結果

# 5 古墓出土土器内土の花粉分析

鈴木 茂 (パレオ・ラボ)

新保遺跡において発掘調査が行われ、丘陵部上より9世紀後半頃の木炭槨木棺墓と呼ばれる葬法の古墓が検出された。この木炭槨内部の四隅には壺が4点副葬されており、献花など壺の使用目的を検討する目的で壺内埋土土壌が採取され、花粉分析を行った。以下にその結果・考察を示す。

### A 試 料

分析用試料は木炭槨内部の四隅より検出された壺、須恵器壺2点(北西、南西)、灰釉陶器瓶1点(北東)、灰釉陶器壺1点(南東)の計4点の壺内埋土である。各試料について、試料A(北西の須恵器壺)はにぶい黄褐色の砂レキ(小レキ)で、若干シルト分が混じり、炭片や灰が多く混入している。試料B(南西の須恵器壺)もAと同様であるが、Bには褐色の焼土が点在している。試料C(南東の灰釉陶器壺)は黒灰色の土壌で、炭片が多量に混入しており、黄褐色のローム粒子が散在している。試料D(北東の灰釉陶器瓶)は黄褐色のローム質土で、炭片が認められる。

なお、この古墓より出土した炭化材について樹種同定が行われており、コウゾ属、カエデ属、イイギ リと同定されている(炭化材の樹種同定参照)。

### B分析方法

上記した4試料について以下のような手順にしたがって花粉分析を行った。

試料(湿重約4~5g)を遠沈管にとり、10%の水酸化カリウム溶液を加え20分間湯煎する。水洗後、0.5 mm目の篩にて植物遺体などを取り除き、傾斜法を用いて粗粒砂分を除去する。次に46%のフッ化水素酸溶液を加え20分間放置する。水洗後、比重分離(比重2.1 に調整した臭化亜鉛溶液を加え遠心分離)を行い、浮遊物を回収し、水洗する。水洗後、酢酸処理を行い、続けてアセトリシス処理(無水酢酸9:1濃硫酸の割合の混酸を加え3分間湯煎)を行う。水洗後、残渣にグリセリンを加え保存用とする。検鏡はこの残渣より適宜プレパラートを作成して行い、その際サフラニンにて染色を施した。また、花粉化石の単体標本を適宜作成し、各々にPLC.SS番号を付し形態観察用および保存用とした。

## C分析結果

検出された花粉・胞子の分類群数は、樹木花粉 21、草本花粉 8、形態分類を含むシダ植物胞子 3 の総計 32 である。これら花粉・シダ植物胞子の一覧を表 1 に、それらの分布を図 1 に示したが、試料 B を除き検出できた花粉化石は非常に少なく他の試料については分布図としては示せなかった。なお、分布図は全花粉・胞子総数を基数とした百分率で示してある。また、表および図においてハイフンで結んだ分類群はそれら分類群間の区別が困難なものを示している。

検鏡の結果、樹木ではハンノキ属が最も多く、他にコウヤマキ属、コナラ属コナラ亜属、サンショウ属、 ウルシ属近似種、カエデ属、トチノキ属、シナノキ属が1%を越える出現率を示している。草本類ではイ ネ科が最も多く、他にアブラナ科、ヨモギ属が1%を越え、単条型胞子も多く検出されている。

なお、ウルシ属については表面に特有の流れる網目模様がみられるものの、保存状態の悪さからと思われるが特徴的な孔が不明瞭であったためウルシ属近似種とした。

### D 検出分類群の特徴

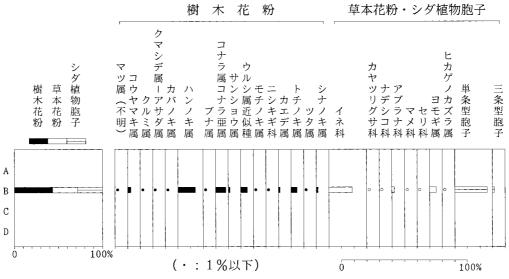
樹木類についてみると、上記したようにハンノキ属を主体にコナラ亜属、カエデ属、トチノキ属などが やや目立って検出されている。これらは低地部から丘陵斜面部に生育する落葉広葉樹であり、当時の遺跡 周辺に生育していたものと思われる。すなわち、花粉分析結果は当時の遺跡周辺に成立していた植生を反 映していると考えられる。

草本類ではイネ科がやや多く検出され、その表面模様からイネ属(イネ?)も含まれていると思われる(写真図版参照)。プラント・オパール分析結果をみるとイネが検出されており、稲藁や籾殻が焼かれその一部が混入した可能性が示されている。花粉分析で得られたイネ属?花粉も同様のことが考えられ、稲藁や籾殻に付着していたものなどが混入したものと考えられる。アブラナ科は栽培種も考えられるが、形態から属や種レベルの同定は難しく、献花にするような栽培種かあるいは雑草類かどうかについては不明である。ヨモギ属については雑草類に由来するものと思われ、単条型胞子(シダ類胞子)も同様と考える。

このように、献花など直接供物を示すような花粉化石は得られず、検出された分類群の多くは遺跡周辺 に成立していたと思われる落葉広葉樹林を示していると考えられる。また、イネ科の一部 (チマキザサ? など)、アブラナ科?、ヨモギ属、シダ類胞子はこの森林の林下や林縁部の雑草類と推測される。

和名	学名				
ле д	, <sub>111</sub>	Α	В	C	D
樹木					
マツ属複維管東亜属	Pinus subgen. Diploxylon	1	_	_	_
マツ属 (不明)	Pinus (Unknown)	_	1	_	_
コウヤマキ属	Sciadopitys	_	4	_	1
スギ属	Cryptomeria	_	_	_	1
クルミ属	Juglans	3	1	_	_
クマシデ属-アサダ属	Carpinus - Ostrya	_	1	_	-
カバノキ属	Betula	_	1	_	_
ハンノキ属	Alnus	8	21	4	5
ブナ属	Fagus	2	1	_	_
コナラ属コナラ亜属	Quercus subgen. Lepidobalanus	5	12	_	3
ニレ属ーケヤキ属	Ulmus - Zelkova	1		_	_
エノキ属ームクノキ属	Celtis-Aphananthe	1	_	_	_
サンショウ属	Zanthoxylum	_	2	_	_
ウルシ属近似種	cf. Rhus	3	8	_	1
モチノキ属	Ilex	_	1	_	_
ニシキギ科	Celastraceae	_	1	_	_
カエデ属	Acer	_	2	_	_
トチノキ属	Aesculus	_	7	_	_
ツタ属	Parthenocissus	_	1	_	_
シナノキ属	Tilia	1	2	_	1
タニウツギ属	Weigela	1	-	-	-
<b></b> 草本					
イネ科	Gramineae	3	28	3	8
カヤツリグサ科	Cyperaceae	-	1	_	_
ナデシコ科	Caryophyllaceae	_	1	-	_
アブラナ科	Cruciferae	3	3	1	2
マメ科	Leguminosae	1	1	_	_
セリ科	Umbelliferae	-	1	_	_
ヨモギ属	Artemisia	2	8	1	_
他のキク亜科	other Tubuliflorae	-	-	1	-
<b></b> シダ植物					
ヒカゲノカズラ属	Lycopodium	-	1	_	_
単条型胞子	Monolete spore	11	39	4	6
三条型胞子	Trilete spore	_	2	_	1
 樹木花粉	Arboreal pollen	 26	66	 4	12
草本花粉	Nonarboreal pollen	9	43	6	10
シダ植物胞子	Spores	11	42	4	7
花粉・胞子総数	Total Pollen & Spores	46	151	14	29
不明花粉	Unknown pollen	22	91	5	12

第14表 產出花粉化石一覧表



第19図 出土壺内土壌の花粉化石分布図

(出現率は全花粉・胞子総数を基数として百分率で算出した)

# 6 古墓出土土器内土のプラント・オパール分析

鈴木 茂 (パレオ・ラボ)

プラント・オパールとは、根より吸収された珪酸分が葉や茎の細胞内に沈積・形成されたもの(機動細胞珪酸体や単細胞珪酸体などの植物珪酸体)が、植物が枯れるなどして土壌中に混入して土粒子となったものを言い、機動細胞珪酸体については藤原 [藤原 1976] や藤原・佐々木 [藤原・佐々木 1978] など、イネを中心としたイネ科植物の形態分類の研究が進められている。

新保遺跡の発掘調査において丘陵部上より9世紀後半頃の木炭槨木棺墓と呼ばれる葬法の古墓が検出された。この木炭槨内部の四隅には壺が4点副葬されており、これら壺内埋土土壌が採取された。ここでは壺の使用法について検討する目的で行われた土壌分析のうちプラント・オパール分析についてその結果・考察を示す。

### A 試料と分析方法

分析用試料は木炭槨内部の四隅より検出された壺、須恵器壺2点(北西、南西)、灰釉陶器瓶1点(北東)、灰釉陶器壺1点(南東)の計4点の壺内埋土である。各試料について、試料A(北西の須恵器壺)および試料B(南西の須恵器壺)はともににぶい黄褐色の砂レキ(小レキ)で、若干シルト分が混じり、炭片や灰が多く混入している。また、Bには褐色の焼土が点在している。試料C(南東の灰釉陶器壺)は黒灰色の土壌で、炭片が多量に混入しており、黄褐色のローム粒子が散在している。試料D(北東の灰釉陶器瓶)は黄褐色のローム質土で、炭片が認められる。

上記した4試料について下記の方法にしたがってプラント・オパール分析を行った。

秤量した試料を乾燥後再び秤量する (絶対乾燥重量測定)。別に試料約 1g (秤量)をトールビーカーにとり、約 0.02g のガラスビーズ (直径約  $40~\mu$  m)を加える。これに 30% の過酸化水素水を約  $20\sim30$  cc 加え、脱有機物処理を行う。処理後、水を加え、超音波ホモジナイザーによる試料の分散後、沈降法により  $10~\mu$  m以下の粒子を除去する。この残渣よりグリセリンを用いて適宜プレパラートを作成し、検鏡した。同定および計数は機動細胞珪酸体に由来するプラント・オパールについてガラスビーズが 300 個に達するまで行った。

### B 分析結果

同定・計数された各植物のプラント・オパール個数とガラスビーズ個数の比率から試料 1g 当りの各プラント・オパール個数を求め(第 15 表)、それらの分布を図 1 に示した。以下に示す各分類群の機動細胞珪酸体個数は試料 1g 当りの検出個数である。

検鏡の結果、試料Dを除く3試料よりイネのプラント・オパールが検出された。最も多く得られたのはCの6,900個で、他はAが900個、Bが1,000個である。また、図表には示していないがイネの穎に形成された珪酸体の一部(破片)がB、Cより1点づつ認められた(写真図版参照)。最も多く得られているのはクマザサ属型で、Bでは100,000個を越えている。次いでネザサ節型であるが4,000個前後と多くはない。その他、シバ属、キビ族、ウシクサ族などが1,000個前後検出されている。

# C 検出穀類のプラント・オパールについて

上記したように、3試料よりイネのプラント・オパールが検出され、イネ穎部破片もB、Cより得られている。そのうち機動細胞珪酸体に由来するこのプラント・オパールは葉に形成される珪酸体であることから、木炭を生産する際の点火材として稲藁が利用されたものが炭片とともに混入したものと推測される。また、イネの穎部破片、すなわち籾殻についても保存状態の悪さなどから稲藁と同様に焼かれたものが混入した可能性が高いと思われる。

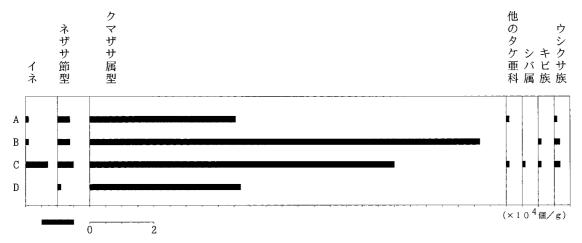
イネ以外の穀類としてキビ族があげられる。しかしながらその形態からアワ、ヒエ、キビといった栽培種によるものか、エノコログサ、スズメノヒエ、タイヌビエなどの雑草類によるものかについて現時点においては分類できず不明である。

最も多く検出されているクマザサ属型は遺跡周辺に生育していたと考えられるチマキザサやチシマザサといったササ類と推測される。このことは今回の分析結果は周辺の植生を反映したものであり、花粉分析においてもほぼ同様のことが考えられている。

以上のことから、9世紀後半頃の遺跡にはイネが存在していたが、それを供物としていたかは不明であり、キビ族についても同様である。他の分類群は遺跡周辺の植生を反映していると考えられる。すなわち、花粉分析から当時の遺跡周辺は落葉広葉樹林が成立していたと考えられ、その下草的存在でクマザサ属型のササ類(チマキザサ・チシマザサなど)が生育していた。また、遺跡あるいは遺跡周辺、林縁部などの日の当たる所にはネザサ節型(アズマネザサ・ケネザサなど)のササ類やウシクサ族(ススキ・チガヤなど)、シバ属(ノシバなど)などが分布していたのであろう。

試料 番号	イ ネ (個/g)	ネザサ節型 (個/g)	クマザサ属型 (個/g)	他のタケ亜科 (個/g)	シ バ 属 (個/g)	キ ビ 族 (個/g)	ウシクサ族 (個/g)	不 明 (個/g)
A	900	3,800	45,500	900	0	0	900	3,800
В	1,000	3,800	121,700	0	0	1,000	1,900	12,400
С	6,900	4,900	95,000	1,000	1,000	1,000	2,000	2,000
D	0	1,000	47,100	0	0	0	0	5,200

第15表 試料1g当たりのプラント・オパール個数



第20図 出土壺内土壌のプラント・オパール分布図

《引用文献》

藤原宏志 1976 「プラント・オパール分析法の基礎的研究(1)-数種イネ科植物の珪酸体標本と定量分析 法一」『考古学と自然科学』9:pp15-29

藤原宏志・佐々木彰 1978 「プラント・オパール分析法の基礎的研究(2) - イネ (Oryza) 属植物における 機動細胞珪酸体の形状-」『考古学と自然科学』11: pp9-20

## 7 古墓出土木炭の樹種同定

植田 弥生(パレオ・ラボ)

## Aはじめに

当遺跡は、頸城平野の北東部の中頸城郡柿崎町上直海字新保に所在する。ここでは標高約7.8mの丘陵部上(25H区)に位置する通称「柿崎古墓」から出土した木炭5点の樹種を報告する。古墓の造営時期は出土遺物から9世紀後半(平安時代)と推定され、木棺と木槨の間に木炭を多量に詰める木炭槨木棺墓であった。

### B 炭化材樹種同定の方法

樹種同定は炭化材の3方向の破断面組織を走査電子顕微鏡で拡大し観察を行った。横断面(木口)は炭化材を手で割り新鮮な平滑面を作り、接線断面(板目)と放射断面(柾目)は片刃の剃刀を各方向に沿って軽くあて弾くように割り新鮮面を出す。この3断面の試料を直径1cmの真鍮製試料台に両面テープで固定し、その周囲に導電性ペーストを塗る。試料を充分乾燥させた後、金蒸着を施し、走査電子顕微鏡(日本電子㈱製 JSM-T100型)で観察と写真撮影を行った。

残りの炭化材試料は、柿崎町教育委員会に保管されている。

### C 結果

同定結果の一覧を表1に示した。検出された分類群は、コウゾ属1点・カエデ属1点・イイギリ3点の 3分類群で、すべて落葉広葉樹であった。

試 料	樹種	備考
No.1 部下層	コウゾ属	φ 5.0 cm、半割れ状、約 14 年輪
No.2 部上層	カエデ属	φ 5.5 cm、半割れ状
No.3 部上層	イイギリ	φ 5.0 cm、ほぼ丸木だが約 1.5 cmの厚み分が板目に沿い削られている
No.4部上層	イイギリ	φ 5.0 cm、半割れ状
No.6部下層	イイギリ	楔状

第16表 新潟県柿崎町新保遺跡古墓出土炭化材樹種

以下に同定根拠とした材構造の観察結果を、分類群ごとに記載する。

### コウゾ属 Broussonetia クワ科

図版 211 1a-1c (No.1部下層)

年輪の始めに数層の大型管孔からなる孔圏部が形成され、晩材部は小型から極めて小型の管孔が多数 集合して接線状・斜状に配列する環孔材。道管の壁孔は交互状に密在し、穿孔は単一、内腔にはチロー スがあり、小道管にはらせん肥厚が顕著である。放射組織は主に平伏細胞からなる同性、3細胞幅で20

#### 7 古墓出土木炭の樹種同定

細胞高前後の紡錘形が多い。このような形質からコウゾ属と同定した。

マメ科のイヌエンジュとも類似していたが、イヌエンジュは横断面において年輪界付近では小道管の集合体が大きくなり年輪界に沿って広がる傾向がある。また接線断面や放射断面において小道管は層階状を示し、放射組織は異性の場合が多く細胞高は不揃いで非常に幅広で細胞高の高いものがある。しかし、当試料ではこのような特徴は見られなかったので、コウゾ属と同定される。

カエデ属 Acer カエデ科

図版 211 2a-2c (No.2部上層)

小型の管孔が単独または $2\sim3$ 個が複合して均一に分布し、帯状柔組織が認められる散孔材。道管の壁孔は交互状、穿孔は単一、内腔にはらせん肥厚が認められた。放射組織は同性、 $1\sim3$ 細胞幅である。軸方向に連なる結晶細胞ストランドがある。以上の形質からカエデ属と同定した。

カエデ属は、温帯落葉広葉樹林の主要樹で約23種と多くの変種があり、材構造から識別できる種類も 一部あるがほとんどは類似性が高いため種の識別はできていない。

イイギリ Idesia polycarpa Maxim. イイギリ科

図版 211 a-3c (No.6部下層)

主に2~数個の小型管孔が複合して均一に分布している散孔材。道管の壁孔は対列状から交互状、穿孔は単一である。放射組織は異性、1~3細胞幅、方形細胞と直立細胞は放射組織の上下端にあり、道管との壁孔は大きくて篩状である

横断面の管孔配列、穿孔が単一であり、放射組織は異性で1~3細胞幅であることなどはモクレン属に 類似していたが、モクレン属は道管壁孔および道管と放射組織との壁孔が交互状から階段状で特に階段状 のものが目立つのに対し、当遺跡の試料はすべて明瞭な交互状であり特に道管と放射組織との壁孔は大き くて篩状に配置していることからイイギリと同定した。

#### D ま と め

「続日本書紀」の中で嵯峨上皇の喪葬に関する記述に、木棺を槨で囲いその間に松の炭をめぐらすという記述があるそうだが、当古墓の形式はそれに準ずるものであった事から検出された木炭はマツ材の可能性が推定されていた。木炭を組織学的に樹種同定した結果からはマツ属は検出されず、検出された樹種はコウゾ属・カエデ属・イイギリであった。一般に火葬にはマツ属やクリが使われ事が知られているが、この検出樹種の違いは、当遺跡の木炭が高熱の火力を必要とする燃料材目的ではない点にあり、逆にそれゆえに意図的にコウゾ属とカエデ属とイイギリが選択されたとも推測される。しかし、当遺跡のような木炭槨木棺墓の出土木炭の樹種調査はあまり知られていないようなので、今後の事例の蓄積を待つ必要がある。木炭槨木棺墓に納められた木炭はどのような意図で選択された樹種であるのかは、歴史的背景や民俗学的解釈も必要であろうが、とりあえず3種類のよく知られている利用や特徴などを、簡単に以下に列記してみた。

カエデ属は、山野に普通の落葉広葉樹で、春の新緑、とりわけ秋の紅葉を彩る代表的樹種で古代から鑑賞されている。カエデ属の材は、薪炭材としても利用され、加工面は均一で奇麗になるので細工物や刀剣類の把などの利用が知られている。

コウゾ属は、落葉小高木のカジノキ・ヒメコウゾ・コウゾそして蔓性のツルコウゾがある。蔓性の材は 放射組織の細胞高が非常に高くなるので、当試料はカジノキ・ヒメコウゾ・コウゾのいずれかであろう。 カジノキは野性化している木もあるが主に植栽されており、ヒメコウゾは低山地に普通であり、コウゾは カジノキとヒメコウゾの雑種で栽培種とされる。これらの樹皮の繊維を利用して、粗布(太布・タパ・カ パ)や紙が作られる。また、平安時代から七夕にカジノキの葉の裏に歌を書く習慣があるのだそうである。 イイギリは、山野にまれで人家や寺などに植栽されているものが多い。桐に似た葉は飯を包むのに利用 され、和名は飯桐に由来するそうである。新潟県では真っ赤な房状の果実からヤマナンテンという方言で 呼ばれるそうである。材はキリに似て軽く、薪炭材にも利用される。

以上の検出された3種類の分布は、日本だけではなく朝鮮半島から中国に広がっており、その利用も共通性がある。朝鮮半島や中国大陸との文化交流に伴い伝えられた各樹種の民俗的な意味付けもあると思われるので、このような共通点の中に木炭の樹種の選択性を理解するヒントがあるのかも知れない。また、コウゾ属とイイギリは現代では生活に身近な樹種とは言えないが、かつては衣食と深い関わりがあり生活域周辺地に多く生育していたと想像される。

コウゾ属 (No.1) とカエデ属 (No.2) そしてイイギリ (No.3・No.4) 2点は、直径が約5cmのほぼ同じ太さの材であった。No.1・No.2・No.4は、材の中心部から半分に割れた状態であった。幅広い放射組織を持つクヌギ節やコナラ節などの材では放射組織の部分から自然に割れることもあるが、コウゾ属・カエデ属・イイギリの材構造からは自然に半分に割れたとは考えにくく、故意的に半裁されたと推測される。No.3のイイギリは丸木に近い形状だが、年輪を断ち切って板目(接線方向)で割れており、転がらないように一面を平らに削った可能性がある。またNo.6は楔状に形成されていた。当遺跡から出土した木炭は、直径約5cmのほぼ同径の丸木材を使用しており、半裁したり一部を削るなどの加工を施して使用していた様子を伺い知ることができた。

《引用文献》

保育社 1979 『原色日本植物図鑑 木本編Ⅰ・Ⅱ』 木村陽二郎監修 植物文化研究会編 1996 『図説花と樹の大辞典』柏書房

# 8 古墓出土木炭の放射性炭素年代測定

山形 秀樹 (パレオ・ラボ)

### A 放射性炭素年代測定について

新保遺跡から出土した炭化材試料1点の放射性炭素年代を液体シンチレーション法にて測定した。測定は㈱地球科学研究所に依頼した。

試料は、酸・アルカリ・酸洗浄を施して不純物を除去し、ベンゼンに調整した後、シンチレーションカウンターにて測定し、yrBP年代値(AD1950から何年前かを示した値)を算出した。その結果は下記に示す。なお、年代値の算出には「4Cの半減期としてLibbyの半減期5568を使用して年代値を算出した。また、付記した年代誤差は、計数値の標準偏差  $\sigma$ に基づいて算出し、標準偏差(One sigma)に相当する年代である。試料の「4C計数率と現在の標準炭素(Modern standard carbon)の「4C計数率の比が「4C(Sample)/「4C(Modern)  $\geq$  1 の時は、Modern と表示する。

表示した同位体比は標準値からのずれを示し、 $\delta$  <sup>13</sup>C の値は、試料炭素の <sup>13</sup>C/<sup>12</sup>C 原子比を質量分析器で測定し、標準に PDB を用いて、 $\delta$  <sup>13</sup>C= [{(<sup>13</sup>C/<sup>12</sup>C)(sample)-(<sup>13</sup>C/<sup>12</sup>C)(PDB)}/(<sup>13</sup>C/<sup>12</sup>C)(PDB)] × 1000 に

### 8 古墓出土木炭の放射性炭素年代測定

よって算出された値である。この $\delta$  <sup>13</sup>Cの値を用いて補正 <sup>14</sup>C年代値を算出した。したがって、補正 <sup>14</sup>C年代値は同位体効果による測定誤差を補正した年代値である。

# B 放射性炭素年代測定結果

測 定 No.	試料データ	14C 年 代 値	δ <sup>13</sup> C	補正14C年代値
Beta-141981	炭化材(古墓の炭) No.3部上層	$1,230 \pm 70 \text{yrBP}$	-26.5 ‰	$1,200 \pm 70 \ \mathrm{yrBP}$

第17表 放射性炭素年代測定結果

# C 暦年代補正について

暦年代補正に関しては、あくまで測定年代値の参考として記載しているものである。

# D 補正曆年代值

測定 No		測定年代値	交点年代値	1 σ年代幅
Beta-1419	981	1,200 ± 70 yrBP (AD 750年)	cal AD 815年 cal AD 840年 cal AD 855年	cal AD 720 to 745年 cal AD 760 to 900年

第18表 補正暦年代値

### 《引用文献》

Calibration Database

**Editorial Comment** 

Stuiver,M. · van der Plicht,H. 1998 Radiocarbon 40 (3): pp?-xiiiINTCAL98 Radiocarbon Age Calibration

Stuiver, M.  $\cdot$  et al. 1998 Radiocarbon 40 (3): pp1041-1083Nathematics A Simplified Approach to Calibrating C14 Dates

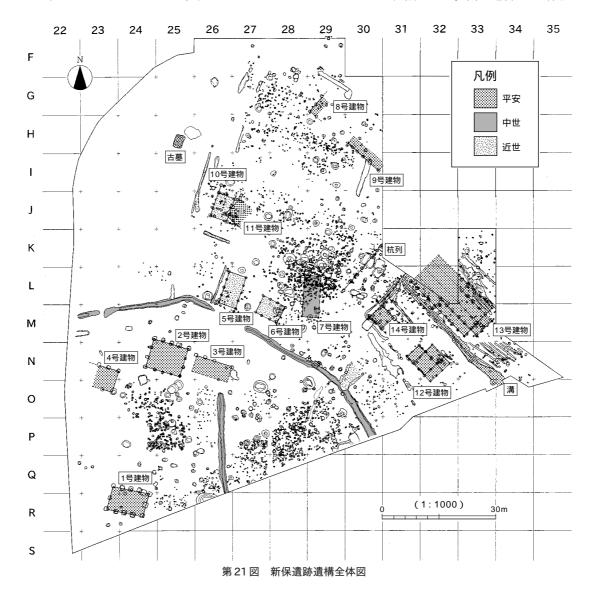
Talma, A.S. · Vogel, J.C. 1993 Radiocarbon 35 (2): pp317-322

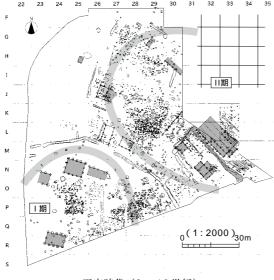
# 第VII章 ま と め

# 1 遺構について

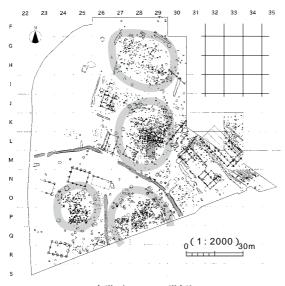
遺構については、第IV章で各時代別の詳細な記述を行っている。ここでは一部重複するがそれらを簡略にまとめ、新保遺跡の各時代における集落配置を見てみたい。新保遺跡では縄文・弥生・古墳・平安時代、中・近世の遺物が出土しているが、主体は平安時代の9世紀以降である。全時期を通じて検出された遺構は、掘立柱建物14棟、井戸159基、土坑92基、溝51条、古墓1基、中世土壙墓1基、性格不明遺構7基、ピット(長軸長80㎝以下)3,446基である。ピットが全体の9割を占める。

平安時代は段丘部を後背地として、その南側から東側にかけて広く分布している。平安時代に所属する掘立柱建物は10棟検出されており、建物の軸方向などから、 $N-72\sim78\,^\circ-W$ を示す $SB1\sim4$ のグループと、 $N-43\sim48\,^\circ-W$ を示す $SB8\cdot9\cdot11\sim14$ のグループに大別される。出土遺物から時間差

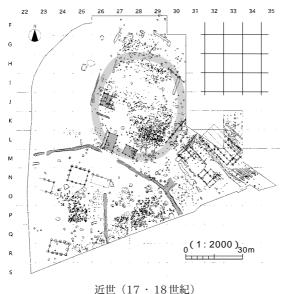




平安時代(9・10世紀)



中世(14・15世紀)

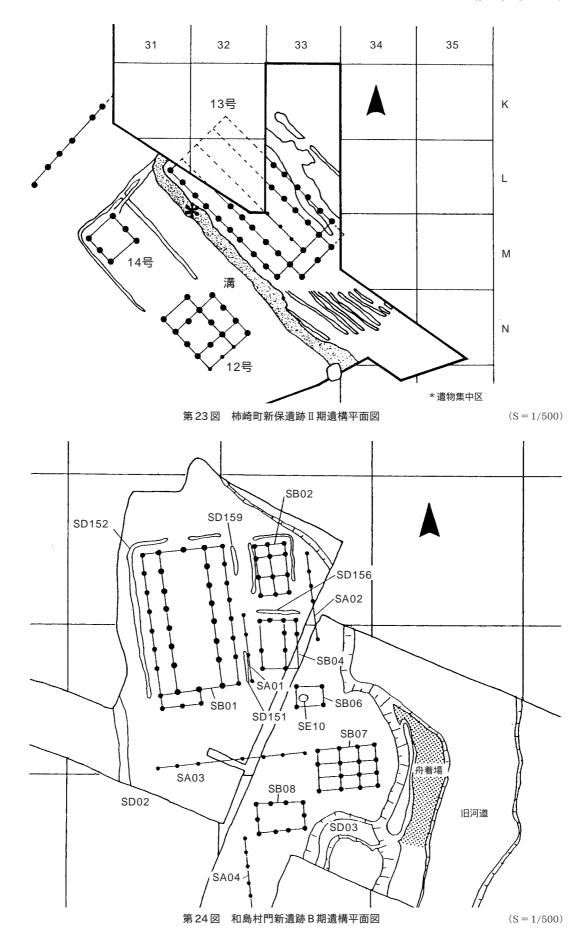


第22図 新保遺跡の遺構配置

が考えられ、調査区南東側を中心とする前者のグループは9世紀中〜後半頃、調査区東側を中心とする後者のグループは9世紀末〜10世紀前半頃と考えられる。それぞれⅠ期・Ⅱ期と呼称する。Ⅰ・Ⅱ期ともに規格性のある建物配置が認められる。

I期の建物周辺からの出土遺物は特に少なく、また柱穴などの遺構も少ない。一般的な住居とは異なった性格が考えられる。柱掘形覆土内には古墳時代の遺物が多いことから、新保遺跡内では平安時代でも最も早い時期の建物と考えられる。SB1とSB2は約33m程離れて位置するが、桁行の長さがほぼ等しく、梁間の方向が同一延長線上に並ぶ。I期の建物のSB2から100m程北に離れた場所から古墓が1基検出されている。軸方向もほぼ等しく、このI期の時期に構築された墓と思われる。京の風習を知っていることから、有力者が既に居住していたものと思われる。

Ⅱ期は大型建物 SB13 を中心とし、SB12・14 が南西側に付随する。この3棟は区画溝で囲まれ、 北西側には柵列を持ち、南東側に畑と考えられる 畝状小溝が位置している。これら建物群と同様の 建物配置は、和島村門新遺跡 [田中1995] に見 ることができる(第23·24図)。報文中でB期 (10世紀第1四半期後半~第2四半期前半)とさ れたこの遺構群に対して田中は、時期的に律令体 制が崩壊していること、出土漆紙文書の内容 (米・武器の請求) などから、「より私的な施 設」・「新しい地域支配の拠点 (開発領主の居宅)」 と捉えている。新保遺跡のⅡ期もそれに類する、 開発領主の居宅と考えたい。この地区の包含層中 からは鉄滓が一定量出土しており、羽口片も数点 出土していることから、建物近辺で製鉄を行って いたことが窺える。またⅡ期は段丘部にも軸方向 を同じくする SB8・9・11 が検出されている。い ずれも後世の削平を受け、建物の規模は不明であ る。しかしSB8を基に考えると、北西辺の延長 方向にSB11が位置し、南東辺の延長方向に



#### 2 遺物について

SB9が位置している。またSB11の南西辺はSB12・14の桁行軸のほぼ延長方向に位置していることがわかる。今回調査範囲外である北東側水田部を調査した時点で、建物群の性格が判明してくると思われる。

SB13の西側に隣接して、区画溝と雨落溝兼用の溝(98SD1000)が検出されている。溝内からは9世紀第4四半期~10世紀第1四半期頃に属する土器が出土している。溝には約4×0.4mの範囲に、土師器椀や内黒土器椀・皿が数百個体、集中して廃棄された場所が検出されている。完形品に近いものが複数枚重ねられた状態で発見されている。同様な食器類の一括廃棄行為は、県内でも数ヶ所認められている。和島村下ノ西遺跡 [田中1998] SK01でも確認されており、1000個体を超える土器が出土している。柿崎町内では芋島遺跡で、10世紀に属する完形の土師器椀が、溝SD3内から一括出土した事例がある。これらは大規模な饗宴後の食器類の一括廃棄行為と推定されている。新保遺跡の集中区1から出土した土器では、212・213の内黒土器が注目される。この2点は重なって出土していることから、かなり近い位置で使用されていたと考えられる。212の体部外面には則天文字と漢字で「天九」と墨書されている。墨書の「天九」の意味は不明で、単なる記号として認識していた可能性もある。しかし一方で、「九」の字には『大字源』[尾崎ほか1992] によると「あまた。いくつも。なんども。数多くの」、「易で、陽の数。七は少陽、九は老陽という」、「ひさしい。としながい」の意味があり、天の字と合わせて吉祥を示していた可能性がある。これら一括廃棄された土器は、祝いの饗宴で使用された土器と推定される。また重ねられていた213には、灯明痕が認められる。集中区1で灯明痕の認められるものは数点程度で、墨書土器に近接していたことと合わせて特別な使用をされた土器と考えられる。

中世の遺物は13世紀後半~16世紀前半頃のものが出土しているが、主体は15世紀にある。遺構では 千基を超える径20~30㎝程の掘立柱建物の柱穴、百数十基の井戸跡、区画溝などが検出されている。 遺構の集中区が3ヶ所(集中区1~3)検出され、区画溝(97SD2・100・1500)によって範囲が規制 されている。集中区1は北側に広がるのか不明だが、もう1グループ分けることも可能である。各遺構集 中区で出土遺物に時期差は認められないため、ほぼ同時期に数棟が各集中区に散在していたと考えられる。 一方、丘陵頂部より西側(26ライン以西、Mライン以北)の遺構が希薄であることは、北西からの強い 季節風を避けるための集落配置と考えられる。各集中区における柱穴の重複は多く、建物の柱穴配置を把 握するまでに至らなかった。井戸は全て素掘りの井戸で、ほぼ集中区に重なるように多く検出されており、 建物のすぐ近くに構築されていたことが窺える。中世の土壙墓は調査区北側の斜面部で1基だけ検出され ている。削平を受けており不明だが、この付近に墓域が形成されたいたのであろう。

近世に属する遺構の大半は丘陵部上で検出されている。またそのほとんどは中世に構築された区画溝の 北側に位置している。近世の建物はSB5・6・10が検出されている。近世の遺構は28J区を中心とした 大体90×50m程の範囲内で散在していたと思われる。SB10は丘陵部の頂部に建築され、掘形規模も大 きく柱径も太いことから、一般の住居とは異なった建物の可能性がある。他に水田部30K・L区で方形 プランの遺構(98SK807など)が検出されているが、性格は不明である。

# 2 遺物について

新保遺跡では縄文・弥生・古墳・平安時代、中・近世の遺物が出土している。平安時代の遺物が主体で、中世、近世の出土量がそれに続く。古墳時代以前の遺物は少量である。

平安時代の遺物は、春日の編年 [春日 1999] によると V 期~ VII1 期(9 世紀前葉~ 10 世紀前半)の

遺物が主体をなし、その前後の遺物が少量存在す る。平安時代の土器について口縁部計測法[宇野 1992] により算出し、器種構成比率と、食膳具 の構成比率を第19・20表に示した。食膳具が 占める比率は92.5%で、貯蔵具1.1%、煮炊具は 6.4%である。同じ頸城郡内に属し、9世紀後半 ~末に比定できる上越市今池遺跡のSD3出土土 器では食膳具91.0%で、貯蔵具1.7%、煮炊具は 7.3%である [春日ほか1997]。数値的に多少の差 は有るが、大きく傾向に変化があるわけではない。 しかし、新保遺跡の計測対象には今池遺跡 SD3 より時期幅があること、一括廃棄された土器を含 んでいることなどを考慮すると、また違った結果 になると思われる。今回担当者の力量不足で、全 点を含めて計測したが、機会があれば一括廃棄さ れた土器の値を除いて再検討を試みることにした

食膳具における比率を見ると(第20表)、新 保遺跡では土師器71.9%、内黒土器22.6%、須 恵器5.0%、施釉陶器0.5%となる。今池遺跡 SD3では土師器77.5%、内黒土器9.0%、須恵器 13.5%で、施釉陶器の食膳具は出土していない。 両遺跡で比較してみると、新保遺跡は須恵器が 少なく、内黒土器の比率が高くなっていること が窺える。

98SD1000からは食膳具が多量に一括廃棄された場所(集中区1)が検出されている。この集中区1から出土し、また実測を行った食膳具は総計100点ある。各器種の点数は次のようになる。土師器の無台椀69点、皿1点、内黒土器の無台椀19点、有台椀1点、皿7点、須恵器の無台杯2点、有台杯1点である。無台椀では、土師器が内黒土器の3倍以上出土している。

次に土師器無台椀と内黒土器無台椀の形態差について見てみたい。両形態は同一の基準を用い

種 類	器種	口縁部 計測値	(破片数)	比	率
土師器	椀	10848.5	(72362)	64.7	(70.5)
	Ш	252.5	(591)	1.5	(0.6)
	鉢	53.5	(176)	0.3	(0.2)
内黒土器	椀	3201.0	(11651)	19.1	(11.4)
	Ш.	259.0	(434)	1.5	(0.4)
	鉢	43.0	(146)	0.3	(0.1)
須 恵 器	杯	594.0	(1793)	3.5	(1.7)
	杯蓋	171.5	(302)	1	(0.3)
	稜椀	14.0	(21)	0.1	*
灰釉陶器	椀	50.5	(106)	0.3	(0.1)
	Ш	19.0	(219)	0.1	(0.2)
緑釉陶器	椀	4.0	(6)	*	*
	Ш	8.5	(21)	0.1	*
食膳具総計		15519.0	(87828)	92.5	(85.6)
須 恵 器	壺・瓶	144.0	(600)	0.9	(0.6)
	甕	35.0	(3580)	0.2	(3.5)
灰釉陶器	壺・瓶	13.0	(137)	0.1	(0.1)
貯蔵具総計		192.0	(4317)	1.1	(4.2)
土 師 器	長甕	632.5	(8845)	3.8	(8.6)
	小甕	354.0	(1409)	2.1	(1.4)
	鍋	74.5	(206)	0.5	(0.2)
煮炊具総計		1061.0	(10460)	6.4	(10.2)
総	計	16772.0	(102605)		

第19表 新保遺跡器種構成比率

Í	15 . 0 20	111111111111111111111111111111111111111	HH 1211379420		
種 類	器種	口縁部 計測値	(破片数)	比	率
土 師 器	椀	10848.5	(72362)	69.9	(82.4)
	Ш	252.5	(591)	1.6	(0.7)
	鉢	53.5	(176)	0.3	(0.2)
土師器総計		11154.5	(73129)	71.9	(83.3)
内黒土器	椀	3201.0	(11651)	20.6	(13.3)
	Ш	259.0	(434)	1.7	(0.5)
	鉢	43.0	(146)	0.3	(0.2)
内黒土器総計		3503.0	(12231)	22.6	(13.9)
須 恵 器	杯	594.0	(1793)	3.8	(2.0)
	杯蓋	171.5	(302)	1.1	(0.3)
	稜椀	14.0	(21)	0.1	*
須恵器総計		779.5	(2116)	5.0	(2.4)
灰釉陶器	椀	50.5	(106)	0.3	(0.1)
	Ш	19.0	(219)	0.1	(0.2)
緑釉陶器	椀	4.0	(6)	*	*
	Ш	8.5	(21)	0.1	*
施釉陶器総計		82.0	(352)	0.5	(0.4)
食膳具絲	総 計	15519.0	(87828)		

第20表 新保遺跡食膳具構成比率

て形態分類を行っている。径高指数からはA類(40以上)、B類(39~35)、C類(30~34)、D類(29以下)とし、口径からはI類(17.1 cm以上)、II類(15.1~17.1 cm)、III類(13.1~15.0 cm)、IV類(11.1~13.0 cm)として両者の組合わせで分類を行っている。各形態の個体数(実測数)は第 21 表のよ

土師器

内黒土器

	A	В	С	D	計		A	В	С	D	計
I	0	2	1	1	4	I	2	0	0	0	2
П	0	1	0	1	2	П	2	1	1	0	4
Ш	0	2	2	1	5	Ш	3	13	9	0	25
IV	0	41	99	8	148	IV	2	9	11	0	22
計	0	46	102	11	159	計	9	23	21	0	53

第21表 無台椀形態別個体数

うになる。

土師器では身の深い A 類が認められないのに対し、内黒土器では17.0%程存在する。一方身の浅い D 類が土師器で 6.9%認められるのに対し、内黒土器では出土していない。これは土師器として製作された何点かを選択して、内面及び底面に調整を施すのではなく、当初からある程度の規格を持って製作分けされていたことが窺える。土師器無台椀では CIV 類(62.3%)が圧倒的に多く、BIV 類(25.8%)がそれに続く。内黒土器無台椀では特に突出した傾向は見られないが、BⅢ類(24.5%)が最も多く、CIV 類(20.8%)、BIV 類と CⅢ類(17.0%)の順で続いている。実測個体は一括出土した 98SD1000 のものが大半であることから、この形態差は新保遺跡の当該期(9世紀末~10世紀初頭)の傾向を示すものと考えられる。

煮炊具の小甕、長甕、鍋は口縁部形状を基に形態分類を行った。それぞれの点数を見ると、小甕はA類が8点、B類が8点、C類が3点である。長甕はA類が6点、B類が8点、C類が1点である。鍋はA類が3点、B類が5点、C類が4点である。特に各器種とも突出した傾向は見られず、ほぼ同量出土しているため、形態差をもって同時に併存していたと考えられる。

中世に属する遺物の年代と主体は、珠洲焼と中世土師器のそれぞれの比率から類推できる。珠洲焼は吉岡の編年区分 [吉岡1994] のⅢ期~VI期のものが認められる。Ⅲ期は1250~1280年、IV期は1280~1380年、V期は1380~1450年、VI期は1450~1480年にそれぞれ相当する。分類が可能な各器種の年代別出土点数を見ると、甕はⅢ期1点、IV期2点、V期7点、VI期3点となる。壺は数量が少なく、Ⅲ期2点、IV期1点、V期1点である。最も出土量の多い擂鉢ではⅢ期3点、IV期5点、V期11点、VI期6点となる。V期と VI期の形態差は判別がつきにくく、若干数値的な移動はすると思われるが、V・VI期のほぼ15世紀に収まる資料の多いことがわかる。V期の擂鉢の口縁端部を観察すると、若干内傾はするが基本的に端面は上方向を向いている。大型の鉢には波状文が施文されている。この V 期の擂鉢に特に顕著なのだが、端面が全面的に磨れているものが多く存在する。現代の擂鉢の使用法では、端面の内側が磨れることはあっても全体的に磨面を持つことは無いと思われ、特別な使用法が存在した可能性がある。

中世土師器は製作技法や大きさから、48 点を計 11 類に分類を行った。各形態の点数はA1a 類 4 点、A1b 類 4 点、A1c 類 5 点、A1d 類 2 点、A2a 類 4 点、A2b 類 11 点、A2c 類 1 点、B1I 類 3 点、B1I 類 8 点、B2I 類 4 点、B2I 類 2 点である。おおまかな年代では、手づくねのA1 類が 13 世紀後半~14 世紀、手づくねのA2 類が 15 世紀末~16 世紀のいわゆる京都系土師器、ロクロ成形のB1 類 2 B21 類が 15 世紀、15 世紀 15 世紀 1

近世に属する遺物は、肥前系陶磁器の小皿が出土の大半を占める。16世紀末の資料が少量存在するが、主体は17世紀~18世紀前半である。井戸からの一括出土が多く、壁面の崩落などにより機能を果たせなくなった井戸は、その後ゴミ捨場として使用されていたことが窺える。肥前系陶磁器に混じり越中瀬戸の小壺が一定量存在している。近世における越中瀬戸の編年は不勉強なため分からないが、今後このように対比できる資料が蓄積してくると、消費地における実態が判明してくるものと思われる。また志野皿の底面に墨書されているもの(692)が1点出土しているが、状況から新保遺跡搬入後に書かれたものとは考えられない。今後の類例を待ち、墨書がどの段階で書かれたものかが判明すれば、流通の過程の一端が明らかになってくるものと思われる。

# 3 古墓について

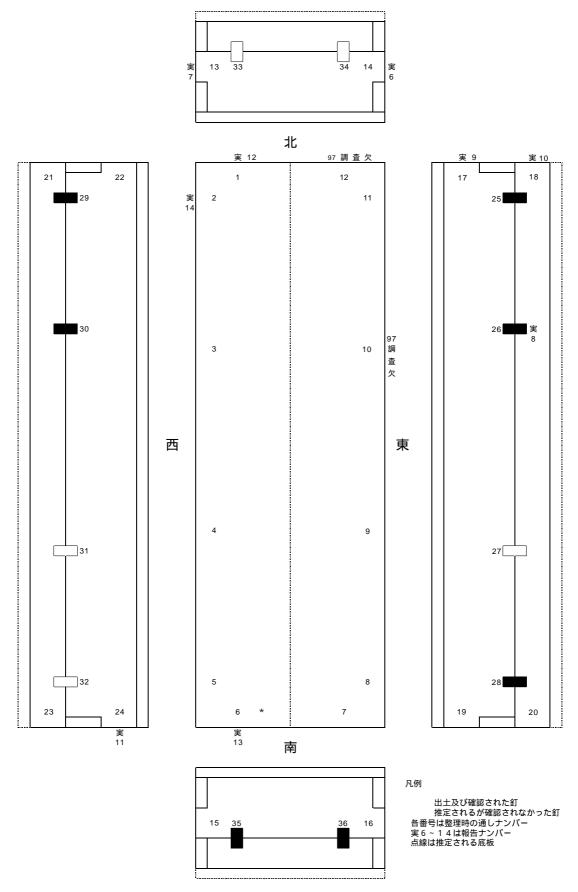
古墓はI期の建物群などから北方向へ100m程離れた、調査区の北西(25H区)で検出された。墓は「木炭槨木棺墓」と呼ばれる葬法である。木棺を槨で囲い、木棺と槨の間に木炭を多量に詰めている。これは『続日本後紀』承和9(842)年7月15日条にみられる「而重以棺槨繞以松炭(棺・槨をかさね、松の炭をめぐらす)」(嵯峨上皇(在位809~823年)の喪葬に関する遺詔)の例に類似する。

黒崎氏は8・9世紀における上流階層の墓の動向について、3段階の変遷を考え、第1段階(700~769年)を「火葬の開始と火葬墓の盛行期」、第Ⅱ段階(770~842年)を「本来的葬法たる土葬への回帰時期」、第Ⅲ段階(842~900年)を「薄葬を基調とする土・火葬混在期」としている[黒崎1980]。木棺被覆施設(槨)が木炭槨の可能性がある墓の類例は、第Ⅱ段階に多く認められる。伊賀氏は京都府西野山古墓、長野古墓、沓掛古墓、高尾古墓、猪の谷古墓、滋賀県梨の木古墓、福岡県宮ノ本第2号墓の7例を挙げている[伊賀1992]。また最近の事例としては京都府安祥寺下寺跡1(通称山科古墓)[高・平方1996]があり、今後も畿内を中心に検出される可能性が高い。柿崎古墓はそれらより新しく、第Ⅲ段階に相当する貴重な事例である。

墓の規模は掘形が約3.4×2.4×0.6m、木炭槨が約2.4×1.3×0.3mあり、主軸方向はN-21°-Eを示す。副葬品は、木炭槨の四隅から須恵器長頸壺が2点、灰釉瓶が1点、灰釉長頸壺が1点出土し、木棺内の北側底面近くから水晶製平玉が1点出土している。須恵器は小泊窯跡群のカメ畑3号窯式(850年前後)に、灰釉陶器は猿投窯跡群の黒笹90号窯式(840~900年頃)期の前半の製品に比定され、埋納土器の生産年代が極めて近似していることが確認された。このことから新保遺跡で検出された古墓の造営時期は、9世紀後半(第3四半期)である可能性が高い。また出土した木炭の年代測定の結果でもそれに近い年代が与えられている。南東隅の灰釉長頸壺の底面には、「石神」の墨書が認められる。また掘形の底面には木炭床があり、その下から埋葬前の儀礼行為に伴う遺物と考えられる数個体分の土師器が、投げ割られたような状況で出土している。細片のため器種不明だが、おそらく無台椀であろう。

# 木棺・木槨の構造について

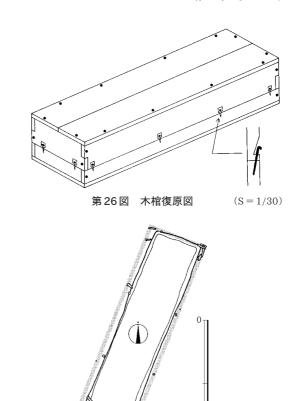
木棺を結合する鉄釘は30本程が確認されている。その内の何本かは古墓の型取り作業の際に付着して、出土位置不明となったものがあるが、平面的にほぼ原位置を保っていると思われる鉄釘の配置から、第25~27図のような釘の打ち込みと木棺の構造が推定される。木棺の規模は外寸で、長168 cm(東側側縁を計測)×幅48 cm(北側小口を計測)と推定される。木棺の西側側縁は上部からの土圧により中央方向へ湾曲している。木棺の蓋板を留める釘と底面の比高は、現段階で約21 cmを測り、同様に土圧により

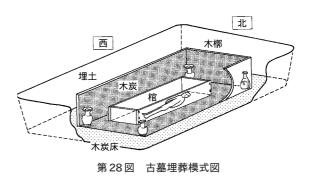


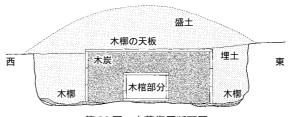
第25図 古墓の釘配置模式図

圧縮されたと考えられる。木棺の材厚は約3~4 cmであるため、木棺の内寸は長162×幅42cmと 推定される。底板を結合する釘は1本も出土して いない。組合せ式かまたは底板が存在せず、小口 板と長側板を結合して枠として載せていた可能性 も考えられる。小口板と長側板は三枚組接ぎ状を 呈し、長側板側から上下に2本、小口板側から中 に1本の計3本の釘を使用している。また南小口 側と東西長側板のほぼ中位から、7本の釘が検出 されている。これは釘頭が上部を向いている。木 材組織が上下に分かれ、同一に横方向を向いてい る。レベル的に底板との関連性が薄いなどの理由 から、板を2枚継ぎ合わせるためのカスガイ釘と 判断した。棺蓋は小口板側に2本ずつ、長側板側 に4本ずつの計12本を打ち込み固定している。 カスガイ釘が位置する部分と、蓋釘が打ち込まれ る部分は平面的にほぼ対応している。

木槨に関する釘等は出土しておらず、側板を直 接土で押さえていたと考えられる。土層断面に見 第27図 鉄釘の出土状況と推定される木棺の規模 (S=1/30)られる木炭槨の側縁から立ち上がるラインは、下 から20㎝前後が垂直または外傾しているのに対 し、その上位は徐々に内傾していることがわかる。 上位のラインは天板の中央が土圧によって押さ れ、それが木槨の側板に影響を及ぼした痕跡と推 定される。また注目されるのは、木槨外に埋めら れた土の境とほぼ対応するように、木槨内部にも 横方向の境の線が引けることである。これは木槨 に桟木やカスガイ釘を使用しない代わりに、木槨 内部の炭と外部の土を交互に詰めて積上げていっ た結果と考えられる。特に断面の右側(東側)で 顕著に認められる土層の境(図版158)は、こ の作業工程上の痕跡と考えられる。







第29図 古墓復原断面図

# 四隅の土器について

現段階では木棺を囲うように四隅に副葬された壺の類例は無い。時代は異なるが、7世紀後半の韓国慶 州忠孝里古墳群の6号石室内に似たような事例がある。棺座を囲むように床面下の四隅に土器が副葬され ており、土地の神様から墓地を譲ってもらう思想と考えられている。おそらく本遺跡の例も同様に、「四 方点定結界」「水野1988」の呪儀に類するものが行われたと考えられる。ここで注目されるのが南東隅 の灰釉長頸壺の底面に墨書された文字である。「石神」という墨書については、①土地の神様の名前、②

#### 3 古墓について

物部氏の関連からきたもの(氏神が「石上」)、と2通りの考え方が調査時に示されていた。石神には現代の信仰から類推すると、「石を神の依代〈よりしろ〉・磐座〈いわくら〉とする信仰と、石そのものに精霊が宿り、霊異を示すとする信仰の2系統に分類される」とし、また「機能的にとらえると、石神一しゃくじ一将軍塚一道祖神というように、境に関わる信仰を背景とする」とされている[日本民具学会1997]。新保遺跡の四隅に副葬された土器は結界としての意識が強いことから、同様に境を区切る神の意味で墨書されたと推定される。また墨書土器が配置された場所は四隅の南東端であり、本遺跡においてはその南側に集落が分布していたことを考慮すると、墓と集落を区切る意味で墨書がなされた可能性がきわめて高い。

### 古墓の構築順序

新保遺跡における古墓の構築順序を推定すると、次のようになる。

①墓壙を掘る→②埋葬前の儀礼を行い、土師器椀を数点投げ入れる→③墓壙の底面全体に薄く炭を敷く (木炭床) →④中央に木棺を安置する→⑤木槨の1段目を設置し、外側にある程度土を入れ、内側からも 土 (周堤) で抑える→⑥四隅に土器を配置し、南東隅の土器に「石神」を墨書する→⑦「四方点定結界」 の呪儀を執り行う→⑧木槨内に木炭を充填し、槨外には土を埋めていく。これを2段目、3段目と繰り返 す→⑨木槨の上面を天板で蓋をする→⑩最後に埋め戻しで余った土を上部にかけ、小マウンドを形成する。 木炭は実際に土圧により圧縮されているが、多量に必要であったことがわかる。木炭の樹種はコウゾ属、 カエデ属、イイギリと同定され、高熱の火力を必要としない燃料材であることが判明している。

## 被葬者像について

最後に被葬者像について考えてみたい。新保遺跡は国衙・郡衙の比定地とも離れ、郷庁の比定地である 木崎山遺跡からも3km程離れている。古墓が造営されたI期も規格性のある建物は認められるものの、 周辺に中央と直接繋がるような役人クラスがいたとは考えにくい。ただし黒埼氏は「このような埋葬方法 ができるのは、畿内で行われた葬式に参列し、直接見ることが出来た人。京の風習を知っていて、それを 実現できる人。被葬者はその人本人か、少なくとも近親・縁者の可能性が高い」と指摘している。性別に ついては、木棺の規模が成人男性としては小規模であること、副葬品に刀剣類・帯飾り類が無く水晶平玉 のみ、などの理由から女性もしくは高齢者と考えられる。畿内より遠隔地の古墓で、女性墓と考えられる 墓を取り扱ったものでは秋山氏の論考 [秋山1995] がある。岡山県で検出された桃山火葬墓を例に検討 しており、新保遺跡のように木棺墓ではないが、地域的に特異性をもった墓である、近畿地方の葬制と類 似性がある、玉が副葬されているという共通点がある。秋山氏は副葬品から女性墓比定の問題について論 じ、玉類に関して「古代墳墓において出土する玉類は、女性墓特有の積極的な指標とはなりえない。ただ、 玉類が出土することが女性墓に比定することの妨げにはならず、さらに、女性被葬者と推定可能な墓に玉 類が比較的多く出土する点は重要である」としている。また古代女性の葬地の規定原理を文献の面から探 り、「平安時代の夫婦は、出自の違いによって別々の墓地に葬られることがある」として、「ある女性が婚 姻で出生地から離れ移り住んだ土地で死んだ場合、出生時における父系の氏族墓地が、その土地から遠隔 地にあったなら、結果的には、彼女の埋葬地は永年の居住地から遠く離れてしまうことになる」と述べて いる。新保遺跡の被葬者もこのように都で姻戚関係を結び、最終的に柿崎の地に葬られた可能性が指摘で きる。

今後このような形態の古墓が、県内においても検出される可能性はある。しかし、今回国府の所在した 頸城郡内で、畿内との関連性が高い埋葬形態の墓が検出されたことは意義深い。現在の柿崎の地で検出さ れたことから、この遺構を通称「柿崎古墓」と呼称したい。

# 要約

- 1. 新保遺跡は高田平野の北東部、新潟県中頸城郡柿崎町上直海字新保に所在し、段丘部及びその東側 水田部に立地する。標高は4.9 (水田面)~7.8 (丘頂部) mで、現況は畑地と水田である。
- 2. 調査は国営ほ場整備事業(国営農地再編整備事業)に先立って、平成9・10年度の2ヶ年にわたって実施した。調査範囲は、遺跡範囲の中で、遺構・遺物が破壊される恐れがある所に限った。2ヶ年の合計調査面積は10,900㎡である。遺跡は東方向に大きく広がっている。
- 3. 調査の結果、縄文時代・弥生時代・古墳時代・平安時代・中世・近世の遺構ないし遺物を発見した。 その中でも主体は平安時代と、中世(室町時代)である。
- 4. 古墳時代以前の遺物は少ないが、古墳時代の石器で、玉作り関連資料が出土している。
- 5. 平安時代は、掘立柱建物群を中心とする集落遺跡で、建物の軸方向などから I 期 (9世紀中~後半頃)と II 期 (9世紀末~10世紀前半頃) に分けられる。 I・II 期ともに規格性のある建物配置が認められる。
- 6. Ⅲ期の中心となる13号建物 (SB13) は、全体の規模が桁行10間 (22.5m)×梁間4間 (10.7m)、 平面積が約241 ㎡と大型の建物で、開発領主の居宅と考えられる。
- 7. 調査区の北西側で、県内初例となる木炭槨木棺墓の古墓が検出された。四隅に副葬された土器は結界と考えられ、その年代から9世紀第3四半期に造営された墓と思われる。墓の被葬者は木棺の規模、副葬品の内容などから女性と考えられ、有力者の近親・縁者である可能性が高い。
- 8. Ⅱ期の大型建物脇の溝(98SD1000)から、土器が一括廃棄された場所が見つかった。土師器無台椀、内黒土器無台椀・皿などが数百個体出土している。
- 9. 平安時代の遺物は9世紀~10世紀前半頃のものが認められる。土師器・内黒土器が主体だが、須恵器・灰釉陶器が一定量、緑釉陶器が少量出土している。
- 10. 中世の遺構群は溝によって区画され、3~4ヶ所の遺構集中区が見られる。掘立柱建物の柱穴や素掘りの井戸が多数検出されている。
- 11. 中世の遺物は珠洲焼・中世土師器を主体に、青磁・白磁・瀬戸美濃焼などが少量存在する。遺物の 年代は13世紀後半~16世紀のものがあり、15世紀のものが最も多い。
- 12. 近世の遺構も掘立柱建物が中心で、素掘りの井戸が多数検出されている。井戸は遺物の出土状況から、廃絶後にゴミ捨場として利用されていたことが窺える。
- 13. 近世の遺物は肥前系陶磁器を中心に、瀬戸美濃系陶磁器・越中瀬戸焼などが出土している。年代は 16世紀末~18世紀前半のものがあり、17世紀の皿が最も多い。17世紀初頭の志野皿の底面に墨書 が認められており、当時の流通過程を示す資料と思われる。

# 引用・参考文献

秋山浩三 1995 「故郷に葬られたある平安女性」『大阪文化財研究』第9号 (財)大阪府埋蔵文化財協会

足利健亮 1975「6東国(9)交通」『日本歴史地理総説』藤岡謙二郎編 吉川弘文館

伊賀高弘 1992 「(2) 西山塚古墳とその周辺地区」『京都府遺跡調査概報』第51冊 (財)京都府埋蔵文化財調査 研究センター

石井則孝 1985 『陶硯』考古学ライブラリー42 ニュー・サイエンス社

石川智紀 1998 『柿崎町新保遺跡現地説明会資料』(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団

石川智紀 1998 「新保遺跡」『平成9年度 新潟県埋蔵文化財調査事業団年報』(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団

石川智紀 1999 「新保遺跡」『平成10年度 新潟県埋蔵文化財調査事業団年報』(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団

石川智紀 1999 「新保遺跡の調査概要―平成9・10年度調査の概要―」『新潟県考古学会第11回大会研究発表会要旨』新潟県考古学会

伊藤恒彦 1985 「VⅢ2 行塚遺跡出土の玉造り関連遺物について」『吉井遺跡群』柏崎市埋蔵文化財調査報告書第 4 柏崎市教育委員会

上田秀夫 1982 「14~16世紀の青磁碗の分類」『貿易陶磁研究』No.2 日本貿易陶磁研究会

上原真人 1994 「日常生活の道具」『季刊考古学』第47号 雄山閣出版

宇野隆夫 1992 「食器計量の意義と方法」『国立歴史民俗博物館研究報告』第40集 国立歴史民俗博物館

大潟町史編さん委員会 1988 『大潟町史』大潟町

大場厚順・花ケ前盛明 1976 「中頸城郡・西頸城郡の荘・保」『かみくひむし』23号 かみくひむしの会

荻野正博 1986 「第6章第2節二 荘園と国衙領」『新潟県史』通史編1原始・古代

荻野正博 1988 『新潟県史』通史編2中世

尾崎雄二郎ほか 1992 『大字源』角川書店

小野 昭·桑原陽一 1988 『丸山遺跡発掘報告書』大潟町教育委員会

春日真実 1997 「第 VII 章 1. 土器」『上郷遺跡 II』新潟県埋蔵文化財調査報告書第 87 集 新潟県教育委員会・ (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団

春日真実 1999 「第4章第2節 土器編年と地域性」『新潟県の考古学』新潟県考古学会編

木村英祐 1996 「第三章第三節 夷守郷・佐味郷の位置」『吉川町史』第一巻 吉川町

木村宗文 1984 「第2章3A 古代の頸城地方」『今池・下新町・子安遺跡』新潟県埋蔵文化財調査報告書第35集 新潟県教育委員会

木村宗文 1986 「第5章第5節二 駅馬と伝馬」『新潟県史』通史編1原始・古代

九州近世陶磁学会 2000 『九州陶磁の編年 一九州近世陶磁学会10周年記念一』

熊田亮介 1996 「第三章第二節 越後国と頸城郡の成立」『吉川町史』第一巻 吉川町

黒崎 直 1980 「近畿における8・9世紀の墳墓」 『研究論集』 IV 奈良国立文化財研究所

黒崎 直 1994「生活のなかの構造物」『季刊考古学』第47号 雄山閣出版

高 正龍·平方幸雄 1996 「安祥寺下寺跡 1」『平成 5 年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研 究所

小池義人 1984 「VⅢ3. 石鏃について」『長峰遺跡 Ⅱ』吉川町教育委員会

小林昌二・戸根与八郎 1995 『新潟県内出土の墨書土器 (稿一)』新潟墨書土器検討委員会

小林義孝 1997 「古代火葬墓の第一類型(上)」『大阪文化財研究』第13号 (財)大阪府埋蔵文化財協会

小林義孝 1998 「古代火葬墓の第一類型(下)」『大阪文化財研究』第14号 (財)大阪府埋蔵文化財協会

小林義孝ほか 2000 「副葬を通してみた社会の変化」『季刊考古学』第70号 雄山閣

小山正忠·竹原秀雄 1991 『新版 標準土色帖』日本色検事業株式会社

斎藤孝正 1994 「IV1 東海地方の施釉陶器生産 一猿投窯を中心に一」『古代の土器研究 一律令的土器様式の 西・東3 施釉陶器一』古代の土器研究会 坂井秀弥 1982 『栗原遺跡第4次·5次発掘調査概報』新潟県教育委員会·新井市教育委員会

坂井秀弥ほか1984 『今池・下新町・子安遺跡』新潟県埋蔵文化財調査報告書第35集 新潟県教育委員会

坂井秀弥 1996 「第四章第六節二 城館と町」『吉川町史』第一巻 吉川町

佐藤俊幸 1993 「第Ⅱ章第二節 潟町・柿崎」『新潟県歴史の道調査報告書第5集 北国街道Ⅱ』新潟県教育委員会

柴田光男ほか1969 『日本刀 小刀図鑑』光芸出版

品田高志 1999 「越後における中世後期の土師器皿 一京都系土師器第2波の流入と展開一」『中近世土器の基礎研究 XIV』日本中世土器研究会

杉本陽子·高橋理彦 1998 『浦沖遺跡』柿崎町埋蔵文化財発掘調査報告書第4集 柿崎町教育委員会

鈴木栄太郎 1996 「第五章第一節五(四) 近世用水施設と制度の成立」『吉川町史』第一巻 吉川町

瀬戸市史編纂委員会 1993 『瀬戸市史 陶磁史篇四』瀬戸市

高田平原団体研究グループ 1965 「高田平原北部の第四系 一高田平原の団体研究 V 一」『新潟大学教育学部高田 分校研究紀要』第9号 新潟大学教育学部高田分校

高橋理彦 1996 『上小森遺跡発掘調査報告書』柿崎町埋蔵文化財発掘調査報告書第1集 柿崎町教育委員会

高橋理彦 1997 『芋島遺跡発掘調査報告書』柿崎町埋蔵文化財発掘調査報告書第2集 柿崎町教育委員会

高橋理彦・杉本陽子 1998 『杉ノ木遺跡発掘調査報告書』柿崎町埋蔵文化財発掘調査報告書第3集 柿崎町教育委員会

高橋理彦 1998 『江島神社現地説明会資料』柿崎町教育委員会

高橋 勉 1994 「古代頸城郡の官衙関連遺跡」『新潟考古』第5号 新潟県考古学会

田中 靖 1995 『門新遺跡』和島村教育委員会

田中 靖 1998 『下ノ西遺跡』和島村教育委員会

田中 靖 1998 「和島村の官衙関連遺跡」 『今、注目される越後の古代 (シンポジウム資料)』 和島村

地村邦夫 1995 「大阪府における古代・中世の木棺墓について」『大阪府埋蔵文化財協会 研究紀要』3 (財)大阪府埋蔵文化財協会

辻本直男 1969 「刀子考」『日本刀 小刀図鑑』光芸出版

寺村光晴・室岡博ほか 1960 『鍋屋町遺跡』柿崎町教育委員会

戸根与八郎ほか 1981 『蜘ケ池遺跡』新潟県埋蔵文化財調査報告書第25集 新潟県教育委員会

名久井文明 1999 『樹皮の文化史』吉川弘文館

奈良国立文化財研究所 1985 『木器集成図録 近畿古代編』奈良国立文化財研究所

奈良国立文化財研究所 1993 『木器集成図録 近畿原始編』奈良国立文化財研究所

新潟県 1979『新潟県上越地域土地分類基本調査 柿崎』新潟県農地部農村総合整備課

新潟県考古学会編 1999 『新潟県の考古学』

日本民具学会 1997 『日本民具辞典』ぎょうせい

秦 繁治ほか1992 『古町B遺跡発掘報告書』吉川町教育委員会

秦 繁治ほか 1995 『樋詰遺跡発掘報告書』吉川町教育委員会

秦 繁治ほか 1996 『樋詰遺跡発掘報告書』吉川町教育委員会

原 明芳 1998 「信濃の古代墳墓」 『長野県考古学会誌』 86 長野県考古学会

東日本埋蔵文化財研究会 1995 『東日本における奈良・平安時代の墓制』(シンポジウム資料)

平尾政幸 1994 「Ⅲ3 緑釉陶器の変質と波及」『古代の土器研究 一律令的土器様式の西・東3 施釉陶器一』 古代の土器研究会

藤沢良祐 1993 「瀬戸大窯の時代」『瀬戸市陶磁史篇』四 瀬戸市

藤巻正信 1998 「陰陽石 一異形漁撈錘一」『新潟考古学談話会会報』第19号 新潟考古学談話会

府中家具 2000 「図解「指物の継手と仕口」」『府中家具 家具用語辞典』

(http://www.fuchu.or.jp/^kagu/siryo/kumite.htm)

北陸建設弘済会 1981 『新潟県平野部の地盤図集(柏崎・高田平野編)』

本間信昭 1996 「第二章第四節 古墳時代」『吉川町史』第一巻 吉川町

### 引用・参考文献

水澤幸一 1997 「中・近世の越後国」『中近世の北陸』北陸中世土器研究会編 桂書房

水野正好 1988 「日韓両国墳墓鎮祭呪儀の成立と展開」『高井悌三郎先生喜寿記念論集歴史学と考古学』

宮田進一 1997 「第4章第4節 越中瀬戸の変遷と分布」『中・近世の北陸』北陸中世土器研究会編 桂書房

三輪茂雄 1978 『臼』ものと人間の文化史25 法政大学出版局

室岡 博·関 雅之·本間信昭 1974 『長峰遺跡発掘報告』吉川町教育委員会

室岡 博·関 雅之·本間信昭 1984 『長峰遺跡Ⅱ』吉川町教育委員会

室岡 博 1972 『頚城地方の海と海底・海浜遺跡』上越市立総合博物館教養選書第一篇

室岡 博 1986 『戸々島遺跡』大潟町教育委員会

室岡 博 1989 『越後・頸城犀浜砂丘上の遺跡 大久保(柿崎町)善光寺浜(上越市)』[再刊] 米峯出版

室岡 博 1990 『木崎山館城遺跡第三次発掘報告』柿崎町教育委員会

森田 勉 1982「14~16世紀の白磁の型式分類と編年」『貿易陶磁研究』No.2 日本貿易陶磁研究会

山中敏史 1994 『古代地方官衙遺跡の研究』塙書房

山本幸俊 1991 「第I章第二節 歴史的変遷」『新潟県歴史の道調査報告書第2集 北国街道I』新潟県教育委員会

四柳嘉章 1996 「第V章 新潟県水久保遺跡出土漆器の塗膜分析」『水久保遺跡・宮平遺跡Ⅱ』新潟県埋蔵文化財調査報告書第79集 新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団

山本幸俊 1993 「第I章第二節 歴史的変遷」『新潟県歴史の道調査報告書第5集 北国街道II』新潟県教育委員会

吉岡康暢 1994 『中世須恵器の研究』吉川弘文棺

吉川町史編さん委員会 1996 『吉川町史』第一巻 吉川町

吉川町史編集委員会 1995 『吉川町資料集第5集 - 用水 その制度・技術・慣行-』吉川町教育委員会 吉川町教育委員会 1991 『樋田遺跡 第三次発掘調査概報』

# 第22表 遺構計測表

# 凡 例

- 1. 遺構個別図(図版 31-68)に掲載した遺構の計測表である。
- 2.「全体図」「個別図の」数字は、掲載している図版番号を示す。
- 3. 「調査区」は主なグリッドを示した。
- 4. 形態の分類は本文17頁に記した第7図に基づいた。規模の計 測部分も同様である。
- 5. 深度が 1m を超える遺構については、断面が最も狭くなる部分の数値を「断面狭幅」として示した。
- 6. 調査の安全上、底面まで未完掘の遺構は、深度に「\*」を付した。

測部分	分も同様で	である	0												
遺	構	全	個	調査	区区	時	形	態		規	;	模 (c	m)		底面
年 種	番号	体図	別図	大グリ	小グリ	期	平面	断 面	上	端	下	端	断面	深度	標高 (m)
					2.0	291	1. 77	6 77/15	長軸	短軸	長軸	短軸	狭幅		` ′
98 P	662	2	31	27F	3.8		方 形	台形状	84	66	56	38		54	4.20
98 SK		2	31	26G	3.8		不整形	弧状	255	193	160	92		52	5.58
98 SK		2	31	27H	1	بلر	長方形	U字状	96	70	58	46	_	78	6.02
98 SE		2	31	27H	12.13	室	楕円形	漏斗状	162	106	46	36	80	230	4.30
98 SE		3	31	27G,28G	5,1	平	円形	漏斗状	172	154	100	80	150	232	2.46
98 SK 98 SE		3	31	28F	21	室	円形	台形状	98	88	54	50	104	34	5.42
		3	31	27G	19.24	室	楕円形 不整形	漏斗状 半円状	232	174	114	100	194	232*	3.86
98 SK		3	32	28F	19.24	平			260	110	84	50		74	4.84
		3	32	28F,28G	24,4	平	円形	弧状	150	140	130	120		36	5.34
98 SK		3	32	28G		平	楕円形	弧状	100	92	92	72		22	5.56
98 SE 98 SE		3	32	27G,28G	25,21	室平	精円形 円 形	U字状 U字状	96 152	76	50 74	40 70	90	326 224	3.04
	390 672	4	32	29H	1.6	<u> </u>		U字状	78	150 76	48	44	120	88	3.70
				29E,29F	23,3	平	円 形 楕円形					12		22	
98 SK 98 SE		4	32	29F 29F	3·8 5·10	平平	円 形	<ul><li>弧 状</li><li>U字状</li></ul>	102	76 100	78 58	52	74	130	4.36 3.30
98 SE	665	4	33	29F,29G	25,5	平平	方形	台形状	80	70	66	50	- /4 	20	4.52
98 SK		4	33	29F,29G 29G	18	-4-	長方形	弧状	88	46	40	34		22	4.86
98 P	649	4	33	29G	19		格円形	台形状	68	66	56	44		34	4.72
98 SE		4	33	29G	25	近	楕円形	U字状	96	70	42	40	66	208	3.02
98 SE		4	33	29H	3.4	室	円形	U字状	88	84	56	52	76	134	3.68
98 SE		4	33	29H	13	土	楕円形	U字状	90	68	30	28	74	178	3.80
98 SE		4	33	29H	14	近	方 形	U字状	78	78	50	48	60	196	3.10
98 SE		4	33	29H	15	室	円形	U字状	114	112	66	62	90	120	3.88
98 P	707	4	33	30H	9.14	平	方 形	弧状	68	66	60	54		120	4.82
98 SE		4	34	30H	8	平	精円形	U字状	122	102	60	50	78	120	3.76
98 P	708	4	34	30H	8.9	<u> </u>	方 形	U字状	72	68	50	44	-	52	4.38
98 SK		5	34	26I	15	古	精円形	台形状	78	68	56	54		50	6.90
98 SK		5	34	27I	11		方 形	弧状	130	110	64	62		22	7.08
98 SE		5	34	26I	20.25	近	円形	U字状	240	212	192	144	140	258*	4.80
98 SE		5	34	26I	23	近	円形	U字状	110	110	72	64	90	290*	4.62
98 P	15	5	34	26J	3	1~	楕円形	U字状	77	68	46	40	_	76	6.88
98 SE		5	34	27J	2		長方形	U字状	88	70	62	56	64	194*	5.22
98 SE		6	35	29H	16.17		方 形	U字状	90	82	70	64	72	130	4.70
98 SK		6	35	28I	11		楕円形	弧状	160	115	128	84		26	6.22
98 SE		6	35	29I	2.7	室	円形	U字状	182	160	96	94	130	196	3.90
98 SE		6	35	28J	21		円形	漏斗状	220	210	102	110	124	230*	4.18
98 SE		6	35	27K,28K	5,1	平	楕円形	漏斗状	160	150	86	72	110	190*	4.60
97 SE		6	36	27J,28J	20,16	Ė	円形	漏斗状	222	216	154	130	164	194	4.64
98 SE		6	36	28J	13.18	室	不整形	U字状	223	210	160	90	189	234*	3.98
98 SE		6	36	28J	13	†	楕円形	U字状	162	58	54	172	78	234*	4.10
98 SE		6	36	28J	13.14		円形	U字状	106	101	56	48	86	200	4.28
98 SE		6	36	29J	21.22		円形	漏斗状	164	160	56	48	84	186	4.18
98 SE		7	36	29H	19	室	楕円形	漏斗状	180	154	34	28	80	250	3.20
98 P	705	7	37	30H	17.18		円形	U字状	78	70	34	34	_	72	4.36
98 SK		7	37	30H	23	室	長方形	台形状	88	78	60	54	_	56	4.52
98 P	163	7	37	29I	3.8		楕円形	U字状	84	76	50	42	70	110	4.82
98 SE		7	37	29I	12.13	近	不整形	漏斗状	146	142	56	40	50	244	3.40
98 SE		7	37	29I	9	室	方 形	漏斗状	186	166	64	56	110	230	3.52
98 SE		7	37	29I	5.10	室	円形	漏斗状	118	116	40	36	60	214	3.58
98 SE		7	37	29I	24.25	室	楕円形	漏斗状	204	170	56	54	86	214	3.74
				1											

遺	構	全	個	調査	E 区	時	形	態		規		模 (cı	n)		底面
年 種	番号	体	別	大グリ	小グリ		平面	断面	上	端	下	端	断面	深度	標高
十 准		図	図	7()	4.2 )	期		<i></i>	長軸	短軸	長軸	短軸	狭幅		(m)
98 SE	723	7	38	30I,30J	25,5	近	円形	U字状	92	88	54	40	64	170	3.26
98 SE	250	7	38	29J	9.10	近	楕円形	U字状	110	96	52	40	64	190	4.04
98 SE 98 P	$\frac{719}{741}$	7	38	29J 30J	15 15	平近	円形	U字状 U字状	84 68	84 62	50 46	48	64	122 98	4.58
98 SE	181	7	38	29J	20.25	室	精円形	U字状	100	90	68	40 70	86	176*	5.14
98 SE	725	7	38	30J,30K	21,1	室	不整形	漏斗状	140	130	64	62	156	242*	3.28
97 SE		7	38	29K	3.4	平	円形	U字状	196	186	112	106	150	224	3.62
98 SE	763	7	39	30J	18.23	室	楕円形	漏斗状	190	110	90	74	150	236	2.78
98 SE	729	7	39	30J	19.24	室	円形	U字状	104	90	64	56	96	124	3.90
97 SK	1234	8	39	25L	2		長方形	箱状	98	78	78	62	_	66	6.74
97 SK	1116	8	39	25M	4	平	長方形	半円状	96	80	80	62	_	50	6.70
97 SK		8	39	25M	8	平	円形	弧状	118	100	104	80	_	30	6.72
97 SK		8	39	24M	15	平	長方形	階段状	104	82	46	44		56	6.36
97 SE		9	39	27K	23.24	近	円形	U字状	196	184	126	106	112	256*	3.90
	2630	9	40	27L	17.22	近	楕円形	漏斗状	206	170	86	64	100	210*	4.48
97 SE 97 SE	2940 774	9	40	26L 27M	2.3	近近	楕円形 楕円形	漏斗状 U字状	261 190	230 166	78 64	54 60	200 96	184* 286*	5.32 3.58
	2026	10	40	28K	6.11	室	円形	漏斗状	184	154	92	86	120	216*	4.24
	1957	10	41	28K	18.23	室	円形	漏斗状	344	302	70	50	160	268*	3.42
	1958	10	41	28K	23		円形	U字状	120	90	84	80	90	130	4.74
97 SE	1964	10	41	28K	24		楕円形	U字状	108	102	78	66	44	242	3.56
97 SE	1989	10	41	28K	24.25	室	楕円形	U字状	144	130	70	50	100	160*	4.40
97 SE	1951	10	41	28K	20.25	室	不整形	漏斗状	220	200	140	100	100	258*	3.42
97 SE	1952	10	42	28K	25	室	方 形	U字状	106	80	90	60	84	198*	3.90
	2022	10	42	29K	17.22	室	楕円形	箱状	120	90	70	54	70	238	3.38
	1972	10	42	28L	2.7	近	楕円形	漏斗状	170	148	80	68	84	180*	4.26
97 SE		10	42	28L	4.5	室	長方形	漏斗状	142	126	60	58	110	192*	4.06
97 SE 97 SE	2020	10	42	28L 28L	10		円 形 楕円形	漏斗状 U字状	172 130	168 102	102 84	100	136	256* 152*	3.36
	2021	10	43	28L	12	室	方 形	U字状	170	166	104	80	118	250*	3.50
	2015	10	43	28L	18他	平	不整形	漏斗状	268	240	200	120	240	178*	4.32
	1970	10	43	28L	23.24	室	円形	U字状	112	110	90	88	96	182	4.00
	1805	10	43	28L	24.25	室	円形	袋状	120	110	92	90	96	122*	4.60
97 SE	2009	10	43	28L,28M	25,5	平	楕円形	袋 状	110	96	82	80	84	146*	4.34
97 SE	523	10	43	28M	2	室	不整形	U字状	130	102	90	60	92	130	4.62
97 SE	553	10	44	28M	1	室	楕円形	U字状	198	180	80	58	112	238*	3.54
97 SE	522	10	44	28M	7	室	方 形	U字状	114	112	60	54	112	176	4.22
97 SE	518	10	44	28M	17.18		方 形	U字状	88	84	68	62	72	112	4.78
97 SE	516	10	44	29M	2.7	室	円形	U字状	154	132	84	80	122	166*	4.00
97 SE 97 SE	517	10	44	29M	6	平室	円 形 楕円形	U字状 漏斗状	136	126	50	50	76	178	3.92
97 SE 97 SE	497 457	10	44 45	28M 29M	20 11·16	室	楕円形	加字状 U字状	200 106	192 96	70 70	38 66	70 76	258* 166	3.14
97 SE		11	45	29K	12.13	土	不整形	U字状	100	92	76	74	82	110*	5.02
97 SE		11	45	29K	13.14		長方形	U字状	164	108	100	82	166	254*	3.22
97 SE		11	45	29K	18	近	円形	漏斗状	238	200	72	60	120	250*	3.36
97 SK		11	45	29K	19		長方形	U字状	116	96	76	56	_	90	4.87
97 SE		11	46	29K	22.23		楕円形	階段状	204	188	102	84	108	212*	3.68
97 SE		11	46	29K	23	室	円形	U字状	98	96	88	82	86	202	3.68
97 SE		11	46	29K	23.24	室	方 形	U字状	110	106	64	56	74	136	4.36
97 SE		11	46	29L	3.8	平	不整形	袋状	224	170	206	104	126	148*	4.24
97 SE		11	46	29L	5	\_	不整形	U字状	160	100	74	70	56	140	4.23
97 SE		11	46	30K	11.16	近	楕円形	U字状	108	88	60	54	84	210	3.46
97 SE		11	46	29L	14	r 中	長方形	U字状	92	80	70	40	68	138	4.25
98 SE 98 SK	821	11 11	47	30L 30K	1 15.20	室	方 形	U字状	124 (160)	(160)	90 (136)	70	108	242 15	2.62 4.98
98 SE	806	11	47	30K	18	近	月 形 楕円形	台形状 U字状	142	132	80	64	114	232	2.76
98 SE		11	47	30L	14.19	平	長方形	漏斗状	136	98	60	52	114	140	3.60
20 25	1011	11	11	JOL	17 10		エルル	1/199 - 1/1	100	50	00	94	114	1-10	0.00

遺構	全	個	調査	E Z	時	形	態		規		模 (ci	m)		底面
年 種 番号	体	別図	大グリ	小グリ	期	平 面	断 面	上 長軸	端 短軸	下 長軸	端 短軸	断面 狭幅	深度	標高 (m)
98 SE 1370	) 11	47	30L	22	平	楕円形	U字状	108	70	58	50	80	118	3.86
98 P 113		47	29M	15	平	円形	U字状	60	58	40	32		48	4.58
98 SK 118		47	30M	13.14	室	長方形	弧状	324	230	288	210	_	48	4.52
98 P 135		48	31L	6.11	近	楕円形	U字状	80	76	50	46	_	70	4.36
98 SK 1350	_	48	31L	7.12	平	楕円形	弧状	110	100	68	60	_	40	4.60
98 SE 1419	_	48	31L	12.13	亚	楕円形	U字状	94	40	62	14	_	86*	4.04
98 SE 1420	) 12	48	31L	12.13	,	楕円形	箱状	136	120	124	76	_	76*	4.22
98 SK 884	1 13	48	33K	12.17	平	不整形	弧状	162	114	58	50	_	18	4.85
98 SK 95	3 13	48	33K	18.23	平	不整形	弧状	78	70	52	44	_	16	4.86
98 SE 958	3 13	48	33L	3	室	円形	U字状	82	80	56	52	66	126	3.76
98 SE 76	1 13	48	33L	7.12	平	円形	U字状	116	110	72	50	94	152	3.52
97 SK 142	7 14	48	24M	12.17		長方形	箱状	166	112	162	104	_	30	6.38
97 SE 2629	9 14	48	230	9.10		円形	U字状	166	160	104	100	120	166*	3.82
97 SK 104	-	49	240	6.11		円形	台形状	150	148	100	98	_	52	4.98
97 SK 262	_	49	24N	23.24		方 形	台形状	246	220	212	196	_	60	5.36
97 SE 270		49	250	3.4		楕円形	台形状	260	146	170	162	_	94*	4.50
97 SE 270		49	250	7.8		楕円形	弧状	284	260	180	170	230	148*	3.88
97 SE 270	_	49	250	8.13		円形	U字状	92	90	48	46	64	142	4.14
97 SE 270		50	250	7.12		円形	U字状	160	148	90	80	122	200	3.48
97 SE 270		50	250	13.14		円形	漏斗状	130	128	66	60	78	124	4.24
97 SE 270	_	50	250	20	室	円形	U字状	132	116	62	60	102	144	4.86
97 SK 276	_	50	25P	2.3		円形	弧状	222	200	200	182	_	16	5.40
97 SK 1100		50	27N	21	平	楕円形	弧状	312	222	306	220	_	36	5.66
97 SK 90		50	260	10	平	円形	台形状	110	106	74	70	- 110	54	5.20
97 SE 1360		51	260	11.16	室	円形	U字状	162	160	96	86	110	258*	2.98
97 SE 135		51	260	21	平	楕円形	U字状	90	82	56	56	70	186	3.58
97 SE 933 97 SK 1230		51	27O 27O,27P	16.21	室	円形	U字状 弧 状	86 134	78 132	54 58	54 50	72	166 46	3.66
97 SK 1230	_	51	270,279	21,1	室	<u>育</u> 形	U字状	154	126	66	64	130	194	4.86 3.34
97 SE 598	_	51	270	22	室	円形	U字状	100	90	52	50	66	148	3.78
97 SE 564	_	51	270	18.19	室	方形	U字状	110	110	76	70	92	170	3.68
97 SE 123		51	270	18.23	室	円形	U字状	116	110	96	94	84	186	3.44
97 SE 123	_	52	270	23	土	楕円形	U字状	122	110	64	60	88	214	3.12
97 SK 549		52	28N	3.4	平	円形	弧状	82	82	40	36	_	26	5.38
97 SE 540	_	52	28N	8.9	平	長方形	U字状	104	70	62	42	44	164	3.92
97 SE 450	_	52	28N	10	室	楕円形	U字状	120	90	82	70	80	144	4.04
97 SE 49	3 17	52	28N	7.12	室	楕円形	U字状	136	96	76	72	80	136	4.20
97 SE 200	_	52	29N	16.17	平	方 形	階段状	170	168	96	84	52	230	2.74
97 SE 773	_	52	28N	21	室	円形	U字状	162	158	122	120	_	86*	4.60
97 SE 100			270	4.9	近	楕円形	漏斗状	356	310	210	100	216	244*	2.96
97 SE 123	3 17	53	270	10.15	室	楕円形	U字状	180	118	80	44	126	284	2.42
97 SE 56	1 17	53	280	6	平	円形	U字状	96	80	60	58	74	132	4.06
97 SE 58	3 17	53	270	15.20	室	円形	U字状	118	110	68	62	88	158	3.80
97 SE 979	_	53	270	15.20		楕円形	U字状	110	104	102	98	76	124	4.14
97 SK 56	_	54	280	16	平	円形	箱状	96	94	72	70	_	64	4.66
97 SK 56	_	54	280	16.17	平	長方形	台形状	94	88	90	70	_	22	4.82
97 SE 980			27O,27P	24,4	平	楕円形	台形状	140	76	60	62	68	174	3.50
97 SK 98		_	27P	4		楕円形	台形状	100	82	62	48	_	74	4.50
97 SK 98	_		27P	4	平	楕円形	階段状	110	104	98	88	_	56	4.64
97 SE 280	_		280	18	平	円形	U字状	120	114	42	38	80	128	3.64
97 P 200	_	54	280	5		円形	箱状	70	66	58	50	_	46	4.52
97 SK 220	_	_	280	10		楕円形	U字状	134	116	58	48	_	88	4.10
97 SE 300	_	54	280	20		円形	U字状	70	56	58	50	54	114	3.78
97 SE 440	_		290	12.17	٠,	楕円形	U字状	108	86	60	56	74	184	3.12
97 SE 50		_	280,290	5,1	室	円形	漏斗状	330	318	130	104	124	220*	2.78
97 P 64		55	290	6	室	円形	半円状	80	76	42	34	170	42	4.53
97 SE 9	5   18	55	29N	7.8	室	不整形	台形状	190	140	56	54	170	156*	3.38

遺	構	全	個	調査	E Z	時	形	態		規		模 (ci	m)		底面
年 種	番号	体図	別図	大グリ	小グリ	期	平 面	断 面	上 長軸	端 短軸	下 長軸	端 短軸	断面 狭幅	深度	標高 (m)
97 SE	6	18	55	29N	8.9	室	長方形	U字状	102	70	58	48	62	106	3.94
	1126	18	55	30M,30N	21,1	土	長方形	U字状	78	62	64	56	30	126	3.78
98 P	1125	18	55	30N	1		方 形	U字状	74	70	64	46	- 50	88	4.20
97 SE	205	18	56	29N	10.15		不整形	U字状	104	100	62	48	90	140	3.60
97 SE	5	18	56	29N	19	平	長方形	U字状	128	96	64	56	112	156	3.40
97 SK	92	18	56	29N	20	平	楕円形	U字状	100	96	56	56		88	4.16
		18	56	30N	14.15	室	方 形	U字状	103	98	90	80	90	156	3.42
98 P	925	18	56	30N	23	室	楕円形	U字状	76	60	56	38		66	4.24
98 P	929	18	56	300	4		楕円形	U字状	66	56	48	46	44	104	3.80
97 SE	204	18	56	30N	16.21	平	円形	U字状	84	84	64	48	74	154	3.40
97 SK	45	18	56	290	8.9	平	円形	U字状	108	102	78	66	90	102	3.96
97 P	44	18	56	290	9	平	円形	箱状	56	56	58	52	_	20	4.80
97 SK	91	18	56	290	10.15	平	円形	U字状	106	104	82	82		92	4.02
97 SE	46	18	57	290	14	平	円形	U字状	88	80	56	52		96	3.96
97 P	389	18	57	290	13.14	平	方 形	半円状	74	74	64	60		36	4.54
97 SE	423	18	57	290	23	室	円形	U字状	94	94	62	58	84	110	3.82
97 SE	303	18	57	290	23	平	楕円形	U字状	82	64	38	28	46	104	3.94
97 SE	302	18	57	29P	2.3	室	円形	U字状	98	94	80	76	96	134	3.60
97 SX	47	18	57	290	25	室	不整形	弧状	230	202	110	50	_	24	4.66
97 SK	219	18	57	30P	7	平	楕円形	弧状	122	108	40	40	_	32	4.54
98 SK	1070	19	57	32N	13	平	長方形	箱状	164	92	124	78	_	24	4.70
98 SK	1041	20	57	32O	9	平	楕円形	弧状	96	76	66	38	_	24	4.66
98 SE	1089	20	58	33N	12.13	平	円形	U字状	116	112	56	50	84	126	3.70
98 SK	1165	20	58	33N	3	平	円形	弧状	96	84	58	28		18	4.86
98 SK	1139	20	58	34N	12.17		方 形	弧状	102	100	66	50	-	36	4.64
98 SE		20	58	330	5	平	円形	U字状	332	312	152	124	104	216	2.78
97 SE	730	21	59	24P	16.17	室	楕円形	台形状	250	200	164	158	200	190*	2.58
97 SE	976	21	59	22Q	5.10	室	円形	台形状	88	84	62	56	52	120	3.19
97 SK	969	21	59	23R	24		楕円形	U字状	110	90	56	52		64	5.64
	1402	21	59	24R	16.21	平	円形	U字状	88	80	44	38	_	76	4.54
	2730	22	59	25P	8.13	بتر	円形	漏斗状	150	110	70	64	122	148*	3.76
	2729	22	59	25P	15.20	室	精円形 不軟形	漏斗状	164	156	102	84 52	92	168*	3.42
1	2701 1467	22	59	25P 25P	19 21·22	平	不整形 円 形	U字状 U字状	166 82	124	62	56	90	116	3.94
97 SE 97 SK	717	22	60	25P 24Q		4	円 形 楕円形	漏斗状	118	80 104	64	56		84 82	4.66 3.68
97 SK	696	22	60	24Q 24Q	8 15	室	楕円形	U字状	116	104	80	74		94	3.76
97 SE		22	60	25Q	1.2	室	楕円形	漏斗状	150	120	72	66	110	168*	3.58
97 SE	623	22	60	25Q	7.8	室	楕円形	U字状	186	114	150	86	186	212*	2.52
97 SK	690	22	60	25Q	6		長方形	U字状	106	82	58	54	100	72	3.96
97 SE	624	22	60	25Q	18		円形	U字状	96	94	56	46	74	144	3.14
97 SE	625	22	61	25R	6	平	円形	U字状	94	86	48	44	70	134	3.26
97 SK	626	22	61	25R	7.12	平	円形	U字状	100	98	68	66		94	3.62
97 SE	109	23	61	26P	21	室	楕円形	階段状	204	164	144	138	186	202*	2.68
97 SE	110	23	61	25P,26P	25,21		不整形	U字状	150	90	100	72	142	178*	3.02
97 SE		23	61	25Q	10		楕円形	U字状	118	92	50	48	90	166*	3.14
97 SE	1484	23	61	25Q	10.15		楕円形	U字状	110	98	60	50	66	168	3.28
97 SE	122	23	61	26Q	16	室	円形	U字状	117	114	90	80	80	211	2.64
97 SE		23	62	25Q,26Q	25,21	室	楕円形	U字状	90	80	68	64	78	226	2.76
97 SE		23	62	26Q,26R	21,1	平	円形	U字状	98	94	44	40	70	136	3.24
97 P		23	62	26Q	22	室	円形	箱状	62	58	50	40	_	42	4.19
97 SE		23	62	26Q	23	室	円形	U字状	104	84	72	62	_	131	3.35
97 SK		23	62	26Q	15.20	平	楕円形	弧状	138	106	54	44		64	4.08
97 SE		23	62	27P	16.17		楕円形	漏斗状	116	88	44	42	74	132	3.50
97 SE	160	23	62	27P	17.18		楕円形	U字状	180	156	54	38	122	186	3.14
97 SK	142	23	62	27P	18		円形	U字状	91	80	66	54	-	74	4.06
97 SE		23	63	27Q	3	<i>₽</i>	方 形	U字状	94	86	60	50	62	120	3.58
97 SE	178	24	63	27P	14.19	室	円形	漏斗状	166	150	60	52	88	224	3.82

遺	構	全	個	調	5 区	時	形	態		規		模 (c	m)		底面
年 種	番号	体図	別図	大グリ	小グリ	期	平 面	断 面	上 長軸	端 短軸	下 長軸	端 短軸	断面 狭幅	深度	標高 (m)
97 SE	179	24	63	27P	15	室	円形	漏斗状	196	194	50	A4	76	182	2.94
97 SE	433	24	63	28P	7.12	土	精円形	U字状	166	84	84	70	78	206	2.76
97 SE	248	24	63	28P	11.12	室	楕円形	U字状	134	110	84	70	92	136	3.46
97 SE	936	24	63	28P	16	室	方 形	U字状	114	112	58	50	96	156	3.20
97 P	432	24	64	28P	7		方 形	U字状	76	72	52	44	_	72	4.24
97 SE	859	24	64	28P	21	平	長方形	漏斗状	140	110	58	50	62	166	3.12
97 SE	861	24	64	28P	22	近	楕円形	U字状	104	92	70	60	86	168	3.08
97 SE	422	24	64	28P	25	室	円形	U字状	106	102	66	62	76	200*	3.44
97 P	287	24	64	28P	4.9		方 形	U字状	76	66	60	44	_	84	4.06
97 SK	264	24	64	28P	10	室	長方形	U字状	100	96	72	70	_	92	3.94
97 SE	291	24	64	29P	1.6	室	楕円形	U字状	100	88	72	58	70	148	3.42
97 P	956	24	64	29P	11		方 形	台形状	74	74	52	44	_	60	4.10
97 SK	390	24	64	29P	14	室	方 形	弧状	104	102	92	88	_	32	4.38
98 SK	809	11	65	30K	25	近	方 形	台形状	(250)	240	(240)	225	_	14	5.02
98 SK	811	11	65	30K	19	近	長方形	箱状	(325)	(150)	286	128	_	25	4.54
98 SK	807	11	65	30K	23.24	近	方 形	台形状	(380)	(375)		(285)	_	30	4.80
98 P	852	11	65	31L	6	平	楕円形	半円状	84	70	35	25	_	30	4.95
98 SK	813	11	65	30L	5.10	近	長方形	台形状	(310)	240	(260)	200	_	35	4.80
98 SE	813	11	65	30L	5	室	楕円形	U字状	138	105	50	50	90	158	3.55
97 SX		23	66	26R	1.2.3	室	不整形	弧状	(660)		(220)	_	_	86	3.86
97 SX	48	24	66	29P,30P	20,16	平	長方形	弧状	(264)	(256)	(260)	(240)	_	21	4.38
97 SD	2	18	67	30P	3	室		弧状	_	184	_	_	_	36	
97 SD	2	18	67	300	11.16	室		弧状	_	192	_	_	_	36	
97 SD	2	18	67	29N	18.23	室		弧状	_	132		_	_	20	
97 SD	2	17	67	28N	14	室		半円状	_	112	_	_	_	46	
97 SD	2	16	67	27M	24	室		半円状	_	116	_			44	
97 SD 97 SD		8	67	25L 24L	25 25	室室		弧 状 弧 状	_	156 121				42 28	
97 SD		14	67 67	23M	16	室		弧状		116				20	
97 SD	2007	18	67	30N	16.22	近		弧状		478				56	
97 SD	100	23	67	26Q	4	室		階段状	_	156				32	
97 SD	100	16	67	26P	19	室		階段状	_	158			_	37	
97 SD	100	16	67	260	19	室		弧状	_	210	_	_	_	64	
	2932	9	67	26K	2-10	近		弧状	_	64	_	_	_	10	
98 SD	601	2	68	27G	2.7	室		弧状	_	128	_	_	_	23	
98 SD	520	3	68	27G	9	亚		階段状	_	60	_	_	_	20	
98 SD	279	2	68	27H	12	近		箱状	_	67	_	_	_	16	
98 SD	671	4	68	29G	5	平		箱状	_	124	_	_	_	23	
98 SD	22	5	68	26I	3.4.9	近		弧状	_	110	_	_	_	31	
98 SD	23	5	68	26I	7	近		箱状	_	52	_	_	_	24	
98 SD	1028	18	68	30M	24	平		弧状	_	133	_	_	_	14	
98 SD	1028	19	68	31N	6.11	平		弧状	_	246	_	_	_	25	
98 SD		18	68	30M	20	平		弧状		54		_		12	
98 SD		11	68	30M	4.9	平		弧状	_	54	_	_	_	12	
98 SD		12	68	31M	14	平		弧状	_	62	_	_	_	20	
98 SD	893	13	68	33K	22	平		弧状	_	74	_	_	_	150	
98 SD	899	13	68	33L	18.19	平		弧状	_	186	_	_	_	21	
98 SD		12	68	32M	7	平		弧状	_	175	_	_	_	30	
98 SD		12	68	32M	25	平		弧状	_	154	_	_	_	26	
98 SD		20	68	33N	6.7	平		弧状	_	158	_	_	_	34	
98 SD		20	68	32M	1.2	平		弧状	_	_	_	_	_	40	
98 SD		20	68	34N	1	平		弧状	_	32	_	_	_	3	
98 SD		20	68	34N	1	平		弧状	_	32	_	_	_	3	
98 SD		20	68	34N	1.6	平		弧状	_	31	_	_	_	8	
98 SD		20	68	33N	10	平		弧状	_	38	_	_	_	2	
98 SD		20	68	33N	10	平		弧状	_	28	_	_	_	5	
98 SD	1049	20	68	33N	10.15	平		弧状	_	34	_	_	_	6	

# 第23表 遺構覆土詳細観察表

# 凡例

- 1. 遺構個別図 (図版 31-64) 掲載の遺構覆土の詳細観察表である。
- 2. 遺構個別図には下表の色調と土質のみを記載した。
- 3. 色調は『新版 標準土色帖』[1991]に基づいた。 4. 「粘:」は粘性、「締:」は締りを表す。
- 5. (粒) は2cm以下、(小) は2~5cm大、(中) は5~10cm 大とした。

# 図版31

98P	662				
1.	にぶい黄褐 色土	10YR4/3	粘:弱	締:有	地山粒·青灰色粘土少量。炭化物(小)
98S	K272				
1.	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:弱	地山土(中)
1 2.	橙色土	2.5YR6/8	粘:有	締:弱	地山土(小)を斑状
3.	褐色土	7.5YR4/4			マンガン・地山土少量
	褐色土	7.5YR4/4			
	褐色土	7.5YR4/4			黒褐色土多量
	K283	, -	1111-2111		,, v.
1.	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:強	褐色土斑状
	褐色土	7.5YR4/6			
	褐色土	7.5YR4/6			黒褐色土・褐色土斑状に多量
	褐色土	7.5YR4/6			黒褐色土・褐色土斑状。マンガン粒少量
	明褐色土	7.5YR5/8	粘:弱	締:弱	
	E281				
	褐色土	7.5YR4/4			黄褐色粒少量。地山土斑状
	褐色土	7.5YR4/3			
1 .	褐色土	7.5YR4/3			地山粒少量
	褐色土	7.5YR4/4			地山粒多量
	褐色土	7.5YR4/3	粘:有		炭粒少量
	褐色土	7.5YR4/4	粘:有	締:弱	地山土斑状。炭粒少量
	E1224				
	褐色土	7.5YR4/4		締:強	
	灰白色土	2.5Y8/2			地山土主体。3層斑状
	褐色土	7.5YR4/3			
	褐色土	7.5YR4/3			炭粒少量
5.	青灰色粘質 土	10BG6/1	粘:強	締:弱	地山粘質土・炭粒少量
6.	橙色粘質土	7.5YR6/8	粘:有	締:有	地山崩落土
98S	K488				
1.	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:弱	地山土(中)少量
2.	褐色土	7.5YR4/4	粘:無	締:弱	地山土・マンガン粒少量
3.	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:弱	地山土・炭粒斑状。1層より
					やや赤い
	E333				
	暗褐色土	,			地山粒少量
	褐色土	7.5YR4/3			明褐色土(中)斑状。炭粒少量
1 .	褐色土	7.5YR4/6			
4.	暗褐色土	7.5 YR3/4	粘:有	締:有	
5.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:有	締:有	明褐色粒少量
6.	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:有	
7.	褐色土	7.5 YR4/4	粘:有	締:有	地山粒少量
1 .	暗褐色土	7.5 YR3/4			地山粒少量
9.	褐色土	7.5YR4/4	粘:有	締:有	
	褐色土	7.5YR4/6	粘:有		
11.	暗褐色土	7.5YR3/3	粘:有	締:有	橙+褐色土(中)少量。炭粒極 少量
12.	褐色土	7.5YR4/6	粘:有	締:有	
	褐色土	7.5YR4/3		締:有	明褐色土(小)少量
		, 5			= - \ . /

## 図版32(1)

000	77010				
	K612				
1.	暗褐色土	10YR3/4	粘:無	締:強	炭化物(小)
2.	褐色土	7.5YR4/6	粘:無	締:強	
3.	明褐色粘質	7.5YR5/6	粘:弱	締:強	2層土斑状
	土				
4.	2層+3層		粘:弱	締:強	地山粒(小)少量
5.	にぶい黄褐	10YR4/3	粘:弱	締:有	地山(中)が北側に集中
	色土				
6.	橙色粘質土	5YR6/8			地山主体。5層土斑状
98S	K611				
1.	暗褐色土	10YR3/4	粘:無	締:有	4層土(大)・炭粒少量
2.	明褐色粘質	7.5YR5/6	粘:弱	締:強	地山粒少量
	土				
3.	褐色粘質土	7.5YR4/6	粘:弱	締:強	
4.	橙色粘質土	7.5YR6/6	粘:弱	締:強	1層斑状。地山(小)少量
98S	K569				
1.	褐色土	7.5YR4/3	粘:無	締:強	地山粒少量
98S	E1226				
1.	暗褐色土	7.5YR3/3	粘:無	締:強	やや緻密。地山粒少量
2.	暗褐色土	7.5YR3/3	粘:無	締:強	褐色粒斑状

# 図版32(2)

凶加	32 (2)				
3.	暗褐色土	7.5YR3/3	粘:無	締:有	耕土 or 包含層の崩落?
4.	暗褐色土	7.5YR3/3	粘:弱	締:有	地山土が2層より多量。小ブ
					ロックが集合した感じ
5.	暗褐色土	7.5YR3/3	粘:弱	締:有	4層より地山土少量
6.	橙色土	5YR6/6	粘:有	締:弱	地山土主体。粗い堆積
7.	灰褐色土	7.5YR4/2	粘:有	締:弱	5層に類似
8.	にぶい褐色	7.5YR5/4	粘:有	締:弱	地山土主体。7層が充填
	土				
9.	にぶい褐色 土	7.5YR5/4	粘:有	締:弱	8層より地山土多量
10.	にぶい黄褐	10YR4/3	粘:強	締:弱	橙色地山粘土少量
	色粘質土				
11.	にぶい黄褐	10YR4/3	粘:強	締:弱	青灰色地山粘土(大)斑状。地
0.00	色粘質土				山土(中)多量。有機物
	E390				
1		7.5YR4/4			
2.	褐色土	7.5YR4/4	粘:強	締:強	明赤褐色粒極少量。地山土斑 状
3.	褐色土	7.5YR4/3	粘:有	締:弱	地山土斑状に少量
4.	灰褐色土	7.5YR5/2	粘:強	締:弱	灰黄色土(中)少量
5.	褐色土	7.5YR4/4	粘:有	締:弱	明赤褐色粒・炭粒少量
98P	672				
1.	黄灰色粘質 土	2.5Y4/1	粘:有	締:有	炭粒少量。鉄分のしみ
2.	褐灰色粘質 土	10YR4/1	粘:有	締:有	暗緑灰色粘質土(大)多量。炭 粒少量。鉄分のしみ
3.	黒褐色粘土	7.5YR3/2	粘:強	締:弱	暗緑灰色粘質土(大)。炭粒。 鉄分のしみ
98S	K673				
1.	黒褐色粘質 土	10YR3/2	粘:有	締:有	黄褐+明緑灰色粘質土。炭化 物(小)
98S	E674				
1.	褐灰色粘質	10YR4/1	粘:有	締:有	地山土(小)・炭粒少量
	土:				
2.	黒褐色粘質 土	10YR3/1	粘:強	締:有	炭粒少量

### 図版33(1)

98SK648	凶服	33 (1)				
98SK648	98P	665				
1. 灰黄褐色土 シルト質土			10YR4/2	粘:弱	締:有	明褐色土多量。赤褐色土・マ ンガン粒斑状に少量
98P649	98S	K648				
1. 暗褐色粘質	1.		10YR5/2	粘:弱	締:強	地山土(中)多量。炭粒少量
世	98P	649				
1. 暗褐色土 7.5YR3/4 粘:弱 締:有 黄褐色土(中)。炭粒少量 2. 褐灰色粘土 10YR4/1 粘:強 締:弱 有機物 98SE693 1. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 地山土(中)。炭粒 色粘質土 2. 灰黄褐色粘質 7.5YR3/4 粘:弱 締:強 炭粒少量 4. にぶい黄褐 10YR4/2 粘:弱 締:強 地山土(中)・炭粒 6. 黒褐色粘質 7.5YR3/4 粘:弱 締:領 地山土(中)・炭粒 6. 黒褐色粘質 7.5YR3/4 粘:弱 締:領 地山土(中)・斑状。炭粒少量 6. 黒褐色粘土 7.5YR3/2 粘:領 締:弱 炭化物。有機物(薬等)が層状 推積 98SE694 1. 褐色土 7.5YR4/3 粘:有 締:有 地山土少量 8. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 締:有 にぶい褐色 1. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量 6. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量 6. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 締:有 にぶい褐色 1. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 1. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 1. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 6. にぶい褐色 1. にぶい黄褐 6. 松 1. 日色土(小)少量 6. 松 1. 日色粘質土 6. 大 1. 日色土(小)少量 6. 松 1. 日色粘質土 6. 大 1. 日本 1.	1.		7.5YR3/4	粘:弱	締:強	
2. 褐灰色粘土 10YR4/1 粘:強 締:弱 地山粘質土多量。炭粒少量 98SE693 1. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 炭粒少量 質土 2. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:弱 締:強 炭粒少量 質土 4. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:弱 締:強 地山土(中)斑状。炭粒少量 色粘質土 5. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:弱 締:有 炭粒少量 色粘質土 5. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:有 締:有 地山粒少量 色粘質土 7.5YR3/2 粘:海 締:病 炭化物。有機物(薬等)が層状 堆積 2. 褐色土 7.5YR4/3 粘:有 締:有 地山土少量 3. にぶい褐色 土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 地山土少量 4. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量 4. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量 5. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状。 5. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状。 6. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状。 6. にぶい褐色 4. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状。 6. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状。 6. にぶい褐色 1. 医乳蛋白色 1. 医乳蛋白色 1. 医乳蛋白素 1. E. 医乳蛋白素 1. 医乳蛋白素 1. E.	98S	E650				
3. 暗灰色粘土 N3/ 粘:強 締:弱 有機物 98SE693 1. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 地山土(中)。炭粒 色粘質土 2. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:弱 締:強 炭粒少量 質土 3. 暗褐色粘質 7.5YR3/4 粘:弱 締:強 地山土(中)斑状。炭粒少量 色粘質土 4. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:弱 締:有 炭粒少量 色粘質土 5. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:有 締:有 地山粒少量 質土 6. 黒褐色粘土 7.5YR3/2 粘:強 締:弱 炭化物。有機物(薬等)が層状 堆積 98SE694 1. 褐色土 7.5YR4/3 粘:有 締:有 総:在 にぶい褐色 土 7.5YR5/4 粘:有 締:有 地山土少量 4. にぶい褐色 土 7.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量 4. にぶい褐色 フ.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量 生	1.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:弱	締:有	黄褐色土(中)。炭粒少量
98SE693 1. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 地山土(中)。炭粒 色粘質土 2. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:弱 締:強 炭粒少量 質土 3. 暗褐色粘質 7.5YR3/4 粘:弱 締:強 地山土(中)斑状。炭粒少量 土 4. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:弱 締:有 炭粒少量 色粘質土 7.5YR3/2 粘:病 締:有 炭化物。有機物(薬等)が層状 堆積  98SE694 1. 褐色土 7.5YR4/3 粘:有 締:有 地山セツ量 2. 褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 地山土少量 4. にぶい褐色 土 7.5YR5/4 粘:有 締:有 にぶい赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量 4. にぶい褐色 土 7.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量 5. にぶい褐色 土 7.5YR5/3 粘:弱 締:弱 にぶい赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量 98SE695 1. 褐色粘質土 7.5YR4/6 粘:弱 締:強 マンガン粒多量。黒色炭ブロック(中)斑状 医白色粘質土 4. 灰黄褐色粘 10YR4/3 粘:有 締:有 橙色粘質土。炭粒少量 6粘質土 4. 灰黄褐色粘 10YR4/3 粘:有 締:有 橙色粘質土。炭粒少量 98SE696 1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:強 締:弱 炭粒・有機物多量 土 98SE696 1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:強 締:弱 炭粒・有機物多量	2.	褐灰色粘土	10YR4/1	粘:強	締:弱	地山粘質土多量。炭粒少量
1. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 地山上(中)。炭粒 色粘質土 2. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:弱 締:強 炭粒少量	3.	暗灰色粘土	N3/	粘:強	締:弱	有機物
色粘質士 2. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:弱 締:強 炭粒少量 質土 3. 暗褐色粘質 7.5YR3/4 粘:弱 締:強 地山土(中)斑状。炭粒少量 土 4. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:弱 締:有 炭粒少量 色粘質土 5. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:有 締:有 地山粒少量 質土 6. 黒褐色粘土 7.5YR3/2 粘:強 締:弱 炭化物。有機物(薬等)が層状 推積 98SE694 1. 褐色土 7.5YR4/3 粘:有 締:有 地山土少量 3. にぶい褐色 7.5YR4/4 粘:有 締:有 にぶい赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量 4. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状。 丘 上 5. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状。 灰白色土(小)少量 2. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:弱 締:強 マンガン粒多量。黒色炭ブロック(中)斑状 医白色粘質土 10YR4/3 粘:有 締:有 橙色粘質土 アンバン粒多量。黒色炭ブロック(中)斑状 医白粘質土 10YR4/3 粘:有 締:有 橙色粘質土。炭粒少量 色粘質土 10YR4/3 粘:有 締:有 炭化物(中)多量 色粘質土 上 98SE696 1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:強 締:弱 炭粒・有機物多量	98S	E693	,			
質土 3. 暗褐色粘質 7.5YR3/4 粘:弱 締:強 地山土(中)斑状。炭粒少量 土 4. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:弱 締:有 炭粒少量 色粘質土 5. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:有 締:海 地山粒少量 質土 6. 黒褐色粘土 7.5YR3/2 粘:強 締:弱 炭化物。有機物(薬等)が層状 堆積 98SE694 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 地山土少量 2. 褐色土 7.5YR5/4 粘:有 締:有 にぶい褐色 土 4. にぶい褐色 土 7.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量 暗赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量 1. 褐色粘質土 7.5YR5/3 粘:弱 締:弱 にぶい赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量 28SE695 1. 褐色粘質土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 だい 英褐 10YR4/3 粘:有 締:有 橙色粘質土 2. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:有 炭化物(中)多量 色粘質土 4. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:強 締:弱 炭粒・有機物多量 土 98SE696 1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:強 締:弱 炭粒・有機物多量 1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:強 締:弱 総:強 褐色土・地山土(中)・炭化物	1.		10YR5/4	粘:弱	締:強	地山土(中)。炭粒
士 4. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:弱 締:有 炭粒少量 色粘質士 5. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:有 締:有 地山粒少量 質土 6. 黒褐色粘土 7.5YR3/2 粘:強 締:弱 炭化物。有機物(薬等)が層状 堆積 98SE694 1. 褐色土 7.5YR4/3 粘:有 締:有 地山土少量 7.5YR4/4 粘:有 締:有 にぶい褐色 土 7.5YR5/4 粘:有 締:有 にぶい赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量 4. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状 土 5. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:弱 締:弱 にぶい赤褐色土(中)斑状 反白色土(小)少量 98SE695 1. 褐色粘質土 7.5YR4/6 粘:弱 締:強 マンガン粒多量。黒色炭ブロック(中)斑状 色粘質土 10YR4/3 粘:有 締:有 橙色粘質土。炭粒少量 色粘質土 4. 灰黄褐色粘 10YR4/3 粘:有 締:有 炭化物(中)多量 色粘質土 4. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:強 締:弱 炭粒・有機物多量 土 98SE696 1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:弱 締:強 褐色土・地山土(中)・炭化物	2.		10YR4/2	粘:弱	締:強	炭粒少量
色粘質士       5. 灰黄褐色粘       10YR4/2       粘:有       締:有       地山粒少量         質土       6. 黒褐色粘土       7.5YR3/2       粘:強       締:弱       炭化物。有機物(薬等)が層状堆積         98SE694       1. 褐色土       7.5YR4/4       粘:有       総:有       地山土少量         1. 褐色土       7.5YR5/4       粘:有       総:有       にぶい赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量         4. にぶい褐色土       7.5YR5/4       粘:有       総:有       にぶい赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量         5. にぶい褐色土       7.5YR5/3       粘:弱       総:弱       にぶい赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量         98SE695       1. 褐色粘質土       7.5YR4/6       粘:弱       総:強       マンガン粒多量。黒色炭ブロック(中)斑状         2. にぶい黄褐 白粘質土       10YR4/3       粘:有       総:有       炭化物(中)多量         3. にぶい黄褐 白粘質土       10YR4/2       粘:強       総:弱       炭粒・有機物多量         4. 灰黄褐色粘質       7.5YR4/2       粘:弱       総:弱       炭粒・有機物多量         98SE696       1. 灰褐色粘質       7.5YR4/2       粘:弱       総:強       褐色土・地山土(中)・炭化物	3.		7.5YR3/4	粘:弱	締:強	地山土(中)斑状。炭粒少量
98SE694 1. 褐色土 7.5YR3/2 粘:強 締:弱 炭化物。有機物(薬等)が層状 推積  98SE694 1. 褐色土 7.5YR4/3 粘:有 締:強 地山土少量 2. 褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 にぶいぶ褐色 土 7.5YR5/4 粘:有 締:有 にぶいぶ褐色 土 白色土(小)少量 4. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状 上 5. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:弱 締:弱 にぶい赤褐色土(中)斑状 上 5. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:弱 締:弱 にぶい赤褐色土(中)斑状 上 5. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:弱 締:強 マンガン粒多量。黒色炭ブロック(中)斑状 反白生(小)少量  98SE695 1. 褐色粘質土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 橙色粘質土。炭粒少量 色粘質土 4. 灰黄褐色粘 10YR4/3 粘:有 締:有 炭化物(中)多量 色粘質土 4. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:強 締:弱 炭粒・有機物多量 土 98SE696 1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:弱 締:強 褐色土・地山土(中)・炭化物	4.		10YR4/3	粘:弱	締:有	炭粒少量
#積 98SE694  1. 褐色土 7.5YR4/3 粘:有 締:強 地山上少量 2. 褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 にぶい褐色 土 7.5YR5/4 粘:有 締:有 にぶい赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量 もた でぶい褐色 土 7.5YR5/3 粘:弱 締:弱 にぶい赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量 ちんこがいっから たいまる たいまる たいまる おいまる から はいから から か	5.		10YR4/2	粘:有	締:有	地山粒少量
1. 褐色土 7.5YR4/3 粘:有 締:強 地山上少量 7.5YR4/4 粘:有 締:有 総:有 にぶい褐色 土 7.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量 1. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:弱 締:弱 にぶい赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量 1. 褐色粘質土 7.5YR4/6 粘:弱 締:強 マンガン粒多量。黒色炭ブロック(中)斑状 2. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:有 締:有 橙色粘質土 3. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:有 校化物(中)多量 色粘質土 4. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:強 締:弱 炭粒・有機物多量 土 1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:強 締:弱 炭粒・有機物多量 1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:弱 締:強 褐色土・地山土(中)・炭化物	6.	黒褐色粘土	7.5YR3/2	粘:強	締:弱	炭化物。有機物(藁等)が層状 堆積
2. 褐色土     7.5YR4/4 粘:有 締:有       3. にぶい褐色 土     7.5YR5/4 粘:有 締:有 総:有 にぶい赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量       4. にぶい褐色 土     7.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状 土       5. にぶい褐色 土     7.5YR5/3 粘:弱 締:弱 にぶい赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量       98SE695     1. 褐色粘質土 7.5YR4/6 粘:弱 締:強 マンガン粒多量。黒色炭ブロック(中)斑状 橙色粘質土 よにぶい黄褐 10YR5/4 粘:有 締:有 橙色粘質土 にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 総:有 炭化物(中)多量 色粘質土 人 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:強 締:弱 炭粒・有機物多量 土       98SE696     1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:弱 締:強 褐色土・地山土(中)・炭化物       1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:弱 締:強 褐色土・地山土(中)・炭化物	98S	E694				
2. 褐色土       7.5YR4/4       粘:有       締:有       にぶい赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量         3. にぶい褐色土       7.5YR5/4       粘:有       締:有       にぶい赤褐色土(中)斑状・丘色土(小)少量         4. にぶい褐色土       7.5YR5/3       粘:有       締:病       にぶい赤褐色土(中)斑状・丘色土(小)少量         5. にぶい褐色土       7.5YR5/3       粘:弱       締:弱       にぶい赤褐色土(中)斑状・灰白色土(小)少量         98SE695       1. 褐色粘質土       7.5YR4/6       粘:弱       総:強       マンガン粒多量。黒色炭ブロック(中)斑状・色粘質土。にぶい黄褐 10YR5/4       粘:右       総:有       橙色粘質土。炭粒少量色粘質土。炭粒少量色粘質土         3. にぶい黄褐 10YR4/3 白土・火黄褐色粘質土       10YR4/2       粘:強       締:弱       炭粒・有機物多量生         98SE696       1. 灰褐色粘質       7.5YR4/2       粘:弱       総:強       褐色土・地山土(中)・炭化物	1.	褐色土	7.5YR4/3	粘:有	締:強	地山土少量
3. にぶい褐色 1.5YR5/4 粘:有 締:有 にぶい赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量	2.	褐色土		粘:有	締:有	
4. にぶい褐色 7.5YR5/4 粘:有 締:有 暗赤褐色土(中)斑状 土 5. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:弱 締:弱 にぶい赤褐色土(中)斑状。灰白色土(小)少量 98SE695 1. 褐色粘質土 7.5YR4/6 粘:弱 締:強 マンガン粒多量。黒色炭ブロック(中)斑状 色粘質土 3. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:有 締:有 橙色粘質土。炭粒少量 色粘質土 4. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:強 締:弱 炭粒・有機物多量 土 98SE696 1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:弱 締:強 褐色土・地山土(中)・炭化物		にぶい褐色	,			にぶい赤褐色土(中)斑状。灰 白色土(小)少量
土     白色土(小)少量       98SE695     1. 褐色粘質土 7.5YR4/6 粘:弱 締:強 マンガン粒多量。黒色炭ブロック(中)斑状       2. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:有 締:有 橙色粘質土。炭粒少量色粘質土 3. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:有 炭化物(中)多量色粘質土 4. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:強 締:弱 炭粒・有機物多量土 98SE696     1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:弱 締:強 褐色土・地山土(中)・炭化物	4.		7.5YR5/4	粘:有	締:有	
1. 褐色粘質土 7.5YR4/6 粘:弱 締:強 マンガン粒多量。黒色炭ブロック(中)斑状 2. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:有 締:有 橙色粘質土。炭粒少量 色粘質土 3. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:有 炭化物(中)多量 色粘質土 4. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:強 締:弱 炭粒・有機物多量 土 98SE696 1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:弱 締:強 褐色土・地山土(中)・炭化物	5.		7.5YR5/3	粘:弱	締:弱	にぶい赤褐色土(中)斑状。灰 白色土(小)少量
1. 褐色粘質土 7.5YR4/6 粘:弱 締:強 マンガン粒多量。黒色炭ブロック(中)斑状 2. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:有 締:有 橙色粘質土。炭粒少量 色粘質土 3. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:有 炭化物(中)多量 色粘質土 4. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:強 締:弱 炭粒・有機物多量 土 98SE696 1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:弱 締:強 褐色土・地山土(中)・炭化物	98S	E695				X // -
2. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:有 締:有 橙色粘質土。炭粒少量色粘質土。       3. にぷい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:有 炭化物(中)多量色粘質土       4. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:強 締:弱 炭粒・有機物多量土       98SE696       1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:弱 締:強 褐色土・地山土(中)・炭化物			7.5YR4/6	粘:弱	締:強	マンガン粒多量。黒色炭ブロック(中)斑状
3. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:有 炭化物(中)多量 色粘質土 4. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:強 締:弱 炭粒・有機物多量 土 98SE696 1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:弱 締:強 褐色土・地山土(中)・炭化物	2.		10YR5/4	粘:有	締:有	
4. 灰黄褐色粘 10YR4/2 粘:強 締:弱 炭粒・有機物多量 土 98SE696 1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:弱 締:強 褐色土・地山土(中)・炭化物	3.	にぶい黄褐	10YR4/3	粘:有	締:有	炭化物(中)多量
98SE696 1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:弱 締:強 褐色土・地山土(中)・炭化物	4.	灰黄褐色粘	10YR4/2	粘:強	締:弱	炭粒・有機物多量
1. 灰褐色粘質 7.5YR4/2 粘:弱 締:強 褐色土・地山土(中)・炭化物	000					
土 (小)少量			7.5YR4/2	粘:弱	締:強	褐色土・地山土(中)・炭化物 (小)少量

# 図版33(2)

2.		7.5YR5/3	粘:弱	締:有	地山粘質土が層状(幅 5cm)
3.	粘質土 淡黄色粘質 土	2.5Y8/3	粘:有	締:有	マンガン多量
98P'	707 暗褐色土	7.5YR3/4	粘:有	締:強	褐色土・極暗褐色土斑状

# 図版34

表現色土	_					
表現色土	98SI	Ξ709				
2. 褐色土 7.5YR4/4 粘:強 締:有 無褐色土多量。明褐色土・褐色粒少量で斑状。上部にプロック含む 4. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:強 締:弱 期褐色土多量。赤褐色粒・ ジガン粒少量 1. (大多い黄褐色土 7.5YR4/6 粘:強 締:弱 期褐色土多量。赤褐色粒・ ジガン粒少量 6. 黒褐色粘質 7.5YR3/2 粘:強 締:弱 赤褐色粒・ ジガン粒少量 2. (大多い黄褐色土 10YR3/1 粘:強 締:弱 明赤褐色粒・ ジュガン粒・ 炭 少量で斑状 7. 黒褐色粘質 10YR3/1 粘:強 締:弱 明赤褐色粒・ 土 10YR3/1 粘:強 締:弱 明赤褐色粒・土(小)少量 1. (にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:弱 明赤褐色土・明赤褐色土斑状 4. (にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:弱 明赤褐色土を量。地山粒少量 2. (大多な大の黄褐色土 7.5YR4/6 粘:索 締:菊 明赤褐色土多量 1. (本多量 1. (本多) 1. (本多) 1. (本多量 1. (本多) 1. (本多) 1. (本多量 1. (本多) 1. (本多量 1. (本多) 1. (本多) 1. (本多) 1. (本多量 1. (本多) 1. (本多量 1. (本多) 1. (本多量 1. (本多) 1. (本多量 1. (本多) 1. (本多量 1. (本多)	1.	黒褐色土	7.5YR3/1	粘:強	締:有	明褐色土・マンガン粒斑状。 赤褐色土少量
3. 黒褐色土 7.5YR3/1 粘:強 締:弱 褐色土・炭粒斑 状。マンガン粒少量 1 (4) 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:強 締:弱 期褐色土多量。赤褐色粒・ ンガン粒少量 6 . 黒褐色粘質 7.5YR3/2 粘:強 締:弱 赤褐色粒・ マンガン粒・炭少量 た 土 7.5YR3/2 粘:強 締:弱 赤褐色粒・炭少量で斑状 7 . 黒褐色粘質 10YR3/1 粘:強 締:弱 地山土・炭粒少量 土 98P708 1 にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:弱 明赤褐色粒・土(小)少量 6 . 黒褐色土 10YR4/2 粘:有 締:弱 明赤褐色粒・土(小)少量 6 . 黒褐色土 10YR3/1 粘:強 締:弱 明赤褐色土・明赤褐色土・斑状 4 にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:有 明赤褐色土・明赤褐色土・斑状 4 にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:有 明赤褐色土・野赤褐色土・野状 4 にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:有 明赤褐色土・サホ褐色土斑状 4 にぶい黄褐 10YR4/3 粘:無 締:強 明褐色土・シ量 98SK64 1 褐色土 7.5YR4/4 粘:無 締:強 地山粒・炭粒少量 地山粒・炭粒少量 4 にぶい黄褐 10YR5/4 粘:無 締:強 地山粒少量 4 にぶい黄褐 10YR5/4 粘:無 締:強 地山粒少量 6 にぶい黄褐 10YR5/4 粘:無 締:強 明褐色土(中)斑状・炭粒少色 6 にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 明褐色土(中)少量 6 にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 明褐色土(中)少量 8 は 明褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 明褐色土(中)少量 8 は 明褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 地山土を層状に多量 1 い 暗褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:積 地山土と層状に多量 1 い 暗褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:積 地山土と層状に多量 1 い 暗褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:積 地山土と層状に多量 1 い 暗褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:積 地山土と 1 大 5 大 5 大 5 大 5 大 5 大 5 大 5 大 5 大 5 大	2.	褐色土	7.5YR4/4	粘:強	締:有	黒褐色土多量。明褐色土・赤 褐色粒少量で斑状。上部に炭
4. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:強 締:弱 明褐色土多量。赤褐色粒・ンガン粒少量 褐色土・にぶい褐色土斑状 赤褐色粒の 土 で、	3.	黒褐色土	7.5YR3/1	粘:強	締:弱	褐色土・明褐色土・炭粒斑
振褐色土・マンガン粒・炭 少量	4.	灰褐色土	7.5YR4/2	粘:強	締:弱	明褐色土多量。赤褐色粒・マ
土         少量で斑状           7. 黒褐色粘質 上         10YR3/1 粘:強 締:弱 地山土・炭粒少量           98P708         1. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:有 馬褐色土・地山粒少量           1. にぶい黄褐 10YR4/2 粘:有 締:弱 明赤褐色粒・土(小)少量 3. 黒褐色土 10YR3/1 粘:強 締:弱 暗褐色土・明赤褐色土斑状 4. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:有 明赤褐色土多量           98SK38         1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:弱 炭粒斑状に少量           98SK64         1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:無 締:強 明褐色土粒・炭粒少量           1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:無 締:強 地山粒・炭粒少量           2. 褐色土 7.5YR4/4 粘:無 締:強 地山粒・炭粒少量           4. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:無 締:強 地山粒少量 地山粒・炭粒少量           4. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:無 締:強 明褐色土(中)斑状・炭粒少量           6. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 地山地少量 位と(中)少量           6. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:衛 明褐色土(大)少量 表 明褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:衛 炭化物少量           8a. 明褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 地山土を層状に多量 10、暗褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:衛 地山土と層状に多量 11、褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:衛 地山土・大変粒少量 炭粒少量 にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:衛 地山土・大変粒少量 別数・有 地山土・大変粒少量 別数・有 医粘質土 10、下褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:衛 地山土・中)・炭粒少量 別数・有 医粘質土 10、下褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 地山土・中)・炭粒少量 28SE17           1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 地山土・中)・炭粒少量。地	5.	褐色土	7.5YR4/6	粘:強	締:有	褐色土・にぶい褐色土斑状。 赤褐色土・マンガン粒・炭粒 少量
土 98P708 1. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:有 黒褐色土多量。地山粒少量 色土 2. 灰黄褐色土 10YR4/2 粘:有 締:弱 明赤褐色粒・土(小)少量 3. 黒褐色土 10YR4/3 粘:強 締:弱 明赤褐色粒・土(小)少量 6. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:弱 明赤褐色土・明赤褐色土斑状 4. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:有 明赤褐色土多量 98SK38 1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:据 締:海 98SE200 1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:無 締:強 明褐色土粒・炭粒少量 88SE200 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:無 締:強 地山粒・炭粒少量 4. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:無 締:強 明褐色土(中)斑状・炭粒少量 6. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 6層土(中)少量 6. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 6層土(中)少量 6. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 明褐色土(大)少量 8a. 明褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 度シルト 7. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 地山粒少量 炭化物少量 8b. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 明褐色土(大)少量 8a. 明褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 地山土を層状に多量 10. 暗褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 地山土を層状に多量 11. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 地山土を層状に多量 11. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 地山土を層状に多量 11. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 地山土を層状に多量 12. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:有 地山土を層状に多量 12. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:有 地山土を層状に多量 12. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:有 地山土(中)・炭粒少量 28SE17 1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 地山土(中)・炭粒少量。地 98SE17 1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 地山土(中)・炭粒少量。地	6.		7.5YR3/2	粘:強	締:弱	赤褐色粒多量。褐色粒・炭粒 少量で斑状
1. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:有 黒褐色土多量。地山粒少量 2. 灰黄褐色土 10YR4/2 粘:有 締:弱 明赤褐色粒・土(小)少量 3. 黒褐色土 10YR4/3 粘:有 締:弱 暗褐色土・明赤褐色土斑状 4. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:弱 明赤褐色土シ星 98SK38 1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:弱 炭粒斑状に少量 98SE200 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:無 締:強 明褐色土粒・炭粒少量 地山粒・炭粒少量 4. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:無 締:強 地山粒少量 地山粒少量 地山粒少量 10YR5/4 粘:据 締:強 明褐色土(中)斑状・炭粒少量 6. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 時間色土(中)少量 6. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 6層土(中)少量 6. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 6層土(中)少量 8a. 明褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 度ンルト 7. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 6層土(中)少量 8a. 明褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 炭粒少量 10YR5/4 粘:弱 締:強 炭化物少量 10YR5/4 粘:弱 締:カ 地山土を層状に多量 10、暗褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 地山土を層状に多量 10、暗褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 地山土と層状に多量 11、褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 地山土と層状に多量 11、褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 地山土と層状に多量 11、褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 地山土と層状に多量 12、にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:有 地山土と門・炭粒少量 28SE17 1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 地山土と門大・炭粒少量。地 11、褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 地山土と門・炭粒少量 28SE17 1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 地山土と門・炭粒少量。地 58SE17 1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 地山土・中・炭粒少量。地	7.		10YR3/1	粘:強	締:弱	地山土・炭粒少量
1. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:有 黒褐色土多量。地山粒少量 2. 灰黄褐色土 10YR4/2 粘:有 締:弱 明赤褐色粒・土(小)少量 3. 黒褐色土 10YR4/3 粘:有 締:弱 暗褐色土・明赤褐色土斑状 4. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:有 明赤褐色土多量 98SK38 1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:菊 炭粒斑状に少量 98SE200 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:無 締:強 明褐色土粒・炭粒少量 地山粒・炭粒少量 4. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:無 締:強 地山粒少量 地山粒少量 地山粒・炭粒少量 色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 地山粒少量 明褐色土(中)斑状・炭粒少色 色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 間褐色土(中)少量 6. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 6層土(中)少量 6. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 6 層土(中)少量 8a. 明褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 6 層土(中)少量 8b. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 炭粒少量 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 地山土を層状に多量 10 暗褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:強 地山土と層状に多量 10 暗褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 地山土を層状に多量 11. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 地山土と層状に多量 11. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 地山土と層状に多量 12. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:有 地山土(中)・炭粒少量 28SE17 1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 地山土・中)・炭粒少量。地 18SE17 1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 地山土・中)・炭粒少量。地	98P	708				
3. 黒褐色土 10YR3/1 粘:強 締:弱 暗褐色土・明赤褐色土斑状 色土 10YR4/3 粘:有 師:		にぶい黄褐	10YR4/3	粘:有	締:有	黒褐色土多量。地山粒少量
3. 黒褐色土 10YR3/1 粘:強 締:弱 暗褐色土・明赤褐色土斑状 色土 10YR4/3 粘:有 師:	2.	灰黄褐色土	10YR4/2	粘:有	締:弱	明赤褐色粒・土(小)少量
4. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:有 締:有 明赤褐色土多量 色土 98SK38 1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:弱 炭粒斑状に少量 98SK64 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:無 締:強 明褐色土粒・炭粒少量 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:無 締:強 明褐色土粒・炭粒少量 地山粒・炭粒少量 地山粒・炭粒少量 地山粒・炭粒少量 地山粒・炭粒少量 10YR5/4 粘:無 締:強 明褐色土(中)斑状・炭粒少量 た。 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 明褐色土(中)斑状・炭粒少色 色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 明褐色土(中)少量 6. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 6層土(中)少量 8a. 明褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 炭化物少量 8a. 明褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:強 炭化物少量 8b. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:強 地山土を層状に多量 10. 暗褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 地山土を層状に多量 10. 暗褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 地山土を層状に多量 11. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 地山土と層状に多量 12. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:有 地山土と層状に多量 12. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:有 灰粒少量 反射・ 12. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:有 灰粒少量 反射・ 12. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:有 地山土と層状に多量 12. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:有 地山土(中)・炭粒少量 28SE17 1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 地山土(中)・炭粒少量。地			,			
98SK38 1	4.		,		締:有	
1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:弱 炭粒斑状に少量   98SK64	0851					
98SK64			7.5YR4/6	粘:弱	締:弱	炭粒斑状に少量
1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:無 締:有   98SE200   1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:無 締:強 明褐色土粒・炭粒少量 2. 褐色土 7.5YR4/4 粘:無 締:強 地山粒・炭粒少量 4. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:無 締:強 地山粒少量 明褐色土(中)斑状・炭粒少色土 5. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 6層土(中)少量 6. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 6層土(中)少量 8a. 明褐色土 7.5YR4/3 粘:弱 締:カ				.111.00		//
98SE200 1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:無 締:強 明褐色土粒・炭粒少量 2. 褐色土 7.5YR4/4 粘:無 締:強 地山粒・炭粒少量 3. 褐色土 7.5YR4/4 粘:無 締:強 地山粒少量 4. にぶい黄褐 0YR5/4 粘:無 締:強 明褐色土(中)斑状・炭粒少 色土 5. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 6層土(中)少量 6. にぶい黄褐 0YR5/4 粘:弱 締:強 6層土(中)少量 8. 明褐色土 7.5YR4/3 粘:弱 締:有 明褐色土(大)少量 総由明褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 以後代物少量 8b. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 地山土を層状に多量 10、暗褐色土 10YR3/4 粘:弱 締:有 地山土と層状に多量 11、褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 地山土と層状に多量 11、褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 地山土と層状に多量 11、褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 地山土と層状に多量 12、にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:有 灰粒少量 28SE17 1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 地山土・ 次数少量 28SE17			7.5YR4/4	粘:無	締:有	
1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:無 締:強 明褐色土粒・炭粒少量     2. 褐色土 7.5YR4/4 粘:無 締:強 地山粒・炭粒少量     3. 褐色土 7.5YR4/4 粘:無 締:強 地山粒少量     4. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:無 締:強 明褐色土(中)斑状・炭粒少色土     5. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 6層土(中)少量     6. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 6層土(中)少量     8a. 明褐色土 7.5YR4/3 粘:弱 締:預 明褐色土(大)少量 8a. 明褐色土 7.5YR5/6 粘:弱 締:預 炭化物少量     8b. 褐色土 7.5YR5/6 粘:弱 締:預 地山土を層状に多量 10、暗褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:預 地山土と層状に多量 11. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:預 地山土と層状に多量 11. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:預 地山土と層状に多量 12. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:預 灰黄褐+橙色粘質土斑状 98SE17     1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 地山土・中)・炭粒少量。地 98SE17				.14.111	246 x 14	
2. 褐色土       7.5YR4/4       粘:無       締:強       地山粒・炭粒少量         3. 褐色土       7.5YR4/4       粘:無       締:強       地山粒少量         4. にぶい黄褐       10YR5/4       粘:無       締:強       明褐色土(中)斑状・炭粒少色土         5. 褐色土       7.5YR4/4       粘:弱       締:強       6層土(中)少量         6. にぶい黄褐 色シルト       7.5YR4/3       粘:弱       締:強       反化物少量         8a. 明褐色土       7.5YR4/6       粘:弱       総:強       炭化物少量         8b. 褐色土       7.5YR4/6       粘:弱       総:強       地山土を層状に多量         10. 暗褐色土       7.5YR4/6       粘:弱       総:強       地山土と層状に多量         11. 褐色土       7.5YR4/4       粘:弱       総:強       地山土(中)・炭粒少量         12. にぶい黄褐 白       10YR5/4       粘:弱       締:有       灰黄松+橙色粘質土斑状         98SE17       1. 灰褐色土       7.5YR4/2       粘:弱       総:有       地山土(中)・炭粒少量。地         1. 灰褐色土       7.5YR4/2       粘:弱       総:有       地山土(中)・炭粒少量。			7.5YR4/6	粘:無	締:強	明褐色土粒・炭粒少量
3. 褐色土 7.5YR4/4 粘:無 締:強 地山粒少量 4. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:無 締:強 明褐色土(中)斑状・炭粒少色土 5. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 6層土(中)少量 6. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 6層土(中)少量 8a. 明褐色土 7.5YR4/3 粘:弱 締:カ 炭化物少量 8b. 褐色土 7.5YR5/6 粘:弱 締:カ 炭化物少量 8b. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:カ 地山土を層状に多量 10. 暗褐色土 10YR3/4 粘:弱 締:カ 地山土を層状に多量 11. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:カ 地山土と層状に多量 11. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:カ 地山土と門・炭粒少量 12. にぶい黄褐 白籽質土 7.5YR4/4 粘:弱 締:カ 炭粒少量 85E17 1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:カ 炭粒少量 85E17 1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:カ 炭粒少量 85E17 1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:カ 炭粒少量。地	1		,			
4. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:無 締:強 明褐色土(中)斑状・炭粒少色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 6層土(中)少量 6. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 6層土(中)少量 82・明褐色土 7.5YR4/3 粘:弱 締:強 炭化物少量 83・明褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:カ 炭化物少量 85・褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:カ 地山土を層状に多量 10. 暗褐色土 10YR3/4 粘:弱 締:カ 地山土を層状に多量 11. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:カ 地山土で中)・炭粒少量 11. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:カ 炭粒少量 12. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:カ 炭粒少量 12. にぶい黄褐 6.8哲質土 12. にぶい黄褐 6.8哲質土 12. にぶい黄褐 6.8哲質土 13. 灰黄褐ー松色粘質土斑状 158SE17 1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:カ 地山土(中)・炭粒少量。地 158SE17 1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:カ 地山土(中)・炭粒少量。地			,			
色土 5. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 6層土(中)少量 6. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:弱 締:強 6層土(中)少量 7. 褐色土 7.5YR4/3 粘:弱 締:カ 明褐色土(大)少量 8a. 明褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:カ 炭化物少量 8b. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 地山土を層状に多量 10. 暗褐色土 10YR3/4 粘:弱 締:カ 地山土(中)・炭粒少量 11. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:カ 炭粒少量 11. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:カ 灰黄褐+橙色粘質土斑状 98SE17 1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 地山土(中)・炭粒少量。地			,			明褐色土(中)斑状·炭粒少量
6. にぶい黄褐 色シルト 7. 褐色土 7.5YR4/3 粘:弱 締:強			, -			( ) /
(センルト 7.5YR4/3 粘:弱 締:有 明褐色土(大)少量 8a. 明褐色土 7.5YR5/6 粘:弱 締:強 炭化物少量 8b. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 地山土を層状に多量 10. 暗褐色土 10YR3/4 粘:弱 締:有 地山土を層状に多量 11. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 地山土(中)・炭粒少量 12. にぶい黄褐 色粘質土 10YR5/4 粘:有 締:弱 灰黄褐+橙色粘質土斑状 98SE17 1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 地山土(中)・炭粒少量。地 15 にぶい黄褐 15 にぶい黄褐 15 にが 15 にが 15 にが 15 にが 15 におい 15 に	5.	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:強	6層土(中)少量
8a. 明褐色土 7.5YR5/6 粘:弱 締:強 炭化物少量 8b. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 9. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:預 地山土を層状に多量 10. 暗褐色土 10YR3/4 粘:弱 締:預 地山土(中)・炭粒少量 11. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 炭粒少量 12. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:有 締:弱 灰黄褐+橙色粘質土斑状 色粘質土 98SE17 1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 地山土(中)・炭粒少量。地	6.		10YR5/4	粘:弱	締:強	
8a. 明褐色土 7.5YR5/6 粘:弱 締:強 炭化物少量 8b. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 9. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:強 地山土を層状に多量 10. 暗褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 地山土(中)・炭粒少量 11. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 炭粒少量 12. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:有 締:弱 灰黄褐+橙色粘質土斑状 色粘質土 98SE17 1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 地山土(中)・炭粒少量。地	7.	褐色土	7.5YR4/3	粘:弱	締:有	明褐色土(大)少量
8b. 褐色土     7.5YR4/4     粘:弱     締:有     地山土を層状に多量       9. 褐色土     7.5YR4/6     粘:弱     締:有     地山土(中)・炭粒少量       10. 暗褐色土     10YR3/4     粘:弱     締:強     地山土(中)・炭粒少量       11. 褐色土     7.5YR4/4     粘:弱     締:弱     灰黄地少量       12. にぶい黄褐 色粘質土     佐粘質土     振:有     締:弱     灰黄褐+橙色粘質土斑状       98SE17     1. 灰褐色土     7.5YR4/2     粘:弱     締:有     地山土(中)・炭粒少量。地	8a.	明褐色土	7.5YR5/6	粘:弱	締:強	
10. 暗褐色土   10YR3/4   粘:弱   締:強   地山土(中)・炭粒少量   11. 褐色土   7.5YR4/4   粘:弱   締:有   炭粒少量   12. にぶい黄褐   色粘質土   根:弱   検:弱   灰黄褐 +橙色粘質土斑状色粘質土   98SE17   1. 灰褐色土   7.5YR4/2   粘:弱   締:有   地山土(中)・炭粒少量。地	8b.	褐色土		粘:弱	締:有	
10. 暗褐色土   10YR3/4   粘:弱   締:強   地山土(中)・炭粒少量   11. 褐色土   7.5YR4/4   粘:弱   締:有   炭粒少量   12. にぶい黄褐   色粘質土   短粘質土   98SE17   1. 灰褐色土   7.5YR4/2   粘:弱   締:有   地山土(中)・炭粒少量。地	9.	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:有	地山土を層状に多量
11. 褐色土	10.	暗褐色土	,	粘:弱	締:強	
12. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:有 締:弱 灰黄褐+橙色粘質土斑状   色粘質土     98SE17     1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 地山土(中)・炭粒少量。地			7.5YR4/4	粘:弱	締:有	炭粒少量
98SE17 1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 地山土(中)・炭粒少量。地	12.				締:弱	灰黄褐+橙色粘質土斑状
1. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 地山土(中)·炭粒少量。地	9881					
			7.5YR4/2	粘:弱	締:有	地山土(中)・炭粒少量。地山 粒少量
2. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:有 褐色土(中)多量。3 層ブロー ク少量	2.	灰褐色土	7.5YR4/2	粘:弱	締:有	褐色土(中)多量。3層ブロッ
	3.		2.5Y8/2	粘:弱	締:強	黄橙色シルト質粘土・褐色土
98P15	98P	15				
1. 褐色土 7.5YR4/3 粘:弱 締:強 炭粒少量			7.5YR4/3	粘:弱	締:強	炭粒少量
98SE67						
1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 褐色土マンガン粒多量	1.	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:有	褐色土マンガン粒多量

# 図版35(1)

98S	E403				
1.	褐色土	7.5YR4/4	粘:無	締:弱	褐色土・炭粒・地山土斑状
2.	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:弱	褐色土1層より多量
3.	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:弱	褐色土・炭粒・地山土斑状に 多量
4.	褐色土	7.5YR4/4	粘:有	締:弱	
5.	褐色土	7.5YR4/4	粘:強	締:弱	マンガン粒
98S	K128				
1.	褐色土	10YR4/6	粘:有	締:強	黒褐色土斑状に少量
2.	にぶい黄褐	10YR5/3	粘:有	締:強	
	色土				
3.	にぶい黄褐	10YR5/3	粘:有	締:強	にぶい黄橙色土斑状
	色土				
98S	E162				
1.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:弱	締:弱	暗赤褐色土斑状
2.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:弱	締:弱	橙色土斑状
3.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:弱	締:有	褐色土・炭粒斑状に少量
4.	黒褐色土	7.5YR3/2	粘:強	締:無	橙色土斑状
5.	褐色土	7.5YR4/4	粘:強	締:無	橙色土・赤色土斑状に少量

# 図版35(2)

988	E277				
1.	褐色粘質土	7.5YR4/4	粘:有	締:弱	地山土斑状
2.	明褐色土	7.5YR5/6	粘:有	締:弱	地山土斑状
3.	褐色土	7.5YR4/4	粘:有	締:有	地山土斑状
4.	褐色土	7.5YR4/4	粘:強	締:有	炭粒・マンガン粒
5.	明褐色土	7.5YR5/8	粘:有	締:有	マンガン粒。赤褐色土少量
6.	褐色粘質土	7.5YR4/4	粘:有	締:弱	地山粒多量
7.	褐色粘質土	7.5YR4/4	粘:強	締:無	地山土多量。マンガン粒少量
8.	褐色土	7.5YR4/4	粘:強	締:無	地山粒多量
9.	明褐灰色粘	7.5YR7/1	粘:強	締:弱	地山粒多量
	質土				
98S	E604				
1.	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:有	地山粒斑状。炭が層状
2.	褐色土	7.5YR4/4	粘:有	締:弱	地山土・にぶい橙色土斑状
3.	褐色土	7.5YR4/4	粘:有	締:弱	橙色土少量。マンガン粒少量
4.	橙色土	7.5YR6/8	粘:有	締:弱	地山土斑状。腐植臭有り

図版	36				
97S	E1405				
1.	明褐色土	7.5YR5/6	粘:弱	締:有	褐色土(小)。炭粒
1	灰白色粘質		粘:弱	締:有	黄橙色粘質土と1層のラミナ 状。炭粒少量
3.	一 灰褐色シル ト土	7.5YR4/2	粘:有	締:弱	灰褐色粒・炭粒少量
	褐灰色粘土	7.5YR4/1	粘:強	締:弱	炭粒少量。壁面崩落
	E393				
1.	褐色土	10YR4/4	粘:無	締:強	明黄褐色(大)多量。地山土 (小)·炭粒少量
2.	褐色土	7.5YR4/4	粘:無	締:強	明褐色土(小)斑状。炭が層状
	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:強	明褐色土(中)斑状。炭化物(中)
4.	褐色土	7.5YR4/4	粘:無	締:強	地山粒多量。炭粒少量
	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:強	炭化物多量。焼土少量
1 .	炭層	7.011(1) 0	粘:弱	締:弱	灰白色粘質土·長10cm以上
	~	E EVD 4 / 0			の炭・焼土混じる
	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:有	明黄褐色土(小)·灰白色粘質 土斑状
98S	E394				
1.	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:強	明褐色粘質土斑状。炭化物 (中)少量
98S	E395				
1.	褐色土	7.5YR4/3	粘:無	締:強	2層土・炭粒少量
	灰白色粘質	7.5YR8/2	粘:弱	締:有	地山主体土。1 · 3層土斑状
3.	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:強	4層土少量
1 .	褐色土	7.5YR4/6		締:強	明褐色粒斑状
1	褐色土	10YR4/4	粘:弱	締:有	淡黄色土多量。炭粒少量
1 .	にぶい黄褐色土	10YR4/3	粘:弱	締:有	淡黄色土・炭粒少量。下部に 地山土(中)少量
7	思褐色粘質	7.5YR3/2	粘:有	締:有	型田工(中)グ里 下部に灰黄褐色粘質土
''	土	7.0110/2	414 · 13	Web - 12	THEOLOGICAL
98S	E180				
1.	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:強	橙色地山土斑状
2.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:有	締:有	橙色地山土斑状
3.	褐色土	7.5YR4/6	粘:有	締:無	褐色土・炭粒少量
4.	褐色土	7.5YR4/4	粘:強	締:無	明褐色土斑状。下部に黄橙色 土多量
988	E392				
	褐色土	7.5YR4/4	粘:無	締:有	炭粒・褐色土斑状。
1	褐色土	7.5YR4/4	粘:無	締:強	中央部に橙色土(大)
1	褐色土	7.5YR4/4	粘:有	締:有	灰褐色土·褐色土斑状。炭粒 多量
4	褐色土	7.5YR4/4	粘:有	締:有	ラ星 黄橙色土(中)斑状
	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:有	明褐色土(中)多量。黄橙色土
6.	にぶい黄褐 色土	10YR4/3	粘:強	締:無	(小)斑状。炭粒少量。 橙色粒少量
7.	褐色土	7.5YR4/4	粘:強	締:無	暗褐色土少量。炭粒多量
	褐色土	7.5YR4/4	粘:強	締:無	地山土多量

# 図版 37 (1)

凶깼	37 (1)				
98P	705				
1.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:強	締:有	黄橙色土斑状
2.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:強	締:有	黄橙色土・炭粒少量
3.	橙色粘質土	7.5YR6/8	粘:有	締:無	地山主体土。黄橙色粘質土斑 状
4.	黒褐色土	7.5YR2/2	粘:弱	締:弱	
5.	明黄褐色粘 質土	10YR6/6	粘:有	締:無	極青赤褐色粒斑状
98S	K791				
1.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:有	締:強	褐色土・明黄褐色土少量
2.	浅黄色土	2.5Y7/3	粘:有	締:強	明赤褐色粒斑状
3.	明褐色土	7.5YR5/6	粘:有	締:強	暗赤褐色粒斑状

# 図版37(2)

照状	図版:	37 (2)				
5. 灰黄色土 2.5Y7/2 粘:有 締:有 橙色土粒斑状   98P163   1. 暗褐色土 7.5YR3/3 粘:弱 編:弱 明褐色土・橙色地山土少量 3. 暗褐色土 7.5YR3/3 粘:有 締:弱 明褐色土は2層より多量。地山土少量 2. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 橙色土・炭粒斑状 3. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 明褐色土・炭粒斑状 4. 暗褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 明褐色土・炭粒斑状 5. 暗褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 明褐色土・炭粒斑状 5. 暗褐色土 7.5YR3/3 粘:有 締:弱 明褐色土・炭粒斑状 6. 灰褐色シル 7.5YR6/2 粘:強 締:獨 標色也山土少量 8. 褐色土 7.5YR3/1 粘:有 締:弱 婦色地山土少量 10. 黒褐色土 7.5YR3/2 粘:強 締:弱 編色土・橙色土少量 10. 黒褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 編色土・橙色土少量 11. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 編:弱 相對色土・炭粒少量 12. 褐色土 7.5YR4/4 粘:強 締:弱 編:過 上・炭粒少量 12. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 にぶい褐色土・炭粒少量 14. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 にぶい橙色土少量 14. 褐色土 7.5YR4/4 粘:強 締:弱 にぶい橙色土少量 15. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:強 締:弱 炭粒・黄橙色土・にぶい橙色 15. 灰褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:獨 炭粒・黄橙色土・にぶい橙色 15. 灰褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:獨 炭粒・黄橙色土・炭化物多量。地山土(大)多量 88SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:獨 炭粒斑状 凝色土斑状。炭粒少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:獨 地山土・暗褐色土斑状に少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 地山土・暗褐色土斑状に少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 地山土・暗褐色土斑状に少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 地山土・暗褐色土斑状に少量。地山粒 9星 地山粒多量	4.	にぶい褐色	7.5YR5/4	粘:有	締:有	黒褐色土粒少量
98P163		土				
1. 暗褐色土 7.5YR3/4 粘:弱 締:弱 褐色土少量 98SE257 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 校担少量 明褐色土は2層より多量。地山土少量 98SE257 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 校担少量 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 校担少量 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 統:有 校担少量 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 統:有 校担少量 1. 松色土 1.0YR3/3 粘:有 統:弱 明褐色土・炭粒斑状 5. 暗褐色土 1.0YR3/3 粘:有 統:弱 炭粒少量。明褐色土斑状核 6. 灰褐色シル 7.5YR6/2 粘:強 統:無 校色地山土少量 1. 松色土 7.5YR3/1 粘:有 統:弱 炭粒少量。明褐色土斑状 炭粒少量。 1. 松色土 7.5YR3/1 粘:治 統:弱 临褐色土・橙色土少量。炭粒斑状 4. 紫色土 7.5YR4/4 粘:弱 統:弱 临褐色土・橙色土少量。炭粒斑状 4. 紫色土 7.5YR4/4 粘:弱 統:弱 临褐色土・橙色土少量。炭粒斑状 4. 紫色土 7.5YR4/4 粘:弱 統:弱 期褐色土・橙色土少量。炭粒 近状 5. 灰褐色土 7.5YR4/3 粘:強 統:弱 期褐色土・炭粒少量 1. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 統:弱 炭粒・黄橙色土・にぶい橙色土少量 1. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 統:弱 炭粒・黄橙色土・にぶい橙色土少量 1. 褐色土 7.5YR4/2 粘:強 統:弱 炭粒・黄橙色土・にぶい橙色土多量 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 統:弱 炭粒が大	5.	灰黄色土	2.5Y7/2	粘:有	締:有	橙色土粒斑状
2. 暗褐色土         7.5YR3/3         粘:有         締:弱         明褐色土・橙色地山土少量           98SE257         1. 褐色土         7.5YR4/4         粘:弱         棚:雨         炭粒少量           1. 褐色土         7.5YR4/4         粘:弱         締:雨         校粒少量           2. 褐色土         7.5YR4/4         粘:弱         締:雨         樹色土・炭粒斑状           4. 暗褐色土         7.5YR3/3         粘:有         締:弱         明褐色土・炭粒斑状           5. 暗褐色土         7.5YR3/3         粘:有         締:弱         炭粒一土・炭粒斑状           6. 灰褐色土         7.5YR6/2         粘:強         締:鴉         橙色土・炭粒斑状           7. 黒褐色土         7.5YR3/3         粘:有         締:弱         関地色土・炭粒丸土           8. 褐色土         7.5YR4/4         粘:弱         締:弱         関地色土・地山土斑状。炭粒少量。炭粒           8. 褐色土         7.5YR4/4         粘:弱         締:弱         馬         福色土・壁色土多量。炭粒           10. 黒褐色土         7.5YR4/3         粘:強         締:弱         黒褐色土・橙色土多量。炭粒         上         上         大型粒の上・炭粒の上・炭粒の上・炭粒の上・炭粒         上         大型粒の上・デ         上         大型粒の上・デ         上         大型粒の上・炭粒の上・炭粒の上・炭粒の上・炭粒の上・炭粒の上・炭粒の上・炭粒の上・炭	98P	163				
3. 暗褐色土	1.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:弱	締:弱	
明本の   11上少量   11上现状。炭粒少量   11上少量   11上上的型   11上的型   11上上的型   11上的型   11	2.	暗褐色土	7.5YR3/3	粘:有	締:弱	
98SE257	3.	暗褐色土	7.5YR3/3	粘:有	締:弱	
1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 炭粒少量 2. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 間褐色土・炭粒斑状 4. 暗褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 明褐色土(中)多量。炭粒斑状 4. 暗褐色土 7.5YR3/3 粘:有 締:弱 炭粒少量、明褐色土近状 6. 灰褐色シル 7.5YR6/2 粘:強 締:鴉 炭粒少量、明褐色土斑状 炭粒少量 8. 褐色土 7.5YR3/1 粘:有 締:弱 端語 暗褐色土・地山土斑状。炭粒少量 8. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 暗褐色土・橙色土少量。炭粒斑状 9. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 福色土・橙色土多量 10. 黑褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 黒褐色土・炭粒少量 11. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 黒褐色土・炭粒少量 12. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 黒褐色土・炭粒少量 13. 黄橙色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 にぶい橙色土少量 13. 黄橙色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 炭粒・黄橙色土・にぶい橙色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 炭粒・黄橙色土・にぶい橙色 15. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:強 締:据 上次10多量 15. 灰褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 炭粒斑状 褐色土 15. 灰褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 規色土 井炭化物多量。地山 198SE258 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 明褐色土斑状。炭粒少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 明褐色土斑状。炭粒少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 地山土・暗褐色土層状に少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 地山土・暗褐色土層状に少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 地山土・暗褐色土層状に少量 94屋土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 地山土・暗褐色土層状に少量 94屋土 7.5YR4/6 粘:丙 締:弱 地山粒シ量						山土少量
2. 褐色土         7.5YR4/4         粘:有         締:有         橙色土・炭粒斑状           3. 褐色土         7.5YR4/4         粘:弱         総:有         関褐色土・炭粒斑状           4. 暗褐色土         7.5YR3/3         粘:有         締:弱         炭粒少量。炭粒斑状           5. 暗褐色土         7.5YR6/2         粘:強         総:無         枝色土山土少量           7. 黒褐色土         7.5YR3/1         粘:有         締:弱         褐色土・地山土斑状。炭粒少量。炭粒斑状           8. 褐色土         7.5YR4/4         粘:弱         締:弱         弱色土・地山土斑状。炭粒少量。炭粒斑状           9. 褐色土         7.5YR4/3         粘:強         締:弱         褐色土・橙色土多量。炭粒斑状。 医炎型性出生少量           10. 黒褐色土         7.5YR4/4         粘:弱         編:弱         黒褐色土・橙色土多量           11. 褐色土         7.5YR4/4         粘:弱         締:弱         黒褐色土・炭粒少量           12. 褐色土         7.5YR4/3         粘:強         締:弱         馬         皮粒・黄色土・炭粒少量           14. 褐色土         7.5YR4/3         粘:強         締:弱         炭粒・黄色土土成化砂量         上(大)多量           15. 灰褐色土         7.5YR4/3         粘:強         締:獨         炭粒         炭粒         炭粒         大         大         大         大         大         大         大         大         大         大         上         大         大         大						
3. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 明褐色土(中)多量。炭粒斑状 4. 暗褐色土 7.5YR3/3 粘:有 締:弱 明褐色土・炭粒斑状 5. 暗褐色土 7.5YR6/2 粘:強 締:鴉 橙色地山土少量 ト 7.5YR6/2 粘:強 締:弱 梅色土・地山土斑状。炭粒少量。 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 幅褐色土・橙色土少量。炭粒斑状 9. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 編色土・橙色土多量 10. 黒褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 黒褐色土・橙色土多量 11. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 黒褐色土・橙色土多量 11. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 黒褐色土・橙色土多量 11. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 馬褐色土・炭粒少量 12. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 炭粒 少量 13. 黄橙色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 炭粒 少量 14. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 炭粒 炭粒 上 炭粒少量 15. 灰褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 炭粒・黄橙色土・にぶい橙色 土多量 15. 灰褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弼 炭粒斑状 褐色土 大 7.5YR4/4 粘:弱 締:弼 炭粒斑状 褐色土斑状。褐色土 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:弱 明褐色土斑状。褐色土少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:弱 地山土・暗褐色土屑状に少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 地山土・暗褐色土屑状に少量 1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:弱 地山粒多量			,			
4. 暗褐色土 7.5YR3/3 粘:有 締:弱 明褐色土・炭粒斑状 5. 暗褐色土 10YR3/3 粘:有 締:弱 炭粒少量。明褐色土斑状 6. 灰褐色シル 7.5YR6/2 粘:強 締:無 橙色地山土少量 物:						
5. 暗褐色土 10YR3/3 粘:有 締:弱 炭粒少量。明褐色土斑状 6. 灰褐色シル 7.5YR6/2 粘:強 締:無 橙色地山土少量 7.5YR3/1 粘:有 締:弱 褐色土・地山土斑状。炭粒少量 8. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 昭褐色土・橙色土少量。炭粒 近状 9. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 場色土・橙色土少量。炭粒 近状 4. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 黒褐色土・橙色土少量 11. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 黒褐色土・橙色土斑状。炭粒 少量 12. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 原褐色土・炭粒少量 13. 黄橙色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 炭粒・黄橙色土少量 14. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 炭粒・黄橙色土・にぶい橙色土少量 15. 灰褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弼 炭粒・黄橙色土・にぶい橙色 土多量 15. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:強 締:鴉 炭粒 炭粒 大麦量 黒褐色土+炭化物多量。地山土大/多量 88SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 明褐色土斑状。炭粒少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 明褐色土斑状。炭粒少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 明褐色土斑状。褐色土少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 地山土・暗褐色土層状に少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 地山土・暗褐色土層状に少量 9場 地山粒シ量	1		,			
6. 灰褐色シル 7.5YR6/2 粘:強 締:無 橙色地山土少量 ト 7.5YR3/1 粘:有 締:弱 褐色土・地山土斑状。炭粒少量 報色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 暗褐色土・橙色土少量。炭粒 斑状 2. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 褐色土・橙色土少量。炭粒 近状 2. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 黒褐色土・橙色土多量 11. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 黒褐色土・橙色土斑状。炭粒少量 12. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 川褐色土・炭粒少量 13. 黄橙色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 炭粒・黄橙色土・にぶい橙色土少量 14. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 炭粒・黄橙色土・にぶい橙色土少量 15. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:強 締:無 炭粒・黄橙色土・にぶい橙色土 15. 灰褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:鴉 炭粒斑状 褐色土土炭化物多量。地山土大人)多量 88SE258 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 明褐色土斑状。炭粒少量 3. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 明褐色土斑状。褐色土少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 明褐色土斑状。褐色土少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 明褐色土斑状。褐色土少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 地山土・暗褐色土層状に少量 3. 褐色土 7.5YR4/6 粘:司 締:弱 地山土・暗褐色土層状に少量 3. 褐色土 7.5YR4/6 粘:司 締:弱 地山粒多量	4.	暗褐色土	7.5YR3/3			
ト         7. 黒褐色土         7.5YR3/1         粘:有         締:弱         褐色土・地山土斑状。炭粒少量           8. 褐色土         7.5YR4/4         粘:弱         輪:弱         暗褐色土・橙色土少量。炭粒斑状           9. 褐色土         7.5YR4/3         粘:強         締:弱         ばたい褐色土・橙色土多量           10. 黒褐色土         7.5YR4/3         粘:強         編:弱         黒褐色土少量           11. 褐色土         7.5YR4/3         粘:強         締:弱         黒褐色土・炭粒少量           12. 褐色土         7.5YR4/3         粘:強         締:弱         市にぶい橙色土地量           13. 黄橙色土         7.5YR4/3         粘:強         総:弱         炭粒・橙色土少量           15. 灰褐色土         7.5YR4/3         粘:強         締:病         炭粒 斑状           15. 灰褐色土         7.5YR4/2         粘:強         総:無         炭粒 斑状           98SE258         1. 褐色土         7.5YR4/4         粘:無         総:強         炭粒 斑状           1. 褐色土         7.5YR4/4         粘:病         総:弱         炭粒 近状、炭粒 少量           98SE179         1. 褐色土         7.5YR4/4         粘:有         地:有         地山土・暗褐色土野状、砂量・地山土・暗褐色土屋がたの量           1. 褐色土         7.5YR4/4         粘:病         総:有         地山土・暗褐色土屋がたの量         地山土・暗褐色土屋がたの量           3. 褐色土         7.5YR4/6         粘:有         総:有         地山	5.	暗褐色土	10YR3/3			
7. 黒褐色土         7.5YR3/1         粘: 病 締: 弱 褐色土・地山土斑状。炭粒少量 競技           8. 褐色土         7.5YR4/4         粘: 弱 締: 弱 縮: 弱 短状 原状	6.		7.5YR6/2	粘:強	締:無	橙色地山土少量
量 8. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 暗褐色土・橙色土少量。炭粒 斑状 9. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 にぶい褐色土・橙色土多量 10. 黒褐色土 7.5YR4/2 粘:弱 締:弱 褐色土少量 11. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 黒褐色土・橙色土斑状。炭粒 少量 12. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 炭粒・黄橙色土少量 13. 黄橙色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 炭粒・黄橙色土少量 14. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 炭粒・黄橙色土・にぶい橙色土少量 15. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:強 締:無 縄色土+炭化物多量。地山土大(大)多量 98SE258 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:病 締:弱 炭粒斑状 2. 褐色土 7.5YR4/4 粘:病 締:弱 炭粒斑状 3. 褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:弱 明褐色土斑状。炭粒少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:病 締:弱 明褐色土斑状。褐色土少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 地山土・暗褐色土層状に少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 地山土・暗褐色土層状に少量 9格:弱 地山土・暗褐色土層状に少量 9格: 地山土・暗褐色土層状に少量 9地 世山粒シ量	١ ـ		E 51700 /1	#L +	64 HH	ter to a label of terror belief of
照状	7.	黒褐色土	7.5YR3/1	粨:有	締:弱	
9. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 にぶい褐色土・橙色土多量 10. 黒褐色土 7.5YR3/2 粘:弱 締:弱 褐色土少量 11. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 黒褐色土・橙色土斑状。炭粒少量 12. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 明褐色土・炭粒少量 13. 黄橙色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 炭粒・黄橙色土少量 14. 褐色土 7.5YR4/3 粘:強 締:弱 炭粒・黄橙色土・にぶい橙色 土多量 15. 灰褐色土 7.5YR4/2 粘:強 締:無 黒褐色土+炭化物多量。地山上(大)多量 98SE258 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:無 締:強 炭粒斑状 凝色土斑状。凝色土 7.5YR4/4 粘:病 締:弱 明褐色土斑状。炭粒少量 3. 褐色土 7.5YR4/4 粘:病 締:弱 明褐色土斑状。褐色土少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:病 締:弱 地山土・暗褐色土層状に少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 地山土・暗褐色土層状に少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 地山土・暗褐色土層状に少量 98SE179 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 地山土・暗褐色土層状に少量 94屋 15.5YR4/6 粘:有 締:弱 地山社・暗褐色土原状に少量。地山粒 94屋 15.5YR4/6 粘:有 締:弱 地山粒多量	8.	褐色土	7.5YR $4/4$	粘:弱	締:弱	暗褐色土・橙色土少量。炭粒
10. 黒褐色土		HI 70 1	= = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	AL 16	A-b	
11. 褐色土			,			
12. 褐色土   7.5YR4/3   末:強   締:弱   明褐色土・炭粒少量   13. 黄橙色土   7.5YR4/3   末:強   締:弱   にぶい橙色土少量   14. 褐色土   7.5YR4/3   末:強   締:弱   炭粒・黄橙色土・にぶい橙色   土多量   15. 灰褐色土   7.5YR4/2   末:強   締:無   黒褐色土+炭化物多量。地山土(大)多量   98SE258   1. 褐色土   7.5YR4/4   末:新   締:弱   炭粒斑状   炭粒斑状   浸粒斑状   浸粒斑状   浸粒斑状   浸粒斑状   浸粒皮量   3. 褐色土   7.5YR4/4   末:新   締:弱   明褐色土斑状。褐色土少量   98SE179   1. 褐色土   7.5YR4/4   末:弱   締:弱   地山土・暗褐色土層状に少量   98SE179   1. 褐色土   7.5YR4/4   末:弱   締:弱   地山土・暗褐色土層状に少量   少量   少量   少量   地山粒多量   15.5YR4/6   末:百   締:弱   地山粒多量			,			
13. 黄橙色土	111.	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:弱	
14. 褐色土     7.5YR4/3 粘:強 締:弱 炭粒・黄橙色土・にぶい橙色土多量       15. 灰褐色土     7.5YR4/2 粘:強 締:無 黒褐色土+炭化物多量。地山土(大)多量       98SE258     1. 褐色土     7.5YR4/4 粘:無 締:強 炭粒斑状       2. 褐色土     7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 明褐色土斑状。炭粒少量 3. 褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:弱 明褐色土斑状。褐色土少量       98SE179     1. 褐色土     7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 地山土・暗褐色土層状に少量 6. 地山土・暗褐色土層状に少量 7.5YR4/6 粘:弱 締:弱 地山土・暗褐色土原状に少量。地山粒 9. 東京       3. 褐色土     7.5YR4/6 粘:弱 締:弱 地山土・暗褐色土屋状に少量。地山粒 9. 東京       3. 褐色土     7.5YR4/6 粘:有 締:弱 地山粒多量	12.	褐色土	7.5YR4/3	粘:強	締:弱	明褐色土·炭粒少量
15. 灰褐色土   7.5YR4/2   粘:強   絲:無   黒褐色土+炭化物多量。地山土(大)多量   98SE258   1. 褐色土   7.5YR4/4   粘:病   締:強   炭粒斑状   褐色土   7.5YR4/4   粘:病   締:弱   明褐色土斑状。炭粒少量   3. 褐色土   7.5YR4/4   粘:有   締:病   明褐色土斑状。褐色土少量   98SE179   1. 褐色土   7.5YR4/4   粘:病   締:弱   地山土・暗褐色土屑状に少量   2. 褐色土   7.5YR4/4   粘:弱   締:弱   地山土・暗褐色土屑状に少量   少量   少量   3. 褐色土   7.5YR4/6   粘:有   締:弱   地山粒多量	13.	黄橙色土	7.5YR7/8	粘:強	締:有	にぶい橙色土少量
15. 灰褐色土	14.	褐色土	7.5YR4/3	粘:強	締:弱	
98SE258     1. 褐色土     7.5YR4/4 粘:無 締:強 炭粒斑状       2. 褐色土     7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 褐色土斑状。炭粒少量       3. 褐色土     7.5YR4/4 粘:有 締:弱 明褐色土斑状。褐色土少量       98SE179     1. 褐色土     7.5YR4/4 粘:有 締:弱 地山土・暗褐色土層状に少量。地山粒少量       2. 褐色土     7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 締:弱 暗褐色土斑状に少量。地山粒少量       3. 褐色土     7.5YR4/6 粘:有 締:弱 地山粒多量	15.	灰褐色土	7.5YR4/2	粘:強	締:無	黒褐色土+炭化物多量。地山
1. 褐色土     7.5YR4/4 粘:無     締:強     炭粒斑状       2. 褐色土     7.5YR4/4 粘:弱     締:弱     褐色土斑状。炭粒少量       3. 褐色土     7.5YR4/4 粘:有     締:弱     明褐色土斑状。褐色土少量       98SE179     1. 褐色土     7.5YR4/4 粘:有     締:有     地山土・暗褐色土層状に少量       2. 褐色土     7.5YR4/4 粘:弱     締:弱     暗褐色土斑状に少量。地山粒少量       3. 褐色土     7.5YR4/6 粘:有     締:弱     地山粒多量	0001	0050				工(人)多里
2. 褐色土     7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 褐色土斑状。炭粒少量       3. 褐色土     7.5YR4/4 粘:有 締:弱 明褐色土斑状。褐色土少量       98SE179     1. 褐色土     7.5YR4/4 粘:有 締:弱 地山土・暗褐色土屑状に少量       2. 褐色土     7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 暗褐色土斑状に少量。地山粒少量       3. 褐色土     7.5YR4/6 粘:有 締:弱 地山粒多量			7 EVD 4 / 4	ψ1dms	66.3A	44 개발 근짜 근크
3. 褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:弱 明褐色土斑状。褐色土少量   98SE179   1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:弱 地山土・暗褐色土層状に少量 2. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 締:弱 暗褐色土斑状に少量。地山粒 少量   3. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:弱 地山粒多量			,			
98SE179     1. 褐色土     7.5YR4/4 粘:有 締:有 地山土・暗褐色土層状に少量       2. 褐色土     7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 締:弱 暗褐色土斑状に少量。地山粒 少量       3. 褐色土     7.5YR4/6 粘:有 締:弱 地山粒多量	1		,			
1. 褐色土     7.5YR4/4 粘:有 締:有 地山土・暗褐色土層状に少量       2. 褐色土     7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 暗褐色土斑状に少量。地山粒 少量       3. 褐色土     7.5YR4/6 粘:有 締:弱 地山粒多量			1.01K4/4	柏:相	EE: 11%	四個已上班仏。 陶巴工少里
2. 褐色土     7.5YR4/4 粘:弱 締:弱 暗褐色土斑状に少量。地山粒 少量       3. 褐色土     7.5YR4/6 粘:有 締:弱 地山粒多量			7 5VR4 /4	<b>址·</b> 右	総.右	地山土・暗場缶土園状に 小島
少量 3. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:弱 地山粒多量	1		,			
			1.01N4/4			少量
4. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 地山粒少量	1 .					
	4.	褐色土	7.5YR4/6	粘:有	締:有	地山粒少量

# 図版38(1)

区MX 38 (1)							
98SI	E723						
1.	黒褐色土	7.5YR3/2	粘:有	締:強	淡黄色土・明褐色土斑状		
2.	黒褐色土	7.5YR2/2	粘:有	締:有	赤褐色土・灰白色土斑状		
3.	黒褐色土	7.5YR3/1	粘:有	締:有	赤褐色粒少量		
	黒褐色土	10YR3/1	粘:有	締:弱	植物質有機物多量		
98SI	E250	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
1.	褐色土	7.5YR4/6	粘:有	締:有			
2.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:有	締:有	浅黄橙色粒少量		
	明褐色土	7.5YR5/8	粘:有	締:有			
4.	黄橙色土	7.5YR7/8	粘:有	締:有	浅黄橙色粒斑状		
	橙色土	7.5YR6/8	粘:有	締:有	浅黄橙色粒多量		
6.	暗褐色土	7.5YR3/3	粘:有	締:有	炭粒少量		
	淡黄色土						
	褐色土		粘:有	締:有			
9.	にぶい褐色	7.5YR5/4	粘:有	締:弱			
	土	,					
10.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:弱	締:弱	明黄褐色粒少量		
11.	灰白色土	2.5Y7/1	粘:有	締:有	赤褐色土斑状に少量		
98SI	E719						
1.	褐色土	7.5YR4/6	粘:有	締:強	暗褐色土斑状。にぶい黄橙色 土少量		
2.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:有	締:有	地山土斑状		
3.	暗褐色土	7.5YR3/3	粘:有	締:有	にぶい黄褐色土・明赤褐色土		
					斑状		
98P'	741						
1.	暗褐色土	10YR3/4	粘:弱	締:強	浅黄橙色土・明赤褐色粒を少 量		
2.	明赤褐色土	5YR5/8	粘:有	締:有	灰白色粒少量		
3.	黒褐色土	7.5YR3/2	粘:有	締:有	浅黄橙色土·明赤褐色土斑状		
4.	黒色土	10YR1.7/1	粘:無	締:無	ガツボ		
5.	灰白色粘質 土	7.5Y7/1	粘:有	締:弱	赤褐色粒少量		
98SI	E181						
1.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:有	締:強	暗褐色粒少量		
	褐色土	7.5YR4/4					
1	暗褐色土	7.5YR3/4					
	E725	-,			* * *		
1.	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:強	暗褐色土斑状。橙色地山土少 量		
2.	褐色土	7.5YR4/4	粘:有	締:強	暗褐色土・にぶい黄橙色土斑 状		
3.	褐色土	7.5YR4/6	粘:有	締:強	褐色土・黒色土斑状		

# 図版38(2)

	4.	にぶい褐色	7.5YR5/3	粘:有	締:有	橙色土・極暗褐色土斑状	-
1	5.	土 黒褐色土	7.5YR2/1	粘:有	締:有	灰白色地山土少量	

# 図版39

図版 39				
98SE763				
1. 暗褐色土	10YR3/3	粘:弱	締:有	明褐色土・黒褐色土・炭粒少 量
2. 褐灰色土	10YR4/1	粘:弱	締:弱	一 明褐色土多量。赤褐色土少量
3. 黒褐色土	10YR3/1	粘:有	締:弱	地山粒多量。有機腐食物多量
4. 黒褐色土	2.5Y3/1	粘:有	締:弱	地山粒斑状
98SE729				
1. 褐灰色土	7.5YR4/1	粘:有	締:弱	黒褐色土(中)少量
2.極暗褐色土	7.5YR2/3	粘:有	締:強	地山土斑状
3. 黒色土	10YR1.7/1	粘:無	締:無	
4. 黒褐色土	10YR3/1	粘:有	締:弱	灰白色土少量
97SK1234				
1. 褐色土	7.5YR4/6		締:強	炭粒・地山粘質土(中)少量
2. 褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:強	炭粒少量。灰白色地山粘質土
				(小)多量
3. 褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:有	炭粒少量。地山粘質土(小)
97SK1116				M
1. 褐色土	7.5YR4/6	粘:無	締:有	地山粒少量
2. 明褐色土	7.5YR5/6	粘:無	締:有	炭粒少量
3. 褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:有	
4. 褐色土	10YR4/6	粘:無	締:有	地山粒多量。1層より赤味が
- 四共組み1.	10YR6/8	粘:無	締:有	かる
5. 明黄褐色土 6. 黄褐色土	10YR5/8	粘:無	輝:有 締:有	炭粒少量
97SK1403	101165/6	柏:無	和1:1月	灰粒少里
1. 褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:強	炭粒少量
2. 褐色土	7.5YR4/6 7.5YR4/4	粘:弱	締:独	炭粒少量
97SK1115	7.51 K4/4	শান - গ্র	浉.有	灰粒岁里
1. 暗褐色土	10YR3/4	粘:無	締:強	黄褐色地山粒・炭粒少量
2. にぶい褐色	7.5YR5/3	粘:無	締:有	地山粒少量
土	7.51 K5/5	MI - 71%	WID - 414	福田松ラ重
3. 褐色土	7.5YR4/4	粘:無	締:有	地山粒・炭粒少量
4. にぶい褐色	7.5YR5/4	粘:弱	締:有	炭粒少量含む。
土	1101110, 1	111.00	A-4 1-3	八九五)至日〇。
5. にぶい褐色	7.5YR5/3	粘:無	締:有	褐色土(小)多量。炭粒少量
土				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
97SE1670				
1. 褐色土	10YR4/4	粘:無	締:強	地山粒多量。炭粒少量
2. 黄褐色土	10YR5/6	粘:弱	締:強	地山粘質土斑状。炭粒少量
3. 暗褐色土	10YR3/4	粘:弱	締:強	
4. にぶい褐色	10YR5/4	粘:弱	締:有	地山粒・炭粒少量
粘質土				tel colored colored and the color
5. にぶい黄褐	10YR5/4	粘:有	締:有	地山粘質土斑状。下部に淡黄
色粘質土	7 EVD7 (0	w- +-	66 an	褐色粘土(大)。炭粒少量
6. 黄橙色粘質 土	7.5YR7/8	粘:有	締:弱	

# 図版40(1)

		40 (1)						
	97SE2630							
	1.	黄褐色土	10YR5/6	粘:無	締:強	淡黄色地山粒斑状。炭粒少量		
	2.	にぶい黄橙	10YR6/4	粘:弱	締:強	淡黄色地山土(大)斑状		
		色土						
	3.	にぶい黄褐	10YR6/4	粘:弱	締:有	地山粒多量。炭粒少量		
	4	色土	10VDF/6	<b>水上. 크리</b>	66. ±	<b>地山北</b>		
		黄褐色土	,	粘:弱	締:有	地山粘質土多量。炭粒少量		
	ъ.	にぶい黄橙 色粘質土	10YR7/2	粘:弱	締:有	地山主体土。褐色土層状		
	6.	灰白色粘質	5Y8/2	粘:弱	締:有	地山主体土。褐色土少量		
		土						
		E2940						
			7.5YR4/4	粘:無	締:強	2層土・炭粒少量		
		明褐色土		粘:無	締:強			
	3.	褐色土	7.5YR4/6	粘:無	締:強	2層及び8層の層状ブロック 斑状。炭化物(小)少量		
	4.	灰白色粘質 土	5Y8/2	粘:弱	締:有			
	5.	明褐色土	7.5YR5/6	粘:無	締:有	炭粒少量。獣骨片出土		
		にぶい褐色	7.5YR5/3		締:有	5層土斑状。炭粒少量		
		土						
	7.	明褐色土	7.5YR5/6	粘:無	締:有	炭粒少量。		
	8.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:無	締:有	黒色土(炭層)とラミナ状に混		
						じる		
		E774						
		赤褐色土			締:強			
		褐色土		粘:無	締:有			
		褐色土	. , .	粘:無	締:有	黄褐色土・白色粒少量		
		褐色土	10YR4/6	粘:無	締:有	白色粒·黄橙色粒少量		
١	5.	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:有			

# 図版40(2)

6.	浅黄橙色粘 質土	7.5YR8/3	粘:有	締:有	地山主体土。5層とラミナ状 に混じる		
97SE2026							
1.	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:有	黄褐色地山土(小)多量。炭粒 斑状		
2.	橙色粘質土	5YR7/8	粘:弱	締:有	地山主体土。にぶい黄褐色土 とラミナ状に混じる。炭粒少 量		
3.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:有	地山粒斑状。炭粒少量		
4.	橙色粘質土	5YR7/8	粘:弱	締:有	地山主体土。5層土が層状		
5.	褐色土	10YR4/4	粘:有	締:有	地山粒斑状		

# 図版 41

97S	97SE1958							
1.	明黄褐色土	10YR6/6	粘:無	締:有				
2.	黒褐色土	10YR2/2	粘:弱	締:有	1層土(中)斑状			
3.	黒褐色土	10YR2/2	粘:弱	締:有				
4.	黒褐色土	10YR2/2	粘:弱	締:有				
97S	E1964							
1.	褐色土	7.5YR4/4	粘:無	締:強	明褐色土·橙色地山土(小)斑 状。炭粒少量			
2.	明黄褐色土	10YR6/6	粘:無	締:強	炭粒少量			
3.	暗褐色粘質 土	7.5YR3/4	粘:弱	締:有	2層土斑状。橙色地山粒·炭 粒少量			
97S	E1989				Title 20 miles			
1.	黄褐色土	10YR5/6	粘:無	締:有	地山土(中)少量			
2.	黄褐色土	10YR5/6	粘:無	締:無	地山土(中)少量			
3.	にぶい黄褐	10YR4/3	粘:有	締:有	地山土(中)少量			
	色土							
	E1951							
1	暗褐色土	10YR3/3		締:有	明黄褐色土(小)少量			
1	暗褐色土	- , -						
3.	黒褐色土	10YR3/2	粘:弱	締:有	地山土(小)と地山粘質土(中) 斑状			

# 図版 42

97S	E1952				
1.	黒褐色土	10YR3/2	粘:無	締:有	明黄褐色土斑状
2.	黒褐色土	10YR2/2	粘:無	締:有	
97S	E2022				
1.	暗褐色土	10YR3/3	粘:無	締:有	
2.	暗褐色土	10YR3/3	粘:無	締:有	地山土(中)多量
3.	にぶい黄褐	10YR4/3	粘:無	締:有	地山主体土
	色土				
4.	黄褐色粘質	10YR5/6	粘:無	締:無	炭化物(小)・地山粒斑状
	土				
	E1972				W 1 M 1 M 1 M 1 M 1 M 1 M 1 M 1 M 1 M 1
1	黄褐色土	10YR5/6	粘:無	締:有	地山粒・にぶい褐色土多量
1	黒褐色土	7.5YR3/2			にぶい褐色土少量
	黒褐色土	7.5YR3/2	粘:無	締:無	にぶい褐色土斑状
	E1971				
1	黄褐色土	10YR5/6	粘:無	締:有	
2.	にぶい黄褐	10YR4/3	粘:無	締:有	
	色土	107705 (0	str. La Arme	6-6 HH	
	灰黄褐色土		粘:無	締:弱	
	黄褐色土 E1655	10YR5/6	粘:無	締:無	
		4.07770.010	ale I - Arme	A-1-	
	明黄褐色土	10YR6/6	粘:無	締:有	
2.	3にぶい黄	10YR5/3	粘:無	締:有	
	褐色土 にぶい黄褐	107705 (0	粘:無	締:無	
٥.	にかい 更构 色土	10YR5/3	柏:燕	部: 無	
	思褐色土	10YR3/2	粘:無	締:有	
	三元何已工 E2020	10110/2	411.11K	ոսը. Դվ	
	にぶい橙色	7.5YR6/4	粘:弱	締:無	灰白色地山土(中・大)斑状
1.	土	1.0110/4	শান - গগ	7117 - 11th	八口口地山工(十一八)姓(八
2.	上にぶい橙色	7.5YR6/4	粘:弱	締:無	灰白色地山土(中・大)多量
	土		414.44	4-1- · 21/4	八口 3 3 日本(1 八)夕玉

# 図版43(1)

97S	E2021				
1.	明黄褐色土	10YR7/6	粘:弱	締:有	
2.	にぶい黄褐 色土	10YR5/4	粘:有	締:有	地山土(小)少量
3.	にぶい黄褐 色土	10YR4/3	粘:有	締:有	地山土(中)多量
4.	暗褐色土	10YR3/3	粘:無	締:無	
97S	E2015				
1.	にぶい褐色 土	7.5YR5/3	粘:一	締:一	地山土(中)
2.	にぶい黄褐 色土	10YR5/4	粘:一	締:一	地山主体土
3.	黄橙色砂質 土	7.5YR7/8	粘:一	締:一	

# 図版 43(2)

凶版	凶放 43(2)							
4.	にぶい褐色	7.5YR6/3	粘:一	締:一	地山土(中)斑状に多量			
_	土	E EXTD 0 (0	str t.	4-10	Islanda di Zadan referal b			
5.	にぶい褐色 土	7.5YR6/3	粘:一	締:一	地山土(中)斑状			
6.	エ にぶい褐色	7.5YR6/3	粘:一	締:一	地山土(中)少量			
	±							
7.	黄橙色砂質	7.5YR7/8	粘:一	締:一	3層に近似			
0	土 にぶい褐色	7.5YR6/3	粘:一	締:有	地山土(小)斑状			
٥.	土	7.51K0/5	村:一	和1:1日	地田工(小)斑仏			
9.	にぶい褐色	7.5YR6/3	粘:一	締:有	地山土(小)多量			
	土							
	褐色土	7.5YR4/4	粘:一	締:一	地山土(小)少量			
11.	褐色土	7.5YR4/6	粘:一	締:無				
12.	黄橙色粘質 土	7.5YR7/8	粘:一	締:有	地山主体土			
13.	黄橙色粘質	7.5YR7/8	粘:一	締:有	地山主体土。12層に黄灰色			
1.4	土	7 EVD7 (0	dr I-	6-8: JJ	土(中)が入る 13層より粒が細い。暗褐色			
14.	黄橙色粘質 土	7.5YR7/8	粘:一	締:弱	13 眉より紅が細い。暗陶巴 土(中)斑状			
15.	黄橙色粘質	7.5YR7/8	粘:一	締:弱	14層に地山土(中)多量			
	土							
16.	黒褐色粘質	7.5YR3/2	粘:一	締:弱	地山土少量			
	土							
	E1970							
	灰褐色土	7.5YR5/2	粘:一	締:有	明褐色土薄く入る			
	黒褐色土	7.5YR3/2	粘:弱	締:有	地山土少量			
	黒褐色土	7.5YR3/2	粘:一	締:一	地山土 1/3 ほど入る			
97S	E1805							
	褐色土	7.5YR4/3	粘:無	締:一				
2.	褐色土	7.5YR4/3	粘:一	締:有	地山土(中)多量			
3.	黒色粘質土	7.5YR2/1	粘:弱	締:無	地山土(中)少量			
4.	黒色粘質土	7.5YR2/1	粘:一	締:一	3層より地山土(中)多量			
97S	E2009				` '			
1.	褐色土	7.5YR4/3	粘:無	締:有	地山土(中)少量			
	黒色粘質土	7.5YR2/1	粘:一	締:有	地山土(中)多量。1層を縞状			
	E523	- /-			( ) / =			
	橙色粘質土	5YR7/8	粘:弱	締:強	灰白色地山粘質土多量			
	明褐色土	7.5YR5/8	粘:弱	締:有	褐色土を縞状。炭粒少量			
	黄橙色粘質	10YR8/8	粘:弱	締:有	灰白色地山粘質土と2層がラ			
] .	土	101110/0	414.44	Work + J.F.	ミナ状。炭粒少量			
					* * * *			

図版	44 (1)							
97SE553								
1.	褐色土	10YR4/6	粘:無	締:強	黄橙色粒・炭化物(小)少量			
2.	明褐色土	7.5YR5/6	粘:無	締:強	` '			
3.	明黄褐色土	10YR7/6	粘:無	締:強	5 層土少量			
4.	明黄褐色土	10YR7/6	粘:無	締:有				
5.	褐色土	10YR4/6	粘:無	締:有	炭粒少量			
6.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:有	3・4層土。炭状の黒褐色土			
					斑状			
7.	暗褐色土	10YR3/3	粘:弱	締:有	大粒の炭・6層土少量			
8.	黄褐色土	10YR5/6	粘:無	締:有				
9.	褐色土	10YR4/4	粘:有	締:有	11層土斑状。炭粒少量。			
10.	にぶい黄橙 色土	10YR7/2	粘:有	締:有	褐色土と9層が混じる。炭粒 少量。			
11.	緑灰色粘土	7.5GY5/ 1	粘:強	締:無	黒色植物有機質多量。青灰色 粘土(大)斑状			
12.	にぶい黄橙 色粘質土	10YR7/2	粘:有	締:有	橙色地山土(小)少量			
13.	褐色土	10YR4/6	粘:無	締:強	6層と類似			
	にぶい黄褐	10YR5/4	粘:弱	締:強	11 · 14層土(中)少量			
	色土	, -						
15.	にぶい黄橙 色粘質土	10YR7/2	粘:有	締:有	橙色地山粘質土(中)少量			
97S	E522							
1.	明黄褐色土	10YR7/6	粘:無	締:強	灰黄色シルト粒多量。炭粒少 量			
2.	黄橙色土	10YR7/8	粘:弱	締:強	明黄褐色土・灰黄色シルト粒 多量。炭粒少量			
3.	灰黄色シル ト質土	2.5Y7/2	粘:弱	締:強	炭粒少量			
4.	褐色粘質土	10YR4/6	粘:弱	締:有	炭粒少量			
97S	E518							
1.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:有	淡橙色地山粘質土(小一大)多 量。一気埋め?			
97S	E516							
1.	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:有	炭粒少量。黄褐色粒斑状			
2.	黄褐色シル ト	10YR5/6	粘:無	締:有	地山主体土			
3.	褐色土	7.5YR4/4	粘:有	締:有	褐灰+黄褐色粘質土斑状			
4.	明黄褐色土	2.5Y7/6	粘:弱	締:有	褐灰+黄白色粒斑状			
97S	E517	,						
1.	暗黄褐色土	5YR3/3	粘:弱	締:強	炭粒多量			
2.	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:有				

# 図版 44 (2)

	TT (2)				
3.	明褐色土	7.5YR5/6	粘:一	締:一	炭粒多量
4.	明褐色砂質 土	7.5YR5/8	粘:弱	締:有	
5.	明黄褐色粘 質土	2.5Y7/6	粘:有	締:有	
6.	黄褐色砂質 土	10YR5/8	粘:有	締:弱	炭粒少量
Р.	明黄褐色土	10YR6/6	粘:無	締:強	炭粒多量
97S	E497				
1.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:強	
2.	明褐色土	7.5YR5/6	粘:弱	締:強	炭粒多量
3.	明褐色土	7.5YR5/8	粘:無	締:強	
4.	黄褐色土	10YR5/8	粘:弱	締:強	
5.	黄褐色土	10YR5/8	粘:無	締:強	
6.	褐色粘質土	7.5YR4/4	粘:有	締:有	炭粒・灰白色粘土(小)斑状
7.	黄褐色土	10YR5/6	粘:無	締:強	
8.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:有	密度粗い。炭粒・灰白色粘土 (小)斑状
9.	にぶい黄褐 色粘質土	10YR4/3	粘:有	締:弱	8層土少量。炭粒

# 図版 45

97S	97SE457							
1.	褐色土	7.5YR4/3	粘:無	締:強	炭化物(中)斑状			
2.	褐灰色土	7.5YR4/1	粘:有	締:弱				
3.	黒色土	7.5YR2/1	粘:弱	締:弱	炭粒・腐食物多量			
97S	E1551							
1.	褐色土	7.5YR4/6	粘:無	締:強				
2.	明褐色土	7.5YR5/8	粘:無	締:強				
3.	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:強	地山土(小)少量			
4.	明褐色土	7.5YR5/8	粘:弱	締:強	褐色土·地山土少量。炭化物			
					(大)			
	褐色土	7.5YR4/6			明褐色土斑状			
1 .	明褐色土	7.5YR5/8		締:強	地山土斑状。炭化物(中)少量			
	褐色土	7.5YR4/6		締:強	炭粒少量			
1 -	明褐色土	7.5YR5/6						
	褐色土	7.5YR5/8						
	明褐色土	7.5YR5/6			_ , _ , _ , _ , _ , ,			
	褐色土	7.5YR5/8		締:弱				
	明褐色土	7.5YR5/6	粘:強	締:弱	地山土斑状			
	E1839							
1.	灰白色粘質 土	7.5YR8/2	粘:弱	締:有	地山主体土。にぶい褐色土縞 状			
2.	黒褐色土	7.5YR3/2	粘:弱	締:有	炭化物縞状			
3.	灰白色粘質 土	7.5YR8/2	粘:弱	締:有	地山主体土。にぶい褐色土斑 状			
4.	にぶい褐色 土	7.5YR5/3	粘:弱	締:有				
5.	ー にぶい褐色 土	7.5YR5/3	粘:有	締:弱	4層よりやや明るい。炭粒少 量			
97S	E1550							
	灰褐色土	5YR4/2	粘:弱	締:強	炭化物少量			
2a.	褐色土	7.5YR4/3		締:強	地山主体土。褐色土少量			
2b.	にぶい橙色	7.5YR7/4		締:強	地山主体土。礫多量			
	土.							
3.	灰黄褐色土	10YR5/2	粘:有	締:有	炭化物・地山土(中)斑状			
4.	褐色土	10YR4/4	粘:有	締:強	3層土多量			
5.	褐色土	10YR4/4	粘:強	締:弱	地山土多量			
97S	K1840							
1.	灰白色粘質 土	7.5YR8/2	粘:弱	締:有	地山主体土。にぶい褐色土斑 状			

# 図版 46(1)

四/以一0(1)	四版中 (1)						
97SE1859							
1. 明褐色土	7.5YR5/6	粘:無	締:有				
2. 褐色土	7.5YR4/3	粘:無	締:有	地山土(中)少量			
3. 褐色土	7.5YR4/3	粘:無	締:一	地山土・炭粒少量			
4. にぶい褐色 土	7.5YR5/3	粘:一	締:有	炭粒少量			
5. 浅黄橙色土	7.5YR8/4	粘:無	締:一	地山主体土。4層土少量			
6. 褐色土	7.5YR4/3	粘:無	締:一				
7. 褐色土	7.5YR4/3	粘:無	締:一				
8. 黒褐色土	7.5YR3/1	粘:有	締:一				
9. 黒色土	7.5YR1.7/1	粘:有	締:無	地山土(中)少量			
10. にぶい褐色	7.5YR5/4	粘:無	締:有	地山土(中)			
土							
11. にぶい褐色	7.5YR5/4	粘:無	締:有				
土							
97SE1860							
1. 明褐色土							
2. 黒褐色土	,						
3. 灰白色	2.5Y7/1	粘:弱	締:有	地山主体土			
97SE1624							
1. 褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:強	炭化物(中)少量			

# 図版46(2)

2. 褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:強	黄橙色地山土斑状
3. 浅黄橙色土	7.5YR8/4	粘:弱	締:強	地山主体土。褐色土多量
4. 褐色土	10YR4/6	粘:無	締:有	粒子粗い。炭化物(中)少量
5. 褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:弱	粒子粗い
6. にぶい褐色	7.5YR5/4	粘:強	締:無	炭化物・地山土斑状
土				
7. 暗褐色土	7.5YR3/4	粘:強	締:無	礫含む
97SE1830				
1. 浅黄橙色土	7.5YR8/4	粘:一	締:一	地山土主体。褐色土斑状
2. 浅黄橙色土	7.5YR8/4	粘:一	締:一	褐色土と縞状に混じる
3. にぶい褐色	7.5YR5/4	粘:一	締:一	褐色土斑状
土				
97SE1842				
1. にぶい褐色	7.5YR5/3	粘:一	締:有	
土				炭粒少量
2. 黒褐色土	7.5YR3/1	粘:一	締:一	地山土(中)多量
3. にぶい褐色	7.5YR5/3	粘:一	締:無	地山土(中)少量
土				
4. 黒褐色土	7.5YR3/1	粘:一	締:無	地山土(中)
97SE1689				
1. 暗褐色土	7.5YR3/3	粘:一	締:有	
2. 黒色腐植土	7.5YR2/1	粘:一	締:一	未分解植物多量

図版	47				
98S	E1137				
1.	暗褐色粘質 土	10YR3/4	粘:弱	締:強	マンガン・炭化物少量
2.	黒褐色粘質 土	10YR3/2	粘:弱	締:強	マンガン・炭化物少量。端に 崩落土
3.	オリーブ黒 色粘質土	5Y3/1	粘:強	締:弱	緑灰色地山粘土斑状。褐色土 少量。鉄分一部沈着
4.	オリーブ黒 色粘質土	5Y3/1	粘:強	締:弱	青灰色地山粘土(中)斑状。炭 化物・有機腐蝕物
5.	青灰色粘土	10BG5/1	粘:強	締:弱	オリーブ黒色粘土・有機物多 量
98S	K821				
	褐灰色土	5YR5/1	粘:弱	締:強	鉄分沈着。黄褐色土(小)斑状。 炭化物少量
98S	E806				
1.	暗褐色土	7.5YR3/3	粘:弱	締:強	炭粒・マンガン粒少量
2.	灰褐色粘質 土	7.5YR4/2	粘:弱	締:有	
3.	明褐色地山 土	7.5YR5/6	粘:弱	締:強	
4.	橙色粘質土	5YR7/8	粘:有	締:有	地山主体土。灰白色粘質土多 量。炭粒少量
5.	褐灰色粘土	10YR6/1	粘:強	締:弱	有機物多量
98S	E1377				
1.	にぶい褐色 土	7.5YR5/4	粘:有	締:有	にぶい橙色土斑状。炭粒少量
2.	褐色土	7.5YR3/4	粘:有	締:有	橙色土·赤褐色土斑状。炭粒 少量
3.	にぶい黄褐 色土	10YR5/4	粘:強	締:弱	暗灰黄色土斑状
98S	E1370				
1.	にぶい黄褐 色土	10YR4/3	粘:有	締:強	暗褐色土(中)。にぶい黄橙色 土(中)少量
2.	灰黄褐色粘 質土	10YR4/2	粘:強	締:有	灰色土斑状
98P	1135				
1.	暗褐色土	7.5YR3/3	粘:有	締:強	明褐色地山土(小),炭粒少量
2.	黒褐色土	10YR3/2	粘:有	締:有	褐色土(小)斑状。炭粒少量
	褐灰色土	7.5YR5/1	粘:有	締:有	明褐色地山粒·炭粒少量
	黒褐色土	10YR3/2		締:強	明赤褐色粒・炭粒少量
98S	K1185	,			
1.	灰褐色土	7.5YR4/2	粘:有	締:有	褐色土(小)斑状。炭粒少量
2.	灰黄褐色土	10YR4/2	粘:強	締:有	明赤褐色土(中)少量

# 図版48(1)

四版中 (1)				
98P1354				
1. 灰白色土	2.5Y8/2	粘:弱	締:有	橙色+灰黄褐色地山土斑状
2. にぶい黄褐 色土	10YR4/3	粘:有	締:強	黒褐色土·明褐色粒斑状。炭 粒少量
3. 黒褐色土	10YR3/2	粘:有	締:有	橙色粒少量
4. にぶい黄褐 色土	10YR5/3	粘:強	締:有	
5. にぶい褐色 土	7.5YR5/3	粘:有	締:有	浅黄橙色土(小)少量。赤褐色 粒・黒褐色土斑状
6. 褐灰色土	10YR4/1	粘:強	締:有	赤褐色土·黒褐色土斑状
7. にぶい黄褐 色土	10YR5/4	粘:強	締:有	
98SK1350				
1. にぶい黄褐 色砂質土	10YR4/3	粘:弱	締:強	地山シルト質土(中)少量。炭 粒

# 図版 48 (2)

3	<b>当版</b>	48 (2)				
	2.	暗褐色粘質 土	10YR3/3	粘:弱	締:有	
	3.	アオリーブ シルト	7.5Y4/2	粘:弱	締:有	橙色地山土斑状
H	98S	E1420				
1		暗褐色土	10YR3/3	粘:無	締:強	マンガン多量。炭粒少量
1		暗褐色土	10YR3/3		締:強	マンガン。灰白色土斑状
1		1層+5層				1 · 3。炭化物(小)少量
	4.	暗灰色粘質 土	N3/	粘:有	締:有	橙色地山土(中)少量
	5.	灰白色粘質 土	7.5YR8/2	粘:一	締:一	地山主体土。
	6.	褐灰色粘土	10YR6/1	粘:強	締:有	鉄分・マンガンのブロック斑 状
	7.	暗灰色粘質 土	N3/	粘:一	締:一	地山主体土。灰白+橙色粘質 土斑状
r	98S	E1419				
1	1.	暗褐色土	10YR3/4	粘:無	締:強	
1	2.	暗褐色土	10YR3/3	粘:弱	締:強	地山の砂質土(中)斑状
	3.	灰白色粘質 土	7.5YR8/2	粘:弱	締:強	地山主体土。炭化物(小)
	4.	褐灰色粘質 土	10YR4/1	粘:有	締:有	鉄分・炭粒少量
t	98S	K884				
		黒褐色土	10YR3/1	粘:有	締:弱	炭粒少量。褐灰色土斑状。明 褐色土下部に集中
T	98S	K956				
1	1.	黒褐色土	10YR3/1	粘:弱	締:弱	にぶい褐色土・赤褐色土斑状
		E958				
1		黒褐色土	10YR3/1		締:弱	暗赤褐色土斑状。上部に集中
	2.	黒褐色土	10YR3/1	粘:有	締:弱	オリーブ灰色土・炭粒下部に 集中
	3.	オリーブ灰 色土	5GY6/1	粘:有	締:弱	未分解植物・炭粒多量
t	98S	E764				
	1.	黒褐色土	10YR3/2	粘:有	締:弱	明赤褐色土斑状。上部に橙色 土・炭粒多量
1	2.	黒褐色土	10YR3/1	粘:有	締:弱	地山粘質土(中)多量
1	3.	褐灰色土	10YR4/1	粘:有	締:弱	地山土(大・中)斑状
	4.	黒褐色土	10YR3/1	粘:有	締:弱	明褐色・にぶい黄橙色地山土 斑状
	5.	黒褐色土	10YR3/1	粘:一	締:一	明褐色・にぶい黄橙色地山土 斑状。灰色土下部に集中
t	97S	K1427				
	1.	暗褐色土	10YR3/3	粘:無	締:強	炭粒少量。地山黄褐色粒
		褐色土	10YR4/6	粘:無	締:有	
Γ	97S	E2629				
		褐色土	10YR4/4	粘:弱	締:有	地山粒・炭粒少量
		褐色土	10YR4/4	粘:弱	締:強	炭を底面付近に集中
		黄褐色土	,	粘:弱	締:有	地山粒・炭粒少量
		黄褐色土	10YR5/8		締:強	炭粒少量
	5.	にぶい黄褐 色土	10YR5/4	粘:弱	締:有	地山粒・炭粒
	6.	4層+8層		粘:弱	締:有	ラミナ状に堆積。炭粒少量
	7.	にぶい褐色 土	7.5YR5/3	粘:弱	締:有	炭粒・赤色粒多量。焼土?
	8.	橙色粘質土	5YR7/8	粘:有	締:有	灰白色地山粘質土斑状。褐色 土少量

# 図版49(1)

97S	K1046				
1.	明褐色土	7.5YR5/6	粘:無	締:強	褐色土少量
2.	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:有	1層土斑状
97S	K2625				
1.	黄褐色土	10YR5/6	粘:弱	締:強	小ブロックの集合。炭粒少量
2.	明黄褐色土	10YR6/6	粘:弱	締:有	小ブロックの集合。褐色土が 層状
97S	E2707				
1.	にぶい赤褐	5YR4/4	粘:弱	締:無	
	色土				
2.	にぶい赤褐	5YR4/3	粘:弱	締:無	
l _	色土				
1	明黄褐色土	,			
4.	明黄褐色土	10YR7/6	粘:強	締:弱	
5.	黄橙色土	10YR7/8	粘:弱	締:有	
6.	にぶい黄橙	10YR7/3	粘:弱	締:有	
	色土				
7.	橙色土	5YR6/8	粘:弱	締:弱	
8.	にぶい橙色	7.5YR7/4	粘:有	締:有	
	土				
97S	E2706				
1.	にぶい赤褐	5YR4/4	粘:弱	締:弱	
	色土				
2.	橙色土	5YR6/6	粘:弱	締:有	
3.	明赤褐色土	5YR5/6	粘:弱	締:有	

# 図版 49 (2)

にぶい赤褐 色土	5YR4/3	粘:無	締:弱	
にぶい赤褐 色土	5YR4/3	粘:無	締:弱	
赤褐色土	5YR4/8	粘:無	締:有	
暗赤褐色土	5YR3/6	粘:無	締:弱	
にぶい橙色 土	5YR7/4	粘:有	締:有	にぶい赤褐色土斑状
暗赤褐色土	5YR3/4	粘:弱	締:弱	にぶい赤色土斑状
にぶい赤褐 色土	5YR4/4	粘:弱	締:弱	
にぶい橙色 土	7.5YR6/4	粘:有	締:有	明赤灰色土斑状
褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:無	
にぶい赤褐 色土	5YR4/4	粘:弱	締:弱	
褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:強	
褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:強	
灰白色土	7.5YR8/1	粘:無	締:有	灰赤色土斑状
				灰白色土斑状
暗赤褐色土	5YR3/6	粘:有	締:無	
褐色土	7.5YR4/6	粘:有	締:強	
褐色土	7.5YR4/6	粘:有	締:強	
赤褐色土	5YR4/8	粘:有	締:強	
E2702				
褐色土	10YR4/6	粘:有	締:有	
黄褐色土	10YR5/8	粘:弱	締:有	浅黄橙色土少量
黄橙色土	10YR7/8	粘:有	締:有	灰白色土(中)斑状
淡黄色土	2.5Y8/3	粘:有	締:有	灰白色土(中)斑状
	色に色赤暗に土暗に色に土褐に色褐橙褐灰橙暗褐褐赤沢 は、	色土 にぶい赤褐	色土 にぶい赤褐 5YR4/3 粘:無 色土 赤褐色土 5YR4/8 粘:無 暗赤褐色土 5YR3/6 粘:無 にぶい橙色 5YR7/4 粘:弱 にぶい赤褐 5YR4/4 粘:弱 にぶい赤褐 6土 たぶい赤褐 5YR4/4 粘:弱 にぶい赤褐 6土 たぶい赤褐 5YR4/4 粘:弱 佐ぶい赤褐 6土 7.5YR4/6 粘:弱 佐土 7.5YR4/6 粘:弱 佐土 7.5YR4/6 粘:弱 灰白色土 7.5YR4/6 粘:弱 灰白色土 5YR3/6 粘:弱 灰白色土 5YR4/6 粘:病 赤褐色土 5YR3/6 粘:病 赤褐色土 5YR3/6 粘:有 表褐色土 5YR4/6 粘:有 表褐色土 5YR4/6 粘:有 表褐色土 5YR4/6 粘:有 表褐色土 5YR4/8 粘:有 表褐色土 5YR4/8 粘:有	色士 にぶい赤褐 5YR4/3 粘:無 締:弱 色土 赤褐色土 5YR4/8 粘:無 締:弱 信 が

# 図版 50

97S	E2703				
1.	淡橙色土	5YR8/4	粘:有	締:弱	灰白色土・褐色粒斑状
2.	黄褐色土	10YR5/8	粘:有	締:強	灰白色土・赤褐色粒斑状
3.	赤褐色土	5YR4/6	粘:弱	締:弱	
4.	明褐色土	7.5YR5/6	粘:弱	締:弱	
5.	橙色土	7.5YR6/8	粘:有	締:弱	灰自色粒斑状
97S	E2704				
1.	にぶい赤褐 色土	5YR4/4	粘:有	締:有	橙色土·灰白色土斑状。炭粒 少量
2.	橙色土	7.5YR6/8	粘:有	締:有	赤褐色土斑状。黒褐色土少量
1	にぶい赤褐	5YR4/4	粘:弱	締:弱	灰白色土・橙色土斑状
"	色土	, -			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
4.	明褐色土	7.5YR5/8	粘:有	締:有	灰白色土・橙色土斑状
	E2705				
1	褐色土	. , .		締:強	
2.	明褐色土	7.5YR5/8	粘:有	締:弱	
	橙色土	7.5YR6/6	粘:弱	締:弱	
	K2767				
1.	褐色土	7.5YR4/6	粘:有	締:有	灰白色土·黄橙色土斑状。炭 化物少量
97S	K1100				10102
1.	明褐色土	7.5YR5/6	粘:無	締:有	炭粒少量
	暗褐色土	10YR3/4	粘:無	締:有	炭粒少量
3.	にぶい黄橙	10YR6/4	粘:弱	締:有	橙色地山土(小)斑状
	色土				,
4.	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:強	橙色地山土(小)斑状
5.	明黄褐色土	10YR7/6	粘:弱	締:有	橙色地山土(小)斑状
6.	黄褐色土	10YR5/6	粘:弱	締:有	炭粒少量
7.	淡黄色土	5Y8/3	粘:弱	締:有	橙色地山土(小)斑状
97S	K905				
1.	明黄褐色土	10YR7/6	粘:弱	締:強	灰白色粒・黄橙色土(小)斑 状。炭粒少量
2.	にぶい黄褐 色土	10YR5/4	粘:弱	締:強	灰白色粒・黄橙色土(小)斑 状。炭粒少量
3.	明黄褐色土	10YR6/8	粘:弱	締:強	灰白色粒斑状。炭粒少量

# 図版 51 (1)

	(.,				
97S	E1360				
1.	にぶい褐色 土	7.5YR5/4	粘:弱	締:有	黄橙色+灰白色粒多量。炭粒
2.	灰褐色粘質 土	7.5YR5/2	粘:有	締:有	鉄分帯状。炭粒多量
3.	褐灰色粘土	7.5YR4/1	粘:強	締:有	鉄分・炭粒含む。
4.	青灰色粘土	10BG5/1	粘:強	締:弱	黒色砂質土(大)斑状。有機物 多量
97S	E1355				
1.	褐色土	10YR4/6	粘:無	締:強	炭粒少量。地山粒多量(特に 上部集中)
2.	にぶい褐色 土	7.5YR5/4	粘:弱	締:有	炭化物・地山粒少量
3.	灰黄褐色粘 質土	10YR5/2	粘:有	締:有	シルト土斑状。地山土(小)・ 炭粒少量

# 図版51(2)

	) ( ( )				
	青灰色粘土	10BG5/1	粘:強	締:弱	小砂利·有機物多量
97SE	932				
1.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:有	明黄褐色(小)・炭粒少量含
2.	黄褐色土	10YR5/6	粘:弱	締:有	炭粒少量。灰白色地山土斑状
3.	褐色シルト	10YR4/4	粘:有	締:弱	炭粒
	土	,			
97SK	(1230				
1.	明褐色土	7.5YR5/6	粘:無	締:有	底面に黄白色粘質土集中。炭
					粒少量
97SE					
1	褐色土	10YR4/6	粘:無	締:強	地山土(小)多量
	にぶい黄褐	10YR5/4	粘:弱	締:強	地山土主体。炭粒少量
	色土				
	にぶい黄褐	10YR5/4	粘:弱	締:強	地山土(中)多量。炭粒少量
1	色土				
1	明黄褐色土	10YR7/6	粘:弱	締:有	炭粒が帯状
5.	褐色土	10YR4/4	粘:弱	締:有	底面に炭化物集中。西壁に黒
					色粘土塊有り
	にぶい黄橙	10YR6/4	粘:弱	締:有	地山土主体
1	色土				and a second contract of the second
	にぶい黄橙 色土	10YR5/3	粘:有	締:有	地山土(中)・炭化物斑状
1		1.07770.0.10	WL ===	** +	W.I. I / I. / A B H W. A B
	にぶい黄橙 色土	10YR6/3	粘:弱	締:有	地山土(小)多量。炭粒少量
1	ロエ にぶい黄褐	1.0X/D.E. / 4	粘:有	締:弱	地山土(中)・炭化物斑状
	にかい 現代 色土	10YR5/4	柏:有	制:33	地田工(中)・灰化物斑状
97SE					
	褐色土	10YR4/4	粘:無	締:強	炭粒少量
1	黄褐色土	10TR4/4 10YR5/8	粘:弱	締:有	地山土(小)斑状。炭粒少量
1	黄褐色粘質	101R5/6	粘:有	締:有	炭粒少量
	與构巴和貝 十	10185/6	柏:有	和1:1月	灰粒少里
1	一 褐色粘質土	10YR4/4	粘:弱	締:有	地山粘質土斑状
97SF		10114/4	শ্র-গ্র	师,刊	地山柏貝工机伙
	304 褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:強	黄色土(小)斑状。炭粒少量
	1232	1011(4/0	শ্ল-গ্র	<b>ли. Э</b> Щ	央口工(小)州(小。灰粒/少里
	1232 褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:有	2層土・炭粒少量
1	构巴工 浅黄橙色粘	10YR4/6 10YR8/3	粘:物 粘:有	辉:有 締:強	2 向工· 灰型少里
	浅更恒巴粘 質土	101K8/3	柏: 目	7年:5虫	
	褐色粘質土	7.5YR4/6	粘:有	締:有	炭粒少量
1	にぶい黄褐	10YR5/3	粘:強	締:有	3層土・炭化物(小)斑状
	色粘質土	, 0			2000/19/200
$\overline{}$					

# 図版 52 (1)

凶版	52 (1)				
97S	E1231				
1.	黄橙色土	10YR7/8	粘:弱	締:有	地山粘質土斑状。炭化物 (小)・マンガン粒少量
2.	黄橙色土	10YR7/8	粘:弱	締:有	1層より地山粘質土少量。炭 粒・マンガン粒少量
3.	黄橙色シル ト	10YR7/8	粘:弱	締:有	5層土少量。炭粒・マンガン 粒少量
4.	浅黄橙色土	10YR8/3	粘:弱	締:有	122
5.	にぶい褐色 シルト	7.5YR5/3	粘:弱	締:有	マンガン粒・炭粒
6.	黄褐色シルト	10YR7/8	粘:弱	締:有	灰白色シルト多量
7.	浅黄橙色粘 質土	10YR8/3	粘:有	締:有	地山粘質土斑状。マンガン粒
8.	灰褐色粘質 土	7.5YR5/2	粘:有	締:有	7層土(大)。マンガン粒。炭 粒
97S	K549				
	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:強	炭粒少量
97S	E540				
1.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:強	明褐色土(小)斑状。炭化物少 量
2.	にぶい赤褐 色土	5YR4/4	粘:弱	締:強	
3.	暗褐色粘質 土	7.5YR3/4	粘:有	締:弱	炭・黄褐色粒少量
97S	E496				
1.	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:有	
2.	褐色土	7.5YR4/4	粘:有	締:弱	
3.	にぶい黄橙 色土	10YR7/2	粘:有	締:弱	明黄褐色土斑状。
97S	E200				
1.	明黄褐色粘 質土	10YR6/6	粘:有	締:有	褐色粘土・地山粘質土斑状
2.	褐色土	7.5YR4/4	粘:有	締:弱	
	褐色粘質土			締:有	明黄褐色粘土斑状
1 .	明黄褐色粘土	10YR6/8		締:有	
5.	灰色粘土	5Y5/1	粘:有	締:強	
	K202				
	黒褐色土	10YR2/2	粘:有	締:有	炭化物斑状
97S					
1.	褐色土	7.5YR4/6	粘:有	締:有	炭粒少量

# 図版52(2)

97SI	E773				
1.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:強	褐色土(小)・炭粒斑状
2.	にぶい黄褐 色土	10YR5/3	粘:弱	締:強	褐色土(小)斑状
3.	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:強	灰白色+黄橙色地山土(中)· 炭化物斑状
4.	褐色土	10YR4/4	粘:弱	締:強	2層土(小)多量。炭粒斑状
5.	灰黄褐色粘 質土	10YR5/2	粘:有	締:有	灰白色(中) · 炭斑状
6.	灰黄褐色粘 質土	10YR5/2	粘:有	締:有	灰白色(中)

97SE1000	図版	53				
2. 褐色土 10YR4/6 粘:無 締:強 炭粒少量 10YR5/6 粘:弱 総:強 炭粒少量 (下部に集中) 5. 褐色土 10YR4/6 粘:弱 総:強 炭粒・地山粒少量 6. 暗褐色土 10YR4/6 粘:弱 総:強 炭粒・地山粒少量 7. 褐色土 10YR4/6 粘:弱 総:強 炭粒・地山土少量 8. 黄褐色土 10YR4/6 粘:弱 総:強 炭粒・地山土少量 10YR4/6 粘:弱 総:強 炭粒少量。地山土斑状 10 0YR4/6 粘:弱 総:強 炭粒少量。地山土斑状 色土 10 0YR4/6 粘:弱 総:強 炭粒少量。地山土斑状 色土 10 0YR6/4 粘:弱 総:強 炭粒少量。地山土斑状 色土 12. にぶい黄橙 10YR6/4 粘:弱 総:強 炭粒少量。地山土斑状 6. にぶい黄橙 10YR6/3 粘:有 総:有 炭粒・マンガン粒少量。地山生斑状 6. たぶい黄橙 10YR6/3 粘:有 総:有 炭粒少量。地山粒少量 6. 灰白色土 10YR6/3 粘:有 総:有 炭粒少量。地山粒・マンガン 粒多量 10YR6/4 粘:有 総:有 炭粒少量。地山粒・マンガン 粒多量 10YR6/4 粘:有 総:弱 炭粒 9量。地山粒・マンガン 粒多量 10YR6/4 粘:治 総:弱 統:弱 炭粒 9量。 地山粒・マンガン 粒多量 10YR6/4 粘:治 総:弱 統:弱 炭粒・鉄分少量 17. 灰黄色粘質 2.5Y7/2 粘:強 統:弱 炭粒・鉄分少量 10YR4/6 粘:有 総:有 炭粒シ量。 10YR4/6 粘:有 統:有 炭粒多量 (上部に集中)。炭粒多量 10YR4/6 粘:初 統:有 統:有 黄褐色土(小)・炭粒斑状 2. 褐色土 7.5YR4/3 粘:有 統:有 黄褐色土(小)・炭粒斑状 1. 淡黄色粘質 2.5Y8/3 粘:有 統:有 黄褐色土(小)・炭粒斑状 1. 淡黄色粘質 2.5Y8/8 粘:有 統:有 黄色土 1 層土斑状 1 光質色粘質 2. 5YR7/8 粘:有 統:有 淡黄色土・1 層土斑状 1 大 1 大 1 大 1 大 1 大 1 大 1 大 1 大 1 大 1	97S1	E1000				
3. 黄褐色土 10YR5/6 粘:弱 締強 炭粒少量 (下部に集中) 10YR3/3 粘:弱 締治 炭粒多量 (下部に集中) 10YR3/4 粘:弱 締治 炭粒シ量 (下部に集中) 10YR4/6 粘:弱 締強 炭粒・地山粒少量 10YR4/6 粘:弱 締強 炭粒・単山土少量 10YR4/6 粘:弱 締強 炭粒・単山土少量 10YR5/6 粘:弱 締強 炭粒少量。地山土斑状 10、黄褐色土 10YR5/6 粘:弱 締治 炭粒少量。地山土斑状 他土土 2. にぶい黄橙 10YR6/4 粘:弱 締:強 シルト質。炭粒・単山粒少量 12. にぶい黄橙 10YR6/3 粘:有 炭粒・量。地山土斑状 6 色土 13. にぶい黄橙 10YR6/3 粘:有 統:有 炭粒・マンガン粒少量。地山土斑状 6 色土 14. にぶい黄橙 10YR6/3 粘:有 締:有 炭粒・マンガン粒少量。地山土(中) 斑状。炭粒少量。地山粒・マンガン 粒多量 10YR6/4 粘:カ 締:カ 炭粒・量。地山粒・マンガン 粒多量 10YR7/1 粘:強 締:弱 炭粒・鉄分少量 土 13. にぶい黄橙 10YR6/4 粘:カ 締:カ 炭粒・サンガン 粒多量 10YR6/4 粘:カ 締:カ 炭粒・サンガン 粒多量 10YR7/1 粘:強 締:弱 炭粒・鉄分少量 土 10YR4/6 粘:カ 締:カ 炭粒・サンル・ 炭粒斑状 2.5YR2/3 粘:カ 締:カ 黄橙色土(小)・炭粒斑状 7.5YR4/4 粘:弱 締:カ 黄褐色土(小)・炭粒斑状 7.5YR4/3 粘:カ 締:カ 黄橙色粘質 上 2.5YR2/8 粘:カ 締:カ 黄橙色粘質 土 7.5YR4/6 粘:弱 締:カ 黄橙色土(小)・炭粒斑状 1.4 黄橙色粘質 7.5YR7/8 粘:カ 締:カ 養:カ 養に力 炭粒の土・1層土斑状 (中・下位に集 中)。炭化物(大) 3 層色土斑状 (中・下位に集 中)。炭化物(大) 3 層色土斑状 (中・下位に集 中)。炭化物(大) 3 層土に類似。砂質が少量入 3、87587979 1. 黄橙色土 10YR6/4 粘:弱 締:カ 炭粒少量 2.にぶい黄橙 色粘質土 3.にぶい黄橙 10YR6/4 粘:弱 締:カ 炭粒少量 2.にぶい黄橙 色粘質土 3.にぶい黄橙 10YR6/4 粘:弱 締:カ 炭粒少量 2.5Y8/8 粘:弱 締:カ 炭粒少量 2.5Y8/8 粘:弱 締:カ 炭粒少量 2.5Y8/8 粘:弱 締:カ 炭粒少量 2.5Y8/8 粘:弱 締:カ 炭化物(大) 3、8月色土 5.5YR7/8 粘:弱 締:カ 炭粒少量 2.にぶい黄橙 10YR6/4 粘:弱 締:カ 炭粒少量 2.にがり黄柱 2.にがり黄柱 2.にがり黄柱 2.にがり黄柱 2.にがり黄柱 2.にがり黄柱 2.にがり黄柱 2.にがり黄柱 2.にがり 2	1.	褐色土	10YR4/6	粘:無	締:強	炭粒少量
<ul> <li>4. 暗褐色土 10YR3/3 粘:弱 締:有 炭粒多量(下部に集中) 炭粒・地山粒少量 総強 地山土少量 10YR4/6 粘:弱 締:強 炭粒・地山地少量 20YR5/6 粘:弱 締:強 炭粒・単山土斑状 10YR5/6 粘:弱 締:強 炭粒・単山土斑状 20 英格・ 20YR6/4 粘:弱 締:強 炭粒少量。地山土斑状 20 英枚少量。地山土斑状 20 大質 20 大の質 20 大</li></ul>	2.	褐色土	10YR4/6	粘:無	締:強	炭粒少量
<ul> <li>8. 褐色土 10YR4/6 粘:弱 締:強 炭粒・地山粒少量</li></ul>	3.	黄褐色土	10YR5/6	粘:弱	締:強	炭粒少量
6. 暗褐色土 10YR3/4 粘:弱 締有 炭粒多量 10YR4/6 粘:弱 締強 炭粒・地山土少量 10YR4/6 粘:弱 締強 炭粒・単山土少量 10YR4/6 粘:弱 締強 炭粒少量。地山土斑状 10YR6/6 粘:弱 締強 炭粒少量。地山土斑状 10YR6/4 粘:弱 締:強 炭粒少量。地山土斑状 色土 12. にぶい黄橙 10YR6/3 粘:有 炭粒・マンガン粒少量。地山土 2 化二 次 10YR6/3 粘:有 締:有 炭粒・マンガン粒少量。地山土 2 化二 次 10YR6/3 粘:有 締:有 炭粒・マンガン粒少量。地山土 2 化中) 近秋 2 北中) 五 2 北中) 1 北中)	4.	暗褐色土	10YR3/3	粘:弱	締:有	炭粒多量(下部に集中)
<ul> <li>7、褐色土 10YR4/6 粘:弱 締:強 炭粒・地山土少量 10YR5/6 粘:弱 締:強 炭粒少量。地山土斑状 10YR5/6 粘:弱 締:強 炭粒少量。地山土斑状 10YR6/4 粘:弱 締:強 炭粒少量。地山土斑状 04 世上 12. にぶい黄橙 色土 13. にぶい黄橙 10YR6/3 粘:弱 締:強 シルト質。炭粒・地山粒少量 色土 14. にぶい黄橙 10YR6/3 粘:有 締:有 炭粒・マンガン粒少量。地山土 (中) 2 世 15. にぶい黄橙 10YR6/4 粘:有 締:有 炭粒・マンガン粒少量。地山土 (中) 2 世 16. 灰白色粘質 10YR7/1 粘:強 締:弱 炭粒・銀ク少量。 地山土 (中) 2 世 17. 灰黄色粘質 2.5Y7/2 粘:強 締:弱 炭粒・鉄分少量 10YR4/6 粘:有 締:有 炭粒・鉄分少量 10YR4/6 粘:有 締:有 炭粒・鉄分少量 10YR4/6 粘:病 締:有 炭粒・鉄分少量 10YR4/6 粘:病 締:病 炭粒・鉄分少量 10YR4/6 粘:病 締:病 炭粒・鉄分少量 10YR4/6 粘:病 締:有 炭粒・鉄分少量 10YR4/6 粘:病 締:有 炭粒・鉄分少量 10YR4/6 粘:病 締:有 黄褐色土(小)・炭粒斑状 2. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 黄褐色土(小)・炭粒斑状 7.5YR4/3 粘:有 締:有 黄橙色粘質 上 2.5YR7/8 粘:病 締:有 黄橙色粘質 上 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 黄橙色粘質 10YR6/4 粘:弱 締:有 淡黄色土・1層土斑状 中)。炭化物(大) 3 層色土斑状 (中・下位に集 中)。炭化物(大) 3 層色土斑状 (中・下位に集 中)。炭化物(大) 3 層土に類似。砂質が少量入 3。</li> <li>97SE979 1. 黄橙色土 7.5YR8/8 粘:弱 締:有 炭粒少量 2.5xg/8</li> <li>1. 湯色土 7.5YR8/8 粘:病 締:有 次世也土 1 層土斑状 (中・下位に集 中)。炭化物(大) 3 層土に類似。砂質が少量入 3。</li> <li>97SE979 1. 黄橙色土 1 10YR4/3 粘:弱 締:有 炭粒少量 2.5xg/8</li> <li>1. 高松・石 炭色土・暗褐色土斑状 (中・下位に集 中)。炭化物(大) 3 層土に類似。砂質が少量入 3。</li> <li>97SE979 1. 黄橙色土 1 10YR4/3 粘:弱 締:有 炭粒少量 2.5xg/8</li> <li>1. 高松・石 炭色土・暗褐色土斑状 (中・下位に集 中)。炭化物(大) 3 層土に類似。砂質が少量入 3。</li> <li>97SE979 1. 黄橙色土 1 10YR6/4 粘:弱 締:有 炭粒少量 2.5xg/8</li> <li>1. 高松・石 炭粒や上・暗褐色土斑状 (中・下位に集 中)。炭化物(大) 3 層土・野板・石 炭粒や上 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</li></ul>	5.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:強	炭粒・地山粒少量
8. 黄褐色土 10YR5/6 粘:弱 締強 炭粒少量。地山土斑状 10 黄褐色土 10YR5/6 粘:弱 締強 炭粒少量。地山土斑状 色土 12. にぶい黄橙 10YR6/4 粘:弱 締:預 炭粒少量。地山土斑状 色土 13. にぶい黄橙 10YR6/3 粘:有 締:有 炭粒・マンガン粒少量。地山 2 (中) 2 (	6.	暗褐色土	10YR3/4	粘:弱	締:有	炭粒多量
9・褐色土 10YR4/6 粘:無 締強 地山土少量 10YR5/6 粘:弱 締強 炭粒少量。地山土斑状 11. にぶい黄橙 10YR6/4 粘:弱 締強 炭粒少量。地山土斑状 色土 12. にぶい黄橙 10YR6/3 粘:有 総:有 炭粒・マンガン粒少量。地山 1. にぶい黄橙 10YR6/3 粘:有 締:有 炭粒・マンガン粒少量。地山土(中) 斑状。炭粒少量。地山土(中) 炭粒少量。地山土(中) 斑状。炭粒少量。地山土(中) 斑状。炭粒少量。地山土(中) 斑状。炭粒少量。地山土(中) 斑状。炭粒少量。地山土(中) 斑状。炭粒少量。地山土(中) 斑状。炭粒少量。地山土(中) 斑状。炭粒少量 10YR7/1 粘:強 締:弱 炭粒・鉄分少量 10YR7/1 粘:強 締:弱 炭粒・鉄分少量 10YR4/6 粘:有 締:有 炭粒少量。地山土(大)多量 (上部に集中)。 京SE1233 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 海色土(小)・炭粒斑状 2. 褐色土 2.5Y8/3 粘:有 締:有 編色土(力)・炭粒斑状 1. 淡黄色粘質 土 2.5Y8/3 粘:有 締:有 褐色土多量 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 海色土(小)・炭粒斑状 黄橙色粘質土斑状 土 1. 淡黄色粘質 2.5Y8/3 粘:有 締:有 海色土多量 1. 湯色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 海色土多量 1. 湯色土 7.5YR7/8 粘:弱 締:有 海色土斑状 (中・下位に集中)。 京SE5979 1. 黄橙色土 7.5YR8/8 粘:弱 締:有 海色土斑状 (中・下位に集中)。炭化物(大) 57SE979 1. 黄橙色土 7.5YR8/8 粘:弱 締:有 炭粒少量 2. にぶい黄橙 10YR6/4 粘:弱 締:有 鉄分・炭粒少量 2. にぶい黄橙 10YR6/4 粘:弱 締:有 紫黄色土・暗褐色土斑状 炭黄色土・斑状 2. 紫黄色土・暗褐色土斑状 2. 紫黄色土・斑状 2. 紫黄色土・暗褐色土斑状 2. 紫黄色土・斑状 2. 紫黄色土・暗褐色土斑状 2. 紫黄色土・暗褐色土斑状 2. 紫黄色土・暗褐色土斑状 2. 紫黄色土・暗褐色土斑状 2. 紫黄色土・暗褐色土斑状 2. 紫黄色土・紫黄色土・暗褐色土斑状 2. 紫黄色土・暗褐色土斑状 2. 紫黄色土・紫黄色土・暗褐色土斑状 2. 紫黄色土・紫黄色土・暗褐色土斑状 2. 紫黄色土・紫黄色土・紫黄色土・暗褐色土斑状 2. 紫黄色土・紫黄色土・紫黄色土・紫黄色土・紫黄色土・紫黄色土・紫黄色土・紫黄色土・	7.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:強	炭粒・地山土少量
10. 黄褐色土 10YR5/6 粘:弱 締:強 炭粒少量。地山土斑状色土 12. にぶい黄橙 10YR7/2 粘:弱 締:有 炭粒ツ量。地山土斑状色土 13. にぶい黄橙 10YR6/3 粘:有 締:有 炭粒ツ量。地山粒少量。地山土(中) 14. にぶい黄橙 10YR6/3 粘:有 締:有 炭粒ツ量。地山粒・マンガン粒多量。地山土(中) 斑状。炭粒少量。地山土(中) 斑疹 量 地山土(中) 斑状。炭粒少量 2.5Y7/2 粘:強 締:弱 炭粒・鉄分少量 10YR7/1 粘:強 締:弱 炭粒・鉄分少量 2.5Y7/2 粘:強 締:弱 炭粒・鉄分少量 10YR4/6 粘:有 締:有 炭粒ツ量。地山土(大)多量 (上部に集中)。 炭粒多量 2.5Y7/2 粘:強 締:弱 炭粒・鉄分少量 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 黄褐色土(小)・炭粒斑状 2. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 黄褐色土(小)・炭粒斑状 2. 褐色土 2. 5Y8/3 粘:有 締:有 黄色色粘質 土 2. 5Y8/3 粘:有 締:有 黄褐色土(小)・炭粒斑状 2. 大変黄色粘質 2. 5Y8/6 粘:弱 締:有 褐色土多量 1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 大変黄色土 1 屋色粘質土 2. 枝色粘質 1. 大変黄色粘質 5YR7/6 粘:弱 締:有 大変黄色土・1 屋上斑状 (中・下位に集中)。 炭化物(大) 3 屋上 1 略褐色土斑状 2 と 2 と 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を 3	8.	黄褐色土	10YR5/6	粘:弱	締:強	炭粒少量。地山土斑状
11. にぶい黄橙 10YR6/4 粘:弱 締有 炭粒少量。地山土斑状色土 12. にぶい黄橙 10YR7/2 粘:弱 締:強 シルト質。炭粒・地山粒少量 色土 13. にぶい黄橙 10YR6/3 粘:有 締:有 炭粒・マンガン粒少量。地山土(中) 4. にぶい黄橙 10YR6/4 粘:有 締:有 炭粒・マンガン粒少量。地山土(中) 斑状。炭粒少量 地山土(中) 斑状。炭粒少量 地山土(中) 斑状。炭粒少量 地山土(中) 斑状。炭粒少量 地山土(中) 斑状。炭粒少量 地山土(中) 斑状。炭粒少量 土 17. 灰黄色粘質 2.5Y7/2 粘:強 締:弱 炭粒・鉄分少量 土 17. 灰黄色粘質 2.5Y7/2 粘:強 締:弱 鉄分沈着。有機腐食物多量 土 10YR4/6 粘:有 締:有 一気埋め。明褐色+黄褐色地山土(大)多量(上部に集中)。炭粒多量 2.5Y8/3 粘:有 締:有 黄橙色粘質 2.5Y8/3 粘:有 締:有 黄橙色粘質 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 黄橙色粘質土斑状 土 淡黄色粘質 2.5Y8/6 粘:弱 締:有 褐色土多量 土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 大きをを 1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 黄橙色粘質土斑状 土 2. 橙色粘質 2.5Y8/8 粘:有 締:有 大きを 1. 母色土 7.5YR4/8 粘:有 締:有 大きを 2. たぎい黄橙 2. たぎい黄褐 2. たぎい黄橙 3. たぎい黄橙 4. 洗漬 2. たぎい黄橙 4. 未弱 4. 赤石 4. 赤石 4. 大麦色 4.	9.	褐色土	10YR4/6	粘:無	締:強	地山土少量
色土 12. にぶい黄橙 10YR7/2 粘:弱 締:強 シルト質。炭粒・地山粒少量 色土 13. にぶい黄橙 10YR6/3 粘:有 締:有 炭粒・マンガン粒少量。地山土(中) 発移量 10YR6/3 粘:有 締:有 炭粒・マンガン粒少量。地山土(中) 斑状。炭粒少量 10YR7/1 粘:強 締:弱 炭粒・鉄分少量 10YR7/1 粘:強 締:弱 炭粒・鉄分少量 10YR7/1 粘:強 締:弱 炭粒・鉄分少量 10YR4/6 粘:有 締:有 一気埋め。明褐色+黄褐色地山土(大)多量(上部に集中)。炭粒多量 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 黄褐色土(小)・炭粒斑状 2.褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 黄褐色土(小)・炭粒斑状 2.海色土質 2.5Y8/3 粘:有 締:有 黄橙色粘質 土 (2.5Y8/3 粘:有 締:有 黄橙色粘質 土 (2.5YR7/8 粘:弱 締:有 大田山土(大)少量。炭粒斑状 (中・下位に集中)。炭化物(大) 3 黄橙色粘質 5YR7/6 粘:弱 締:有 大田山土(大)少量。炭粒斑状 (中・下位に集 中)。炭化物(大) 3 層色土斑状 (中・下位に集 中)。炭化物(大) 3 層色土斑状 (中・下位に集 中)。炭化物(大) 3 層色土質状 (中・下位に集 中)。炭化物(大) 3 層土に類似。砂質が少量入る。 7.5YR8/8 粘:弱 締:有 炭粒少量 2.にぶい黄橙 10YR6/4 粘:弱 締:有 炭粒少量 2.に次い黄橙 10YR6/4 粘:弱 締:有 炭粒少量 2.に次い黄橙 10YR6/4 粘:弱 締:有 炭粒少量 2.に次い黄橙 10YR6/4 粘:弱 締:有 鉄分・炭粒少量 2.に次い黄橙 10YR6/4 粘:弱 締:有 横:有 横:有 大砂粒少量 2.に次い黄橙 10YR6/4 粘:弱 締:有 横:有 横色土少量 3.に次い黄橙 10YR4/3 粘:弱 締:有 横色土少量 3.に次い黄橙 10YR4/3 粘:弱 締:有 横色土少量 4. 淡黄色粘質 5.5%3 粘:有 稀:有 褐色土少量 4. 淡黄色粘質 5.5%3 粘:有 稀:有 横上处量 5.5%3 粘:有 稀:有 株:有 株:有 株:有 株:有 株:有 株:有 株:有 株:有 株:有 株	10.	黄褐色土	10YR5/6	粘:弱	締:強	炭粒少量。地山土斑状
色土 13. にぶい黄橙 10YR6/3 粘:有 締:有 炭粒・マンガン粒少量。地山 色土 14. にぶい黄橙 10YR6/3 粘:有 締:有 炭粒・マンガン粒少量。地山 2・サンカン 2・サンカンカン 2・サンカン 3・原花 2・サンカン 3・原花 3・原花 3・原花 3・原花 3・原花 3・原花 3・原花 3・原花	11.		10YR6/4	粘:弱	締:有	炭粒少量。地山土斑状
<ul> <li>色土</li> <li>14. にぶい黄橙 10YR6/3 粘:有 締:有 炭粒少量。地山粒・マンガン 検シ量</li> <li>15. にぶい黄橙 10YR6/4 粘:有 締:有 炭粒少量。地山粒・マンガン 大多量 地山土(中)斑状。炭粒少量</li> <li>16. 灰白色粘質 上 10YR7/1 粘:強 締:弱 炭粒・鉄分少量 土</li></ul>	12.		10YR7/2	粘:弱	締:強	シルト質。炭粒・地山粒少量
色土     10YR6/4     粘:有     粒多量       15. にぶい黄橙 色土     10YR7/1     粘:菊     締:弱     炭粒・鉄分少量       16. 灰白色粘質 土     2.5Y7/2     粘:強     締:弱     炭粒・鉄分少量       17. 灰黄色粘質 土     2.5Y7/2     粘:強     締:弱     鉄分沈着。有機腐食物多量       97SE1233     1. 褐色土     10YR4/6     粘:有     一気埋め。明褐色+黄褐色地山土(大)多量(上部に集中)。炭粒斑状       1. 褐色土     7.5YR4/4     粘:弱     締:強     黄褐色土(小)・炭粒斑状       2. 褐色土     7.5YR4/3     粘:有     締:有     黄色色上(小)・炭粒斑状       4. 淡黄色粘質 土     2.5Y8/3     粘:有     締:有     褐色土多量       97SE586     1. 褐色土     7.5YR4/6     粘:弱     締:有     地山土(大)少量。炭粒斑状       1. 褐色土     7.5YR7/8     粘:有     締:有     地山土(大)少量。炭粒斑状       2. 橙色粘質 土     7.5YR7/8     粘:有     締:有     地山土(大)少量。炭粒斑状       4. 黄橙色粘質 シルト     7.5YR7/8     粘:有     締:有     地山土(大)少量。炭粒斑状       4. 黄橙色土     7.5YR7/8     粘:有     締:有     地山土(大)少身量。       97SE979     1. 黄橙色土     7.5YR8/8     粘:弱     締:有     カー       1. 皮管色土     7.5YR8/8     粘:弱     締:有     炭黄色土・暗褐色土斑状       2. にぶい黄橙     10YR6/4     粘:弱     焼粒少上       2. にぶい黄砂     10YR6/4     粘:弱     鉄労・     大大型・       2. 佐藤白     10YR6/4	13.		10YR6/3	粘:有	締:有	
色土   16. 灰白色粘質   10YR7/1   粘:強   締:弱   炭粒・鉄分少量   土   17. 灰黄色粘質   2.5Y7/2   粘:強   締:弱   鉄分沈着。有機腐食物多量   2.5Y7/2   粘:強   締:弱   鉄分沈着。有機腐食物多量   1. 褐色土   7.5YR4/4   粘:弱   締:有   黄褐色土(小)・炭粒斑状   支援色粘質   2.5Y8/3   粘:有   締:有   黄褐色土(小)・炭粒斑状   黄橙色粘質   土   2.5Y8/3   粘:有   締:有   褐色土多量   土   2.5Y8/8   粘:弱   締:有   褐色土多量   土   2.5YR7/8   粘:弱   締:有   海色土多量   土   2.5YR7/8   粘:弱   締:有   海色土斑状 (中・下位に集中)。	14.		10YR6/3	粘:有	締:有	
土     17. 灰黄色粘質 土     2.5Y7/2 粘:強 締:弱 鉄分沈着。有機腐食物多量 土       97SE1233     1. 褐色土     10YR4/6 粘:有 締:有 一気埋め。明褐色+黄褐色地山土(大)多量(上部に集中)。炭粒多量       97SE561     1. 褐色土     7.5YR4/4 粘:弱 締:預 黄褐色土(小)・炭粒斑状 九       2. 褐色土     7.5YR4/3 粘:有 締:有 黄褐色土(小)・炭粒斑状 九       4. 淡黄色粘質 土     2.5Y8/3 粘:有 締:有 横色土多量 土       97SE586     1. 褐色土     7.5YR4/6 粘:弱 締:有 大分R7/6 粘:弱 締:有 淡黄色土・1層土斑状 (中・下位に集中)。炭化物(大)       1. 褐色土     7.5YR7/8 粘:有 締:有 満年 土     地山土(大)少量。炭粒斑状 中・下位に集中)。炭化物(大) 3層土斑状 (中・下位に集中)。炭化物(大) 3層土斑状 (中・下位に集中)。炭化物(大) 3層土に類似。砂質が少量入る。       97SE979     1. 黄橙色土     7.5YR7/8 粘:弱 締:有 締:有 海・治 炭粒少量 上部質土 10YR4/3 粘:弱 締:有 炭粒少量 上部質土 10YR4/3 粘:弱 締:有 鉄分・炭粒少量 色粘質土 4. 淡黄色粘質 5Y8/3 粘:有 締:有 褐色土少量	15.		10YR6/4	粘:有	締:有	地山土(中)斑状。炭粒少量
+ 97SE1233 1. 褐色土 10YR4/6 粘:有 締:有 一気埋め。明褐色+黄褐色地山土(大)多量(上部に集中)。 炭粒多量 97SE561 1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:有 黄褐色土(小)・炭粒斑状 2. 褐色土 7.5YR4/3 粘:有 締:有 黄橙色粘質土斑状 4. 淡黄色粘質 土 2.5Y8/3 粘:有 締:有 黄橙色粘質土斑状 2. 橙色粘質土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 褐色土多量 97SE586 1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 褐色土多量 4. 黄橙色粘質 5YR7/6 粘:弱 締:有 海色土 頭北 (中・下位に集中)。 炭粒斑状 (中・下位に集中)。 炭化物(大) 4. 黄橙色粘質 カーラ お:有 締:有 海色土斑状 (中・下位に集中)。 炭化物(大) 97SE979 1. 黄橙色土 7.5YR7/8 粘: 有 締:有 海色土斑状 (中・下位に集中)。 炭化物(大) 97SE979 1. 黄橙色土 7.5YR8/8 粘:弱 締:有 炭粒少量 とにぶい黄橙 色粘質土 10YR4/3 粘:弱 締:有 炭粒少量 と粘質土 10YR4/3 粘:弱 締:有 鉄分・炭粒少量 色粘質土 4. 淡黄色粘質 5Y8/3 粘: 有 稀: 有 褐色土少量	16.		10YR7/1	粘:強	締:弱	炭粒・鉄分少量
1. 褐色土     10YR4/6     粘:有     締:有     一気埋め。明褐色+黄褐色地山土(大)多量(上部に集中)。炭粒多量       97SE561     1. 褐色土     7.5YR4/4     粘:弱     締:強     黄褐色土(小)・炭粒斑状       2. 褐色土     7.5YR4/3     粘:有     締:有     黄褐色土(小)・炭粒斑状       3. 淡黄色粘質 土     2.5Y8/3     粘:有     締:有     黄橙色粘質土斑状       4. 淡黄色粘質 土     2.5Y8/3     粘:有     橘色土多量土       97SE586     1. 褐色土     7.5YR7/6     粘:弱     締:有     地山土(大)少量。炭粒斑状       1. 褐色土     5YR7/6     粘:弱     締:有     大量土     大型大型大型大型大型大型大型大型大型大型大型大型大型大型大型大型大型大型大型	17.		2.5Y7/2	粘:強	締:弱	鉄分沈着。有機腐食物多量
1	97S1	E1233				
97SE561       1. 褐色土       7.5YR4/4       粘:弱       締:強       黄褐色土(小)・炭粒斑状         2. 褐色土       7.5YR4/3       粘:有       締:有       黄褐色土(小)・炭粒斑状         3. 淡黄色粘質       2.5Y8/3       粘:有       締:有       黄橙色粘質土斑状         4. 淡黄色粘質       2.5Y8/3       粘:有       編色土多量         97SE586       1. 褐色土       7.5YR4/6       粘:弱       締:有       地山土(大)少量。炭粒斑状         2. 橙色粘質土       5YR7/6       粘:弱       締:有       地山土(大)少量。炭粒斑状         3. 黄橙色粘質 土       7.5YR7/8       粘:有       締:有       地山土(大)少量。炭粒斑状         4. 黄橙色粘質 シルト       7.5YR7/8       粘:有       締:有       湖色土斑状(中・下位に集中)。炭化物(大)         97SE979       1. 黄橙色土       7.5YR8/8       粘:弱       締:有       淡黄色土・暗褐色土斑状         1. だい黄橙 色粘質土       7.5YR8/8       粘:弱       締:有       炭粒少量         2. にぶい黄橙       10YR6/4       粘:弱       統:有       炭粒少量         2. にぶい黄橙       10YR4/3       粘:弱       統:有       鉄)・炭粒少量         2. にぶい黄色       10YR4/3       粘:弱       統:有       鉄)・炭粒少量         4. 淡黄色粘質       5Y8/3       粘:有       4色土少星	1.	褐色土	10YR4/6	粘:有	締:有	山土(大)多量(上部に集中)。
1. 褐色土 7.5YR4/4 粘:弱 締:強 黄褐色土(小)・炭粒斑状 2. 褐色土 7.5YR4/3 粘:有 締:有 黄褐色土(小)・炭粒斑状 4. 淡黄色粘質 2.5Y8/3 粘:有 締:有 黄橙色粘質土斑状 4. 淡黄色粘質 2.5Y8/3 粘:有 締:有 褐色土多量 土 97SE586 1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 浅黄色土・1層土斑状 2. 橙色粘質土 7.5YR7/8 粘:有 統:有 浅黄色土・1層土斑状 (中・下位に集 中)。炭化物(大) 57SE979 1. 黄橙色土 7.5YR7/8 粘:有 締:有 3層土に類似。砂質が少量入 3。 97SE979 1. 黄橙色土 7.5YR8/8 粘:弱 締:有 炭粒少量 0. にぶい黄橙 10YR6/4 粘:弱 締:有 炭粒少量 0. にぶい黄橙 10YR6/4 粘:弱 締:有 炭粒少量 0. にぶい黄橙 10YR6/4 粘:弱 締:有 炭粒少量 2. にぶい黄橙 10YR6/4 粘:弱 締:有 炭粒少量 2. にぶい黄橙 10YR4/3 粘:弱 締:有 炭粒少量 2. にぶい黄色土 10YR4/3 粘:弱 締:有 炭粒少量 0. とい黄花 10YR4/3 粘:弱 締:有 紫黄色土・暗褐色土斑状 皮粒少量 4. 淡黄色粘質 5Y8/3 粘:有 稀:有 褐色土少量	97S1	E561				(八正) 王
2. 褐色土     7.5YR4/3     粘:有     締:有     黄褐色土(小)・炭粒斑状       3. 淡黄色粘質 土     2.5Y8/3     粘:有     締:有     黄橙色粘質土斑状       4. 淡黄色粘質 土     2.5Y8/3     粘:有     褐色土多量       97SE586     1. 褐色土     7.5YR4/6     粘:弱     締:有     地山土(大)少量。炭粒斑状       3. 黄橙色粘質 土     7.5YR7/8     粘:有     織百土     1層土斑状     (中・下位に集中)。炭化物(大)       4. 黄橙色粘質 シルト     7.5YR7/8     粘:有     3層土に類似。砂質が少量入る。       97SE979     1. 黄橙色土     7.5YR8/8     粘:弱     締:有     波黄色土・暗褐色土斑状       2. にぶい黄橙 白粘質土     10YR6/4     粘:弱     締:有     炭粒少量       2. にぶい黄褐 白牝質土     10YR4/3     粘:弱     締:有     鉄大砂少量       4. 淡黄色粘質 大水り質     5Y8/3     粘:有     4色土少量			7.5YR4/4	粘:弱	締:強	黄褐色土(小)·炭粉斑状
3. 淡黄色粘質 土     2.5Y8/3     粘:有     締:有     黄橙色粘質土斑状       4. 淡黄色粘質 土     2.5Y8/3     粘:有     締:有     褐色土多量       97SE586     1. 褐色土     7.5YR4/6     粘:弱     締:有     地山土(大)少量。炭粒斑状       2. 橙色粘質土     5YR7/6     粘:弱     締:有     漫色土・1 層土斑状       3. 黄橙色粘質土     7.5YR7/8     粘:有     締:有     漫色土斑状(中・下位に集中)。炭化物(大)       4. 黄橙色粘質 シルト     7.5YR7/8     粘:弱     締:有     3層土に類似。砂質が少量入る。       97SE979     1. 黄橙色土     7.5YR8/8     粘:弱     締:南     淡黄色土・暗褐色土斑状       2. にぶい黄橙 色粘質土     10YR6/4     粘:弱     締:有     炭粒少量       2. にぶい黄褐 色粘質土     10YR4/3     粘:弱     締:有     鉄分・炭粒少量       4. 淡黄色粘質     5Y8/3     粘:有     補:有     褐色土少量			,			
土       97SE586       1. 褐色土     7.5YR4/6     粘:弱     締:有     地山土(大)少量。炭粒斑状       2. 橙色粘質土     5YR7/6     粘:弱     締:有     淡黄色土・1層土斑状       3. 黄橙色粘質 土     7.5YR7/8     粘:有     褐色土斑状 (中・下位に集中)。炭化物(大)       4. 黄橙色粘質 シルト     7.5YR7/8     粘:弱     締:有       97SE979     1. 黄橙色土     7.5YR8/8     粘:弱     締:強     淡黄色土・暗褐色土斑状       2. にぶい黄橙 色粘質土     10YR6/4     粘:弱     締:有     炭粒少量       2. にぶい黄橙 色粘質土     10YR4/3     粘:弱     締:有     鉄分・炭粒少量       4. 淡黄色粘質     5Y8/3     粘:有     褐色土少量	3.		2.5Y8/3	粘:有	締:有	
1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 地山土(大)少量。炭粒斑状 2. 橙色粘質 7.5YR7/8 粘:有 締:有 海色土斑状 (中・下位に集 中)。炭化物(大) 3層土に類似。砂質が少量入 2。 7.5YR7/8 粘:病 締:有 海色土斑状 (中・下位に集 中)。炭化物(大) 3層土に類似。砂質が少量入 2。 7.5YR8/8 粘:弱 締:有 炭粒少量 色粘質土 7.5YR8/8 粘:弱 締:有 炭粒少量 色粘質土 10YR6/4 粘:弱 締:有 鉄分・炭粒少量 色粘質土 4. 淡黄色粘質 5Y8/3 粘:弱 締:有 褐色土少量	4.		2.5Y8/3	粘:有	締:有	褐色土多量
2. 橙色粘質土     5YR7/6     粘:弱     締:有     淡黄色土・1層上斑状       3. 黄橙色粘質 7.5YR7/8 土:     粘:有     総白土斑状 (中・下位に集中)。炭化物(大)       4. 黄橙色粘質 2.レト     7.5YR7/8     粘:有     海に類似。砂質が少量入る。       97SE979     1. 黄橙色土 7.5YR8/8     粘:弱     締:亩     炭黄色土・暗褐色土斑状       2. にぶい黄橙 10YR6/4 色粘質土     粘:弱     締:亩     炭粒少量       2. にぶい黄樹 10YR4/3 松:弱     粘:弱     締:亩     鉄分・炭粒少量       色粘質土 4. 淡黄色粘質 5Y8/3     粘:布     褐色土少量	97SI	E586				
2. 橙色粘質土     5YR7/6     粘:弱     締:有     淡黄色土・1層土斑状       3. 黄橙色粘質 九5YR7/8 土・     粘:有     締:有     褐色土斑状 (中・下位に集中)。炭化物(大)       4. 黄橙色粘質 シルト     7.5YR7/8     粘:有     海:有       97SE979     1. 黄橙色土 7.5YR8/8     粘:弱     締:強     淡黄色土・暗褐色土斑状       1. にぶい黄橙 白いYR6/4 色粘質土     粘:弱     締:有     炭粒少量       2. にぶい黄橙 白粘質土     10YR4/3     粘:弱     締:有     鉄分・炭粒少量       2. にぶい黄色     10YR4/3     粘:弱     締:有     鉄分・炭粒少量       4. 淡黄色粘質     5Y8/3     粘:有     褐色土少量	1.	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:有	地山土(大)少量。炭粒斑状
3. 黄橙色粘質 土     7.5YR7/8 粘:有 総・有 製造性物(大)       4. 黄橙色粘質 シルト     7.5YR7/8 粘:有 締:有 3層土に類似。砂質が少量入 20ルト       97SE979     1. 黄橙色土 7.5YR8/8 粘:弱 締:預 淡黄色土・暗褐色土斑状 皮粘質土       2. にぶい黄橙 白粘質土 3. にぷい黄褐 色粘質土 4. 淡黄色粘質 5Y8/3     粘:弱 締:有 鉄分・炭粒少量       4. 淡黄色粘質 5Y8/3     粘:有 締:有 褐色土少量	2.	橙色粘質土	5YR7/6	粘:弱	締:有	
4. 黄橙色粘質 シルト     7.5YR7/8     粘:有 締:有 3層土に類似。砂質が少量入る。       97SE979     1. 黄橙色土 7.5YR8/8     粘:弱 締:強 淡黄色土・暗褐色土斑状       2. にぶい黄橙 色粘質土 8. にぶい黄褐 色粘質土 4. 淡黄色粘質 5Y8/3     粘:弱 締:有 鉄分・炭粒少量       4. 淡黄色粘質 5Y8/3     粘:有 締:有 褐色土少量	3.		7.5YR7/8	粘:有	締:有	
1. 黄橙色土     7.5YR8/8     粘:弱     締:強     淡黄色土・暗褐色土斑状       2. にぶい黄橙     10YR6/4     粘:弱     締:有     炭粒少量       色粘質土     3. にぶい黄褐     10YR4/3     粘:弱     締:有     鉄分・炭粒少量       色粘質土     4. 淡黄色粘質     5Y8/3     粘:有     稀:有     褐色土少量	4.		7.5YR7/8	粘:有	締:有	3層土に類似。砂質が少量入
<ol> <li>にぶい黄橙 10YR6/4 粘:弱 締:有 炭粒少量 色粘質土</li> <li>にぶい黄褐 10YR4/3 粘:弱 締:有 鉄分・炭粒少量 色粘質土</li> <li>淡黄色粘質 5Y8/3 粘:有 締:有 褐色土少量</li> </ol>	97S1	E979				
色粘質土 3. にぶい黄褐 10YR4/3 粘:弱 締:有 鉄分・炭粒少量 色粘質土 4. 淡黄色粘質 5Y8/3 粘:有 締:有 褐色土少量			7.5YR8/8	粘:弱	締:強	淡黄色土・暗褐色土斑状
<ol> <li>にぶい黄褐 10YR4/3 粘:弱 締:有 鉄分・炭粒少量 色粘質土</li> <li>淡黄色粘質 5Y8/3 粘:有 締:有 褐色土少量</li> </ol>	2.		10YR6/4	粘:弱	締:有	炭粒少量
4. 淡黄色粘質 5Y8/3 粘:有 締:有 褐色土少量	3.	にぶい黄褐	10YR4/3	粘:弱	締:有	鉄分・炭粒少量
	4.	淡黄色粘質	5Y8/3	粘:有	締:有	褐色土少量

# 図版54 (1)

凶版	54 (1)				
97S1	K562				
1.	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:強	明褐色土層状に入る。炭粒・ 灰白色土(小)斑状
2.	淡黄色粘質 土	5Y8/3	粘:弱	締:有	黄橙色土・1 層土少量
97S1	K563				
1.	橙色土	7.5YR6/8	粘:無	締:強	炭粒少量
2.	明黄褐色土	10YR6/8	粘:無	締:強	
3.	黄褐色土	10YR5/8	粘:無	締:強	灰白色粒少量
4.	暗褐色土	10YR3/4	粘:無	締:強	灰白色シルトが少量(下部)。 炭粒少量
5.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:強	明黄褐色土斑状。炭粒少量
97S1	E980				
1.	褐色土	10YR4/6	粘:無	締:強	地山シルト斑状。炭粒
2.	橙色土	7.5YR7/6	粘:無	締:強	褐色土少量
3.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:強	灰白色土少量。炭粒
4.	明黄褐色土	10YR6/6	粘:弱	締:有	地山主体土。炭粒少量
5.	黄褐色土	10YR5/6	粘:弱	締:有	6層土斑状
6.	淡黄色土	5Y8/3	粘:有	締:弱	橙色シルト土斑状

# 図版54(2)

7. 褐色粘質土   10YR4/4   粘:肉   統:肉   炭粒少量   松:肉   大球種   10YR5/4   粘:肉   統:弱   6						
9. にぶい黄褐 10YR5/4 粘:有 締:弱 6層上ラミナ状堆積 色粘質土 10YR4/6 粘:弱 締:強 灰白色シルト(中)・炭斑状 原白色シルト(中)・炭斑状 緑:	7.	褐色粘質土	10YR4/4	粘:弱	締:有	炭粒少量
世 会報質士			5Y8/3	粘:有	締:弱	7層土(小)斑状
75K881	9.		10YR5/4	粘:有	締:弱	6層土ラミナ状堆積
1. 褐色土 10YR4/6 粘:弱 締:強 灰白色シルト(中)・炭斑状						
2. 褐色土 10YR4/6 粘:弱 締:強 灰白色シルト(中)・炭斑状 独立 鉄分沈着 色土 P. にぶい黄橙 10YR6/3 粘:無 締:強 黄橙色地山土斑状 色土 97SE280 1. にぶい黄褐 10YR4/6 粘:弱 締:箱 炭粒・浅黄橙色地山土(小)頭 (大 ) (大						
3. にぶい黄褐 10YR6/3 粘:弱 締:有 灰白色粒・炭粒、鉄分沈着色土 10YR6/3 粘:無 締:強 黄橙色地山土斑状			,			
世上			10YR4/6	粘:弱	締:強	灰白色シルト(中)・炭斑状
P. にぶい黄橙 10YR6/3 粘:無 締:強 黄橙色地山土斑状色土 1、にぶい黄褐 10YR4/6 粘:弱 締:強 炭粒・浅黄橙色地山土(小)斑状 2、褐色土 10YR4/6 粘:弱 締:強 炭粒多量 97SE280 1. 褐色粘土 7.5YR4/4 粘:有 総:有 黒色炭・赤褐色粘土斑状 14、褐色土 10YR4/6 粘:弱 締:有 黒色炭・赤褐色粘土斑状 14、褐色土 10YR4/6 粘:弱 締:有 黒色炭・赤褐色粘土斑状 15 紫褐色粘土 5YR4/6 粘:弱 締:有 15、黄褐色粘土 5YR4/6 粘:有 締:有 15、黄褐色粘土 7.5YR4/3 粘:有 締:有 15、黄褐色粘土 7.5YR4/3 粘:有 締:有 15、 16、 16、 16、 16、 16、 16、 16、 16、 16、 16	3.		10YR5/3	粘:弱	締:有	灰白色粒・炭粒。鉄分沈着
(色土	D		10VD6/9	业 I 4mi	\$45.76c	<b>基</b> 熔布抽山土斑4
1. にぶい黄褐 10YR5/3 粘:弱 締:強 炭粒・浅黄橙色地山土(小)斑状 57SE280 1. 褐色粘土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 黒色炭・赤褐色粘土斑状 2. 褐色粘土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 黒色炭・赤褐色粘土斑状 4. 褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:有 5. 黄褐色粘土 5YR4/6 粘:弱 締:有 8:有 4. 尽必松色 1. 反黄褐色土 10YR5/8 粘:病 締:有 8:有 8:有 8:有 8:有 8:有 8:有 8:有 8:有 8:有 8	1.		10110/5	M11 - M15	AUC. 104	英位占地山工州代
世生 2. 褐色土 10YR4/6 粘: 弱 締: 強 黄橙色粒。炭粒多量 97SE280 1. 褐色粘土 7.5YR4/4 粘: 有 綿: 有 黒色炭・赤褐色粘土斑状 1. 褐色シルト 7.5YR4/6 粘: 弱 締: 有 黒色炭・赤褐色粘土斑状 1. ス・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マー	97SI	ζ982				
世生 2、褐色土 10YR4/6 粘:弱 締:強 黄橙色粒。炭粒多量 97SE280 1、褐色粘土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 黒色炭・赤褐色粘土斑状 2、褐色粘土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 黒色炭 赤褐色粘土斑状 4、褐色土 10YR4/6 粘:弱 締:有 上 4、褐色土 10YR4/6 粘:弱 締:有 第:有 5 黄褐色粘土 5YR4/6 粘:有 締:有 8:有 8:有 8:有 8:有 8:有 8:有 8:有 8:有 8:有 8	1.	にぶい黄褐	10YR5/3	粘:弱	締:強	炭粒・浅黄橙色地山土(小)斑
97SE280 1、褐色粘土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 黒色炭・赤褐色粘土斑状 2、褐色粘土 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 4、褐色土 10YR4/6 粘:弱 締:有 5. 黄褐色粘土 7.5YR4/3 粘:有 締:有 6. 赤褐色粘土 5YR4/3 粘:有 締:有 7、褐色粘土 7.5YR6/4 粘:有 締:有 8、にぶい橙色 7.5YR6/4 粘:有 締:有 97P282 1. 灰黄褐色土 10YR3/4 粘:無 締:有 2、褐色土 10YR3/4 粘:無 締:有 3. 暗褐色土 10YR3/4 粘:無 締:有 5. 褐色土 10YR3/4 粘:無 締:有 6. 褐色土 10YR3/4 粘:無 締:有 6. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 8. はぶい橙色 10YR3/4 粘:無 締:有 97P282 1. 灰黄褐色土 10YR3/4 粘:無 締:有 2. 褐色土 10YR3/4 粘:無 締:有 3. 暗褐色土 10YR3/4 粘:無 締:有 5. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR4/6 粘:病 締:弱 7. 黄褐色土 7.5YR4/6 粘:無 締:強 3. 褐灰色土 7.5YR4/6 粘:無 締:強 2. 明褐色土 7.5YR4/6 粘:無 締:強 3. 褐灰色土 7.5YR5/8 粘:無 締:強 4. 赤褐色土 7.5YR5/8 粘:無 締:強 5. 褐灰色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR5/1 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 7. 橙色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 6. は一大5YR5/8 粘:有 締:有 6. は一大5YR5/8 粘:有 締:有 6. は一大5YR5/8 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 6. は一大5YR5/8 粘:有 総:有 6. は一枝色土 7.5YR5/8 粘:有 総:有 6. は一枝に 10YR5/8 粘:病 総:有 6. は一枝・木田 10YR5/8 粘:病 総:角 にたった は一枝・木田 10YR5/8 粘:角 総:角 にたった は一枝・木田 10YR5/8 粘:角 総:角 にたった は一枝・木田 10YR5/8 粘:角 総:有 にたった は一枝・木田 10YR5/8 粘:角 総:角 にたった は一枝・木田 10YR5/8 粘:角 総:角 にたった は一枝・木田 10YR5/8 粘:角 総:有 にたった は一枝・木田 10YR5/8 粘:角 にたった は一枝・木田 10YR5/8 粘:角 にたった は一枝・木田 10YR5/8 れ:角 総:有 にたった 10YR5/8 れ:角 総:有 にたった 10YR5/8 れ:角		色土				
1. 褐色粘土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 黒色炭・赤褐色粘土斑状 2. 褐色カンルト 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 黒色炭 ホ褐色粘土 斑状 4. 褐色土 10YR4/6 粘:弱 締:有 ・	2.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:強	黄橙色粒。炭粒多量
2. 褐色粘土 7.5YR4/4 粘: 病 締: 有 黒色炭	97SI	E280				
3. 褐色シルト 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 土 4. 褐色土 10YR4/6 粘:弱 締:有	1.	褐色粘土	7.5YR4/4	粘:有	締:有	黒色炭・赤褐色粘土斑状
3. 褐色シルト 7.5YR4/6 粘:弱 締:有 土 4. 褐色土 10YR4/6 粘:弱 締:有	2.	褐色粘土	7.5YR4/4	粘:有	締:有	黒色炭
士 4、 褐色土 10YR4/6 粘:弱 締:有						-
5. 黄褐色粘土 10YR5/8 粘:弱 締:有 6. 赤褐色粘土 5YR4/6 粘:有 締:有 8. にぶい橙色	- '		. , .			
5. 黄褐色粘土 10YR5/8 粘:弱 締:有 6. 赤褐色粘土 5YR4/6 粘:有 締:有 8. にぶい橙色 土 7.5YR6/4 粘:有 締:有 97P282	4.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:有	
6. 赤褐色粘土 5YR4/6 粘:有 締:有 8:有 8:有 8:有 8:有 8:有 8:有 8:有 8:有 8:有 8			10YR5/8	粘:弱	締:有	
7. 褐色粘土 7.5YR4/3 粘:有 締:有 8. にぶい橙色 7.5YR6/4 粘:有 締:有 97P282						
8. にぶい橙色 7.5YR6/4 粘:有 締:有 297P282 1. 灰黄褐色土 10YR8/2 粘:有 締:有 97P206 1. 暗褐色土 10YR3/4 粘:無 締:有 2 層土斑状 4. 褐色土 10YR4/6 粘:無 締:有 5. 褐色土 10YR4/6 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR4/3 粘:有 締:有 8 湯 3. 黄褐色土 10YR5/8 粘:無 締:弱 97SK226 1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:病 締:弱 97SK226 1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:無 締:強 2 層土・橙色土少量 4. 赤褐色土 7.5YR5/1 粘:無 締:強 2 層土・橙色土少量 4. 赤褐色土 7.5YR5/1 粘:有 締:有 5. 褐灰色土 7.5YR5/1 粘:有 締:有 5. 褐灰色土 7.5YR5/1 粘:有 締:有 4 層土斑状 5. 大子R6/8 粘:有 締:有 4 層土斑状 4. 赤褐色土 7.5YR5/8 粘:無 締:強 2 層土・橙色土少量 4. 赤褐色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 4 層土斑状 5. 大子R6/8 粘:有 締:有 4 層土斑状 4 層色土 7.5YR4/4 粘:有 締:弱 97SE300 1. 明黄褐色土 10YR6/6 粘:有 締:有 4 層土斑状 4 明褐色土 7.5YR5/4 粘:有 締:有 3. 明黄褐色土 10YR6/6 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:有 締:有 5. 褐色土 7.5YR5/8 粘:弱 締:積 炭粒・マンガン少量 7.5YE40 1. 褐灰色土 10YR5/8 粘:弱 締:強 炭化物(小) 2. 黄褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:有 3 層上少量。下層は暗縁灰色 下層は暗縁灰色 下層は暗縁 下層 3 層上 10 YR3/1 粘:有 編 1 月 10 YR3/1 粘: 1						
士 97P282 1. 灰黄褐色土 10YR6/2 粘:有 締:有 97P206 1. 暗褐色土 10YR3/4 粘:無 締:有 2. 褐色土 10YR3/4 粘:無 締:有 3. 暗褐色土 10YR3/4 粘:無 締:有 4. 褐色土 10YR4/6 粘:無 締:有 5. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR4/6 粘:弱 締:弱 97SK226 1. 褐色土 7.5YR8/8 粘:無 締:強 3. 褐灰色土 7.5YR8/8 粘:無 締:強 3. 褐灰色土 7.5YR8/8 粘:無 締:強 4. 赤褐色土 7.5YR8/8 粘:有 締:有 5. 褐灰色土 7.5YR8/8 粘:無 締:強 3. 褐灰色土 7.5YR8/8 粘:有 締:有 5. 褐灰色土 7.5YR8/1 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR8/1 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR8/1 粘:有 締:有 7. 橙色土 7.5YR8/8 粘:有 締:有 10YR8/6 粘:有 締:有 4. 明褐色土 10YR8/6 粘:有 締:有 2. 暗褐色土 10YR8/6 粘:有 締:有 4. 明褐色土 10YR8/6 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR8/4 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR8/4 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 7.5YR8/4 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR8/4 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 7.5YR8/4 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR8/4 粘:有 締:有 5. 褐色土 7.5YR8/4 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 7.5YR8/4 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 7.5YR8/8 粘:弱 締:有 統:有 6. にぶい褐色 7.5YR8/8 粘:弱 締:有 統:有 6. にぶい褐色 7.5YR8/8 粘:弱 締:有 統:有 統:有 6. は、歩色土 7.5YR8/8 粘:弱 締:有 統:有 統:有 6. にぶい褐色 7.5YR8/8 粘:弱 締:強 炭化物(小) 6. にずい褐色土 7.5YR8/8 粘:弱 締:強 炭粒・マンガン少量 土 出 10YR8/8 粘:弱 締:強 炭化物(小) 6. 黄褐色土 10YR8/8 粘:弱 締:強 炭化物(小) 6. 黄褐色土 10YR8/8 粘:弱 締:強 炭化物(小) 6. 長粒少量 上 10YR8/8 粘:弱 締:強 炭化物(小)						
1. 灰黄褐色土 10YR6/2 粘:有 締:有 97P206 1. 暗褐色土 10YR3/4 粘:無 締:有 2層土斑状 4. 褐色土 10YR4/6 粘:有 締:有 5. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:弱 7. 黄褐色土 10YR5/8 粘:病 締:弱 7. 黄褐色土 10YR5/8 粘:病 締:強 2層土近状 4. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:弱 7. 黄褐色土 10YR5/8 粘:無 締:強 2 明褐色土 7.5YR4/6 粘:無 締:強 2. 明褐色土 7.5YR5/8 粘:無 締:強 2 層土・橙色土少量 4. 赤褐色土 7.5YR5/1 粘:有 締:有 5. 褐灰色土 7.5YR6/6 粘:有 締:有 5. 褐灰色土 7.5YR6/6 粘:有 締:有 4層土近状 6. 褐色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 4層土近状 7.5YR6/8 粘:有 締:有 4層土近状 7.5YR6/8 粘:有 締:有 4層土近状 4. 赤褐色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 4層土近状 4. 赤褐色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 4層土近状 4. 馬褐色土 10YR6/6 粘:有 締:有 4層土近状 4. 明褐色土 10YR6/6 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 5. 褐色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR6/8 粘:有 6. にぶい褐色 7.5YR6/8 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR6/8 粘:初 締:有 4. 原化物(小) 2. 黄褐色土 10YR6/8 粘:弱 締:強 炭粒・マンガン少量 3. 黄橙色粘質 7.5YR7/8 粘:弱 締:有 4. 属水6. 有 4. 原粒少量、下層は暗緑灰色 4. 黑褐色粘質 10YR3/1 粘:有 締:有 3. 層土少量。下層は暗緑灰色 4. 黒褐色粘質 10YR3/1 粘:有 締:有 3. 層土少量。下層は暗緑灰色 4. 黒褐色粘質 10YR3/1 粘:有 締:有 3. 層土少量。下層は暗緑灰色 5. 下層は暗緑灰色 5. 下層 5. 高元 5. 下層 5. 高元 5. 下層は暗緑灰色 5. 下層 5. 高元 5. 下層は暗緑灰色 5. 下層 5. 高元 5. 下層 5.	٥.			mar F3	/r-r- 13	
97P206 1. 暗褐色土 10YR3/4 粘:無 締:有 2層土斑状 総:有 10YR4/6 粘:無 締:有 2層土斑状 総:有 2層土斑状 総:有 5. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR4/3 粘:有 締:弱 97SK226 1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:無 締:強 2層土・橙色土少量 1. 褐色土 7.5YR5/8 粘:無 締:強 2層土・橙色土少量 4. 赤褐色土 7.5YR5/1 粘:有 締:有 1. 福色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 1. 明黄褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 1. 明黄褐色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 1. 明黄褐色土 10YR7/6 粘:有 締:有 10YR7/6 粘:有 締:有 10YR7/6 粘:有 締:有 10YR7/6 粘:有 締:有 10YR3/4 粘:有 総:有 10YR3/4 粘:有 総:有 10YR3/4 粘:有 総:有 10YR3/4 粘:有 総:有 10YR5/5 粘:有 総:有 10YR5/5 粘:有 総:有 10YR5/1 粘:有 総:預 2 成性物(小) 1 米: 現 統:強 炭化物(小) 1 米: 現 統:有 1 米: 和 1 米:	97P2	282				
1. 暗褐色土 10YR3/4 粘:無 締:有 2. 褐色土 10YR4/6 粘:無 締:有 3. 暗褐色土 10YR4/6 粘:無 締:有 5. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:病 7. 黄褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:弱 97SK226 1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:無 締:強 3. 褐灰色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 4. 赤褐色土 7.5YR5/1 粘:無 締:強 4. 赤褐色土 7.5YR5/1 粘:無 締:強 4. 赤褐色土 7.5YR5/1 粘:有 締:有 5. 褐灰色土 7.5YR5/1 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR5/1 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 5. 褐灰色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 7. 樹色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 7. 樹色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 7. 樹色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 7. 樹色土 7.5YR6/8 粘:有 締:弱 97SE300 1. 明黄褐色土 10YR7/6 粘:有 締:弱 3. 明黄褐色土 10YR3/4 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR6/6 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR5/6 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR5/6 粘:有 締:有 5. 褐色土 7.5YR5/8 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR5/8 粘:有 締:有 5. 褐色土 7.5YR5/8 粘:初 締:有 6. にぶい褐色 上 7.5YR5/8 粘:初 締:有 5. 褐色土 7.5YR5/8 粘:初 締:有 6. にぶい褐色 - 7.5YR5/8 粘:初 締:有 6. にぷい褐色 - 7.5YR5/8 粘:初 締:元 6. にぷい褐色 - 7.5YR5/8 粘:羽 6. にぷっぱいぱいぱいぱいぱいぱいぱいぱいぱいぱいぱいぱいぱいぱいぱいぱいぱいぱいぱい	1.	灰黄褐色土	10YR6/2	粘:有	締:有	
2. 褐色土 10YR4/6 粘:無 締:有 3. 暗褐色土 10YR4/6 粘:無 締:有 2層土斑状 4. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:弱 7. 黄褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:弱 7. 黄褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:弱 7. 黄褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:強 2層土・橙色土少量 4. 赤褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 4層土斑状 4. 赤褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 4層土斑状 4. 赤褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 4層土斑状 4. 赤褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 4層土斑状 4. 赤褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 4層土斑状 4. 赤褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 4層土斑状 4. 明褐色土 10YR7/6 粘:有 締:有 3. 明黄褐色土 10YR7/6 粘:有 締:有 4. 明褐色土 10YR7/6 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR5/3 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR5/8 粘:弱 締:有 4. 明褐色土 7.5YR5/8 粘:弱 締:積 横:有 4. 明祖色土 7.5YR5/8 粘:弱 締:強 炭化物(小) 2. 黄褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:強 炭化物(小) 4. 東褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:強 炭化物(小) 4. 東褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:強 炭化や物(小) 4. 東褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:強 炭化や物(小) 4. 東褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:強 炭化や肉(小) 4. 東褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:強 炭化物(小) 4. 東褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:強 炭化や肉(小) 4. 東褐色土 10YR5/8 粘:弱 統:強 炭化物(小) 4. 東褐色土 10YR5/8 粘:弱 統:強 炭化物(小) 4. 東褐色土 10YR5/8 粘:弱 統:強 炭化物(小) 5. 東褐色土 10YR5/8 粘:弱 統:強 炭化物(小) 5. 東褐色土 10YR5/8 粘:弱 統:有 4. 東ム色土 10YR5/8 粘:丙 6. 東ム丘 10YR5/8 木	97P2	206				
2. 褐色土 10YR4/6 粘:無 締:有 3. 暗褐色土 10YR4/6 粘:無 締:有 5. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:弱 7. 黄褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:弱 97SK226 1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:無 締:強 2層土・橙色土少量 4. 赤褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 5. 褐灰色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 5. 褐灰色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 4層土斑状 6. 褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 8:	1.	暗褐色土	10YR3/4	粘:無	締:有	
3. 暗褐色土 10YR3/4 粘:無 締:有 2層土斑状 4. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 6. 褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:弱 7. 黄褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:弱 97SK226 1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:無 締:強 2. 明褐色土 7.5YR4/6 粘:無 締:強 2. 明褐色土 7.5YR5/8 粘:無 締:強 4. 赤褐色土 7.5YR5/1 粘:無 締:強 4. 赤褐色土 7.5YR5/1 粘:有 締:有 5. 褐灰色土 7.5YR6/6 粘:有 締:有 5. 褐灰色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 4層土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 8:初 6. 褐色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 8:初 6. 褐色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 4層土 10YR7/6 粘:有 締:有 3. 明黄褐色土 10YR7/6 粘:有 締:有 4月 10YR3/4 粘:有 統:有 4月 10YR3/4 粘:有 統:有 4月 10YR3/4 粘:初 4月 10YR3/8 粘:弱 4月 4月 10YR3/8 粘:弱 4月			,			
4. 褐色土 10YR4/6 粘:有 締:有 5. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR4/8 粘:有 締:弱 97SK226 1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:無 締:強 2. 明褐色土 7.5YR5/8 粘:無 締:強 4. 赤褐色土 7.5YR5/1 粘:有 締:有 5. 褐灰色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 7.5YR6/8 粘:有 締:有 4. 赤褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 5. 褐灰色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR4/8 粘:有 締:有 7.5YR6/8 粘:有 締:有 4. 明褐色土 10YR7/6 粘:有 締:有 3. 明黄褐色土 10YR7/6 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 5. 褐色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 6. にぶい褐色						2 層土斑状
5. 褐色土     7.5YR4/6     粘:有     締:有       6. 褐色土     7.5YR4/3     粘:有     締:弱       97SK226     1. 褐色土     7.5YR4/6     粘:弱     締:弱       1. 褐色土     7.5YR4/6     粘:無     締:強       2. 明褐色土     7.5YR5/1     粘:病     締:強       4. 赤褐色土     7.5YR5/1     粘:有     締:有       5. 褐灰色土     7.5YR4/4     粘:有     締:有       6. 褐色土     7.5YR6/8     粘:有     締:有       97SE300     1. 明黄褐色土     10YR7/6     粘:有     締:有       2. 暗褐色土     10YR3/4     粘:有     締:病       3. 明黄褐色土     10YR6/6     粘:有     締:有       4. 明褐色土     7.5YR5/3     粘:有     締:有       5. 褐色土     7.5YR5/3     粘:有     締:有       6. にぶい褐色土     7.5YR5/3     粘:有     統:有       6. にぶい褐色土     7.5YR5/8     粘:弱     炭粒・マンガン少量       7.5YR7/8     粘:弱     締:有     横灰色+灰白色土。炭粒少量       4. 黒褐色粘質     10YR3/1     粘:有     編:有     3層上       4. 黒褐色粘質     <						
6. 褐色土 7.5YR4/3 粘:病 締:弱 97SK226  1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:照 締:強 2層土・橙色土少量 1. 褐灰色土 7.5YR5/1 粘:無 締:強 2層土・橙色土少量 4. 赤褐色土 7.5YR5/1 粘:病 締:有 4層土斑状 6. 長五年 10YR5/8 粘:有 締:有 4層土斑状 6. にぶい褐色土 10YR7/6 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 4. 明褐色土 10YR7/6 粘:有 締:有 4. 明褐色土 10YR7/6 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 3. 明黄褐色土 10YR7/6 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR5/1 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR5/3 粘:有 締:有 4. 明祖上 7.5YR5/3 粘:初 締:有 4. 明祖上 7.5YR5/8 粘:弱 締:強 炭粒・マンガン少量 3. 黄橙色粘質 7.5YR7/8 粘:弱 締:有 4. 明祖氏 4.			,			
7. 黄褐色土     10YR5/8     粘:弱     締:弱       97SK226     1. 褐色土     7.5YR4/6     粘:無     締:強       2. 明褐色土     7.5YR5/8     粘:無     締:強       3. 褐灰色土     7.5YR4/6     粘:有     締:有       4. 赤褐色土     7.5YR4/6     粘:有     締:有       5. 褐灰色土     7.5YR4/4     粘:有     締:有       6. 褐色土     7.5YR4/4     粘:有     締:有       97SE300     1. 明黄褐色土     10YR7/6     粘:有     締:弱       3. 明黄褐色土     10YR7/6     粘:有     締:有       4. 明褐色土     7.5YR6/6     粘:有     締:有       5. 褐色土     7.5YR6/6     粘:有     締:有       6. にぶい褐色     7.5YR6/6     粘:有     締:有       5. 褐色土     7.5YR6/6     粘:有     締:有       6. にぶい褐色     7.5YR6/6     粘:有     締:有       5. 褐色土     7.5YR6/6     粘:有     締:有       6. にぶい褐色     7.5YR6/8     粘:病     締:有       97SE440     1. 褐灰色土     10YR5/8     粘:弱     炭粒・炭粒・マンガン少量       1. 横色土     7.5YR7/8     粘:弱     締:有     横灰色+灰白色土。炭粒少量       1. 黒褐色粘質     10YR3/1     粘:有     編:有     3層上少量     下層は暗緑灰色       4. 黒褐色粘質     10YR3/1     粘:有     編:有     3層上     編:有     場			,			
97SK226     1. 褐色土     7.5YR4/6     粘:無     締:強       2. 明褐色土     7.5YR5/8     粘:無     締:強       3. 褐灰色土     7.5YR4/6     粘:無     締:強       4. 赤褐色土     7.5YR4/6     粘:有     締:有       5. 褐灰色土     7.5YR6/1     粘:有     締:有       6. 褐色土     7.5YR6/4     粘:有     締:有       7. 橙色土     7.5YR6/8     粘:有     締:有       97SE300     1. 明黄褐色土     10YR7/6     粘:有     締:有       2. 暗褐色土     10YR8/6     粘:有     締:有       3. 明黄褐色土     10YR8/6     粘:有     締:有       4. 明褐色土     7.5YR6/6     粘:有     締:有       5. 褐色土     7.5YR5/6     粘:有     締:有       6. にぶい褐色     7.5YR6/6     粘:有     締:有       5. 褐色土     7.5YR6/6     粘:有     締:有       6. にぶい褐色     7.5YR5/3     粘:有     締:弱       97SE440       1. 褐灰色土     10YR5/8     粘:弱     締:強     炭粒・マンガン少量       3. 黄橙色粘質     7.5YR7/8     粘:弱     締:有     横に     本アンガン少量       3. 黄橙色粘質     7.5YR7/8     粘:弱     締:有     海灰色+灰白色土。炭粒少量     下層は暗緑灰色       4. 黒褐色粘質     10YR3/1     粘:有     統:有     3層上     福     本     東     本     表     表     表 <td></td> <td></td> <td>,</td> <td></td> <td></td> <td></td>			,			
1. 褐色土 7.5YR4/6 粘:無 締:強 3. 褐灰色土 7.5YR5/1 粘:無 締:強 4. 赤褐色土 7.5YR5/1 粘:有 締:有 5. 褐灰色土 7.5YR5/1 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 7. 橙色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 7. 橙色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 7. 橙色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 7. 橙色土 10YR7/6 粘:有 締:有 3. 明黄褐色土 10YR3/4 粘:有 締:有 4. 明褐色土 10YR6/6 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR5/3 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:有 締:有 7.5YR5/3 粘:有 締:有 8. 資格色土 7.5YR5/3 粘:有 締:有 5. 褐色土 7.5YR5/3 粘:有 締:弱 97SE440 1. 褐灰色土 10YR5/1 粘:弱 締:強 炭化物(小) 2. 黄褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:強 炭粒・マンガン少量 3. 黄橙色粘質 7.5YR7/8 粘:弱 締:強 炭粒・マンガン少量 1. 褐灰色土 10YR5/8 粘:弱 締:強 炭粒・マンガン少量 4. 黒褐色粘質 7.5YR7/8 粘:弱 締:右 褐灰色+灰白色土。炭粒少量 土 4. 黒褐色粘質 10YR3/1 粘:有 締:有 3層土少量。下層は暗緑灰色			1011079	MI - NA	RK. 464	
2. 明褐色土     7.5YR5/8     粘:無     締:強       3. 褐灰色土     7.5YR5/1     粘:無     締:強       4. 赤褐色土     7.5YR5/1     粘:有     締:有       5. 褐灰色土     7.5YR6/6     粘:有     締:有       6. 褐色土     7.5YR6/8     粘:有     締:有       97SE300     1. 明黄褐色土     10YR7/6     粘:有     締:弱       2. 暗褐色土     10YR3/4     粘:有     締:弱       3. 明黄褐色土     10YR8/6     粘:有     締:有       4. 明褐色土     7.5YR5/6     粘:有     締:有       5. 褐色土     7.5YR5/6     粘:有     締:有       6. にぶい褐色     7.5YR5/3     粘:有     締:病       5. 褐色土     7.5YR5/3     粘:有     締:病       6. にぶい褐色     7.5YR5/3     粘:有     統:病       97SE440     1. 褐灰色土     10YR5/8     粘:弱     炭粒・マンガン少量       1. 褐灰色土     10YR5/8     粘:弱     締:有     炭粒・マンガン少量       3. 黄橙色粘質     7.5YR7/8     粘:弱     締:有     編灰色+灰白色土。炭粒少量       4. 黒褐色粘質     10YR3/1     粘:有     統:有     3層上少量     下層は暗緑灰色			7 5VD4/6	¥上·4冊	8倍·己余	
3. 褐灰色土 7.5YR5/1 粘:無 締:強 2層土・橙色土少量 4. 赤褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 5. 褐灰色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 6. 褐色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 97SE300 1. 明黄褐色土 10YR7/6 粘:有 締:有 2. 暗褐色土 10YR7/6 粘:有 締:有 3. 明黄褐色土 10YR8/6 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 5. 褐色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 5. 褐色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:有 締:有 統:有 1. 褐灰色土 10YR5/1 粘:弱 締:強 炭粒・マンガン少量 3. 黄橙色粘質 7.5YR7/8 粘:弱 締:強 炭粒・マンガン少量 4. 黒褐色粘質 10YR3/1 粘:有 締:有 3層土少量。下層は暗緑灰色			,			
4. 赤褐色土 7.5YR4/6 粘:有 締:有 5. 褐灰色土 7.5YR4/1 粘:有 締:有 4層土斑状 6. 褐色土 7.5YR6/8 粘:有 締:有 97SE300 1. 明黄褐色土 10YR7/6 粘:有 締:有 2. 暗褐色土 10YR3/1 粘:有 締:有 3. 明黄褐色土 10YR8/6 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR6/6 粘:有 締:有 5. 褐色土 7.5YR6/6 粘:有 締:有 5. 褐色土 7.5YR8/4 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:有 締:有 4. 明褐色土 10YR5/1 粘:病 締:病 5. 褐色土 7.5YR5/3 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:有 締:有 1. 褐灰色土 10YR5/1 粘:弱 締:強 炭化物(小) 2. 黄褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:強 炭粒・マンガン少量 3. 黄橙色粘質 7.5YR7/8 粘:弱 締:有 褐灰色+灰白色土。炭粒少量 土 4. 黒褐色粘質 10YR3/1 粘:有 締:有 3層土少量。下層は暗緑灰色						2. 图上,掺色上小导
5. 褐灰色土     7.5YR5/1     粘:有 締:有 4層土斑状       6. 褐色土     7.5YR6/8     粘:有 締:有 締:有       7. 橙色土     7.5YR6/8     粘:有 締:弱       97SE300     1. 明黄褐色土     10YR7/6     粘:有 締:病       1. 明黄褐色土     10YR3/4     粘:有 締:病       3. 明黄褐色土     10YR6/6     粘:有 締:有       4. 明褐色土     7.5YR5/6     粘:有 締:有       5. 褐色土     7.5YR5/6     粘:有 締:有       6. にぶい褐色     7.5YR5/3     粘:有 締:弱       サ7SE440     1. 褐灰色土     10YR5/1     粘:弱 締:強 炭化物(小)       1. 褐灰色土     10YR5/8     粘:弱 締:強 炭粒・マンガン少量       2. 黄褐色土     7.5YR7/8     粘:弱 締:強 炭粒・マンガン少量       3. 黄橙色粘質     7.5YR7/8     粘:弱 締:有     褐灰色+灰白色土。炭粒少量       4. 黒褐色粘質     10YR3/1     粘:有 締:有     3層土少量。下層は暗縁灰色						4 眉工・恒巴工少軍
6. 褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 7.5YR6/8 粘:有 締:病 97SE300 1. 明黄褐色土 10YR7/6 粘:有 締:有 2. 暗褐色土 10YR3/4 粘:有 締:有 3. 明黄褐色土 10YR6/6 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR5/6 粘:有 締:有 5. 褐色土 7.5YR5/6 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 九・ 4. 関灰色土 10YR5/3 粘:有 締:弱 4. 関灰色土 10YR5/8 粘:弱 締:強 炭化物(小) 2. 黄褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:強 炭粒・マンガン少量 3. 黄橙色粘質 7.5YR7/8 粘:弱 締:有 褐灰色+灰白色土。炭粒少量土 4. 黒褐色粘質 10YR3/1 粘:有 締:有 3層土少量。下層は暗緑灰色			, ,			4 Fel L rikr I b
7. 橙色土     7.5YR6/8     粘:有     締:弱       97SE300     1. 明黄褐色土     10YR7/6     粘:有     締:有       2. 暗褐色土     10YR3/4     粘:有     締:弱       3. 明黄褐色土     10YR6/6     粘:有     締:有       4. 明褐色土     7.5YR5/6     粘:有     締:有       5. 褐色土     7.5YR5/3     粘:有     締:有       6. にぶい褐色     7.5YR5/3     粘:有     締:弱       97SE440     1. 褐灰色土     10YR5/1     粘:弱     締:強     炭化物(小)       2. 黄褐色土     10YR5/8     粘:弱     締:強     炭粒・マンガン少量       3. 黄橙色粘質     7.5YR7/8     粘:弱     締:有     褐灰色+灰白色土。炭粒少量       4. 黒褐色粘質     10YR3/1     粘:有     締:有     3層土少量。下層は暗縁灰色			,			4 周土
97SE300 1. 明黄褐色土 10YR7/6 粘:有 締:有 2. 暗褐色土 10YR3/4 粘:有 締:弱 3. 明黄褐色土 10YR6/6 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR5/6 粘:有 締:有 5. 褐色土 7.5YR5/3 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:有 締:弱 土 97SE440 1. 褐灰色土 10YR5/1 粘:弱 締:強 炭化物(小) 2. 黄褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:強 炭粒・マンガン少量 3. 黄橙色粘質 7.5YR7/8 粘:弱 締:有 褐灰色+灰白色土。炭粒少量土 4. 黒褐色粘質 10YR3/1 粘:有 締:有 3層土少量。下層は暗緑灰色						
1. 明黄褐色土 10YR7/6 粘:有 締:有 2. 暗褐色土 10YR8/6 粘:有 締:有 3. 明黄褐色土 10YR6/6 粘:有 締:有 5. 褐色土 7.5YR5/6 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:有 締:弱 土 97SE440 1. 褐灰色土 10YR5/1 粘:弱 締:強 炭化物(小) 2. 黄褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:強 炭粒・マンガン少量 3. 黄橙色粘質 7.5YR7/8 粘:弱 締:有 褐灰色+灰白色土。炭粒少量 土 4. 黒褐色粘質 10YR3/1 粘:有 締:有 3層土少量。下層は暗緑灰色			7.5YR6/8	粘:有	締:弱	
2. 暗褐色土     10YR3/4     粘:有     締:弱       3. 明黄褐色土     10YR6/6     粘:有     締:有       4. 明褐色土     7.5YR5/6     粘:有     締:有       5. 褐色土     7.5YR4/4     粘:有     締:有       6. にぶい褐色     7.5YR5/3     粘:有     締:弱       土     10YR5/1     粘:弱     締:強     炭化物(小)       2. 黄褐色土     10YR5/8     粘:弱     締:有     炭粒・マンガン少量       3. 黄橙色粘質     7.5YR7/8     粘:弱     締:有     褐灰色+灰白色土。炭粒少量       4. 黒褐色粘質     10YR3/1     粘:有     締:有     3層土少量。下層は暗縁灰色						
3. 明黄褐色土 10YR6/6 粘:有 締:有 4. 明褐色土 7.5YR5/6 粘:有 締:有 5. 褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:有 締:弱 セ 10YR5/1 粘:弱 締:強 炭化物(小) 2. 黄褐色土 10YR5/1 粘:弱 締:強 炭粒・マンガン少量 3. 黄橙色粘質 7.5YR7/8 粘:弱 締:有 褐灰色+灰白色土。炭粒少量 土 4. 黒褐色粘質 10YR3/1 粘:有 締:有 3層土少量。下層は暗緑灰色						
4. 明褐色土 7.5YR5/6 粘:有 締:有 5. 褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:有 締:弱 土 97SE440 1. 褐灰色土 10YR5/1 粘:弱 締:強 炭粒・マンガン少量 3. 黄橙色粘質 7.5YR7/8 粘:弱 締:有 褐灰色+灰白色土。炭粒少量 土 4. 黒褐色粘質 10YR3/1 粘:有 締:有 3層土少量。下層は暗緑灰色						
5. 褐色土 7.5YR4/4 粘:有 締:有 6. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:有 締:弱 上 97SE440 1. 褐灰色土 10YR5/1 粘:弱 締:強 炭化物(小) 2. 黄褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:強 炭粒・マンガン少量 3. 黄橙色粘質 7.5YR7/8 粘:弱 締:有 褐灰色+灰白色土。炭粒少量 上 4. 黒褐色粘質 10YR3/1 粘:有 締:有 3層土少量。下層は暗緑灰色						
6. にぶい褐色 7.5YR5/3 粘:有 締:弱 土 97SE440 1. 褐灰色土 10YR5/1 粘:弱 締:強 炭化物(小) 2. 黄褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:強 炭粒・マンガン少量 3. 黄橙色粘質 7.5YR7/8 粘:弱 締:有 褐灰色+灰白色土。炭粒少量 土 4. 黒褐色粘質 10YR3/1 粘:有 締:有 3層土少量。下層は暗緑灰色	4.	明褐色土	7.5YR5/6	粘:有	締:有	
土       97SE440       1 褐灰色土     10YR5/1     粘:弱     締:強     炭化物(小)       2 黄褐色土     10YR5/8     粘:弱     締:強     炭粒・マンガン少量       3 黄橙色粘質     7.5YR7/8     粘:弱     締:有     褐灰色+灰白色土。炭粒少量土       4 黒褐色粘質     10YR3/1     粘:有     締:有     3層土少量。下層は暗緑灰色	5.	褐色土	7.5YR4/4	粘:有	締:有	
97SE440  1. 褐灰色土 10YR5/1 粘:弱 締:強 炭化物(小)  2. 黄褐色土 10YR5/8 粘:弱 締:強 炭粒・マンガン少量  3. 黄橙色粘質 7.5YR7/8 粘:弱 締:有 褐灰色+灰白色土。炭粒少量上  4. 黒褐色粘質 10YR3/1 粘:有 締:有 3層土少量。下層は暗縁灰色	6.		7.5YR5/3	粘:有	締:弱	
1. 褐灰色土     10YR5/1     粘:弱     締:強     炭化物(小)       2. 黄褐色土     10YR5/8     粘:弱     締:強     炭粒・マンガン少量       3. 黄橙色粘質     7.5YR7/8     粘:弱     締:有     褐灰色+灰白色土。炭粒少量       4. 黒褐色粘質     10YR3/1     粘:有     締:有     3層土少量。下層は暗縁灰色	0701					
2. 黄褐色土     10YR5/8     粘:弱     締:強     炭粒・マンガン少量       3. 黄橙色粘質     7.5YR7/8     粘:弱     締:有     褐灰色+灰白色土。炭粒少量土       4. 黒褐色粘質     10YR3/1     粘:有     締:有     3層土少量。下層は暗緑灰色			10VDE /1	业上, 己己	\$4.75°	<b>農化物(小)</b>
<ul> <li>3. 黄橙色粘質 7.5YR7/8 粘:弱 締:有 褐灰色+灰白色土。炭粒少量土</li> <li>4. 黒褐色粘質 10YR3/1 粘:有 締:有 3層土少量。下層は暗緑灰色</li> </ul>						
土 4. 黒褐色粘質 10YR3/1 粘:有 締:有 3層土少量。下層は暗緑灰色						
	3.		7.5YR7/8	粘:弱	締:有	褐灰色+灰白色土。炭粒少量
エ 粘工で植物質多量	4.	黒褐色粘質	10YR3/1	粘:有	締:有	3層土少量。下層は暗緑灰色
		т.				桁工 C 他物貝多里

# 図版55(1)

97S	E50				
1.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:有	
2.	褐色土	7.5YR4/3	粘:有	締:有	
3.	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:弱	
4.	赤褐色土	5YR4/8	粘:弱	締:弱	
5.	黒褐色土	7.5YR3/1	粘:有	締:弱	
6.	青灰色土	10BG6/1	粘:弱	締:弱	有機腐食物
7.	黒褐色土	10YR3/1	粘:有	締:弱	青灰色粘土斑状
97P	64				
1.	暗褐色土	10YR3/4	粘:有	締:有	橙色土斑状
2.	黒褐色土	10YR2/3	粘:有	締:有	橙色土・炭粒斑状
3.	橙色土	7.5YR6/6	粘:有	締:強	底面に貼付た感じ
97S	E95				
1.	暗褐色土	10YR3/4	粘:弱	締:強	
2.	にぶい黄褐 色土	10YR4/3	粘:弱	締:有	
9		10VD6/6	<b>₩</b> F. ≠	44. ±	1層·2層土層状
		,			1周:2周上周仏
1	褐色土	,			
5.	黄橙色粘質 土	7.5187/8	柏:有	締:有	
6.	褐色土	7.5YR4/4	粘:有	締:有	
7.	青灰色粘土	10BG5/1	粘:強	締:弱	
8.	褐色粘質土	7.5YR4/4	粘:有	締:弱	有機腐植物

# 図版 55 (2)

9.	黄橙色粘質 土	10YR8/6	粘:有	締:弱	砂質土斑状。有機腐植物
97S					
1.	褐色土	7.5YR4/3	粘:弱	締:強	
2.	暗褐色土	10YR3/4	粘:有	締:弱	
3.	にぶい橙色 土	7.5YR6/4	粘:有	締:弱	黒褐色土斑状
4.	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:弱	
5.	黒褐色土	5YR2/2	粘:弱	締:弱	
6.	黒褐色土	5YR2/2	粘:弱	締:弱	炭化物・有機腐食物多量
98S	E1126				
1.	灰褐色土	7.5YR4/2	粘:有	締:強	橙色粒·褐色土少量。炭粒少量
2.	褐灰色土	7.5YR4/1	粘:有	締:強	浅黄橙色土·赤褐色土斑状
3.	にぶい褐色 土	7.5YR5/3	粘:弱	締:有	灰褐色土斑状。明赤褐色粒少 量
4.	褐灰色土	10YR4/1	粘:強	締:有	明褐色土(小)少量
5.	黒褐色土	10YR3/1	粘:強	締:有	暗灰黄色土斑状
98P	1125				
1.	黒褐色土	7.5YR2/2	粘:有	締:強	暗褐色土(中)斑状
2.	灰褐色土	7.5YR4/2	粘:有	締:強	褐色粒·炭粒少量
3.	褐灰色土	7.5YR4/1	粘:強	締:強	橙色粒斑状。炭粒少量
4.	黒褐色土	10YR3/1	粘:強	締:強	灰白色土・にぶい褐色土 (小)・炭粒少量

# 図版 56

図版 56				
97SE205				
1. 黒褐色土	7.5YR3/2	粘:弱	締:有	明褐色土斑状
97SE5				
1. 黒褐色粘質	10YR3/2	粘:有	締:有	炭化物少量
2. 暗灰色粘質 土	N3/	粘:強	締:有	炭化物・有機物
97SK92				
1. 明褐色粘土	7.5YR5/6	粘:弱	締:有	黒褐色粘土斑状
2. 黒褐色シルト土	10YR3/2	粘:弱	締:有	炭化物斑状
3. 黄灰色粘土	2.5Y4/1	粘:有	締:弱	
98SE1031				
1. 褐灰色土	7.5YR4/1	粘:有	締:有	赤褐色土斑状
2. 褐灰色土	7.5YR5/1			褐色土斑状
3. 灰黄褐色土				褐色土斑状
4. 灰黄色土	2.5Y6/2			暗赤褐色粒斑状
5. 灰黄褐色土				明褐色土斑状
6. 灰色土		粘:強		黒褐色粒少量
7. 褐灰色土				暗赤褐色土斑状
8. 褐灰色土	10YR4/1			暗赤褐色土斑状
9. 黄灰色土	2.5Y4/1			灰色土(中)・暗赤褐色粒少量
10. 暗灰黄色土		粘:強		明褐色土斑状
11. 黄褐色土	2.5Y5/4	业上,产金	締:強	赤褐色粒・灰色粒斑状
12. 灰黄褐色土				<b>苏梅巴松·灰巴松斑</b>
	2.5Y4/1			
14. にぶい黄褐	,	粘:強		
色土	10114/5	和二、加	2世、明末	
98P925				
1. 黒褐色土	10YR3/2	粘:有	締:強	褐色粒・炭粒少量
98P929				
1. 黒褐色土	10YR3/2	粘:強	締:強	
97SK45				
1. 褐色土	7.5YR4/3			
2. 暗赤褐色土				
3. 暗褐色土	10YR3/4	粘:弱	締:有	
4. 黄橙色土	7.5YR7/8	粘:有	締:弱	
5. 灰赤色土	2.5YR4/2			
6. 黒褐色土	5YR2/1	粘:有	締:無	有機腐食物多量
97P44				
	10YR4/2	粘:有	締:弱	にぶい褐色土(中)斑状
97SK91				
1. 黒褐色シル ト土	10YR2/2	粘:無	締:有	
2. 黒褐色土	10YR2/2	粘:弱	締:弱	明褐色粘土少量
3. 黒褐色粘土	10YR3/2	粘:有	締:弱	
-				

# 図版 57(1)

97SE46				
1. 黒褐色土	7.5YR2/2	粘:弱	締:有	炭粒・赤褐色粒斑状
2. 明褐色土	7.5YR5/6	粘:弱	締:有	赤褐色粒斑状
3. 黒色土	7.5YR2/1	粘:弱	締:有	炭?(黒色塊)多量
4. 褐灰色土	10YR4/1	粘:有	締:弱	植物有機質少量
5. 褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:強	
6. 暗褐色土	10YR3/3	粘:有	締:弱	炭粒少量
7. 黒褐色土	10YR3/1	粘:強	締:弱	

# 図版 57(2)

	37 (2)				
97P	389				
1.	褐灰色土	7.5YR6/1	粘:無	締:強	
2.	にぶい黄橙 色土	10YR7/4	粘:弱	締:強	黄橙色土斑状
	黒褐色土	7.5YR3/2	粘:有	締:有	2層土斑状
97S	E423				
1.	黒褐色粘質 土	10YR3/1	粘:有	締:有	明黄褐色粒・炭化物(小)
2.	オリーブ黒 色粘土	5Y3/1	粘:強	締:弱	灰黄色土(中)斑状。炭粒少量
3.	黒褐色粘土	10YR3/1	粘:強	締:弱	炭化物(中)多量
4.	オリーブ黒	5Y3/1	粘:強	締:弱	炭化物斑状
	色粘土				
97S	E303				
1.	褐灰色土	7.5YR4/1	粘:弱	締:強	にぶい黄褐色土(中)多量。炭 粒少量
2.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:有	褐色土多量。炭化物(大)少量
97S	E302				
1.	褐灰色粘質 土	10YR4/1	粘:弱	締:強	暗褐色土斑状。炭化物(小)
2.	褐色粘質土	10YR4/6	粘:弱	締:強	炭化物(小)
3.	暗灰色粘土	N3/	粘:強	締:弱	炭化物(小)
4.	黒色粘土	7.5YR2/1	粘:強	締:弱	炭灰?含有
97S	X47				
1.	暗褐色土	10YR3/4	粘:弱	締:有	
2.	黒色土	10YR2/1	粘:弱	締:有	炭化物(中)多量
97S	K219				
	褐灰色土	7.5YR4/1	粘:弱	締:強	炭粒少量
98S	K1070				
1.	黒色土	10YR3/2	粘:弱	締:強	灰白色土(中)斑状。炭粒少量
	灰黄褐色土	10YR4/2	粘:弱	締:強	浅黄色土・赤褐色土(小)斑状
	K1041				•
1.	黒褐色土	7.5YR3/1	粘:有	締:有	黒褐色粒·灰黄色粒斑状。炭 粒

# 図版 58

98SK1165				
1. 黒褐色粘質 土	10YR2/1	粘:弱	締:有	灰白色シルト(小)多量。炭粒 少量
2. 灰白色シルト土	5Y7/2	粘:有	締:有	地山主体土。1層土・炭粒少 量
98SK1139				
1. 褐灰色粘質 土	10YR4/1	粘:弱	締:有	灰白色シルト(小)斑状。炭粒 少量
98SE1124				
1. 黒色粘質土	10YR2/1	粘:弱	締:有	炭化物をシミ状に含む。小礫 多量
2. 黒色粘質土	10YR2/1	粘:弱	締:有	<b>黒色炭多量。鉄分少量</b>
3. 灰色粘質土	5Y4/1	粘:有	締:有	炭粒・鉄分少量
4. 暗灰色粘質 土	N3/	粘:有	締:有	炭化物(中)多量。有機質·小 礫少量
5. 暗灰色粘質 土	N3/	粘:有	締:有	有機質少量
6. 黒色粘質土	5Y2/1	粘:強	締:弱	炭化物(小)多量。有機物多量。 小礫
7. 灰色粘質土	5Y4/1	粘:弱	締:有	炭粒少量。掘形埋土

# 図版 59(1)

97S	E730				
1.	褐色土	10YR4/6	粘:無	締:弱	
2.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:弱	橙色土・にぶい橙色土斑状
3.	褐色土	10YR4/6	粘:無	締:弱	
4.	暗褐色土	10YR3/4	粘:弱	締:弱	
5.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:弱	黄褐色土斑状
6.	黒褐色土	10YR3/2	粘:有	締:弱	褐色土斑状
7.	明黄褐色土	10YR6/8	粘:弱	締:弱	にぶい黄褐色土斑状
8.	にぶい黄褐	10YR4/3	粘:有	締:弱	炭粒少量
	色粘質土				
97S	K969				
1.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:有	赤褐色土斑状
2.	暗褐色土	10YR3/4	粘:弱	締:弱	
3.	暗褐色土	10YR3/3	粘:弱	締:弱	にぶい黄褐色粒少量
97S	K1402				
1.	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:強	炭粒斑状
2.	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:有	炭粒少量
3.	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:弱	橙色土斑状
4.	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:無	明褐灰色土(中)
97S	E2730				
1.	赤褐色土	5YR4/6	粘:弱	締:有	
					状
2.	褐色土	10YR4/6	粘:有	締:強	淡黄色土・橙色土・黒色土斑
					状
1 .	黄褐色土				
4.	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:弱	橙色土・淡黄色土斑状

# 図版 59 (2)

5.	橙色土	7.5YR6/8	粘:無	締:弱	暗赤褐色土·赤黒色土(小)小 量
6.	橙色土	7.5YR6/8	粘:弱	締:弱	暗赤褐色土・赤褐色土・灰白 色土斑状
97SI	E2729				
1.	褐色土	7.5YR4/6	粘:有	締:有	灰色粒・黄橙色粒斑状
1	明褐色土			締:有	にぶい褐色土・黒色土少量
	灰黄褐色土			締:有	明褐色粒斑状
1	にぶい褐色 土	7.5YR5/4	粘:有	締:有	明褐色粒斑状
5.	明褐色土	7.5YR5/6	粘:有	締:有	橙色粒・灰白色粒
6.	にぶい褐色 土	7.5YR5/4	粘:有	締:有	淡黄色粒・黄橙色粒
7.	黄橙色土	7.5YR7/8	粘:有	締:弱	灰白色土斑状
8.	褐色土	7.5YR4/4	粘:有	締:有	黄橙色土斑状。暗褐色土(中) 少量。炭粒多量
9.	灰黄褐色粘 質土	10YR5/2	粘:有	締:有	橙色土(中)・炭粒斑状
10.	黄灰色粘質 土	2.5Y5/1	粘:有	締:弱	灰色土・明褐色土(中)斑状。 有機物多量
97SI	K2701				
1.	にぶい赤褐 色土	5YR4/4	粘:有	締:有	橙色粒・炭粒少量
2.	黄褐色土	10YR5/8	粘:弱	締:弱	赤褐色粒・灰白色粒・炭粒少 量
3.	黄橙色土	10YR7/8	粘:弱	締:弱	地山主体土。
4.	灰白色土	2.5Y8/1	粘:弱	締:弱	橙色土(中)斑状。鉄サビ状の 土少量

# 図版 60

97SE1467				
1. 暗赤褐色土	5YR3/3	粘:有	締:有	暗赤褐色粒斑状
2. 暗赤褐色土	5YR3/3	粘:有	締:有	橙色土(小)・炭粒少量
3. 暗赤褐色土	5YR3/3	粘:有	締:有	橙色粒·暗赤褐色粒
4. 暗褐色土	7.5YR3/4	粘:有	締:有	灰白色粒少量
5. 淡黄色土	2.5Y8/3	粘:有	締:弱	褐色土(小)斑状
97SK717				
1. 褐色土	10YR4/6		締:弱	
2. にぶい褐色	7.5YR5/4	粘:有	締:弱	灰白色地山土斑状
土				
3. 橙色土	7.5YR6/6	粘:有	締:弱	灰白色地山土斑状
97SK696				nt r r s r r mara a :
1. 橙色土	7.5YR6/8	粘:弱	締:弱	地山土主体土。明褐色土・灰白色土・黄橙色土が均一に斑
				状
97SE2708				-50
1. 褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:有	
2. 明褐色土		粘:弱	締:有	炭粒少量
3. 暗褐色土	7.5YR3/4		締:有	黄橙色土(中)
4. 褐色土	7.5YR4/4		締:弱	XIE 0 = (1)
5. 褐色土	7.5YR4/6		締:弱	
6. 暗褐色土	7.5YR3/4		締:弱	灰白・橙色地山土斑状。未分
	,			解植物少量
7. 黒褐色土	7.5YR3/1	粘:弱	締:弱	未分解植物多量
97SE623				
1. 褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:弱	明褐色土斑状。黒色粒少量
2. 褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:弱	黄橙色土・灰白色土少量
3. 橙色土	7.5YR6/8	粘:有	締:弱	灰白色土斑状。炭が帯状
4. 褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:弱	明褐色土斑状。3層土少量
5. 赤褐色土	5YR4/8	粘:無	締:無	にぶい褐色土斑状。黒色粒少
				量。下層は粘性が強くなり、
				有機物少量
97SK690				wester to a rate to the total and the
1. 褐色土	10YR4/6	粘:無	締:有	明褐色土斑状。橙色土(中)少
9 明复各工	7 EVDE /0	W.F. Apri	\$&. 77	屋
2. 明褐色土	7.5YR5/8	粘:無	締:弱	暗褐色土(中)少量
3. 灰褐色土	7.5YR4/2	粘:有	締:弱	

# 図版 61 (1)

E/IX 01 (1)				
97SK626				
1. 褐色土	10YR4/6	粘:有	締:弱	黄橙色土少量
2. 暗褐色土	7.5YR3/3	粘:弱	締:弱	
3. 黒褐色土	10YR3/2	粘:有	締:無	
4. 褐色土	10YR4/4	粘:弱	締:弱	灰白色土・黄橙色土(小)
97SE109				
1. 褐色土	7.5YR4/6	粘:無	締:有	
2. 明褐色土	7.5YR5/8	粘:無	締:有	
3. 橙色土	7.5YR6/8	粘:弱	締:有	明褐灰色土斑状
4. 黒褐色土	7.5YR3/2	粘:有	締:弱	炭化物(小)が帯状
5. 青灰色粘土	10BG6/1	粘:有	締:弱	
97SE110				
1. 黄橙色粘質	7.5YR7/8	粘:弱	締:有	淡黄色土·褐色土斑状。炭粒
土				少量
2. 明褐色土	7.5YR5/8	粘:無	締:有	明褐色地山粒斑状

# 図版 61 (2)

3.	明褐色土	7.5YR5/8	粘:有	締:無	灰褐色粘質土(中)
4.	にぶい黄褐	10YR4/3	粘:弱	締:無	黒褐色粘質土(中)
	色土				
5.	暗赤褐色土	2.5YR3/6	粘:弱	締:無	灰黄褐色土少量
6.	青灰色粘土	10BG6/1	粘:有	締:無	黒色粘質土少量
97SI	E1483				
1.	にぶい黄褐	10YR5/3	粘:弱	締:有	浅黄橙色土縞状。炭化物(小)
	色土				少量
2.	黄橙色土	7.5YR7/8	粘:有	締:有	淡黄橙色土斑状
3.	灰白色土	2.5Y8/2	粘:有	締:有	橙色土·褐灰色粒斑状
4.	にぶい褐色	7.5YR5/4	粘:弱	締:弱	黄橙色地山粘質土斑状
	土				
5.	褐色粘質土	10YR4/4	粘:弱	締:無	黒褐色土・暗赤褐色土・黄橙
					色土斑状
97SI	E1484				
1.	にぶい橙色	7.5YR6/4	粘:弱	締:有	暗褐色土斑状
	土				
2.	灰褐色土	7.5YR5/2	粘:有	締:有	橙色土斑状
3.	にぶい褐色	7.5YR5/4	粘:有	締:有	黄橙色粒·褐灰色粒斑状
	土				

# 図版 62

E/M 32							
97S	E1485						
1.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:有	締:無	灰褐色斑状。炭粒少量		
2.	灰褐色土	7.5YR5/2	粘:有	締:弱	黄橙色粒斑状。炭粒少量		
97S	E1413						
1.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:有	締:強	明褐色土斑状。浅黄橙色粒少 量		
2.	褐色土	7.5YR4/4	粘:強	締:有			
	暗褐色土	10YR3/4					
	暗褐色土	10YR3/3	粘:無	締:無	極暗赤褐色粒斑状		
	1408						
	褐色土	7.5YR4/6					
2.	褐色土	7.5YR4/6	粘:有	締:弱	橙色土斑状		
	褐色土	7.5YR4/6	粘:弱	締:弱	橙色土斑状		
	K1154				·		
1.	暗褐色土	10YR3/3	粘:弱	締:強	暗褐色粘質土(中)。炭化物 (大)		
2.	暗褐色土	10YR3/4	粘:弱	締:有	炭粒少量		
3.	にぶい黄褐 色土	10YR4/3	粘:弱	締:有	炭粒少量		
4.	灰黄褐色土	10YR4/2	粘:有	締:有			
	E1137						
1.	褐色土	10YR4/6	粘:有	締:有	炭粒多量。にぶい黄褐色粘土 (中)・地山土少量		
2.	黄褐色土	10YR5/6	粘:有	締:有			
3.	黄褐色土	10YR5/6	粘:強	締:有			
4.	明黄褐色土	10YR6/8	粘:有	締:有	炭粒少量。地山土斑状		
5a.	褐色土	10YR4/6	粘:強	締:有	炭粒少量		
5b.	黄褐色土	10YR5/8	粘:強	締:有	炭粒少量		
6.	褐色土	10YR4/4	粘:強	締:有			
7.	黄褐色土	10YR5/6	粘:有	締:弱	炭粒斑状		
8.	暗褐色土	10YR3/4	粘:強	締:有			
	E160						
	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:無	締:弱	橙色土斑状		
2.	橙色土	7.5YR6/8	粘:弱	締:無	黄橙色土斑状		
3.	明褐灰色土	7.5YR7/2	粘:有	締:有	橙色土(中)斑状		
4.	にぶい橙色 土	7.5YR7/4	粘:無	締:無	橙色土		
5.	明青灰色土	10GB7/1	粘:有	締:無			

# 図版 63 (1)

97S	E1206				
1.	にぶい黄褐 色土	10YR5/4	粘:強	締:有	炭粒少量。3層・4層土(中) 多量
2.	褐色土	10YR4/4	粘:有	締:有	炭粒・褐色粒少量
3.	にぶい黄褐 色粘質土	10YR5/4	粘:強	締:有	地山土主体。炭粒少量
4.	にぶい黄褐 色粘質土	10YR5/3	粘:強	締:弱	地山粒斑状
5.	灰黄褐色粘 質土	10YR4/2	粘:有	締:弱	地山粒斑状。炭灰層状堆積
6.	灰黄褐色粘 質土	10YR6/2	粘:強	締:有	地山土主体
7.	暗褐色粘質 土	10YR3/4	粘:弱	締:強	地山土斑状。炭粒少量
97S	E178				
1.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:弱	締:有	
2.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:有	締:有	
3.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:有	締:有	
4.	褐色土	7.5YR4/6	粘:有	締:有	褐灰色土斑状
5.	黄橙色土	10YR7/8	粘:有	締:有	橙色地山土少量
6.	褐灰色土	7.5YR6/1	粘:有	締:弱	褐色ブロック少量

# 図版 63 (2)

		暗緑灰色粘 質土	10G3/1	粘:有	締:弱	地山土斑状。炭粒少量
	97P	177				
	1.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:有	
	2.	褐色土	7.5YR4/4	粘:有	締:有	
	97S	E179				
	1.	褐色土	10YR4/6	粘:弱	締:有	黒色炭少量
	2.	褐色土	10YR4/6	粘:有	締:有	
	3.	にぶい黄褐	10YR5/3	粘:有	締:有	橙色土斑状
		色土				
	4.	黄橙色土	7.5YR7/8	粘:有	締:有	地山主体土。灰白色土(中)斑 状
	5.	暗緑灰色粘 質土	10G3/1	粘:有	締:弱	地山土斑状。炭粒少量
	97S	E433				
	1.	褐色土	7.5YR4/3	粘:無	締:強	2層土(中)斑状。炭粒少量
	2.	黄褐色土	7.5YR8/8	粘:弱	締:強	にぶい黄橙色地山土(大)斑 状。炭化物
	3.	黒褐色土	7.5YR3/1	粘:有	締:有	灰白色地山土斑状。炭化物
		E936	1101110,1	4141-14	V-1 1-2	NA BERLINE DE DE LA CONTRACTOR DE LA CON
ı	1.	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:有	橙色地山土斑状に少量。炭粒 少量
	2.	黄褐色土	10YR5/6	粘:有	締:有	褐色土少量
	3.	にぶい黄橙 色土	10YR7/4	粘:有	締:有	灰白色・にぶい黄褐色土斑状
	4.	褐灰色粘質 土	10YR5/1	粘:強	締:弱	橙色土・明褐色土が層状堆積
	5.	橙色粘質土	7.5YR6/8	粘:強	締:弱	にぶい黄橙色少量。黒色土上 部に少量
	6.	黄褐色粘質 土	10YR5/6	粘:有	締:弱	明褐色粒多量。

図版	64				
97P	432				
1.	浅黄橙色粘 質土	10YR8/3	粘:弱	締:強	地山粒多量
2.	黒色土	10YR1.7/1	粘:弱	締:弱	炭灰状の物質多量
3.	浅黄橙色粘 質土	10YR8/3	粘:有	締:有	炭化物(中)少量
97S	E859				
1.	暗褐色土	10YR3/4	粘:無	締:有	明褐色土(中)・炭化物少量
2.	橙色粘質土	7.5YR6/8	粘:有	締:有	地山主体土。灰白色粘質土斑 状。マンガン少量
3.	褐色土	7.5YR4/4	粘:無	締:有	
4.	暗褐色土	7.5YR3/4	粘:有	締:弱	暗赤褐色(中)・炭化物少量
5.	褐色粘質土	7.5YR4/4	粘:有	締:弱	橙+灰白色地山粘質土斑状
	褐色粘質土	10YR4/6		締:弱	褐灰色粘質土(中)斑状
	褐色土	7.5YR4/4		締:有	
	褐色土	7.5YR4/4	粘:弱	締:弱	地山土(小)
	E861				
	橙色土	7.5YR6/8	粘:弱	締:有	+ 灰白色土斑状。暗褐色土 (中) · 炭粒少量
	灰褐色土	7.5YR4/2	粘:有	締:有	明褐色土(中)斑状。炭粒少量
	褐灰色土	7.5YR4/1	粘:有	締:弱	炭粒少量
	E422				
	暗褐色土	7.5YR3/4		締:有	橙色土斑状
1	褐灰色土	7.5YR4/1	粘:有	締:弱	
	明緑灰色土	7.5GY8/1	粘:有	締:弱	
97P					
1	灰白色土	5Y7/2	粘:有		
	橙色土	7.5YR6/8		締:有	地山土斑状
	褐色粘質土	10YR4/6	粘:有	締:有	
	K264			64. 36	
	黄橙色土	7.5YR7/8		締:強	地山主体土。灰白色粘質土斑 状
	黄褐色土	10YR5/6	粘:弱	締:強	/
	黒褐色粘質 土	5YR3/1	粘:弱	締:有	炭粒・マンガン粒
	灰色粘土	5Y4/1	粘:強	締:弱	
97P			to the second	A.L. 31	
	黄褐色土	10YR5/6	粘:弱	締:強	マンガン粒微量
2.	灰白色粘質	5Y7/1	粘:弱	締:強	
0.50	±.				
	E291	1.0170.0 / 2	alt la after	64 +	Marta Control
	灰黄褐色土	10YR6/2		締:有	
	褐灰色土	10YR6/1	粘:有	締:弱	黄褐色土少量
97P		7 EVD7 /0	w ト . ココ	66. ±	暗褐色土斑状。炭粒多量
	黄橙色土 褐色土	7.5YR7/8		締:有	
	梅巴土 橙色土	10YR4/4 7.5YR6/8	粘:弱 粘:強	締:強 締:有	褐灰色土・明褐色土斑状 灰白色土・褐灰色土が筋状
		8 /071 G.1	加力里	和11月	ハロビエ・個次巴工が助状
	K390 暗赤褐色土	5YR3/4	粘:有	締:有	赤褐色土筋状に少量
	暗が何巴工 黒褐色シル			締:有	が関ロ上別仏にグ里
4.	無构色ンル ト土	1011074	/1日 /日	和. 円	
	1 -4-				

土器・陶磁器観察表

分類 解 解 [178]	CD		H	H	_		) 曹 兴	(cm)	(次中)	负	Hu		7	職在
148   14	T	器		<b>*</b>	類	型 型	底径	<u> </u>	指数外			圏	施及 2	X/16 備 考 (手法・接合ほか)
13.0 (2.6)	1 須 恵 杯 蓋	筊	湘山	1		14.	8	(1.8)				N5/	型	2
15   15   15   15   15   16   16   16	師小雞	小臘				13.	0	(2.6)				7.5YR7/6	洫	ロクロナデ。
15C   120 60 (55)   Max	2 須 恵	$\vdash$	重			9.	2	(2.0)				2.5Y5/2	型	22
1 15C 120 66 2.9 24 (元5.4)(報 1707R62) だっち (元5.4)(報 1077R82) 普 1 (単元条件) (元5.4)(報 1707R82) 音 (元5.4)(祖 1707R82) 音 (元5.4)(祖 1707R82) 書 (元5.4)(祖 1707R82) 書 (元5.4)(祖 1707R82) 書 (元5.4)(祖 1707R82) 書 (元5.4)(田 17	須 恵 長頸壺	長劉壺	$\dashv$	- 1	$\overline{}$	7.	_	$\dashv$	_	2.5GY2/1	$\rightarrow$	2.5GY2/1	<b>=</b> X	
15.0   6.4   6.1   8.1   2.5   2	中世上節  直	Ħ			$\overline{}$	12.			_	10YR5/3		10YR5/3	淮	1   底面不明。中世土師器か?
175   6.0   6.0   34 (- 元 * 1 4 4 5 5 7 4 4 7 5 7 8 1 4 4 5 1 4 5 1 4 5 1 4 5 4 5 1 4		湿			П	16.		_				10YR8/2	淮	
12.0 (3.1)   明度端   10,VKF7/6   銀   57,VKF3/4   曜   1 内 : 3/4キ。外 : 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	土 師 椀	椀		. !	_	17.		-	34			5YR7/6	淮	回転糸切り。内外面赤彩?
12.0   (3.3)   解稿   7.5VR7/8   服   N15/	内		ريور,	, ,	Δ	12.	0	(3.1)				5Y2/1	洫	内:ミガキ。外:ロクロナデ。
12.7   (8.8)   株田   5742/6   28.40   10748,4   株田   10.2   10.2   10.2   10.2   4.0   4.0   10.8   4.0	13 内 黑 詹		乖		W	12.	0	(3.3)				N1.5/	洫	内:ミガキ。外:ロクロナデ。
18.2   (2.56)   (5.8)   (6	$\vdash$	· · ·	$\vdash$			12.	7	(8.8)				10YR8/4	洫	ロクロナデ。
1842   14 (6.0)   赤 100k/6   明本編   2.57kb/6   韓 2   2   2   2   2   2   2   2   2	13 土 師 鍋		100				(23.6					5YR6/8	淮	内面カキ目
122   (122)		餺				36	2	(5.7)				2.5YR5/6	淮	2
184   74 (60)   淡水梅   2.57R7/4 ( 元5.44年   5747/3	13 須 恵 長頸壺		重			12	2	(12.2)				10Y4/1	良	
12.4   5.4   3.5   3	13 上 節 熱 I		f. I	<b>⊢</b>		18.		_				5YR7/3	淮	_
(13.6)         機         5YR6/6         編         N1.5/         普         1 内:ミガキ。外面体影?           5.5 (2.1)         浅軟橋         2.5YR7/4         潔赤橋         2.5YR7/3         普         4 口グロナデ           5.5 (2.1)         浅軟橋         7.5YR8/4         橋         1072/1         箱         4 口グロナデ           5.2 (4.2)         開瀬         10YR8/4         橋         10Y2/1         箱         1 ログロナデ           5.2 (4.2)         明瀬域         5YR7/2         桜白         7.5YR8/4         着         1 ログロナデ         外面体影           6.0 (2.3)         明瀬域         5YR7/2         桜白         7.5YR8/4         着         1 ログロナデ         外面体影           6.0 (4.0)         海板         1 OYR6/2         塔村         7.5YR8/4         着         1 ログロナデ         外面を影           5.8 (4.0)         海板         1 OYR6/2         2 OYR7/6         着         1 ログロナデ         外面を影           6.0 (4.0)         海板         1 OYR6/8         着         1 ログロナデ         場         1 ログロナデ           5.8 (4.0)         海板         1 OYR6/8         着         1 ログロナデ         3 ログロナデ         4 ログロナデ           5.0 (4.0)         海板         1 OYR6/8         着         1 ログロナデ         3 ログロナデ <td< td=""><td></td><td>湿</td><td></td><td>≥</td><td></td><td>12.</td><td></td><td></td><td>28</td><td></td><td></td><td>10YR8/4</td><td>洫</td><td>_</td></td<>		湿		≥		12.			28			10YR8/4	洫	_
(5.4)         淡水橋         2.5VR7/4         淡水橋         2.5VR7/3         指 内 3 内 3 方4。。庭面不明           (4.5)         (4.5)         淡水橋         7.5VR8/3         馬 10Y2/1         相 D 10 D 1 子           5.2         (4.2)         (4.5)         標 5YR6/8         標 10YR8/4         期 10YZ1/2         報 10YZ1/2         其 10YZ1/2         財 10YZ1/2         財 10YZ1/2	13 内 黒 鉢		74			27.	0	(13.6)		Г		N1.5/	淮	内:ミガキ。
5.5 (2.1)         浅黄ể         7.57R8/3         無 10Y2/1         相 内: ミガキ。庭面不明           5.2 (4.5)         橙色         5YR6/8         橙色         5YR6/8         幣 4 口クロナデ         4 ロクロナデ         成不明           5.2 (4.2)         砂炭焼煙         10YR8/4         馬 10Y2/1         相 3 内: ミガキ。庭不明         10 口力	33L-17-22 13 土 節 椀 I		I I			18.	4	(5.4)		2.5YR7/4		2.5YR7/3	洫	-
(4.5)         橙色         57R6/8         橙色         57R6/8         普         4         日 ワロナデ           (2.3)         現場版         57R8/4         馬         10Y2/1         相         3         内 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	33L-17-22 13 内 黒 有台皿	$\vdash$	員欠				5.5	-		-		10Y2/1	粟	
5.2         4.2         30 浅玻隆         10YR8/4	$\vdash$	域	粼			24.	0	(4.5)				5YR6/8	淮	-
(5.3)         開発版         5VRR/2         成白         7.5VR8/2         普 1         1 ロクロナデ・外面泳形           9.8         2.3         廃債額         7.5VR8/4         養 2         1 ロクロナデ・外面泳形           6.3         度債額         7.5VR8/4         費 1         日クロナデ・外面泳形           5.8         7.3         育 2         2.5VR7/6         費 1         日クロナデ・外面と内面口縁後付着           5.8         7.9         81         成備 10VR6/2         たぷい婚 10VR7/2         費 1         日クロナデ・外面と内面口縁後付着           5.0         4.0         億 2         7.5VR7/6         機 2         7.5VR7/6         費 1         日クロナデ・外面と内面口縁後付着           5.0         4.0         2         7.5VR7/6         機 2         7.5VR7/6         費 2         月 2         月 2         所 2         7.5VR7/6         費 2         月 2         日 2         2.5VR7/6         費 2         月 2         日 2         2.5VR7/6         費 3         日 2         2.5VR2/7         費 3         日 2         2.5VR2/7         財 2         日 2         2.5VR2/7         費 3         日 2         2.5VR2/7         財 2         日 2         2.5VR2/7         財 2         日 2         2.5VR2/7         財 2         日 2         2.5VR2/2         財 2         日 2         2.5VR2/2         財 2		湿		l =		14.			30 浅黄橙			10Y2/1	粟	内:ミガキ。
(5.0)         浅英俊         7.57R8/4         浅英槍         7.57R8/4         背 英槍         7.57R8/4         背 大山         7.57R8/4         背 大山         7.57R8/6         計 上 株         1	$\vdash$	<b>製</b>	$\vdash$			17.	9	(2.3)				7.5YR8/2	洫	_
9.8         2.3         灰白         10Y7/2         灰白         5Y8/1         食         胎土軟質           (4.0)         育阪         5B6/1         浅玻槽         7.5YR8/6         臭         1 内外面分半目           (4.0)         (4.0)         核         2.5YR7/6         糖         1 ロノロナデ。外面と内面口縁媒付着           5.0         4.0         1 医球         10YR6/2         店         1 ロイロイラ         外面と内面口縁様付着           5.0         4.0         1 に参い橋         7.5YR7/4         店         1 ロイロイラ         外面と体下ロクロケズリ           5.0         4.0         3 反白         2.5Y8/1         無         1 ロイロイラ         外面と体下ロクロケズリ           6.0         4.0         3 反白         2.5Y8/1         無         1 ロインロイラ         外面と体下ロクロケズリ           6.0         4.0         3 反対         1 日本         2.5Y8/1         無         1 ロインロイラ         外面と体下ロクロケズリ           6.0         4.0         3 反対         1 日本         2.5Y8/1         無         2 反対         所         1 日本		施		Δl		12.	0	(2.0)		7.5YR8/4		7.5YR8/4	淮	ロクロナデ。
(6.3)         青版         5B6/1         決質権         7.57R8/6         員         1         内外面力キ目           5.8         7.9         81         放減額         1.75VR7/6         營         1	13   緑 粕   皿		11				9.8		灰白			5Y8/1	良	胎士軟質
(4.0)         機         2.5VR7/6         機         5VR7/6         普         1         ロクロナデ           (4.7)         (4.7)         (4.7)         (4.8)         10YR6/2         にふい機         10YR6/3         普         1         ロクロナデ         外面と内面口縁体付着           7.0         (4.7)         (4.8)         7.5YR7/4         (たい機         7.5YR7/4         音         1         ロクロナデ         小面とから         1         ロクロナデ         1         1         ロクロナデ         1	$\dashv$	単	$\dashv$			(15.	8)	(6.3)				7.5YR8/6	型	1 内外面カキ目
5.8         7.9         81 灰黄褐         10YR6/2         におい増給         10YR7/2         普         3 ロクロナデ。外面と内面口縁保付着           7.0         1.3         11 におい橋         7.5YR7/4         におい増給         7.5YR7/4         音、1         1 ロクロナデ         4 回り	13 上 部 鶏	霉				(39.	7)	(4.0)			-	5YR7/6	洫	ロクロナデ
(4.7)         機         7.5VR/06         機         5VR6/8         普         1         ロクロナデリー           5.0         4.0         33         反白         2.5VR7/4         に添い機         7.5VR7/4         音         4         内 ミガキ。所・底・杯下ロクロケズリー           6.8         4.0         所         2.5VR7/1         無         2.5VZ/1         普         4         内 ミガキ。所・底・杯下ロクロケズリー           6.8         3.0         医         K         N6/         成         N6/         段         同転今切り           5.3         4.0         B         N6/         成         N6/         段         同転今切り           6.0         6.2         A.1         展         7.5VR7/6         無         N1.5/         普         3         両毛参切り           6.0         6.3         4.1         展白         7.5VR7/6         無         N1.5/         普         3         両毛参切り           5.0         4.2         1.8         1.0         1.0         1.0         無         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0<	② 13 土 師 小 魙	小臘	$\dashv$			9.					-	10YR7/2	淮	ロクロナデ。
7.0         1.3         11 に多い機         7.5 V R7/4         に多い機         7.5 V R7/4         音         2 底面ロクロケズリ           5.0         4.0         38 灰白         2.5 V R/2         馬         N1.5/         普         4 内 : 3 74 e, 7 k F T D D T C X J           6.8         3.0         2.6 K         N6/         K         N6/         Q         11 同転かや物区り           5.3         4.0         K         N6/         K         N6/         Q         11 回転から切り           5.3         4.0         K         N6/         K         N6/         Q         I 回転から切り           6.0         6.2         K         N6/         K         N6/         Q         I 回転かりり           6.0         6.3         4.0         M         7.5 VR7/         M         N1.5/         費         1 回転かりり           6.0         6.3         4.1         K         N.15/         普         3 回転かりり           5.0         4.2         1.8         M         7.5 VR7/         M         1 N 1.5/         財         3 回転かりり           6.0         6.3         4.1         K         N 1.5/         対         1 回転かりり         3 回転かり           5.4         2.5         4.8 </td <td>13 土 師 小 皿</td> <td><b>単</b></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td>10.</td> <td>0</td> <td>(4.7)</td> <td>橙</td> <td></td> <td></td> <td>5YR6/8</td> <td>淮</td> <td>1 ロクロナデ</td>	13 土 師 小 皿	<b>単</b>	-			10.	0	(4.7)	橙			5YR6/8	淮	1 ロクロナデ
12.0   5.0   4.0   3.3		Ħ				12.						7.5YR7/4	淮	
(4.0)         灰白         2.578/1         馬         2.572/1         普         2         内にまがキ。口縁部がやや端反り           6.8         3.0         2.6         K         N6/-         K         N6/-         A         I 同転へ与切り。板板圧縦           5.3         4.0         (2.5)         K         N6/-         K         N6/-         A         1         I 回転へ与切り。板板圧縦           5.3         4.0         3.8         M         N6/-         K         N6/-         B         I 回転へ与切り。板板圧縦           6.0         6.3         4.0         N8/-         K         N/5/-         骨         3         D 回転へ切り           5.0         4.3         4.4         反対・機         7.57K7/6         M         N/5/-         骨         3         D に素がより           5.0         4.3         4.4         反対・機         7.57K8/6         M         1072/1         イ         3         D に素がより           5.0         4.3         3.4         たが・機         1078/3         イ         1         日本来のののののののののののののののののののののののののののののののののののの		聚		≥		12.			33 灰白			N1.5/	洫	内:ミガキ。
(4.4)         版         574/1         青版         5PB6/1         良         開解径15.8cm           6.8         3.0         2.6         K         N6/         房         11         同転へ与切り。板状圧道           9.0         (2.5)         K         N6/         房         N6/         身         11         回転へ与切り。板状圧道           5.3         4.0         38         (4.0)         K         N6/         房         8         回転へ与切り。板状圧道           6.0         6.3         41         K付         1.0YRA/3         幣         3         月         1.5VRA/4         機         3         月         1.5VRA/4         機         3         月         1.5VRA/4         機         1.0YRA/3         報         月         1.0TRA/2         所         月         1.0TRA/2         日         1.0TRA/4         株         1.0TRA/4         財         月         1.0TRA/4         月         1.0TRA/4         日		溪		≥		12.	0	(4.0)				2.5Y2/1	洫	_
6.8         3.0         26         灰         N6/         段         11         回転へ与切り。板状圧鎖           5.3         4.0         38         様         7.5YR7/6         様         7.5YR7/6         費         1         回転へ与切り。板状圧鎖           5.3         4.0         38         様         7.5YR7/6         様         8         回転へ与切り。板状圧鎖           6.0         6.3         4         XFYR7/6         様         1         3         月、5YR7/6         株         1         3         月、5YR7/6         株         3         月、5YR2/6         株         1         3         日本、中央・山橋地区りのため有台橋からり         6         4         3         日、5YR2/4         株         3         日、3 日、3 日、3 日、3 日、3 日、3 日、3 日本、東、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、	13 須 恵   長頸壺		重					(4.4)	区			5PB6/1	型	胴部径15.8cm
9.0         (2.5)         版         N6/         良         目転へ与切り           5.3         4.0         33 橙         7.5VR7/6 機         7.5VR7/6 骨         音         8 目転糸切り           6.0         6.3         41 反白         1.5VR7/6 風         1.0VR3/3 個         第 10 下3 万字。 口機柵反りのため有台橋か           5.0         4.3         34 反右小橋         5VR7/4 没域         1.0VR3/3 個         第 11 回転糸切り           5.0         4.3         34 校         1.0VR8/3 没域         1.0VR8/3 積         第 11 回転糸切り           4.8         3.9         3.4 檢         1.5VR6/6 風         1.0VR8/3 積         第 1 回転糸切り           4.8         3.9         3.4 檢         1.5VR6/6 風         1.0VR8/3 積         第 1 回転糸切り           6.6         6.5         成機         10VR8/2 にぶい境橋 10VR7/3 音         3 回転糸切り。 外面と日縁内面に機付着           6.6         6.2         8 宮YR6/8 浅岐橋 10VR8/3 音         1 ロプロナデ。打圧線不明           6.5         6.5         6 宮YR6/8 浅岐橋 10VR8/3 音         1 ロプロナデ。打圧		無台杯		п		11.			26			/9N	型	
5.3         4.0         33 権益         7.5VR7/6 機         権         7.5VR7/6 備         費         8 回転条切り           6.0         (4.0)         (4.	13 須 恵   有台杯   C 2	有台杯		2			9.0					/9N	型	回転ヘラ切り
(4.0)         機         7.5VR7/6         無         N1.5/         普         3         内:3 74%・口線端段りのため有台梯か           5.0         4.3         4.1         KCh         10VR8/2         馬         10Y2/1         相         2         内:3 74%・底不明           5.0         4.3         34         C-5v46         5VR7/4         浅質橋         7.5VR8/4         者         11         同転条切り?           4.8         3.9         4         M. 2.5VR6/6         馬         N1.5/         者         3         10本条均率。外:底・体下ロクロケズリ。           6.6         不         7.5YR6/8         馬         2.5Y2/1         者         3         10本等力率。終本           6.6         不         6.2         5YR6/8         浅鏡橋         10YR8/3         者         1         10プロナデ。           6.5         機         5YR6/8         浅鏡橋         10YR8/3         者         1         10プロナデ。           6.5         機         5YR7/8         機         1         10プロナデ。         4         1		冕		≥		12.			33 橙			7.5YR7/6	洫	_
6.0 6.3 41 灰白 10YR8/2 黒 10Y2/1 和 2 内:ミガキ。底不明 5.0 4.3 34 に多い橋 5YR7/4 浅黄橙 7.5YR8/4 背 11 同転条切り? 5.4 2.6 18 浅黄樟 10YR8/3 積 3 回転条切り? 4.8 3.9 34 橇 2.5YR6/6 黒 N1.5/ 背 3 同転条切り。 6.6 下   下鉄褐 10YR8/3   対 10   対 10   対 2   対 2   対 2   対 2   対 2   対 2   対 2   対 3   対 3   可能条切り。外面と口がズリ。 6.6 下   下鉄褐 10YR8/3   対 10YR8/3   対 10   10   1   対 3   対 3   可能系切り。外面と口縁内面に抜付着 6.5   機 5YR6/8 浅黄樹 10YR8/3   対 10   10   1   ガ 2   対 3   対		毫		≥		13.	0	(4.0)	塑			N1.5/	淮	内:ミガキ。
5.0         4.3         34         にるい機         5YR7/4         浅黄橙         7.5YR8/4         普         11         回転条切り?           5.4         2.6         18         浅黄橙         10YR8/3         粮         10YR8/3         粮         3         回転条切り?           4.8         3.9         34         粮         2.5YR6/6         県         N1.5/7         幣         3         内:ミガキ。外:底・体下口クロケズリ。           6.6          7.5YR6/6         県         2.5Y2/1         幣         1         内:ミガキ。鉄鉢状           6.6          灰黄梅         10YR5/2         にろい黄橙         10YR7/3         幣         3         回転条切り。外面と口縁内面に操付着           (5.5)         橙         5YR6/8         浅黄橙         10YR8/3         幣         1         ロクロナデ。打圧縦不明           (5.6)         機         5YR7/8         橋         5YR7/8         幣         1         ロクロナデ。打圧縦不明		湿		п		15.			41 灰白			10Y2/1	粟	内:ミガキ。
5.4         2.6         18         浅黄橙         10YR8/3         報         10VR8/3         報         3         同転条切り?           4.8         3.9         34         標         2.5VR6/6         馬         N1.5/         普         3         内:ミガキ。外:底・体下口クロケズリ。           6.6         (4.0)         標         7.5VR6/6         馬         2.5V2/1         普         1         内:ミガキ。鉄鉢状           6.6         灰黄褐         10YR5/2         にぶい黄橋 10VR7/3         普         3         回転条切り。外面と口縁内面に操付着           (5.5)         橙         5YR6/8         浅黄橋         10YR8/3         普         1         ロクロナデ。打圧縦不明           (5.6)         橙         5YR7/8         槽         1         ロクロナデ。打圧縦不明	毫	毫		l≥		12	_	_				7.5YR8/4	淮	-
4.8       3.9       34       機       2.5VR6/6       黒       NI.5/       普       3       内:ミガキ。外:底・体下口クロケズリ。         6.6       (4.0)       機       7.5VR6/6       黒       2.5V2/1       普       1       内:ミガキ。鉄鉢状         6.6       灰黄褐       10YR5/2       にぶい黄橋       10YR7/3       普       3       回転糸切り。外面と口縁内面に操付着         6.5       機       5YR6/8       浅黄橋       10YR8/3       普       1       ロクロナデ         (5.6)       機       5YR7/8       槽       5YR7/8       普       1       ロクロナデ。打圧縦不明		Ħ				14.			18 浅黄橙			10YR8/3	粟	_
(4.0)         橙         7.5VR6/6         黒         2.5V2/1         普         1 内:弐ガキ。           6.6         灰黄褐         10VR5/2         にぶい黄橋 10VR7/3         普         3 回転糸切り。           (5.2)         橙         5VR6/8         浅黄樟 10VR8/3         普         1 ロクロナデ           (5.6)         橙         5VR7/8         橙         1 ロクロナデ	黒椀	椀		≥		111.						N1.5/	淮	内:ミガキ。外:底・体下ロクロケズリ。
6.6         灰黄褐         10YR5/2         にぶい黄橋         10YR7/3         普         3 回転糸切り。           (5.2)         橙         5YR6/8         浅黄橙         10YR8/3         普         1 ロクロナデ           (5.6)         橙         5YR7/8         橙         1 ロクロナデ。	13 内 黒   鉢		14			22.	4	(4.0)				2.5Y2/1	淮	内:ミガキ。
(5.2)         機         5YR6/8         浅英橙         10YR8/3         普         1           (5.6)         機         5YR7/8         機         5YR7/8         增         1	計 計	<b>松</b>	$\dashv$			13.			灰黄褐		黄橙	10YR7/3	準	回転糸切り。
(5.6) 檔 5YR7/8 檔 5YR7/8 幣 1	上 師 小 魙	小腳	-		_	16.	00	(5.2)				10YR8/3	淮	1 ロクロナデ
		镈		1		31.	2	(5.6)				5YR7/8	洫	1 ロクロナデ。打圧痕不明

国			整     57R7/8     整       所     7.5Y6/1     灰白       灰黄褐     10YR5/2     黒褐       におい他     7.5YR7/3     黒	橙 5YR7/8 灰 7.5Y6/1	(7.9) 権 5YR7/8 6.2 (2.1)	(7.9) 檔 5YR7/8 (2.1) 底 7.5Y6/1	0/10/1	(7.9) 權 5YR7/8 6.2 (2.1)	A 35.0 (7.9) 橙 5YR7/8 6.9 (2.1) 瓜 75V8/1	師 編         A         35.0         (7.9)         校         5VR7/8           息         鐵・衡         6.2         (2.1)         灰         7.5Y6/1
	-∏ 1 H&E I		7.5Y6/1 10YR5/2 位 7.5YR7/3	灰 7.5Y6/1	(2.1) 灰 7.5Y6/1 (1.8) 灰黄褐 10YR5/2	(2.1)	(7.9) AE 5YK//8	(2.1) 展 7.5Y6/1		恵 南·瓶 6.2 (2.1) 灰 7.5Y6/1
	182	T	10YR5/2 營 7.5YR7/3		(1.8) 灰黄褐 10YR5/2		(2.1) <b>K</b> 7.5Y6/1	The second secon	0.5 (5.1)   (7.10)/1	
			7.5YR7/3	灰黄褐   10YR5/2		(1.8) 灰黄褐 10YR5/2	(1.8) 灰黄褐 10YR5/2	(1.8) 灰黄褐 10YR5/2	5.5 (1.8) 灰黄褐 10YR5/2	椀     5.5 (1.8)     灰黄褐     10YR5/2
N1.5/				にぶい橙 7.5YR7/3	(3.6) にぶい橙 7.5YR7/3	(3.6) にぶい橙 7.5YR7/3	(3.6) にぶい橙 7.5YR7/3	(3.6) にぶい橙 7.5YR7/3	IV (3.6) にぶい機 7.5YR7/3	黒 椀 IV 11.1 (3.6) にぶい橙 7.5YR7/3
N1.5/	- 1		い黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR7/3	5.8 (4.0) にぶい黄櫓 10YR7/3	5.8 (4.0) にぶい黄櫓 10YR7/3	5.8 (4.0) にぶい黄櫓 10YR7/3	5.8 (4.0) にぶい黄櫓 10YR7/3	5.8 (4.0) にSい黄橙 10YR7/3	黒 椀 5.8 (4.0) にぶい黄橙 10YR7/3
T	- 13	$\neg$			(2.6)	(2.6)	(2.6)	14.0 (2.6)  灰目 10YR8/2	14.0 (2.6)	黒 有台皿 14.0 (2.6) 灰目 10YR8/2
7.5YR8/4	1	10YR7/3 浅黄橙 7.5VR4/9 海華榕	54 にぶい黄橙 10YR7/3 浅黄桃 原場 7.5VB4/9 海書#	に ぶ 近 添 い 近 添 の で の で の で の の の の の の の の の の の の の の の の の の 	6.8 54 にふい黄橙 10YR7/3 (5.0) 応海 7.5VB4/9	54 にぷい黄橙 10YR7/3	6.8 54 にふい黄橙 10YR7/3 (5.0) 応海 7.5VB4/9	6.8 54 にふい黄橙 10YR7/3 (5.0) 応海 7.5VB4/9	12.6 6.8 54 に多い黄橙 10YR7/3 (5.0) 原題 7.5VB4/2	B 12.6 6.8 54 にぶい黄橙 10YR7/3 (5.0) 原瀬 7.5VP4/2
	1 10-	$\top$	5YR6/8	# 5YR6/8	# 5YR6/8	# 5YR6/8	# 5YR6/8	# 5YR6/8	27.7.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1
2.5YR7/6		+	2.5YR7/6	2.5YR7/6	(4.4) 權 2.5YR7/6	橙 2.5YR7/6	(4.4) 權 2.5YR7/6	(4.4) 權 2.5YR7/6	(34.8) (4.4) 権 2.5YR7/6	(34.8) (4.4) 機 2.5YR7/6
增 7.5YR7/4	ا <u>ج</u> َ ا		淡橙 5YR8/4 にぷい	5YR8/4	(13.2) 淡橙 5YR8/4	(13.2) 淡橙 5YR8/4	(13.2) 淡橙 5YR8/4	(13.2) 淡橙 5YR8/4	36.8 (13.2) 淡橙 5YR8/4	C 36.8 (13.2) 淡橙 5YR8/4
	5	10YR7/3   にぶい橙	い黄橙 10YR7/3	に <b>ぷい黄橙</b> 10YR7/3	(2.6) にぶい黄橙 10YR7/3	(2.6) にぶい黄橙 10YR7/3	(2.6) にぶい黄橙 10YR7/3	(2.6) にぶい黄橙 10YR7/3	IV   13.0   (2.6)   にぶい黄橙   10YR7/3	M   IV   13.0   (2.6)   にぶい黄橙   10YR7/3
			2.5Y7/1	灰白 2.5Y7/1	(3.2) 灰白 2.5Y7/1	(3.2) 灰白 2.5Y7/1	(3.2) 灰白 2.5Y7/1	(3.2) 灰白 2.5Y7/1	12.0 (3.2) 灰白 2.5Y7/1	税 IV 12.0 (3.2) 灰白 2.5Y7/1
£ 7.5YR7/3	7.	2.5YR7/4 にぶい楢	淡赤橙   2.5YR7/4 にぶい	2.5YR7/4	(2.0) 淡赤橙 2.5YR7/4	淡赤橙 2.5YR7/4	(2.0) 淡赤橙 2.5YR7/4	(2.0) 淡赤橙 2.5YR7/4	(2.0) 淡赤橙 2.5YR7/4	小 魙 A 19.8 (2.0) 淡赤橙 2.5YR7/4
10Y2/1			5Y8/1	5Y8/1	(5.6) 灰白 5Y8/1	灰白 5Y8/1	(5.6) 灰白 5Y8/1	(5.6) 灰白 5Y8/1	(5.6) 灰白 5Y8/1	鉢         24.0         (5.6)         灰白         5Y8/1
10YR8/4	韓		10YR8/4	浅黄橙 10YR8/4	(6.7) 浅黄橙 10YR8/4	(6.7) 浅黄橙 10YR8/4	(6.7) 浅黄橙 10YR8/4	(6.7) 浅黄橙 10YR8/4	18.2 (6.7) 浅黄橙 10YR8/4	長 熟 B 18.2 (6.7) 浅黄橙 10YR8/4
7.5YR8/6	報		にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	(3.2) にぶい橙 5YR7/4	(3.2) にぶい橙 5YR7/4	(3.2) にぶい橙 5YR7/4	12.8 (3.2) にぶい橙 5YR7/4	IV (3.2) にぶい僧 5YR7/4	極 IV 12.8 (3.2) にぶい権 5YR7/4
802i	=	$\neg$	登 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	5.0 3.5 29 にぶい橙 5YR7/4	3.5 29 にぶい橙 5YR7/4	5.0 3.5 29 にぶい橙 5YR7/4	5.0 3.5 29 にぶい橙 5YR7/4	12.0 5.0 3.5 29 にぶい橙 5YR7/4	稿 DIV 12.0 5.0 3.5 29 にぶい橙 5YR7/4
£ 2.5YR7/4	※	2.5YR7/4   淡赤橙	7   淡赤橙   2.5YR7/4   淡赤柏	淡赤橙   2.5YR7/4	10.0   1.0   7   淡赤橙   2.5YR7/4	1.0 7 淡赤橙 2.5YR7/4	10.0   1.0   7   淡赤橙   2.5YR7/4	10.0   1.0   7   淡赤橙   2.5YR7/4	14.2   10.0   1.0   7   淡赤橙   2.5YR7/4	C         14.2         10.0         1.0         7   淡赤橙         2.5YR7/4
2.5Y2/1		2.5YR5/6 黒	39 明赤褐 2.5YR5/6 黒	明赤褐 2.5YR5/6	6.2 5.1 39 明赤褐 2.5YR5/6	5.1 39 明赤褐 2.5YR5/6	6.2 5.1 39 明赤褐 2.5YR5/6	6.2 5.1 39 明赤褐 2.5YR5/6	13.2 6.2 5.1 39 明赤褐 2.5YR5/6	BⅢ BⅢ 13.2 6.2 5.1 39 明赤褐 2.5YR5/6
10Y2/1		5YR6/6 黒	横 5YR6/6 黒	5YR6/6	橙 5YR6/6	(2.9) 橙 5YR6/6	(2.9) 橙 5YR6/6	(2.9) 橙 5YR6/6	(2.9) 橙 5YR6/6	5.6 (2.9) 機 5YR6/6
$\neg$	56	∞	2.5YR6/8	橙 2.5YR6/8	橙 2.5YR6/8	10.0 橙 2.5YR6/8	10.0 橙 2.5YR6/8	10.0 橙 2.5YR6/8		長 甍 (21.6) 10.0 憶 2.5YR6/8
			橙 5YR7/6	橙 5YR7/6	(10.1) 橙 5YR7/6	(10.1) 橙 5YR7/6	(10.1) 橙 5YR7/6	(10.1) 權 5YR7/6	態 (10.1) 権 5YR7/6	師 長 畿 (10.1) 権 5YR7/6
T	<b>楽</b> しい	$\overline{}$	にぶい橙 7.5YR7/4	34 にぶい橙 7.5YR7/4	5.4 4.0 34 にぶい橋 7.5YR7/4	5.4 4.0 34 にぶい櫓 7.5YR7/4	5.4 4.0 34 にぶい橋 7.5YR7/4	IV 11.8 5.4 4.0 34 にぶい橋 7.5YR7/4	CIV 11.8 5.4 4.0 34 にぶい橙 7.5YR7/4	節 施 C IV 11.8 5.4 4.0 34 にぶい橙 7.5YR7/4
7.5Y6/1	1.600		7.5Y6/1	27 灰 7.5Y6/1	5.4 3.0 27 K 7.5Y6/1	3.0 27 灰 7.5Y6/1	5.4 3.0 27 K 7.5Y6/1	5.4 3.0 27 K 7.5Y6/1	No.   No	高 無台杯 A II 11.0 5.4 3.0 27 灰 7.5Y6/1 (2.2.1 )
10YK8/2 7 5VR8/4	調整	1UYK8/2 (浅曳恒 7 5VR7/3 (清盐熔		10YK8/2	(法) (	(3.8) 法典恒 101K8/2 (1.9) (7.5)、標 7.5VB7/3	(3.8) 法典恒 101K8/2 (1.9) (7.5)、標 7.5VB7/3	(3.8) 法典恒 101K8/2 (1.9) (7.5)、標 7.5VB7/3	(2.8) (表現恒 101K8/2 (1.9) (7.5)、標 7.5VB7/3	5.0 (Z.8) (汉贝伯 101K8/Z 5.4 (1.0) [7.次]、(第 7.5V87/3
T	5		7.5YR8/6	32 浅黄榕 7.5YR8/6	(C:2) (C:2) (C:3) (C:3	3.8 32 浅苗榕 7.5788/6	(C:2) (C:2) (C:3) (C:3	(C:2) (C:2) (C:3) (C:3	CIV 12.0 4.8 3.8 3.2 浅茜榕 7.57R8/6	間
5Y7/1	-		灰白 5Y7/1	灰白 5Y7/1	7.7 (2.5) 灰白 5Y7/1	7.7 (2.5) 灰白 5Y7/1	7.7 (2.5) 灰白 5Y7/1	7.7 (2.5) 灰白 5Y7/1	杯 7.7 (2.5) 灰白 5Y7/1	惠 無台杯 7.7 (2.5) 灰白 5Y7/1
·黄橙 10YR7/2	=	10YR7/3 にぶい黄橙	25 にぶい黄橙 10YR7/3 にぶい	にぶい黄橙 10YR7/3	8.0 2.9 25 にぶい黄橙 10YR7/3	2.9 25 にぶい黄橙 10YR7/3	8.0 2.9 25 にぶい黄橙 10YR7/3	8.0 2.9 25 にぶい黄橙 10YR7/3	1 d 2.9 25 にぶい黄橙 10YR7/3	A 1 d     11.4     8.0     2.9     25     にぶい黄橙 10YR7/3
//N	ا ـــا		/9N	展 N6/	(1.4) K N6/	(1.4) K N6/	(1.4) K N6/	(1.4) K N6/	(1.4) K N6/	杯 蓋 (I.4) 区 N6/
5B6/1	اري	5B6/1 青灰	青灰 5B6/1 青灰	5B6/1	青灰 5B6/1	(2.2) 青灰 5B6/1	(2.2) 青灰 5B6/1	(2.2) 青灰 5B6/1	(2.2) 青灰 5B6/1	有台杯     7.2     (2.2)     青灰     5B6/1
5YR7/6		5YR6/6 橙	28 橙 5YR6/6 橙	28 橙 5YR6/6	5.2 3.3 28 橙 5YR6/6	3.3 28 橙 5YR6/6	5.2 3.3 28 橙 5YR6/6	5.2 3.3 28 橙 5YR6/6	11.8 5.2 3.3 28 橙 5YR6/6	DIV 5.2 3.3 28 橙 5YR6/6
2.5Y4/1	اري	$\neg$	灰 7.5Y6/1	灰 7.5Y6/1	(12.5) 灰 7.5Y6/1	灰 7.5Y6/1	(12.5) 灰 7.5Y6/1	(12.5) 灰 7.5Y6/1	$21.4$ (12.5) $\mathbb{K}$ 7.5Y6/1	長頸壺 (12.5) 灰 7.5Y6/1
5YR8/3	20-1	2.5YR7/4   淡橙	28  淡赤橙   2.5YR7/4  淡橙	28  淡赤橙   2.5YR7/4	4.9 2.7 28 淡赤橙 2.5YR7/4	2.7 28 淡赤橙 2.5YR7/4	4.9 2.7 28 淡赤橙 2.5YR7/4	4.9 2.7 28 淡赤橙 2.5YR7/4	9.6 4.9 2.7 28 淡赤橙 2.5YR7/4	C     9.6     4.9     2.7     28     淡赤橙     2.5YR7/4
7.5YR7/6			31 橙 5YR7/6 橙	橙 5YR7/6	4.9   2.8   31  橙   5YR7/6	2.8   31   橙   5YR7/6	4.9   2.8   31  橙   5YR7/6	4.9   2.8   31  橙   5YR7/6	9.0   4.9   2.8   31   橙   5YR7/6	
7.5YR8/3	‡橙	7.5YR8/4   浅黄橙	浅黄橙   7.5YR8/4  浅黄橙	7.5YR8/4	浅黄橙   7.5YR8/4	(2.4)   浅黄橙   7.5YR8/4	(2.4)   浅黄橙   7.5YR8/4	(2.4)   浅黄橙   7.5YR8/4	(2.4)   浅黄橙   7.5YR8/4	7.0   (2.4)   浅黄橙   7.5YR8/4
5YR7/4	い橙	5YR7/3 にぶい橙	におい橙   5YR7/3   にぶい橙	5YR7/3	(2.4) にぶい橙 5YR7/3	にぶい橙 5YR7/3	(2.4) にぶい橙 5YR7/3	(2.4) にぶい橙 5YR7/3	15.0   (2.4)   にぶい橙   5YR7/3	<ul><li>題 B</li><li>15.0</li><li>(2.4)</li><li>にぶい橙 5YR7/3</li></ul>
N4/		N3/ 灰	暗灰 N3/ 灰	N3/	N3/	N3/	N3/	N3/	N3/	
7.5Y7/1	-	7.5Y5/1   灰白	灰   7.5Y5/1   灰白	7.5Y5/1	7.5Y5/1	7.5Y5/1	7.5Y5/1	7.5Y5/1	7.5Y5/1	区 7.5Y5/1
5YR8/4	20-2		にぶい橙 5YR7/4 淡橙	5YR7/4	に <b>ぷい橙</b> 5YR7/4	(1.3) にぶい橙 5YR7/4	(1.3) にぶい橙 5YR7/4	(1.3) にぶい橙 5YR7/4	(1.3) にぶい橙 5YR7/4	5.6 (1.3) にぶい橙 5YR7/4
₫ 10YR8/3	25-0	10YR7/4 浅黄橙	にぶい黄橙 10YR7/4 浅黄材	10YR7/4	に <b>ぷい黄橙</b> 10YR7/4	(1.6) にぷい黄橙 10YR7/4	(1.6) にぷい黄橙 10YR7/4	(1.6) にぷい黄橙 10YR7/4	5.8 (1.6) にSい黄橙 10YR7/4	施 5.8 (1.6) にぶい黄橙 10YR7/4
	新	7.5YR7/4 浅黄橙	にぶい橙 7.5YR7/4 浅黄権	7.5YR7/4	にぶい橙 7.5YR7/4	(1.4) にぶい橙 7.5YR7/4	(1.4) にぶい橙 7.5YR7/4	(1.4) にぶい橙 7.5YR7/4	(1.4) にぶい橙 7.5YR7/4	4.8 (1.4) におい権 7.5YR7/4
10Y6/1			10Y5/1	10Y5/1	(3.7) 展 10Y5/1	灰   10Y5/1	(3.7) 展 10Y5/1	(3.7) 展 10Y5/1	(3.7) 展 10Y5/1	有台杯         11.8         (3.7)         灰         10Y5/1
7.5Y7/3	100	7.5Y7/3 浅黄	浅黄 7.5Y7/3 浅黄	7.5Y7/3	浅黄 7.5Y7/3	2.0 浅黄 7.5Y7/3	2.0 浅黄 7.5Y7/3	2.0 浅黄 7.5Y7/3	2.0 浅黄 7.5Y7/3	9.3 2.0 浅黄 7.5Y7/3

						便彩	分類	上野	į	H		1 年	177				1 焼灰	21/2	運	考(手法・接合ほか)
No.	遺構	グリッド	Þ	M						既任	略	111 %	*	≡	K	圃				
179	668 CIS 86	33L-13			内黑	小熊			10.0		(3.1)	Ī	灰黄褐 1	10YR5/2	晋	10Y2/1	淮	-	古墳時代?	
180	98 P 934	300-5			温出	整	IV		12.5		(2.8)		浅黄橙 7	7.5YR8/6	浅黄橙	7.5YR8/4	粟	က	ロクロナデ。器面風化	
181	98 P 934	300-5			内黒	有台皿				6.5	1.8		浅黄橙 1	10YR8/4	褐灰	10YR4/1	淮	Ĺ	内:ミガキ。外:底面回転糸切り後ケズリ	切り後ケズリ
182	98 SK 956	33K-18-23	9		岩山	毫	Ш		14.0		(2.5)	-,	浅黄橙 1	10YR8/3	浅黄橙	10YR8/3	洫	က		め有台椀か
	98 P 965			T	中世土節	≡	B 2 I	15C	7.8	5.0	1.6		オリーブ黒 5	/1	オリーブ黒	5Y3/1	粟	2	回転糸切り。ロクロナデ。全面	全面に煤付着
184	98 SD 1000	32L-21 ウ		Θ	須恵	無台杯	ΑI		12.6	8.0	3.5	28	区		灰白	/2N	型	3	回転ヘラ切り	
185	$98\mathrm{SD}1000$			Θ	須恵	無台杯	ЧΠ		12.0	7.6	3.3	28		/9N	灰白	/L/N	型	1	回転ヘラ切り	
186	$98\mathrm{SD}1000$	$32L-21$ $\dot{\mathcal{P}}$		Θ	須恵	有台杯	A 2		12.0	7.2	5.2	43	灰 5	5Y6/1	灰	/9N	型	4	回転へう切り。高台断面三角形	形
$\overline{}$	$98\mathrm{SD}1000$			Θ	須恵	短頸壺蓋			15.2		(3.3)		黄灰 2	2.5Y5/1	黄灰	2.5Y5/1	型	3	天井部外面ロクロナデ後ケズリ	y
188	$98\mathrm{SD}1000$	$32\text{M}1\mathcal{7}$		Θ	須恵	長頸壺			10.0		(8.5)	7	灰	N4/	灰	N4/	型	2		
189	$98\mathrm{SD}1000$	32M-1 ⊀		Θ	須恵	横瓶					(7.0)	.,-	青灰 5	5PB6/1	青灰	5PB6/1	型		ロクロナデ後カキ目。胴部径 22.0cm	22.0cm
190	$98\mathrm{SD}1000$	$32\text{M}1\mathcal{7}$		Θ	岩田	椀	B I		17.7	6.7	6.4	36	橙	5YR7/6	ほぶい橙	5YR6/4	끭	12	回転糸切り。内外面赤彩?	
191	$98\mathrm{SD}1000$	32M-1 √		Θ	工 節	椀	B I		17.6	7.4	6.4	36	橙 5	5YR7/6	橙	2.5YR7/6	非	1 6	回転糸切り。内外面赤彩	
192	98 SD 1000	32L-21 7		Θ	岩出	毫	ВШ		14.1	6.2	5.3	38	38 淡赤橙 2	2.5YR7/4	淡赤橙	2.5YR7/4	粟	161	回転糸切り	
193	98 SD 1000	32L-21 x		Θ	温出	毫	B IV		12.6	9.6	4.7	37 橙		5YR7/6	浅黄橙	7.5YR8/4	抑	101	回転糸切り後ロクロケズリ。外面赤彩	外面赤彩
194	$98\mathrm{SD}1000$	31L-25m		Θ	岩田	椀	B IV		12.5	5.4	4.7	38 灰		N4/	ほぶい橙	7.5YR7/4	끭	1 8	回転糸切り。外:体部に筋状赤	: 体部に筋状赤彩。内: 斑点状赤彩
195	$98\mathrm{SD}1000$	32M-1 ⊀		Θ	上 節	椀	B IV		12.5	5.0	4.5	36 橙		7.5YR7/6	橙	5YR7/6	是	6	9   回転糸切り。内外面赤彩?	
196	$98  \mathrm{SD}  1000$	31L-25 1		Θ	温温	毫	B IV		12.4	5.0	4.5	36	36 にぶい櫓 5	5YR7/4	にかいた	5YR7/3	抑	16	回転糸切り	
197	$98\mathrm{SD}1000$	$32\text{M}1\checkmark$		Θ	上師	椀	B IV		12.4	5.4	4.7	38 橙		7.5YR7/6	橙	7.5YR7/6	_	13	13   回転糸切り。内面口縁赤彩?	
198	$98\mathrm{SD}1000$	$32\text{M}1\checkmark$		0	上 師	椀	B IV		12.4	4.7	4.6	37	橙 2	2.5YR6/6	にぶい橙	5YR7/4	淮	9	回転糸切り。外面赤彩	
199	$98\mathrm{SD}1000$	32M-1 ⊀		0	上 節	椀	B IV		12.4	5.8	4.5	36	にぶい橙 77	7.5YR7/4	にぶい橙	7.5YR7/4	是	12	回転糸切り。内外面赤彩?	
200	$98\mathrm{SD}1000$			0	上 節	椀	B IV		12.2		4.6		橙 7		橙	7.5YR7/6	是	13	回転糸切り	
201	$98\mathrm{SD}1000$	31L-25m		0	上 節	椀	B IV		12.0	4.6	4.4	37	黄橙 7		黄橙	7.5YR7/8	是	111	回転糸切り	
202	$98\mathrm{SD}1000$	$32L-21$ $\dot{\mathcal{P}}$		0	上師	椀	B IV		12.0		4.3	36		7.5YR7/4	にぶい橙	7.5YR7/4	淮	1	回転糸切り	
203	$98\mathrm{SD}1000$	32M-1		Θ	温	室	B IV		12.0		4.7	39	が、橙	5YR7/3	淡橙	5YR8/3	抑	13	回転糸切り。内面「の」字状赤彩。	赤彩。口縁外面赤彩
	98 SD 1000	32M-1 ${\cal F}$		Θ	温出	埊	B IV		11.9		4.3	36 率		10R5/6	华	10R5/8	洫	8	回転糸切り。内外面赤彩 (渦文)	文)
	$98\mathrm{SD}1000$			Θ	温	毫	B IV		11.9		4.3	36 橙		2.5YR7/8	橙	2.5YR7/8	抑	101	回転糸切り。内外面赤彩。	
206	$98  \mathrm{SD}  1000$	32L-21 ウ		Θ	温	室	B IV		11.8	4.6	4.2	36	36 浅黄橙 7	7.5YR8/6	梅	5YR7/6	粟	11	11 回転糸切り	
	$98\mathrm{SD}1000$	32L-21x			温	室	B IV		11.4		4.1	36	橙	5YR7/6	橙	5YR7/6	抑	15	回転糸切り。内外面赤彩	
	$98  \mathrm{SD}  1000$			Θ	温	毫	C IV		13.0		4.1	32 (	御	5YR7/4	橙	5YR7/6	粟	3	回転糸切り。内外面赤彩?	
209	$98  \mathrm{SD}  1000$			Θ	温	室	C IV		12.8		4.1	32 }	黄橙	3	浅黄橙	7.5YR8/3	抑		回転糸切り。板状圧痕	
210	$98  \mathrm{SD}  1000$	32L-21x		Θ	温	室	C IV		12.5	5.5	4.1	33			橙	5YR7/6		101	回転糸切り	
211	98 SD 1000	32L-21x		Θ	温	毫	C IV		12.8	5.2	4.2	33 淡橙		5YR8/4	橙	7.5YR7/6		101	回転糸切り	
212	98 SD 1000	32M-1 √		Θ		埊	B IV		12.0	5.4	4.4	37 橙		7.5YR7/6	暗灰	N3/	洫	12		クロケズリ。外面赤彩。墨書「天九」
	$98\mathrm{SD}1000$	$32\text{M}1\checkmark$		Θ	内黒	椀	B IV		11.6	4.4	4.3	37 橙		5YR6/8	置	N2/	淮	13	13 内:ミガキ。外:底・体下ロクロケズリ。	クロケズリ。口縁に灯明痕
	$98\mathrm{SD}1000$			Θ	上師	椀	C IV		12.8	5.4	4.2	33 橙		5YR7/6	淡橙	5YR8/4	淮	1 6	回転糸切り	
215	$98\mathrm{SD}1000$	$32\text{M}1\mathcal{7}$		Θ	上 節	椀	C IV		12.6	6.0	3.9	31 橙		2.5YR6/6	橙	2.5YR6/6	是	14	14   回転糸切り。内外面赤彩	
216	$98\mathrm{SD}1000$	32M-1 7		Θ	岩岩	椀	C IV		12.6	5.4	4.3	34 }	淡赤橙 2	2.5YR7/4	淡赤橙	2.5YR7/4	粟	12	回転糸切り。内外面赤彩(渦文	文)
217	$98\mathrm{SD}1000$	32M-1 ⊀		Θ	上 節	椀	C IV		12.6	6.0	3.9	31	橙 7	7.5YR7/6	橙	7.5YR7/6	是	16	回転糸切り。内面赤彩	
218	$98\mathrm{SD}1000$	$32\text{M}1\mathcal{7}$		Θ	上 節	椀	C IV		12.5		4.2		遊		浅黄橙	7.5YR8/4	粟	11	回転糸切り	
219	$98\mathrm{SD}1000$	32M-1 √		Θ	上師	椀	C IV		12.5	4.8	4.0	32	浅黄橙 7		橙	5YR7/6	淮	12	回転糸切り	
220	$98\mathrm{SD}1000$	$32L-21$ $\dot{\mathcal{P}}$		Θ	上 節	椀	C IV		12.4	5.4	4.2	34  }	浅黄橙   7	7.5YR8/6	浅黄橙	7.5YR8/3	展	13	回転糸切り	
$\rightarrow$	98 SD 1000	-		Θ	十 朝	椀	B IV		12.4	5.4	4.3	35 橙		$\rightarrow$	にぶい橙	7.5YR7/4	_	1 9	回転糸切り	
	98 SD 1000	_		Θ	出	毫	CIV		12.4	6.0	4.1	33 梅		7.5YR7/6	黎	5YR7/6	淮	0	9 回版 後回 1)	
000												-			-		1	0		

						万田	CED	1000		ŧ	TE.			12	
壓	M E	Fig.	器種	少 類 ——		<u> </u>	器器	一 一 一 数 三 数	*	圏	松	恒	成成	X/16	備 考 (手法・接合ほか)
0	H ⊖	虚	落	BIV	-1	12.4 5.0	0 4.4	$\vdash$	35 浅黄橙	10YR8/4	浅黄橙	10YR8/3	準	4	回転糸切り
0	H ⊖	虚		C IV	1	12.4 5.6	6 4.1	33	超	7.5YR7/6	樹	2.5YR6/6	淮	16 回	回転糸切り。内外面赤彩
	H ⊖	虚	屋	C IV	1	12.4 5.2	2 4.1	-	33 浅黄橙	7.5YR8/4	浅黄橙	7.5YR8/3	準	14回	回転糸切り
0	H ⊕	虚	湿	C IV	-1	12.4 5.4	4 3.9		31 橙	5YR6/6	鉅	5YR6/6	準	7	回転糸切り。外面赤彩
Ū	H ⊕	温	湿	C IV	1	12.4 5.	5.5 4.2	$\vdash$	34 橙	2.5YR6/6	報	2.5YR6/6	準	13 回	回転糸切り。内外面赤彩
0	H ⊕	虚	落	BIV	-1	12.4 5.	5.4 4.3		35 にぶい橙	7.5YR7/4	にがい権	7.5YR7/4	準	11	回転糸切り
32L-21 7	H ⊖	虚		C IV	1	12.2 6.3	3 4.2	_	34 橙	7.5YR7/6	橙	7.5YR7/6	準	6	回転糸切り。内面赤彩(渦文)
0	H ⊖	温	墨	C IV	1	12.2 6.0	0 4.1		34 にぶい橙	2.5YR6/4	韓	2.5YR6/6	洫	13 回	回転糸切り。内外面赤彩
32L-21 7	H ⊖	虚	屋	C IV	1	12.1 5.	5.4 4.1	34	母	5YR7/6	橙	5YR7/6	準	11回	回転糸切り。内面と外面口縁赤彩
32M-17	H ⊖	虚	屋	C IV	-1	12.2 5.6	6 4.0	-	33 浅黄橙	10YR8/3	灰白	10YR8/2	準	9	上位。回転糸切り。内外面赤彩
32M-17	H ⊖	虚	屋	C IV	1	13.0 5.4	4 3.9	30	浅黄橙	10YR8/3	浅黄橙	7.5YR8/4	準	16 下	下位。回転糸切り。内外面赤彩?
31L-25 T	H ⊖	虚	屋	C IV	-1	12.0 5.0	0 3.8	32	灰白	2.5YR8/1	浅黄橙	7.5YR8/3	準	2	回転糸切り
32L-21 7	H ⊖	虚	屋	C IV	1	12.0 5.	5.6 4.1	34	母	7.5YR7/6	橙	5YR7/8	準	<u>=</u>	回転糸切り
32L-21 7	H ⊖	虚	屋	C IV	-1	12.0 5.0	0 4.0	_	33 橙	5YR7/8	鉅	5YR7/8	準	6	回転糸切り
32L-21 7	H ⊕	温	湿	C IV	1	12.0 5.	5.0 4.0	$\vdash$	33 億	2.5YR6/6	塑	2.5YR7/6	準	14回	14 回転糸切り。内外面に赤彩
32L-21 7	H ⊖	虚		C IV	-1	12.0 5.	5.4 4.1		34 浅黄橙	7.5YR8/4	浅黄橙	7.5YR8/6	準	10回	回転糸切り
32L-21 7	H ⊖	虚	落	BIV	-1		5.6 4.2	-	35 にぶい橙	5YR7/4	にがいた	7.5YR7/3	準	13 回	回転糸切り。内外面に赤彩?
32L-21 7	H ⊖	虚	屋	C IV	-1		5.2 3.9	_	33 橙	7.5YR7/6	にかいた	7.5YR7/4	準	6	回転糸切り
32L-21 7	H ⊖	温	墨	C IV	1	12.0 5.8	8 3.7		31 橙	5YR7/6	塑	5YR7/6	洫	11回	回転糸切り。内面口縁と外面に赤彩
32L-21 0	⊕ ⊕	温	~ ~	C IV	1	12.0 6.	6.2 4.1	34	にがい着	5YR7/4	にがい権	7.5YR7/3	粟	平 9	剥落不明
32M-17	∓ ⊕	塩:	~ ~	C IV	1	12.0 5.4	4 3.9	33	橙	5YR7/6	にがい櫓	7.5YR7/4	準	2 回	回転糸切り。外面と内面口縁赤彩
	∓ ⊕	塩:	~ ~	C IV	1		5.8 3.9		にがい着	7.5YR7/4	にがい櫓	5YR7/4	準	12 回	回転糸切り。内面赤彩(口縁帯状)
	⊕ ⊕	塩:		C IV	1	12.0 5.7	7 4.1	-	橙	5YR7/6		5YR7/6	-	11回	回転糸切り。内面口縁・外面赤彩
32M-1 ✓ (I	⊕	虚 ::		C IV	1	12.0 5.9	9 4.1	-	34 橙	5YR7/6	橙	5YR7/6	_	14 E	上位。回転糸切り。内面口縁赤彩
	H ⊖		墨	C IV	1		5.0 4.1	$\dashv$	34 橙	7.5YR7/6		7.5YR7/8	-	12回	回転糸切り。内面赤彩?
32M-1 √ (I	H ⊖			BIV	1			$\dashv$	35 にぶい橙	5YR7/4	亞	5YR8/4	_	13回	13 回転糸切り。口縁内面に赤彩
32L-21 7	H ⊖	虚		C IV	1		5.0 4.0	_	34 橙	5YR6/8		2.5YR6/8	$\dashv$	12回	回転糸切り。内面赤彩
32L-21 7	H ⊖	虚		BIV	1	1.8 5.6	6 4.1	-	35 橙	2.5YR7/6	橙	2.5YR7/6	$\dashv$	10回	10   回転糸切り。内面口縁と外面赤彩。内:口縁灯明痕
,	H ⊖			BIV	1		5 4.1	$\dashv$	にかい樹	7.5YR7/3	にがい権	5YR7/4	$\dashv$	15回	回転糸切り。内:口縁~体部灯明痕
	H ⊖	虚::		BIV	1			_	母	2.5YR6/6	橙	2.5YR6/6	準	回 6	回転糸切り。内外面赤彩
7	H ⊖	温	屋	C IV	1	11.6 5.	5.6 3.8	_	33 浅黄橙	7.5YR8/6	學	5YR7/8	粟	11 巻	表面剥落
32M-1 ✓ (1	H ⊖	量:		C IV	1	11.6 5.4	4 4.0	34	にぶい楢	5YR6/4	にぶい橙	5YR6/4	_	13 回	回転糸切り。板状圧痕
32L-21 7 0	H ⊖	温	型 I	BIV	1	11.5 5.7	7 4.0	_	35 橙	5YR6/6	塑	5YR6/6	淮	10回	10  回転糸切り。内面口縁赤彩?
32M-1 ✓ (1	H ⊖	温	屋	C IV	1	11.2 5.	5.6 3.6		橙	5YR7/6	明褐灰	7.5YR7/2	淮	14回	回転糸切り。外面赤彩?
31L-254   (I	⊕ ∓	塩:		C IV	1	12.6 6.1	1 3.8		30 にぶい橙	7.5YR7/4	にぶい槽	7.5YR7/3	準	13 回	13   回転糸切り
32M-1 ✓ (I	① —	温:	~ ~	C IV	1	11.6 5.4	4 3.5	90	黄橙	7.5YR7/8	黄橙	7.5YR7/8	油	12 回	回転糸切り。内外面赤彩?
31L-25 U	⊕ ∓	塩:	宛						浅黄橙	7.5YR8/3	浅黄橙	7.5YR8/3	) 非	0.5	0.5 体部外面墨書
31L-254   (I	⊕ ∓	塩:	/	A	1	14.8 5.5	5 3.1	21	浅黄橙	7.5YR8/3	浅黄橙	7.5YR8/4	準	П 9	ロクロナデ。底面調整不明
32L-21 0	⊕	3 番	極	ИΝ	1	15.8 6.0	0 7.0	44	橙	7.5YR7/6	置	N2/	異	7 内	内:ミガキ。外:底・体下ロクロケズリ
	⊕	3 番	施	BIV	1	12.3 5.0	0 4.4	98 1	橙	5YR7/6	置	N2/	準	14 内	13:ミガキ。外:底・体下ロクロケズリ。外面赤彩?
32L-21 7	⊕	晋	型 I	ВШ	1	14.4 5.	5.9 5.3	37	明赤褐	5YR5/8	置	N1.5/	洫	11 内	:ミガキ。
31L-25 U	⊕ 14	3 番	椀	ВШ	1	14.2 5.0	0 5.3	37	橙	7.5YR6/8	署	N2/	淮	2 内	:ミガキ。
	⊖		型 I	ВШ	1		5.6 5.1		36 明黄褐			N2/	-	7	
32L-21 T	⊕			ВШ	1	14.0 5.	5.6 5.5		塑	7.5YR6/8	晋	10YR2/1	油	12 内	
_	⊕		施	ВШ		13.4 5.4	4 5.0		37 明赤褐	5YR5/8	出	5YR1.7/1	神	2	1: ミガキ。外:底・体下ロクロケズリ

素(手法・様合ほか)				。外面赤彩?		。外面赤彩	・ズリ	ズリ	。外面赤彩				。高台の対称位置欠			。外面赤彩			。 南台刺攤																変色				。外面赤彩		。外面赤彩	。外面赤彩。口縁灯明痕	。外面赤彩	。外面赤彩		。外面赤彩
雙		。外:底・体下ロクロケズリ	。外:底・体下ロクロケズリ	。外:底・体下ロクロケズリ。	。外:底・体下ロクロケズリ	。外:底・体下ロクロケズリ。	。外:底面糸切り後ロクロケズリ	。外:回転糸切り後ロクロケ	。外:底・体下ロクロケズリ		。外:底・体下ロクロケズリ	- 南台灣羅	。外:底・体下ロクロケズリ。	。底面調整不明		。外:底・体下ロクロケズリ。	。外:底・体下ロクロケズリ	。外:底・体下ロクロケズリ	。外:底・体下ロクロケズリ。	2 口縁部外面墨書「十暦」か	19。内底面墨痕?	19。報No.358同一個体			。 内面赤彩			。外面赤彩。口縁灯明痕?	。表面摩滅	。板状圧痕			。 内面赤彩 (口縁部に帯状)	。底面へラ記号? [一]	。ロ~体部に灯明痕?が広く変色	。内外面赤彩?			。外:底・体下ロクロケズリ。外面赤彩		。外:底・体下ロクロケズリ。	。外:底・体下ロクロケズリ。	。外:底・体下ロクロケズリ。	。外:底・体下ロクロケズリ。		。外:底・体下ロクロケズリ。
残存		9 内:ミガキ。	14 内:ミガキ。	7 内:ミガキ。	12 内:ミガキ。	3 内:ミガキ。	4 内:ミガキ。	7 内:ミガキ。	8 内:ミガキ。	13 内:ミガキ。	7 内:ミガキ。	9 内:ミガキ。	10 内:ミガキ。	2 内:ミガキ。	2	15 内:ミガキ。	8 内:ミガキ。	9 内:ミガキ。	16 内:ミガキ。	2 口縁部外面	5 回転ヘラ切り。	3 回転ヘラ切り。	10 回転糸切り	9 回転糸切り	2 外器面剥落	3 回転糸切り	7 回転糸切り	13 回転糸切り	9 回転糸切り。	7 回転糸切り	14 回転糸切り	9 回転条切り	13 回転糸切り。	3 回転糸切り。	6 回転糸切り。	2 回転糸切り。	ロクロナデ	ロクロナデ	12 内:ミガキ。	3 内:ミガキ	6 内:ミガキ。	3 内:ミガキ。	3 内:ミガキ。	12 内:ミガキ。	2 内:ミガキ。	3 内:ミガキ。
体 版 列		淮	御	淮	御	御	淮	御	淮	御	油	粟	御	粟	御	御	淮	淮	淮	型	型	型	御	御	御	洫	細	御	洫	御	御	細	是	淮	洫	御	御	御	御	御	御	御	淮	淮	粟	御
	画	N2/	5Y2/1	2.5Y2/1	5Y2/1	10YR2/1	10YR2/1	N1.5/	N2/	N2/	10YR2/1	N2/	N3/	N2/	N3/	N1.5/	10YR3/1	2.5Y2/1	5Y2/1	5Y7/1	/9N	/9N	7.5YR7/4	7.5YR7/6	5YR7/4	7.5YR8/6	5YR7/6	7.5YR6/3	7.5YR8/3	5YR6/6	7.5YR8/4	5YR7/6	5YR6/4	7.5YR7/6	2.5YR7/4	5YR6/4	5YR8/3	7.5YR7/4	10YR2/1	N1.5/	N2/	10YR1.7/1	10YR2/1	10YR2/1	10YR2/1	N1.5/
靐	€	畫	置	置	置	番	噩	置	審	凿	置	置	暗灰	番	暗灰	番	黒褐	噩	噩	灰白	区	区	にかい権	橙	にかい権	浅黄橙	橙	にかい	浅黄橙	橙	浅黄橙	橙	にぶい橙	盘	淡赤橙	にかいた	淡橙	にかい	番	番	噩	≕	置	置	凿	淄
鱼	圏	5YR6/8	5YR6/8	5YR6/6	2.5Y8/2	5YR5/8	7.5YR6/6	10YR8/2	5YR6/6	7.5YR6/8	5YR5/8	7.5YR8/3	2.5YR7/6	7.5YR8/4	7.5YR8/4	5YR5/8	7.5YR4/6	5YR6/8	5YR6/6	5Y7/1	/SN	N4/	7.5YR7/4	7.5YR7/6	10YR8/2	7.5YR8/6	5YR7/6	7.5YR6/3	7.5YR8/3	5YR6/8	7.5YR7/6	5YR7/6	5YR6/4	7.5YR7/6	5YR8/3	7.5YR7/4	5YR7/4	5YR7/4	2.5YR6/4	10YR8/2	5YR6/8	5YR5/8	5YR6/8	7.5YR6/8	5YR8/3	5YR7/6
	*	型	36 橙	32 橙	灰白	35 明赤褐	34 橙	35 灰白	梅	塑	明赤褐	浅黄橙	盘	浅黄橙	30 浅黄橙	明赤褐	褐	類	類	灰白	区	区	36 にぶい橙	橙	32 灰白	34 浅黄橙	橙	35 にぶい褐	33 浅黄橙	橙	橙	橙	33 にぶい橙	盘	淡橙	にかいた	にがい権	にかいた	にかいた	灰白	盘	34 明赤褐	橙	橙		韓
径高:		3 36		-	5 32				1 34	34	1 37	3)	2 46		_	1 26	3 23	3 31	(2	3)	3 23	3 46		) 31			3 31	_		34	33	3 32	_	3 29	5 29	9 19	<u>(</u>	(1	4 41	2 41	3 39		36	38		32
(cm)	認	4.3	4.3	4.6	4.5	4.8	4.3	4.2	4.1	4.0	5.1	(2.6)	5.2	3.4	3.8	3.4	3.3	3.8	(2.7)	(2.8)	2.8	5.8	4.3	4.0	4.1	4.2	3.8	4.3	4.0	4.0	3.9	3.8	3.9	3.8	3.5	2.9	(0.9)	(5.1)	5.4	5.2	5.8	5.1	5.2	5.3	4.3	4.0
曹		5.0	5.0	5.8	5.0	5.4	4.8	4.6	4.3	4.9	5.6	5.5	6.8		8.0	7.7	8.2	6.8	5.8		7.6	7.6	5.5	2.0	5.3	5.3	5.4	5.0	2.0	4.6	5.4	5.3	5.6	5.2	5.2	9.9	*	18.4	5.4	5.4	0.9	6.4	0.9	5.2		5.0
洪	口倭	12.1	11.8	14.2	14.0	13.8	12.6	12.0	12.0	11.6	13.9	12.5	11.4	13.4	12.8	13.3	14.6	12.4	12.6	13.5	12.4	12.7	12.0	12.8	12.8	12.4	12.4	12.3	12.0	11.8	11.8	11.8	11.7	13.0	12.0	15.6			13.2	12.8	15.0	14.8	14.4	14.0	13.0	12.4
聯報																																														
今		ΒIV	BIV	СШ	СШ	ВШ	C IV	BIV	C IV	CIV	ВШ	В	A	А	Ą	A	A	A	В	П	СП	A 1	BIV	CIV	C IV	CIV	C IV	BIV	CIV	CIV	CIV	C IV	CIV	DIV	DIV	Ą			ЧШ	ΑW	ВШ	CIII	ВШ	ВШ	C IV	C IV
器		毫	落	宛	落	毫	落	落	毫	毫	毫	有台皿	有台椀	有台皿	有台皿	有台皿	有台皿	有台皿	有台皿	無台杯	無台杯	有台杯	毫	落	毫	毫	宛	毫	毫	落	落	影	椀	毫	毫	Ħ	有台盤	有台盤	毫	毫	毫	落	宛	宛	落	施
展		内	内黒	内黑	内黒	内黑	内黑	内黒	内黑	内黑	内黑	内黒	内黒	内黑	内黑	内黑	内黑	内黒	内黒	須恵	須恵	須恵	出	十二	出	岩岩	上 部	温出	岩岩	温温	温出	中皇	上 師	出	岩岩	出	温温	温出	内	内	内	内	内	内	内 黒	内
SB	×1	0	Θ	Θ	Θ	0	0	Θ	Θ	0	Θ	Θ	Θ	Θ	0	0	$\Theta$	$\Theta$	$\Theta$	⊗	⊗	⊗	(3)	□	(3)	(S)	©	(3)	(S)	⊙	(3)	©	©	(3)	(3)	□	©	□	⊗	⊗	⊗	(S)	(S)	(S)	(3) Z	©
	聖	_	_		_			_																																						_
土 位置	グリッド	32L-21 7	32L-21 b	32M-17	32L-21 b	32M-1 √	32M-17	32L-21 h	32L-21 b	32L-21 x	32M-17	31L-25x	31L-25x	31L-25 x	32L-21	32M-17	32M-17	32M-17	32M-17	32M-2 b	32M-77	32M-2 b	32M-7 √	42-W-2 ψ	48-WZE (	32M-2 7	32M-77	32M-7x	32M-8 th	32M-77	32M-7 ⊀	48-M28 (	32M-74	32M-8 th	32M-74	48-WZE (	32M-2	48-WZE (	32M-7 √	32M-7 √	48-WZE (	32M-7 √	32M-77	32M-7x	-	32M-8ウ
H	報	$98\mathrm{SD}1000$	98 SD 1000	$98  \mathrm{SD}  1000$	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	$98  \mathrm{SD}  1000$	$98  \mathrm{SD}  1000$	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	$98  \mathrm{SD}  1000$	98 SD 1000	$98  \mathrm{SD}  1000$	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	$98  \mathrm{SD}  1000$	98 SD 1000	98 SD 1000	$98\mathrm{SD}1000$	98 SD 1000	$98  \mathrm{SD}  1000$	$98\mathrm{SD}1000$	$98\mathrm{SD}1000$	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	$98\mathrm{SD}1000$	$98\mathrm{SD}1000$	$98\mathrm{SD}1000$	$98  \mathrm{SD}  1000$
版報	_	0 269	80 270	0 271	0 272	0 273	0 274	80 275	0 276	0 277	0 278	80 279	1 280	1 281	1 282	1 283	1 284	1 285	1 286	1 287	1 288	1 289	1 290	1 291	1 292	1 293	1 294	1 295	1 296	1 297	1 298	1 299	1 300	1 301	1 302	1 303	1 304	1 305	1 306	1 307	1 308	1 309	1 310	1 311	-	2 313
図版	Ž	80	∞	80	80	80	80	ŏ	80	80	80	∞	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	82	82

									7			7				
グリッド 層	×	種別	器	ク類	聖	口径	H.,	記書	指数	外面		玉	橿	成成	X/16	一 名(子次・按言はか)
32M-77	(3)	日	蒸	C IV		11.7	5.0	4.0	34 橙	5YR6/8	置 8/9		2.5Y2/1	淮	14 p	内:ミガキ
32M-2 ウ	(3)	不無	有台椀	В		14.0	5.5	(4.4)	塑	5YR6/6	置 9/9		2.5Y2/1	抑	6	内:ミガキ。外:底面糸切り後ロクロケズリ。外面赤彩。高台剥離。口縁端部の外反強い
32M-77-1	(3)	内	有台皿	A		12.8	9.7	4.2	33 にぶい黄橙	_	10YR7/4 黒		N2/	淮	3	内:ミガキ。外:底面糸切り後ロクロケズリ
32M-7 √	(3)	日	救			23.6		9.8	36 橙	7.5Y	7.5YR6/6 黒		10YR2/1	準	23	内:ミガキ
32M-8 7	(3)	内	鍔付鉢					(6.1)	浅黄橙		7.5YR8/4 黒		7.5YR1.7/1	洫		内:ミガキ。外面赤彩?
32M-77	(3)	工 郎	海	В		22.0	_	(10.6)	にかい福		7.5YR6/3   灰褐		7.5YR6/2	非	2	内外面カキ目
32M-7x	(3)	温出	小腦	В		8.6		0.9	61 にぶい橙		7.5YR7/4 浅	浅黄橙	7.5YR8/4	洫	4	内口縁媒ける
33N-257	(e)	須恵	無台杯	C I		12.8	7.5	3.0	23 灰	/9N	区		/SN	型	2	回転ヘラ切り
33N-19 I	®	須恵	無台杯	ВП		12.2	9.9	3.0	25 灰	/9N	区		/SN	型	2	回転ヘラ切り
33N-20 ウ	(c)	須恵	無台杯	ВП		12.2	7.2	3.1	25 灰	/9N	区		/9N	型	4	回転ヘラ切り
33N-20 ¢	®	須恵	無台杯	ВП		12.0	0.9	3.0	25 灰	/9N	区		/9N	型	2	回転ヘラ切り
33N-257	(C)	須恵	無合杯	ВП		12.0	8.9	3.1	26 灰	/9N	区		/9N	型	2	回転ヘラ切り。口縁が内側に入る
33N-20 th	(C)	須恵	有台杯	ы		16.4	9.2	5.7	35 オリー	ーブ灰 2.5GY5/	rY5/1 灰		/9N	型	4	回転へラ切り。灰釉模倣
33N-25	(c)	須恵	有合杯	C 1		13.2	7.4	4.0	30 展	/9N	灰白		/LN	型	7	回転ヘラ切り
33N-20 I	®	須恵	有台杯	В		12.4	6.4	4.3	35 灰	5Y6/1		灰白	5Y7/1	型	3	回転ヘラ切り。内面口縁タール状付着物
33N-20 th	(C)	須恵	樹・瀬				8.8	(3.2)	灰白	5Y7/1		灰白	5Y7/1	淮	Ť	回転糸切り
33N-24 √	(c)	温出	毫	BIV		11.6	4.8	4.4	38 學	5YR7/6		にぶい黄橙	10YR7/4	粟	4	回転糸切り。外面赤彩?
33N-20 th	(c)	温出	毫	CIV		12.6	5.2	3.9	31 浅黄橙		7.5YR8/4 浅	浅黄橙	7.5YR8/4	粟	6	回転糸切り
33N-19 T	®	温出	毫	BIV		12.6	0.9	4.4	35 浅黄橙		7.5YR8/3 浅	浅黄橙	7.5YR8/6	準		
33N-20 D	(c)	出	毫	C IV		12.6	5.4	3.9	31 黄橙	7.5Y	7.5YR7/8 港		7.5YR8/4	洫	13 [	回転糸切り
33N-20 I	®	工 郎	施	C IV		12.4	5.4	3.8	31 浅黄橙		7.5YR8/6   浅	浅黄橙	7.5YR8/6	異	14	回転糸切り。器面摩滅
	®	工 郎	宛	C IV		12.1	4.5		31 にぶい橙	\$P			10YR8/4	準		-€′
	®	工師	椀	C IV		12.0	4.0	3.9	33 浅黄橙				7.5YR8/6	異	10	回転糸切り?。器面摩滅
33N-20ウ	®	十 郎	溶	CIV		12.0	4.4	4.1	34 黄橙	7.5Y	7.5YR8/8   浅	浅黄橙	7.5YR8/6	粟	14	回転糸切り
	_	温出	毫	C IV		11.6	5.2	3.8	33 にぶい樹		4	黄橙	10YR7/2	羋	3	回転糸切り
	(C)	温出	毫	BIV		11.6	2.0	4.1	35 極	5YR7/6			7.5YR8/6	羋		回転糸切り
	(C)	温出	毫	C IV		11.6	2.0	4.0	34 浅黄橙		7.5YR8/6 浅	浅黄橙	7.5YR8/6	羋	7	回転糸切り。外面赤彩?
33N-20 ウ	(C)	温出	毫	BIV		11.3	5.1	4.0	35 黄橙	7.5Y	7.5YR7/8 橙		5YR7/8	粟	12	回転杀切り
	(C)	温出	毫	CI		13.4	2.0	4.0	30 浅黄橙		-	ぶい 黄橙	10YR7/4	羋	3	回転糸切り
	®	十 郎	宛	CIV		12.8	4.9	_	30 橙	7.5Y	_		7.5YR7/6	準	4	回転糸切り
	®	十 節	Ħ	С		13.0	7.6	1.2	9 橙	7.5Y		にぶい橙	7.5YR7/4	準	1 1	底面ロクロケズリ
33N-20ウ	®	内	宛	ВП		16.4	5.4	0.9	37 浅黄橙		7.5YR8/3 黒		2.5Y2/1	準	4	内:ミガキ。外:底・体下ロクロケズリ。外面赤彩
33N-257	(e)	日	埊	ВШ		14.0	5.2	5.4	39 灰白	10YI	10YR8/2   黒		7.5YR2/1	淮	6	内:ミガキ。外:底・体下ロクロケズリ
33N-20 ウ	(e)	日	埊	C IV		12.1	5.8	3.9	32 浅黄橙		10YR8/3 黒褐		2.5Y3/1	淮	9	内:ミガキ少ない。外:底面糸切り
33N-257	(e)	日	埊	СП		15.6	5.8	4.9	31 褐灰	7.5Y	7.5YR5/1 黒		7.5YR2/1	淮	23	内:ミガキ。外:底・体下ロクロケズリ
33N-25 √	(e)	日	埊	C IV		11.2	2.0	3.6	32 にぶい黄橙		10YR7/3 黒		2.5Y2/1	淮	00	内:ミガキ。外:底面回転糸切り無調整
33N-24 √	®	内黒	有台皿	В		14.0	6.4	(2.4)	にかい橋		7.5YR7/4   黒		N2/	非	8	内:ミガキ。外:底面糸切り後ロクロケズリ。高台剥落
33N-257	®	内黒	有台皿	Α		13.2	8.9	3.6	27   浅黄橙		10YR8/4 黒		10YR2/1	非	3 1	内:ミガキ。外:底面糸切り後ロクロケズリ
33N-257	®	内黑	有台皿	В		13.0	4.2	(5.6)	灰白	10Y]	10YR8/2 黒		N2/	非	16 p	内:ミガキ。外:底面糸切り後ロクロケズリ。高台剥落
33N-7 I		須恵	本欄			17.6		(1.7)	灰オリーブ		/2 灰		/9N	型	21	天井部外面ロクロナデ後ケズリ
32M-18 √		須恵	無台杯	C I		12.8	7.5	2.8	22 灰	/9N	区		/9N	型	9	回転ヘラ切り。内底面墨痕?
		須恵	無台杯	ВП		12.1	7.0	3.1	26 灰	7.5Y6/1	76/1   灰		7.5Y6/1	型	0.5	回転ヘラ切り
32M-18		須恵	無台杯	ВП		12.0	8.9	3.0	25 灰	/9N	区		/9N	型	2	回転へう切り
33N-25 T		須恵	有台杯	C 1		14.2	9.7	4.6	32 灰白	7.5Y7/1	7/1   灰白		5Y7/1	和	111	11   回転へう切り。底面へう記号「×1.古い様相
0.000	ŀ															HIM I DO STATE OF THE STATE OF

	1	四個別	- 454 MH	# T	¥ - 4	Į.	H	H	北巻		_		1	MEMX X110	a (上行・数ロは//)
遺 構 グリッ	严			_			口径 医径	電路	1H %X	外面		内画		07/10	
98 SD 1000 33N-6	Θ	須恵	有台杯	F C3		11	7.7	7 4.0	34 灰	7.5Y5/1	5/1   灰	/9N	44	良 1	回転へう切り。外面自然釉
98 SD 1000 33N-7 I	ц	須恵	有台杯	F C 2		11	11.8 8.6	3.8	32 灰	/9N	区	/9N		良 2	回転ヘラ切り
98 SD 1000 32M-25 7	から	須恵	有台杯	14		12	2.0	(3.5)	区	10Y6/1	//1 灰	/9N	ard.	良 2	
98 SD 1000 32L-22 7	Ú	須恵	啦·瓶	1pp			(10.4)	4) (8.2)	- 盟	/8N	灰白	/L/N	4	型	高台剥落。底面膨らむ。
	17	須恵	瓣			(52	(52.0)	(9.9)	区	/9N	褐灰	10YR5/1	_	良 1	口縁端部2段
98 SD 1000   33M-6		灰 釉	Ħ			15	15.0	(1.9)	灰白	2.5Y8/1	3/1 灰白	2.5Y7/1		良 2	2 東濃産
98 SD 1000 32M-13 x	Н	灰 釉	段皿	П		19	19.2 8.8	3 2.6	14 灰白	5Y7/1		7.5Y7/2		良 1	猿投産
98 SD 1000 32M-1 X	Н	十二		BIV		12	12.6 5.0	7.5	36 橙	2.5YR6/6	R6/6   淡赤橙	登 2.5YR7/4	_	普 12	2 回転糸切り後ロクロケズリ。外面赤彩。内面斑点状赤彩
98 SD 1000   32M-20 🖰	りゆ	上	宛	BIV	1	1.2	2.4 5.4	4.8	39   にぶい橙	·橙 2.5YR6/3	R6/3   浅黄橙	登   10YR8/4		5	回転糸切り
98 SD 1000 31L-19 I	Н	出	毫	BIV	1	1.5	12.0 5.2	2 4.5	38 浅黄橙	1.5YR8/4	R8/4 灰白	7.5YR8/2		9	回転糸切り
98 SD 1000 32M-19 7	17	出	毫	BIV	1	11	1.9 5.4	4.3	36 浅黄橙	10YR8/3	88/3 浅黄橙	登 10YR8/3		普 12	回転糸切り
98 SD 1000 32M-14 7	μi	出	毫	BIV	1	11	1.8 4.5	5 4.2	36 にぶい黄橙	n黄橙 10YR7/2		にぶい黄橙 10YR7/3		6 御	回転糸切り
98 SD 1000 32M-19 7	17	出	室	П	1	14	14.8	(5.2)	型	5YR7/8	7/8 橙	5YR7/8		相 6	
98 SD 1000 32M-14 7	μi	出	毫	BIII	1	15	13.8 4.5	5 4.8	35 にぶい場	·褐 7.5YR5/4	R5/4 にぶい褐	、褐 7.5YR5/4		9	3 回転糸切り
98 SD 1000 31L-20 P	ウ	出	毫	CIV	1	15	9.0 2.6	3 4.2	32 にぶい楢	·橙 5YR7/4	7/4 にぶい楢	v橙 5YR7/3		事 2	回転糸切り。板状圧痕
98 SD 1000 32M-19 1	7	出	毫	CIV	1	1.5	2.7 5.4	4 4.0	31 浅黄橙	1 7.5YR8/6	R8/6 浅黄橙	# 7.5YR8/6		計 13	
98 SD 1000 32M-13 7	17	出		CIV	1	1.5	12.6 5.0	0 4.2	33 淡赤橙	1 2.5YR7/3	R7/3 淡橙	5YR8/3		9	回転糸切り。底面ケズリ?
98 SD 1000   32M-13 1	1	上	宛	CIV	1	1.2	12.6 5.0	0.4.0	32 灰褐	5YR5/2	5/2 灰褐	5YR5/2		量 16	回転糸切り。全体的に煤けている。
98 SD 1000 32M-14 ウ	17	上節	椀	CIV	7	12	12.6 5.4	4 3.9	31 淡赤橙	å 2.5YR7/4	R7/4   淡赤橙	登 2.5YR7/4	_	粗 4	回転糸切り。内外面赤彩?
98 SD 1000 32M-8 x	Н	上 師	椀	CIV	7	12	12.6 5.6	3 4.2	33 橙	7.5YR7/6	R7/6   浅黄橙	登 7.5YR8/6	_	輩 3	回転糸切り
98 SD 1000 32M-13 1	7	上 師	椀	CIV	7	12	2.4 5.5	5 4.2	34 橙	5YR6/6	3/6   にぶい橙	、橙 7.5YR7/4	_	普 2	回転糸切り
98SD 1000 32M-13 4	7	上 師	椀	CIV	7	15			_			登 7.5YR8/6	_	普 14	回転糸切り
98SD 1000 32M-14ウ	17	出	室	B IV		12	12.4 5.8	3 4.3	35				_	6 御	回転糸切り
98SD 1000 32M-25 7	17	上前		CIV	1	1.5	12.4 5.2	3.8	31   浅黄橙	10YR8/4	88/4   浅黄橙	登   10YR8/4	_	普 12	-
98SD 1000 31L-20 ウ	ウ	出		C IV		12		3 4.0	33	5YR8/4		5YR8/3		9 海	回転糸切り
98SD 1000 32M-19 I	Н	出		C IV		12			33			登 7.5YR8/4		計 16	
	Н	出		C IV		12					7.5YR8/6 浅黄橙	登 7.5YR8/6		2	回転糸切り
98SD 1000 32M-14 7	17	出		C IV		11	11.8 5.2	3.8	32 淡橙	5YR8/4	3/4 淡橙	5YR8/4		8 御	8 回転糸切り
98SD 1000 31L-20ウ	٠ ب	上	椀	CIV	7	11	11.8 5.6	3 3.7	31   にぶい楢	·橙 7.5YR7/4	R7/4   にぶい橙	、橙 7.5YR7/3		带 1	回転糸切り。内:口縁灯明痕
98SD 1000 31L-14 7	ų.	上前	椀	CIV	1	11	11.6 5.0	3.9	34   淡赤橙	å 2.5YR7/4	R7/4 橙	2.5YR7/6	_	9	回転糸切り。内外面に赤彩
	17	上前	椀	CIV	1	11			31				_	普 15	回転糸切り
98SD 1000 33N-6 4	<u>_</u>	出	室	C IV		11	11.4 4.8	3.7	32 浅黄橙		R8/4 浅黄橙			6 票	) 回転糸切り
98SD 1000 32M-8 x	н	上	椀	D I		15	19.2 7.0	0.6	29 橙	7.5Yl	7.5YR7/6   にぶい橙	、橙 7.5YR7/4		普 2	回転糸切り
98SD 1000 32M-19 x	H	上	椀	CII	1	14	14.5 4.4	4.4	30 淡赤橙	å 2.5YR7/3		にぶい赤橙 10R6/4		粗 12	回転糸切り
-	7	上即		CIV	1	1.5	12.6 5.4	1 3.8		10YR8/1	88/1   灰白	10YR8/1	_	良 13	
98SD 1000 32M-20 th	りゆ	出	宛	C IV		1.5	2.0 5.0	3.6	30   灰白	10YR8/2	88/2 浅黄橙	# 10YR8/3	_	組 15	回転糸切り
98SD1000 32M-13 X	Н	出	有台皿	=		12	12.8 8.0	3.6	28 橙	2.5YR7/6	R7/6 淡赤橙	登 2.5YR7/4		2 编	7 内:ミガキ。外:底面糸切り後ロクロケズリ。外面赤彩
98SD 1000 32M-19	17	出	大	争		24	24.4	(6.7)	黄橙	7.5YR7/8	R7/8 黄橙	7.5YR7/8		带 4	
98SD 1000   32M-13 1	7	内	宛	A I		1.7	9.9 8.71	3 7.5	42 明赤褐	# SYR5/8	置 8/9	7.5YR2/1	_	显 3	内:ミガキ。外:底・体下ロクロケズリ。外面赤彩
98SD 1000 32M-13 7	17	内	宛	A I		1.7	7.3 6.8	3 7.2	42 橙	5YR6/6	置 9/9	N2/	- Alm	9	内:ミガキ。外:底・体下ロクロケズリ。外面赤彩
98SD 1000   31L-14 7	ψ	内	宛	ΨU	I	14	14.6 6.0	0.1	42 淡赤橙	å 2.5YR7/4	R7/4 黒	N2/	**	脚 6	6 内:ミガキ。外:底・体下ロクロケズリ
98SD1000 31L-19 1	7	内 黒	椀	BII	_ I	14	14.0 5.6	6 5.3	38 權	5YR7/6	7/6 暗灰	N3/	Ģ	普 2	内:ミガキ。
98SD 1000 31L-14 ウ	か			CI	1	14	14.0 5.5	5 4.7	34			N1.5	_	谱 10	内:ミガキ。
	~	内黑	逐	日 C 日	_	13	3.4	4 6	34 榕	5YR6/6	3/6 階灰	N3/	회	10	)  広・ミガキ - 从・底・休下口クロケブ!
	1			-	_					) )	_			_	01.77.61

横		キ。外:底・体下ロクロケズリ。高台剥離。口縁端部の反り強い	キ。外:底面糸切り後ロクロケズリ。高台剥離	キ。外:底・体下ロクロケズリ。高台剥離。口縁端部の反り強い	キ。外:底・体下ロクロケズリ	り。外面媒ける	回転糸切り。内外面カキ目	回転糸切り。内外面カキ目	#	キ目。全体的に煤けている	体部下半外面平行打圧痕、内面平行押圧痕	体部下半外面平行打压痕、内面不明		<b>切り</b>	+	外面ロクロナデ、内面上半カキ目・下半ケズリ	キ。外:ロクロナデ	デ後、カキ目	天井部外面ロクロナデ後ケズリ	キ。外:ロクロケズリ。口縁端反り	キ。外:ロクロケズリ	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	(4) 。 内面赤彩?	îh	キ。外:底・体下ロクロケズリ。糸切り痕残る。口縁端反り	デ後、櫛歯状工具でケズリ調整。胴部径34.5cm	デ。内外面赤彩?	切り。灯明痕?	<b>汗</b>	切り	切り	天井部外面ロクロナデ後ケズリ	外面と口縁内面に煤付着。底部内面にも多く付着	ìh		讣	<u>i</u> h	îh	回転糸切り。内面赤彩。内面に曲線の墨痕?	外面平行打圧痕。内面円形押圧痕	回転糸切り。内面赤彩。内面に曲線の墨痕?	り。内面に曲線の墨痕?	9		キ。外:底・体下ロクロケズリ
		内:ミガキ	内:ミガキ。	内:ミガキ。	内:ミガキ。	回転糸切り。	回転糸切	回転糸切	内外面カキ目	内外面力キ目。	本部下半	本部下半		回転ヘラ切り	内:ミガキ	<b>小面ロク</b>	内:ミガキ。	ロクロナデ後、	天井部外	内:ミガキ。	内:ミガキ。	回転ヘラ切り	回転糸切り。	ロクロナデ	内:ミガキ。	ロクロナデ後、	ロクロナデ。	回転へう切り。	ロクロナデ	回転ヘラ切り	回転ヘラ切り	天井部外		ロクロナテ		ロクロナデ	ロクロナデ	ロクロナテ	回転糸切	<b>小</b> 面平行	可転糸切	回転糸切り。	回転糸切り	内:ミガキ。	内:ミガキ。
残存	X/16	7	7	151	-		121	1 9	2	-	1	1	-	_		4	3	-	4	2		3	8	00	3		2	3	2			4	2	2	4	4			16		1 91	16	14	16	151
世		淮	淮	淮	淮	淮	御	淮	$\vdash$	⊬	御	淮	御	型	御	型	洫	型	型	御	御	型	御	粟	洫	淮	御	淮	類	粟	洫	型	-	淮	型	細	型	型	洫	型	細	洫	淮	型	型
	圏	5YR1.7/1	7.5YR2/1	N2/	N1.5/	10YR8/4	10YR8/3	10YR7/2	7.5YR7/4	7.5YR7/4	10YR8/4	5YR7/6	7.5YR7/2	/9N	N1.5/	/LN	10Y2/1	/8N	5Y6/1	N1.5/	10Y2/1	/LN	7.5YR7/6	5Y8/2	10Y2/1	5GY8/1	5YR7/3	2.5Y8/3	7.5YR7/4	2.5Y8/2	2.5Y8/2	/LN	7.5YR6/3	7.5YR7/4	10Y7/1	10YR8/4	/9N	10YR6/1	5YR7/6	10YR7/1	7.5YR8/6	5YR6/8	2.5Y8/4	N2/	N1.5/
麗	丕	番	噩	番	番	浅黄橙	浅黄橙	にぶい黄橙	にがい着	にぶい橙	浅黄橙	遊	明褐灰	区	置	灰白	卌	灰白	函	≕	番	灰白	梅	灰白	置	灰白	にぶい橙	淡黄	にぶい橙	灰白	灰白	灰白	にかい	にがい権	灰白	浅黄橙	灰	褐灰	遊	灰白	浅黄橙	遊	淡黄	黑	噩
印	圏	2.5YR6/4	5YR6/6	5YR8/3	10YR7/4	10YR7/3	7.5YR7/3	7.5YR6/2	7.5YR6/2	7.5YR6/4	10YR8/4	7.5YR7/4	7.5YR7/6	/9N	10YR8/3	5PB5/1	2.5Y8/2	2.5GY5/1	5Y5/1	7.5YR7/6	10YR8/4	/9N	7.5YR7/4	5Y8/2	5YR7/8		5YR7/3	2.5Y8/3	10YR7/2		.8/2	N6/	2.5YR6/8	5YR7/4	2.5GY6/1	7.5YR7/6	N4/	10YR5/1	5YR7/4	2.5Y7/1	9	5YR6/6	7.5YR8/3	7.5YR5/4	10YR5/4
	*	にかい橋		淡橙	にぶい黄橙 1	にぶい黄橙 1	にがい着い	灰褐	灰褐	にがい橋	浅黄橙 1	にかい橋口			浅黄橙 1	青灰	灰白 2	オリーブ灰			浅黄橙 1		にがい着い	灰白			にぶい橋	-	にぶい黄橙 1		Д				オリーブ灰 2			褐灰 1	にぶい権	灰白 2	浅黄橙 7			-	28 にぶい黄褐 1
径高	一数	77	類	液	31 (2	77	82 (7	97 灰	33 灰	72 (2	24 浅	77	塑	35 灰	郑	皇 692	区	ĸ	区	霾	郑	区	33 (7	区	38 極	区	IJ	29   淡	77	区	区	区	86 橙	77	ҡ	橙	函	黎	36 (2	区	33 漢	31 趣	30 浅黄橙	36 (2	28 (2
	報車	(4.8)	(2.4)	(3.0)	7.5	3.7	12.0	11.8	4.0	11.5	9.8	8.0	4.5	5.7	2.4	33.9 2	(4.1)	(6.3)	(2.2)	(3.9)	(3.3)	(3.0)	4.1	(2.3)	4.0	(12.6)	(4.0)		(4.5)	1.1	(2.0)	(1.9)		(3.2)	(3.5)	(4.0)	(8.1)	(7.8)	4.4	(11.3)	4.0	3.7	3.7	4.3	3.7
重 (cm)	底径器	7.0	9.0	6.4	-	0.9	6.8	5.6		F	$\vdash$			9.2	5.4	(24.6) 3	Ĕ	Ĕ	Ĕ	Ĕ	9.9	10.2	5.0	Ĕ	9.6	(1)		8.2		10.0	9.0	_	-	_	_	_	_		5.2	1	5.2	4.8	9.6	4.6	9.9
妆	口径底	14.8	12.8	12.8	24.3		14.6	12.2	12.0	16.0	35.2	(33.8)	(29.0)	16.4		12.6 (24	14.0	10.2	15.0	13.8		12.4 10	12.6	20.2	10.6		10.0	12.2	13.0	1(		13.4	13.4	10.0	12.2	12.0			12.2		12.2	12.1	12.2	12.0 4	13.0
異性																																													
- 基		В	В	В			V	< <	В	В	A	< <	C	ы			Ħ			Ħ		C 3	C IV		A		A	ИΝ	IV	В			В	A		IV			BIV		C IV	C IV	C IV	BW	A
器		有台椀	有台皿	有台面	為	· ·	小	· ·	÷	上海	霉	鬱	靊	有台杯	毫	長頸壺	毫	横瓶	茶棚	毫	毫	有台杯	毫	長頸壺	有台椀	壺・瓶	<b>■</b>	無台杯	椀	Ħ	無台杯	本職	<b>会</b>	<b>■</b>	有台杯	湿	長頸壺	樹・瀬	毫	粼	湿	毫	缩	缩	有台画
問題		内	内	内	日	温出	出	温出	温出	温出	出出	温出	出	須恵	内	須恵	日黒	須恵	須恵	内	内	須恵	出	須恵	内	須恵	十 節	須恵	上 節	十 節		須恵	温出	出	須恵	中山	須恵	須恵	温出	須恵	中山	温温	中部	内黒	中里
SB	×		Ē												Ē						Ē	-																							
	四	H	7	H	Н	7	7	H	~	7	7	+	<u></u>	4.9	4.9					14	14					13	13				3.19			6											
土位置	グリッド	32M-19x	32M-137	32M-19 I	32M-13 I	32M-14 ウ	32M-19 √	32M-19 I	33N-17	32M-25 7	32M-184	33N-184	33N-77	1 310-3-4-9	1 310-3-4-9	1 310-4	320-9	320-10	9 33N-3	32N-9·14	32N-9·14	32N-13	3 31L-8	3 31L-17	3 31L-8		_	1 33M-25	33M-14		-		33M-11	1 33M-8·9	33M-7	93M-6	330-5	330-5	1 330-5	1 330-5		1 330-5	1 330-5		1 330-5
	損	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1000	98 SD 1024	98 SD 1024	98 SD 1024	98 SK 1041	98 P 1042	98 SD 1049	98 P 1066	98 P 1066	98 SK 1070	98 SD 1073	98 SD 1073	98 SD 1073	98 P 1081	98 P 1081	98 P 1094	98 P 1097	98 P 1101	98 P 1102	98 P 1103	98 P 1110	98 P 1114	98 P 1118	98 P 1121	$98\mathrm{SE}1124$	98 SE 1124	98 SE 1124	98 SE 1124	$98\mathrm{SE}1124$	98 SE 1124	98 SE 1124	98 SE 1124	98 SE 1124
報		404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	$\overline{}$	429	430	431	432			435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447
図版	No.	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	98	98	98	86	98	86	86	86	86	98	86	86	86	86	86	98	98	86	98	86	98	98	98	98	98	87	87	87	87	87	87

		±:	图	1			-		共	ΠE	(m)	中以		母	H				
No. 1982   2004-13   18	No. No.	華			悝		✡	盐	È	底径	恒	非数						響	(مه
	449	8 P 1135	29M-15								(1.7)	明為				10YR7/1	型	۰	
45. 18. 18. 18. 18. 18. 18. 18. 18. 18. 18	450	8 P 1135	29M-15			骶						灰匠				2.5Y8/2	御	口縁折り返し2段	
15.   15.	451	8 P 1233	31M-19							6.4	2.4	類	5			5YR7/6	御	回転糸切り	
450         18 D	452	8 P 1233	31M-19			椀				5.2	(3.3)	灰匠				7.5YR7/4	担	回転糸切り	
15   15   15   15   15   15   15   15	453	8 P 1235	31M-14			椀	N		12.0	_	(3.7)	梅	7.			7.5YR7/4	淮	ロクロナデ。灯明痕	
10.00   10.0	454	8 P 1235	31M-14			_			12.0	(	(2.2)	明常				N1.5/	担	内:ミガキ。外	
14   15   15   15   15   15   15   15	455	8 P 1238	31M-8				П		16.0	-	(4.7)	灰匠				N1.5/	抑	内:ミガキ。外	
15.50   15.5	456	8 P 1247	31M-13				BIV		12.4		4.3	35 淡梅				5YR7/6	異		
488 98 P 1328 22484	457	8 SD 1260	33N-14			毫				7.0	(2.5)	灰匠				10YR8/4	淮	回転糸切り	
15.   15.	458	8 P 1314	31L-14			_				12.4		民	Ż			/9N	型		
400         80         100         80         100         80         100	459	8 P 1328	32M-8			毫	CIV		12.8		4.0		7.			7.5YR7/6	御	_	
469 89 P 1384 2042-0	460	8 P 1328	32M-8				PΠ		14.4							10Y2/1	淮	内:ミガキ。外:底・体下ロクロケズリ。	
89 B P 138 B P 138 B P 138 B P P 138 P P P P P P P P P P P P P P P P P P P	461	8 P 1328	32M-8							6.5	(3.6)	\$ 13				10Y2/1	淮	内:ミガキ。外:底・体下ロクロケズリ	
1	462	8 P 1335	30M-5·10			粼					3.1	民	7.			7.5Y6/1	型		
469 89 P 1362 30.2-25 (2) 41 M 2 M 2 M 2 M 2 M 2 M 2 M 2 M 2 M 2 M	463	8 P 1344	33L-8			÷			16.0	-	(2.7)	\$ 13				7.5YR7/3	淮		
466 98 P 1366 300-25	464	8 P 1362	29L-20	(3)		粼						青万				5B7/1	型		
466 98 P 1366 301-25	465	8 P 1365	30L-25			毫	DI		16.0		4.5	28 浅遠				7.5YR7/8	淮	_	
467   98 P 1365   500-25   上前   上前   上前   上前   上前   上前   上前   上	466	8 P 1365	30L-25			毫	Ħ		14.0	-	(3.5)	\$ 13	_			10YR1.7/1	淮	内:ミガキ。	
468         98.58.13.77         30.1.4-1.9         土 師 介 面	467	8 P 1365	30L-25									類	7.			5YR6/8	異		
458   198   191   201   419	468	8 SE 1377	30L-14·19						10.	10	(2.2)	黄杉				7.5YR8/6	御	ロクロナデ	
470         98 SE 1977         1 mm         4 mm	469	8 SE 1377	$30L \cdot 14 \cdot 19$			有台椀				7.9	(1.8)	浅声				10Y2/1	異	内:ミガキ。	
471         88 P 1469         32M-2         士 師 女 職 A         A         104         (4.3)         階	470	8 SE 1377	$30L - 14 \cdot 19$						(11.5	3)	(2.0)	灰色				10YR8/2	担	-	
472         88 P 1460         32L-21         土 師 小 皿 A         10.5         10.5         10.5         25VR7/4         10.5         25VR7/4         10.5         10.	471	8 P 1459	32M-2				_		17.4	1	(4.3)	橙	5.			5YR7/6	淮	_	
478 BP 1466 32L-21	472	8 P 1460					_		10.	10	(3.5)	橙	2.			2.5YR7/6	脚	ロクロナデ。	
474         68 P 1460         B D W         B D W         112         46         39         58 ggg         257844         M         N15/1         %         12 P 13-54-%         % · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	473	8 P 1460	32L-21			室				2.0	(2.0)	₹23	い黄橙			10YR7/4	淮	回転糸切り	
475         98 P 1460         32.21         内 M M         M M         III         136 中 46         (3.4)         成 D         1.5 PKBO         M M         1072.1         常 D         1578.1         於 D         2578.0         M M         1072.1         常 D         1578.1         於 D         2578.0         M M	474	8 P 1460				室	BIV		11.2		3.9	35 淡重				N1.5/		内:ミガキ。	
478         50-16         6         m         15C中~後         4.2         1.5         成台         757811         成白         757811         成白         757812         成白         757812         成白         757812         成白         757812         成白         757812         成白         757812         成日         757812         (7.5)         前本月一子版         250741         前日         757812         (7.5)         前本月一子版         250741         前日         767812         成日         767912         767912         成日         767441         水日         767912         767912         767412         成日         767412         成日         767412         成日         767412         成日         767412         成日         767412	475	8 P 1460				毫	Ħ		_		(3.4)	型				10Y2/1	淮	内:ミガキ。外面赤彩?	
478         97 SD 2         300-22         珠 洲 線	476	7 SD 2	300-16			Ħ		15C #∼i	995	4.2	1.5	ЖE				7.5Y8/1	型	高台・底面まで施釉。	4 ケ所
478         975D2         300-17         珠 湖	477	7 SD 2	300-22			影	Ħ	13℃中~₁	1)	2)	(7.5)	暗才	一ブ灰		ーブ灰	2.5GY4/1	型	1   外面平行打圧痕	
478         97 S D 2         27 M - 2         3 M - 4         4 M - 4         6 M - 4         M - 4	478	7 SD 2	300-17			巖				(34.4)		44				5B6/1	母	外面平行打圧痕	
481         975D2         27M-25         第 第 前 章 大         1880-146         382         (7.0)         月 月 975D2         180-7         度 50-11         所 60-14         度 50-11         所 60-14         所 60-14         所 7-7         所 7	479	7 SD 2	30P-9			舞		$1380 \sim 14$		(1)	(8.2)	送	Ż			/9N	型		
481         975D2         300-11         森 湖 橋 跡         一名2b         16C         192         (1.5)         水 リースカース はいます。         N6/         N6/         N6/         N6/         以6/         以6/         以6/         以6/         以6/         以6/         以6/         以6/         以70         以70         以6/         以70         以70         以70         以70         以6/         以70         以70<	480	7 SD 2	27M-25			舞		$1380 \sim 14$		63	(7.0)	オリー	哲		趙	5Y6/3	型	卸目は密で単位不明。1本の幅は0.25cm程。	X
482         975D2         28N-1         中世士師         III         A 2 b         16C         192         (1.5)         オリーブ橋         2574/4         オリーブ橋         2574/4         積         1         手づくねり期。           483         975D2         27M-25         中世土節         III         A 2 b         16C         13.2         (2.2)         育         757R6/6         明成裕         17YR6/6         背 (2.2)         有         757R6/6         明成裕         17YR6/6         背 (2.2)         有         757R6/6         明成裕         10YR8/2         有         4         日底公財場           484         975D2         28N-3         中世土節         III         A 2 b         6.6         1.7         19         孫衛         10YR8/2         積         1         4         日底券切り。           485         975D2         28N-3         中世土節         III         A 1 b         6.5         1.7         2         9         4         1.8         1.0         6         1.7         2         9         4         1.8         1.0         1.0         6         2         4         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0         1.0 <td>481</td> <td>7 SD 2</td> <td>300-11</td> <td></td> <td>悉</td> <td>舞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>18.8</td> <td>(7.6)</td> <td>民</td> <td>Ż</td> <td></td> <td></td> <td>/9N</td> <td>型</td> <td> 卸目は単位不明。1本の幅は0.2cm程</td> <td></td>	481	7 SD 2	300-11		悉	舞				18.8	(7.6)	民	Ż			/9N	型	卸目は単位不明。1本の幅は0.2cm程	
483         975D2         27M-25         中世士師         III         A2 b         16C         13.2         (2.2)         陪白         757R6/6         開業場         10YR6/6         常         2 手づくねV期。           484         975D2         28N-1         中世士師         III         B2 I         15C         12.9         6.0         2.6         20         房中         10YR8/2         所名         10YR8/2         新         4         同能条约り           485         975D2         28N-3         中世士師         III         A2 b         16C         1.0         6.0         1.0	482	7 SD 2	28N-1		中世十二		A 2		19.	63	(1.5)	±,	ーブ梅	-	ーブ福	2.5Y4/4	異	- 1	
484         975D2         28N-1         中世士師         III         150 % -16         12.9         6.0         2.6         2.0         灰白         F白         IOVR8/2         所名         4         同帳条列列           485         975D2         28N-3         中世士師         III         A2 b         16C         1.0         6.0         2.1         1.9         所為         10YR8/2         所為         10YR8/2         預         4         百帳条列列。           486         975D2         28N-3         中世士師         III         B 2 1         15C         9.4         6.4         1.8         1.9         所為         10YR8/2         所為         10YR8/3         排         1         1.6         6.5         1.7         2         明成         10YR8/3         排         2         1.6         5.4         1.9         所為         10YR8/3         排         2         1.6         1.6         1.7         2         1.7         2         1.7         2         1.7         2         1.7         2         1.7         2         1.7         2         1.7         2         1.7         2         1.7         2         1.7         2         1.7         2         1.7         2         1.2 <td>483</td> <td>7 SD 2</td> <td>27M-25</td> <td></td> <td>中世上節</td> <td></td> <td>A 2</td> <td></td> <td>13.2</td> <td>67</td> <td>(2.2)</td> <td>橙</td> <td>7.</td> <td></td> <td></td> <td>10YR6/6</td> <td>淮</td> <td>手づくねV期。</td> <td></td>	483	7 SD 2	27M-25		中世上節		A 2		13.2	67	(2.2)	橙	7.			10YR6/6	淮	手づくねV期。	
486         97 S D 2         28 N - 3         中世士師         III         A 2 b         16 C         1.0         6.0         2.1         1.9         R M         10 YR 3/2         R M         10 YR 3/2         R M         10 YR 3/2         R M         14         # 3 c/4 x 4 x M M           486         97 S D 2         300-22         1 中世士師         III         B 2 1         15 C         9.4         6.4         1.8         1.9         K W M         10 YR 5/2         1 C x 5 x W M         10 YR 5/3         #         1         1 II I I I I I I I I I I I I I I I I I	484	7 SD 2	28N-1		中世上節		B 2	п			2.6	20 灰色				10YR8/2	軍	回転糸切り	
486         975 D2         300-22         10 世世前         III         15 C         9.4         6.4         1.8         1.8         1.9         成業         1.0         1.0         1.6         1.3         6.4         1.8         <	485	7 SD 2	28N-3		中世上節		A 2	q	11.0		2.1	19 黒ね				10YR3/2			
48         97 S D 2         2 T M-25         1 中世 计简         III         B 2 I         1 5 C A A L A B         1 7 S M M M M M M M M M M M M M M M M M M	486	7 SD 2	300-22		中世上節		B 2	I	9.4		1.8					10YR5/3		回転糸切り。	
488         975D2         30P-3         1 世世節         m         A 1 c         13C%~14C         7.0         5.4         1.9         7.3         換極         10VR8/4         極         57KB/6         普         5 字 今久和即 9           489         975D2         28N-14         1         10.0         5.2         (1.2)         所極         7.5YR3/3         暗梅         7.5YR3/3         度         2         2         数           490         975D2         27M-17         3         地戶         1.0         5.2         (1.2)         所         所         所         2.5YR3/2         度         2         2         数           491         975D2         28N-14         3         長頭鹿         上頭廳         17.0         17.0         41         所         所         所         7.5YR9/4         所         3         10-17-7           492         975D2         30O-22         1         3         1         <	487	7 SD 2	27M-25		中世上節		B 2	ī	8.		1.7	20 明章				10YR6/8	御	回転糸切り。	
489         97 S D 2         28N-15         64 m m         7.0 m m         10.0	488	7 SD 2	30P-3		中世上節		_				1.9					5YR6/6	淮		
490         97 S D 2         27 M-17         近世陶敞         皿         5.2         (1.2)         灰白         反行 8/2         灰白         2.57 8/2         皮白         遊地不明。序           491         97 S D 2         28 N-14         須 息         長頭蛇         17.0         41         K         N5/         K         7.57 5/1         良         3         口口上子子           492         97 S D 2         30 O-2         内         原         M         K         M         7.57 S/1         貸         所         内         7.57 S/1         房         内         1.37 S/1         房         日         日         1.37 S/1         房         日         1.37 S/1         日         日         1.37 S/1         日         日         日         1.37 S/1         日         日         1.37 S/1         日         日         1.37 S/1         日         日         日         <	489	7 SD 2	28N-15		越中瀬戸	工			10.0		(1.3)	暗名		3		7.5YR3/3	型		
491     97 S D 2     28N-14     3     4     8     4     8     4     8     8     8     9 <td>490</td> <td>7 SD 2</td> <td>27M-17</td> <td></td> <td>近世陶磁</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5.2</td> <td>(1.2)</td> <td>灰匠</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.5Y8/2</td> <td>母</td> <td></td> <td></td>	490	7 SD 2	27M-17		近世陶磁					5.2	(1.2)	灰匠				2.5Y8/2	母		
492     97.SD2     300-22     内 景     腕     6.0     (2.5)     浅質燈     7.5YR8/4     馬     7.5Y2/1     普     内 : ま才キ。       493     97.SE6     29N-8・9     珠 洲     競	491	7 SD 2	28N-14						17.(							7.5Y5/1	型	ロクロナデ	
493         97.8E6         29N·8·9         珠洲         競         外面平行打圧痕。	492	7 SD 2	300-22							0.9	_	浅				7.5Y2/1	淮	内:ミガキ。外:底・体下ロクロケズリ	
	493	7 SE 6	29N-8 · 9			粼						区	Ż			/SN	型		

										_																																				
借 孝 (玉注·兹今[号功]		2  底面摩滅。卸目は1単位(幅2.8cm)10本。口端部に波状文	手づくねV類。京都系	回転糸切り。整 No.249 と同一固体?	胴径13.5cm。短頸壺?	卸目は1単位(幅2.2cm)9本	底面ケズリ。卸目は1単位(幅1.9cm)7本	漆接ぎ痕。見込みに梵字?	回転糸切り	底面ケズリ。外面平行打圧痕。接合痕明瞭に残る。内面に無数の擦痕(使用時?)		卸目は密で1単位 (幅3.1cm) 10本。口端部に波状文	片口。卸目は密で単位不明。1本の幅は0.2cm程。口端部に波状文	卸目は粗で1単位(幅1.5cm)5本	底面ケズリ。卸目は1単位(幅3.2cm)10本が8対	手づくね∇規。京都系	手づくねV類。京都系	7 回転糸切り	回転糸切り	手づくね∇類。京都系	手づくねV類。京都系	手づくね∇期。京都系	手づくね。内外全面にタール状付着物	手づくねV期。京都系	手づくね。口縁周縁にタール状付着物	唐津 I-2 期。底面ケズリ。見込み胎土目4点。薬灰釉	唐津	外面平行打圧痕	底面ケズリ?卸目は密で単位不明(幅3cmで12本位か)	天井部外面ロクロナデ後ケズリ。中央部膨張	回転糸切り。口縁内外縁舶	卸目は粗で1単位(幅2.1cm)13本	進弁文	底面ケズリ。卸目は1単位(幅2.4cm)9本が10対。片口	卸目は密で1単位(幅2.4cm)8本。口端部に波状文	回転糸切り。器面風化	底面ケズリ。卸目は密で単位不明。1 本の幅は0.2cm程	古瀬戸後期様式 11期。3 脚。格子卸目が1ヶ所。見込み6ヶ所焼痕	四方割高台。高台露胎。見込み重ね焼き目跡4ケ所。二次被熱?貫入多い	手づくねV類。京都系	回転糸切り。口縁全周にタール状付着物	手づくねV期。京都系	手づくねV期。京都系	手づくね皿期	5 底面ケズリ。卸目は密で単位不明(幅1.4~2.6cmで5~9本位か)。片口	底面ケズリ。卸目は粗で1単位(幅2.7cm)10本
残存	X/16	2	3	<u> </u>	=	0.5	111	4	<u> </u>	131		2	1	2	111	9	3	7	8	4	4	4	9	7	20	当	2 厚	2 4	運	9	3	1 #	2 注	3 [6	1	14	111	11	4.5 P	1	7	4	3	3	2 E	<u> </u>
全型		型	淮	型	型	型	乓	型	型	型	型	型	型	型	乓	淮	淮	粟	淮	淮	淮	洫	洫	洫	淮	型	型	型	型	型	型	型	型	型	型	洫	乓	型	型	洫	洫	淮	淮	淮	型	型
	厘	5B6/1	10YR7/3	2.5Y6/1	5Y5/1	10YR5/1	N5/	10GY5/1	2.5Y8/2	2.5Y8/3	2.5GY5/1	5PB4/1	10Y6/1	10Y4/1	2.5GY5/1	5YR8/3	10YR8/2	10YR8/4	7.5YR8/4	7.5YR8/2	7.5YR8/6	7.5YR8/6	10YR7/4	7.5YR7/6	7.5YR8/3	5YR5/4	10Y5/1	N4/	$2.5\mathrm{GY5}/1$	5Y6/1	5Y8/2	2.5Y6/1	2.5Y6/4	10BG5/1	5PB3/1	2.5Y3/1	/SN	10YR7/2	5Y8/2	10YR7/3	10YR8/2	10YR8/3	10YR6/3	7.5YR8/6	7.5YR4/1	N4/
鯛	몬	青灰	にぶい黄橙	黄灰	送	褐灰	区	縁灰	灰白	淡黄	オリーブ灰	暗青灰	区	区	オリーブ灰	淡橙	灰白	浅黄橙	浅黄橙	灰白	浅黄橙	浅黄橙	にぶい黄橙	遊	浅黄橙	にぶい赤褐	灰	逐	オリーブ灰	灰			にぶい黄	青灰	暗青灰	黒褐	区	にぶい黄橙	灰白	にぶい黄橙		浅黄橙	五位	数	褐灰	区
鱼	厘	5B6/1	10YR7/3	2.5Y5/1	5Y5/1	10YR5/1	5Y5/1	10GY5/1 }	2.5Y8/2	2.5Y7/3	5GY4/1	5PB4/1	10Y6/1	10Y4/1	10Y4/1	5YR8/4	10YR8/2	10YR8/6	7.5YR7/4	7.5YR8/3	7.5YR8/6	7.5YR7/4	10YR7/3	7.5YR6/6	7.5YR8/3		10Y5/1	N4/	10BG4/1	7.5Y6/1				10BG5/1	5PB3/1	10YR3/1	7.5Y5/1	10YR7/3	5Y8/2	10YR7/4		10YR8/3	10YR6/3	5YR8/4	7.5YR5/8	N4/
	*		にぶい黄橙 1								暗オリープ灰 5	暗青灰 5	1	1	1				にがい着って	浅黄橙 7	浅黄橙 7	にぶい橋 7	にぶい黄橙 1			にぶい赤褐 5	1	4	暗青灰 1	7			にぶい黄 2		暗青灰 5		7	にぶい黄橙 1		にぶい黄橙 1	声橙	浅黄橙 1	にぶい黄橙 1			_
径高	数	43 青灰	15 (2	黄灰	区	褐灰	区	55 繰灰	灰白	浅黄	靈	昰	区	区	区	13 淡橙	14 灰白	19 黄橙	20 (2	16 浅	20 漢	14 (7	20 (2	21 趣	18 浅黄橙	77	区	20 灰	墨	区	23 灰白	黄灰	77	31 青灰	搵	24 黒褐	区	31 (2	26 灰白	77	23 (2	14 浅	24 (7	13 淡橙	42 明褐	区
	超點	16.3	2.7	(2.1)	(6.7)	(7.7)	(6.4)	7.7	(4.3)	(6.9)	(4.0)	(0.6)	(2.0)	(2.2)	(10.1)	1.8	1.9	2.5	2.6	2.0	2.0	1.3	1.8	1.8	1.4	(4.0)	(2.8)	9.5	(8.6)	(2.7)	2.3	(4.9)	(4.5)	7.5	(9.6)	1.7	(10.3)	10.5	2.8	(1.8)	1.8	1.8	1.9	1.1	10.1	(2.1)
重 (cm)	底径	15.2	11.2	5.6			11.0	5.0	7.0	14.4					12.8	7.2	9.7	7.4	9.9				3.0	3.6	3.0	7.0			15.0		4.4			11.4		4.5	14.6	15.5	3.4		5.8	8.9	2.4	0.9	$\Box$	(10.0)
뇄	口径	38.0	18.6			(32.0)		14.0				40.4	37.0	24.0		14.4	14.0	13.0	12.8	12.4	10.0	9.2	8.8	8.4	8.0		0.6	46.4			10.0	33.0	15.0	24.2	(42.4)	7.2		33.6	9.01	15.2	8.0	12.6	7.8	8.8	23.8	
異性		$1380 \sim 1450$	16C			1380~1450		15C後半				$1380 \sim 1450$	1380~1450	1450~1480		16C	16C	15C	15C	16C	16C	16C		16C		1594~1610		$1450 \sim 1480$				13C中~後		$1380 \sim 1450$	1450~1480	15C		15C1/4	15C中~後	16C	15C	16C	16C	13C後~14C	1280~1380	
學		V 13	A 2 b 1			V 15		E 1				V 15	V 15	VI 14		A 2 b 1	A 2 b 1	В 1 П 1	B 1 II 1	A 2 b 1	A 2 b 1	A 2 a 1	A 1 b	A 2 a 1	A 1 b	16		VI 12					ВП 14	V 13	VI 14	B 2 I 1		1	1	A 2 c 1	B 1 I I	A 2 b 1	A2a 1	A1 c 13	IV 12	_
器器	Ħ	為		題· 瀬	崩·瀬	為	事体	毫	花瓶	影	影	為	為	益	事体				t				$\vdash$	 		大画	皿(丸形)	緩		杯	緑釉小皿	擂鉢 I	巍	数	4 課	_ 	福林	十三十	E		_ 				滋	事跡
15	ER.	悪悪	中世上節	毛	毛	無悪	舞悪	袋	**	悪	悪	悪悪	悪悪	無悪	無悪	中世上師	中世七節	中世上節	中世七節	中世七節	中世上節	中世上節	中世七部	中世上節	中世土師		近世陶磁 皿	悪	悪	-	*	轰		悪	悪	中世上節	悫	瀬・美	趨	中世上節	中世上節	中世土師	中世上師	中世上師	烹	悪悪
SB	M	松	#	悪	悪	茶	松	祀	悪	恭	松	茶	茶	茶	松	Ŧ	Ŧ	#	#	#	#	#	Ŧ	Ŧ	#	近	近	茶	茶		凝	滋	业	茶	茶	#	松	悪	⊞	#	#	#	#	#		茶
	严	T)	121	121	121	8	8						9															8		9								12				H	$\vdash$	H	·16 ①	-
土位置	グリッド	290-1他	290-1他	290-1他	290-1他	29N-7·8	29N-7·8	260-19	26P-9	260-14	26P-9	260-13	26P-9	260-19	260-14	26P-19	26Q-20	260-19	26Q-20	26P-24	26P-24	26Q-14	26Q-9	26Q-14	260-24	260-24	26Q-9	26P-21	26P-21	26P-21	27P-19	27P-16	27P-15	27P-15	27P-15	27P-15	280-25	28P-11-12	29P-1·6	29P-3	29P-19	29P-14	29P-14	28N-10	29M-11·16	29M-8
	難	97 SE 50	97 SE 50	97 SE 50	97 SE 50	97 SE 95	97 SE 95	97 SD 100	97 SD 100	97 SD 100	97 SD 100	97 SD 100	97 SD 100	97 SD 100	97 SD 100	97 SD 100	97 SD 100	97 SD 100	97 SD 100	97 SD 100	97 SD 100	97 SD 100	97 SD 100	97 SD 100	97 SD 100	97 SD 100	$97\mathrm{SD}100$	$97  \mathrm{SE}  109$	$97\mathrm{SE}109$	$97\mathrm{SE}109$	97 P 169	97 P 143	$97  \mathrm{SE}  179$	$97  \mathrm{SE}  179$	97 SE 179	97 SE 179	97 P 213	97 SE 248	97 SE 291	97 SE 302	97 P 344	$97\mathrm{SK}390$	$97\mathrm{SK}390$	$97\mathrm{SE}450$	97 SE 457	97 P 477
報		494	495	496	497	498	499	200	501	502	503	504	202	909	202	208	609	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538
図版	No.	88	88	88	88	88	88	83	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	83	88	88	90	06	90	90	06	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	91	91	91	91	91	91	91	91

灰白	A-1111 PELATA PELATA		A-1111 SPENCY SPEEC
		a 数	
) 16C 13.6 8.2 2.7 20	A 2 b 16C 13.6 8.2 2.7	III A 2 b 16C 13.6 8.2 2.7	上節 皿 A 2 b 16C 13.6 8.2 2.7
1280~1380	IV 1280~1380	<b>鉢</b> IV 1280~1380	擂 鉢 IV 1280~1380
13C後半~14C 6.0 (2.6)	0.9	0.9	13C後半~14C 6.0
_		<b>*</b>	· 華
(16.0) (6.7)	(16.0) (6.7)	(16.0) (6.7)	擂
15C 11.0 7.6	II 15C 11.0 7.6 2.0	П 15С 11.0 7.6 2.0	t土節 III BII 15C 11.0 7.6 2.0
15C後~16C 15.0 (4.3)	IV 15C後~16C 15.0	B IV 15C後~16C 15.0	磁
$ 1380 \sim 1450 40.0$ (18.0)	40.0	V $1380 \sim 1450$ 40.0	洲 甕 V 1380~1450 40.0
16.0 (10.5)	16.0		林 16.0
(15.8)	(15.8)	器 (15.8)	
a 16C 9.0 1.4 16	9.0 1.4	a 16C 9.0 1.4	A 2 a 16C 9.0 1.4
$1450 \sim 1480  (48.4) $ (10.0)	(48.4)	1450~1480 (48.4)	VI 1450~1480 (48.4)
15.0 (4.2)	15.0		15.0
(13.0)	(13.0)		
$1380 \sim 1450$ (52.0) (13.9)	(52.0)	$1380 \sim 1450$ (52.0)	$V = 1380 \sim 1450 (52.0)$
$1380 \sim 1450$ $38.0$ (9.8)	38.0	1380~1450 38.0	V $1380 \sim 1450$ 38.0
I 15C 12.2 7.0 2.3 19	12.2 7.0 2.3	1 II 15C 12.2 7.0 2.3	В 1 П 15С 12.2 7.0 2.3
$1450 \sim 1480$ (51.0) (24.5)	(51.0)	$1450 \sim 1480$ (51.0)	VI $1450 \sim 1480$ (51.0)
13C中~後 (11.7)		13C中~後	□ 13C中~後
$1380 \sim 1450$ $25.0$ $11.5$ $10.3$ $41$	V $1380 \sim 1450$ $25.0$ $11.5$ $10.3$	$1380 \sim 1450$ $25.0$ $11.5$ $10.3$	V   1380~1450   25.0   11.5   10.3
[ 15C 7.3 4.3 1.9 26	7.3 4.3 1.9	1 I 15C 7.3 4.3 1.9	B 1 I 15C 7.3 4.3 1.9
( 15C 6.6 5.1 2.0 30	6.6 5.1 2.0	1 I 15C 6.6 5.1 2.0	B 1 I 15C 6.6 5.1 2.0
4.2 1.1			磁 皿 4.2
8.4 (6.5)		8.4	<b>選</b> 8.4
$1380 \sim 1450$ 54.3 (11.5)	54.3	V 1380~1450 54.3	選 W 1380~1450 54.3
4.0 1.4	4.0	4.0	III 4.0
10.4 5.2 2.0 19	10.4 5.2 2.0	5.2 2.0	10.4 5.2 2.0
$1680 \sim 1740$ 4.2 (2.4)	$1680 \sim 1740$ 4.2	4.2	$1680 \sim 1740$ 4.2
I 15C 11.6 6.5 2.4 21	11.6 6.5 2.4	1 II 15C 11.6 6.5 2.4	В 1 II 15C 11.6 6.5 2.4
			擂鉢
$1280 \sim 1380$ (22.0) (3.5)	(22.0)	1280~1380 (22.0)	IV $ 1280 \sim 1380 (22.0)$
10.4 (4.1)			10.4
		器	珠光影響
$1280 \sim 1380$ $33.2$ (8.7)	IV 1280~1380 33.2	IV   1280~1380   33.2	洲 擂 鉢 IV 1280~1380 33.2
$1280 \sim 1380$ (19.0) (6.7)	IV   1280~1380   (19.0)	1280~1380 (19.0)	IV   1280~1380   (19.0)
15.0 (4.8)	15.0		\$ 15.0
11.0 (5.0)	11.0		\$ 11.0
5.0 (1.8)	E 2.0	2.0	E 2.0
(7.0)			益 舞 素
13C中~後	□ 13C中~後		日間
13C中~後 33.8 12.0 13.1	Ⅲ 13℃中~後 33.8 12.0	隊 Ⅲ 13℃中~後 33.8 12.0	室 編 祭 目 13C中~後 33.8 12.0
12.0 6.6	A 1 d 12.0 6.6	m A 1 d 12.0 6.6	王節 皿 A1d 12.0 6.6
$1380 \sim 1450$ (36.4) (4.1)	V 1380~1450 (36.4)	鉢 V 1380~1450 (36.4)	鉢 V 1380~1450 (36.4)
16.0 (12.3)	_		

NS NS NS	-	- 1		SD 無 品	路	<b></b>	型型	異	-	į ŀ	1 田 岩		1 H	Faith .		焼成	<b>X</b> 4	備者(手法・接合ほか)
	華	グリッド	쪁	Ð		?			口径 底	底径 器高		±	≡	<u> </u>	圏			
97 629 9	98 P 1023	310-2		中世上節	Ħ	A 1 1	Р		9.2	*	2.0 22	2 浅黄橙	10YR8/4	浅黄橙	10YR8/4	淮	9	手づくね。口縁周縁にタール状付着物
97 630 9	98 SE 1137	30L-1		蒸	粼					~	(8.0)	暗青灰	5B3/1	暗青灰	5B3/1	型	4	外面平行打圧痕。海綿骨針多量含む
97 631 9	98 SK 1185	30M-18	(3)	茶	骶					3)	(9.9)	暗青灰	5B4/1	暗青灰	5B4/1	型	4	外面平行打圧痕。海綿骨針多量含む
97 632 9	98 SK 1185	30M-18	(3)	珠洲	擂跡				11	11.0 (8	(8.1)	区	/9N	区	/9N	型	Æ	底面ケズリ。卸目は1単位(幅3.0cm)11本
	98 SK 1185		(3)	珠洲	擂跡					3)	(8.4)	青灰	5B5/1	青灰	5B5/1	型	1	卸目は推定1単位(幅3.0cm)12本
	$98\mathrm{SK}1185$	-	(3)	須恵	有台杯				11	11.0 (3	(3.9)	暗オリーブ灰	5GY4/1	青灰	5B6/1	型	1	回転ヘラ切り
	98 SK 1185	30M-14	Θ	出	上版							华	10R5/8	明黄褐	10YR7/6	油	Ą	外面平行打圧痕。内面不明
989	98 SK 1185	30M-14	Θ	出	山際							灰褐	7.5YR5/2	ころいた	7.5YR6/4	油	Ą	外面平行打圧痕。内面不明
637 8	97 SD 201	30N-21		近世陶磁	染付碗		1640	1640~1650	9.4	3	(5.2)	明青灰	5B7/1	明青灰	5B7/1	型	2	初期伊万里染付。肥前系 II-2 期
97 638 9	97 SD 201	30N-16		近世陶磁	Ħ		1594	1594~1610	4	4.2 (2	(2.3)	暗灰黄	2.5Y5/2	送	5Y4/1	型	E	唐津 1-2期。胎土目
639	97 SD 201	30N-21		近世陶磁	皿(丸形)		1610	1610~1650 1	1.0	7)	(2.2)	灰褐	7.5YR5/2	区黄	2.5Y6/2	型	2 厘	唐津五期?。砂目?
640	97 SD 201	30N-21		近世陶磁	Ħ		1610	1610~1650	4	4.0 (2	(2.3)	灰黄褐	10YR5/2	褐灰	10YR6/1	型	E	唐津 I 期 ? 砂目 ? 一部 灰釉。 被熱
97 641 9	97 SD 201	300-1		中世上節	Ħ	A 1 o	ပ	13C後~14C 9	9 0.6	6.5	1.4	16 にぶい橙	7.5YR7/4	1 にがい橙	5YR7/3	油	33	手づくね田期
642	97 SE 774	27M-2·3		悉	擂鉢	>	1380	$1380 \sim 1450$ 38	35.2	ن	(7.5)	区	7.5Y4/1	灰オリース	J 5Y5/2	型	1 第	卸目は密で1単位(幅2.4cm)8本。口端部に波状文
97 643 9	97 SE 774	27M-2·3		悉	擂鉢					≈	(8.0)	区	5Y5/1	送	/9N	型	無	卸目は密で単位不明。1本の幅は0.2cm程
644	97 SE 1000	270-4-5-9-10		近世陶磁	国(磐反)	_	1690	1690~1780 1:	3.0 5	5.8	3.2 25	5 灰白	5Y8/2	灰白	5Y8/2	型	3 屋	唐津IV期。蛇ノ目釉剥ぎ。内外:灰釉
645	$97  \mathrm{SE}  1000$	270-4-5-9-10		近世陶磁	染付碗		170中	<b>#</b>	ıΩ	5.0 (2	(2.0)	明青灰	10BG7/1	明青灰	10BG7/1	型	*	初期伊万里染付。見込み「福」字の部首のみ残存
	$97\mathrm{SE}1000$	270-4-5-9-10	) [	瓦 質	香炉							置	10Y2/1	置	10Y2/1	単	ħ	放射状沈線+正五角形を三重にしたスタンプ文
647 9	$97\mathrm{SE}1000$	270-4-5-9-10		珠洲	擂鉢	VI	1450	1450~1480 3:	31.0	۳	(6.1)	オリーブ灰	5GY5/1	オリーブ灰	▼   5GY6/1	型	3 角	卸目は粗で1単位(幅2.4cm)8本
	97 SE 1000	270-4-5-9-10	_	悉		M	1450		(23.6)	<sub>ఆ</sub>	(3.3)	オリーブ灰	5GY5/1	綠灰	10G5/1	型	23	
	97 SE 1000	270-4-5-9-10		悉	描除	M	1450	$1450 \sim 1480$ (40)	(40.4)		(6.9)	オリーブ灰	2.5GY5/1	オリーブ灰	天 2.5GY5/1	<u>-</u>	2 F	片口鉢。口端部に波状文。卸目は1単位(幅7mm)3本
	97 SE 1000	270-4-5-9-10	_	悉	擂鉢				12		(6.4)	区	7.5Y6/1		7.5Y6/1	型	Æ	底面ケズリ
	97 SE 1000		_	悉	骶				17		(4.4)	青灰	10BG5/1	青灰	10BG5/1	型	Æ	底面ケズリ。外面平行打圧痕
652 9	97 SE 1000	_		悉	骶				12	12.0 (6	(6.3)	区	7.5Y5/1	送	7.5Y5/1	型	Æ	底面ケズリ。外面平行打圧痕
	97 SE 1000				骶	Ν	1280	1280~1380 59	9.5	4;	43.9 74		/9N	凶	/9N	型	2 4	外面平行打圧痕
	97 SE 1000			珠	骶						(6.5)	暗青灰	5B4/1	青灰	5B5/1	型	φ	外面平行打圧痕。海綿骨針多量含む
	97 SE 1000			獺・美	操船小皿	П			3	5.0 (1	(1.6)	灰黄	2.5Y7/2			型	크	回転糸切り
929	97 SE 1531	$30\text{K-}11\!\cdot\!16$		越中瀬戸	小倒				9.4	··	(3.4)	灰褐	7.5YR4/2	ころい赤褐	場 5YR5/3	型	1	
_	97 SE 1531	30K-16		中世上節	-	B 2	п	15C後~16C 1-	8 4.4	8.0	3.0 21	1 黄橙	7.5YR8/8		7.5YR8/8	油	2 題	底面不明
829	97 SE 1550	29K-18		瀬戸系	皿(丸形)	_	17C初?	M ?	4	4.6 (2	(2.2)	灰褐	5YR5/2	灰オリーン	J 5Y5/2	型	H.	胎土目の頃?
	97 SE 1550	29K-18	(C)	超								にぶい	7.5YR5/3		2.5Y5/2	型	Д	内面押圧後ナデ。外面釉かけ
_	97 SE 1670			近世陶磁	皿(丸形)		1594	$1594 \sim 1610$ 13	2.6	٣	(3.7)	灰オリーブ	7.5Y5/2	灰オリーン	J 7.5Y5/2	型	1 / /	唐津 I-2期?釉に貫入多い
661 9	97 SE 1972	28L-2·7		越中瀬戸	小鹿			1	11.4 10	10.4 §	9.0 79	_	10R2/2	極暗赤褐	10R2/2	型	3	回転糸切り
	97 SE 2940		00	近世陶磁	Ħ		1650	$1650 \sim 1680$	S	8.0 (2	(2.4)	灰黄褐	10YR4/2	褐灰	10YR5/1	型	Ñ	液佐見Ⅳ期。蛇ノ目釉剥ぎ。被熱?
	$97\mathrm{SE}2940$		00	悉	粼					(1;	(13.5)	青灰	5PB5/1	暗青灰	5PB4/1	型	φ	外面平行打圧痕
	$97\mathrm{SE}2940$		8	珠洲	粼			_	(0.09)	۳	(6.9)	区	7.5Y5/1	灰	7.5Y5/1	型	1 9	外面平行打圧痕
665	98 SE 17	261-23	Θ	近世陶磁	皿(丸形)	)	1680	$1680 \sim 1740$ 1:	13.0 4	4.0	3.5 27	7 橙	7.5YR7/6	3 橙	7.5YR7/6	9	10   源	波佐見V1期。蛇ノ目釉剥ぎ
3 999	98 SE 17	261-23	4	越中瀬戸	中				9.2	(4)	(9.9)	褐灰	7.5YR5/1	灰褐	7.5YR4/2	型	8	
8 299	98 SE 17	261-23	3	越中瀬戸	小				8.2 9	9.0	9.6 117	7 暗赤褐	2.5YR3/2	! にぶい赤褐	場 2.5YR4/3	8	回 9	回転糸切り
	98 SE 17	261-23		瀬戸系	擂鉢		17C初	. 7	29.0	(1(	(10.2)	灰赤	2.5YR4/2	2 灰赤	2.5YR4/2	型	3 毎	卸目は1単位 (幅2.6cm) 9本
699	98 P 44	26J-4	1	10 越中瀬戸	小				8.0 5	5.7	5.2 65	5 暗赤褐	2.5YR3/2	2 灰褐	5YR4/2	型	回 6	回転糸切り。口縁内面に煤付着
8 029	98 P 46	261-25	Θ	越中瀬戸	小				10	10.0	9.7	にぶい褐	7.5YR5/4	1 明赤褐	5YR5/6	型	1	回転糸切り
	98 P 49	26J-5	(3)	越中瀬戸	小				9.6	10.2 10	10.9 114	4 にぶい赤褐	2.5YR4/4	1 暗赤褐	2.5YR3/2	百	3 [	回転糸切り
672	98 SE 169	$291 - 12 \cdot 13$		近世陶磁	碗		$1650 \sim 1780$	$1650 \sim 1780$ 13	2.6	1)	(6.3)	にがい黄	2.5Y6/3	にかい声	2.5Y6/3	型	2 5	2   京傑風。肥前系田期 or IV期
99 673	00 CT 160	01 10 10	(														-	

				ľ		T	. 101							(一)
3		£	P.	口径	底径	報車	指数	外面		K	囲	New Year	× X/16	
皿(丸形)		169	1690~1780	14.2	4.8	3.7	26 にぶい黄橙		10YR7/2	にぶい黄橙	10YR7/2	2 度		3 肥前系(内野山) IV期。蛇ノ目釉剥ぎ。内: 鋼緑釉、外: 灰釉
		169	1690~1780	13.8	5.0	3.7	27 にぶ	にぶい黄橙 10	10YR7/3	浅黄橙	10YR8/3	S 型	_	1 肥前系(内野山) IV期。蛇ノ目粕剥ぎ。内:銅緑粕、外:灰粕
		168	$1680 \sim 1740$		4.4	(2.1)	灰黄	2.5	2.5Y7/2	灰白	2.5Y7/1	型		液佐見V1類。蛇ノ目釉剥ぎ
		191	$1610 \sim 1650$			(3.5)	12 13	にぶい黄橙 10	10YR6/3	灰黄	2.5Y7/2	型		唐津1期?欽絵
皿(丸形) 1		69	$1690 \sim 1780$	14.2		(3.6)	がい	にぶい黄橙 10	10YR7/3	灰白	10YR8/2			5   肥前系(内野山)Ⅳ期。蛇ノ目釉剥ぎ。内:銅緑釉、外:灰釉
				8.6		(0.1)	明褐	7.5	7.5YR5/6	にぶい褐	7.5YR5/3	/3 度	4	4
				9.4	8.6	10.2	109 暗褐	10	10YR3/4	暗赤褐	5YR3/3	_	11	1   回転糸切り
						(2.0)	赤褐	_	5YR4/6	赤褐	5YR4/6	_		
ĭ	=	35	$1650 \sim 1690$		10.6	9.6	<b>や</b> じ	にぶい赤褐 2.5	2.5YR5/4	赤褐	10R5/4			
	166		$1650 \sim 1690$	11.8	4.9	8.0	灰巾		2.5Y8/1	灰白	2.5Y8/1	型	_	1   陶胎染付。肥前系田期。被熱
皿(丸形) 1680	1680		$1680 \sim 1740$	12.8	4.0	-	28 明黄褐		10YR7/6	明黄褐	10YR7/6	$\dashv$	_	4   波佐見V1期。蛇ノ目釉剥ぎ
				12.4	9.5	_	74 暗赤褐		10R3/2	にぶい赤褐	3 2.5YR4/3	/3 度		7   回転糸切り
				10.2		(6.3)	灰褐			赤褐	5YR4/6		5	5  被熱?
				10.2		(0.9)	暗赤褐		5YR3/2	暗赤褐	5YR3/4	山	6	6
				9.2		(2.0)	極暗赤褐		10R2/2	暗赤灰	2.5YR3/1	/1 度	4	4
17C	17C	0			11.6	(17.6)	黒褐	5Y	5YR3/1	梅	7.5YR4/3	/3 度		唐津。胴部最大径18.2cm。体部内外面格子目、底外面格子目
近世魯綠 国(丸形) 1580~1594	$1580 \sim 15$	$0 \sim 15$	94	9.01	5.0	3.1	29 にぶい褐		7.5YR5/4	明褐灰	7.5YR7/1	/1 度		7   唐津 I - 1 期。被熱
1580~1594	1580~15	$0 \sim 159$	4	10.0	4.0	3.0	30 にぶい黄褐		10YR5/4	暗オリーブ	7.5Y4/3	型		3 唐津 1-1 期。口縁端部内湾
皿(編反) 17C初	17C初	C 初		13.0	8.9	2.7	21 灰白	7.5	7.5Y8/1	灰白	7.5Y8/1	型		10   志野。外底面墨書「上口」。見込み胎土目3ケ所
17C初	170初	こ初		13.0	7.0	5.6	20 灰白	10	10Y8/1	灰白	10Y8/1	型		<b>福</b> 皐 L
■(編反) 17C初	170初	こ初		12.0	6.4	2.0	17 灰白	10	10Y8/1	灰白	10Y8/1	型		8 志野。外底面に胎土目 (2/3ヶ所)
	17亿初	こ初		13.0	7.2	2.8	22 灰白			灰白	7.5Y8/1	-⊞(		9   本野
皿(丸形) 1594~1610	$1594 \sim 1610$	$4 \sim 1610$		10.2	3.4	3.1	30 暗赤褐		5YR3/2	暗赤褐	5YR3/2	型	15	5 唐津1-2期。灰釉
$1650 \sim 1690$	$1650 \sim 1690$	$0 \sim 1690$	_		4.9	(3.2)	<b>や</b> U	赤褐	2.5YR4/3	にぶい赤褐	_	$\dashv$		肥前系皿期?薄い蛇ノ目釉剥ぎ。煤付着
					11.2	(3.3)	暗赤褐		5YR3/2	暗赤褐	2.5YR3/2	_		
1690~1780	1690~178	0~178	0		4.4	(3.2)	民	10	10Y5/1	送	10Y5/1	型		肥前系IV期。刷毛塗り文様(体外:波状文、見込み放射状文)。量付部砂目?
17C前半	17C前半	い前半			5.0	(1.8)	灰白	5 Y	5Y8/2	灰白	5Y8/2	百		黄瀬戸?一部緑釉
$1680 \sim 1740$	1680~17	$0 \sim 17$	40	12.8	3.9	3.4	27 灰白	10	10YR8/2	灰白	10YR8/1	1 度		5  波佐見V1塊。蛇ノ目釉剥ぎ
$1610 \sim 1650$	1610~10	$0 \sim 10$	350		4.0	(1.9)	赤褐	5Y	5YR4/6	オリーブ灰	( 10Y6/2	型		肥前系11期。砂目
17C ?	17C?	٠.			(9.9)	5.1	灰白	10	10Y8/1	にぶい黄橙	_	3 度		
17C	17C	0			11.0	(7.1)	赤褐	2.5	2.5YR4/6	赤褐	2.5YR4/6	月 9/		唐津。即目は1単位(幅3.8cm) 16~17本。回転糸切り
17C	17C	0					赤褐	2.5	2.5YR4/8	赤褐	2.5YR4/8	/8 度		唐律
				15.0		_	15 灰	/9N	3/	灰白	//N	山		6   内外面ロクロナデ後、天井部ケズリ。つまみ径 2.6cm。小泊?
				14.0		(2.2)	灰オリ	ブ	7.5Y5/2	灰白	2.5Y7/1	型		天井部ケズリ。
				13.3		3.0	23 灰白	/LN	//	黄灰	2.5Y5/1			8   内外面ロクロナデ後、天井船ケズリ。つまみ径2.7cm
D				14.0	8.6	3.7	26 灰	N5/	2/	区	/9N	型		3   回転ヘラ切り
D 9С#	# ⊃6	π-		12.0	8.4	3.5	29 灰	/9N	3/	浽	/9N	型		3 小泊。回転ヘラ切り
				17.6	9.01	7.2	41 灰	N5/	/9	区	/9N	型		回転ヘラ切り後ロクロケズリ。体部上半ナデ、下半はケズリ
				19.0		(4.6)	送	/4V	/1	区	/9N	型	1.5	.5 ロクロナデ
短頸壺蓋				13.6		(5.9)	灰白	/VN	//	区	/9N	型	1.5	.5 ロクロナデ
				8.9	(20.5)	23.5	暗オリ	ーブ灰	2.5GY4/1	区	5Y6/1	型	-	1 外面平行打圧痕。内面円形押圧痕+カキ目
				(19.2)		5.0	浅黄	7.5	7.5Y7/3	浅黄	7.5Y7/3	-=<	0.5	.5
						2.0	灰白	7.5	7.5Y7/2	灰白	7.5Y7/2	型		
				(14.8)		(6.67	山地	110	10Y7/2	压力	1 OV7/9		H	
				()		(1.1)	I S	-	1 /	I	1/1/1	4	$\dashv$	0.5 口   口

为(片字 本人) 一	考 (手法・接合はか)										內面接合痕明瞭										ぐり					Fr	0							後ぎ痕		12のハケ目	(		5面底~体下左上斜位、体部横位	1のハケ目		体部内面左上斜位のハケ目	
777	運	蛇ノ目高台	猿投産	東濃産。底面ロクロケズリ	猿投産。底面ロクロケズリ	猿投産。底面ロクロケズリ	東濃産	東濃産。底面ロクロケズリ	猿投産	猿投産	猿投産。無釉。底面ロクロケズリ。内面接合痕明瞭	猿投産。底面ロクロケズリ	猿投産。底面ロクロケズリ		東濃産。周縁の人為的打ち欠き	回転糸切り	回転糸切り。内面筋状の円形赤彩?	ロクロナデ。軟質	回転へう切り?	胎土粗悪で調整不明。11・12世紀?	内:ミガキ。外:底・体下ロクロケズリ	内:ミガキ。古墳時代?	内:ミガキ。底面不明	内外面ロクロナデ後カキ目	2.5 内外面ロクロナデ後カキ目	体部外面カキ目。内面口縁~体部カキ目	0.5 口縁端部外方引き出され面を上に持つ	0.5 口縁部外反。内外無文	蓮弁文 (丸彫)	サイト (千座)	単井久(九彫) 大形の指弁女。 目込み円形を			四方割高台。高台内面露胎。口縁漆接ぎ痕	円形3方透かし	口縁内外面横ナデ。体部外面左上斜位のハケ目	二重口縁。弥生の器台の可能性も有り	調整不明。底部内面黒色	内外面ハケ目(体部外面左上斜位。内面底~体下左上斜位、体部横位	口縁外面横位のハケ目。体部左上斜位のハケ目	調整不明	口縁内外面横位のハケ目。体部内面2	ロクロナデ
残存	X/16	岩	1	単	1 猿	2 類	2 東	単	3 凝	7	凝	貘	쬻	貘	単	8	9.9	9	2 日	2 胎	6	1.5 内	3 内	4 内	2.5 内	2	0.5	0.5			10 十	က	4	4	田	4	2.5	쁾	$\rightarrow$	2	1	2	
	発送	型	型	型	型	闰	闰	型	型	型	型	型	型	型	型	抑	_	御		海	御	御	_	彔	御	-	<b></b>	-	-EX +	IIX 1	ď æ	( ±K	-	型	洫	洫	海	毎	_		御	-	型
	囲	10Y7/2	7.5Y7/2	2.5Y8/1	2.5Y8/1	5Y7/1	7.5Y7/2	/8N	2.5Y8/1	5Y6/1	2.5Y8/1	2.5Y7/1	7.5Y8/1	7.5Y7/1	2.5Y7/1	10YR8/3	7.5YR8/6	5YR7/6	7.5YR8/3	7.5YR6/3	5Y2/1	2.5Y2/1	2.5Y3/1	7.5YR7/4	5YR7/4	7.5YR7/4	10G6/1				5GV5/1	_	7.5GY6/1	10Y8/1	7.5YR7/4	7.5YR7/6	2.5YR6/6	7.5YR4/1	-		_	7.5YR5/1	/SN
靐	K	灰白	灰白	灰白	灰白	灰白	灰白	灰白	灰白	区	灰白	灰白	灰白	灰白	灰白	浅黄橙	浅黄橙	梅	浅黄橙	にがい梅	噩	淄	黒褐	にぶい橙	にぶい楢	智がい	緑灰	明綠灰	オリーブ灰	オリーフ。黄	イントノ灰イントノ灰	明緑灰	線灰	灰白	にがい権	橙	橙	褐灰	にぶい黄橙	にぶい着	にぶい黄橙	褐灰	区
鈤	囲	10Y7/2	7.5Y7/2	2.5Y8/1	2.5Y8/1	5Y7/1	N8/	//N	2.5Y7/1	5Y6/1	//N	5Y8/1	2.5Y8/1	N8/	2.5Y7/1	10YR8/4	7.5YR8/4	5YR8/4	7.5YR8/2	7.5YR7/4	10YR8/2	2.5Y8/1	7.5YR8/4	7.5YR8/4	7.5YR7/4	10YR7/1	10G6/1	7.5GY7/1	5GY5/1	5Y5/3	2.5GV5/1	7.5GY7/1	5GY5/1	10Y8/1	10YR8/4	7.5YR8/6	2.5YR6/6	2.5YR6/4	7.5YR5/4	7.5YR7/4	10YR7/4	7.5YR4/1	N6/
	*	灰白	灰白	灰白	灰白	灰白	灰白	灰白	灰白	区	灰白	灰白	灰白	灰白	灰白	浅黄橙	浅黄橙	16 淡橙	灰白	にぶい橙	灰白	灰白	浅黄橙	浅黄橙	にぶい楢	灰白	緑灰	明祿灰	ブ 医	灰利-7。	インーノ灰イリーブ灰	明緑灰	オリーブ灰	灰白	浅黄橙	浅黄橙	橙	にぶい橙	にぶい褐	にがい橙	にぶい黄橙	褐灰	区
径高	帯数				17	17	_									33	27		15	62	33		30											21									
cm)	認	1.6	(2.6)	(2.8)	2.5	3.4	(2.6)	(5.5)	(2.8)	(1.4)	(6.8)	(3.2)	(4.9)		(1.3)	3.9	3.4	3.6		7.2	7.1	(3.2)	3.9	(8.6)	(12.6)	(2.6)	(2.9)	(3.6)	(4.3)	(3.8)	(3.2)	(1.8)	(2.1)	2.1	(3.1)	(5.3)	(3.7)	(3.7)	(14.0)	(6.2)	(5.1)	(3.3)	(3.3)
量 (cm)	底径	8.2		10.0	7.0	10.4		8.8			(13.6)	12.4	11.4	8.0	(0.9)	5.2	5.7	11.0	8.6	(0.0)	8.0		8.9								(5.4)			4.2				3.5	3.2				
뇄	口径		12.6		15.0	20.0	12.5		17.0	4.6						12.0	12.4	23.0	14.4	11.6	21.2	14.5	13.0	23.4	21.7	20.0	(19.2)	(15.4)	14.6	13.0	0.11	13.1	11.8	9.8		14.0	18.0			16.8	16.6	9.6	14.1
1	至																										13C·14C?	15C	15C後半	150年~後	150-18年	15C	15C	15℃中~後	古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	古墳(5世紀)
1	汝															C IV	DIV	A	В			A	A	A	A	S		D	BE	E E	ВП												
935	<b>#</b>	H	施	施	Ш	段皿	長頸壺	長頸壺	短頸壺	長頸壺	瓶	瓶	瓶	長頸壺	Ħ		毫	, 	_	有台椀	落	有台施	JII (	戀	粼	粼		碗		墨塔		H	稜花皿	<b>=</b>	40	粼	母	巍	熈	粼	影	小型壺	湘
$\vdash$	羅 要	要	要	要	脚	_	_		和 短	新 長	基	要	要							師有		黒有	_	前長	皇	<b></b>			_		2	-	-	類	品品								頁章 杯
95	匰	燊	区	区	M	函		民		区		区	区		民	+1	+1	+1	H	H		K		Ŧ	+1						m Ho			Щ	古式上節	古式上部	古式土師	古式土師	古式土師	古式上節	古式土節	古式上節	古式須惠
Sı	圏区	П	Ħ		I	П	П	ш	п	п	п	П	П	П	П	п	п	Ħ	п	П	Ħ	日	П	П	Ħ	Ħ	п			- E	1 -	-	П	п					@	(e)	Θ		Ħ
: 位置	グリッド	9-008	33N-6	31M-4	31G-12	34N-21	32N-2	31L-14	32N-15	31L-18	29M-10	32K-17	33L-23	34N-22	320-1	33N-25	33N-25	32N-4	33K-11	31F-23	32N-4	32N-2	34N-21	33N-2	32N-2	33M-20	33K-21	31N-13	34M-2	25R-10	25R-10	34K-8	34N-20	30M-14	25H-15	25H-15	25H-15	25H-15	261-15	261-15	261-15	261-15	32L-24·25
丑	遺																																		97 SX 1204	97 SX 1204	97 SX 1204	97  SX  1204	98 SK 38	98 SK 38	98 SK 38	98 SK 38	
擬	No.	719	720	721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741	742	743	744	745	746	747	749	750	751	752	753 9		755 9	756 9		_		_	761
	No.	101	101	101	101			101	101	101	101	101	101	101		101				102		102	102	102	102						102	102	102	102	103	103	103	103		103		103	103

開発域があると 3ヶ原
ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ 外面体部底面~脚部カキ目。杯部刺突文。脚部長打 ロクロナデ。カキ目
良 2 U2U 良 ロクロ 良 ロクロ 良 1 外面杯 良 ロクロ
N7/ 度 N7/ 度 5Y6/1 度
N4/ 灰白 N6/ 灰
展 N6/
():=
4
古式須惠
ш
31M-10
86

第25表	ς Κ		一个牧田克尔女									
14	報告				¥		共			樹種同定結果	账	
X	No.	Z X	距	年 種 番号 SB 位		長cm	幅cm	厚cm	木取り	樹種	試料No.	至
105		祭 祀 具	砸	98 SE 1124	330-5	24.3	1.8	0.3	板目			
105	2	祭祀具	砸	98 SE 1124	330-5	14.1	2.3	0.3	単二 単二			
105	က	容器 (漆器)	Ħ	98 SE 1124	330-5	19.0		1.3	横木地柾目	ケヤキ	NGT 394	底径15.6。 編下げ4回目
105	4	容器 (漆器)	<b>II</b>	97 SE 27 08 ⑤	25Q-1.2	(12.0)		(1.8)	横木地柾目	ブナ属	NGT 392	底径8.0。見込みに文様
105	10	容器 (漆器)	III (	97 SE 1485	25Q-25,26Q-21	14.0		3.1	横木地柾目	ブナ属	NGT 393	底径7.6。見込みに文様
105	9	容器 (漆器)	Ⅲ?	98 SK 162	291-1-2-6-7	(12.8)		(2.5)	横木地柾目	ブナ属	NGT 395	底径8.0
105	-	校路 (旅路)	E	97SE976	220-5-10	(19.4)		(19)	権大岩が田	ブナ原	NGT 396	底径7.8

#									
Ħ	年 種 番号 SB	8位 明 上 2	長cm	幅cm	厚 cm	木取り	樹種	試料 No.	E. HAU
	98 SE 1137	30L-1			(1.4)	横木地柾目	ブナ属	NGT 397	底径8.2
	97 SE 179	27P-15				年 田	ブナ属	NGT 398	底部見込みのみ残存
	98SK488	③ 28F-21	9.0		(2.3)	*			塗膜部のみ残存
	97 SE 50	290-1他	14.0		(4.2)	横木地	ブナ属	NGT 403	
本	97 SE 50	290-1他	8.8		4.5	横木地斜め	ブナ属	NGT 391	底径(5.6)
	98 SE 392	291-14	13.0		8.5	横木地柾目	ブナ属	NGT 387	底径 6.5
	98 SE 392	291-14	(13.0)		(7.9)	横木地柾目	ブナ属	NGT 401	底径(7.0)
	98 SE 392	291-14	14.0		(0.9)	横木地	ブナ属	NGT 389	底径(6.6)
	98 SE 392	291-14	12.0		(5.2)	横木地柾目	ブナ属	NGT 388	底径(4.2)
	98 SE 392	291-14	(11.8)		(2.0)	横木地柾目	ブナ属	NGT 400	底径6.0
宛	98 SE 392	291-14	(10.0)		(1.7)	横木地柾目	ブナ属	NGT 399	底径(5.4)
	98 SE 392	291-14			(2.3)	横木地斜め	ブナ属	NGT 390	底径(7.2)
物 (底)	97SK264	(4) 28P-10	19.7	19.7	0.8	在田	ヒノキ	NGT 355	
物 (底)	97 SE 2708	⑤ 25Q-1·2	17.2	17.0	6.0	在田	スギ	NGT 354	
5	97 SE 291	② 29P-1·6	9.4	9.2	1.0	ナナ目			周囲及び片面(表)に黒褐色物付着
物 (底)	97 SE 302	29P-2·3	12.6	12.6	1.0	在田	ヒノキ	NGT 365	
物 (底)	97 SE 936	28P-16	16.9	(11.4)	0.7	在田	ヒノキ	NGT 363	
物 (底)	97 SE 2021	28L-12	8.8	(4.2)	0.4	在田	ヒノキ	NGT 359	
物 (底)	97 SE 2021	28L-12	17.1	16.7	1.2	年目 エ	トウヒ属	NGT 362	周囲を巡る小穴あり
物 (底)	97 SE 2021	28L-12	18.3	18.3	0.5	年目 -	ヒノキ	NGT 358	
物 (底)	97 SE 1970	③ 28L-23·24	22.1	21.3	1.5	框目	キノヲ	NGT 360	表裏に刃痕
柄杓型曲物 (側板)	97 SE 1970	③ 28L-23·24	10.5	10.0	5.7	柾目	トノキ	NGT 361	縦列の小穴(φ 4 mm)あり
曲物(底)	97SD 201	290-5	(22.9)	9.7	1.3	框目	キノヲ	NGT 364	
	97 SE 50	290-1他	9.5	9.0	2.7	柾目	ヒノキ	NGT 357	底板径 8.4cm
筒形曲物 (蓋)	97 SE 50	290-1他	8.8	8.6	0.3	年目 エー	ヒノキ	NGT 356	
敷	98 SE 650	29G-25	16.6	6.3	0.5	板目	スギ	NGT 408	刃痕あり
敷	98 SE 650	29G-25	32.5	9.3	0.7	板目	スギ	NGT 407	
柄杓型桶	97 SE 774	27M-2·3	(15.5)	(18.0)	(0.6)	板目			柄径 φ 2.2 ~ 2.7。箍幅 0.7 ~ 0.8
進幽下駄	97 SE 6	29N-8·9	20.1	10.5	4.8	芯持ち	コシアブラ	NGT 350	後,左減り
進歯下駄	97 SE 6	29N-8·9	18.5	9.6	5.1	板目	コシアブラ	NGT 351	後·右減り
進歯下駄	97 SE 6	29N-8·9	17.3	9.3	6.9	芯棒ち	クリ	NGT 349	後・右減り。歯部分に芯あり
進歯下駄	97 SE 6	29N-8·9	21.1	10.9	3.0	年日	クリ	NGT 348	前・左減り
進歯下駄	97 SE 423	290-23	19.1	11.0	3.7	板目	クリ	NGT 352	一部·左滅り
進歯下駄	97 SE 109	26P-21·22	19.2	10.5	7.5	板目	カエデ属	NGT 347	前・右減り。黒漆塗り
皮草履	97 SE 50	290-1他	16.2	7.7	0.4	1		NGT 353	樹皮
卷	97 SE 302	29P-2·3	21.1	9.0	0.5	割木	ヒノキ	NGT 366	
2000	97 SE 1624		22.3	1.0	9.0	柾目	スギ	NGT 367	
繰	97 SE 1624	② 29K-23·24	27.0	9.0	1.0	割木	メギ	NGT 369	
猴	97 SE 2021	28L-12	22.5	9.0	0.4	割木	メギ	NGT 368	
缓	97 SE 457	29M-11·16	(6.9)	9.0	0.4	柾目	スギ	NGT 370	
缓	97 SE 178	27P-14·19	16.1	0.7	0.4	板目	スギ	NGT 371	
器	97 SE 178	27P-14·19	21.5	6.0	0.7	割木	スギ	NGT 372	
器	98 SE 729	30J-19.20	21.3	0.7	0.4	割木	スギ	NGT 373	
缓	98 SE 729	30J-19·20	20.2	9.0	0.4	御木	ボン	NGT 374	
						, 125	1.1	TAG I SAT	

-012 Abr 1										K	
No.	<b>厥</b>	器	年 種 番号 SB	位 調 本区	五 長cm	型 型 配 型 に 加	厚cm	木取り	樹種	試料No.	—————————————————————————————————————
53 約	幾	織機 (緯打具)	98 SE 392	291-14	36.4	3.4	1.7	板目	71)	NGT 383	四部所々あり
54 II	mK	刀子鞘	97 SE 109	26P-21·22	22.7	2.7	8.0	単田 田田	スギ	NGT 381	刀子柄?
22 無	mK	火 鑚 板	97 SE 730	24P-16·17	22.2	2.5	1.4	板目	スギ	NGT 380	▼字刻み9ヶ所
99	≕	火 鑚 板	97 SE 2021	28L-12	19.9	6.4	1.1	柾目	71)	NGT 385	
-	≕	叩板	97 SD 201	30N-22	18.8	8.9	1.1	ナナ目	ヒノキ	NGT 382	表表に刃痕無数
58 端	**		97 SE 6	29N-8·9	7.2	3.6	9.0	ナナ目	ヒノキ	NGT 379	
29 部	村		98 SE 725	(4) 30J-21,30K-1	11.0	3.7	2.6	板目	スギ	NGT 376	
980 報	村		97 P 101	26P-11	11.7	2.7	2.6	割木	エゴノキ属	NGT 377	
61 部	村		98 SE 392	291-14	29.0	2.5	6.0	柾目	ヒノキ	NGT 378	いすか組接ぎ。右側面目釘4ケ所
62 農	≕	横槌	98 SE 179	291-24-25	20.8	12.8	11.0	割木	ケヤキ	NGT 406	
63 農	≕	級	97 SE 2729	@ 25P-15·20	21.5	10.9	2.5	柾目	ブナ属	NGT 404	
64 農	шĶ	田下駄	97 SE 976	22Q-5·10	33.7	11.5	2.2	年目 -	スギ	NGT 405	
65 農	шĶ	田下駄	98 SE 729	30J-19.20	46.3	21.9	7.9	年目 -	71)	NGT 409	
99	mK	田下駄	98 SE 958	② 33L-3	37.5	10.2	2.0	板目	71)	NGT 386	
67 農	mK	聚	97 SE 2708	⑤ 250-1·2	51.6	7.6	7.6	九木	71)	NGT 384	
68 職	шĶ	路鋤身	97 SE 109	26P-21·22	69.2	15.0	4.0	枝分かれ部	ブナ属	NGT 410	
89	шĶ	路鋤柄	97 SE 109	26P-21·22	119.5	5.5		枝分かれ部	ブナ属	NGT 410	$\phi$ 4.2 $\sim$ 5.5
一 69	築材	柱根	98 P 1397 14	30M-5,31M-1		30.5	30.0	丸木	71)	NGT 346	平底
70 建	築材	柱根	98 P 1335 14	30M-5·10	58.3	28.2	24.8	割木	71)	NGT 344	平底
71 建	築材	柱根	98 P 1252 14	30M-9	65.7	25.4	25.4	丸木	<i>b</i> 1)	NGT 345	尖底
72 建	築材		98 P 1427	31L-21	70.1	19.5	13.8	割木	<i>b</i> 1)	NGT 340	尖底
-			98 P 1458	31M-2	73.3	23.1	13.5	割木	クリ	NGT 343	尖底
74 健	数科		98 P 1274	31M-5	53.4	14.5	12.0	置り出し	クリ	NGT 337	尖底
75 建	数科		97 P 775	300-16	57.5	16.8	16.3	割木	クリ	NGT 338	尖底
76 建			98 P 846	30L-8·13	9.09	27.4	16.4	割木	クリ	NGT 342	平底
77 礁			98 P 869	30L-20·25	59.3	19.5	19.5	丸木	クリ	NGT 339	尖底
78 健	数科		98 P 1212 13	32M-5·10	54.7	24.0	18.4	芯なし割木	クリ	NGT 336	尖底
79 健	築好	柱根	98 P 1216	31M-20	57.7	23.0	19.7	割木	クリ	NGT 341	尖底
₩ 08	IT Z	枠 木 (東)	97 SE 5	29N-19	96.5	12.5	3.4	板目	スギ	NGT 412	
-			97 SE 5	29N-19	95.5	13.7	4.5	板目			
_	- 1		97 SE 5	29N-19	80.3	14.5	5.0	板目			
_	- 1	枠 木 (北)	97 SE 5	29N-19	79.8	15.0	5.5	板目	スギ	NGT 413	
84 #	IT Z	側板 (北西)	97 SE 200	29N-16·17	55.8	13.8	1.0	板目			
85 井	耳	側板 (北西)	97 SE 200	29N-16·17	65.5	15.5	2.3	板目			
86 井	戸村	側板 (北東)	97 SE 200	29N-16·17	29.0	10.5	2.5	板目			
87 井	戸村	側板 (北東)	97 SE 200	29N-16·17	59.4	9.7	1.5	板目			
88 井	五	側板 (北東)	97 SE 200	29N-16·17	87.0	24.5	2.8	板目			
89 井	五	側板 (北東)	97 SE 200	29N-16·17	93.8	25.5	2.9	板目			
90 井	五	側板 (北東)	97 SE 200	29N-16·17	122.0	23.0	3.2	板目	スギ	NGT 332	追い入れ接ぎ痕
91 #	IT Z	側板 (北東)	97 SE 200	29N-16·17	119.2	23.0	2.8	板目			
92 #	耳	側板 (南東)	97 SE 200	29N-16·17	156.4	13.4	4.5	板目			ホゾ穴2孔。追い入れ接ぎ痕
93 #	II Z	側板 (南東)	97 SE 200	29N-16·17	95.8	13.5	2.6	板目			
-		側板 (南東)	97 SE 200	29N-16·17	121.5	27.0	3.0	板目			
95 #	IT Z	側板 (南東)	97 SE 200	29N-16·17	87.3	13.9	2.2	板目			
+	1	(計計) (計計)	00000000		1 41						

4.00	1	1000		拉用			くこうところ		
1	報号 SB	位 間 位 区	長cm	幅cm	厚cm	木取り	樹種	試料No.	
	97 SE 200	29N-16·17	60.4	13.5	2.3	板目			追い入れ接ぎ痕
(南南)	97 SE 200	29N-16·17	67.8	13.8	2.0	板目			
(南南)	97 SE 200	29N-16·17	9.92	22.5	4.5	板目			
(南風)	97 SE 200	29N-16·17	66.5	28.4	2.5	板目	スギ	NGT 335	
(南屋)	97 SE 200	29N-16·17	29.0	21.9	3.3	板目			
(南屋)	97 SE 200	29N-16·17	67.8	12.6	2.2	板目			
側板 (南西)	97 SE 200	29N-16·17	63.5	8.0	2.5	板目			
柱 (北)	97 SE 200	29N-16·17	83.2	10.4	4.3	板目			
柱 (南)	97 SE 200	29N-16·17	94.7	14.7	4.6	板目	スギ	NGT 333	
柱 (西)	97 SE 200	29N-16·17	77.0	14.4	4.2	板目			
横栈 (下)?	97 SE 200	29N-16·17	74.3	10.4	3.5	年日 -			
横栈 (下)?	97 SE 200	29N-16·17	71.8	10.0	5.4	板目			
横栈 (南西)	97 SE 200	29N-16·17	89.0	8.2	3.8	板目	スギ	NGT 334	
板 (北)	98 SE 1124	330-5	73.1	22.0	2.2	板目			
板 (北)	98 SE 1124	330-5	94.2	9.5	1.5	板目			
(HE)	98 SE 1124	330-5	116.3	21.2	1.9	板目			
(北)	98 SE 1124	330-5	85.0	15.0	1.5	板目			
(H)	98 SE 1124	330-5	107.3	18.0	1.8	板目			
板 (東)	98 SE 1124	330-5	145.0	13.7	2.4	板目	スギ	NGT 328	
板 (東)	98 SE 1124	330-5	114.6	17.0	1.8	板目			
板 (東)	98 SE 1124	330-5	130.8	16.3	2.4	板目			
	98 SE 1124	330-5	100.5	13.2	1.7	板目			
板 (東)	98 SE 1124	330-5	98.3	12.0	1.2	板目			
(運)	98 SE 1124	330-5	140.1	16.0	3.0	板目			
(屋)	98 SE 1124	330-5	114.1	18.9	1.5	板目			
	98 SE 1124	330-5	136.3	18.3	2.1	板目			
板 (南)	98 SE 1124	330-5	127.8	15.7	2.0	板目			
板 (南)	98 SE 1124	330-5	120.5	14.5	2.5	板目			中央下部に小穴
	98 SE 1124	330-5	106.7	13.3	1.8	板目			
板 (西)	98 SE 1124	330-5	110.6	19.3	2.2	板目			
板 (西)	98 SE 1124	330-5	117.4	13.4	1.9	板目			
板 (西)	98 SE 1124	330-5	131.7	21.5	2.8	板目	スギ	NGT 329	
板 (西)	98 SE 1124	330-5	108.5	11.0	1.3	板目			
板 (西)	98 SE 1124	330-5	111.1	20.8	1.7	板目			
板 (北)	98 SE 1124	330-5	87.3	15.0	4.0	板目			ホゾ穴2孔
板 (南)	98 SE 1124	330-5	137.7	18.7	2.4	板目			ホゾ穴4孔
隅杭 (南東)	98 SE 1124	330-5	70.5	5.7	5.1	丸木			接合後の数値
隅杭 (南西)	98 SE 1124	330-5	93.4	7.6	6.5	丸木			
隅杭 (北西)	98 SE 1124	330-5	134.5	6.5	6.5	丸木	コナラ節	NGT 330	
模 (北)	98 SE 1124	330-5	9.88	8.1	6.2	板目			接合後の数値
(漢)	98 SE 1124	330-5	84.4	11.4	4.2	板目			接合後の数値
(屋)	98 SE 1124	330-5	89.7	9.8	3.4	柾目	クリ	NGT 331	
**	98 SE 1194	330-5	42.8	19.5	33	板目	アサダ	NGT 411	一個総打工一類形を見ず

第26表 石器・石製品観察表

₩ Z(	720	11 66 11 11 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	(山) 此, 水 北								
図版	報	出	土 位置		種 別	石 材	2		d (cm·		備考
No.	No.	遺構	グリッド	層			長	幅	厚	重量	
117	1	97 SE 1000	2704.5.9.10		石 白	安山岩	31.8		11.0	7280	97SE226と接合
117	2	97 SE 1000	2704.5.9.10		石 自	安山岩	(32.0)		(12.0)	2240	推定径32cm
117	3	97 SD 2	30022		石 白	安山岩	(30.0)		11.4	3290	推定径30cm
117	4	97 SE 2705	25020.25	2	石 臼	安山岩	(28.0)		8.2	5300	推定径 28cm
117	5	98 SE 392	29H19		石 臼	安 山 岩	(28.6)		7.0	2000	推定径 28.6cm
117	6	97 SE 2022	29K17·22		石 白	安 山 岩	28.0		12.4	13950	
117	7	97 SE 50	2901他		茶 臼	安山岩	(33.6)			2230	臼部推定径 15.8cm
							` ′		440		受皿部推定径33.6cm
117	8	97 SE 109	26P21		石 鉢	安山岩	30.0		14.8	2530	底径 20cm
117	9	97 SE 2022	29K17·22		石 鉢	安山岩			(8.5)	640	底径15cm
117	10	97 SE 1550	29K18		石 鉢	安山岩		23.6	12.6	5510	水輪転用品
117	11	97 SE 2022	29K17·22		石 鉢	安山岩		24.0	13.2	9430	地輪転用品
118	12	97 SE 1550	29K18		宝篋印塔塔身	安山岩	15.6		15.4	8010	
118	13	97 SE 598	27022		宝塔相輪	安山岩	16.7	14.1		2980	
118	14	97 SE 1550	29K18		五輪塔火輪	安山岩		24.4	15.6	10120	径8cm前後の穴4ヶ所(底面)
118	15	97 SE 1000	2704.5.9.10		五輪塔火輪	安山岩		(10.9)	12.0	2660	深3.8cm ホゾは方形 # 字 E.21.2cm 左
118	16	97 SE 1000 97 P 1879			五輪塔火輪	安山岩		(18.2)	12.0	6890	推定長 21.2cm 方 ホゾは円形
		98 P 741	28L14		五輪塔火輪	安山岩					
118	17		30J15					18.3	13.7	6310	ホゾは方形
118	18	97 SE 1550	29K18	<u></u>	五輪塔火輪	安山岩		27.6	8.5	13410	ホゾは方形
118	19	97 SE 1670	27K23·24	5	五輪塔水輪	安山岩		25.6	20.4	14210	「キリーク」種子
118	20	97 SE 553	28M1		五輪塔水輪	安山岩		(23.6)	_	4420	推定幅 26.4cm
118	21	97 SE 2022	29K17·22		五輪塔地輪	安山岩		21.4	21.8	15530	
118	22	97 SE 2022	29K17·22		五輪塔地輪	安山岩		23.6	20.2	25460	上面湾曲
118	23	98 P 665	29G5		五輪塔地輪	安山岩		18.0	15.8	8240	
118	24	97 SE 50	2901		五輪塔地輪	安 山 岩		26.0	20.2	21780	下面凹む
118	25	98 P 1083	33M5	2	砥 石	砂岩	(5.2)	5.5	2.8	160.0	SB13柱穴
118	26	98 P 954	33K19		砥 石	凝灰岩	(10.4)	2.8	2.9	142.0	
118	27	98 SD 899	33M4		砥 石	凝灰岩	(7.6)	3.1	2.7	65.3	
118	28	98 P 1135	29M15		砥 石	凝灰岩	(8.4)	2.6	1.9	73.4	
118	29	97 P 477	29M8		砥 石	凝灰岩	(7.0)	3.4	3.4	123.4	
118	30	97 P 1895	28L3		砥 石	凝灰岩	(10.1)	3.2	2.3	110.5	
118	31	98 SE 257	2919		砥 石	凝灰岩	(6.4)	2.4	2.0	47.2	
118	32	98 SD 279	27H7·12		砥 石	粘板岩	(4.4)	3.8	0.7	19.2	
119	33	97 SE 932	27016.21		砥 石	凝灰岩	(13.9)	2.6	2.5	129.9	
119	34	97 SD 100	26P24		砥 石	凝灰岩	(15.2)	4.2	2.2	193.3	
119	35	98 P 1323	32L21·22		筋砥石	凝灰岩	(18.9)	(10.0)	(5.0)	1200.0	
119	36		33K19	П	筋 砥 石	安山岩	(6.5)	9.7	4.1	271.8	
119	37	97 SD 201			筋砥石	砂岩	(4.8)	6.9	3.8	112.4	
119	38	97 SE 179	27P15		筋砥石	粘板岩	(5.1)	3.3	8.0	18.4	
119	39	97 SE 179	27P15		硯	111 112 11	(5.3)	8.5	1.9	172.5	裏面に幅4~5cmの使用痕
119	40	37 55 173	31G22		硯		(3.5)	3.0	0.5	9.4	建み1cm以下
119	41	97 P 2006	28L24		鉄 涬 付 礫	安山岩	14.5	15.0	10.2	3580.0	在のICMの下
		98 SD 1000	32M1		鉄 涬 付 礫			9.4			
119	42					凝灰岩?	10.6		7.4	480.0	
119	43	98 SD 1000	32M25		鉄 涬 付 礫	凝灰岩?	8.0	7.0	5.5	195.7	
120	44		2806		石鏃	流紋岩	(1.5)	1.2	0.4	1.1	
120	45		33L15	17	石 錐	黒曜石	(2.4)	1.1	1.0	2.7	
120	46		30L9	П	石鏃素材	チャート	3.2	2.9	1.4	8.8	
120	47		34L17		石鏃素材	頁 岩	4.2	3.6	0.9	15.8	
120	48		28K25		石鏃素材	チャート	3.4	2.7	0.8	9.0	
120	49		30N12		石鏃素材	チャート	2.5	2.9	0.8	8.1	
120	50		31M17		石鏃素材	チャート	2.8	2.0	0.6	4.1	
120	51		31014		石鏃素材	チャート	4.8	3.5	0.8	15.7	
120	52		31N6		石鏃素材	チャート	3.7	3.6	1.4	24.1	
120	53		33M15		石 鏃 素 材	チャート	2.5	3.5	1.1	13.7	
120	54	97 SX 760	29P16他		スクレイパー	頁 岩	3.0	2.5	0.9	9.4	
120	55		30G7		調整剥片	頁 岩	2.7	3.0	0.6	4.0	
120	56		31014		スクレイパー	頁 岩	4.0	4.0	1.2	13.6	
120	57		30016		調整剥片	玉 髄	3.9	2.3	0.7	7.9	
120	58		27Q17	Ι	調整剥片	安山岩	8.8	5.8	2.3	109.1	
121	59		31M20		石 核	頁 岩	5.3	5.3	2.5	74.9	
121	60		31G17	П	石 核	安山岩	8.1	9.5	3.8	360.7	
121	61		28F11		打製石斧	安山岩	(7.4)	6.4	2.8	129.5	
121	62	97 P 243	28P4·9		打製石斧	安山岩	(5.0)	5.1	2.4	69.7	
121	63		31N14	Ш	打製石斧	安山岩	(7.7)	4.9	2.0	82.4	
		I.		1			/			1	i .

図版	報	出	土 位 置				沒	<b></b>	t (cm·	g)		
No.	No.	遺構	グリッド	層	種 別	石 材	長	幅	厚	重量	備	考
121	64	98 SD 899	33K21~33M10	71	打製石斧	安山岩	6.9	6.9	3.7	233.3		
121	65	97 SE 2940	26L17·18·22·23		磨製石斧	安山岩	12.0	(4.7)	2.4	177.1		
121	66		33M20	П	磨製石斧	安山岩	(5.9)	6.2	2.3	108.0		
122	67		3401		玉素材(角柱状剥片)	凝灰岩(緑)	4.1	1.5	1.4	9.2		
122	68	97 P 1432	25M21		玉素材(角柱状剥片)	凝灰岩(緑)	4.1	1.3	1.1	7.2		
122	69		32N3	П	玉素材(角柱状剥片)	凝灰岩(緑)	3.0	1.2	1.3	3.5		
122	70		32N19	П	玉素材(柱 状 剥 片)	凝灰岩(緑)	4.3	1.5	1.1	7.1		
122	71		29N21	I	玉素材(柱 状 剥 片)	凝灰岩(赤)	3.7	2.0	1.0	6.4		
122	72		33M20	П	玉素材(盤 状 石 核)	凝灰岩(緑)	3.2	2.1	1.2	9.5		
122	73	98 SE 695	29H14	2	玉素材(盤 状 石 核)	凝灰岩(緑)	3.8	2.8	1.4	16.0		
122	74		31M10	П	玉素材(盤 状 石 核)	凝灰岩(緑)	2.5	2.1	2.1	12.1		
122	75		30K2	П	玉素材?	凝灰岩(赤)	4.6	4.0	2.4	45.7		
122	76	97 SE 1531	30K11·16		玉	滑石	0.37	0.37	0.17	0.1	穴φ 0.13cm	
122	77	98 SD 671	29F22 ~ 30G6		翡翠製品	翡翠	3.8	3.6	2.0	34.9		
122	78		31H25	П	翡翠製品	翡翠	2.0	2.5	1.1	7.8		
122	79		31M13	П	翡翠製品	翡翠	1.9	1.6	1.1	5.6		
123	80	97 SK 1064	24015,25011	2	磨石類(磨痕)	安山岩	13.2	10.1	4.7	997.2		
123	81	97 SK 1154	26Q15·20,27Q11·16		磨石類(磨痕)	安山岩	10.0	9.0	9.0	452.2		
123	82	97 P 565	27019		磨石類(磨痕)	安山岩	10.8	8.0	3.6	422.7		
123	83	98 P 1235	31M14		磨石類(磨痕)	安山岩	(11.1)	6.7	4.8	610.8		
123	84	98 P 741	30J15		磨石類(磨痕)	安山岩	11.9	6.9	5.9	752.4		
123	85	98 SD 1000	32M7		磨石類(磨痕)	安山岩	10.1	6.4	6.3	674.0		
123	86	97 SD 1500	22M10~26M3		磨石類(凹+痕)	安 山 岩	11.7	6.5	4.4	504.6		
123	87	97 SE 50	2001他		磨石類(凹+痕)	安山岩	8.1	8.4	4.0	406.5		
123	88		31N19		磨石類(凹痕)	安 山 岩	10.1	8.7	3.7	365.1		
123	89		33K1		磨石類(凹+痕)	安山岩	10.1	8.8	3.7	472.9		
123	90	97 SD 2	$27M17 \sim 30P14$		磨石類(磨痕)	安 山 岩	10.0	(9.2)	3.6	384.7		
124	91	98 P 1152	33L24		軽石製研磨具	軽 石	8.2	6.2	4.4	41.7		
124	92		33K4		軽石製研磨具	軽 石	7.5	4.3	4.4	29.6		
124	93		33M10		軽石製研磨具	軽 石	5.4	3.9	3.5	11.4		
124	94	97 SD 1500	25M1		石 錘 (2極)	安 山 岩	12.0	8.0	2.0	302.0		
124	95	97 SD 100	26024		石 錘 (2極)	安山岩	10.0	6.9	1.5	248.3		
124	96	97 P 664	24R13	1	石 錘 (2極)	安山岩	8.6	7.1	2.7	227.3		
124	97		30G19	П	石 錘 (2極)	安山岩	8.9	7.6	2.5	212.1		
124	98	97 SD 201	3001		石 錘 (2極)	安山岩	9.0	8.0	3.0	314.7		
124	99	98 P 962	33L6		石 錘 (2極)	安山岩	6.9	5.7	10.4	84.1		
124	100	97 SE 517	29M6		石 錘 (2極)	安山岩	6.0	3.5	1.5	49.2		
124	101		32123	П	石 錘 (2極)	チャート	6.0	4.4	2.2	71.4		
124	102		32G20	I	石 錘 (4極)	安山岩	5.8	4.9	1.5	71.7		
124	103		30M18	П	石 錘 (2極)	輝緑岩	4.0	3.0	1.0	16.8		
124	104	98 SE 813	30L5	4	有頭棒状石錘	安山岩	22.8	8.8	8.4	2100.0		

## 第27表 陶製品・土製品・金属製品観察表

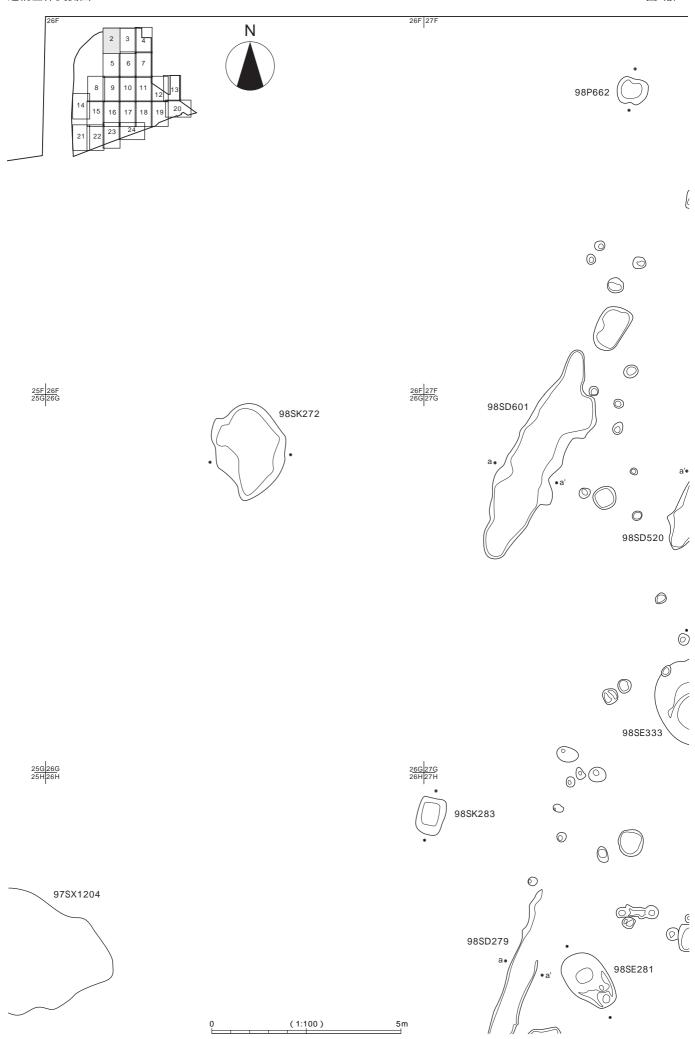
図版	報		125 FM	HH 125	法	量(cr	n)	77. 300	備考
No.	No.	出土位置	種 別	器種	長	幅	厚	色 調	備考
125	1	33K-1 Ⅱ層	陶製品(須恵)	風字硯	(7.7)	(6.5)	1.9 ~ 3.7	外:灰(N6/) 内:明オリーブ灰 (2.5GY7/8)	脚先端に塊付着 中央部明瞭な磨痕
125	2	97SE2630 (27L-2)	陶製品(須恵)	融着品	10.8	9.5	2.5	表:灰黄(2.5Y7/2) 裏:黄灰(2.5Y5/1)	壁厚 1.0 + 1.5cm 97SE2940 ⑧層にも同様遺物
125	3	97SE50 (29O-1)	陶製品(珠洲)	転用砥石	13.8	9.4	1.6	表:灰(N6/) 裏:灰(N5/)	正裏面磨痕 側面2割程の磨痕
125	4	97SE1957 (28K-18 · 23)	陶製品(珠洲)	転用砥石	10.5	9.9	1.5	表:灰(7.5Y6/1) 裏:灰(N5/)	正裏面磨痕 側面磨痕無し
125	5	26M-13 I 層	陶製品(須恵)	メンコ	4.9	5.2	1.4	表:黄灰(2.5Y5/1) 裏:黄灰(2.5Y4/1)	磨痕無し 甕の体部片
125	6	32M-19 Ⅲ層	陶製品(須恵)	メンコ	3.3	2.1	0.9	表:灰(N6/) 裏:灰白(N7/)	磨痕無し 甕の体部片
125	7	34L-21 I 層	陶製品(須恵)	メンコ	2.7	3.1	1.0	表:灰(5Y5/1) 裏:灰白(5Y7/1)	磨痕無し 甕の口縁部片
125	8	33M-25 Ⅱ層	陶製品(須恵)	メンコ	2.4	2.9	1.0	表:灰(7.5Y4/1) 裏:灰白(N7/)	磨痕無し 甕の体部片
125	9	32M-20 Ⅱ層	陶製品(須恵)	メンコ	2.8	2.5	0.7	表:灰(5Y5/1) 裏:灰(N6/)	磨痕無し 甕の体部片
125	10	31I-18 II層	陶製品(須恵)	メンコ	2.3	2.7	1.0	表:灰(N5/) 裏:灰白(N7/)	磨痕無し 甕の体部片
125	11	30G-14	陶 製 品 (須恵)	メンコ	2.6	2.5	0.9	表:灰(N4/) 裏:灰(N6/)	磨痕無し 甕の体部片

図版	報	出土位置	種別	器種	法	,		- 色 調	備考
No. 125	No.	33M-22	陶製品 (須恵)	メンコ	長 2.6	幅 2.5	厚 0.9	表:灰(N5/) 東:灰(N5/)	磨痕無し
125	13	I 層 33L-23 Ⅱ 層	陶製品 (須恵)	メンコ	2.5	1.3	1.3	裏:灰(N6/) 表:灰(N6/) 裏:灰(N6/)	変の体部片 磨痕無し 変の口縁部片
125	14	33M-21 II層	陶製品	メンコ	1.4	1.3	1.2	表:灰白(N7/)	磨痕無し 変の体部片
125	15	97SD100 (26Q-14)	(須恵) 陶製品 (珠洲)	メンコ	3.5	4.0	1.6	裏:灰(N5/) 表:灰(N5/) 裏:灰(N5/)	磨痕無し 甕の体部片
125	16	29P-19	陶製品	メンコ	3.9	3.5	1.2	表:灰(N4/)	磨痕無し
125	17	I層 97P1337	(珠洲) 陶製品	メンコ	3.1	3.5	1	裏:灰(N5/) 表:灰(7.5Y6/1) 裏:灰(7.5Y6/1)	変の体部片 磨痕無し 変の体部片
125	18	(26P-2) 30M-3 II層	(珠洲) 陶製品 (珠洲)	メンコ	3.2	3.2	1	裏:灰(7.5Y6/1) 表:黒褐(10YR3/2) 裏:灰白(5Y7/1)	<ul><li>甕の体部片</li><li>磨痕無し</li><li>甕の体部片</li></ul>
125	19	30N-15 II層	陶製品(珠洲)	メンコ	2.5	3.4	1.3	表:灰白(N7/) 表:灰白(N7/) 裏:灰白(N7/)	磨痕無し 甕の体部片
125	20	31O-3 II層	陶製品(珠洲)	メンコ	2.5	3.1	1.3	表:灰白(N7/) 表:灰(N6/) 裏:灰白(N7/)	側面磨痕? 甕の体部片
125	21	23S-9 I 層	陶製品(珠洲)	メンコ	2.9	2.5	1	表:灰(N5/) 裏:灰(N6/)	磨痕無し 甕の体部片
125	22	32O-3 II層	陶製品(珠洲)	メンコ	2.5	2.8	1.2	表:灰(N4/) 裏:灰(N6/)	磨痕無し 甕の体部片
125	23	33L-12 II層	陶製品(珠洲)	メンコ	2.7	2.8	0.7	表:灰(N6/) 表:灰(N5/)	磨痕無し 小壺底(須恵杯底?)
126	24	31N-19 II層	土製品	羽 口	(4.5)	6.8	6.9	外:灰(7.5Y6/1)	器厚 2.1cm スラグ付着
126	25	32O-11 II層	土製品	羽 口	(5.5)	(6.2)	(3.4)	外:灰白(10Y7/1)	器厚 2.0cm スラグ付着
126	26	32N-21 II層	土製品	管状土錘	6.8	3.6	(2.2)	外:灰白(7.5YR8/2)	器厚 1.5cm 貫通孔 φ 1.2cm
126	27	30G-14	土製品	管状土錘	5.2	3.4	3.4	外:にぶい橙 (5YR7/4)	器厚 1.3cm 貫通孔 φ 1.2cm
126	28	34M-3 Ⅱ層	土製品	管状土錘	4.8	3.9	4.1	外:淡橙(5YR8/4)	器厚 1.4cm 貫通孔 $\phi$ 1.6cm
126	29	33N-10 · 15 Ⅲ層	土製品	管状土錘	4.2	3.8	(2.0)	外:淡橙(5YR8/4)	器厚 1.5cm 貫通孔 $\phi$ 1.6cm
126	30	98SK1185 (30M-19)	土製品	球状土錘	4	3.8	3.9	外:淡橙(5YR7/8)~ 黒(2.5GY2/1)	器厚 1.2 ~ 1.4cm 貫通孔 φ 1.1cm
126	31	98SK1185 (30M-19)	土製品	球状土錘	3.7	3.8	3.8	外:淡橙(5YR7/8)~ 黒(2.5GY2/1)	器厚 1.2~1.4cm 貫通孔 φ 1.1cm
126	32	30M-16	土製品	球状土錘	3.8	3.8	(3.6)	外:淡橙(5YR7/8)~ 黒(2.5GY2/1)	器厚 1.1 ~ 1.8cm 貫通孔 φ 0.9cm
126	33	26P-10 I 層	土製品	装飾品?	3.7	3.7	1.9	外:にぶい黄橙 (10YR7/4)	両面穿孔の貫通孔 正面 φ 0.7cm、裏面 φ 1.2cm
126	34	98SE1124 (33O-5)	金属製品 (鉄)	刀 子	(5.7)	1.1	0.4	外:にぶい赤褐 (2.5YR4/4)	刀身現存長 3.6cm 2回目掘下げ時出土
126	35	98SD601 (27G-6)	金属製品 (鉄)	刀 子	(6.2)	1.7	0.5	外:橙(5YR6/6)	刀身現存長 4.3cm 木質部付着
126	36	98P1112 (33M-9)	金属製品 (鉄)	釘	(2.6)	2.5	2.0	外:明赤褐(5YR5/6)	SB13柱穴
126	37	98SE764 (33L-7 · 12)	金属製品 (鉄)	鍋耳?	(4.0)	(2.8)	0.8	外:暗赤褐(5YR3/3)	半円形状。円孔2ヶ所幅2mm、断面V字状の切込み
126	38	98SE763 (30J-18 · 23)	金属製品 (銅)	装飾留具	3.4	1.0	1.0	外:黄橙(7.5YR7/8)	打ち込み留具品 舌部長 0.8cm
126	39 a	98SK488 (28F-21)	金属製品 (銅)	銭 貨 (元祐通寶)	2.45	2.46	0.13		行書体 初鋳 1086 年
126	39 b	98SK488 (28F-21)	金属製品 (銅)	銭 貨 (熈寧元寶)	2.4	2.43	0.11		真書 初鋳 1068 年
126	39 c	98SK488 (28F-21)	金属製品 (銅)	銭 貨 (天聖元寶)	2.49	2.48	0.12		真書 初鋳 1023 年
126	39 d	98SK488 (28F-21)	金属製品 (銅)	銭 貨 (永楽通寶)	2.5	2.51	0.12		初鋳1408年
126	39 e	98SK488 (28F-21)	金属製品 (銅)	銭 貨 (永楽通寶)	2.47	2.47	0.13		初鋳 1408年
126	39 f	98SK488 (28F-21)	金属製品 (銅)	銭 貨 (紹聖元寶)	2.37	2.37	0.13		行書体 初鋳 1094 年
126	40	98SE1226 (27G-25)	金属製品 (銅)	銭 貨 (開元通寶)	2.47	2.46	0.09		「背上月」 初鋳 621 年
126	41	97SE422 (28P-25)	金属製品 (銅)	銭 貨 (景祐元寶)	2.43	2.45	0.12		篆書体 初鋳 1034 年
126	42	33N-13 Ⅱ層	金属製品 (鉄)	鍛冶滓(椀形滓)	13.7	8.9	4.6	外:暗オリーブ灰 (2.5GY4/1)	重量 675.7g 滓厚 2.0cm
126	43	33L-25 I 層	金属製品 (鉄)	鍛冶滓(椀形滓)	6.4	7.6	2.4	外:暗オリーブ灰 (2.5GY4/1)	重量 130.6g 滓厚 2.0cm
126	44	98SD1000 (32M20 ウ)	金属製品 (鉄)	鍛冶滓(炉壁?)	7.8	6.2	5.7	外:緑灰(7.5GY5/1) 鉄:黄橙(7.5YR7/8)	重量 356.4g 帯状に砂鉄付着

## 図 版

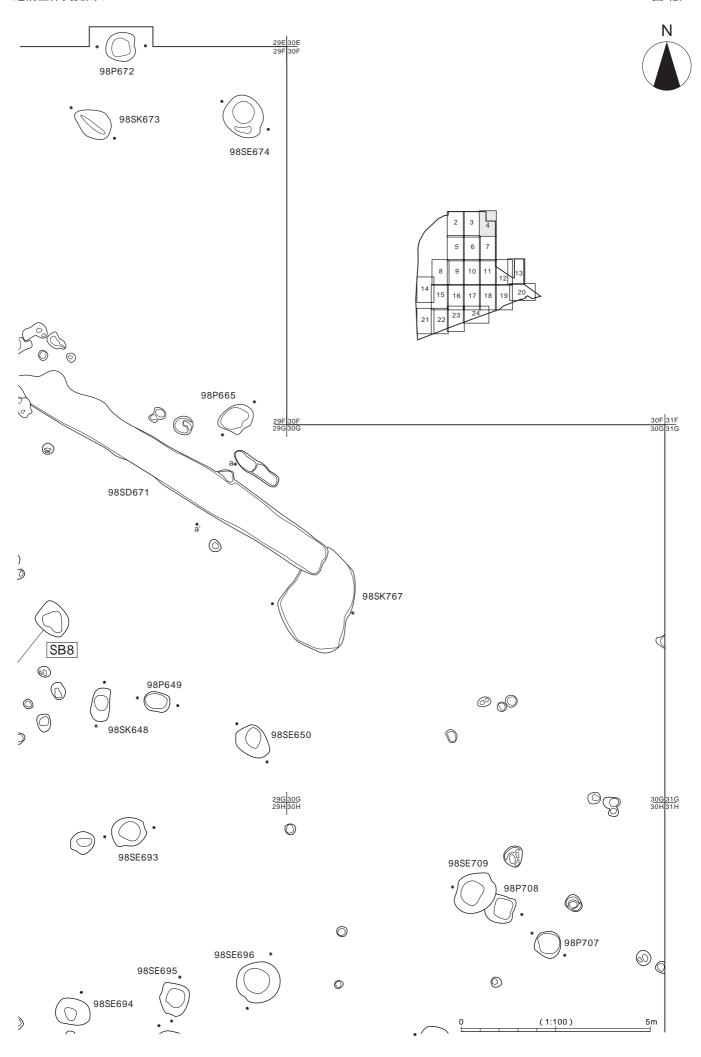


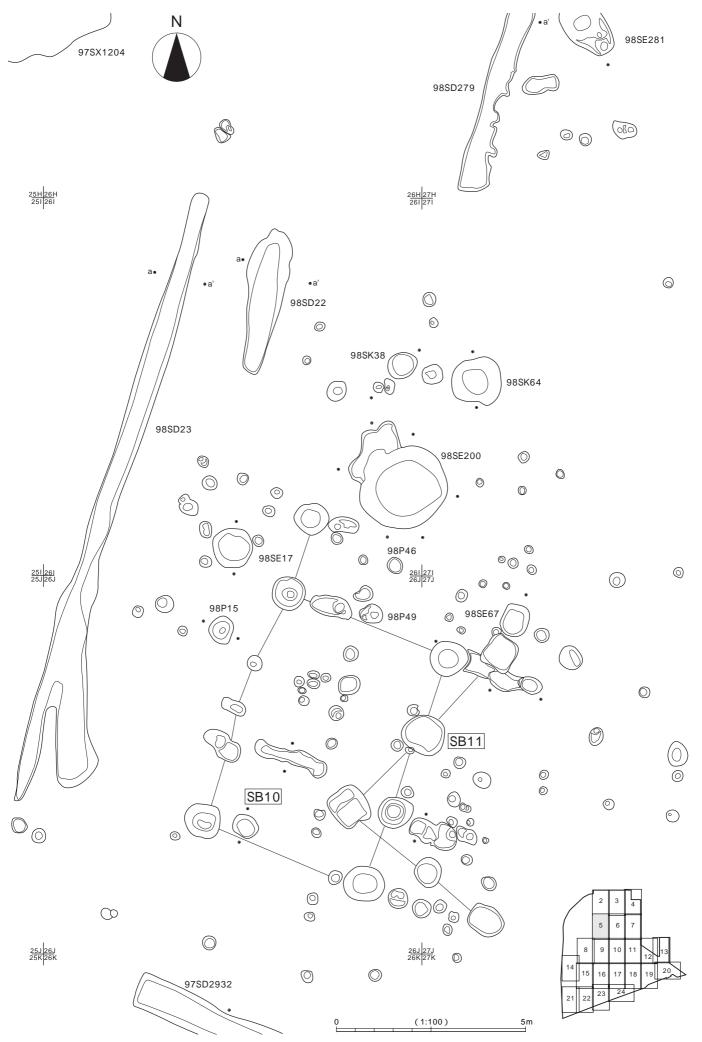
遺構全体実測図1 図 版 2

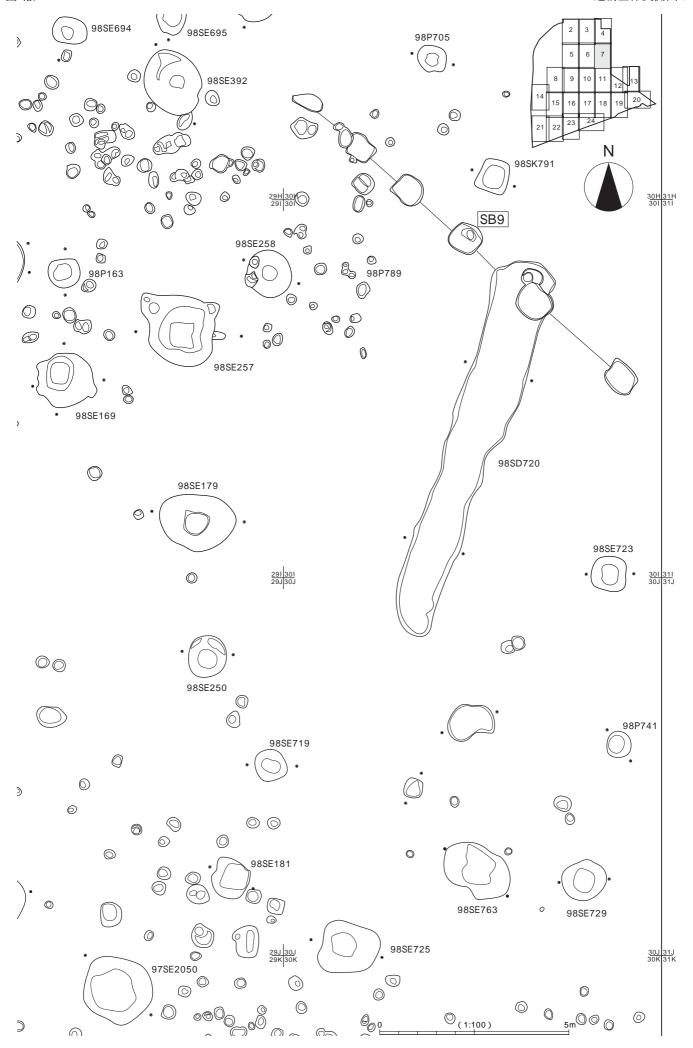


図版3 遺構全体実測図2

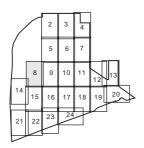


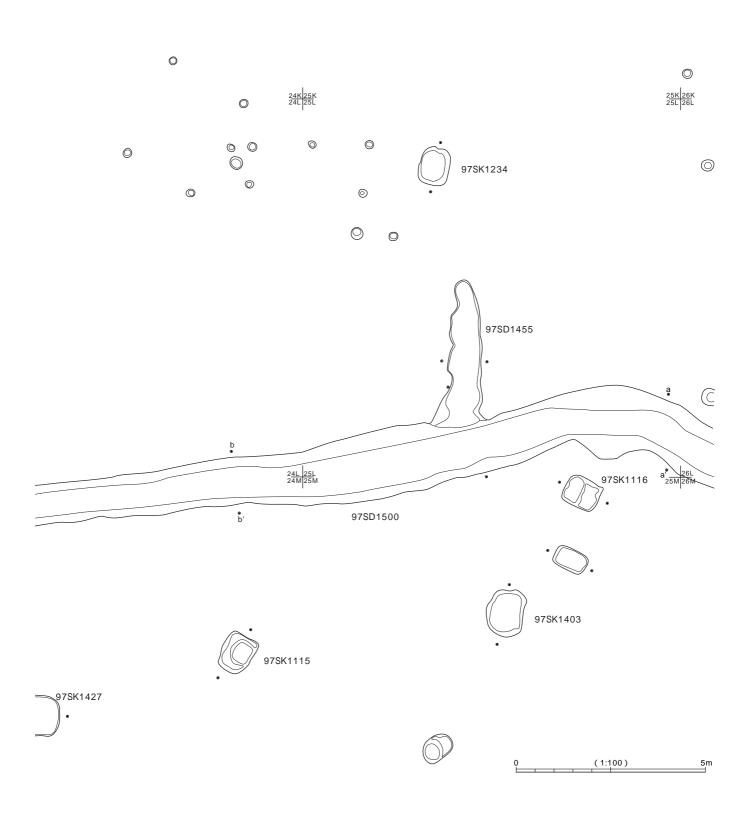


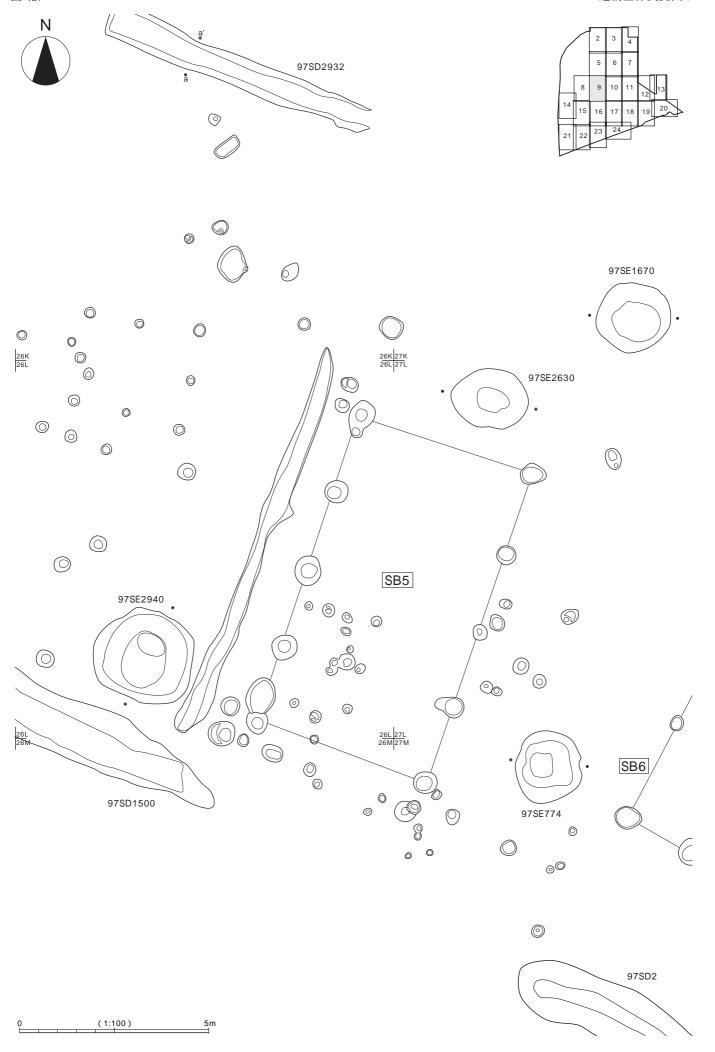


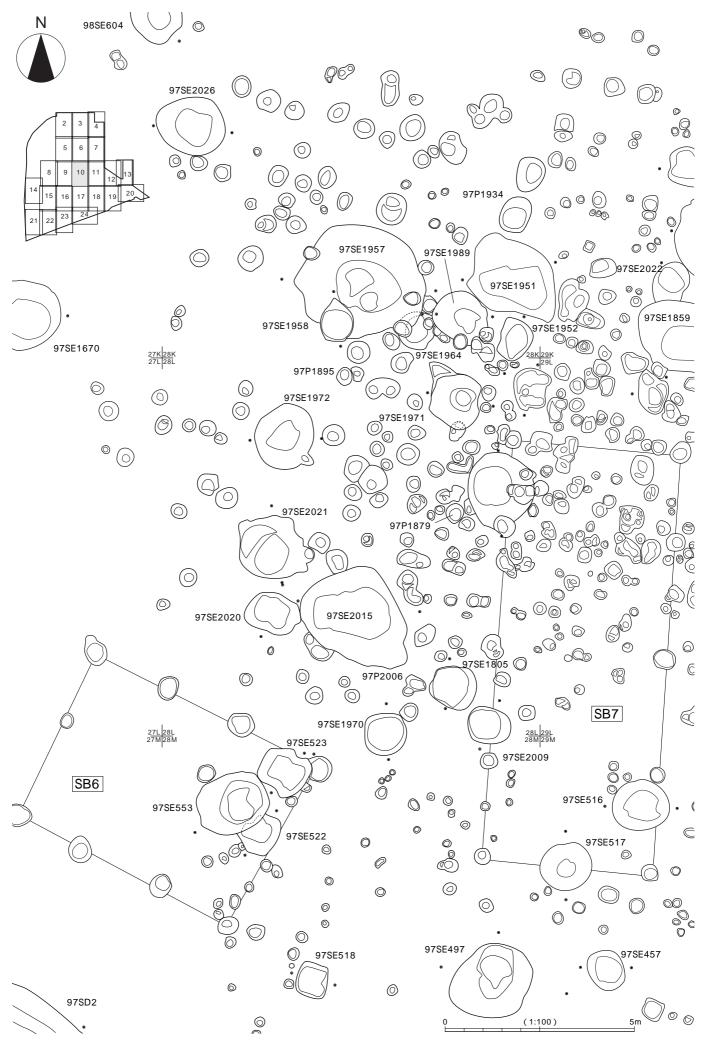












5m

(1:100)

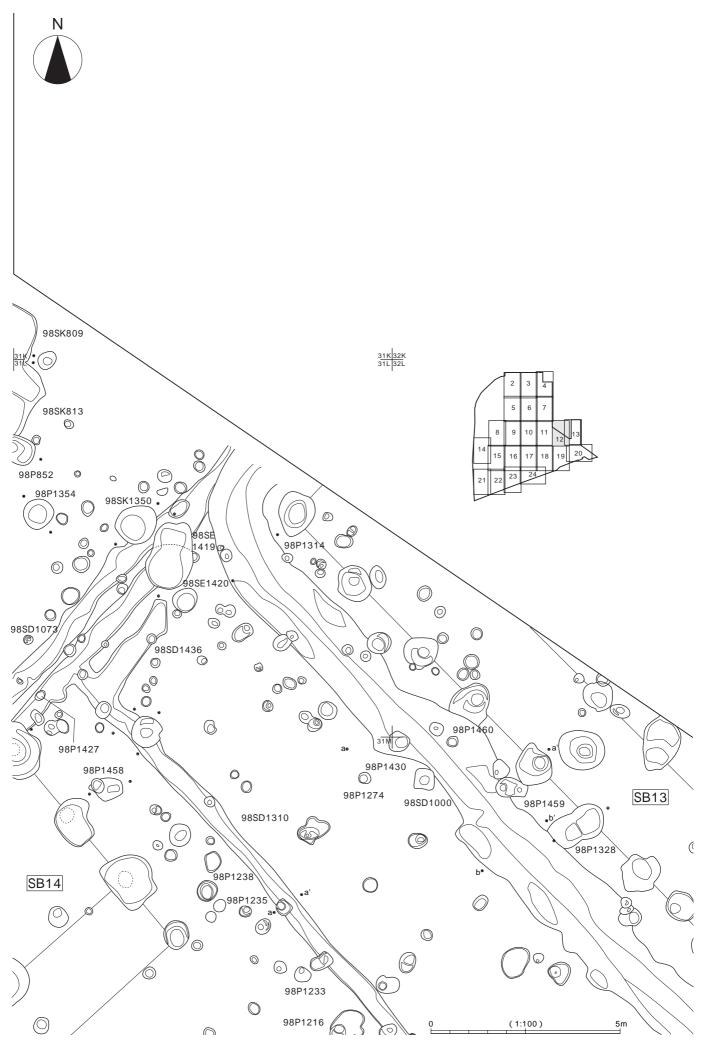
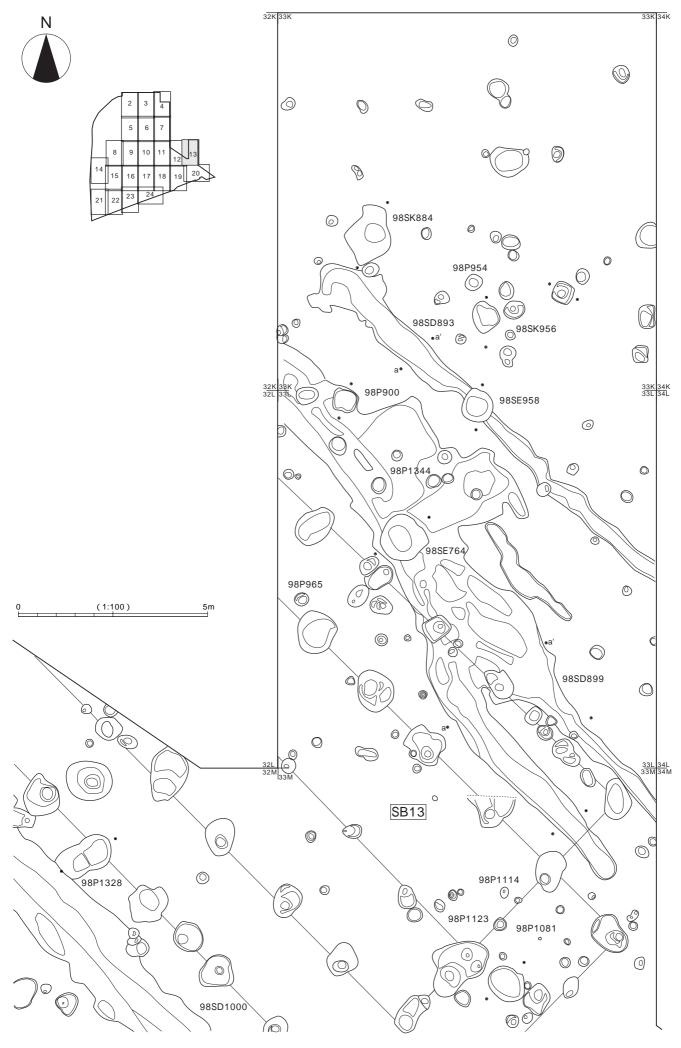


図 版 13 遺構全体実測図 12



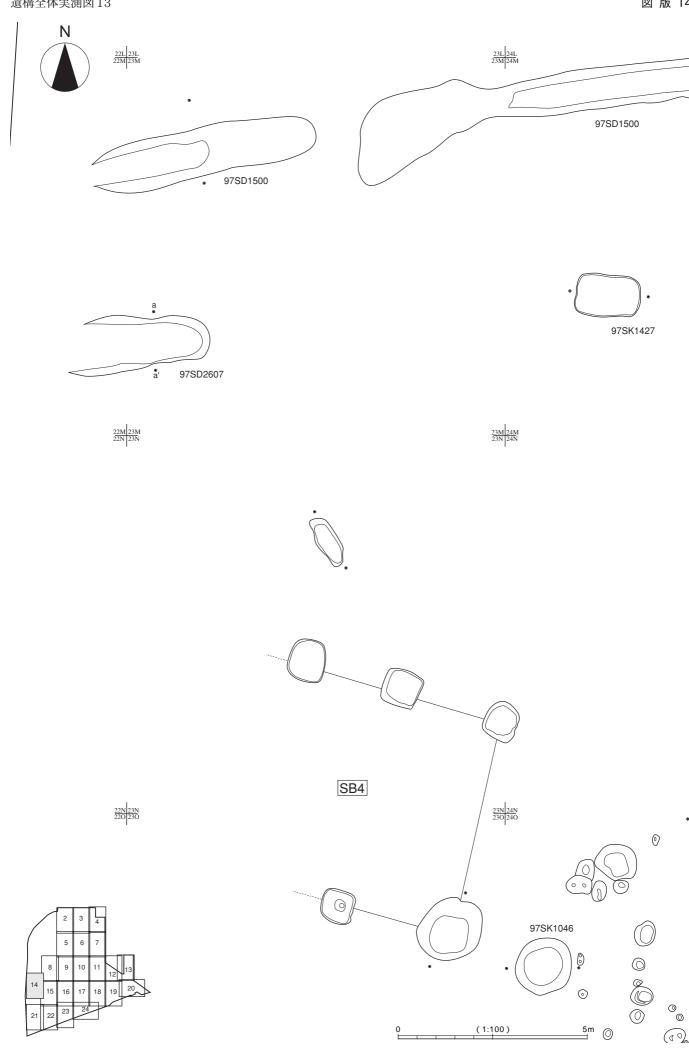
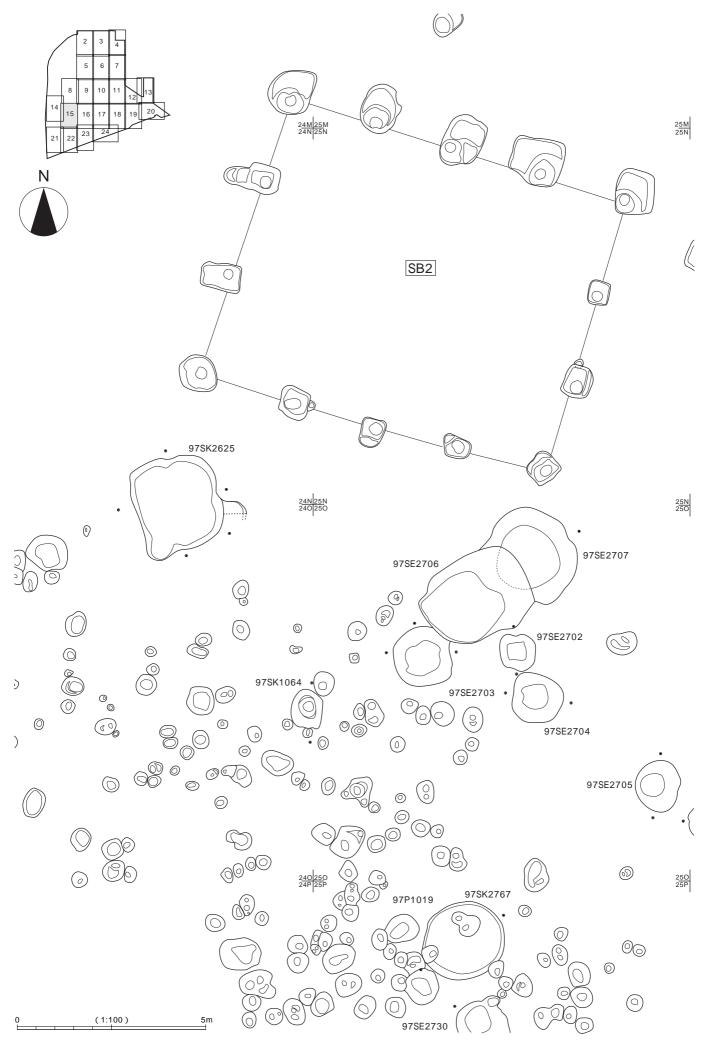
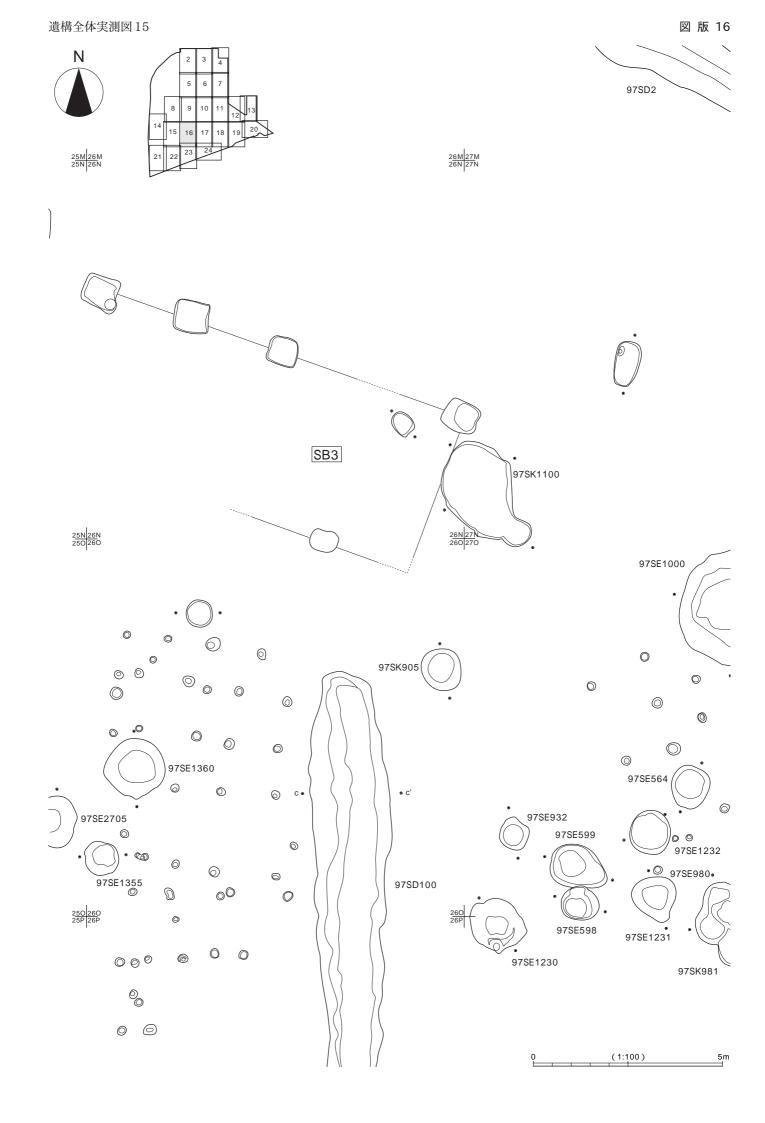
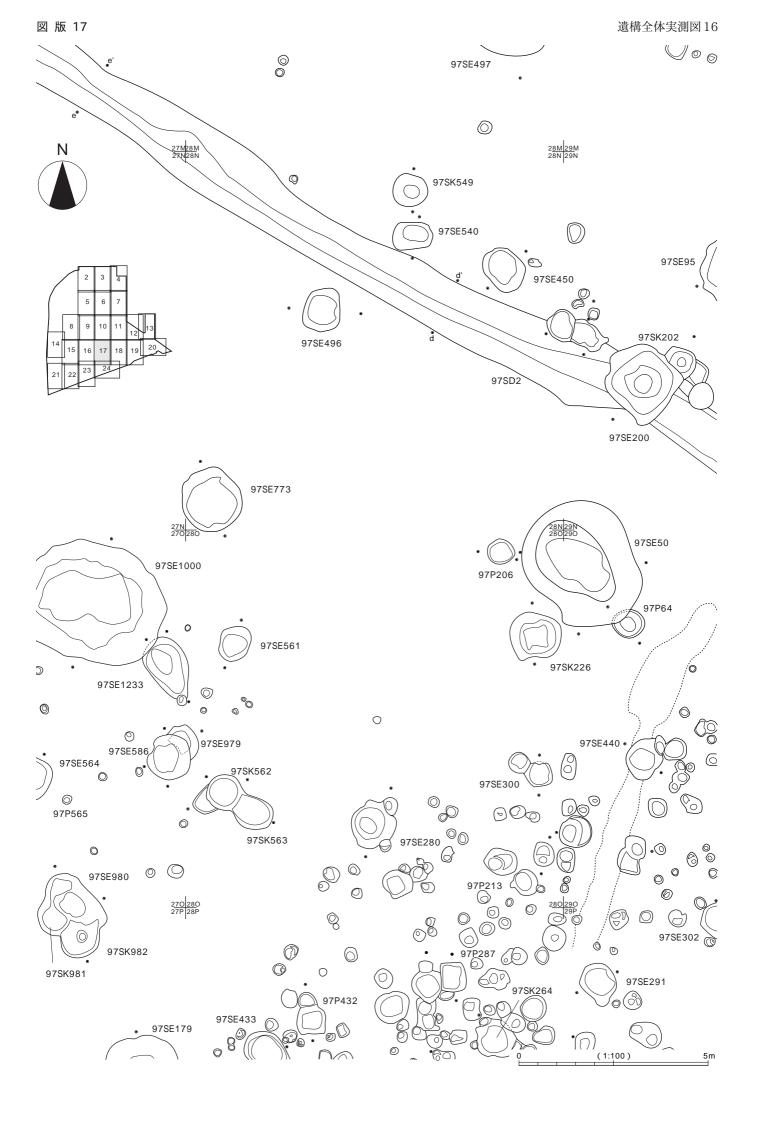


図 版 15 遺構全体実測図 14







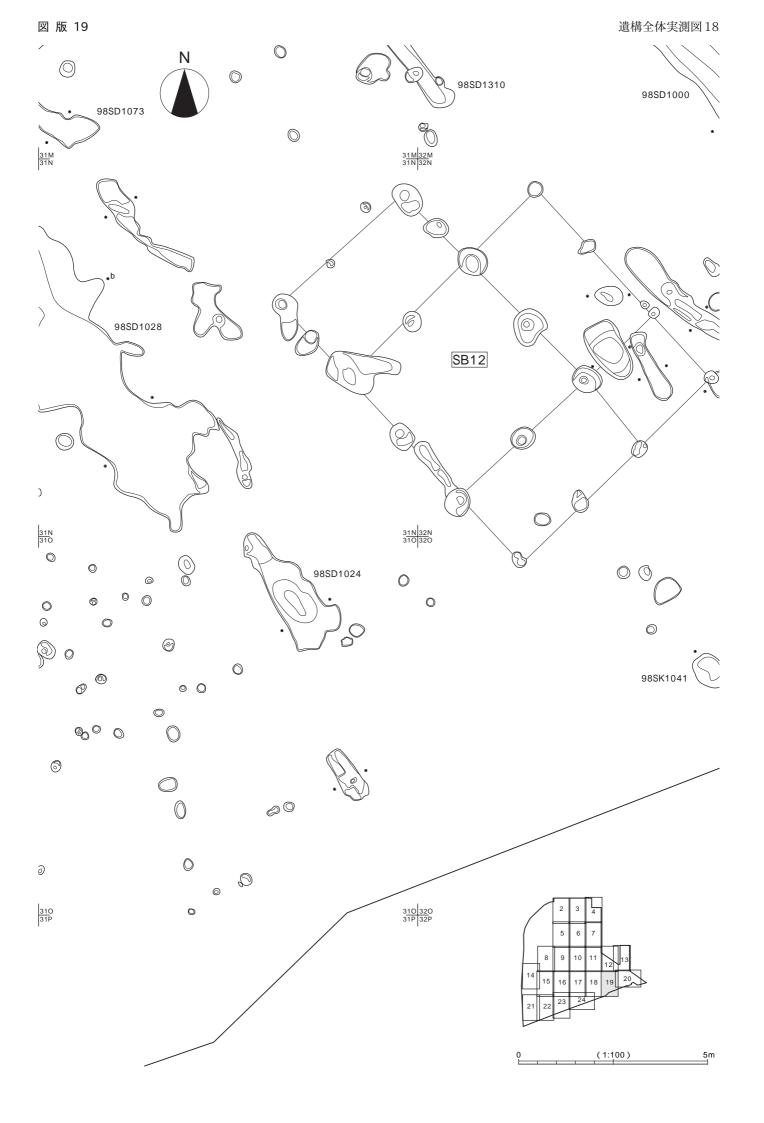
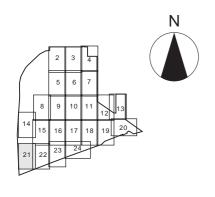


図 版 21 遺構全体実測図 20



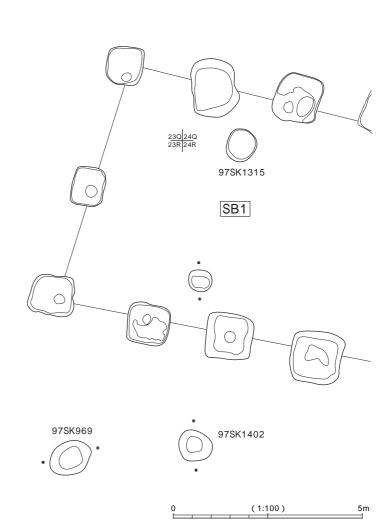


2<u>2P 23P</u> 22Q 23Q 2<u>3P 24P</u> 23Q 24Q



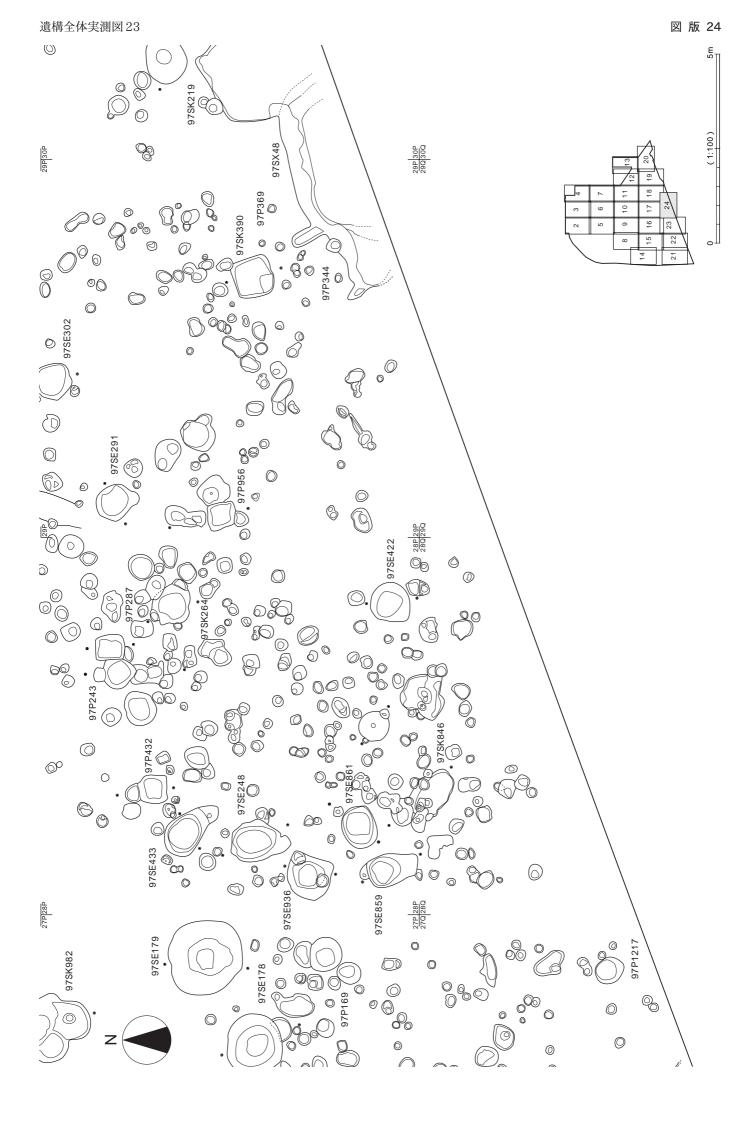


22Q 23Q 22R 23R

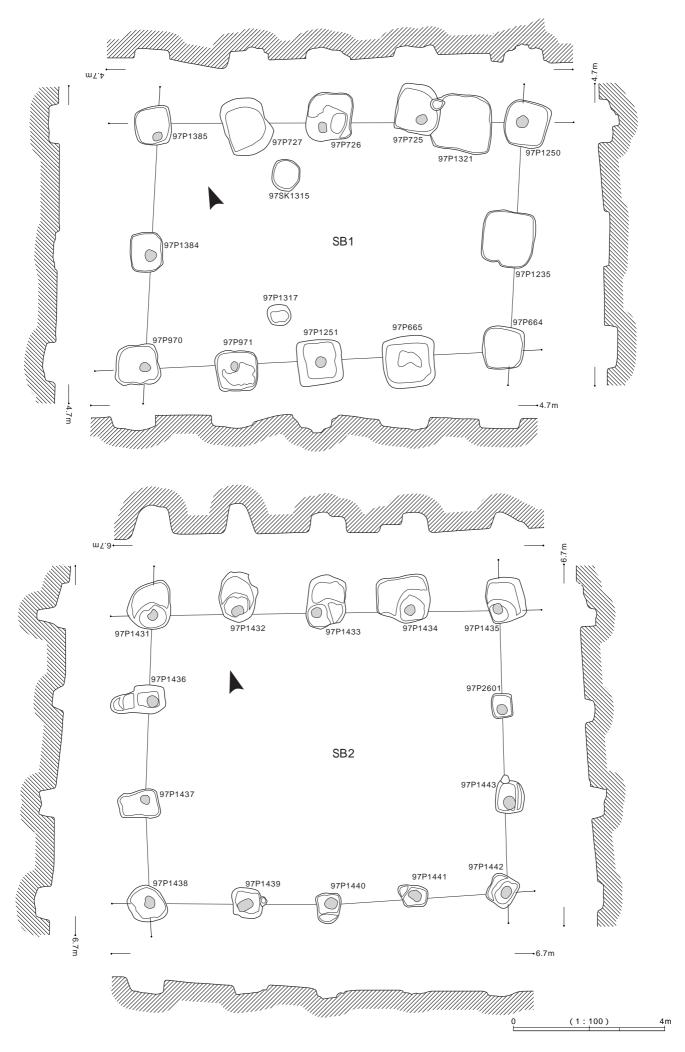


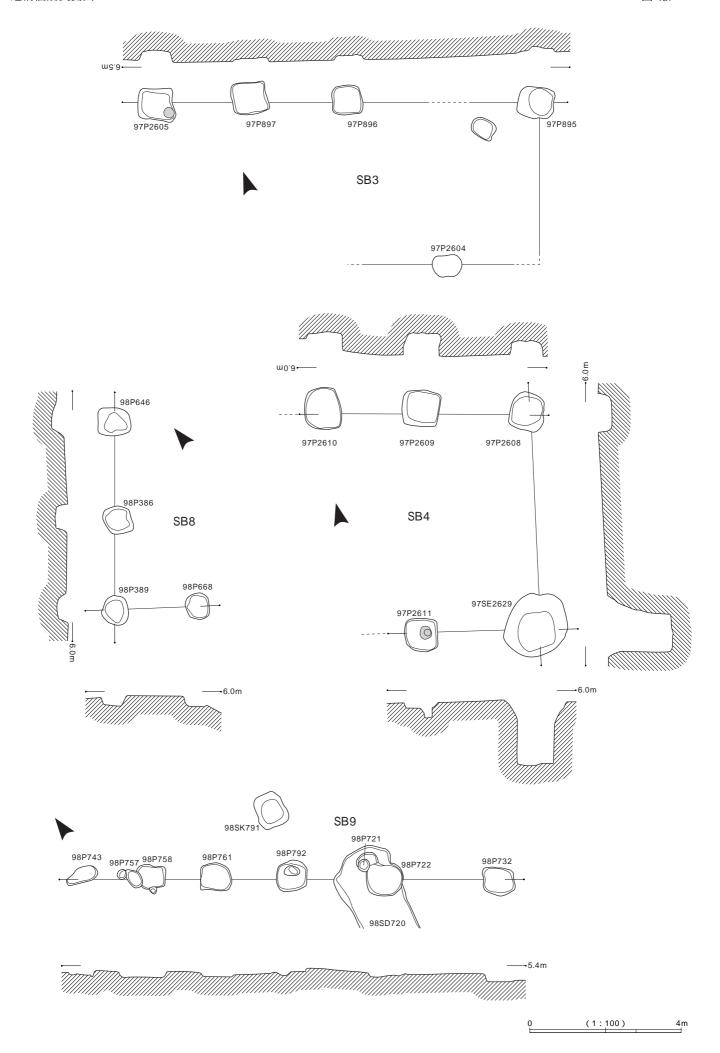
(1:100)

5m

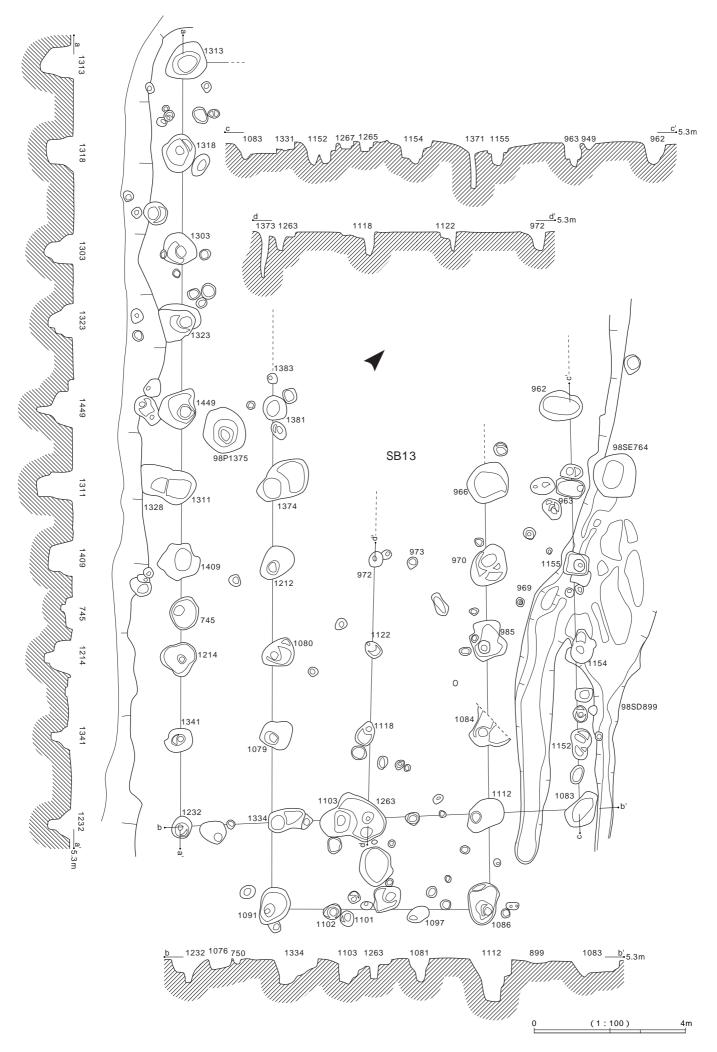


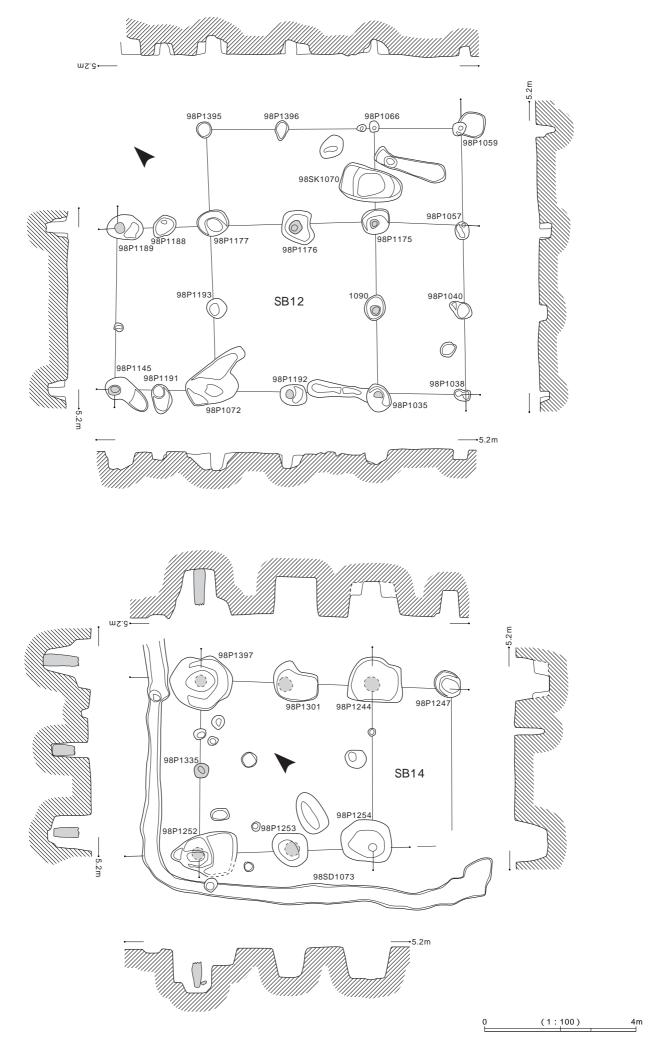
図版 25 遺構個別実測図1



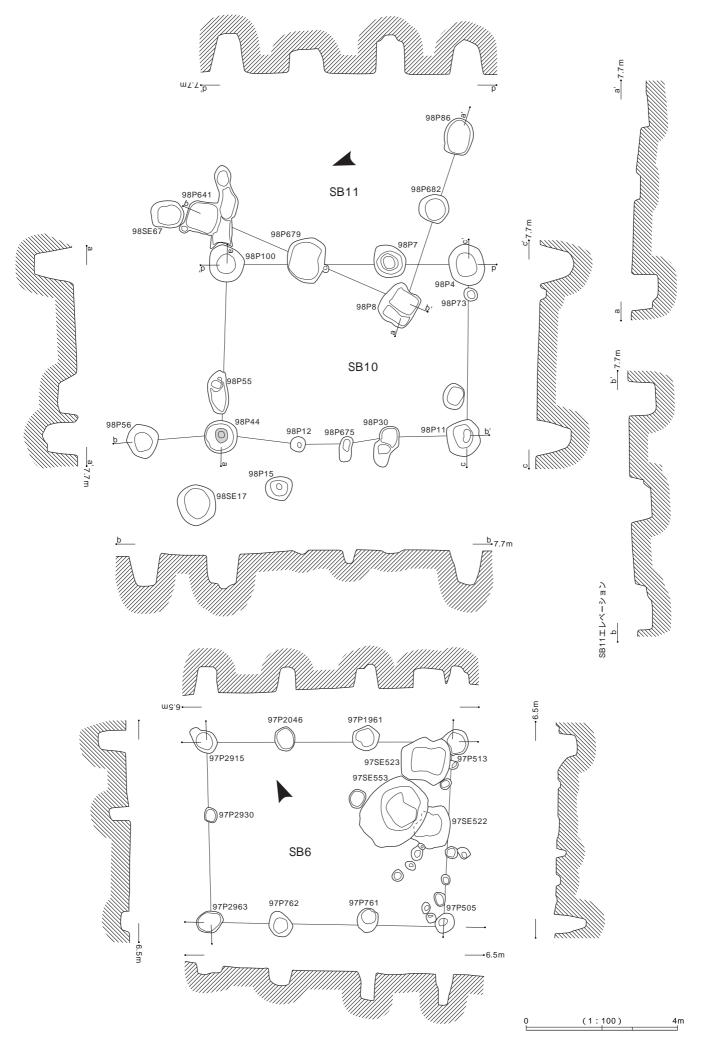


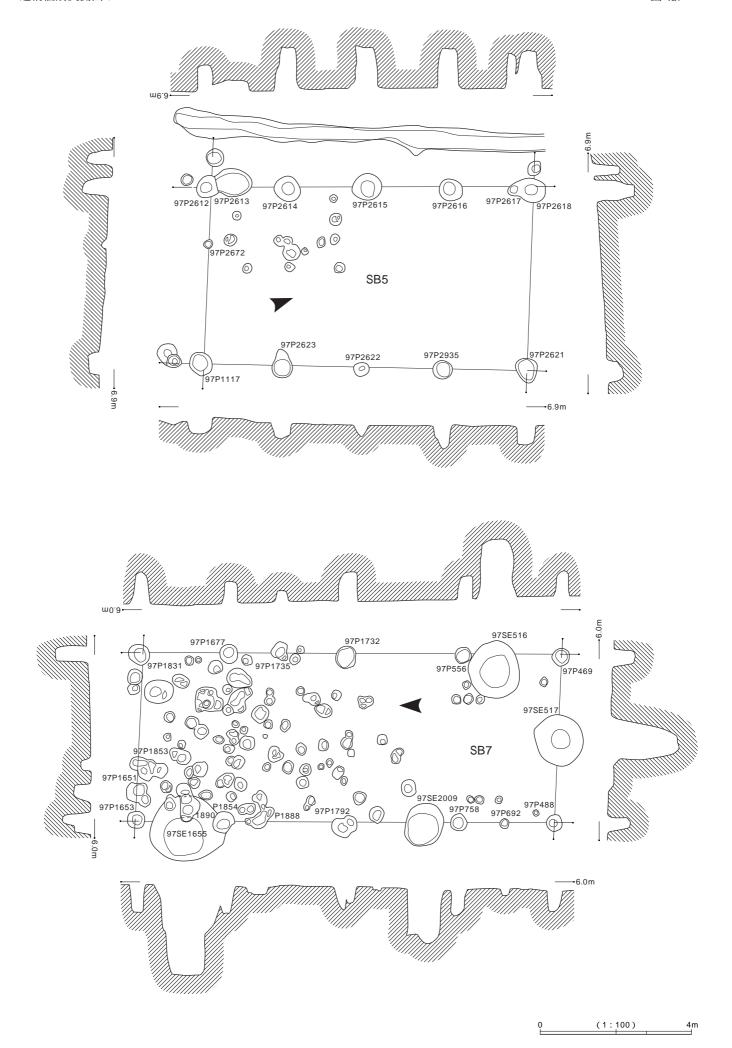
図版 27 遺構個別実測図3



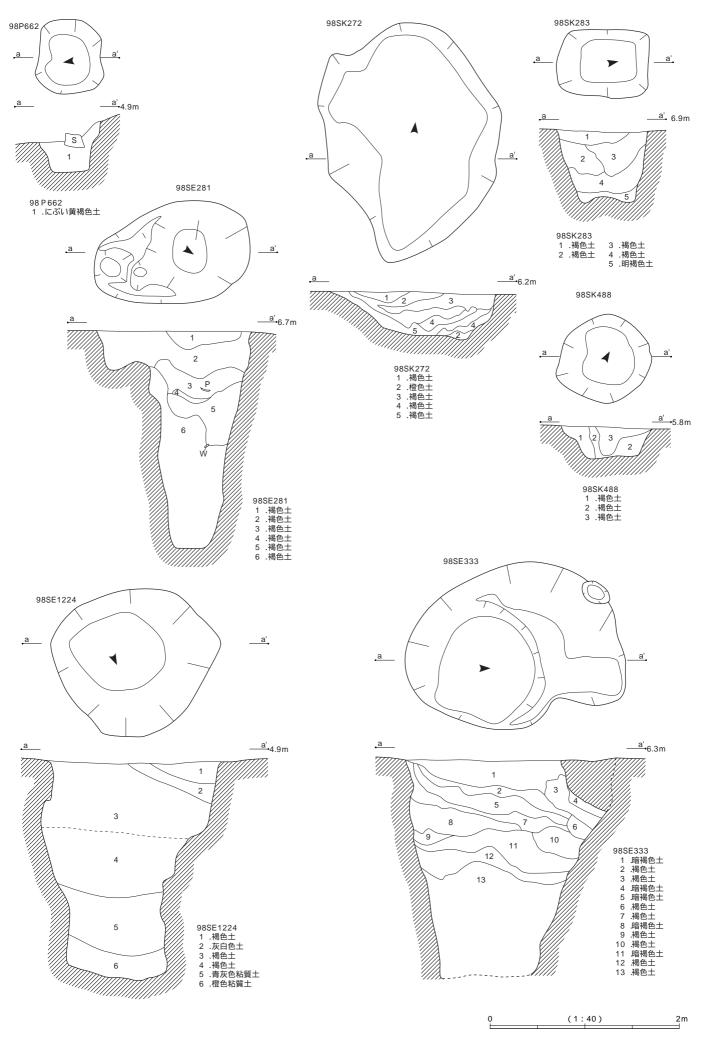


図版29 遺構個別実測図5

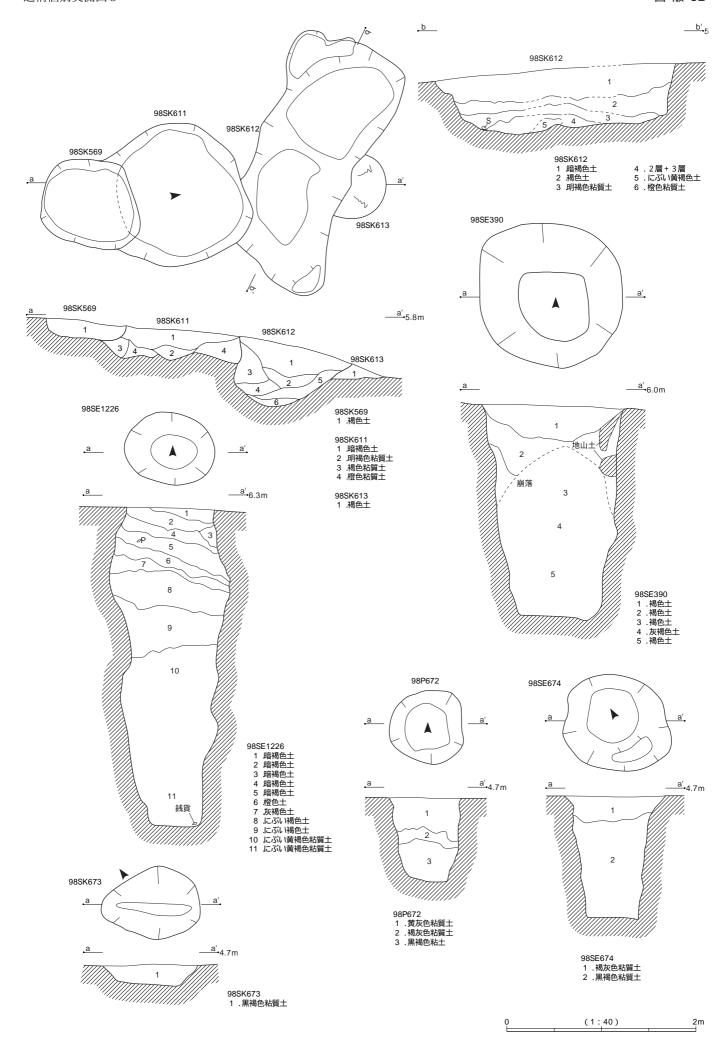




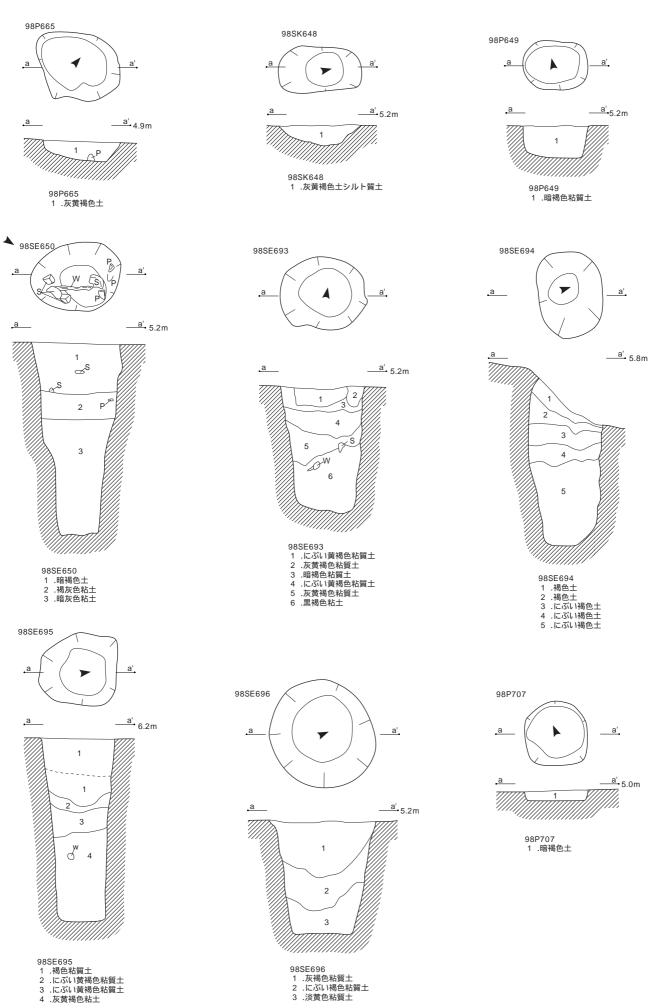
図版31 遺構個別実測図7



遺構個別実測図8



図版33 遺構個別実測図9



0 (1:40) 2m

遺構個別実測図10 図版34

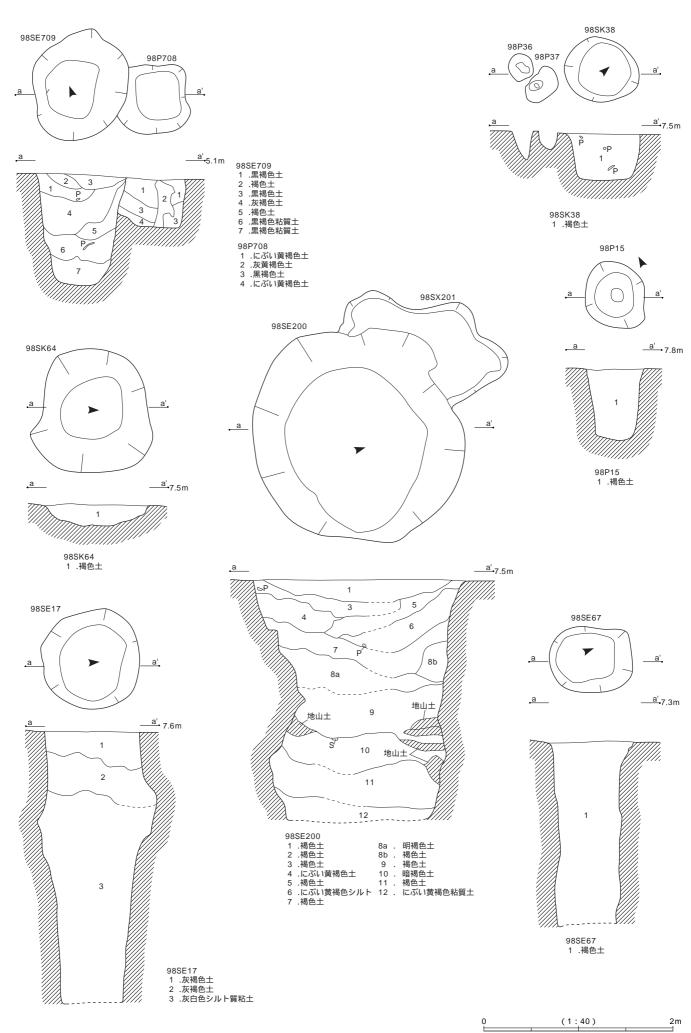
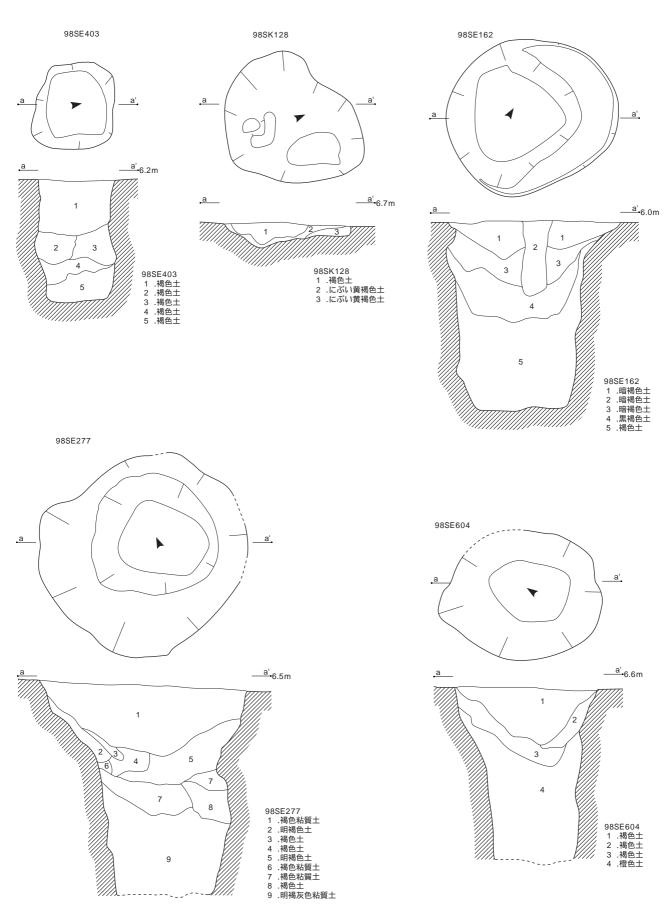


図 版 35 遺構個別実測図 11



遺構個別実測図12 図版36

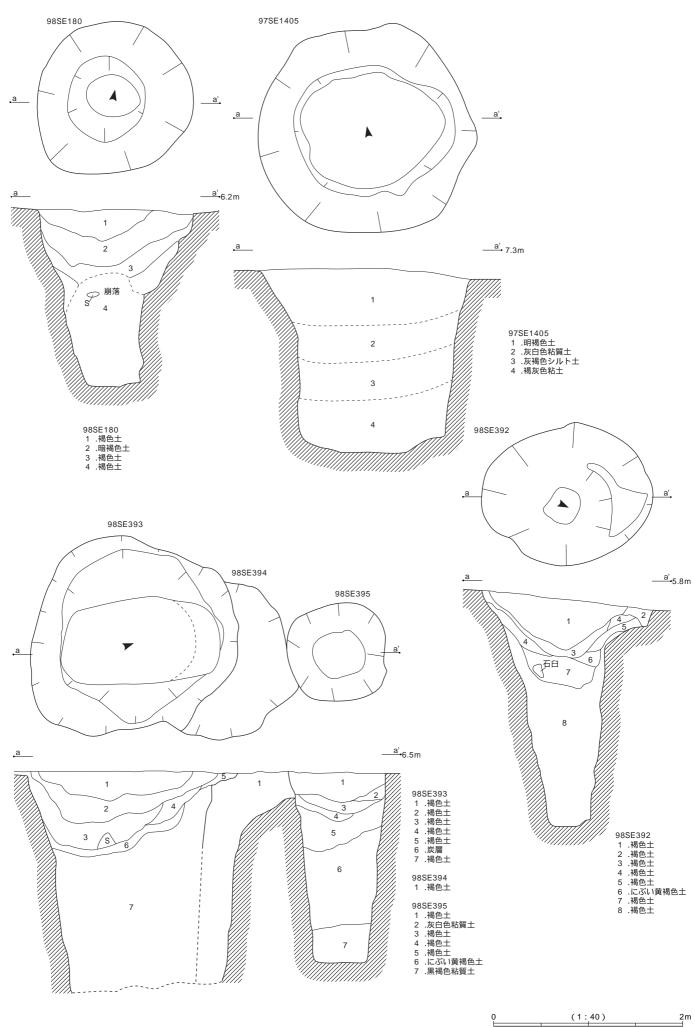
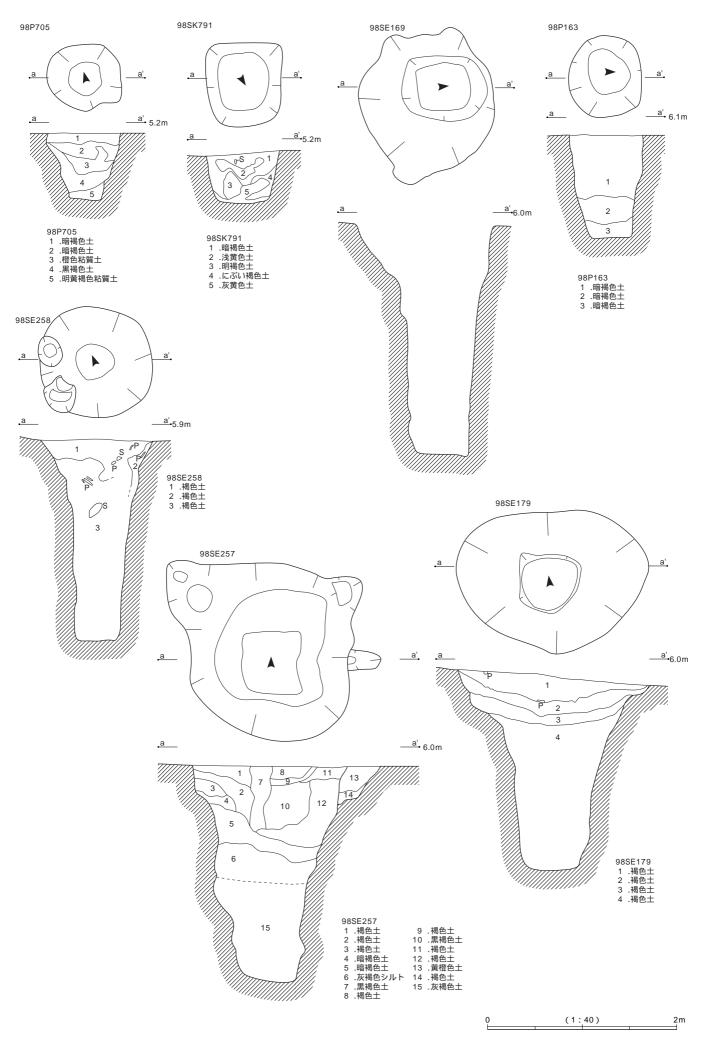


図 版 37 遺構個別実測図 13



遺構個別実測図 14 図 版 38

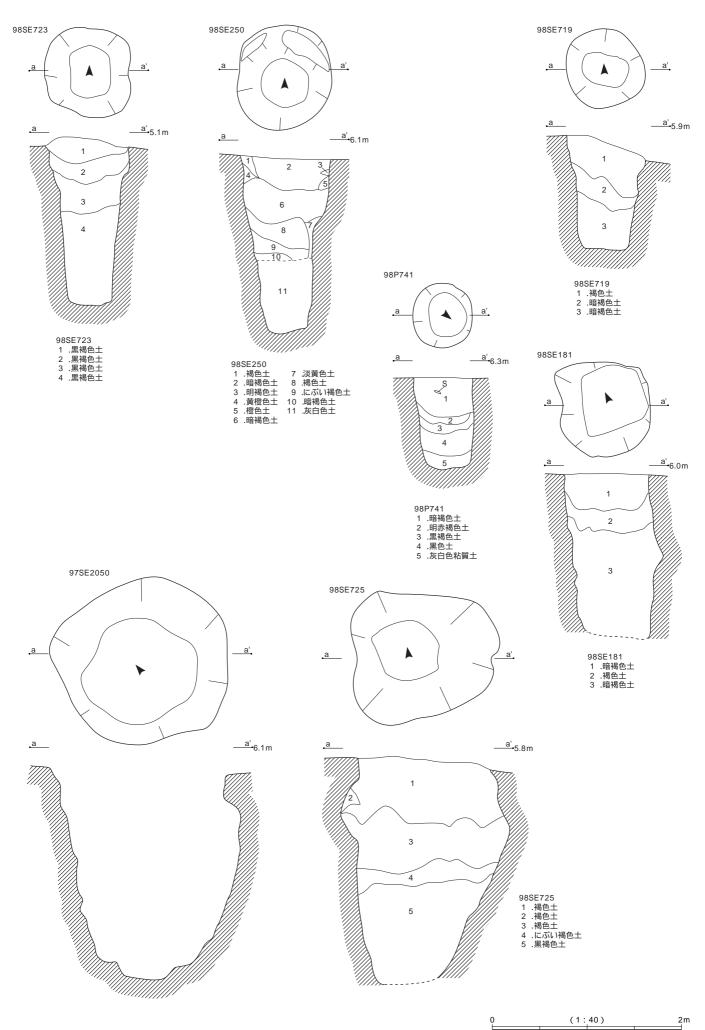
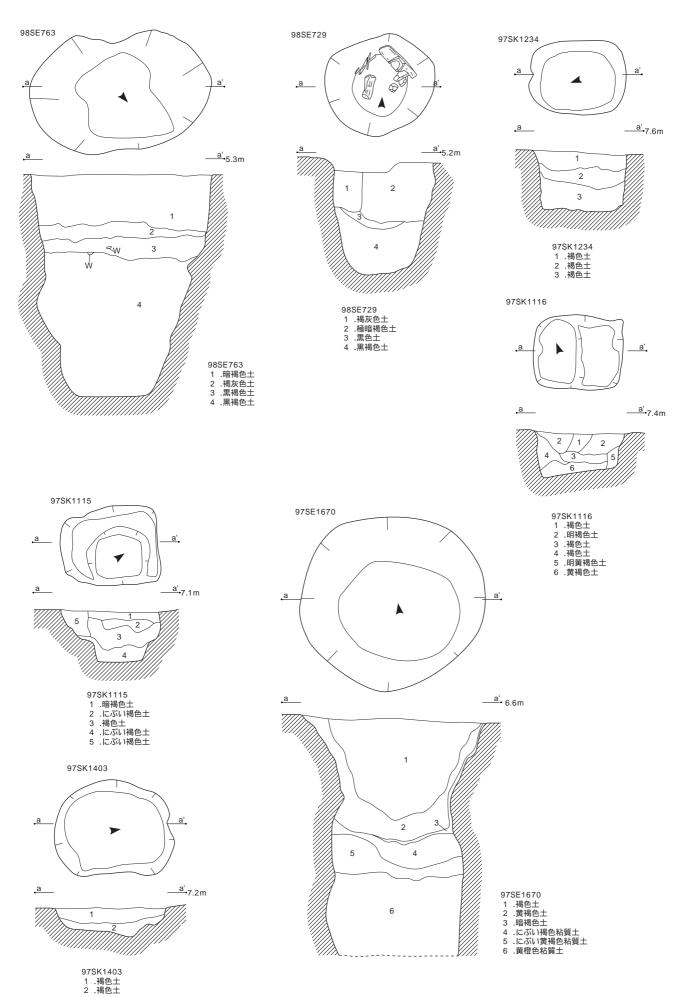
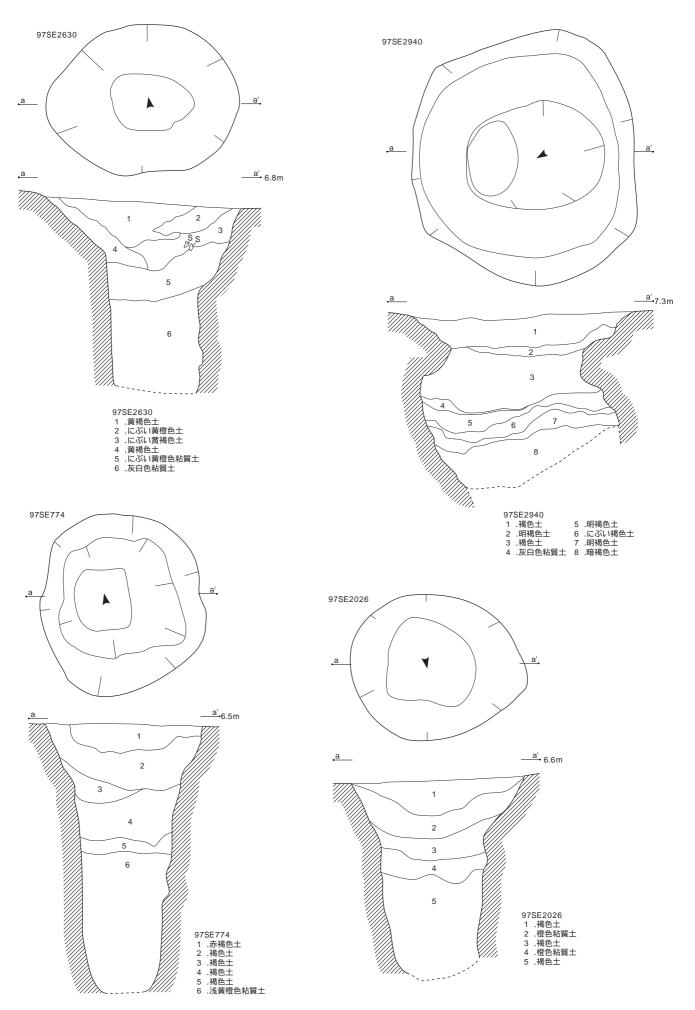


図 版 39 遺構個別実測図 15



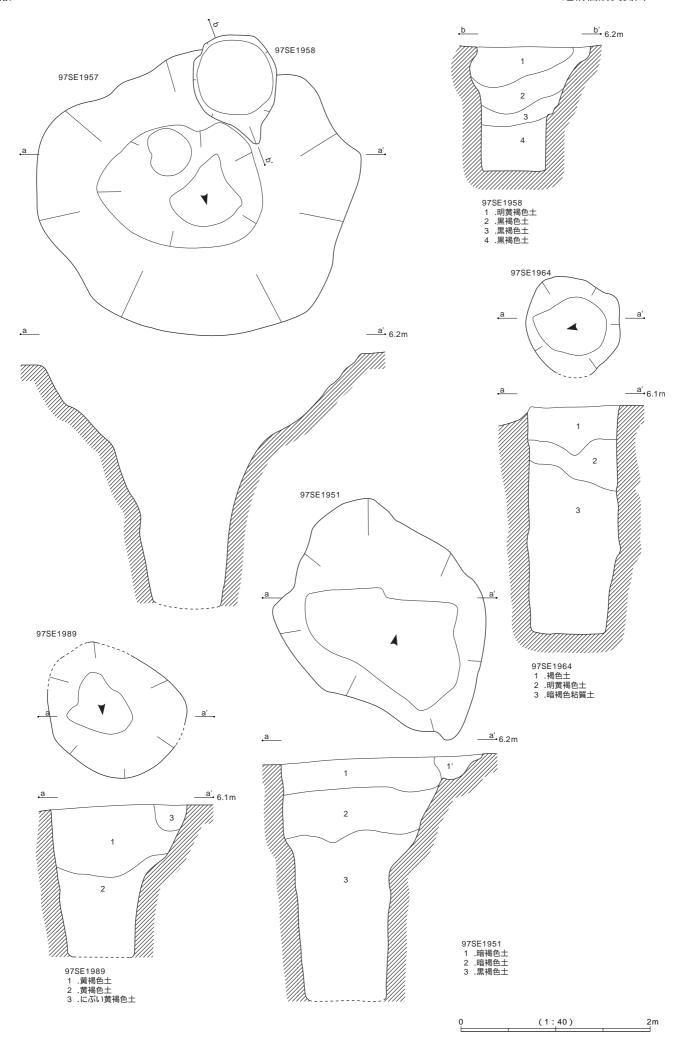
0 (1:40) 2m

遺構個別実測図 16 図 版 40



(1:40)

2m ⊒ 図 版 41 遺構個別実測図 17



遺構個別実測図18

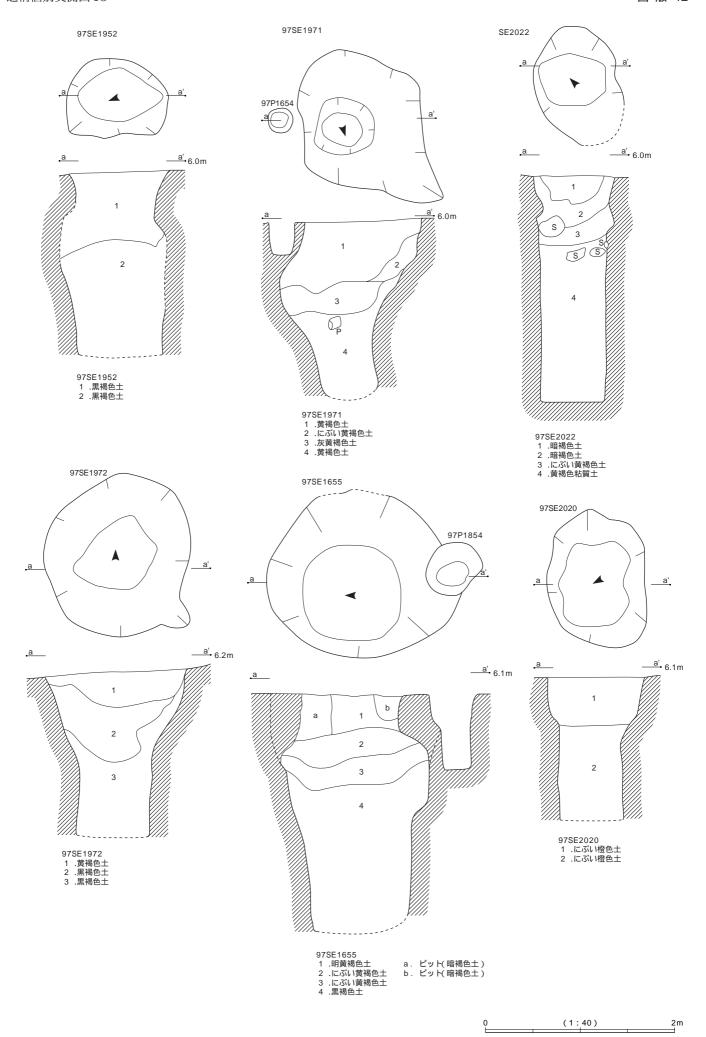
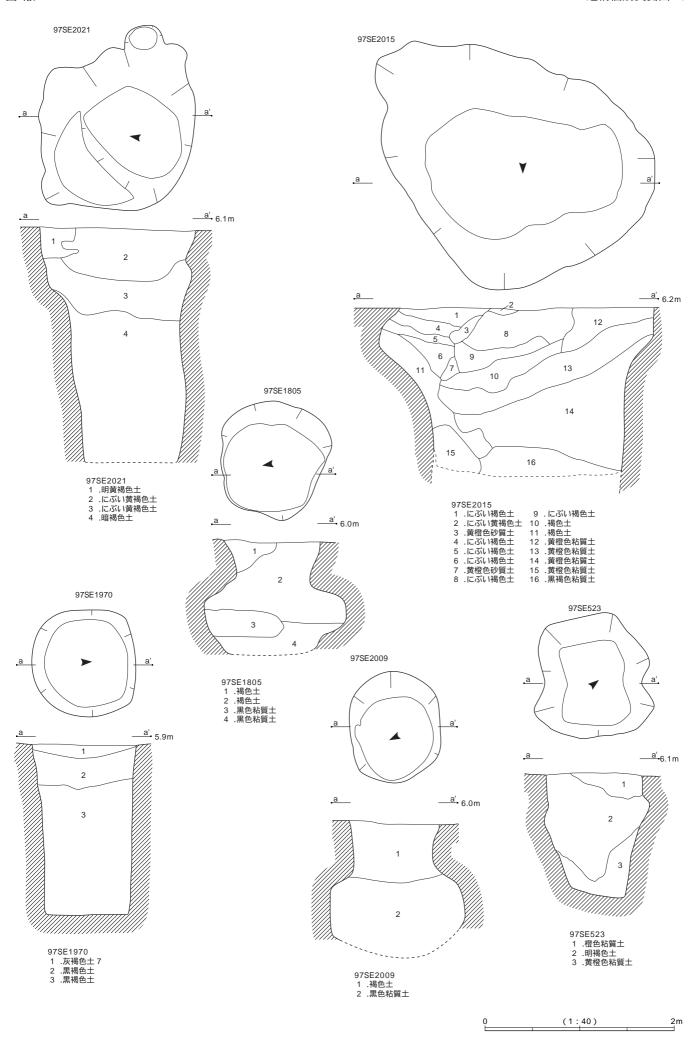


図 版 43 遺構個別実測図 19



遺構個別実測図 20 図 版 44

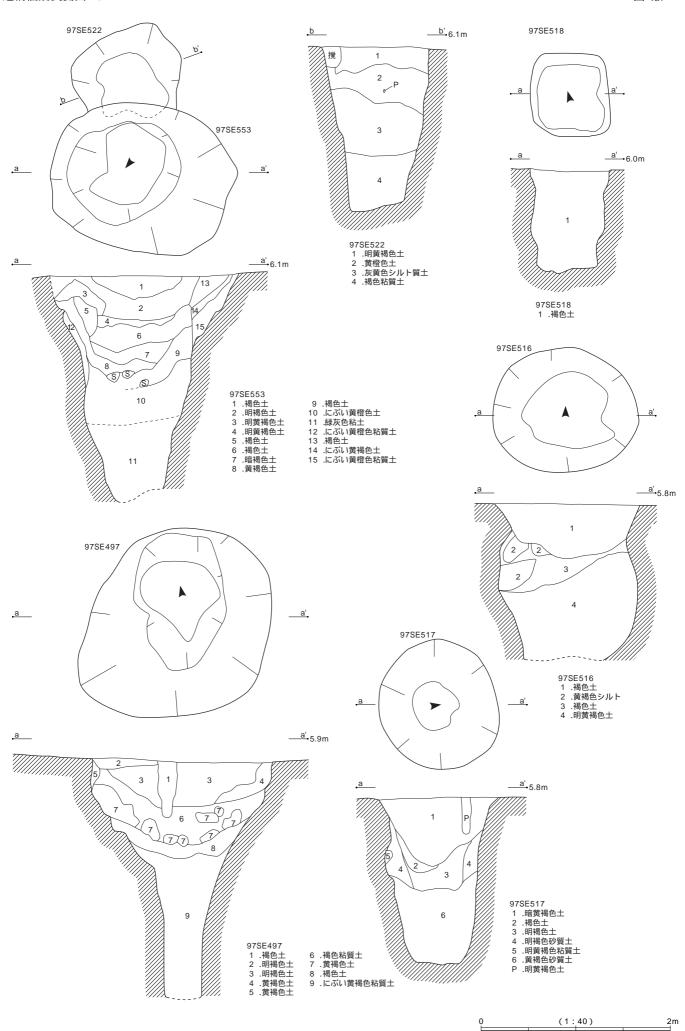
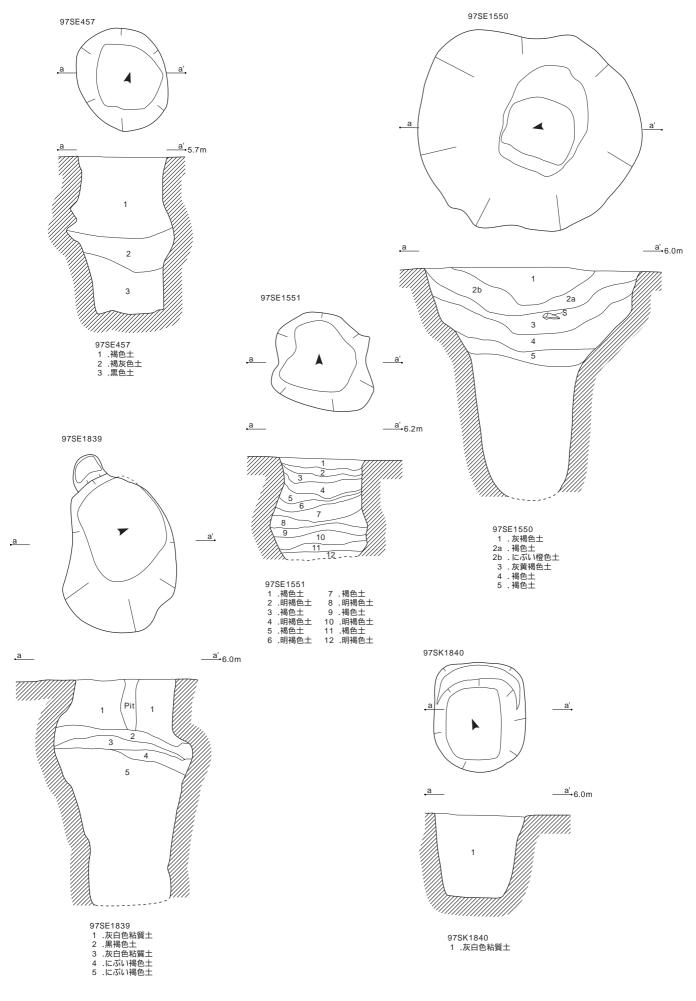


図 版 45 遺構個別実測図 21



0 (1:40) 2m

遺構個別実測図22

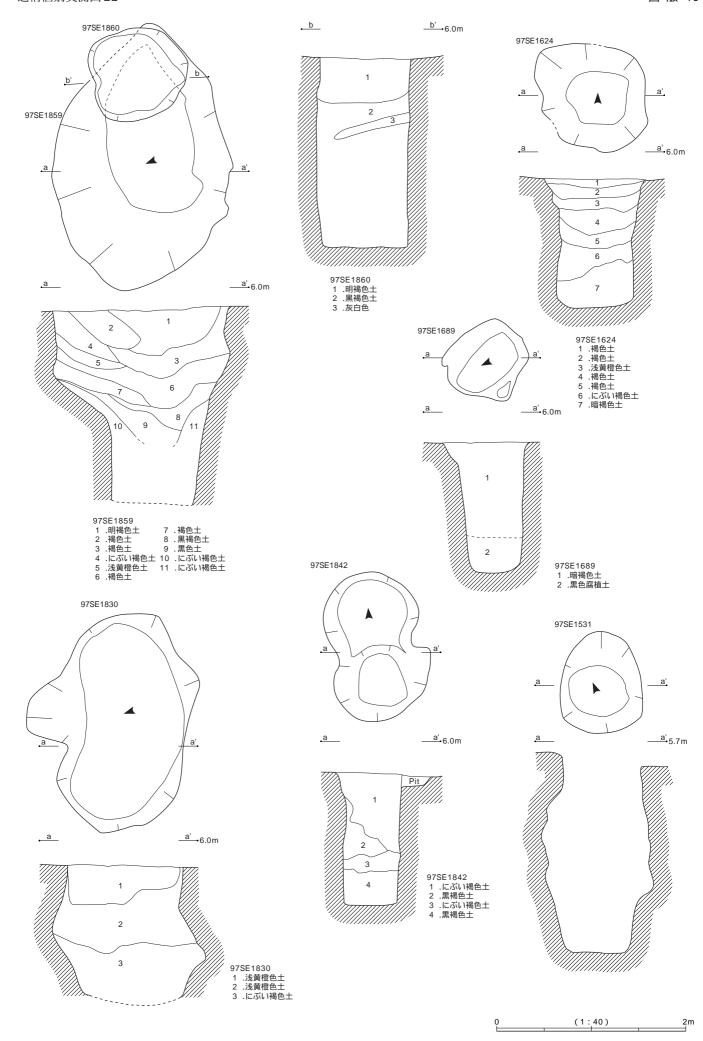
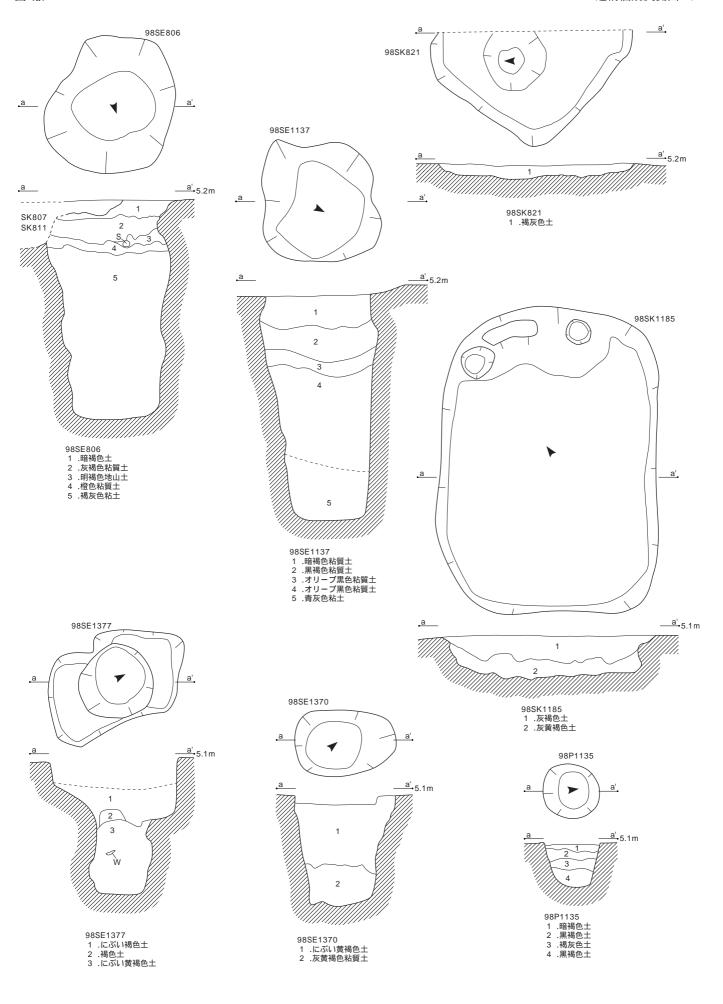
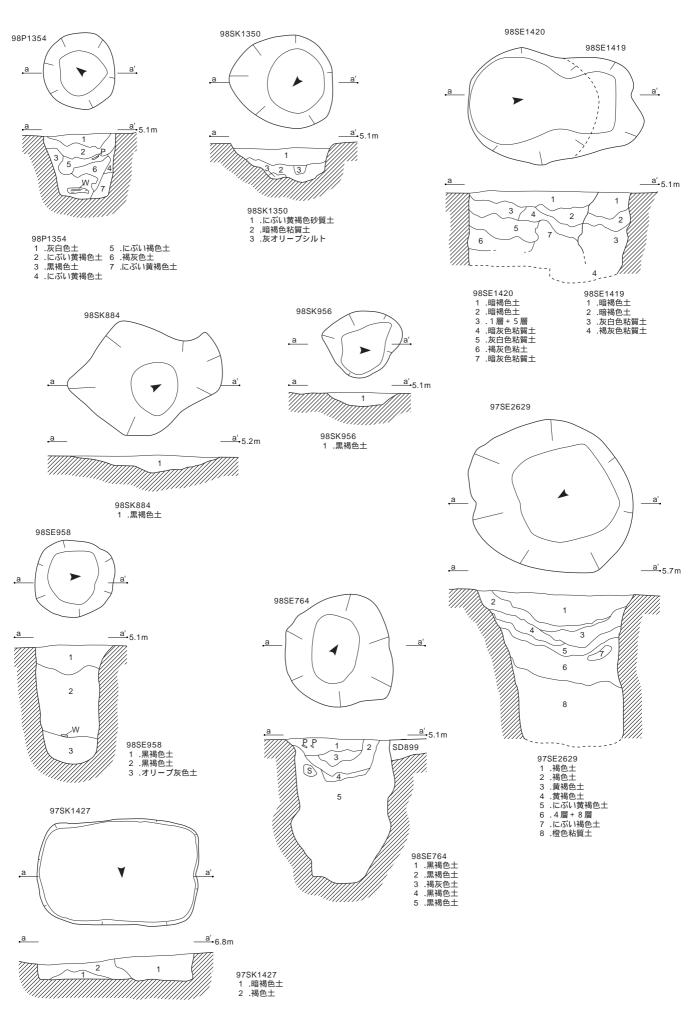


図 版 47 遺構個別実測図 23

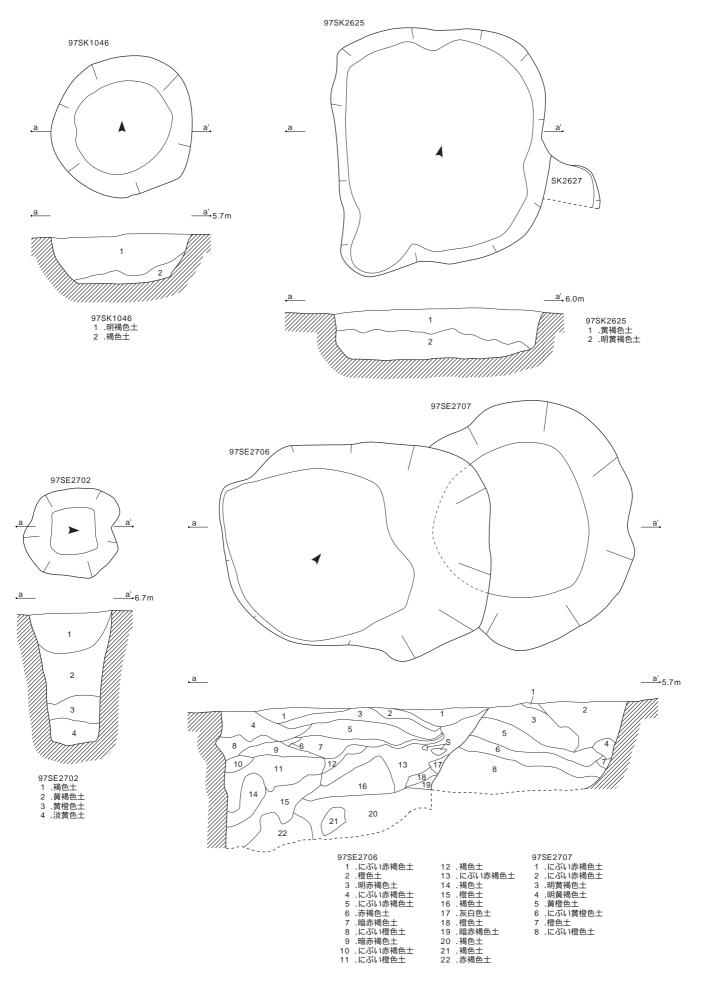


遺構個別実測図 24 図 版 48



0 (1:40) 2m

図 版 49 遺構個別実測図 25



0 (1:40) 2m

遺構個別実測図 26 図 版 50

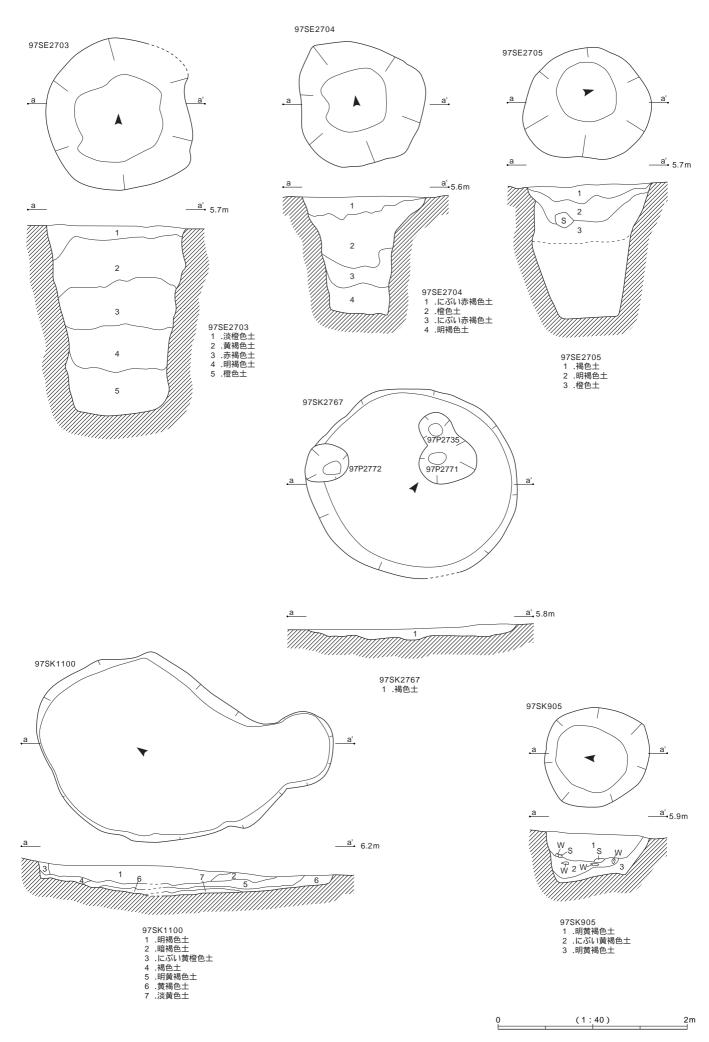
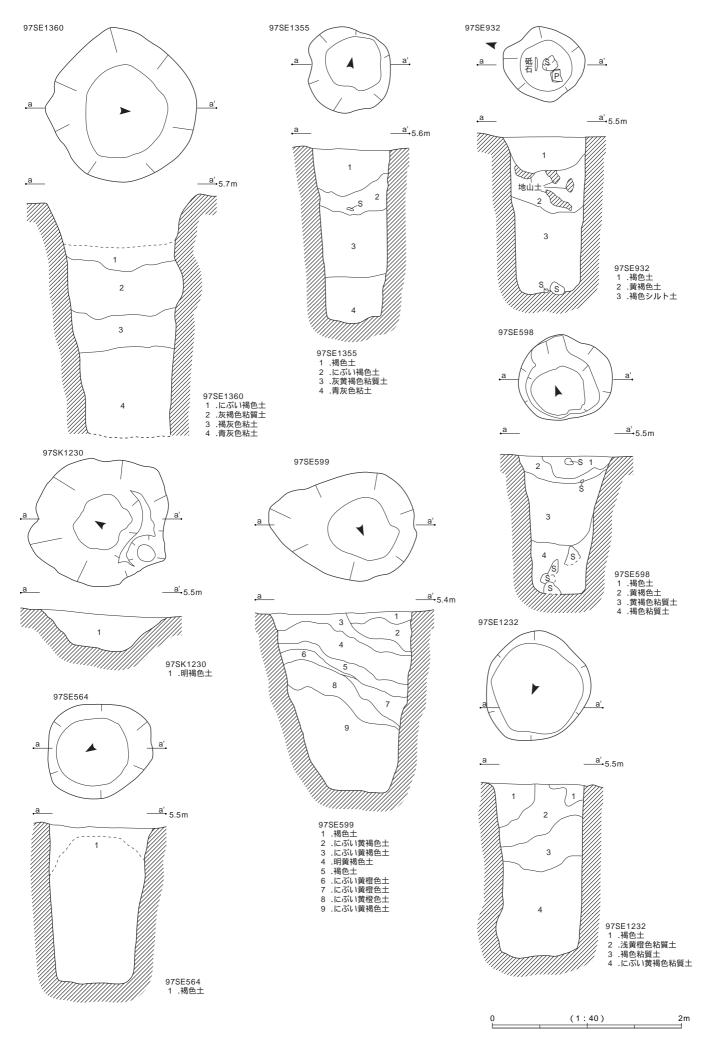


図 版 51 遺構個別実測図 27



遺構個別実測図28

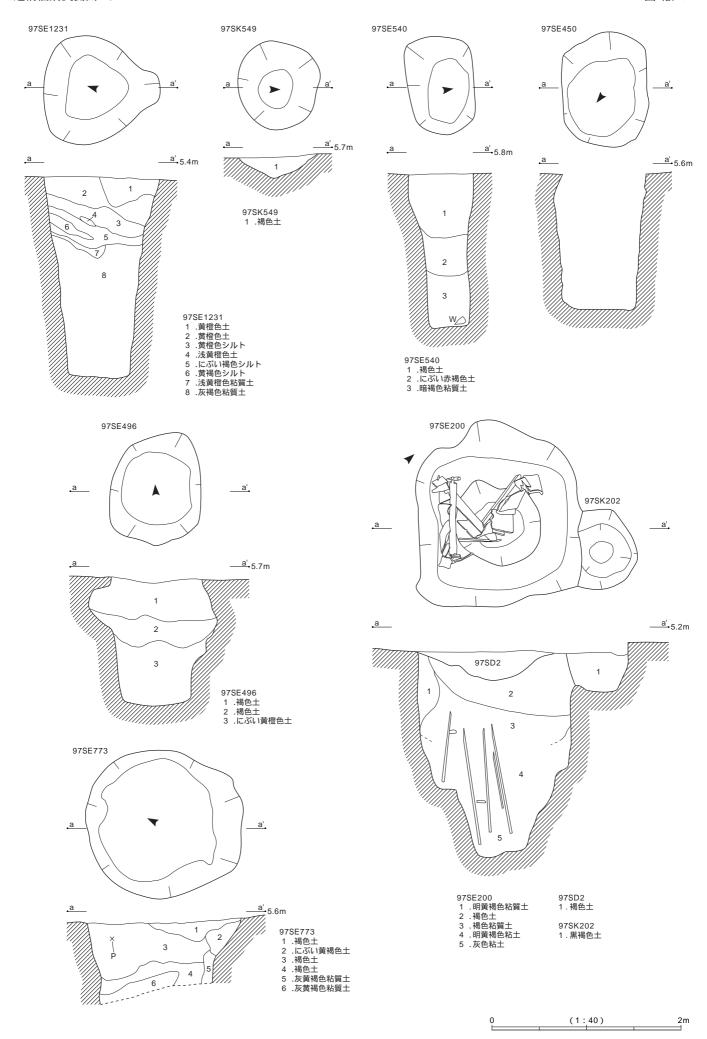
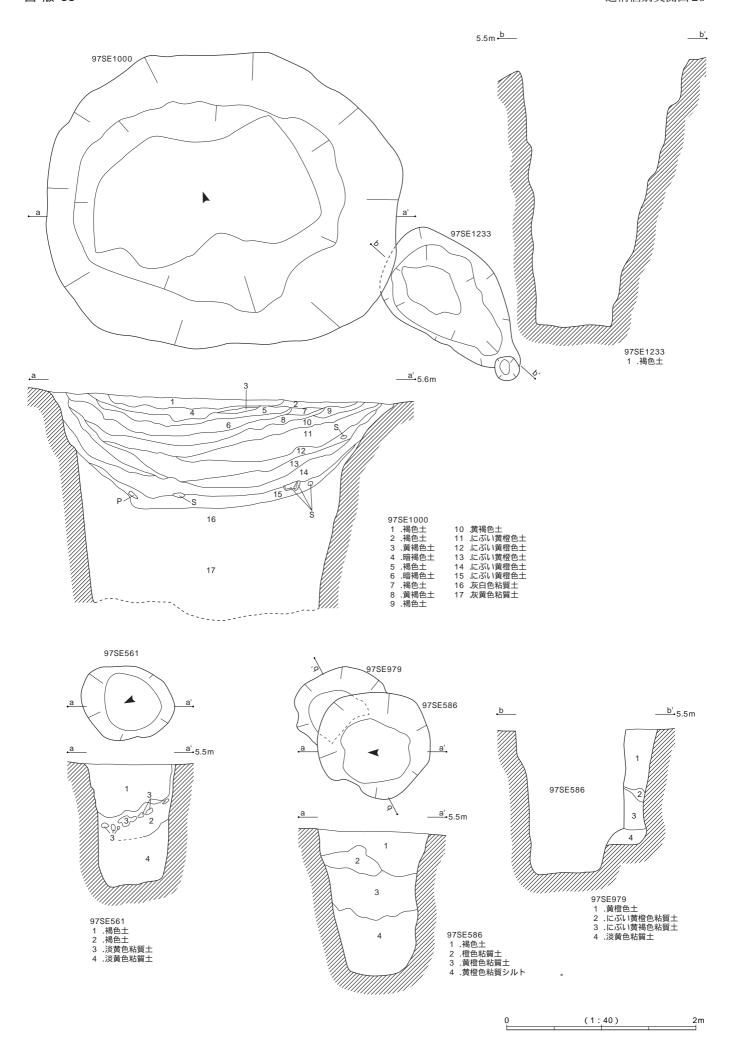


図 版 53 遺構個別実測図 29



遺構個別実測図30 図版54

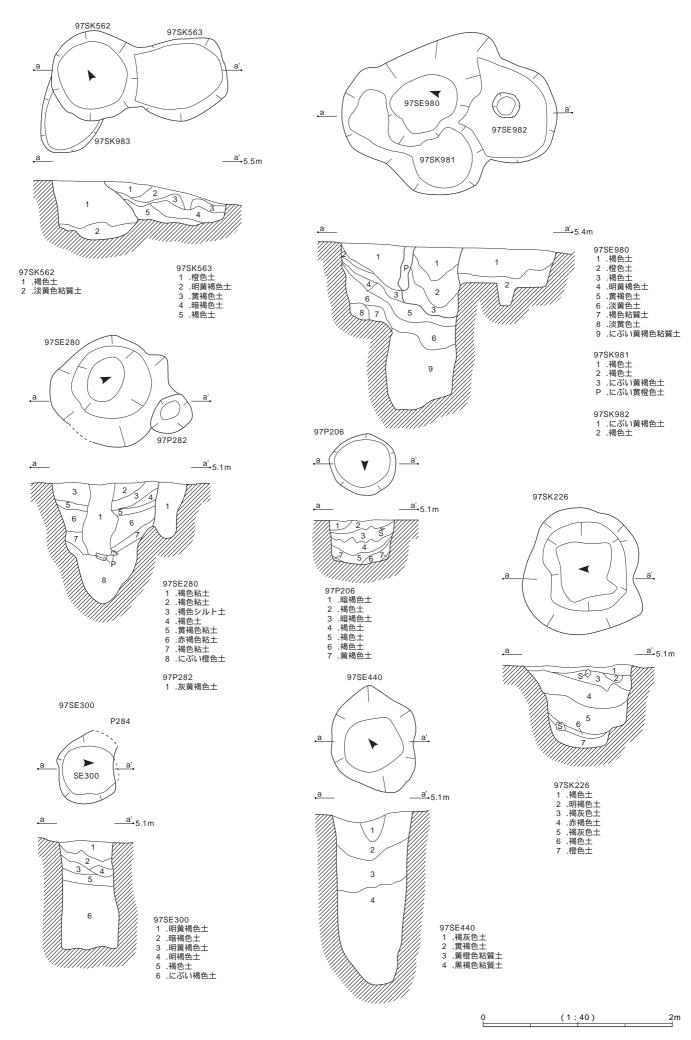
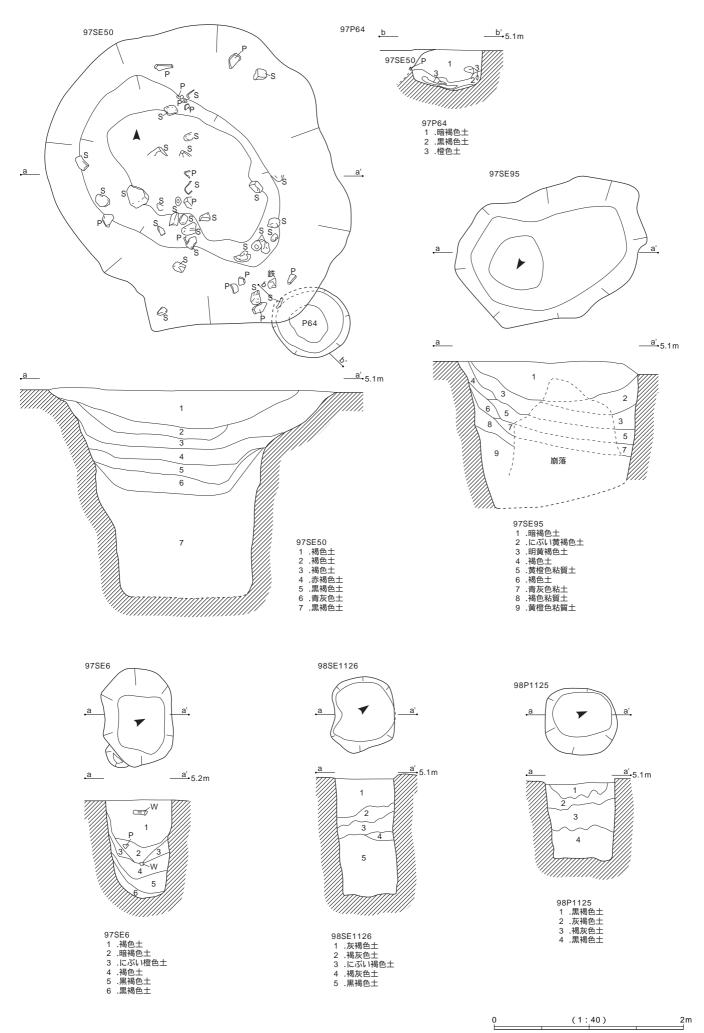
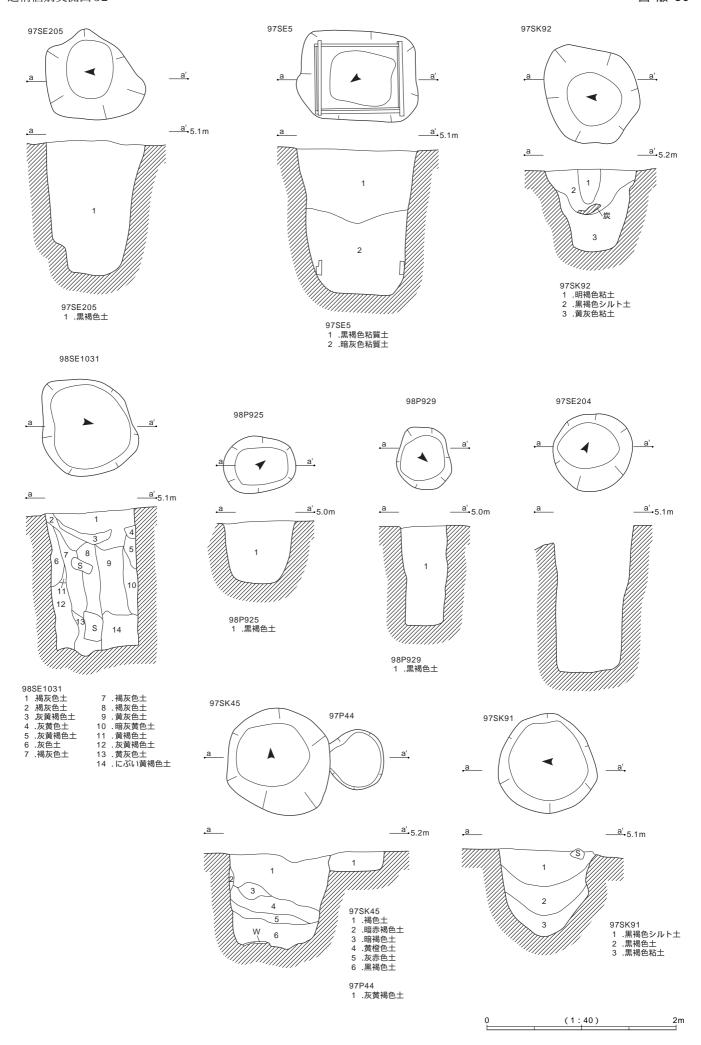


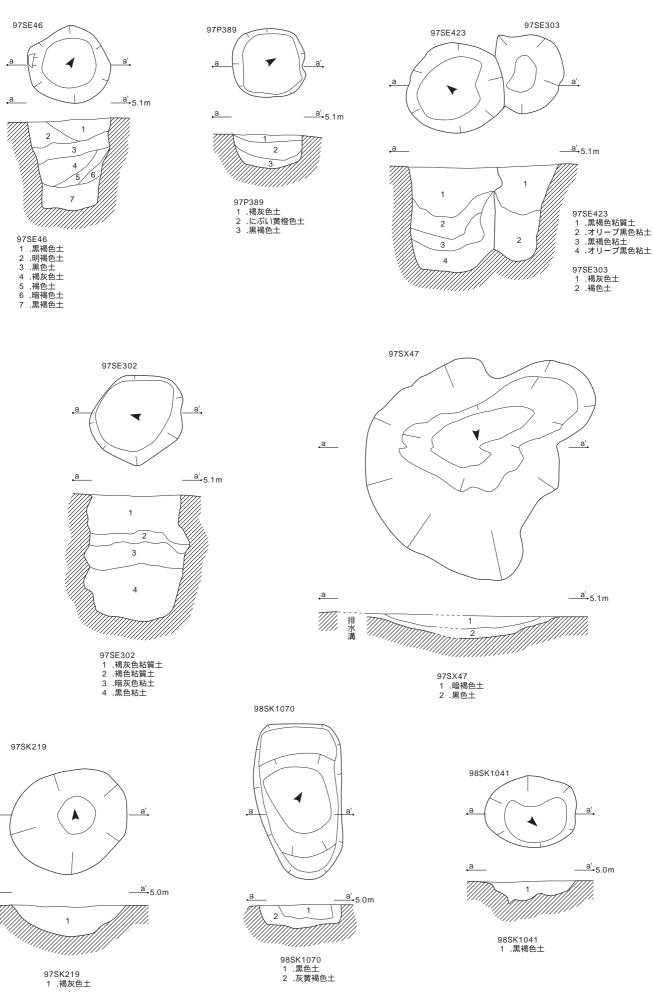
図 版 55 遺構個別実測図 31



遺構個別実測図32

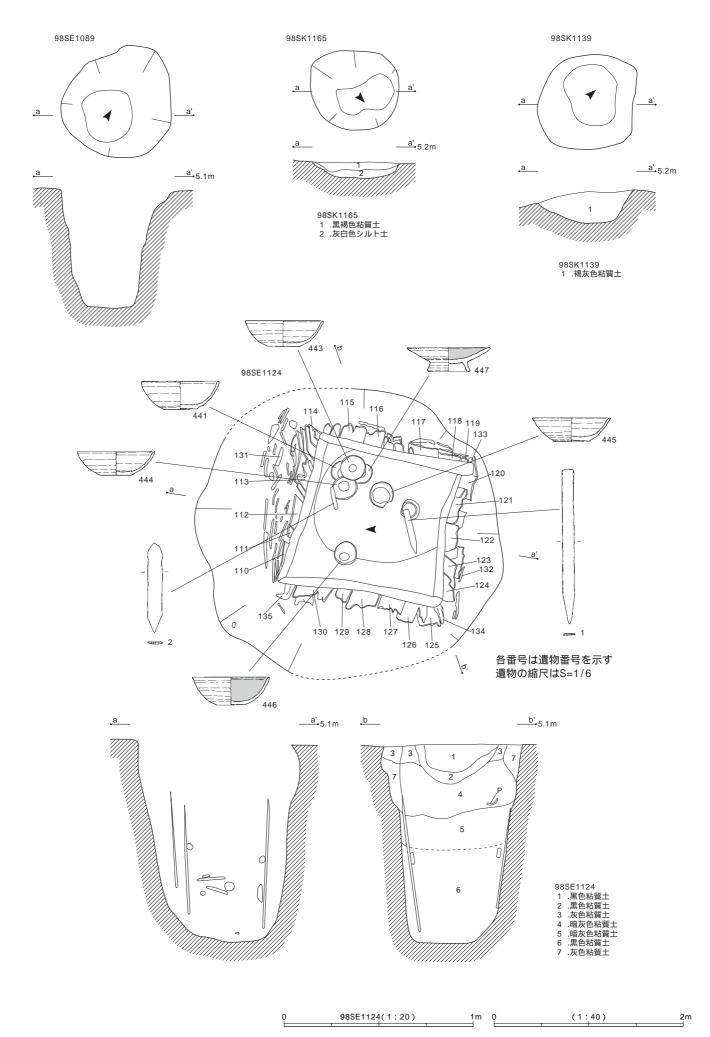


図版57 遺構個別実測図33

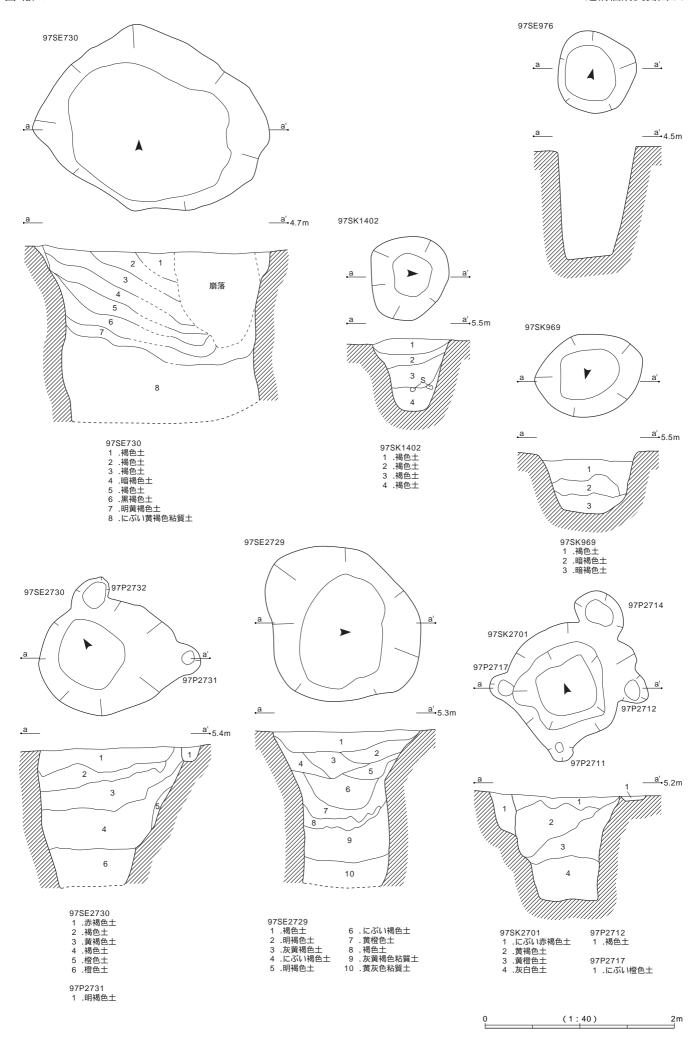


0 (1:40) 2m

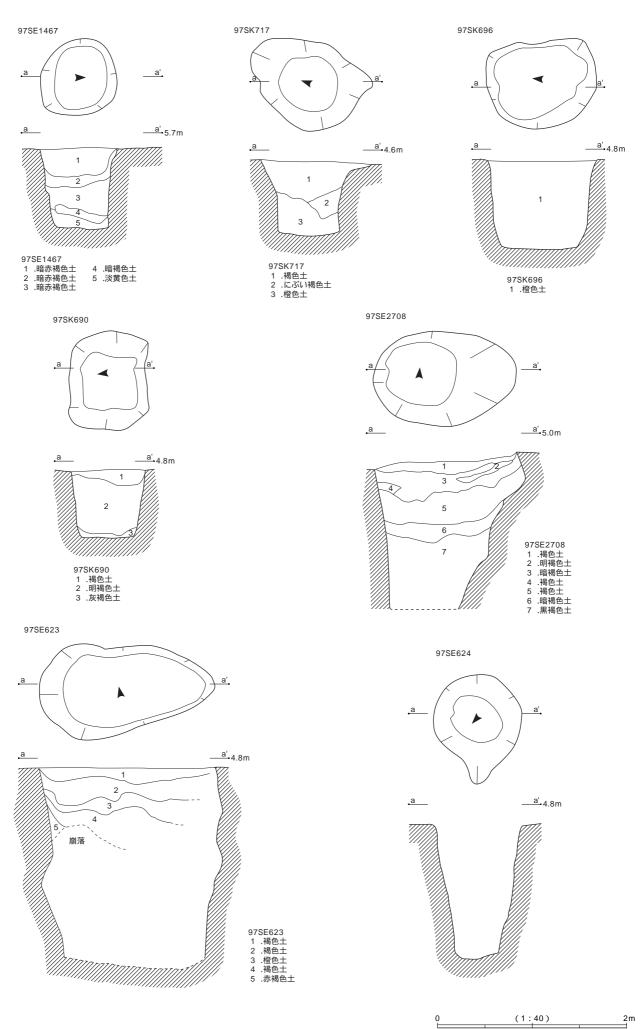
遺構個別実測図 34 図 版 58



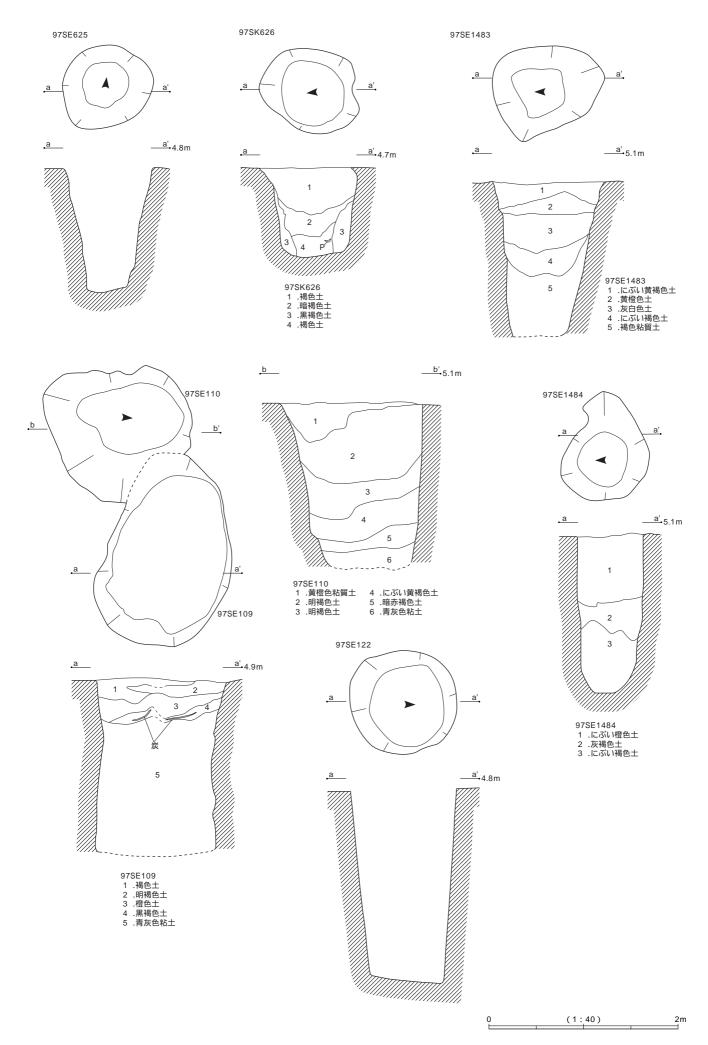
図版 59 遺構個別実測図35



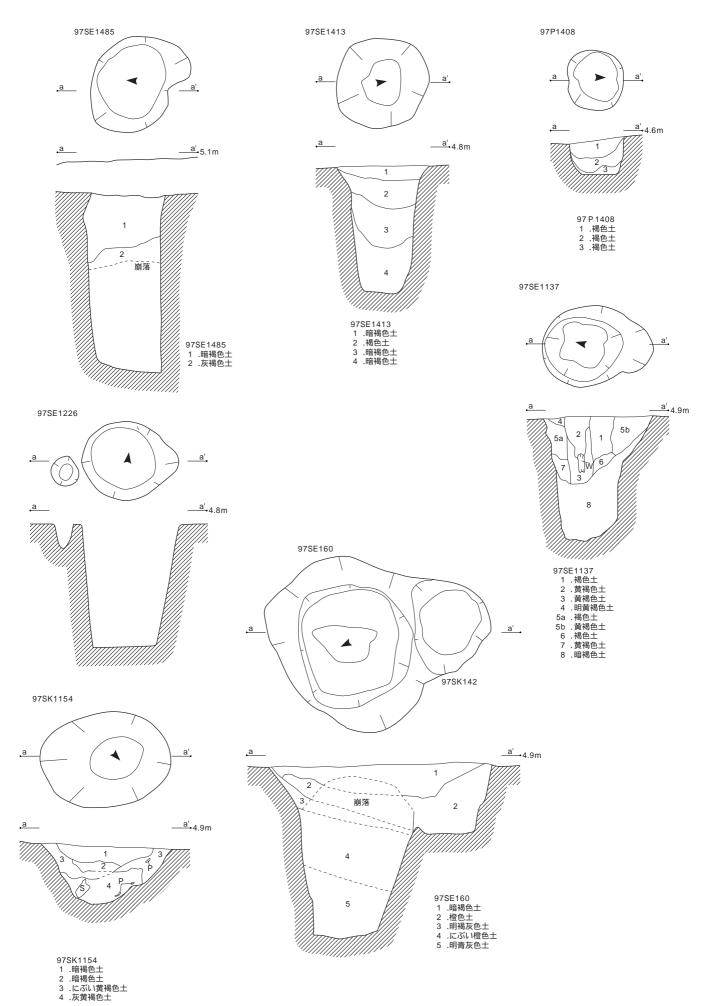
遺構個別実測図 36 図 版 60



図版61 遺構個別実測図37

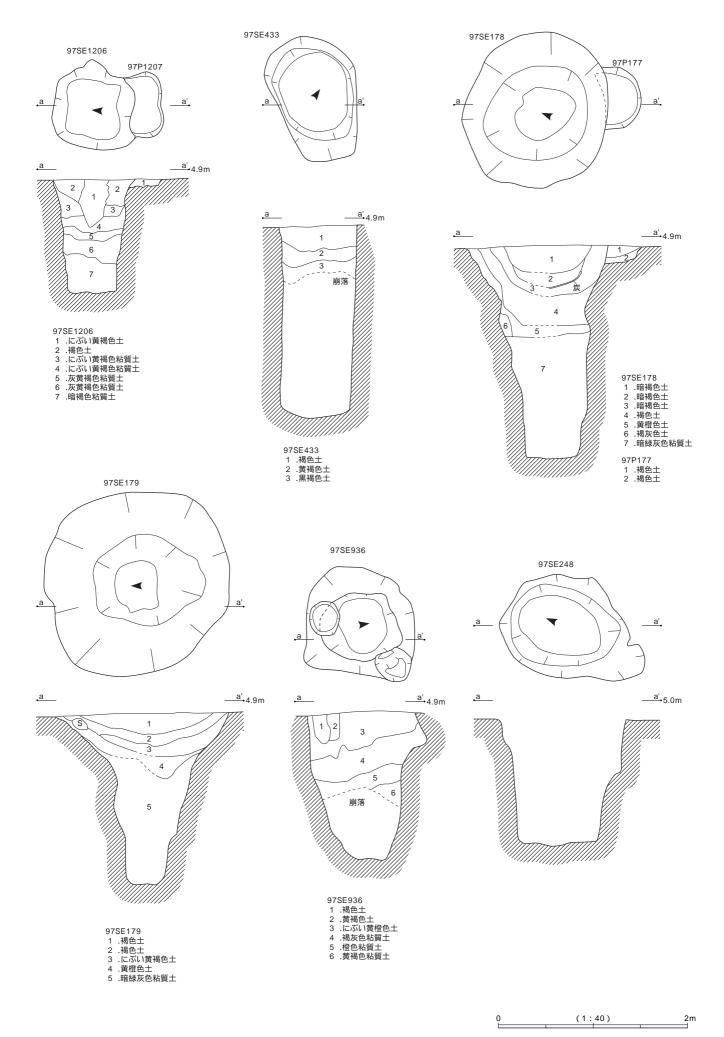


遺構個別実測図 38 図 版 62



0 (1:40) 2r

図版63 遺構個別実測図39



遺構個別実測図40 図版64

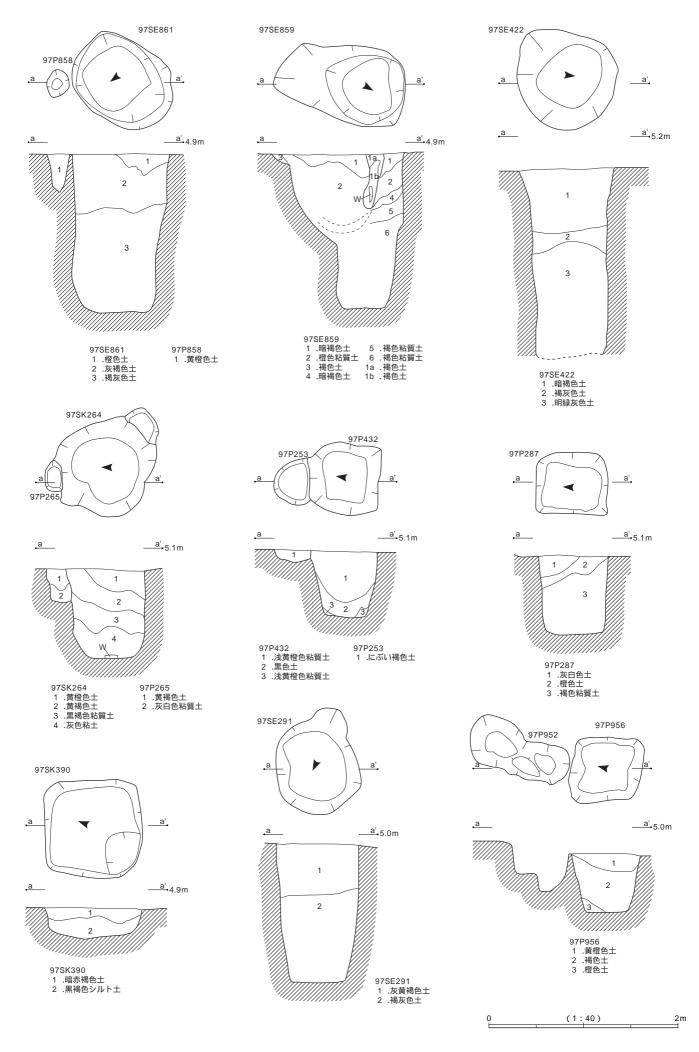
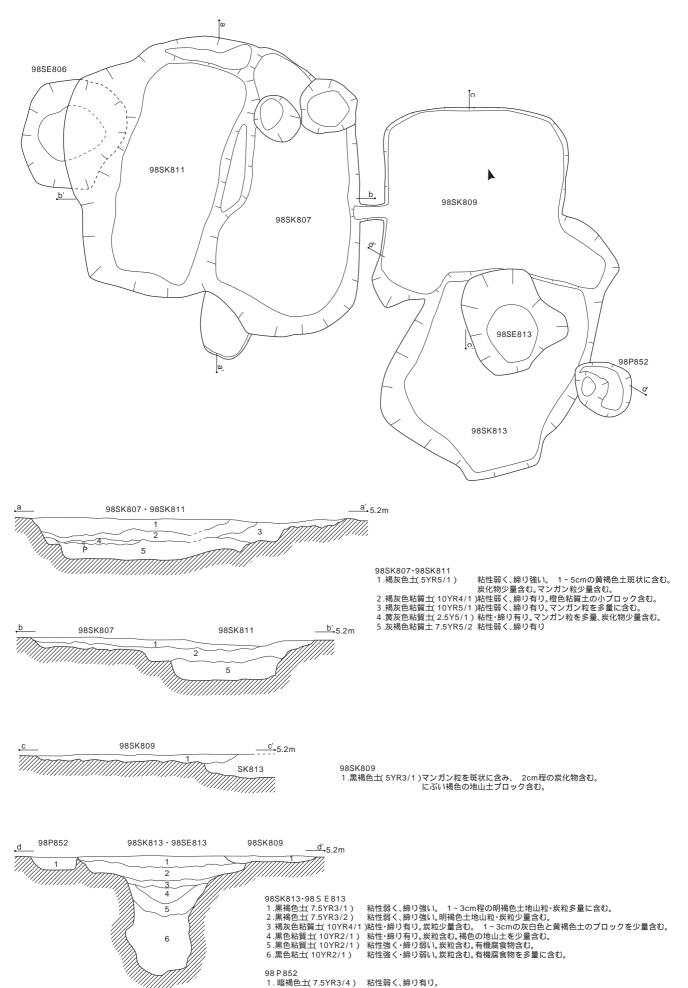
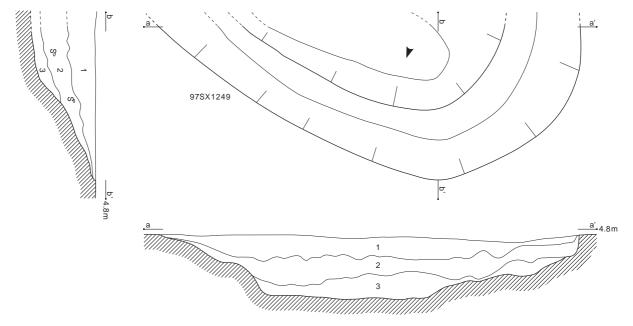


図 版 65 遺構個別実測図 41



0 (1:50) 2n

遺構個別実測図42 図 版 66



## 97SX1249

- 373人1243 1.にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘性有り。しまり強い。赤褐色土斑状に含む。 2.褐灰色粘質土(7.5YR4/1) 粘性・しまり有り。暗褐色土斑状に含み、地山土ブロックを少量含む。 3.灰黄色粘質土(10YR4/2) 粘性・しまり有り。明緑灰色粘質土を少量含む。

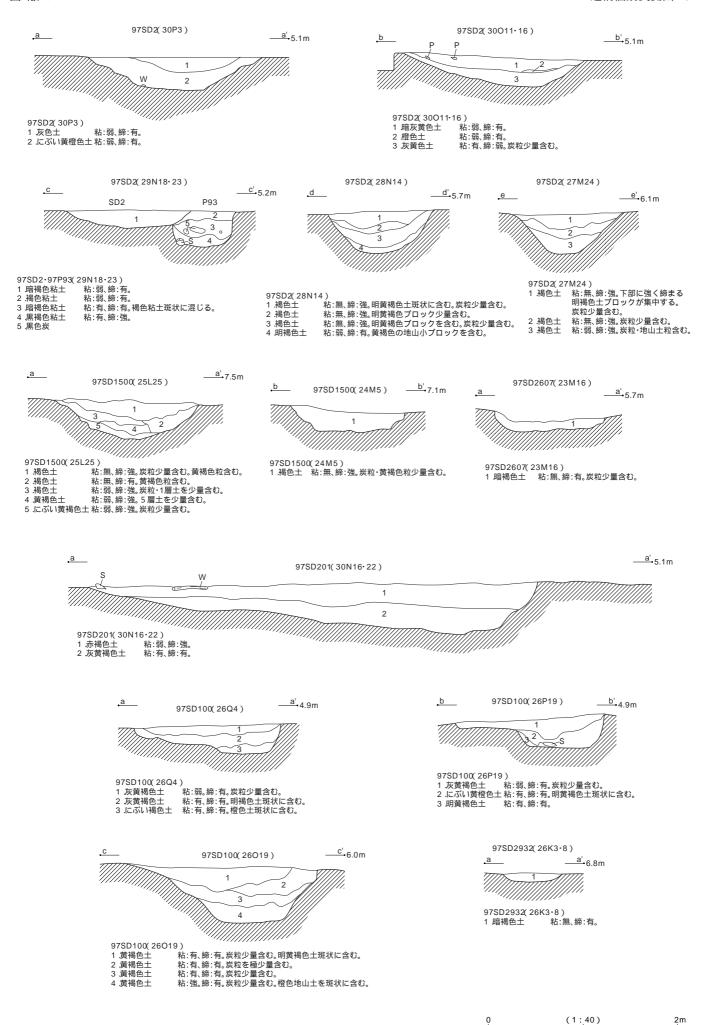


97SX48



## 97SX48

図 版 67



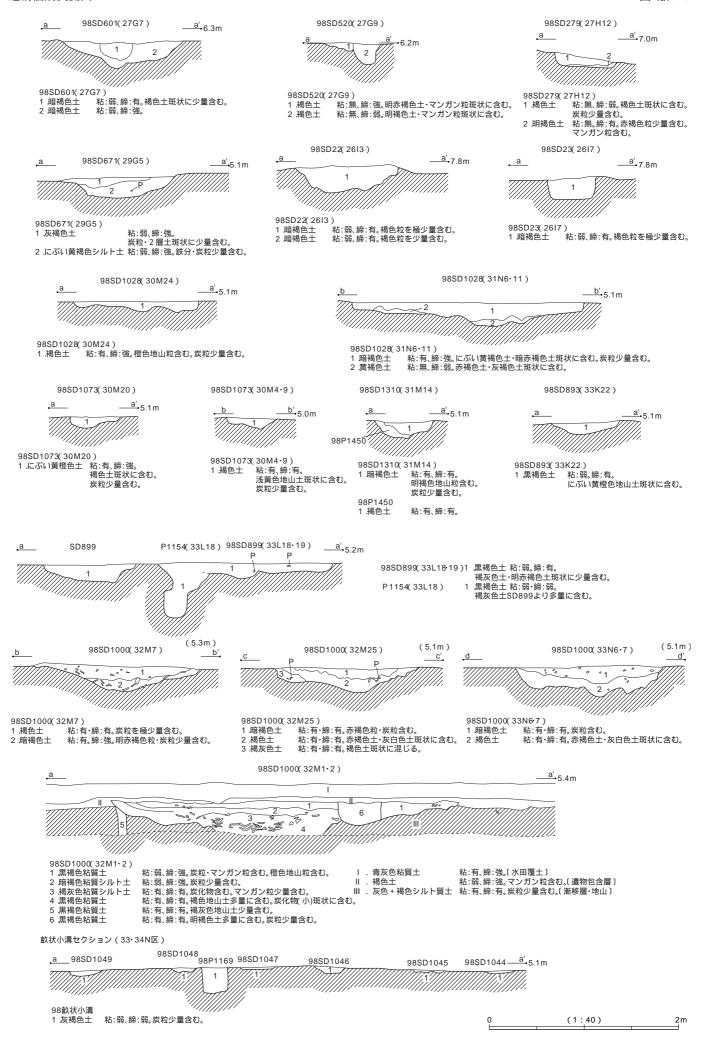
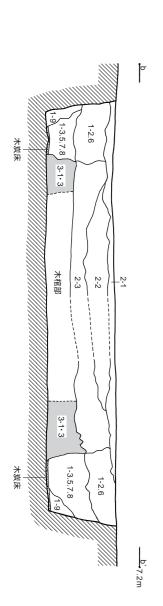
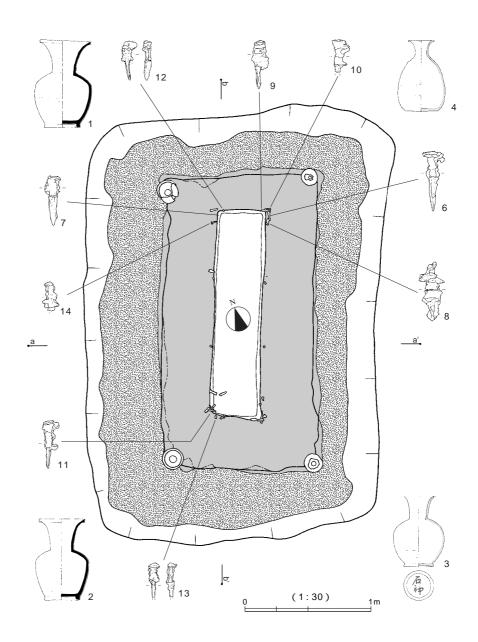
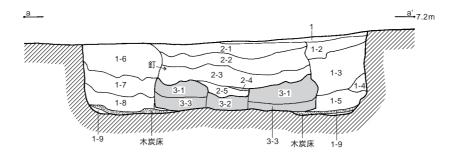


図 版 69 古墓実測図・出土遺物1







## 古墓東西セクション

1. 黄褐色土(10YR4/2)

1-2. 褐色土(10YR4/6)

1-3. 暗褐色土(10YR3/3)

1-4 . にぶい黄灰色土(10YR4/3) 1-5 . 褐色土(10YR4/4)

1-6. 褐色土(10YR4/6)

1-7. 褐色土(10YR4/4) 1-8. 褐色土(10YR4/4)

1-9. 褐色土(10YR4/6)

10mm大の炭入り。ごく緻密。締りよく非常に

10mm大の炭入り。ごく緻密。締りよく非常に硬い。にぶい黄褐色土ブロックの混じり。10mm以下の炭を割合含む。非常に硬く締り、緻密。1-2層より暗い。10mm大の炭を含むが、少量見られる程度。指頭で痕がつく程度の硬さ。黄褐色ブロックが少量入る。一気埋め。ぼそぼそで締り弱く軟質。1-5層と基本的に同質。掘り形を掘り上げた土を再埋めしている。締り弱く軟質。炭等の混入物は少ない。15mm大の炭が断面に2個ばかり。締り弱く軟質・地山のにぶい橙色(7.5YR7/4)粘質土のブロックが入る。

クが入る。 1-6層よりやや明るい。断面に炭化物見られない。 基本的に1-7層と同じ。地山のにぶい橙色粘質土が10×2cm大のプロックで入る。

地山土の崩落土。

2-1. 暗褐色土(10YR3/4)

2-2. にぶい黄褐色土(10YR4/3)

2-3. にぶい黄褐色土(10YR4/3)

2-4. にぶい黄褐色土(10YR4/3)

2-5 . 褐色土(10YR4/4) 3-1 . 木炭層 3-2 . 木炭層 3-3 . 木炭層

炭化物多くなる。かなり緻密で締り良い。1-6層と似ているが、やや暗い。 4-1層土が10mm大のブロックに多く入る。炭もや中見られる。硬さは2-1層より劣る。指頭圧痕

でで見られる。 映ではよい層のソカシ。 月357年にはつく。 様を留めた釘?が断面に見られる。 炭化物が多くなる。 締り弱くやや軟質。 2-3層に炭がごく多く入る。 炭の間を充填してい

23層に灰がこく多く入る。灰の同を充填している。 る。 木棺が崩れた後、上部の土が流入したもの。 木槨内を充填していたもの。 木槨内を充填していたもの(3・1層より細かい炭 化物)

古墓実測図・出土遺物2

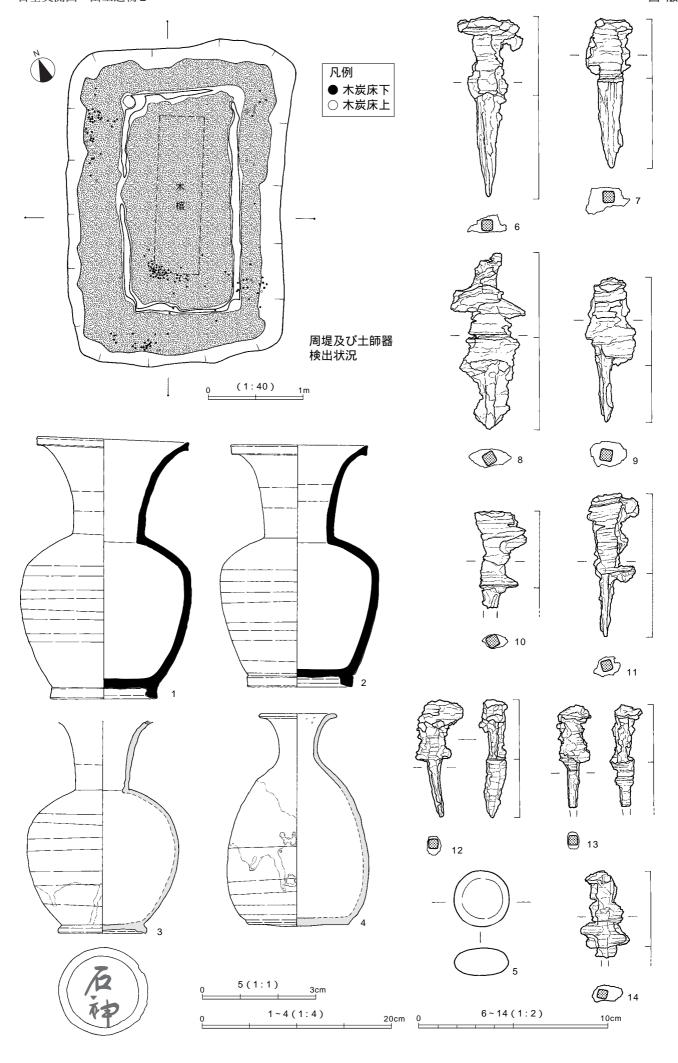
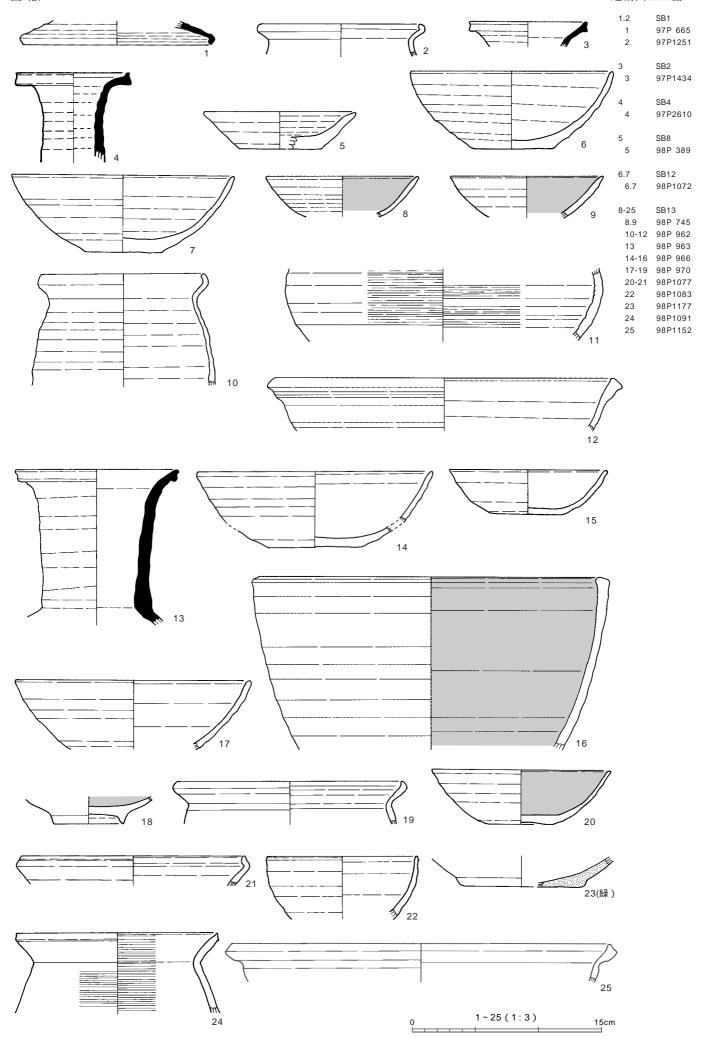
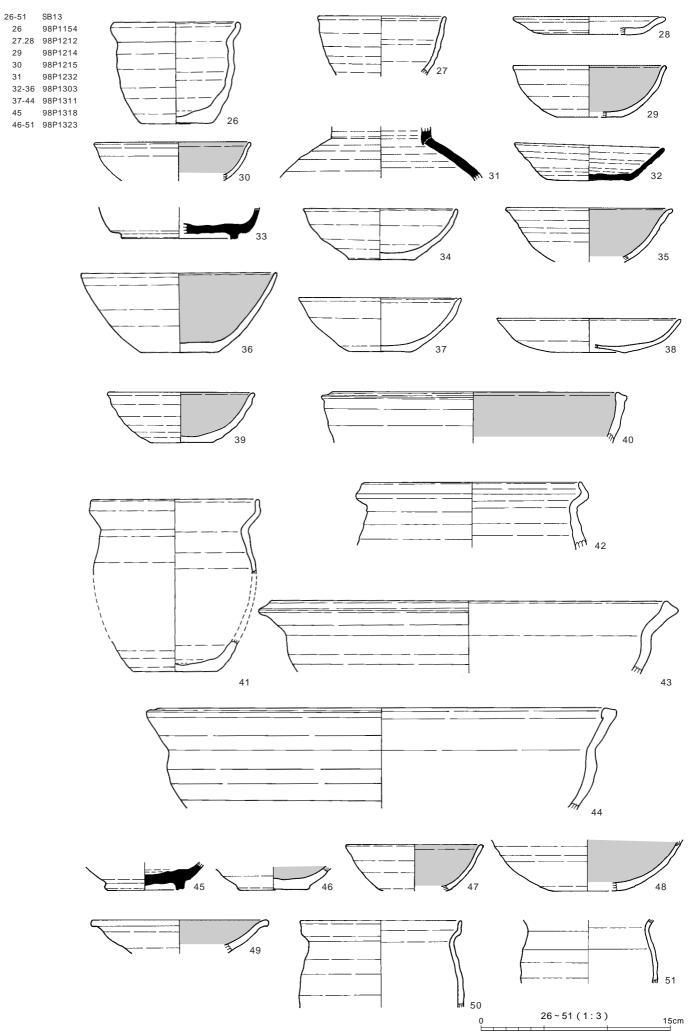
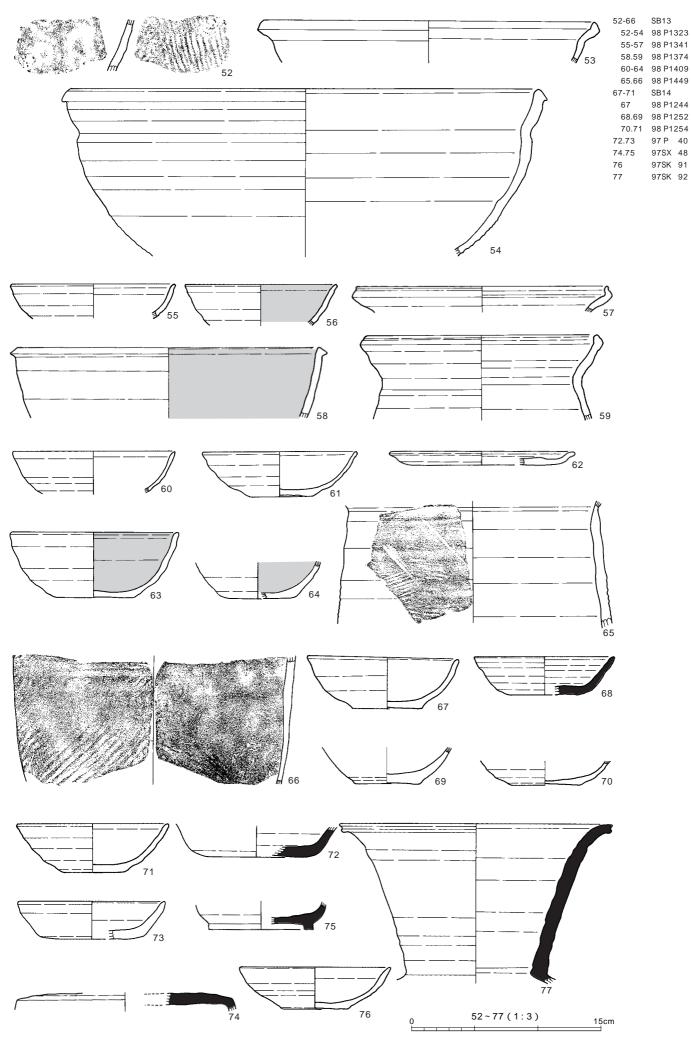


図 版 71 遺構出土土器1







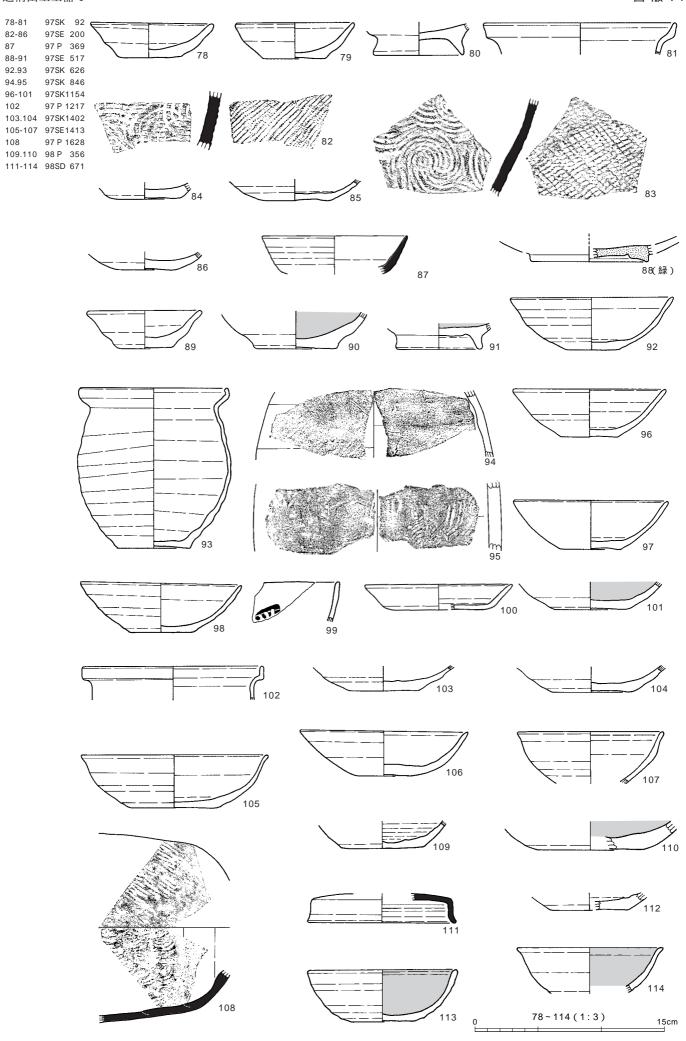


図 版 75 遺構出土土器5

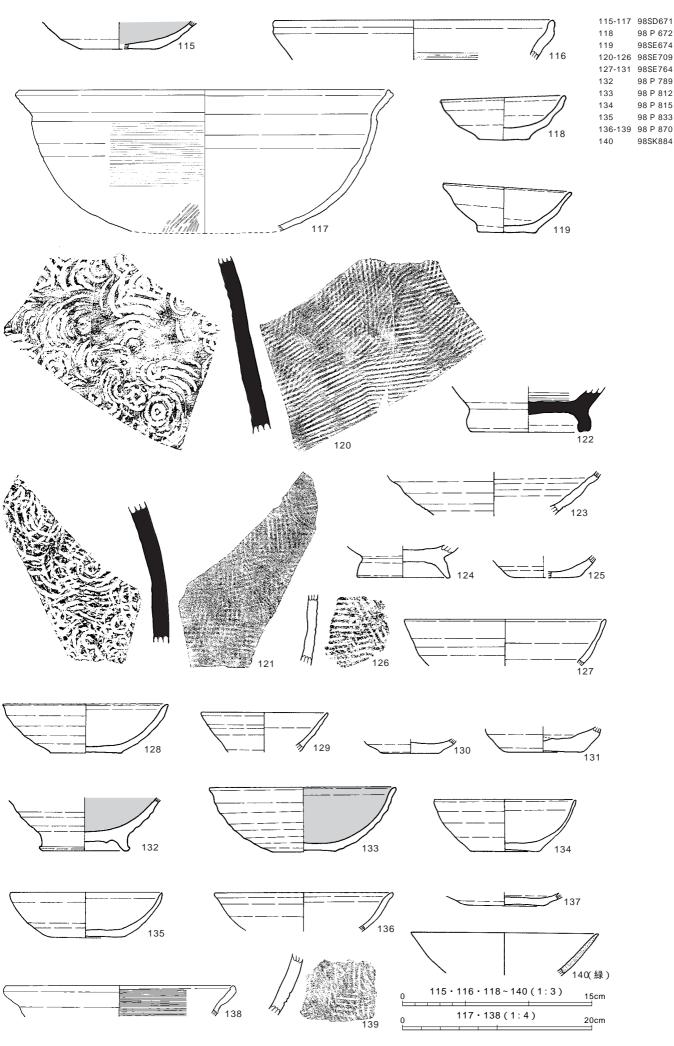
98 P 672 98SE674

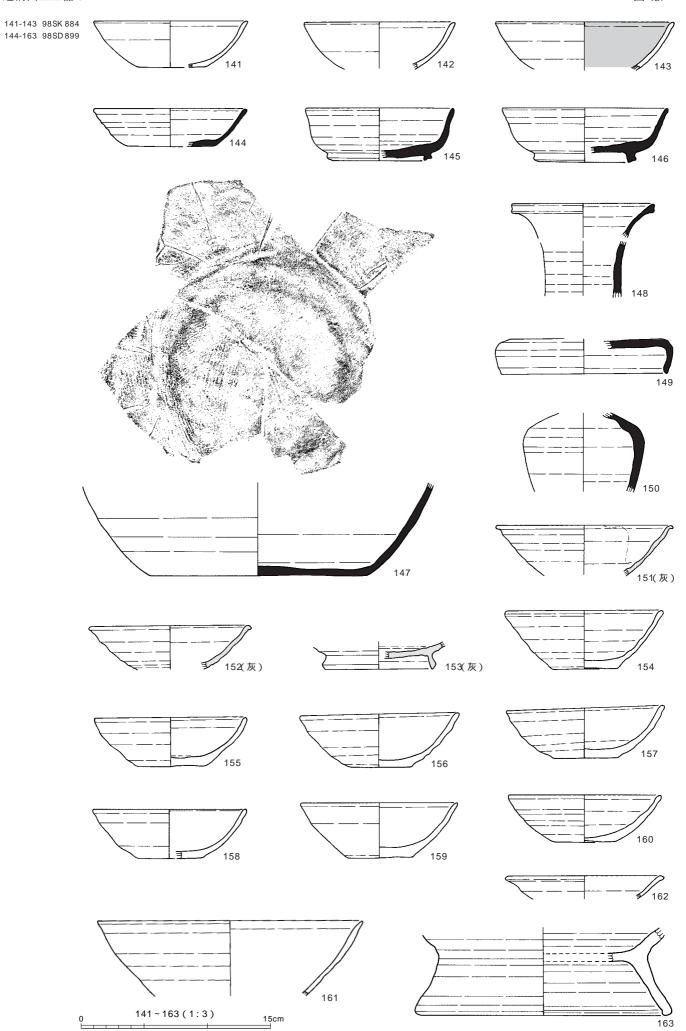
98 P 789 98 P 812

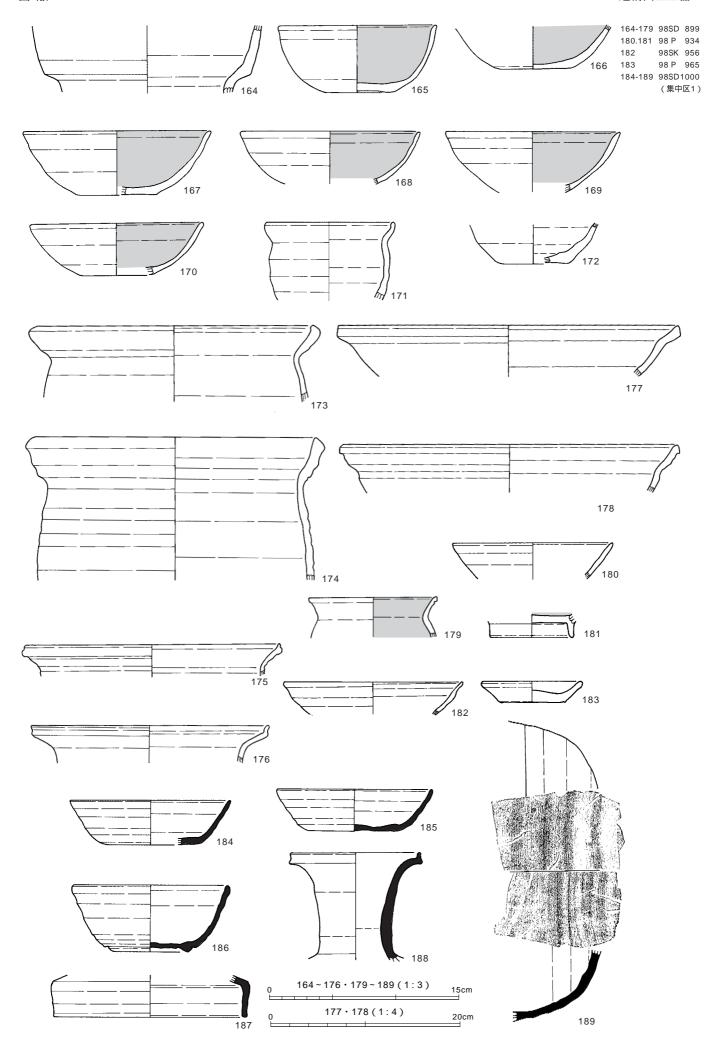
98 P 815

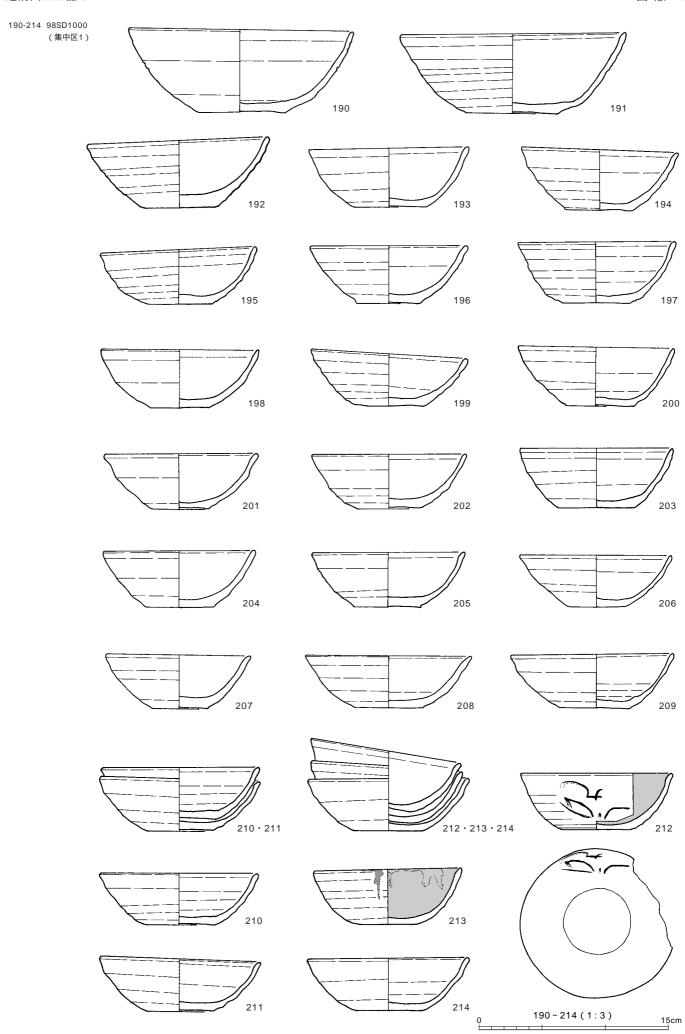
98 P 833

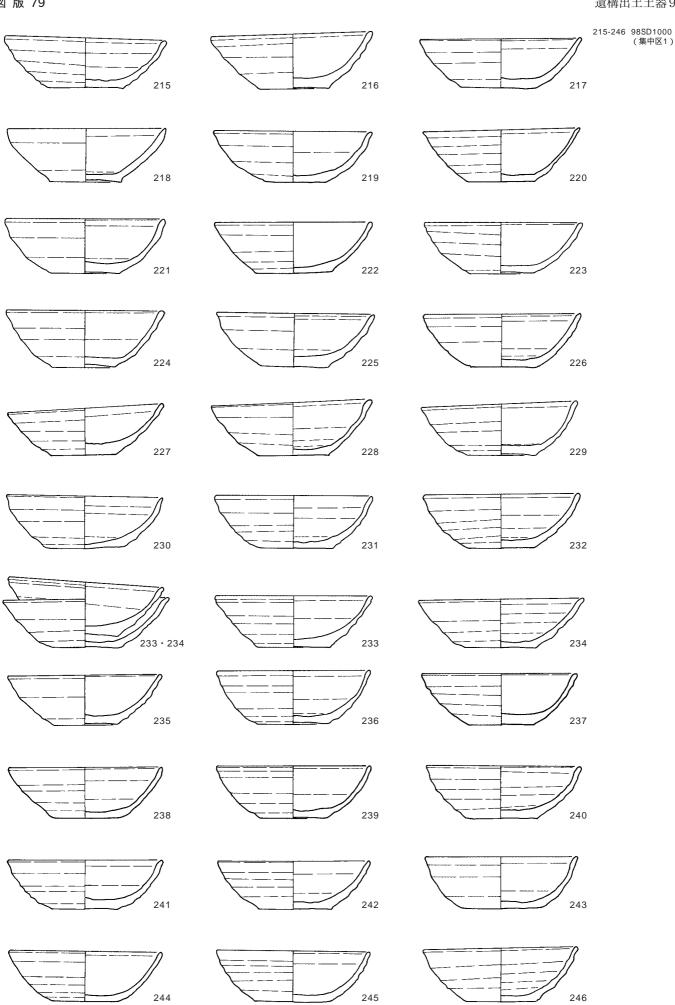
98SK884





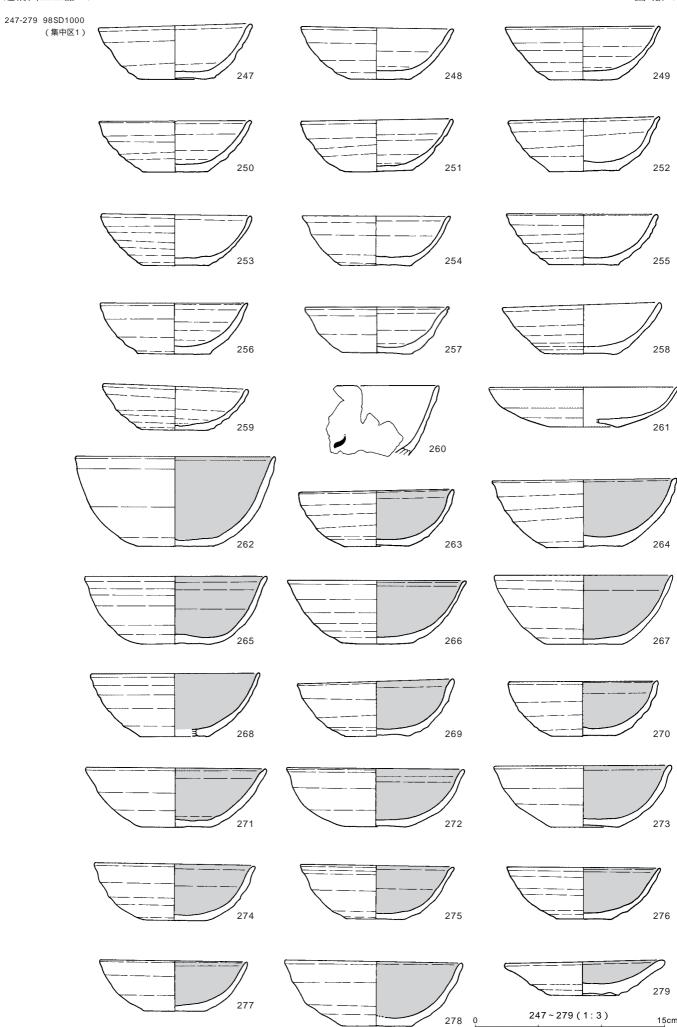






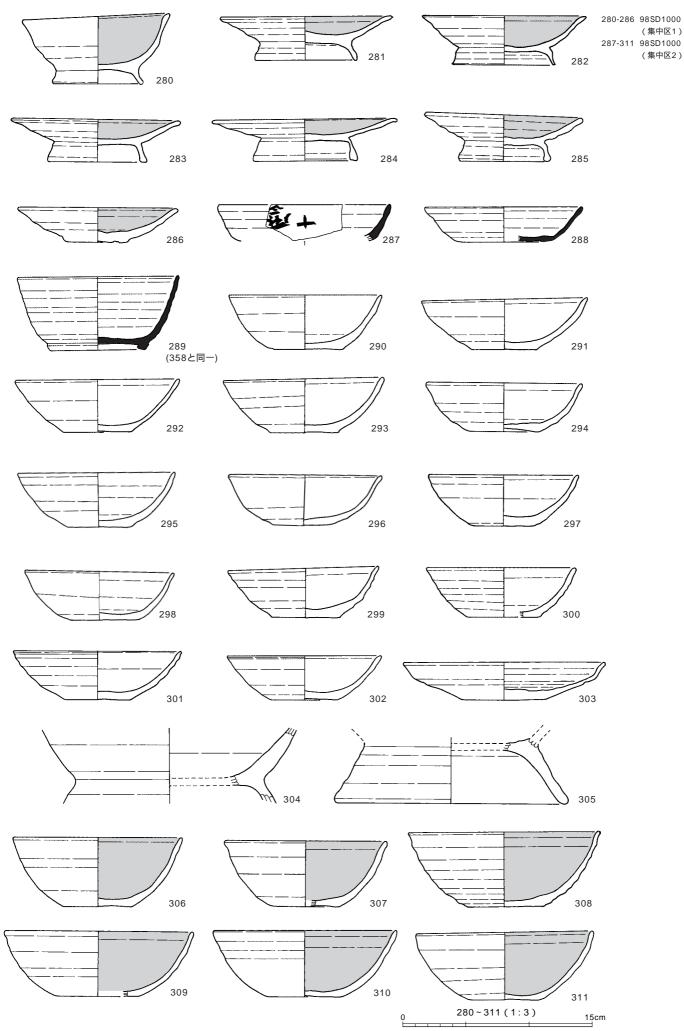
215~246 (1:3)

15cm



図版81 遺構出土土器11

(集中区1)



遺構出土土器 12 図 版 **82** 

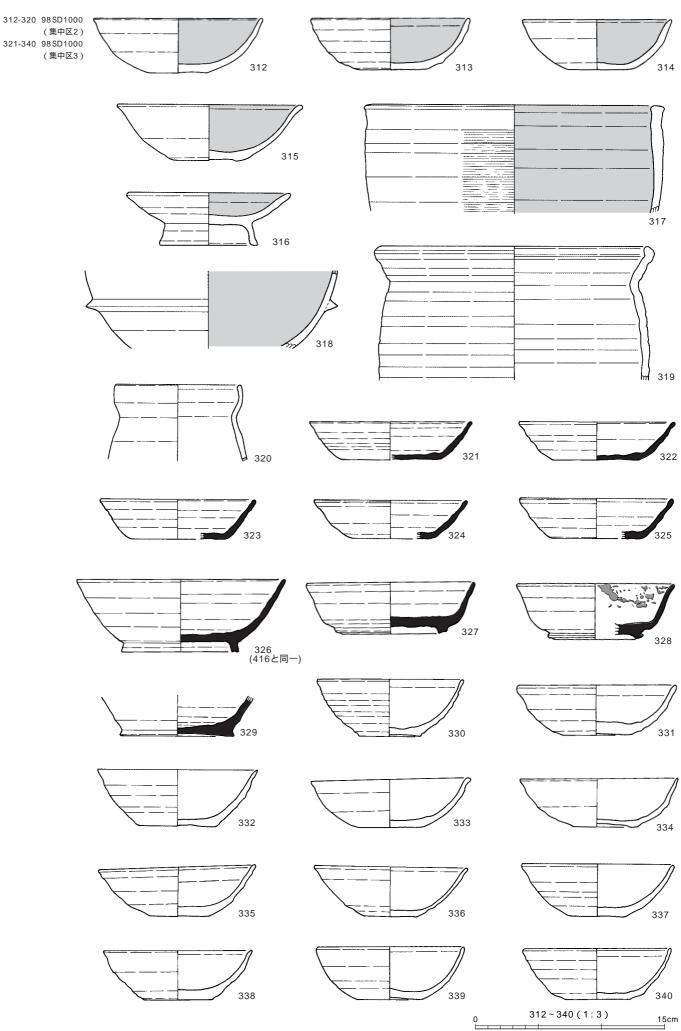
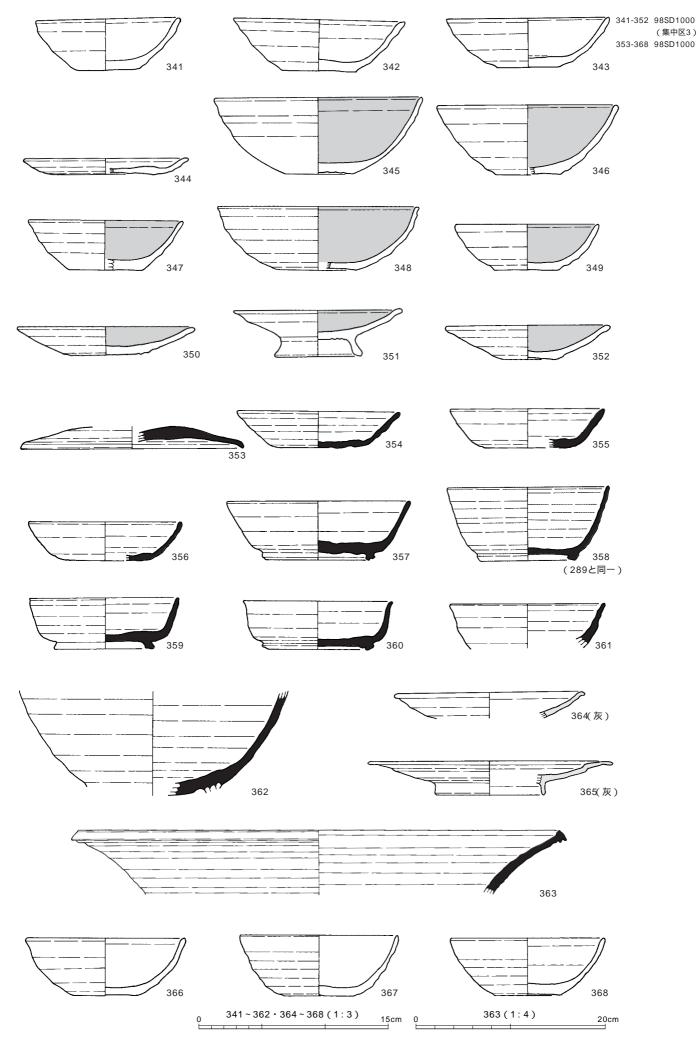
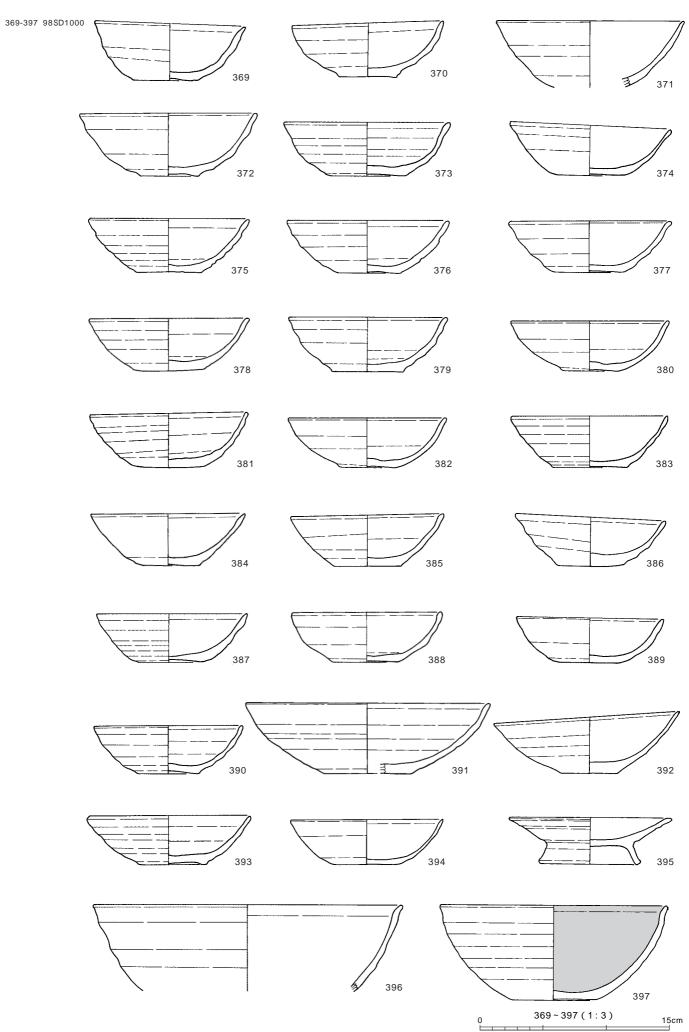


図 版 83 遺構出土土器 13



遺構出土土器 14 図 版 84



398~416(1:3)

15cm

遺構出土土器 16 図 版 86

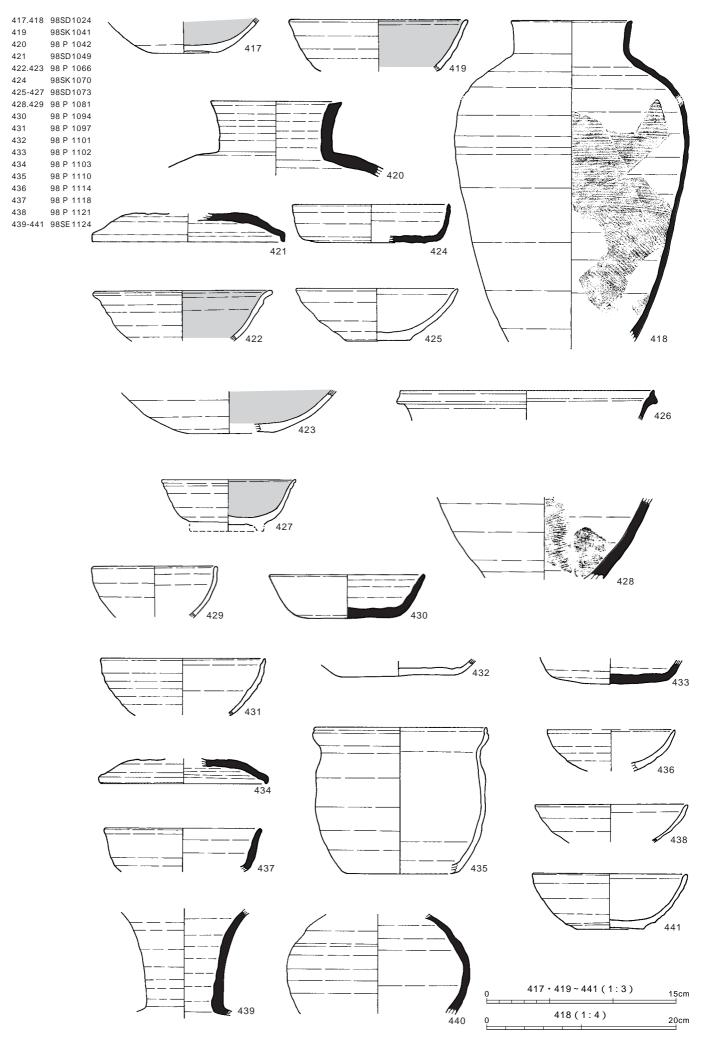


図 版 87 遺構出土土器17

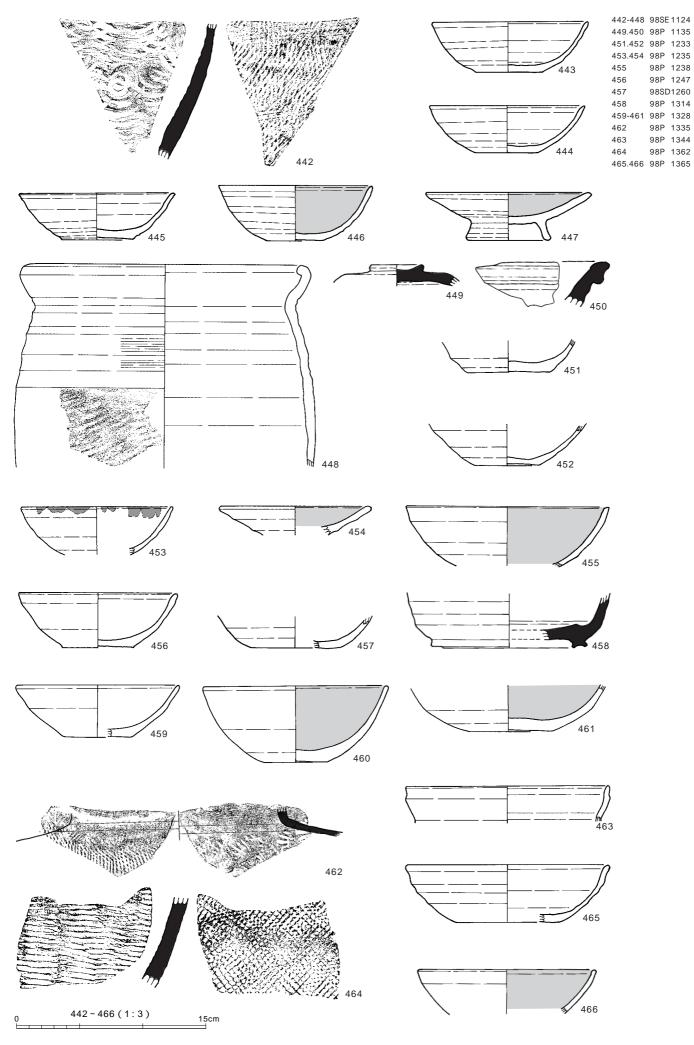
98P 1238

98P 1247 98SD1260

98P 1314

98P 1335

98P 1344 98P 1362



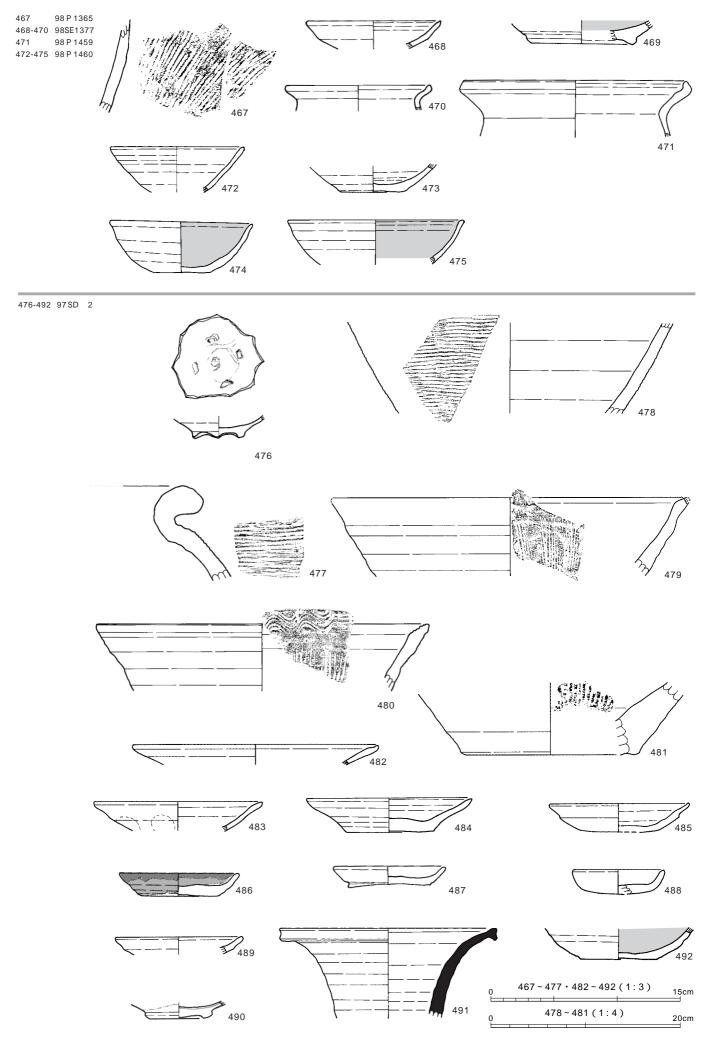
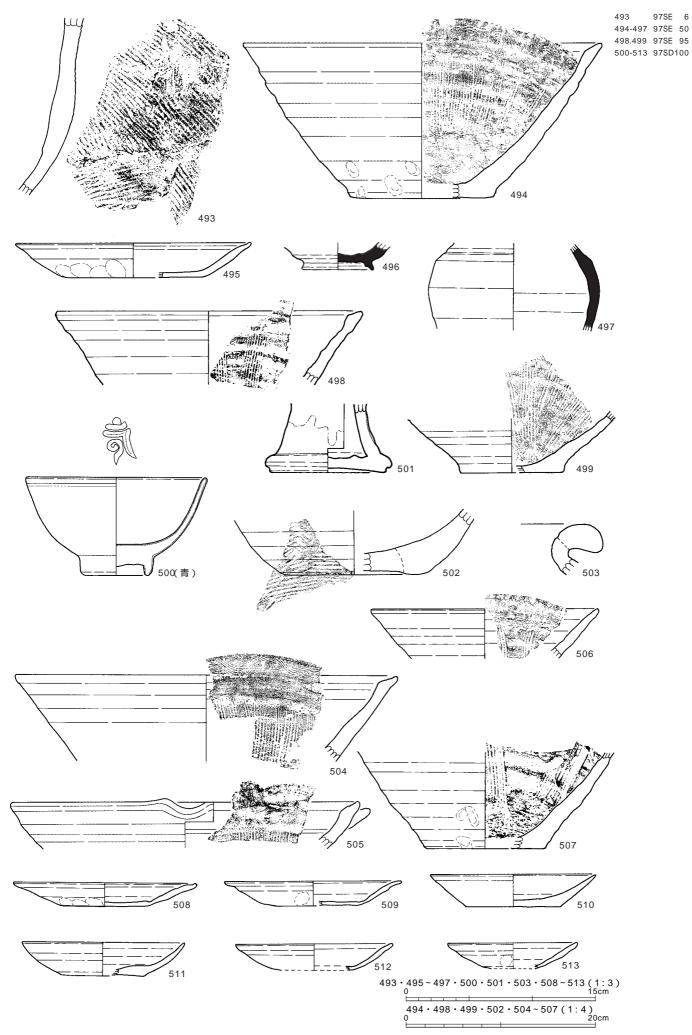
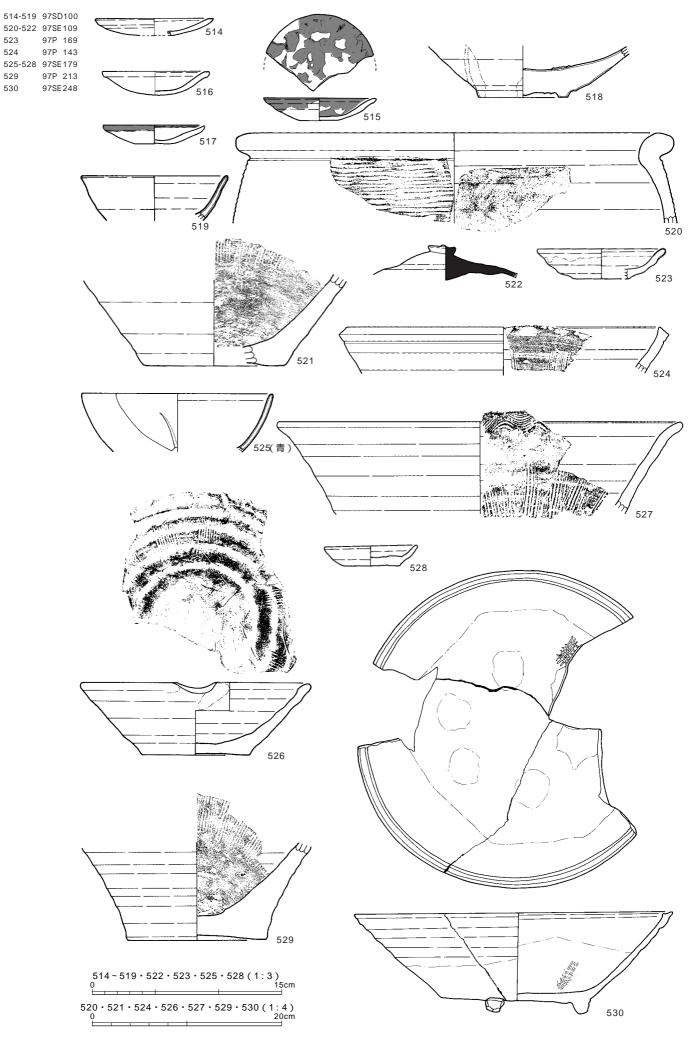


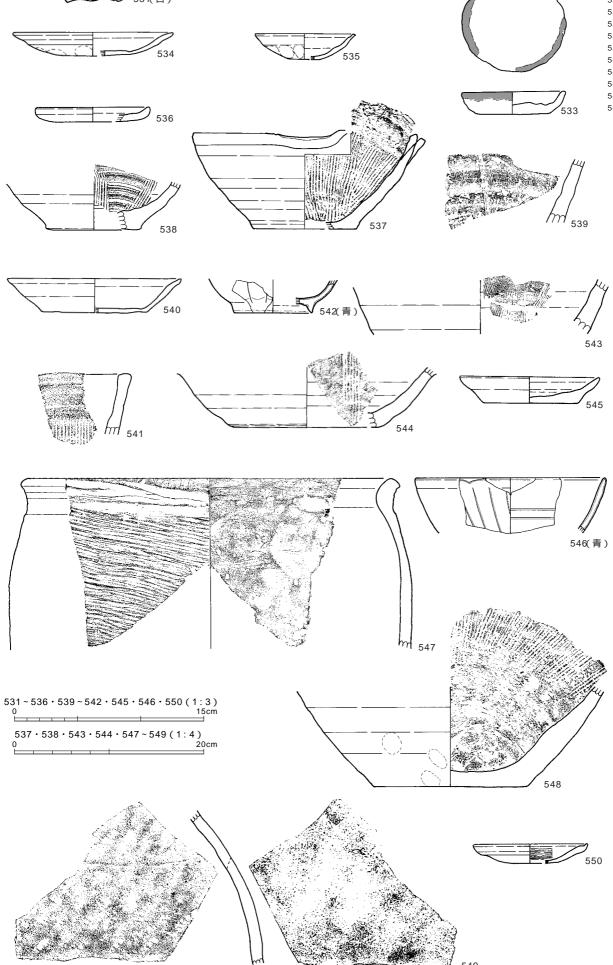
図 版 89 遺構出土土器19

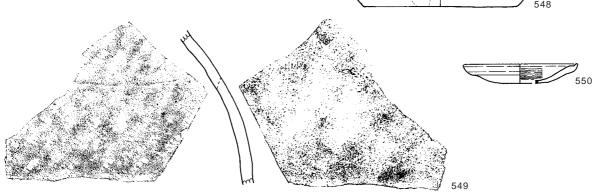


遺構出土土器20 図版90



図版 91 遺構出土土器21 531 97SE 291 532 97SE 302 533 97P 344 534.535 97SK 390 97SE 450 536 97SE 457 537 538 97P 477 539 97SE 496 97SE 497 540 541 97SE 516 542-544 97SE 522 545 97SE 523 546-550 97SE 553 536 538 544 546(青)





551~555 · 557~559 (1:4)

20cm

図版 93 遺構出土土器23

97SK1064

97SX1249

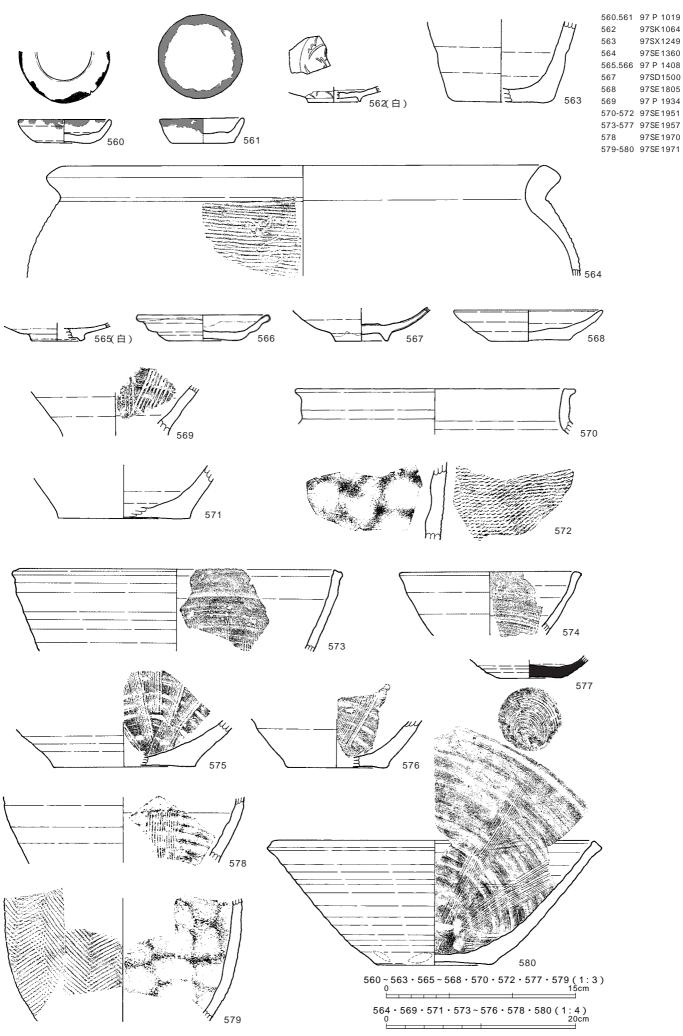
97SE1360

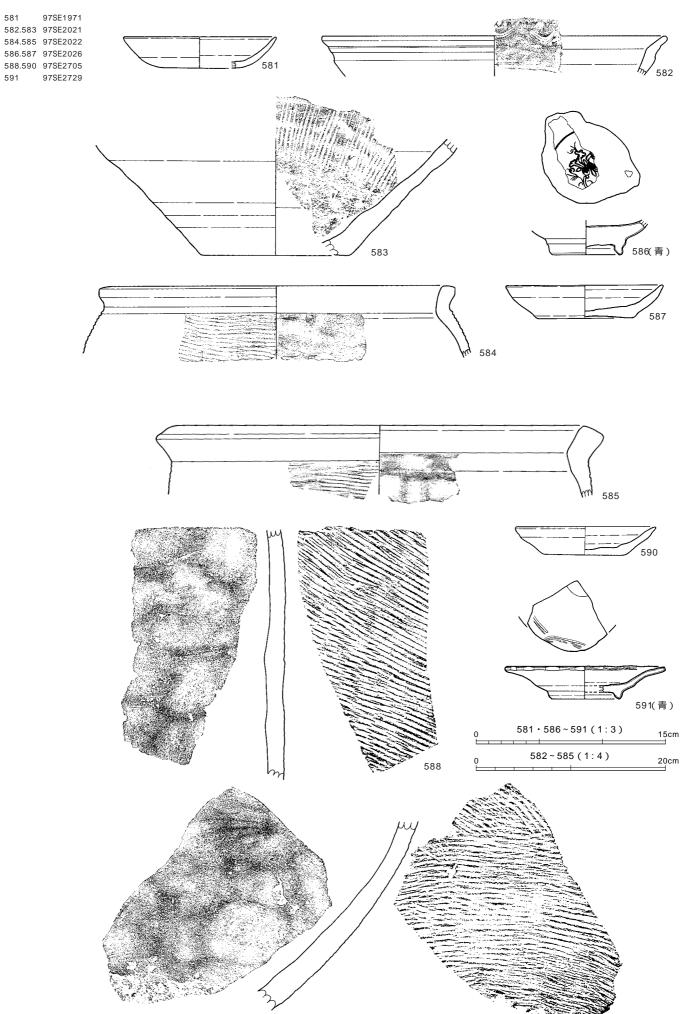
97SD1500

97SE1805

97 P 1934

97SE1970



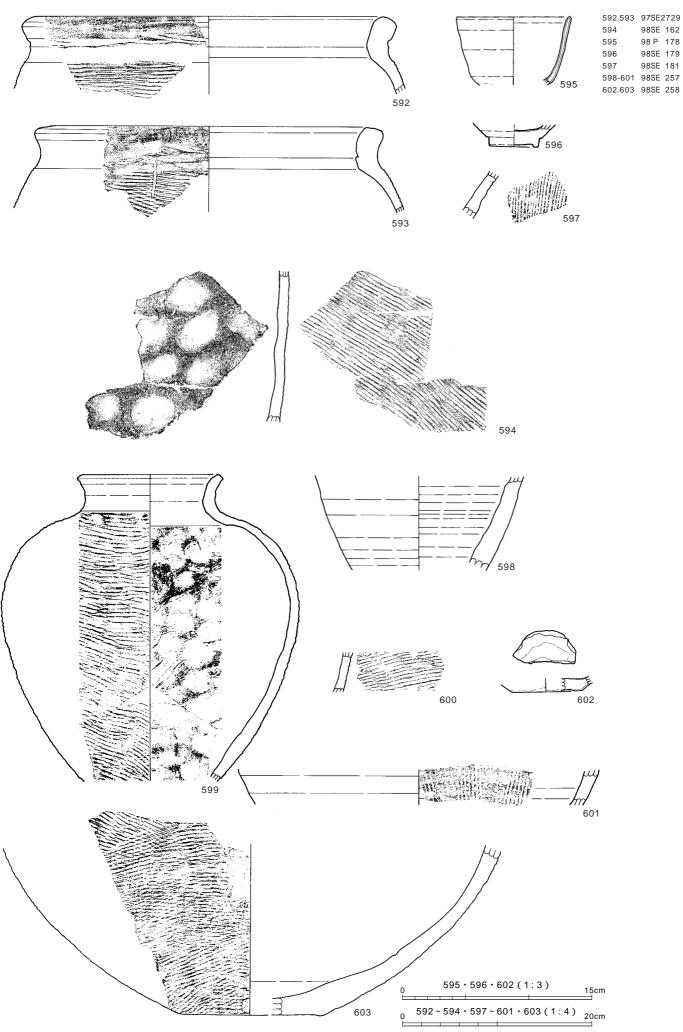


図版 95 遺構出土土器25

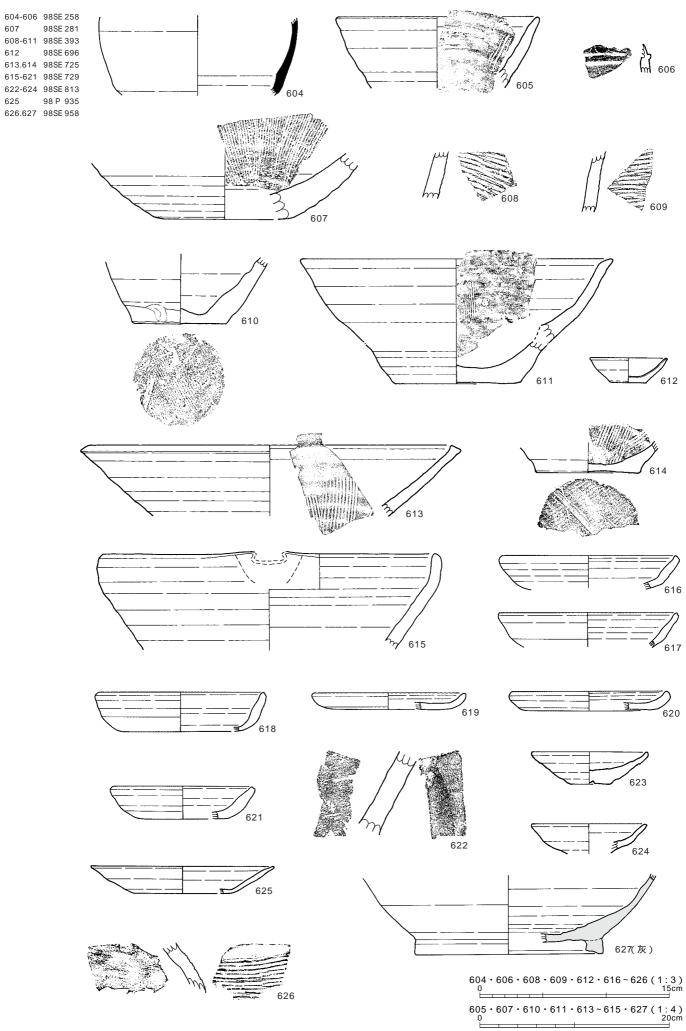
> 98SE 162 98 P 178

98SE 179

98SE 181



遺構出土土器26 図 版 96



図版 97 遺構出土土器27 628.629 98 P 1023 630 631-636 98SK1185 637-641 97SD 201 642.643 97SE 774 644-652 97SE1000 632 γγ <sub>633</sub> 635 641 The second secon 642 643 647 644 649 652 651 628 ~ 631 · 634 ~ 641 · 644 ~ 646 (1:3) 632 · 633 · 642 · 643 · 647 ~ 652 (1:4)

98SE1137

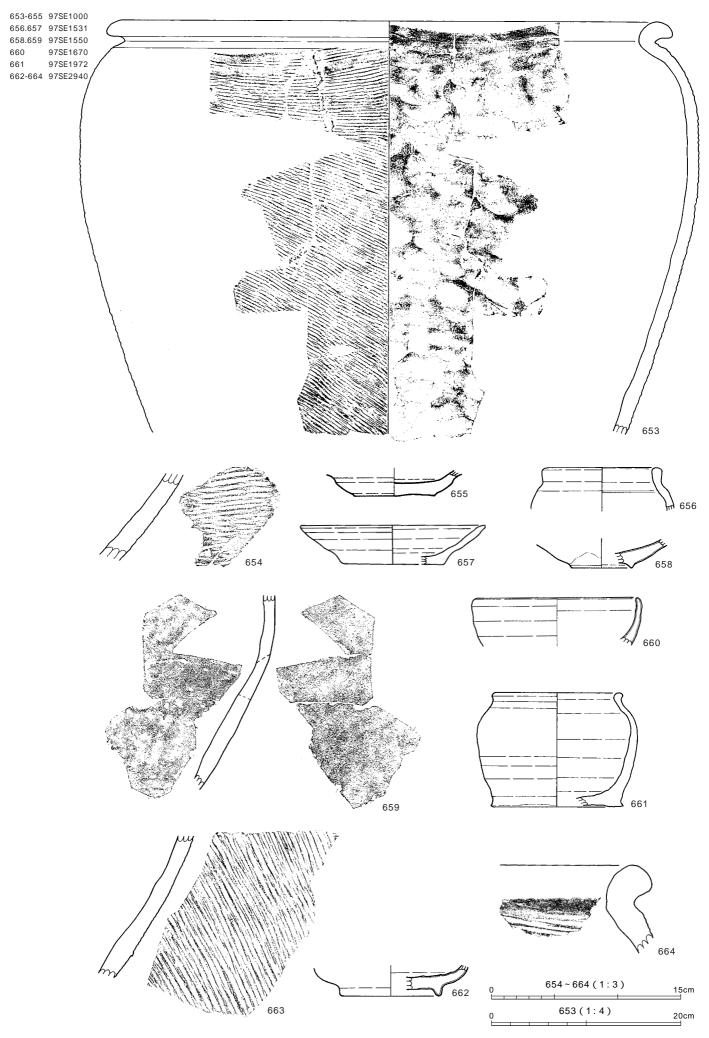
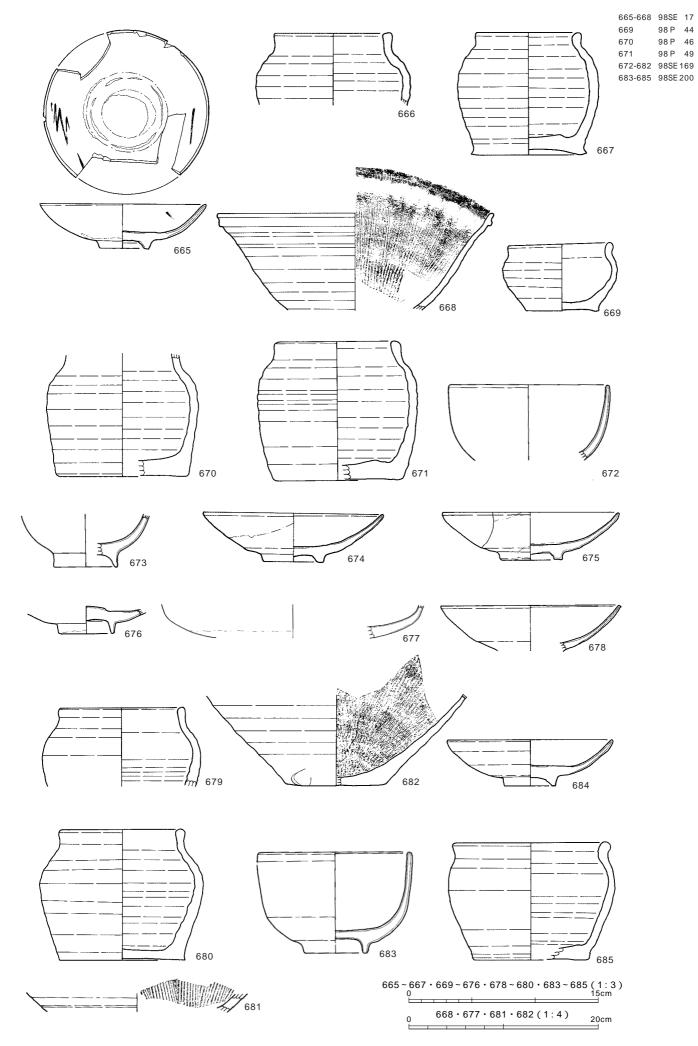
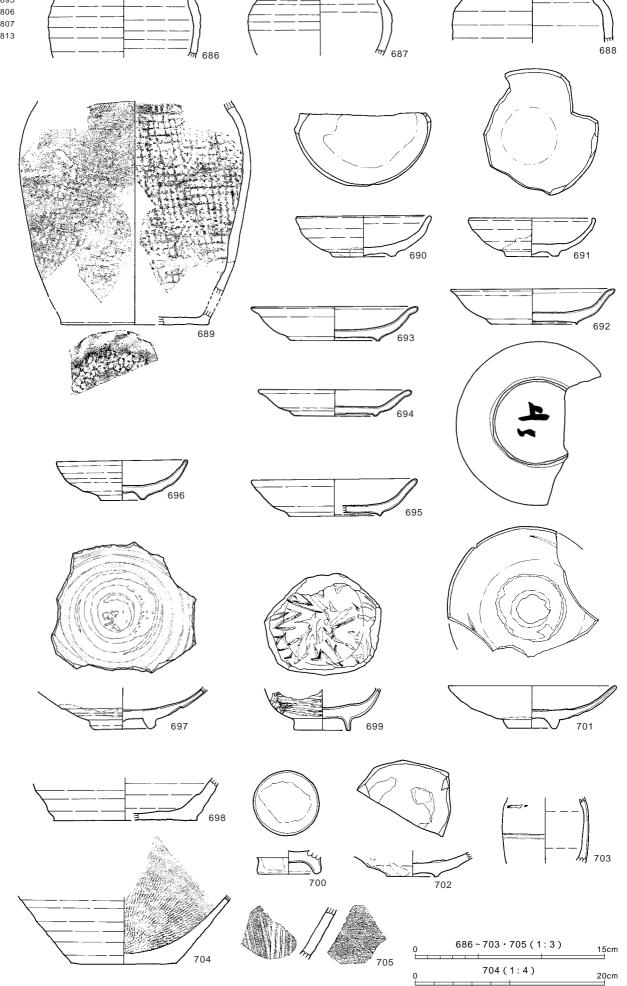
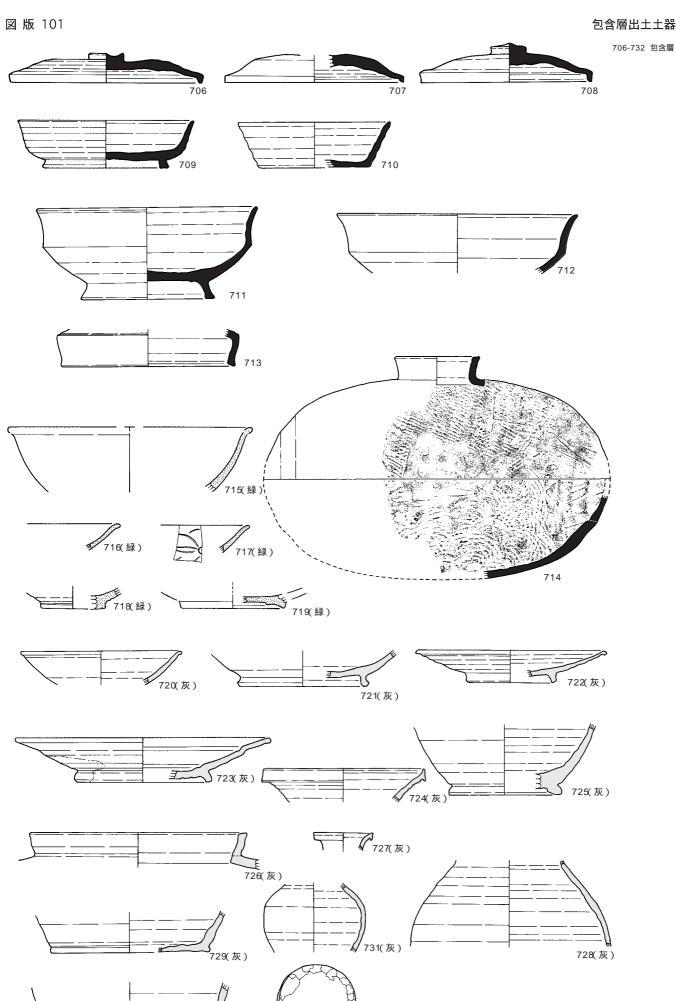


図 版 99 遺構出土土器29





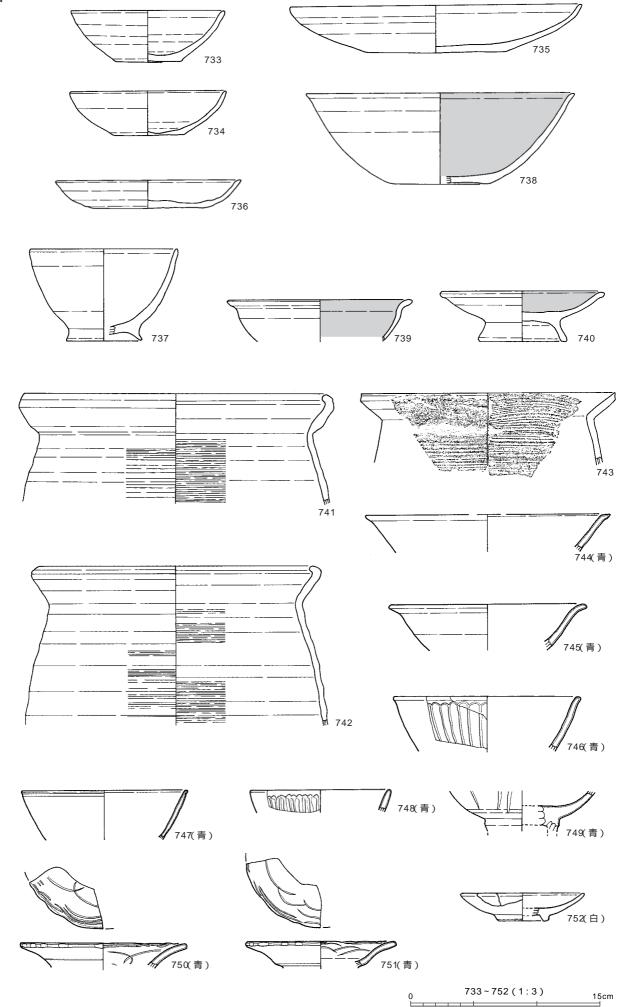


706~713·715~732(1:3)

714 (1:4)

15cm

733-752 包含層



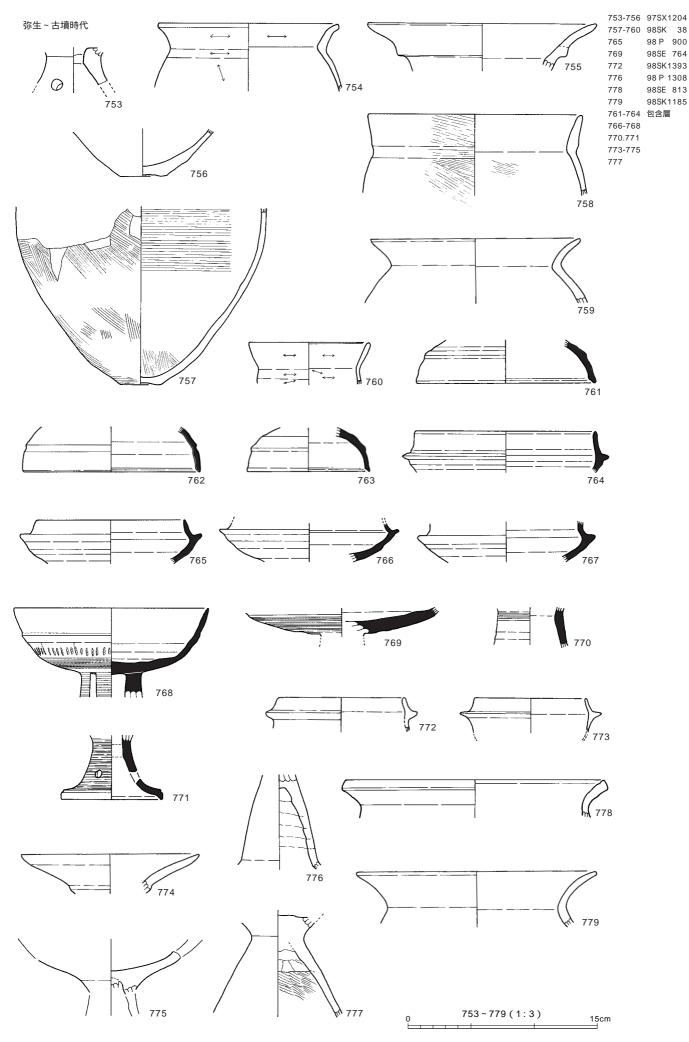
古墳時代以前土器1 図版 103

> 98 P 900 98SE 764

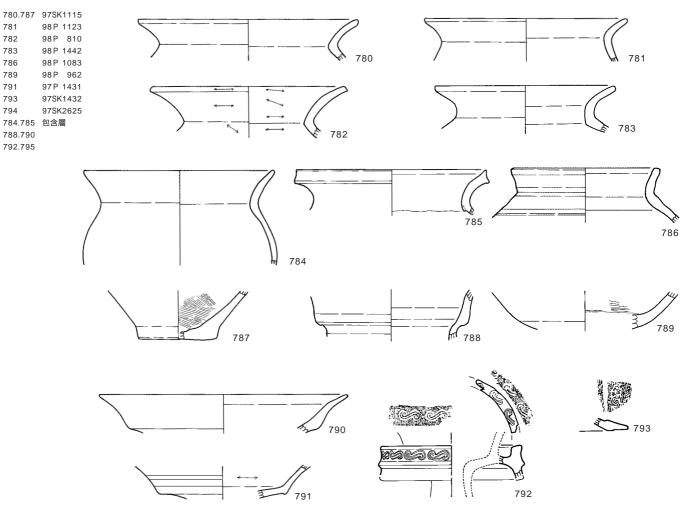
> 98SK1393

98 P 1308

98SK1185



古墳時代以前土器2 図版 104

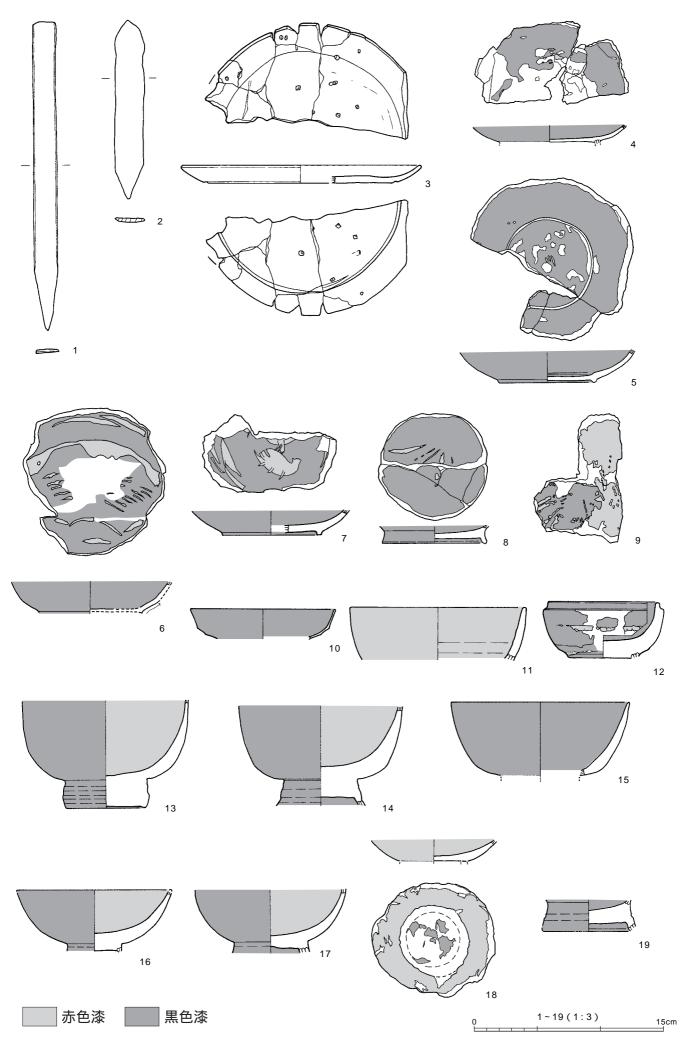


780~795 (1:3)

15cm

縄文時代

図 版 105 木器実測図1



木器実測図2 図版 106

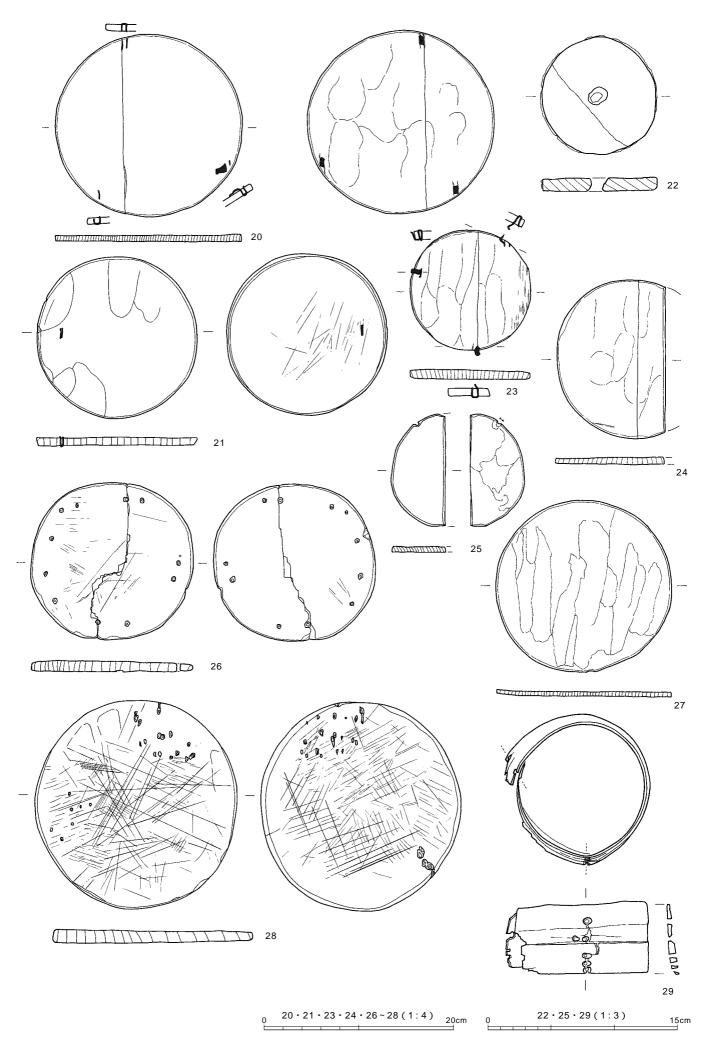
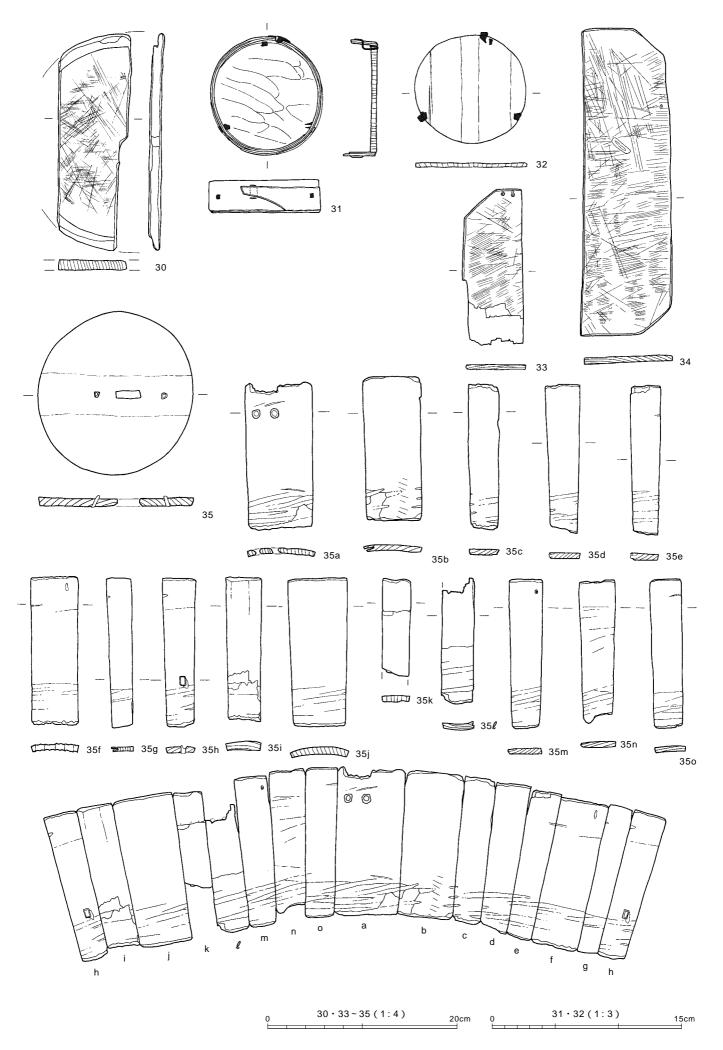


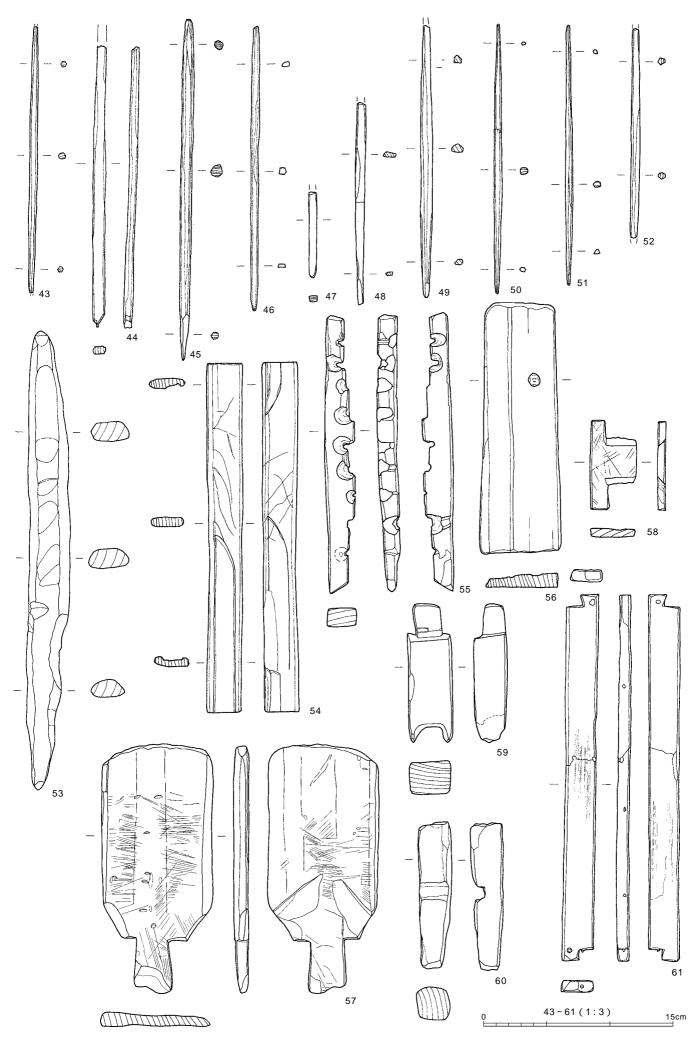
図 版 107 木器実測図3



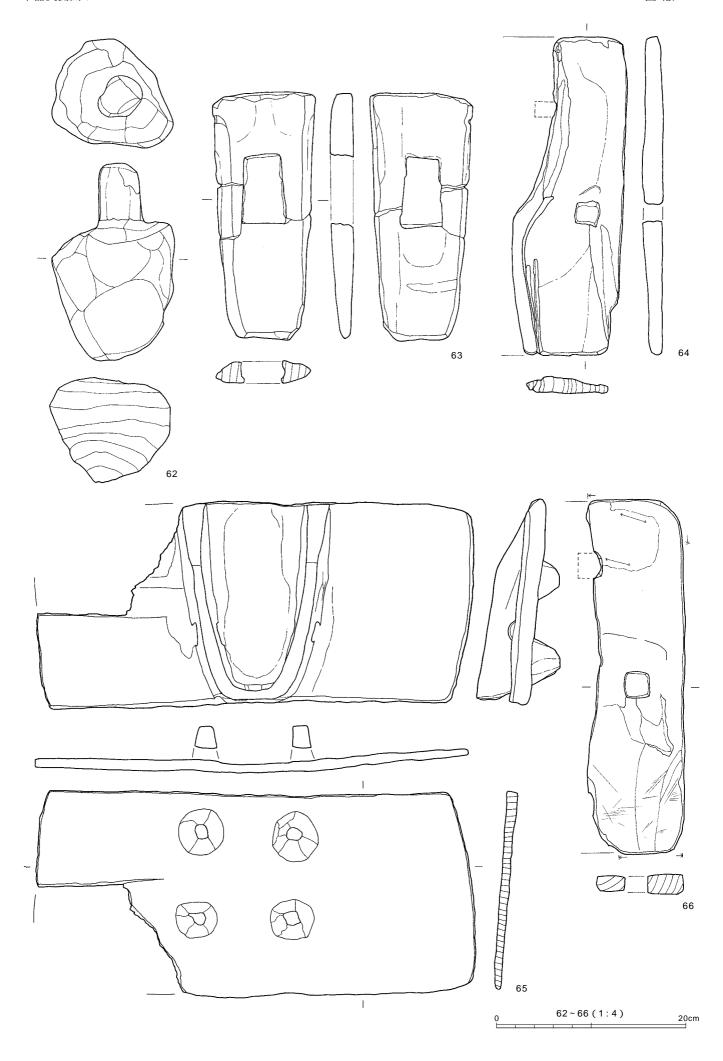
木器実測図4 図 版 **108** 

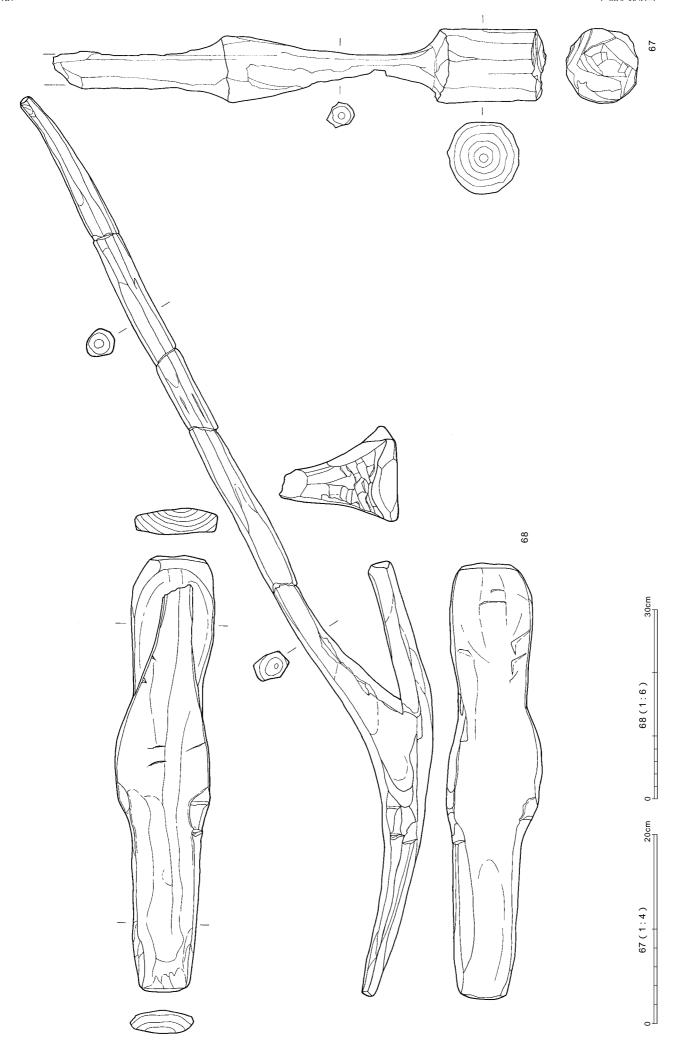


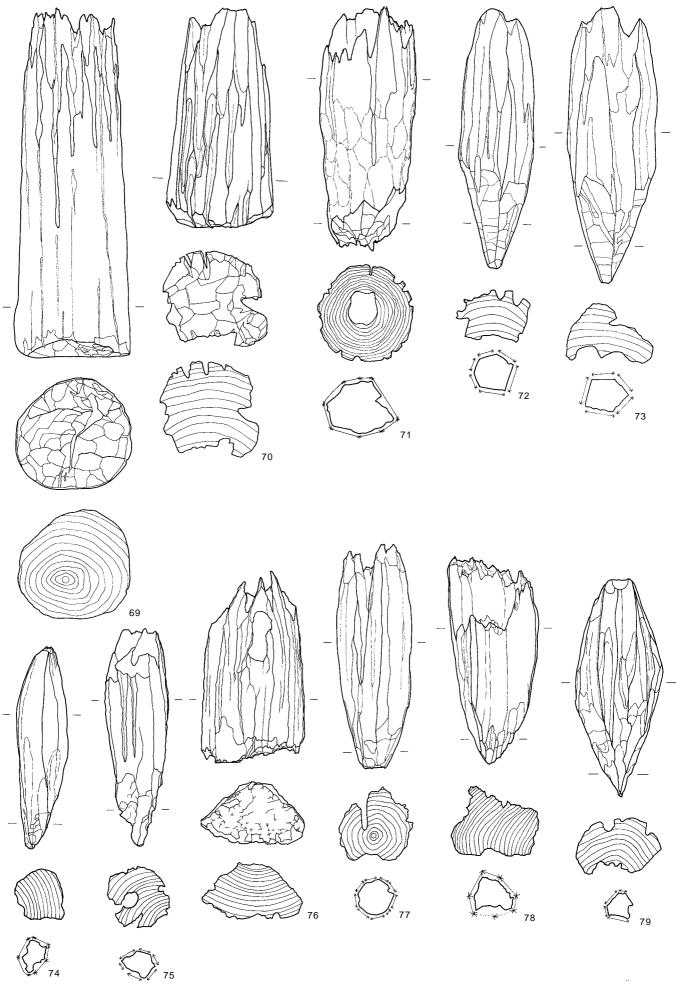
図 版 109 木器実測図 5



木器実測図 6 図 版 **110** 



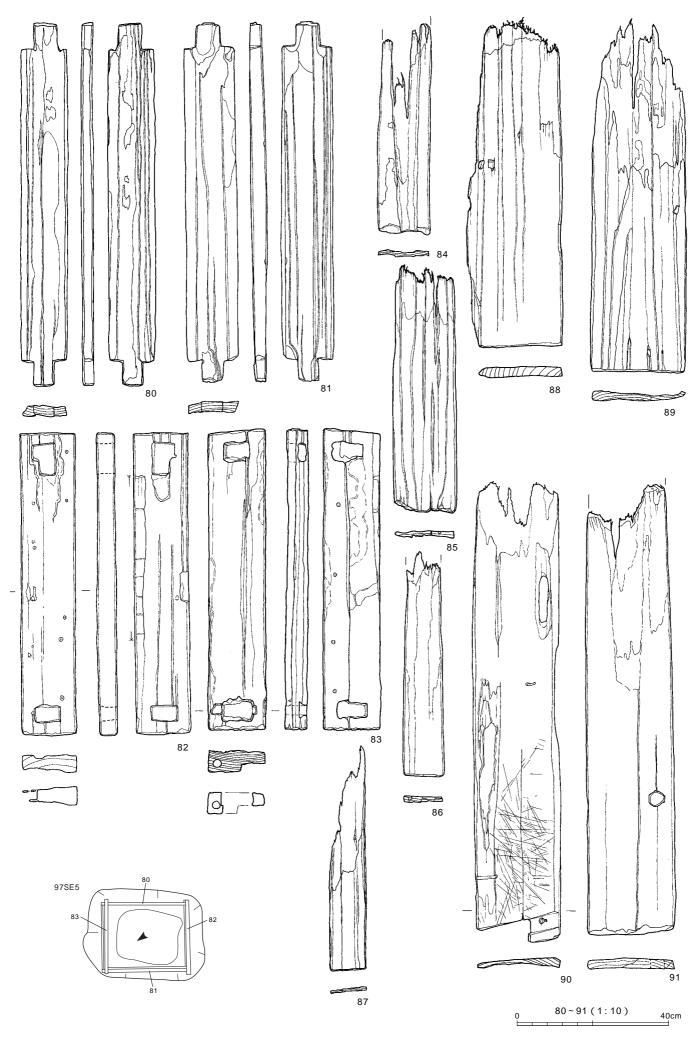




69~79(1:10)

40cm

図 版 113 木器実測図9



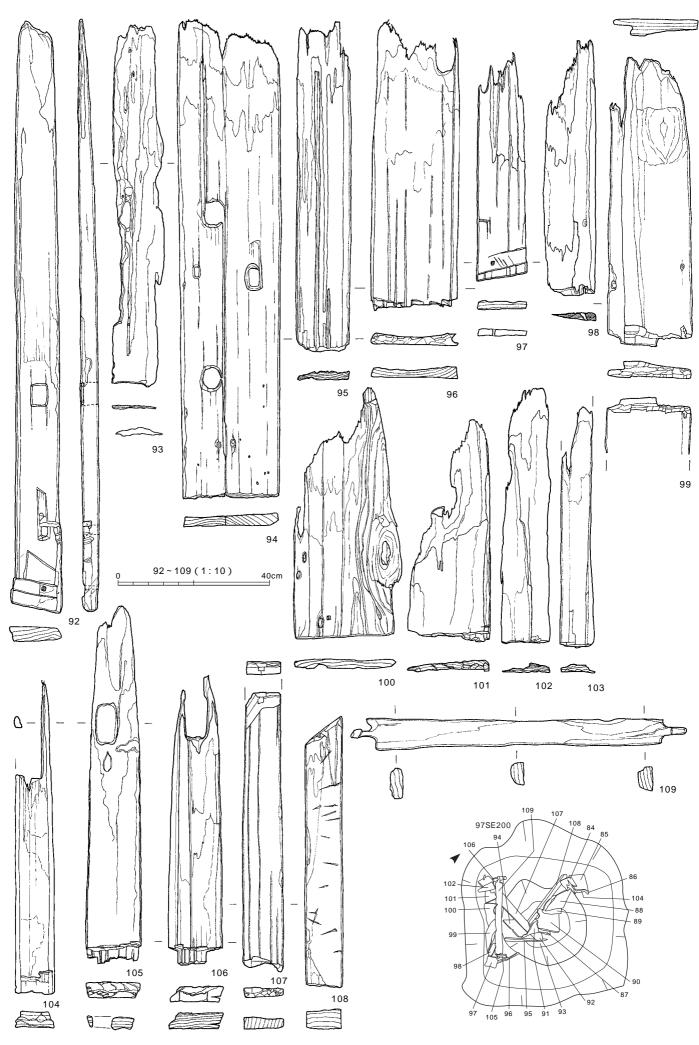
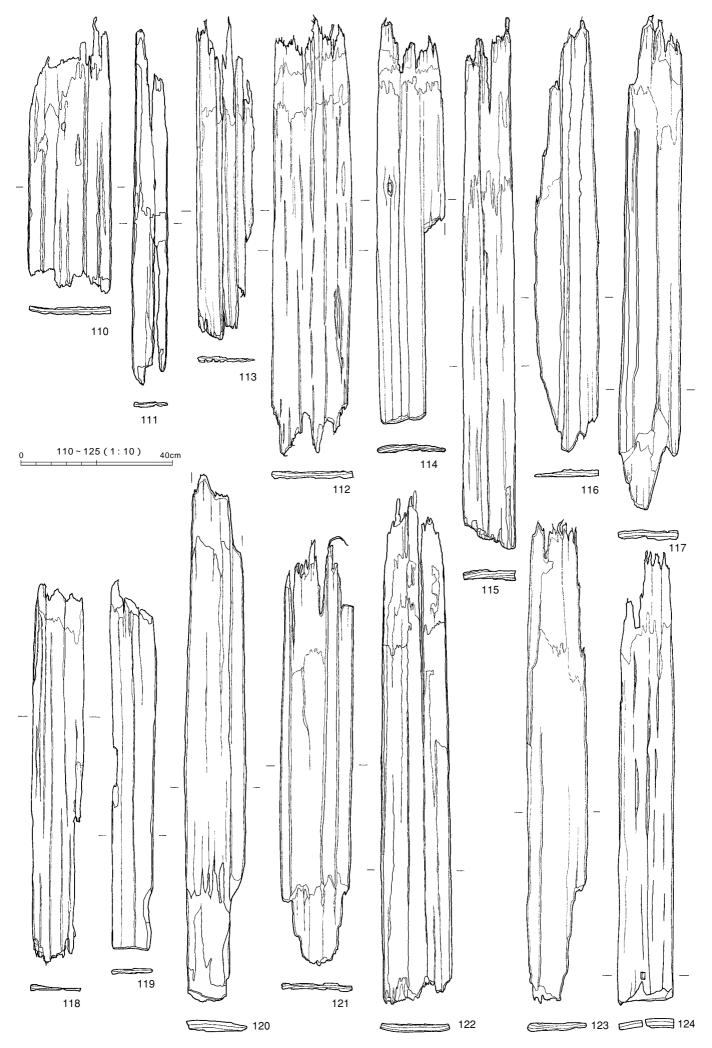


図 版 115 木器実測図 11



木器実測図12 図 版 116

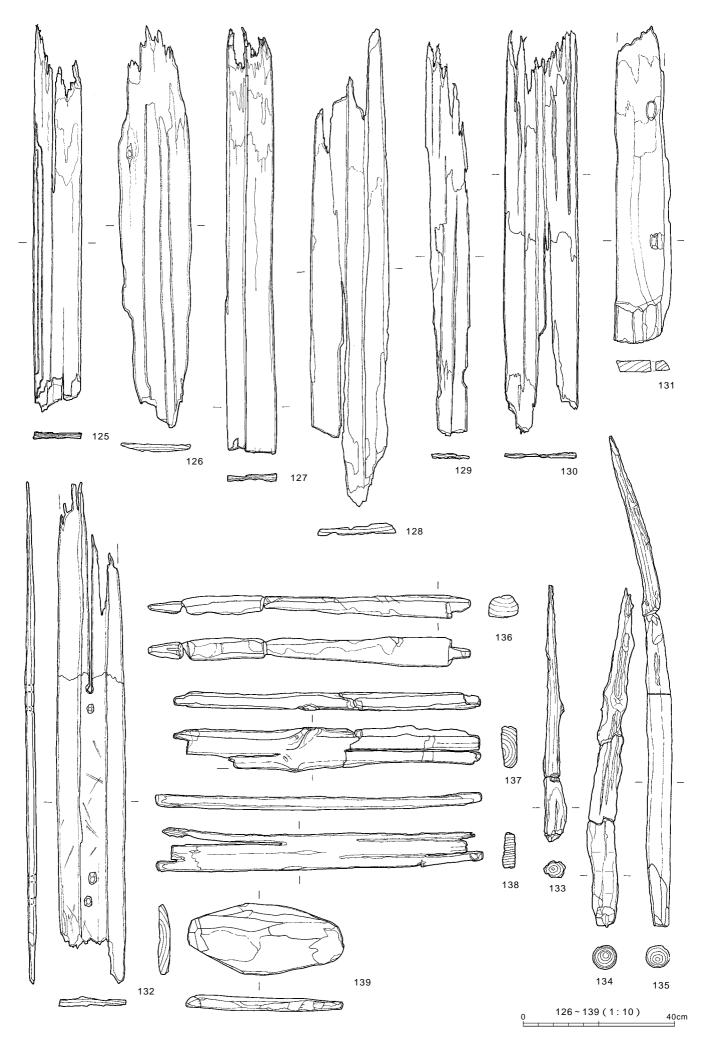
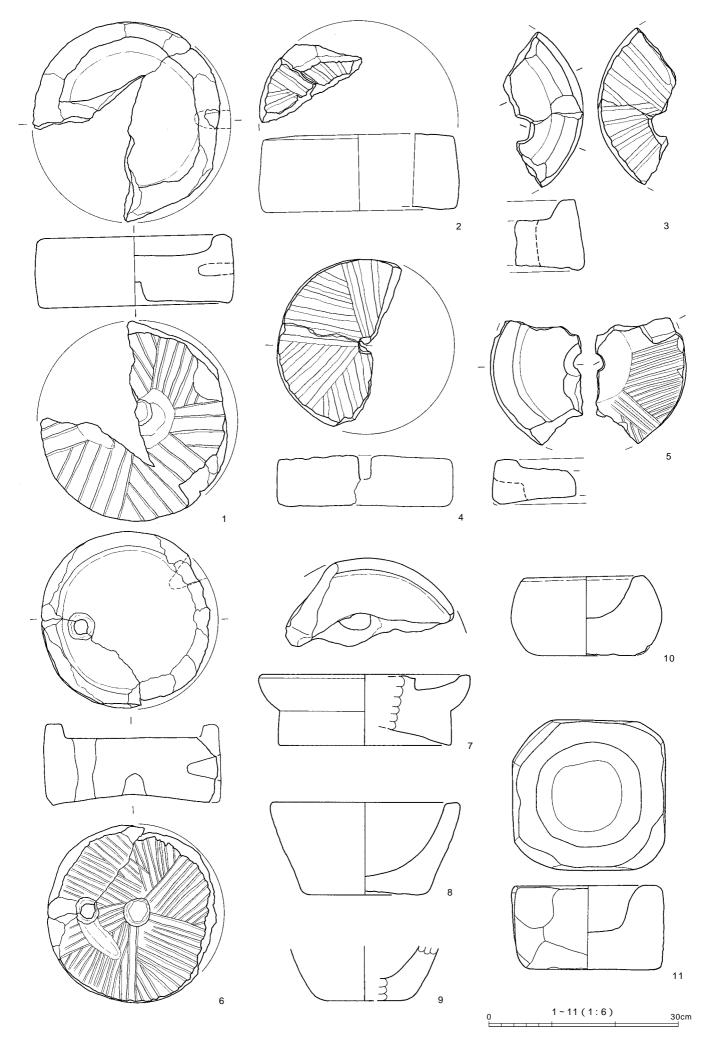
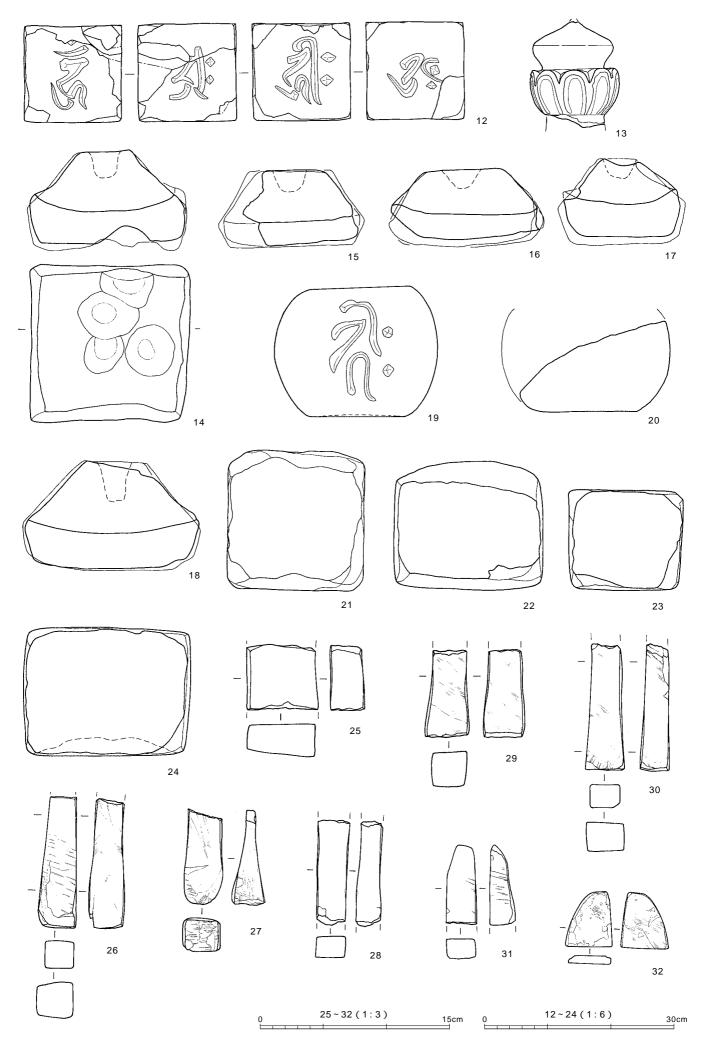


図 版 117 石器実測図1



石器実測図 2 図 版 118



図版 119 石器実測図3



鉄滓

33~43(1:3) 15cm 石器実測図4

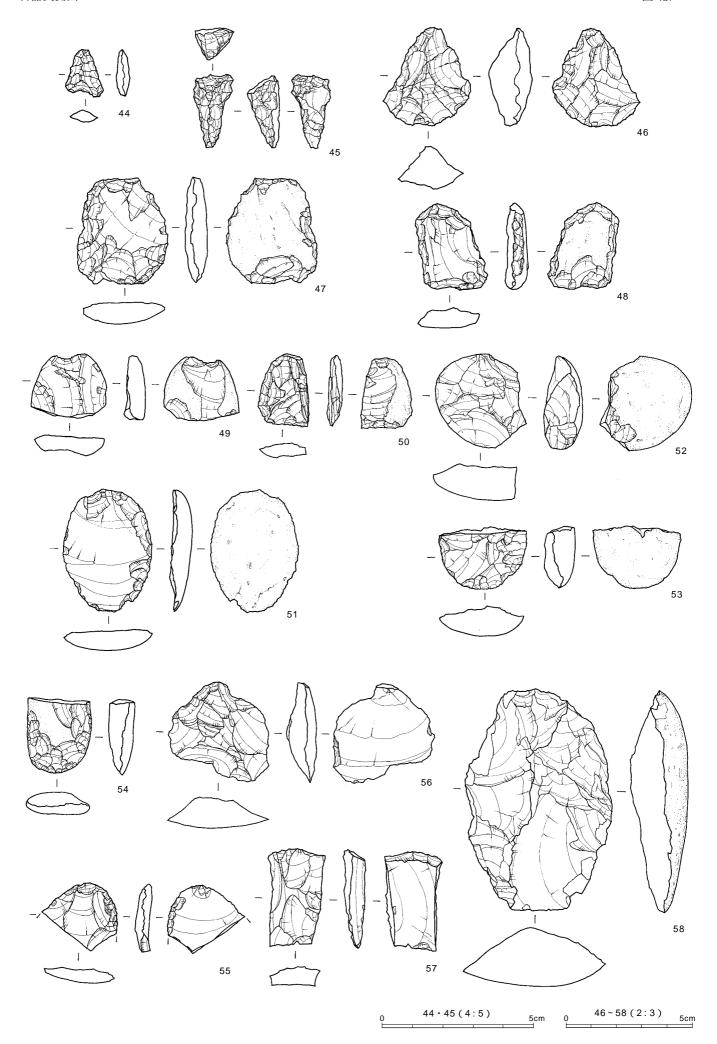
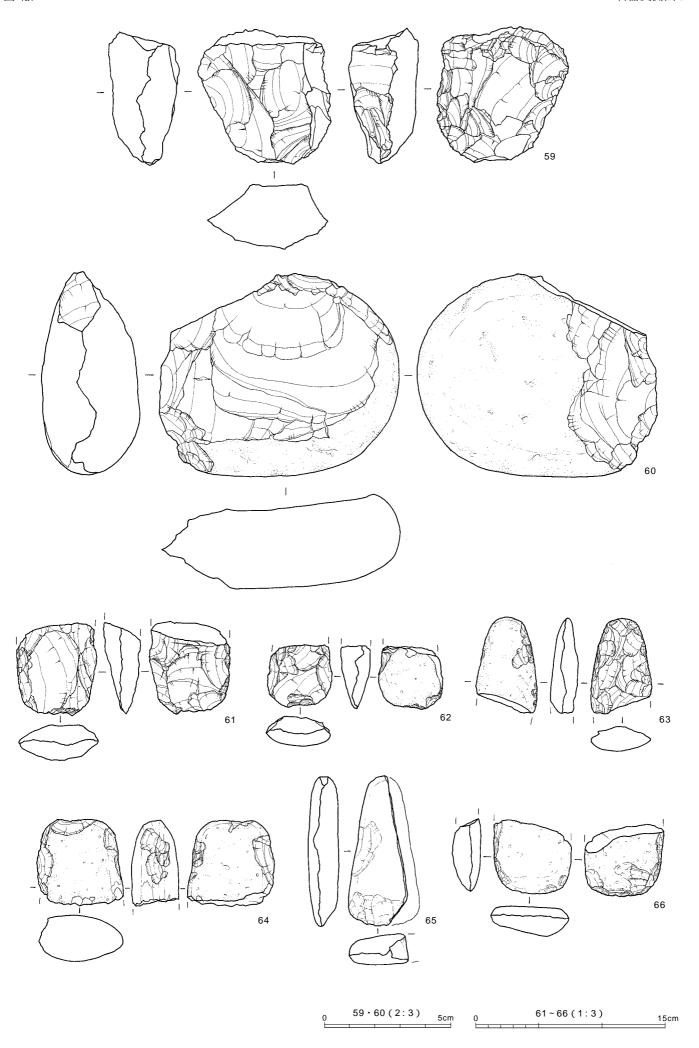


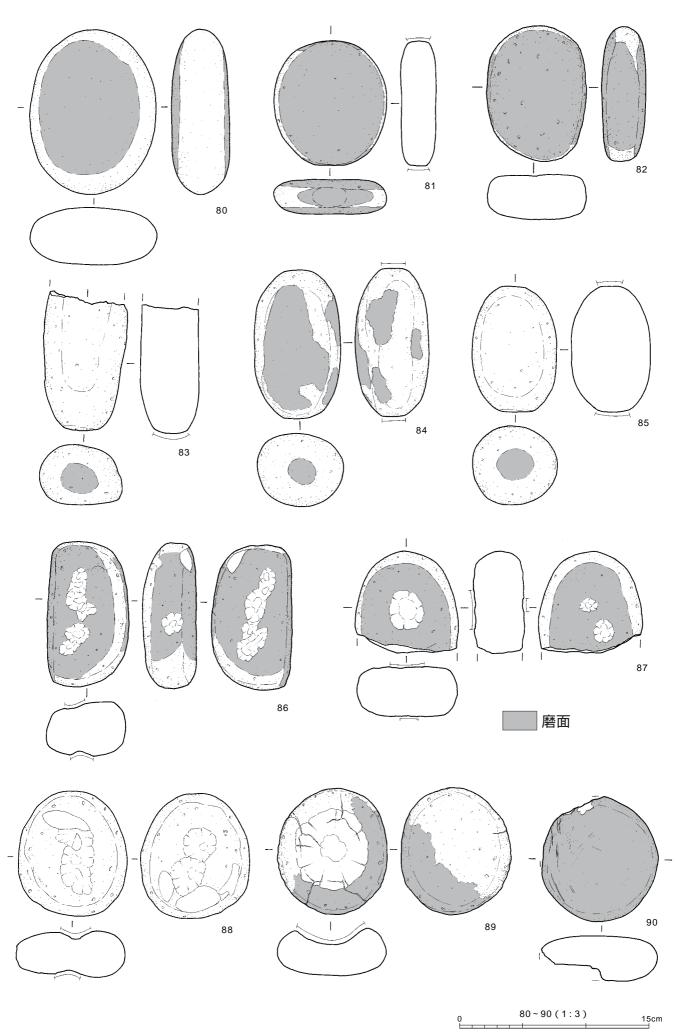
図 版 121 石器実測図 5



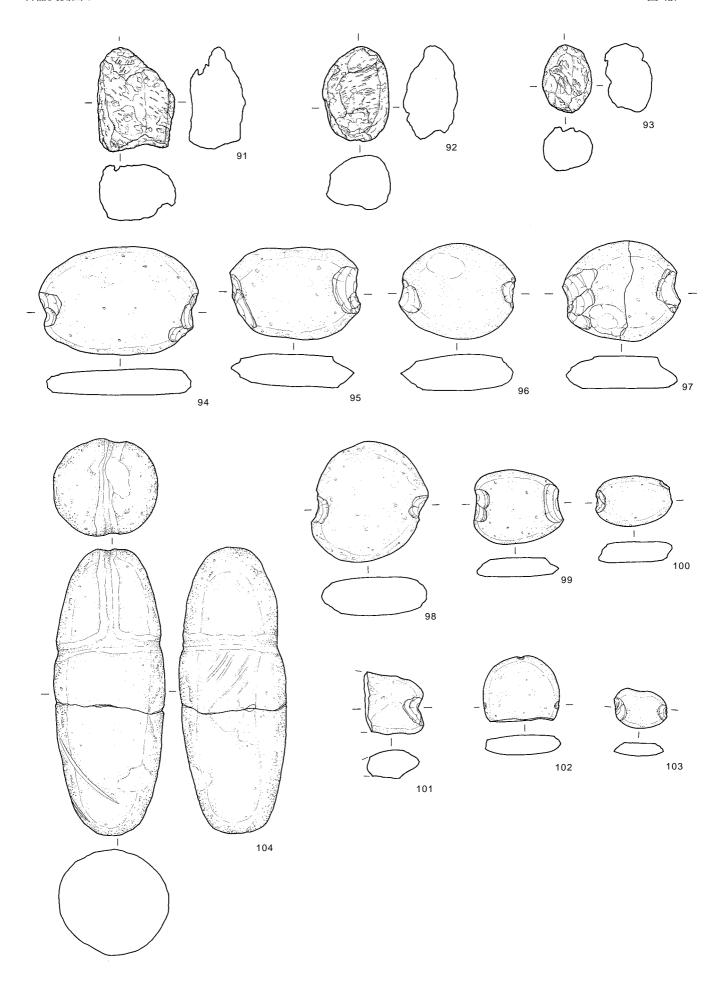
石器実測図 6 図 版 **122** 

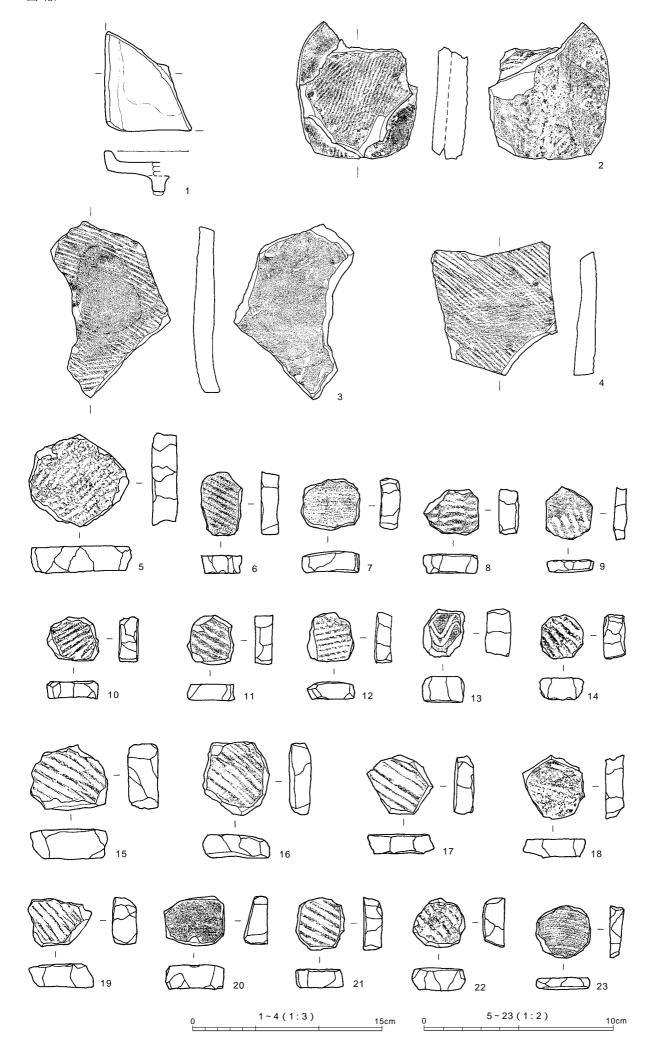


図 版 123 石器実測図7

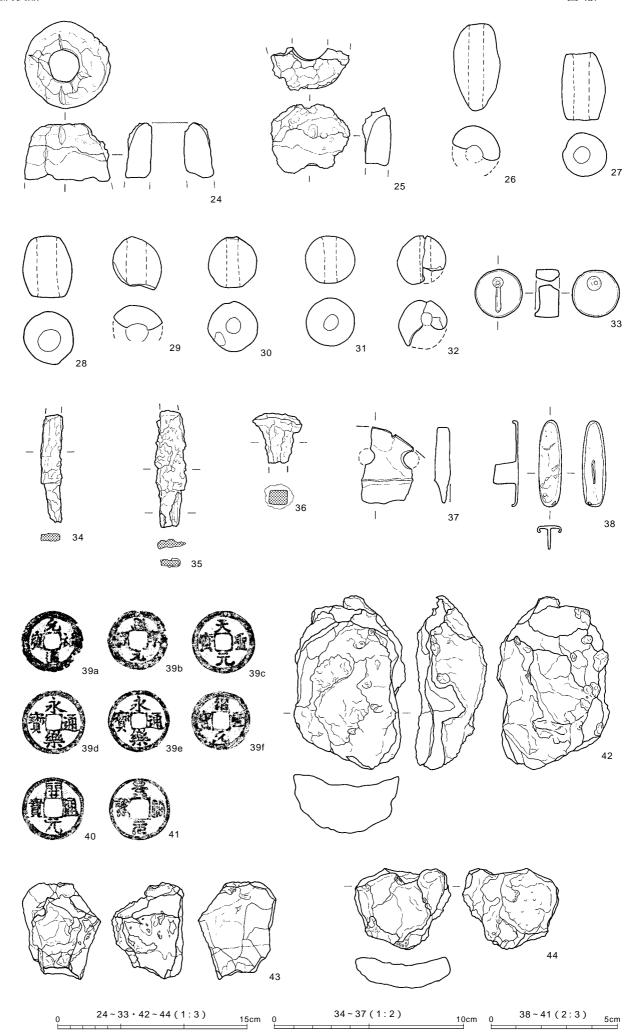


石器実測図8





土製品·金属製品 図 版 126





新保遺跡・江島神社遺跡周辺



図 版 128 古墓検出状況



古墓検出状況 北から



古墓検出状況 東上から



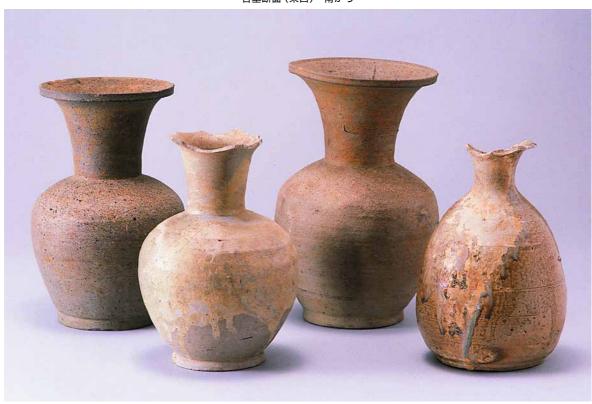
古墓検出状況(木棺内土除去前) 南から



古墓検出状況 北西から



古墓断面(東西) 南から



四隅に副葬された土器









98SF1124出土状況 西から



98SD1000集中区1出土状況 南東から



98SD1000集中区1出土状況 北東から



98SD1000 出土状況 北西から

遺跡周辺空撮写真 図版 131



遺跡周辺の航空写真

[約1/20,000 日本地図センター発行 1989年5月27日撮影]



遺跡周辺の航空写真 2 [約1/44,000 日本地図センター発行 1947年11月4日米軍撮影]

図 版 132 遺構個別写真1



SB1 完掘状況 南東から



SB1柱穴 (97P1250) 断面 南から



SB1柱穴 (97P1251) 断面 北から



SB3 完掘状況 西から



SB3柱穴 (97P2605) 検出状況 南から



SB4 完掘状況 西から



SB4柱穴 (97P2609) 断面 南から

遺構個別写真2 図 版 133



SB2 完掘状況 北から



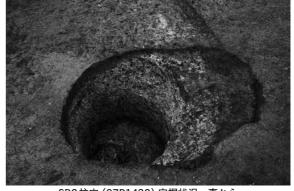
SB2柱穴 (97P1434) 断面 南から



SB2柱穴 (97P1434) 完掘状況 南から



SB2柱穴 (97P1433) 断面 東から



SB2柱穴 (97P1432) 完掘状況 東から



SB2柱穴 (97P1435) 完掘状況 東から



SB2 完掘状況 北から (奥が SB1)

図 版 134 遺構個別写真3





SB5柱穴 (97P2615) 断面 東から



SB6 完掘状況 南から



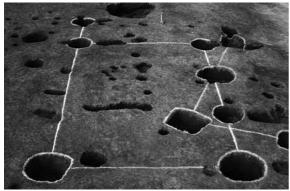
SB7 完掘状況 南から



SB8 完掘状況 北東から



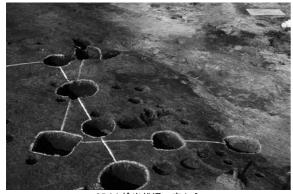
SB9 完掘状況 北西から



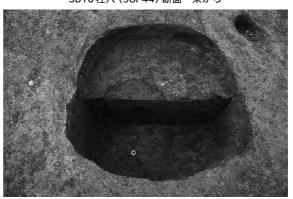
SB10 検出状況 南から



SB10柱穴 (98P44) 断面 東から



SB11 検出状況 南から



SB11柱穴 (98P682) 断面 南から

遺構個別写真4 図 版 135



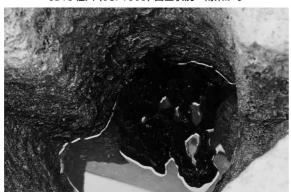
SB13 完掘状況 南東から



SB13 柱穴 (98P1303) 出土状況 南東から



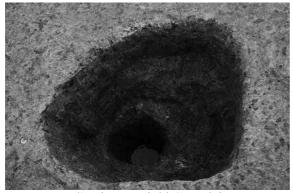
SB13柱穴 (98P1323) 出土状況 北西から



SB13柱根 (98P1381) 出土状況 南西から



SB13柱根 (98P1212) 出土状況 南東から

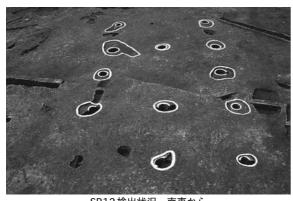


SB13柱穴 (98P1080) 完掘状況 南東から



SB13 完掘状況 南東から

図 版 136 遺構個別写真5



SB12 検出状況 南東から



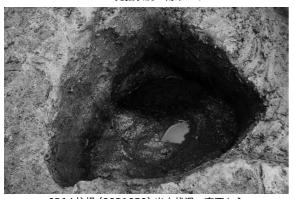
SB12柱穴 (98P1189) 検出状況



SB14 完掘状況 南東から



SB14柱穴 (98P1252) 断面 南西から



SB14 柱根 (98P1252) 出土状況 南西から



SB14礎板 (98P1253) 出土状況 東から



SB14 礎板 (98P1254) 出土状況 北東から



SB14礎板 (98P1301) 出土状況 東から

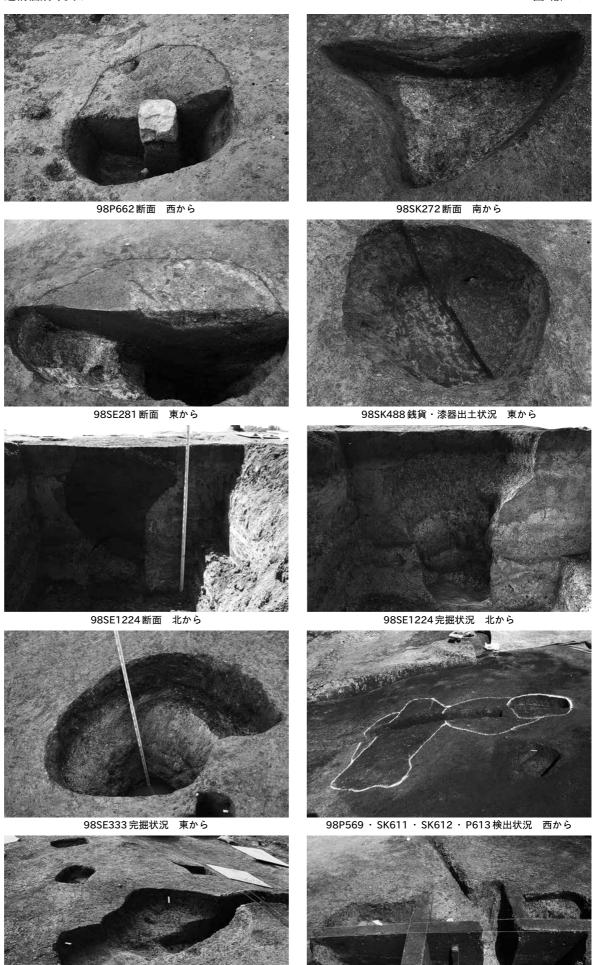


SB14柱穴 (98P1397) 断面 南東から



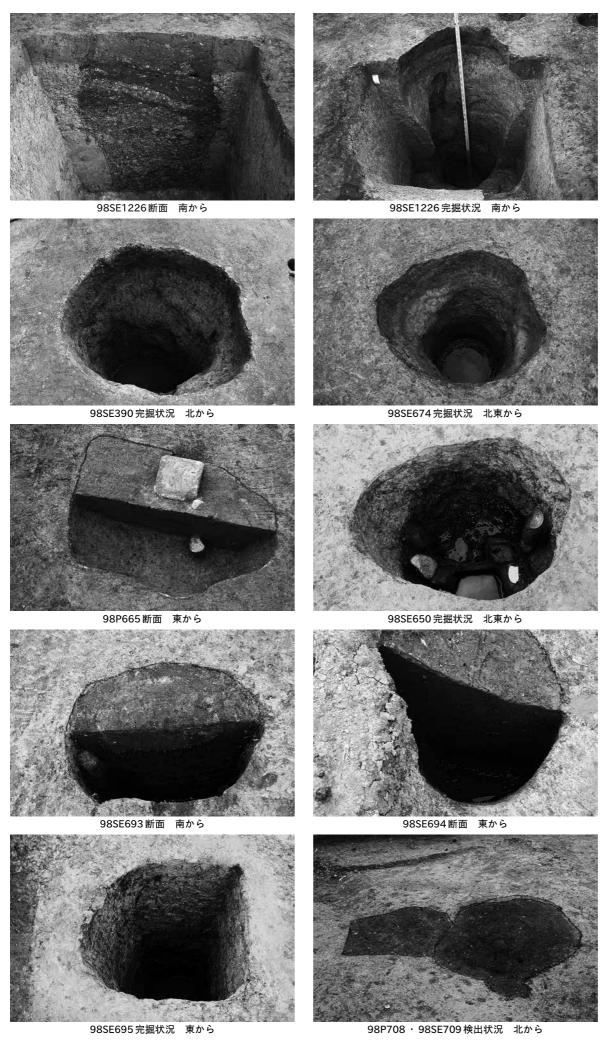
SB14柱根・礎板 (98P1397) 出土状況 北東から

遺構個別写真6 図 版 137



98P569 完掘状況 南東から 98SK612断面 南から

図 版 138 遺構個別写真7



遺構個別写真8 図 版 139

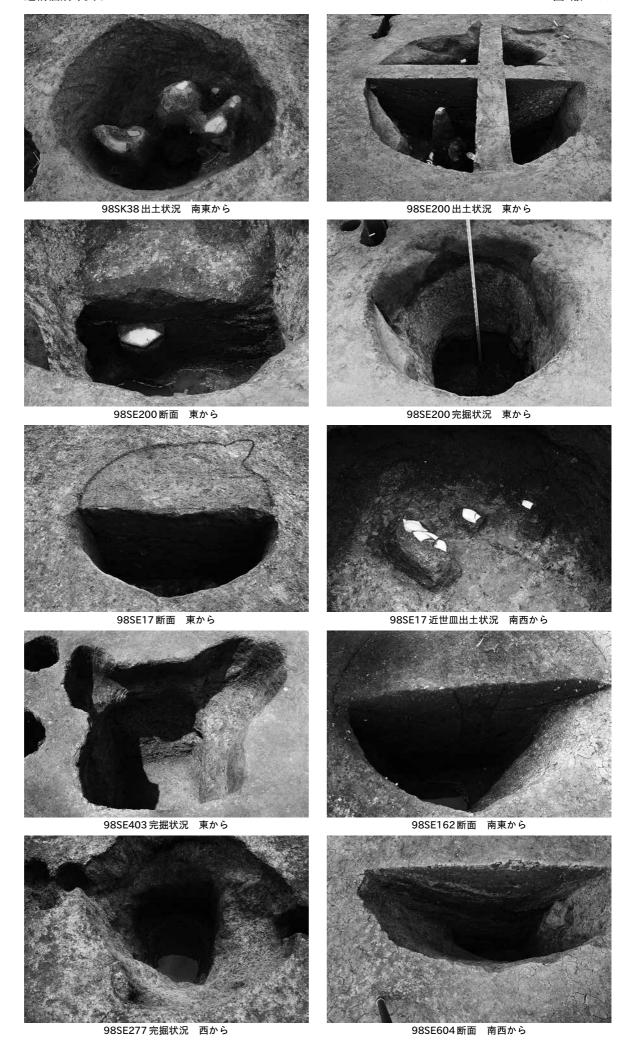
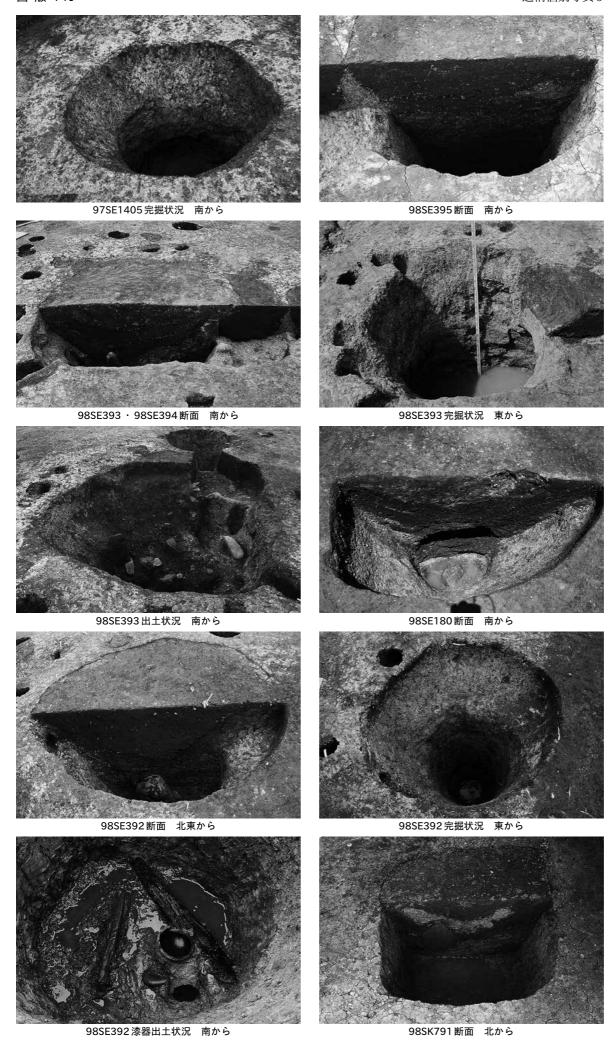


図 版 140 遺構個別写真 9



遺構個別写真10 図 版 141

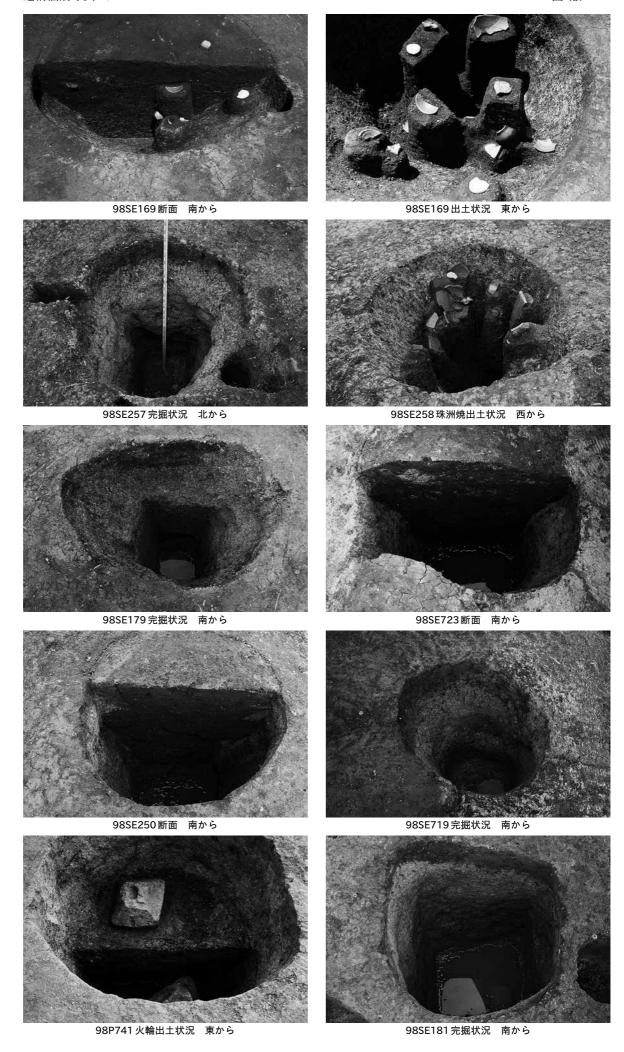
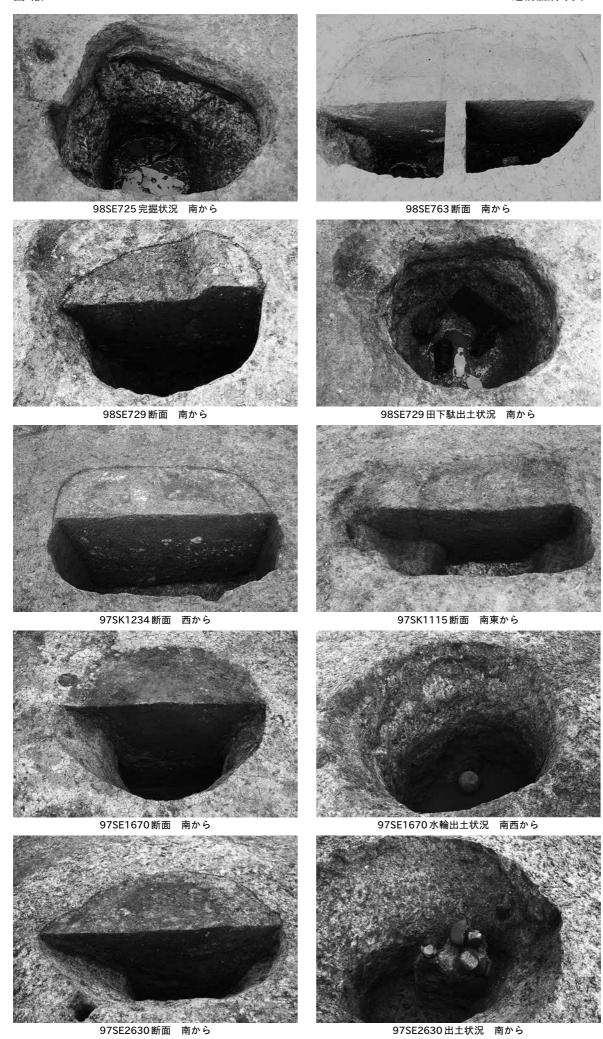


図 版 142 遺構個別写真11



遺構個別写真12 図 版 143

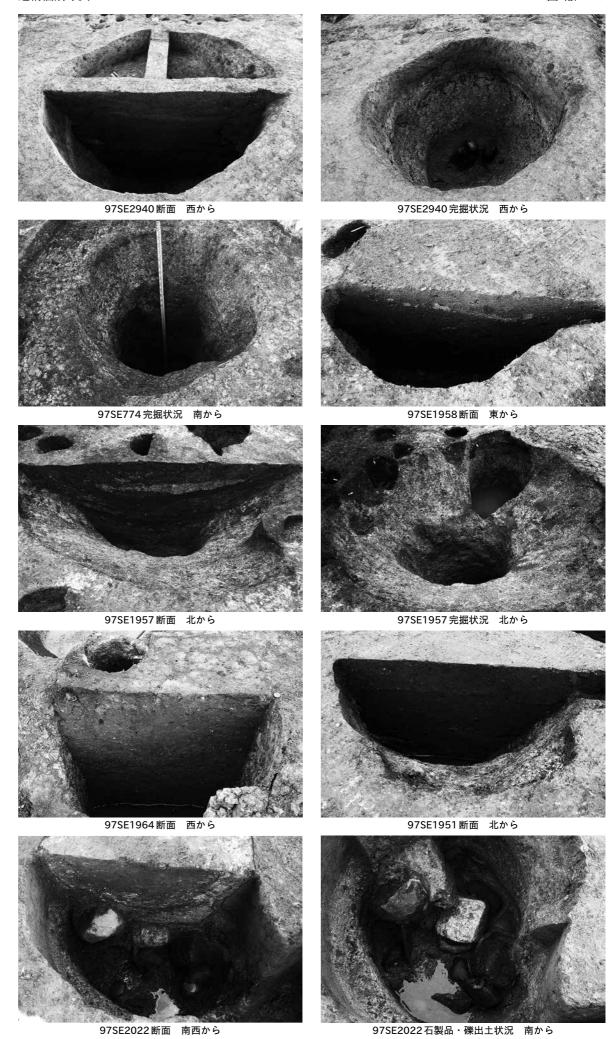
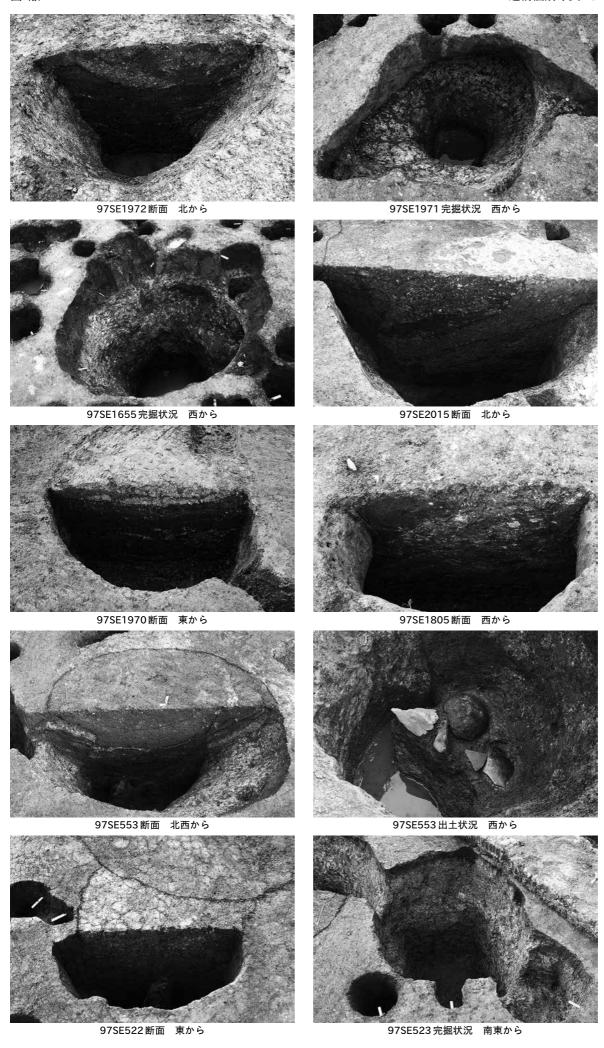
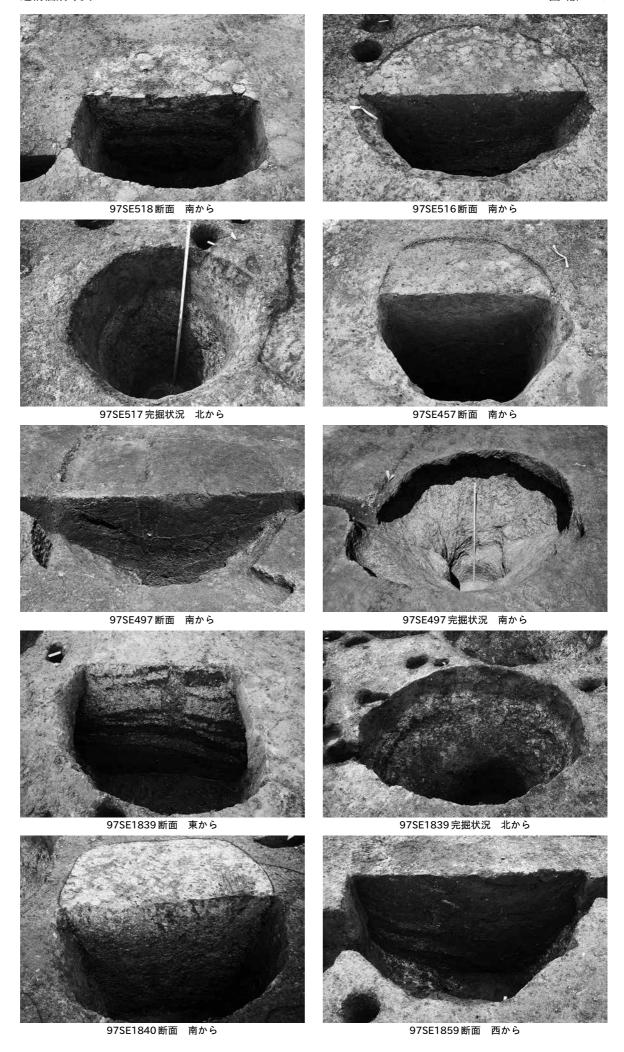


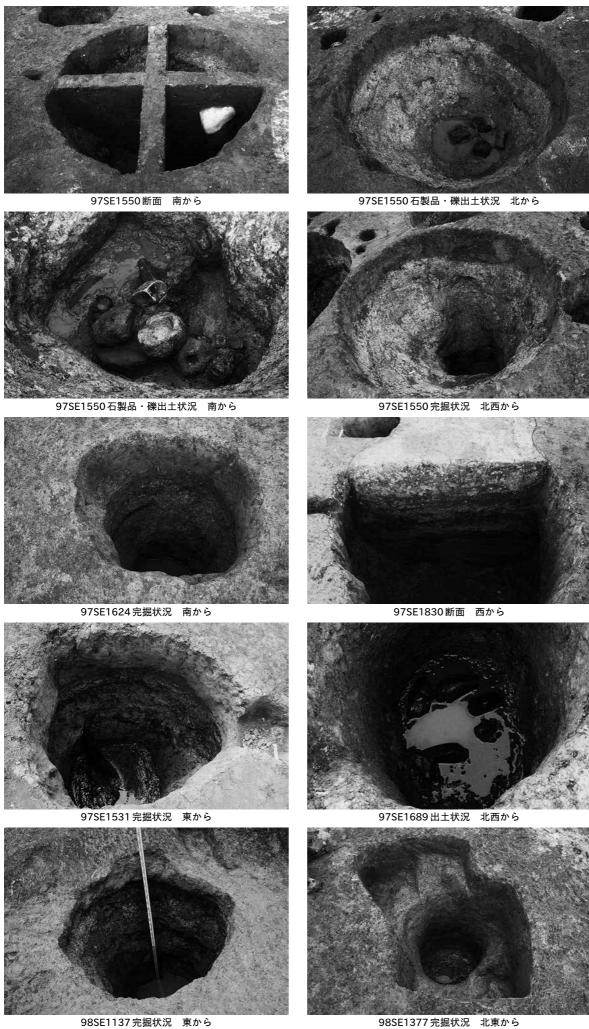
図 版 144 遺構個別写真13



遺構個別写真14 図 版 145



図版 146 遺構個別写真15



98SE1377 完掘状況 北東から

遺構個別写真16 図 版 147

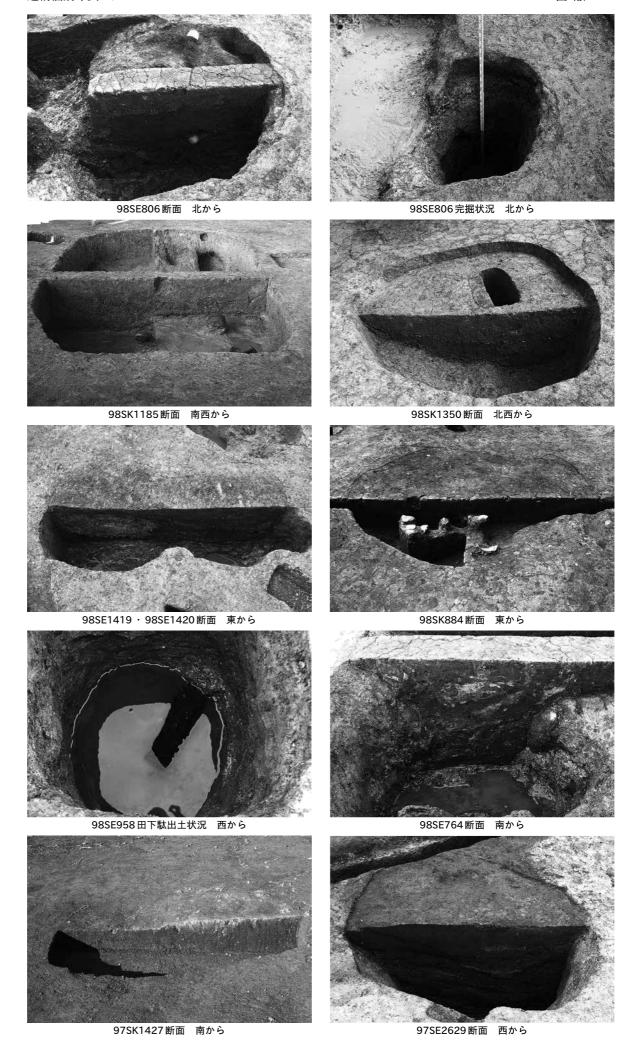
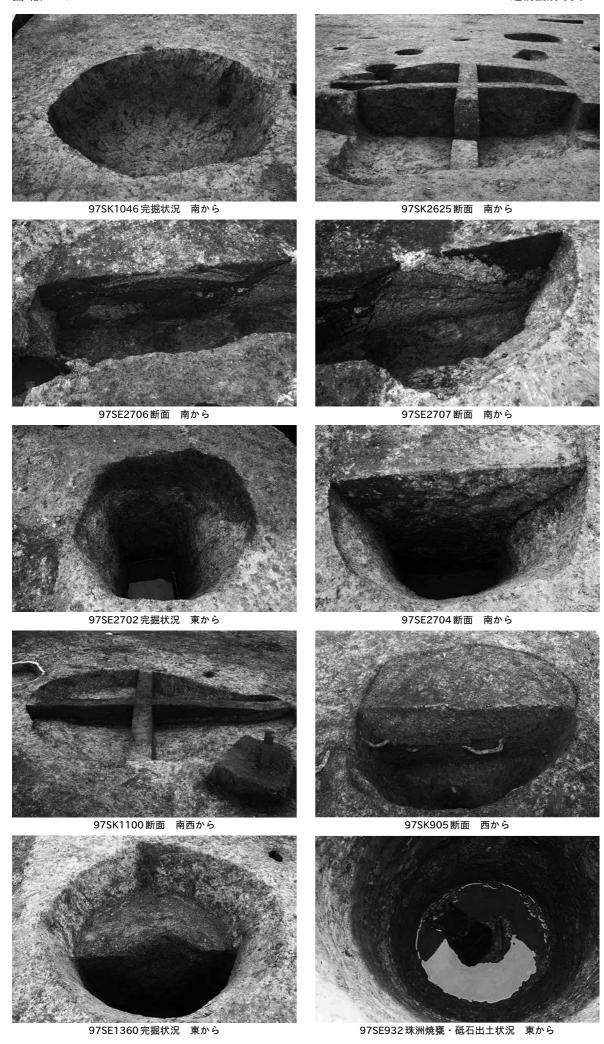


図 版 148 遺構個別写真17



遺構個別写真18 図 版 149

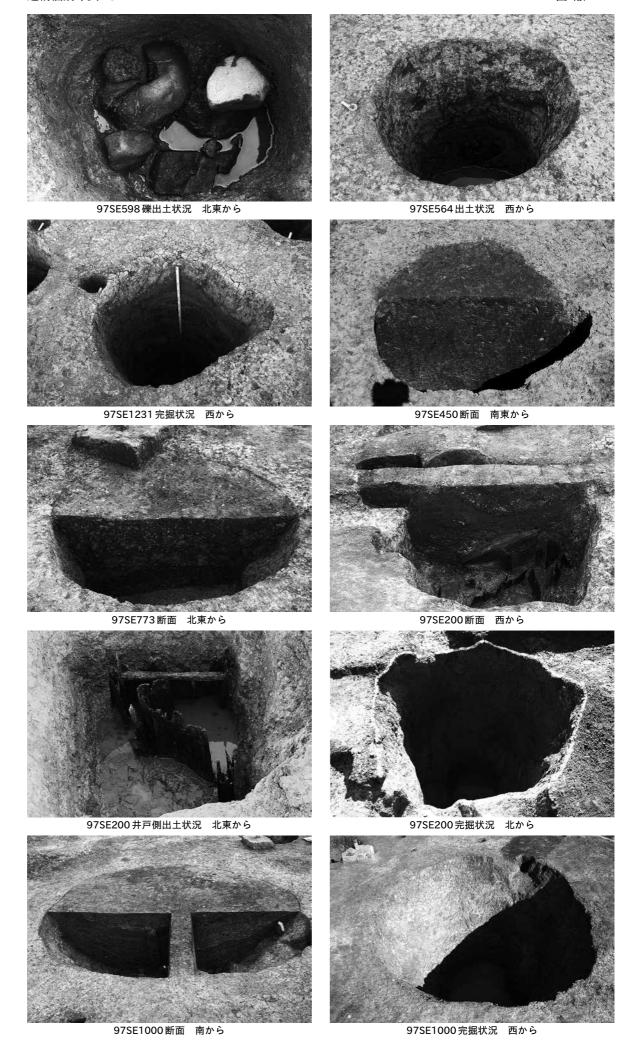
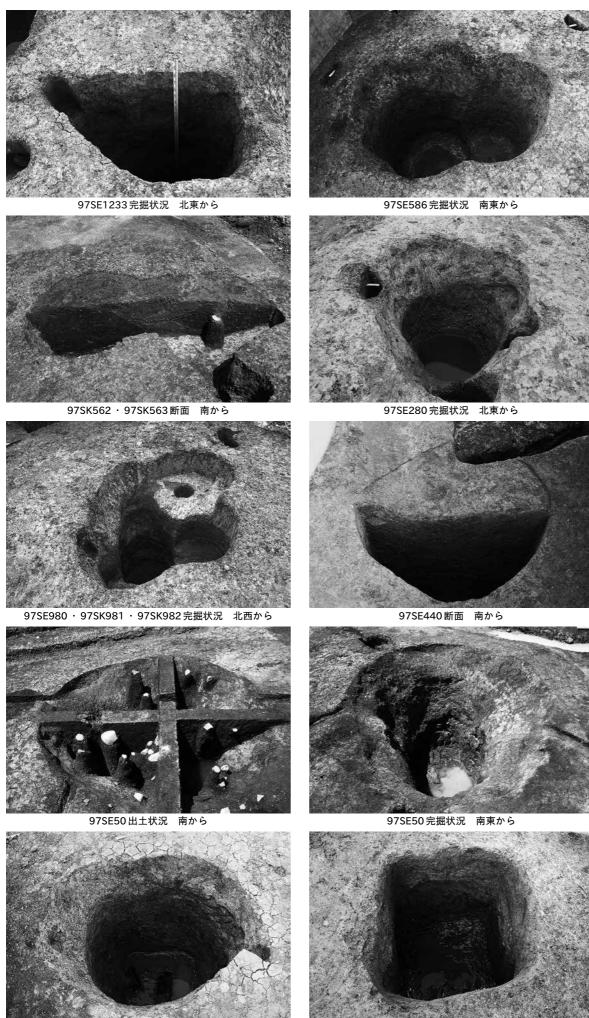


図 版 150 遺構個別写真19



97SE6下駄出土状況 南から

98SE1126 完掘状況 南東から

遺構個別写真20 図 版 151

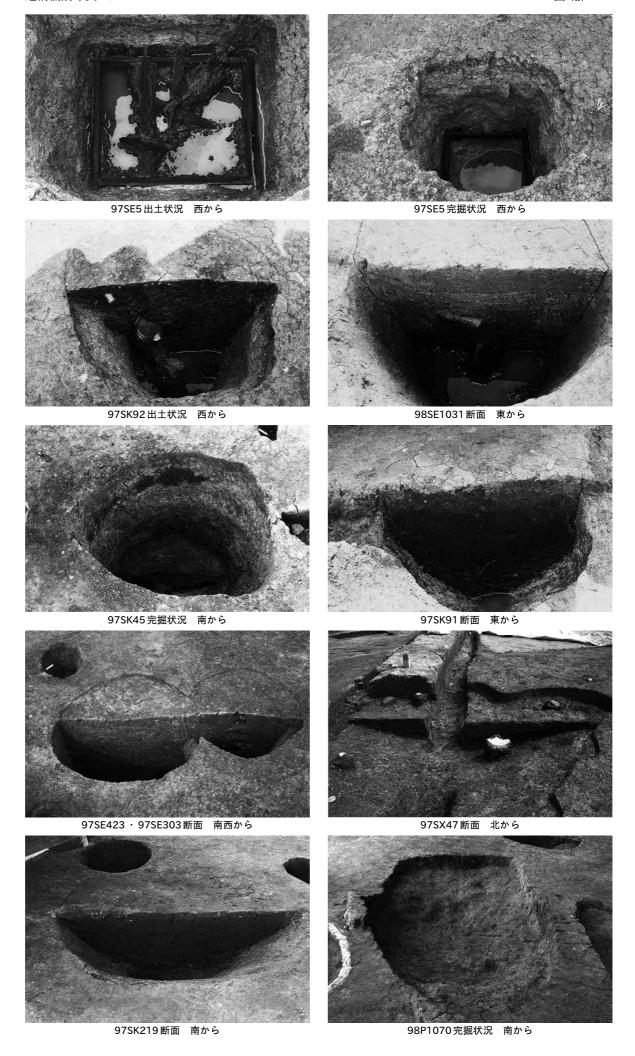
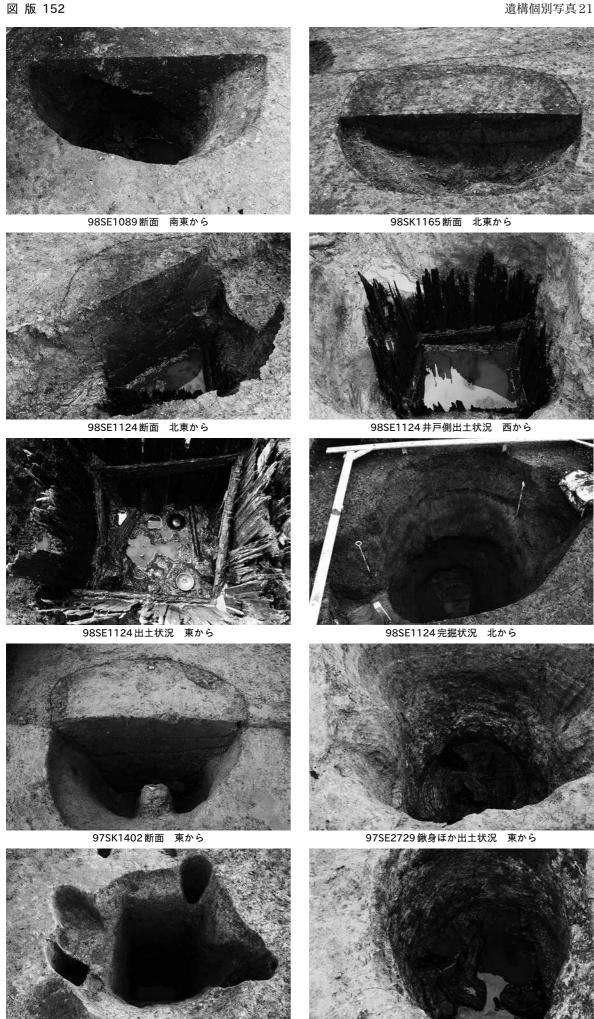


図 版 152



97SK2701 完掘状況 北から 97SE2708 出土状況 東から

遺構個別写真 22 図 版 **153** 

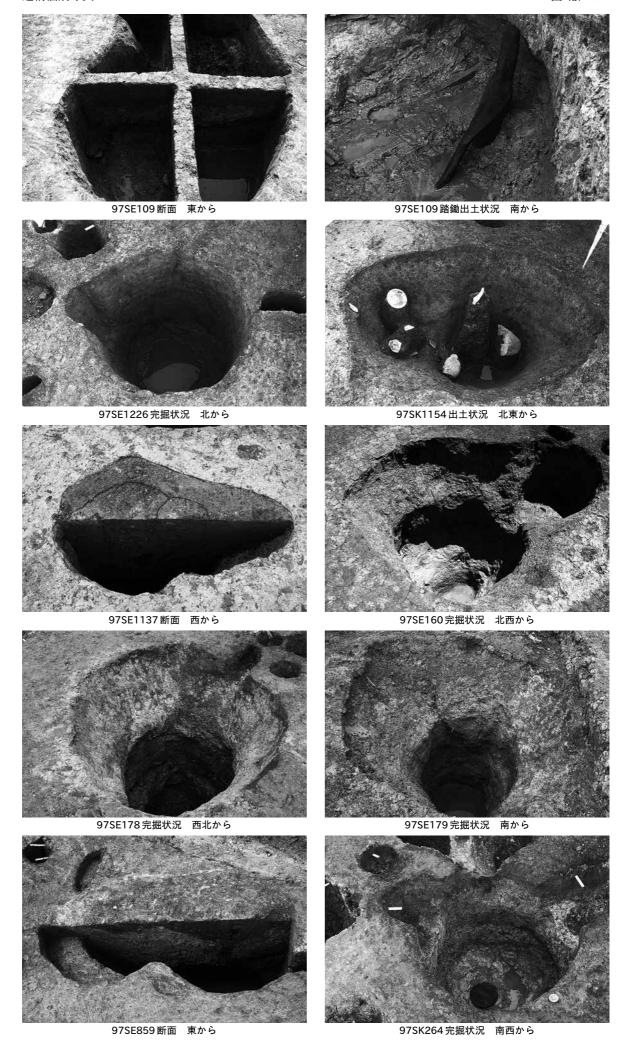
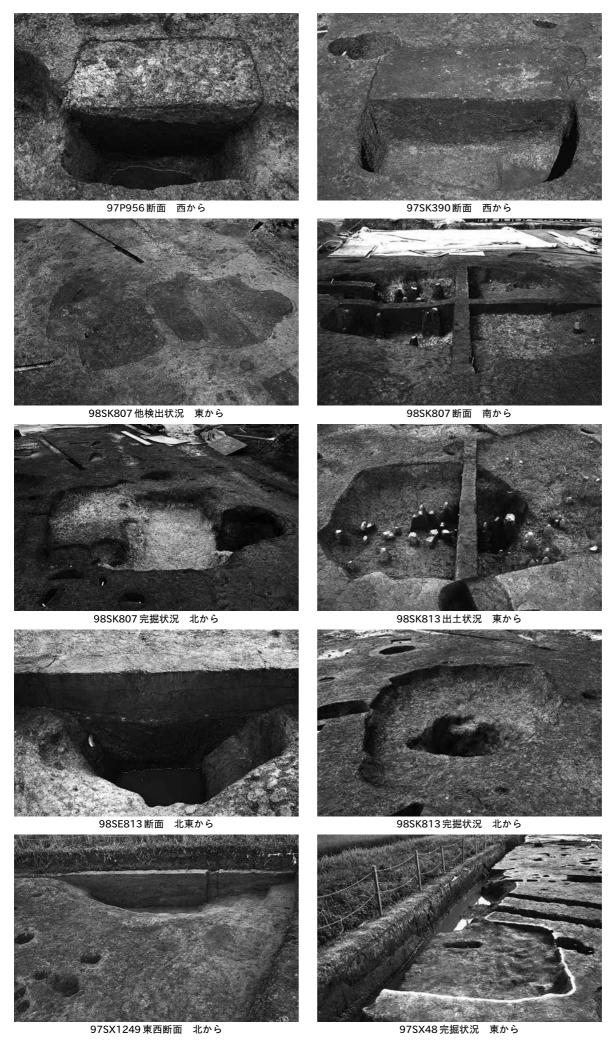
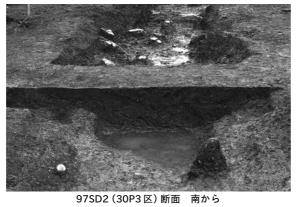


図 版 154 遺構個別写真 23



遺構個別写真24 図 版 155

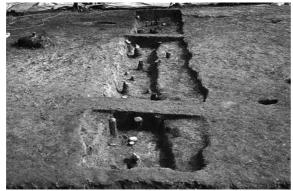




97SD2 完掘状況 北西から



97SD201断面 西から



97SD100 (26P・26Q区) 出土状況 北から



97SD100 (260区) 出土状況 北から



97SD2 (28N14区) 断面 東から



97SD1500 (25L25区) 断面 西から



97SD201 完掘状況 南から



97SD100 (26O19区) 断面 南から



97SD100 完掘状況 南から

図 版 156 遺構個別写真25

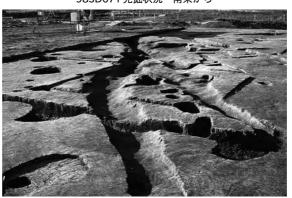


98SD601 (27G2·7区)断面 南から

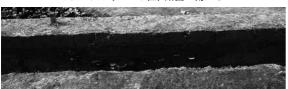




98SD899 (33L18区) 断面 南から



98SD899 完掘状況 南東から



98SD1000 (32M1区) 断面 南から



98SD1000 (32M1区) 断面 南から



98SD1000 (32M7区) 断面 南東から



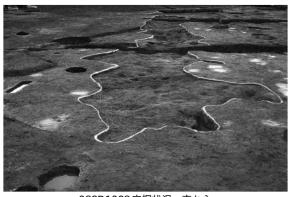
98SD1000 (33N6·7区) 断面 南東から



98SD1000 (集中区3) 出土状況 南から



98SD1000 完掘状況 北西から



98SD1028 完掘状況 南から



98畝状小溝完掘状況 南東より



図 版 158 古墓1





古墓(南半部)断面 西から



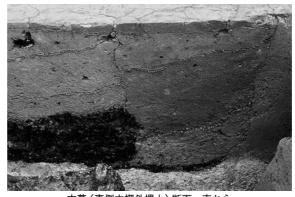
南西須恵器長頸壺出土状況 南西から

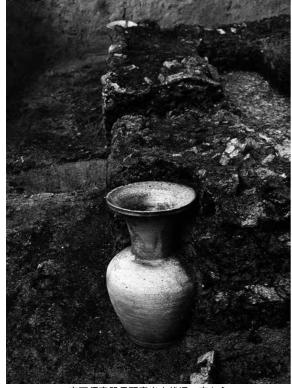


北東灰釉瓶出土状況 北東から



古墓(西側木槨外埋土)断面 南から





南西須恵器長頸壺出土状況 南から

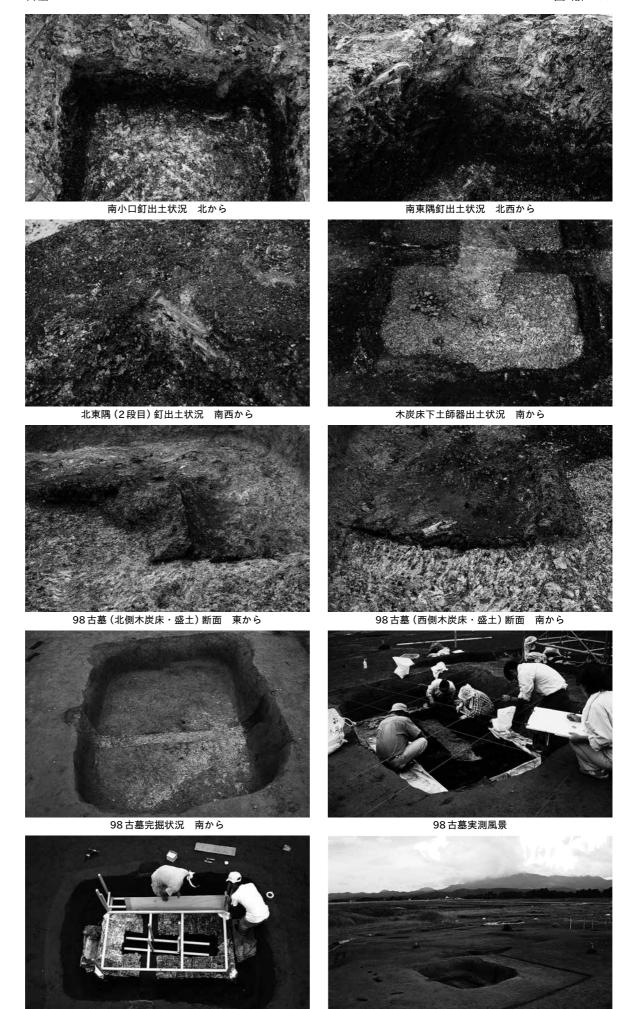


古墓出土状況 南東から



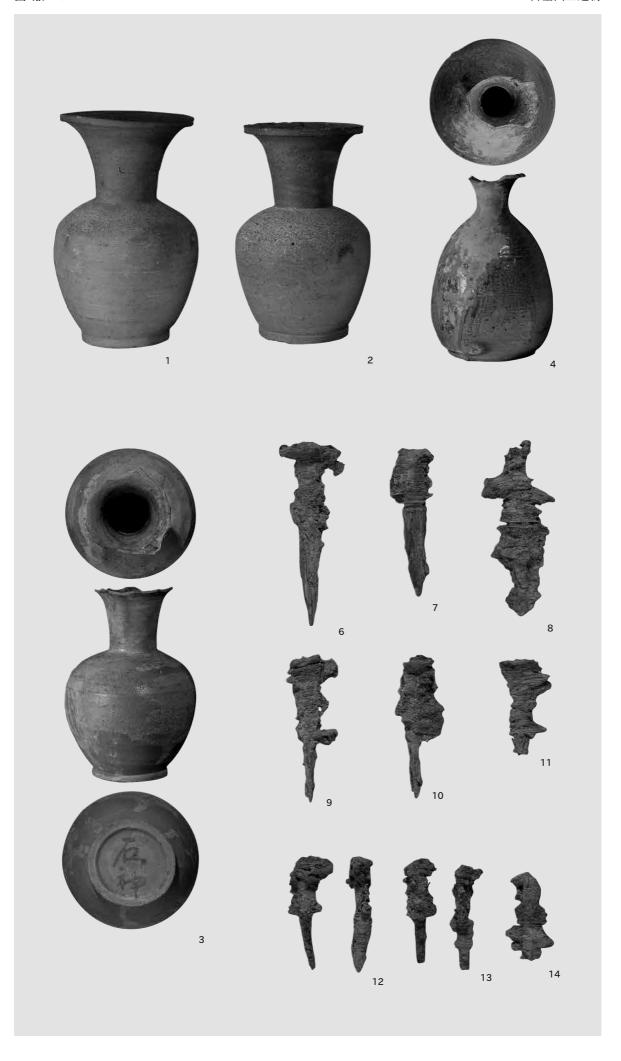
北西須恵器長頸壺出土状況 西から

古墓2 図 版 159

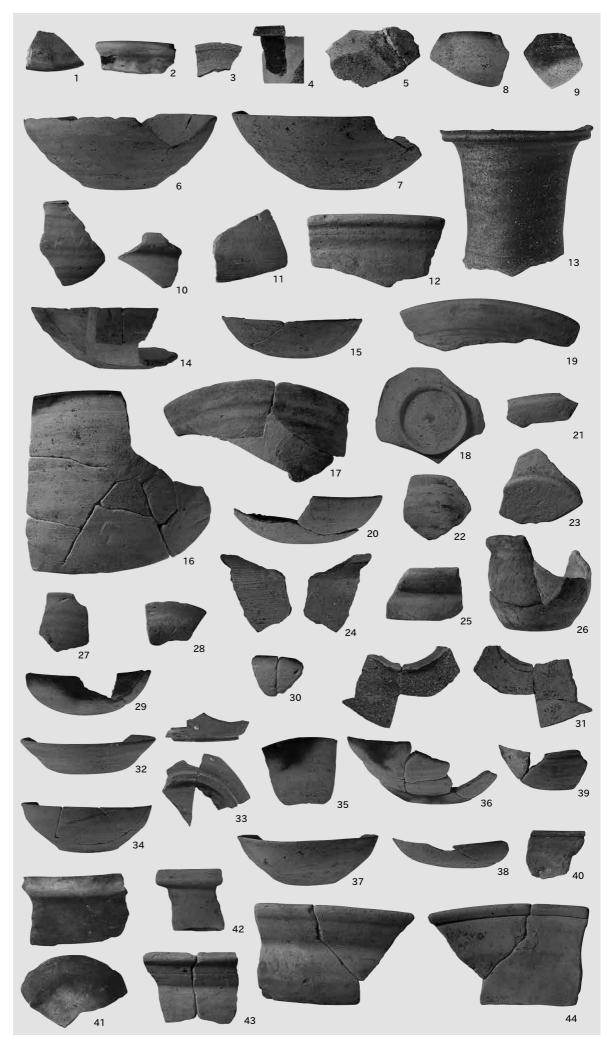


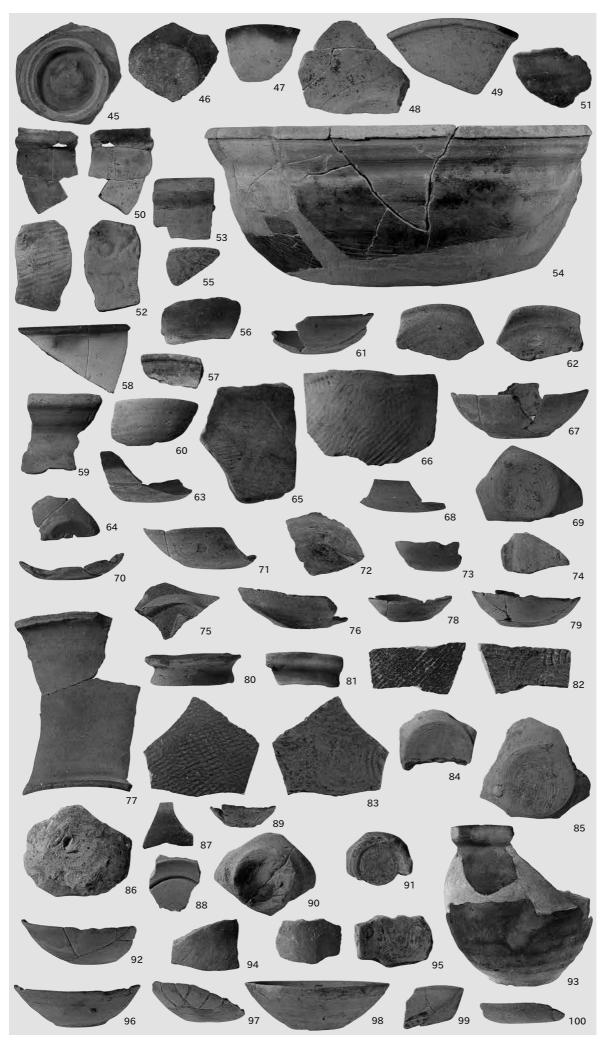
98 古墓型取り作業風景 98 古墓周辺景観 南西から

図版 160 古墓出土遺物

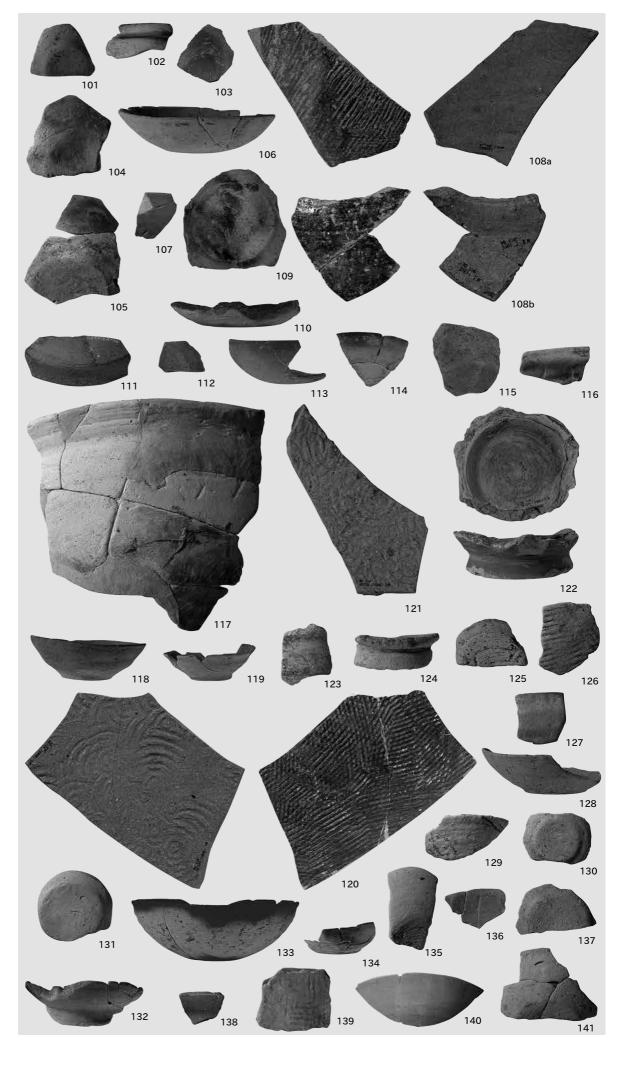


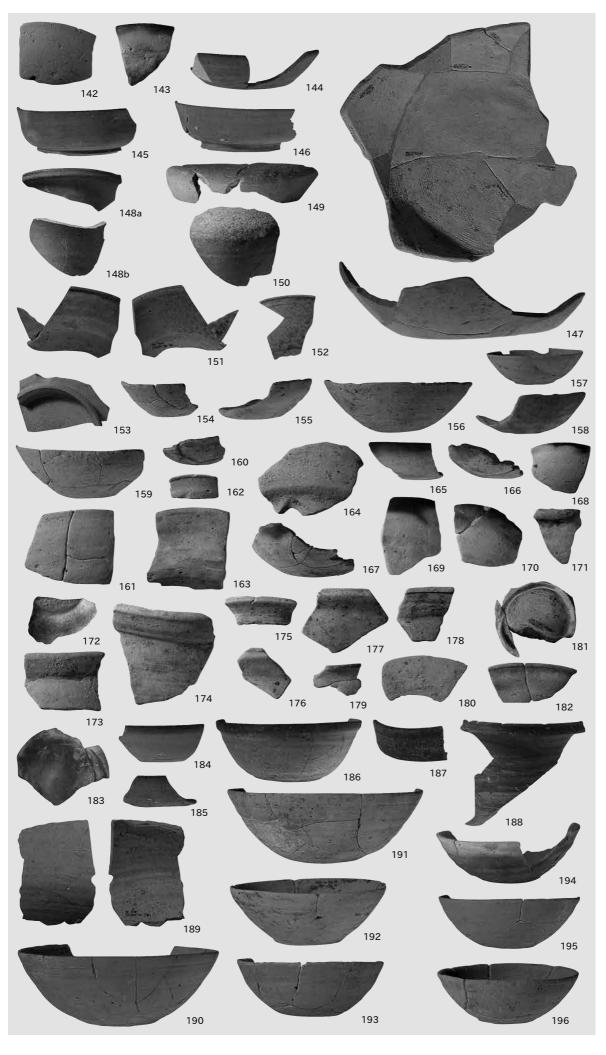
土器・陶磁器 1 図 版 161



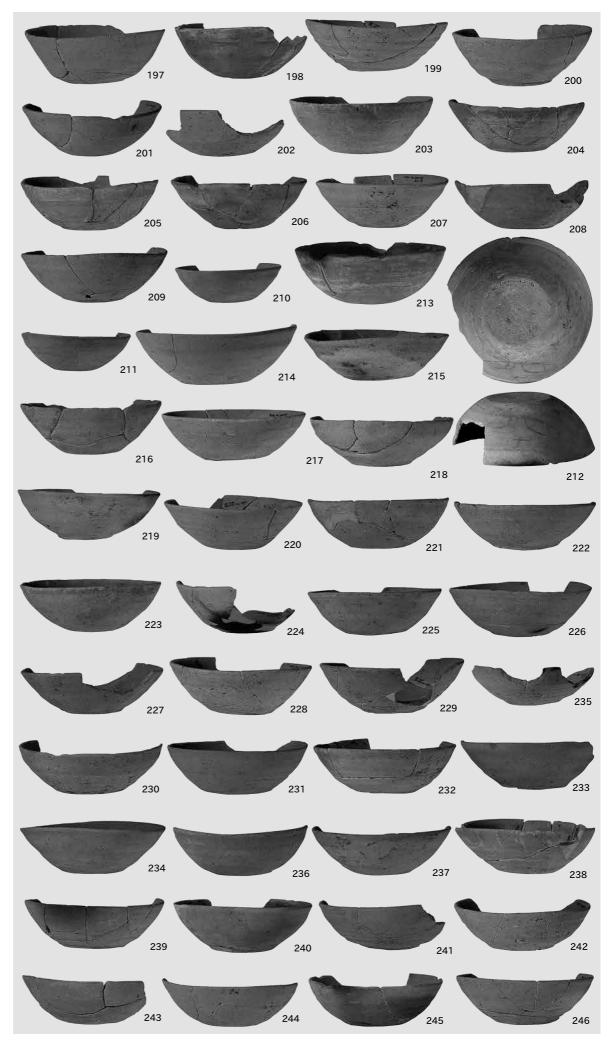


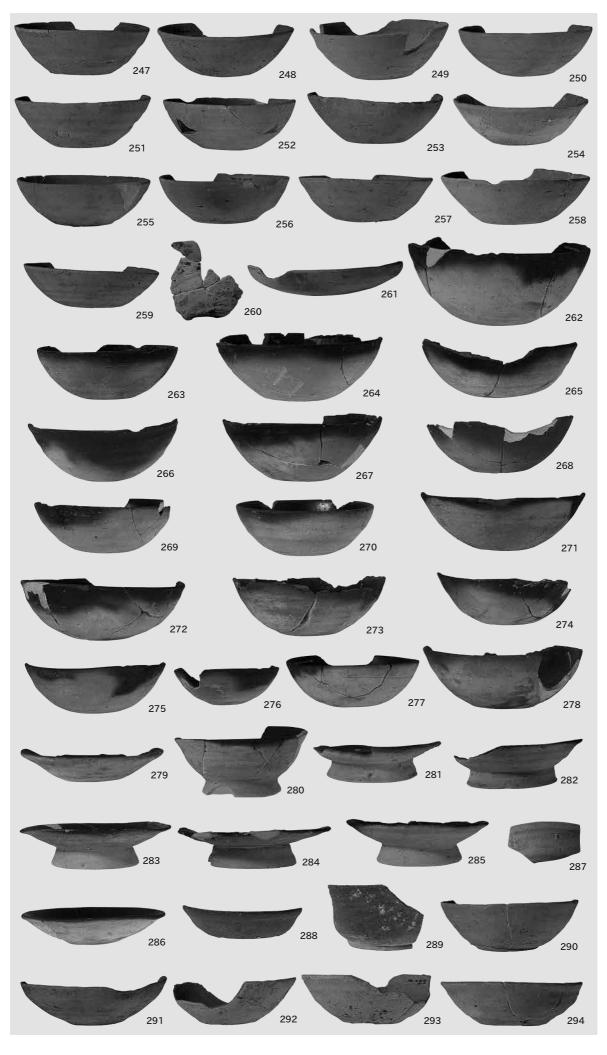
土器·陶磁器3 図 版 163



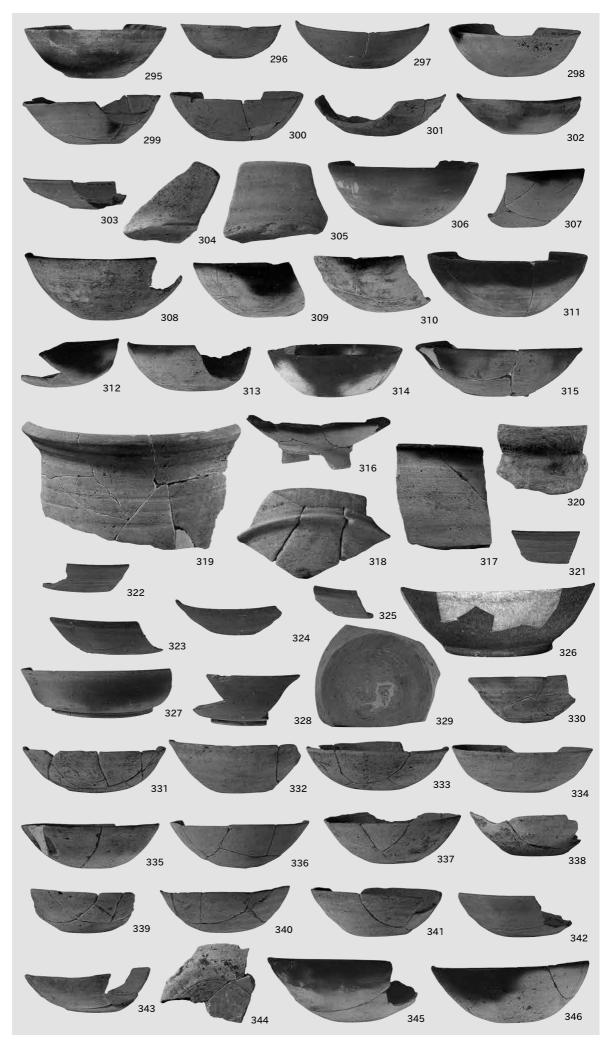


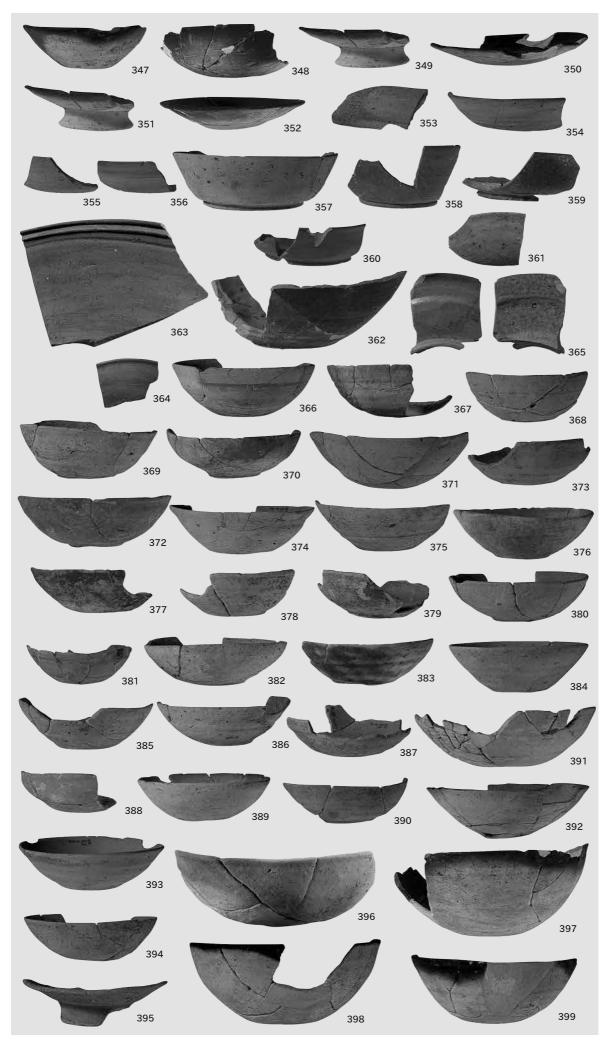
土器·陶磁器 5 図 版 165



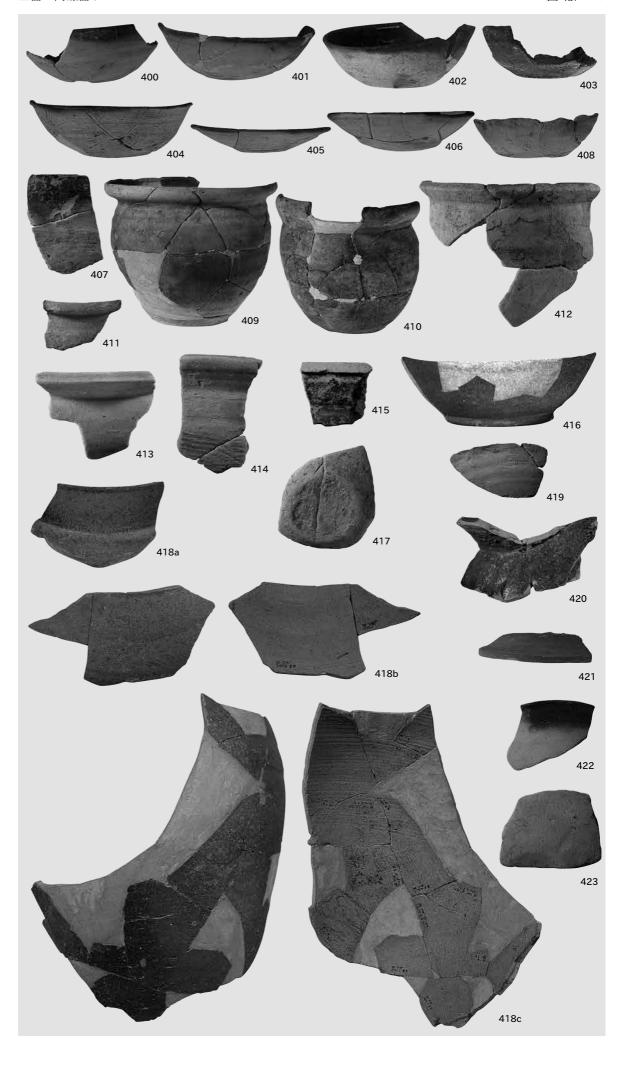


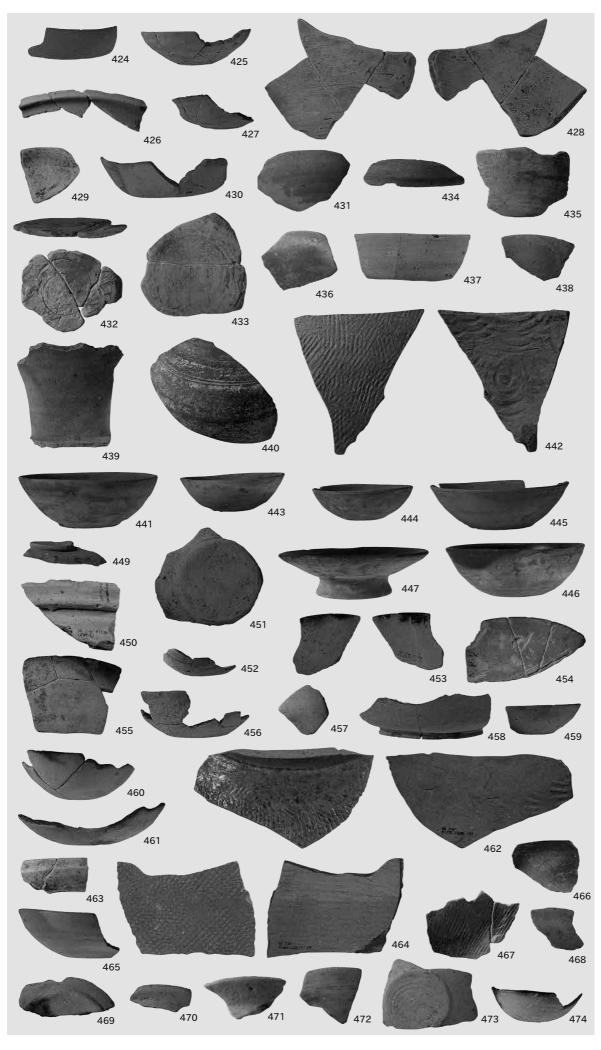
土器・陶磁器 7 図 版 167



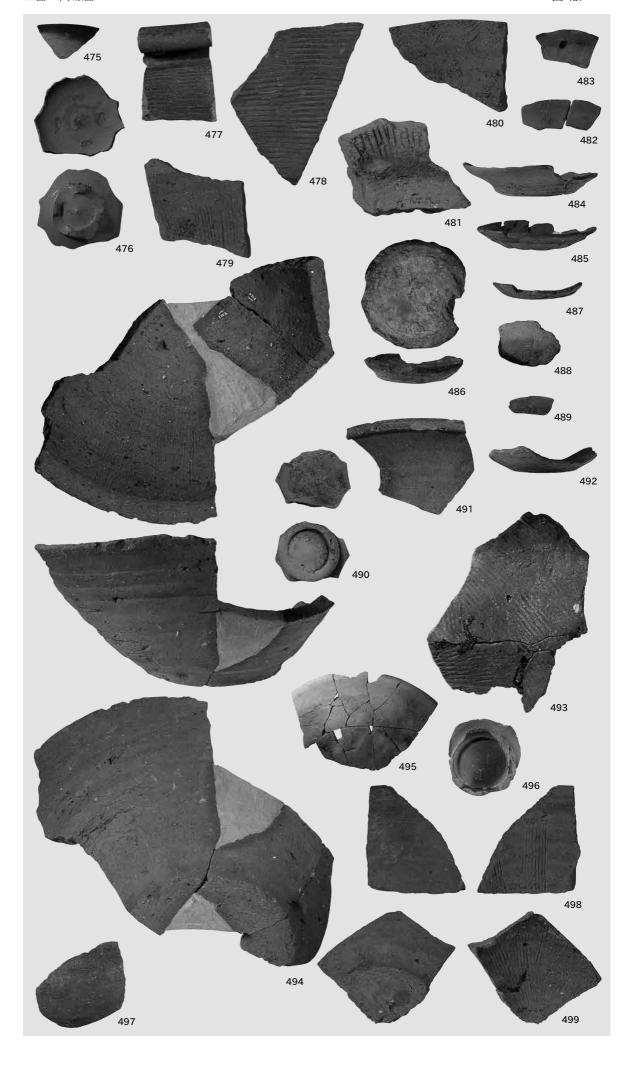


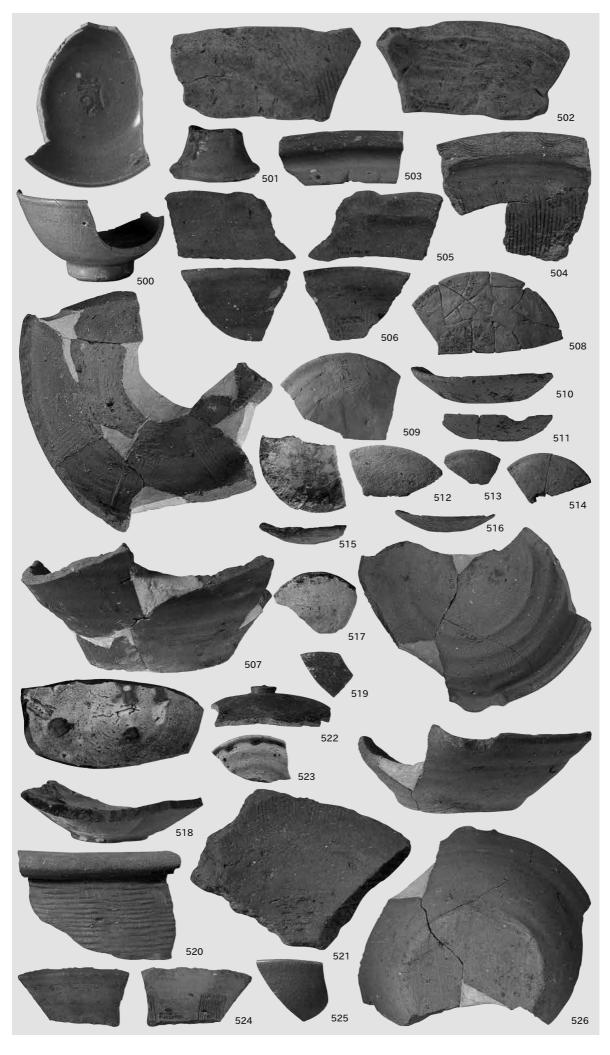
土器・陶磁器 9 図 版 **169** 





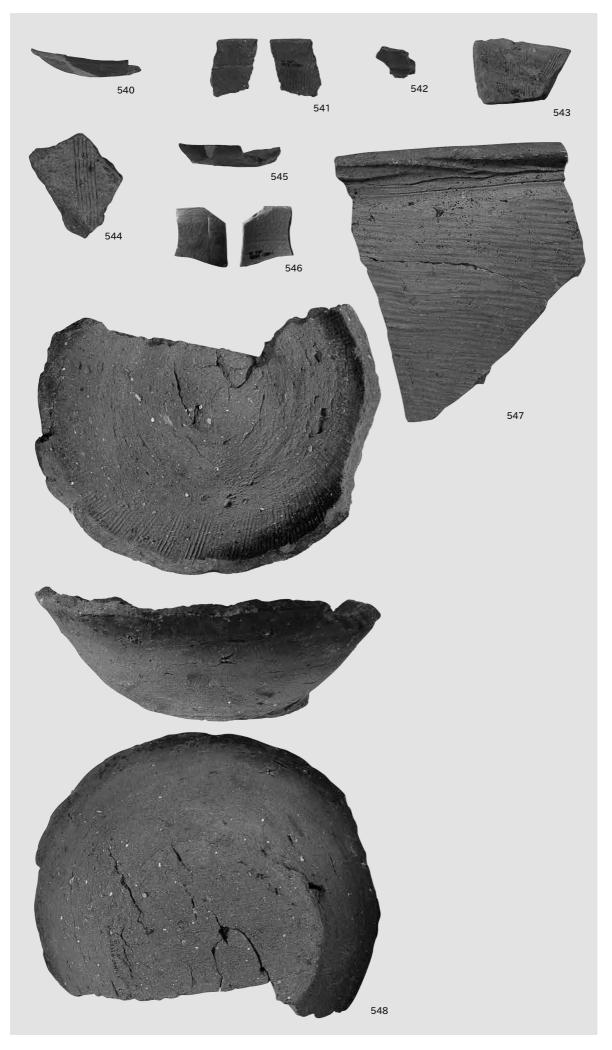
土器·陶磁器11 図 版 171



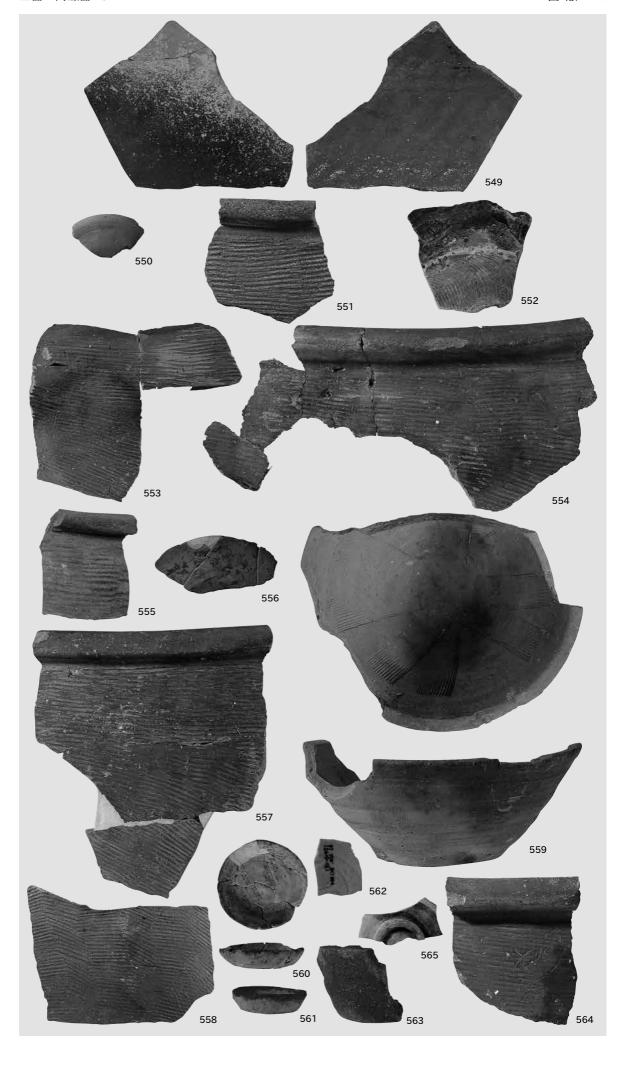


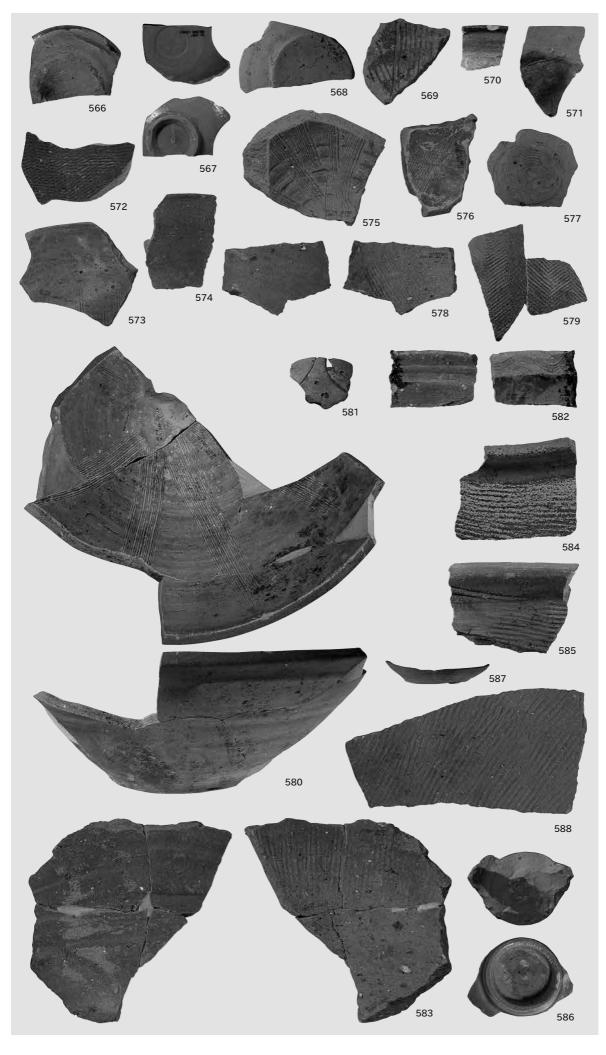
土器・陶磁器 13 図 版 173



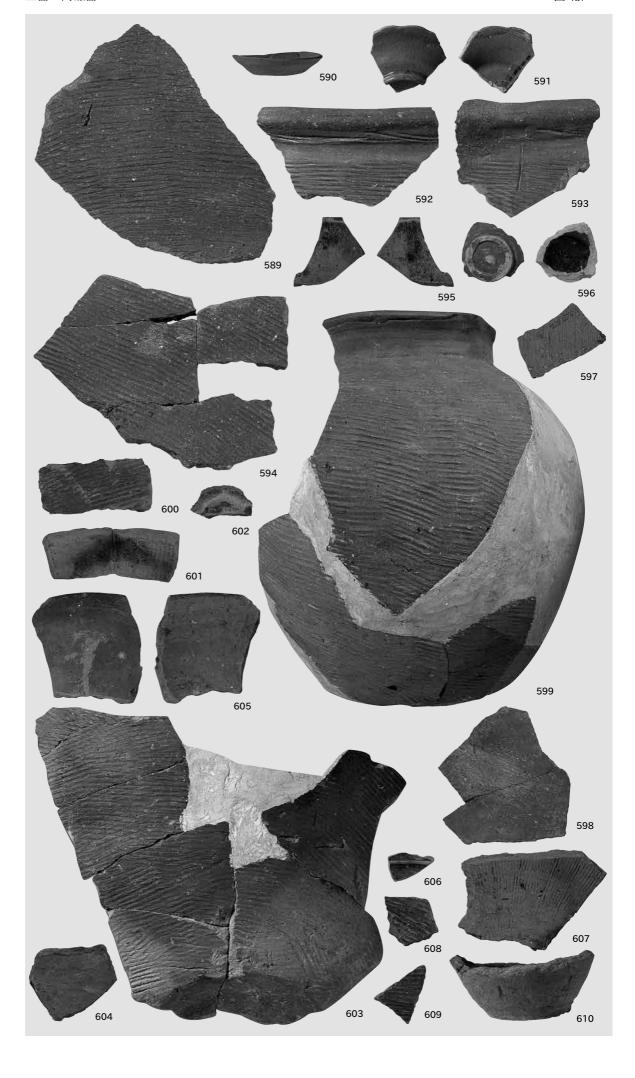


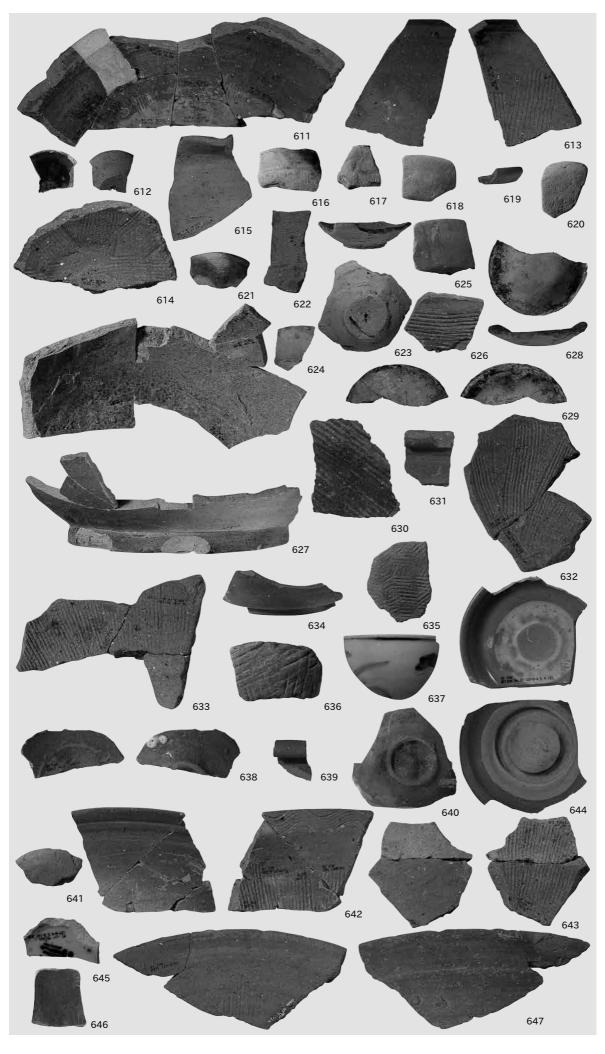
土器・陶磁器 15 図 版 175



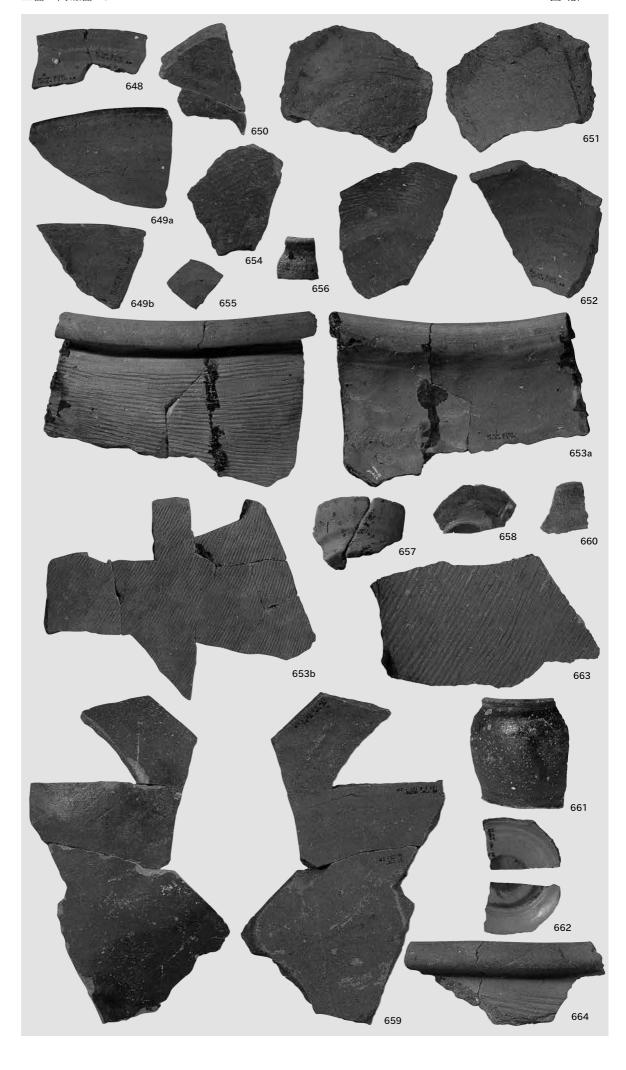


土器・陶磁器 17 図 版 **177** 



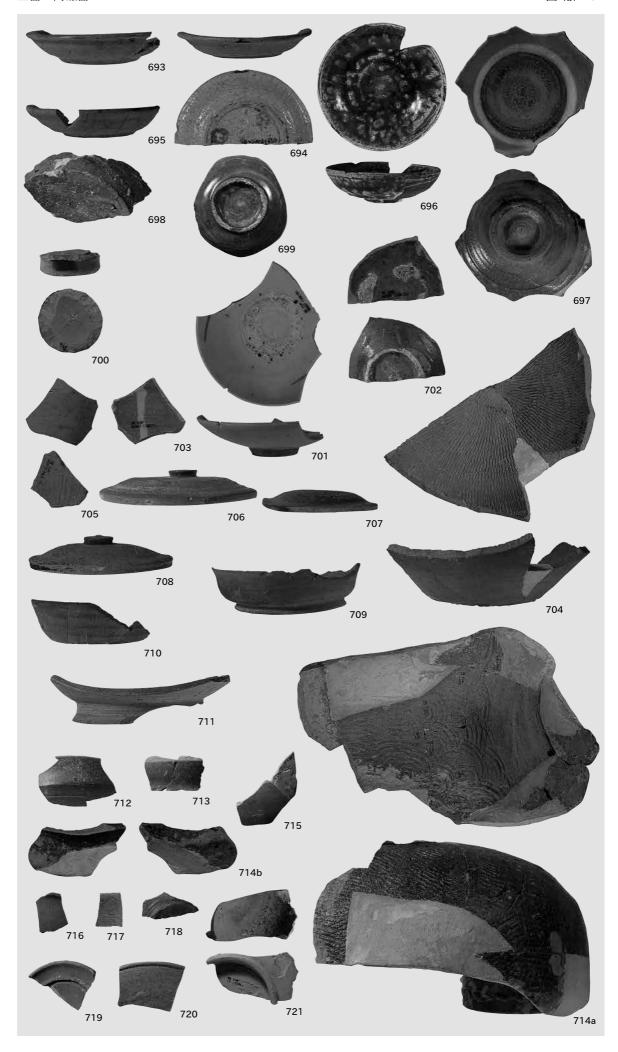


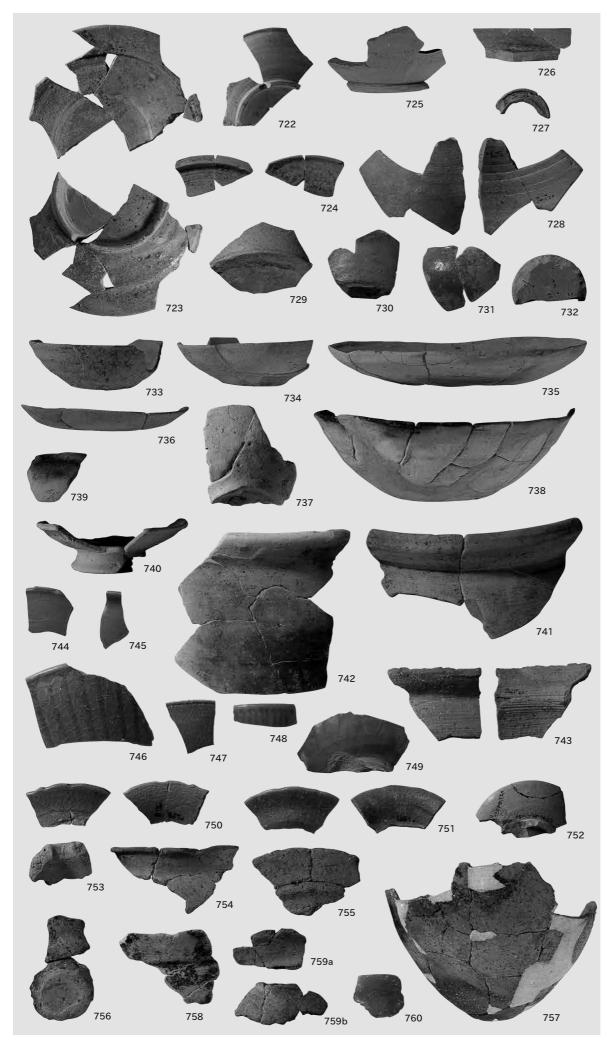
土器·陶磁器 19 図 版 179





土器・陶磁器 21 図 版 **181** 





土器・陶磁器 23 図 版 183

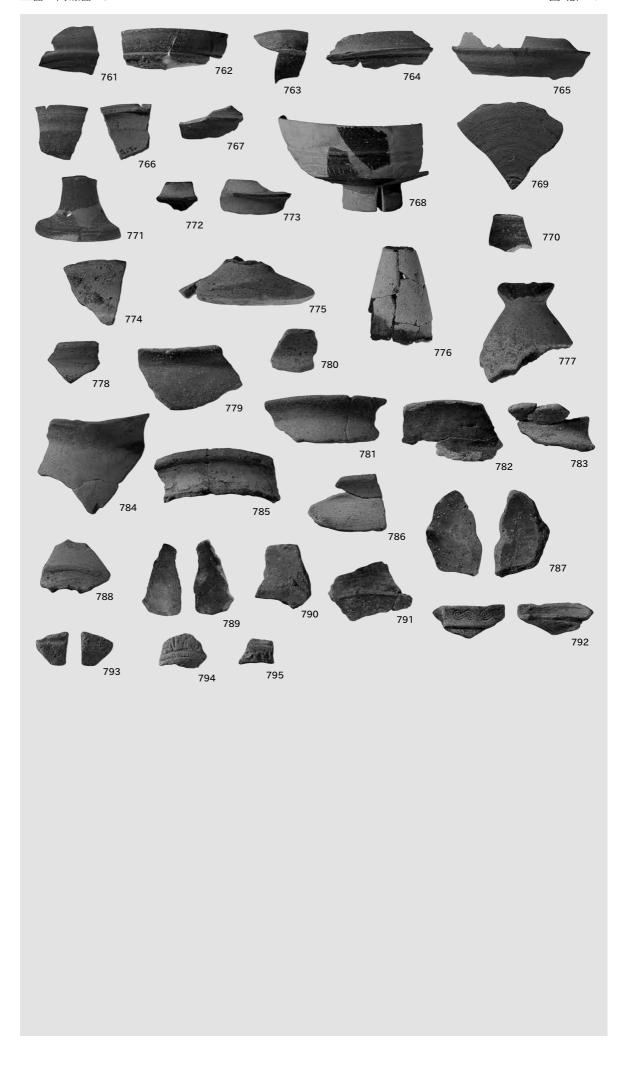


図 版 184 木器·木製品1



木器・木製品 2 図 版 185

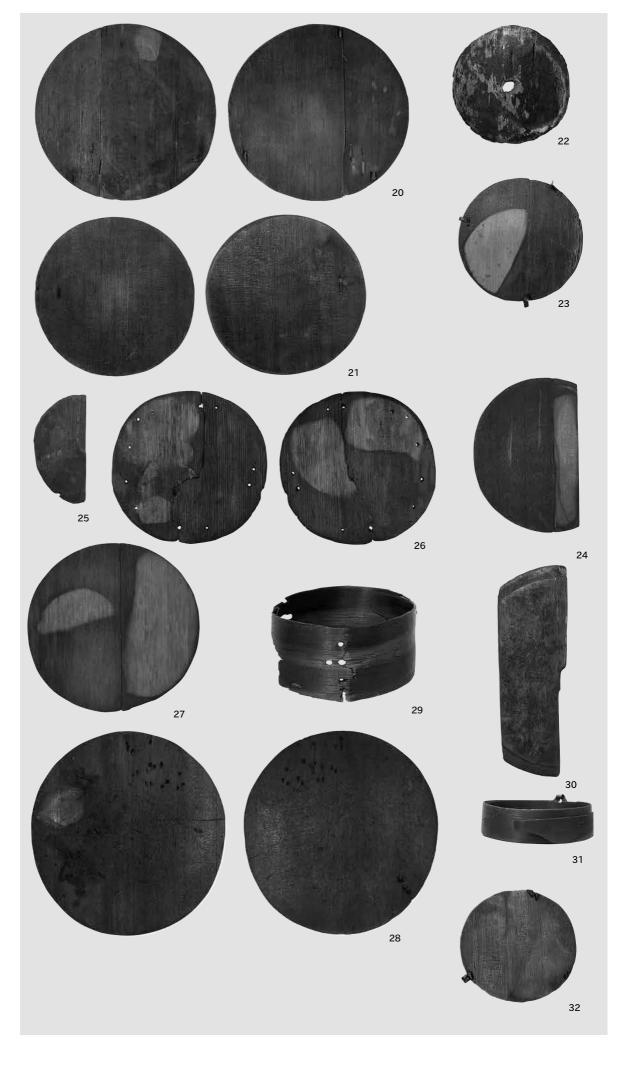


図 版 186 木器·木製品3



木器・木製品4 図 版 187

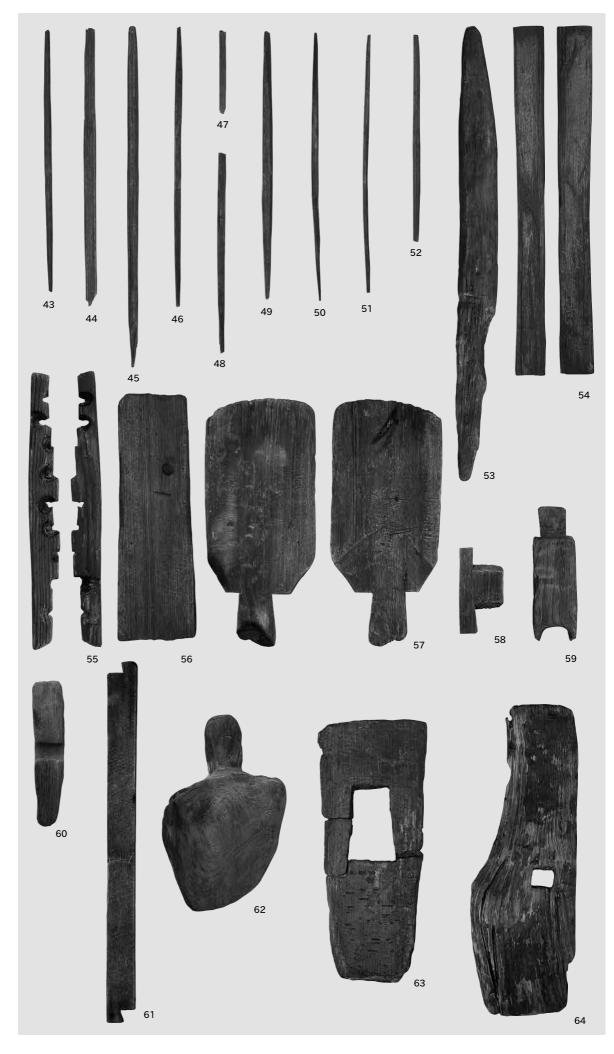
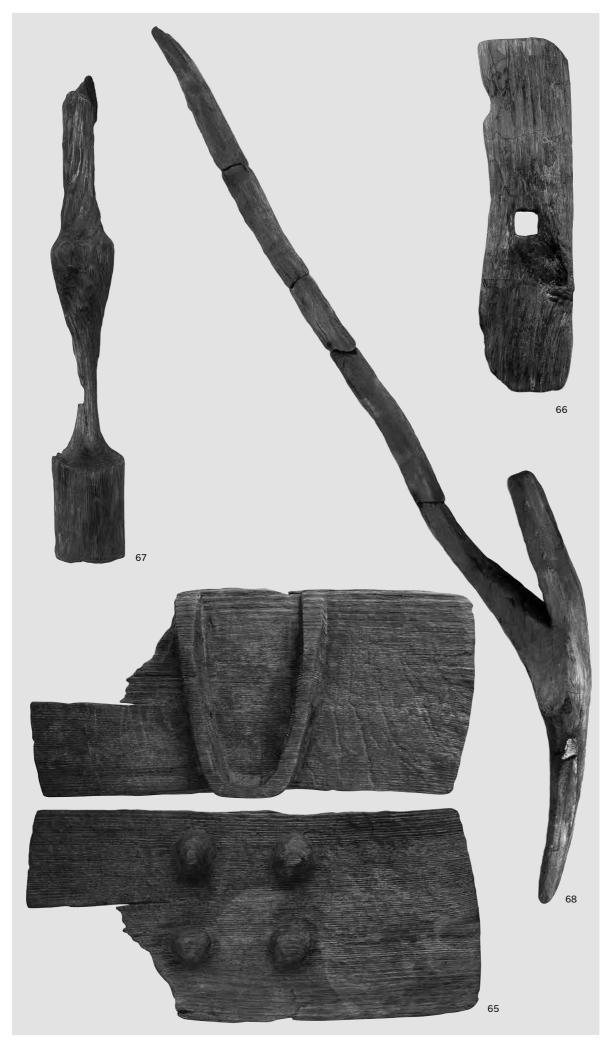


図 版 188 木器·木製品 5



木器·木製品 6 図 版 189

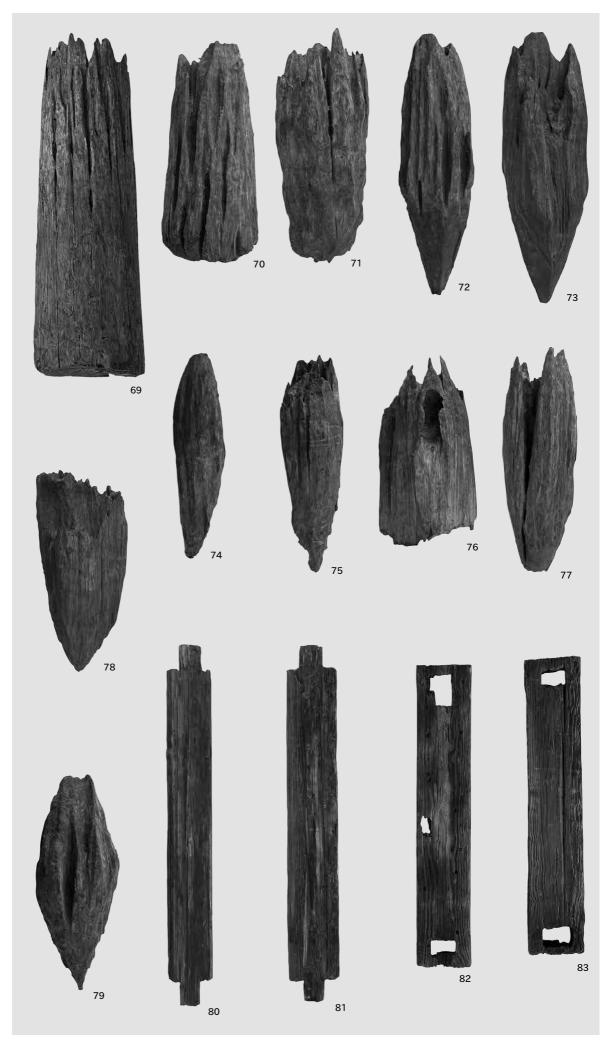
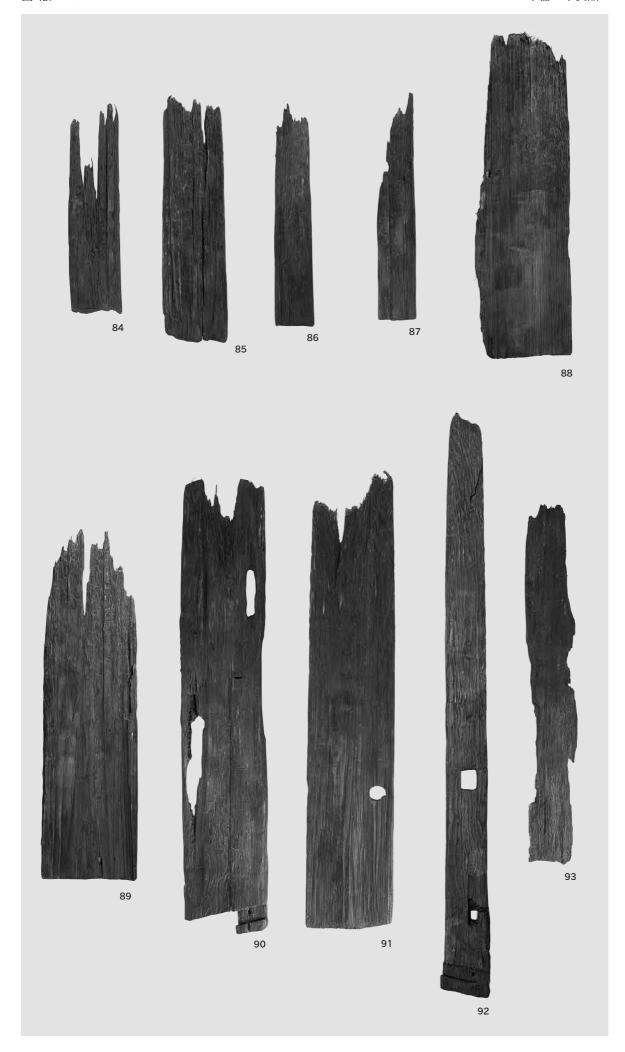


図 版 190 木器·木製品7



木器・木製品8 図 版 191

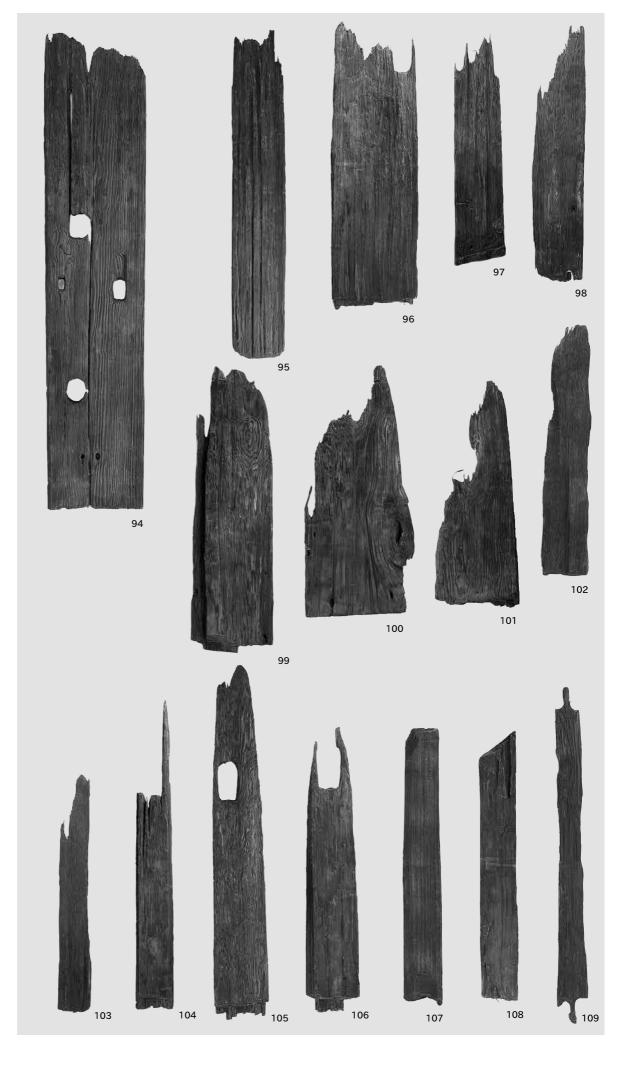
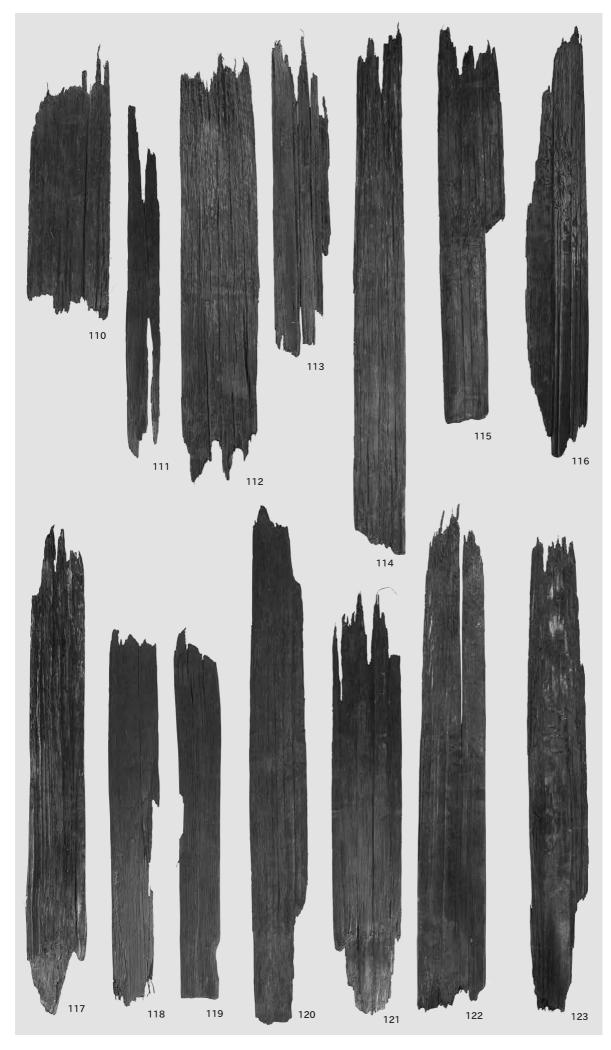


図 版 192 木器·木製品 9



木器·木製品10 図 版 193

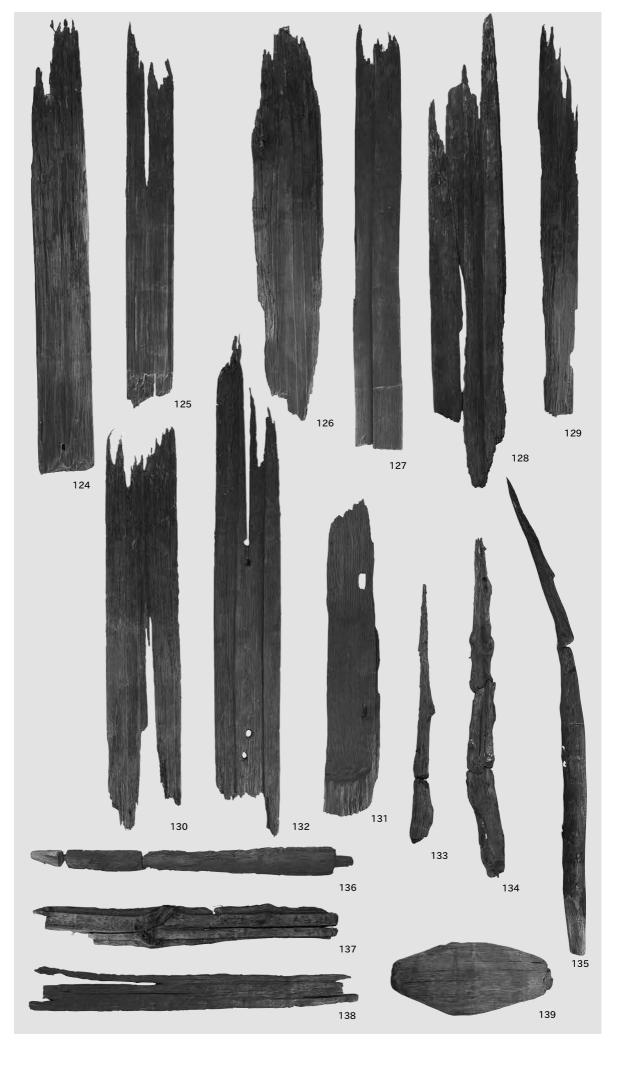
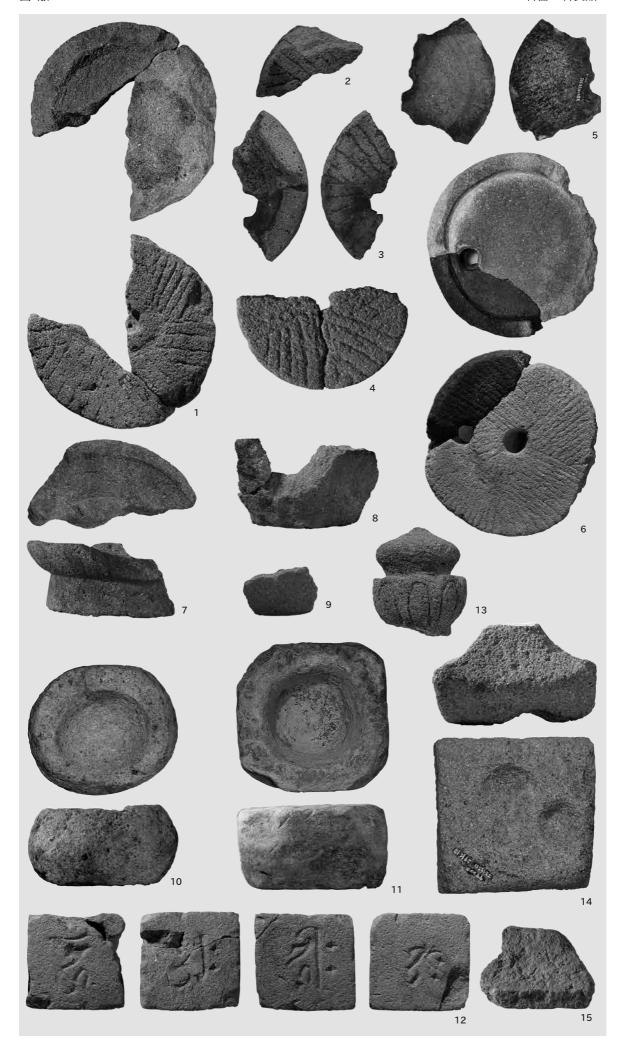


図 版 194 石器·石製品1



石器·石製品 2 図 版 195

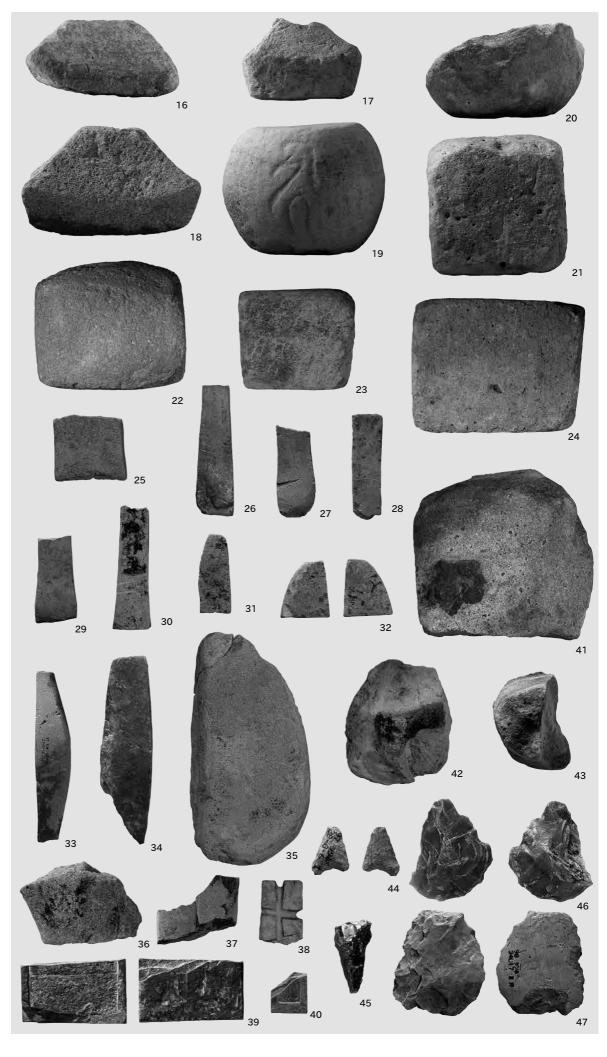
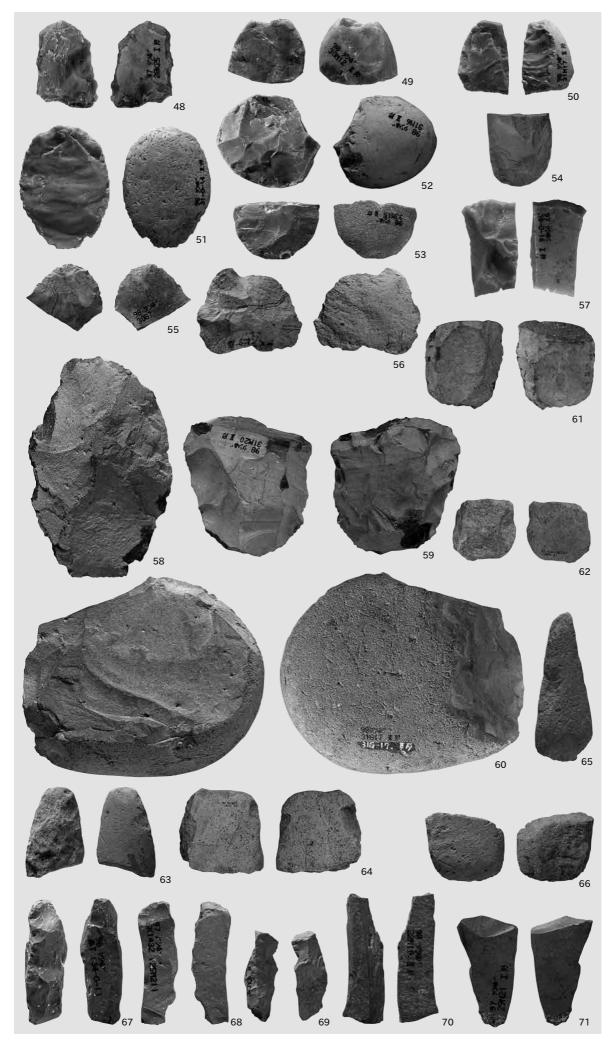
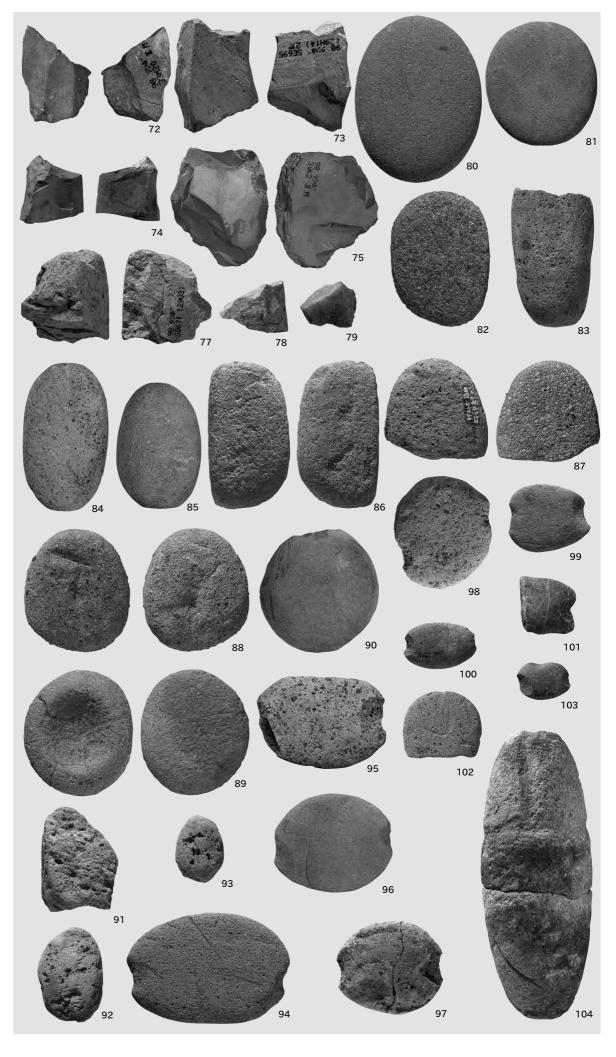
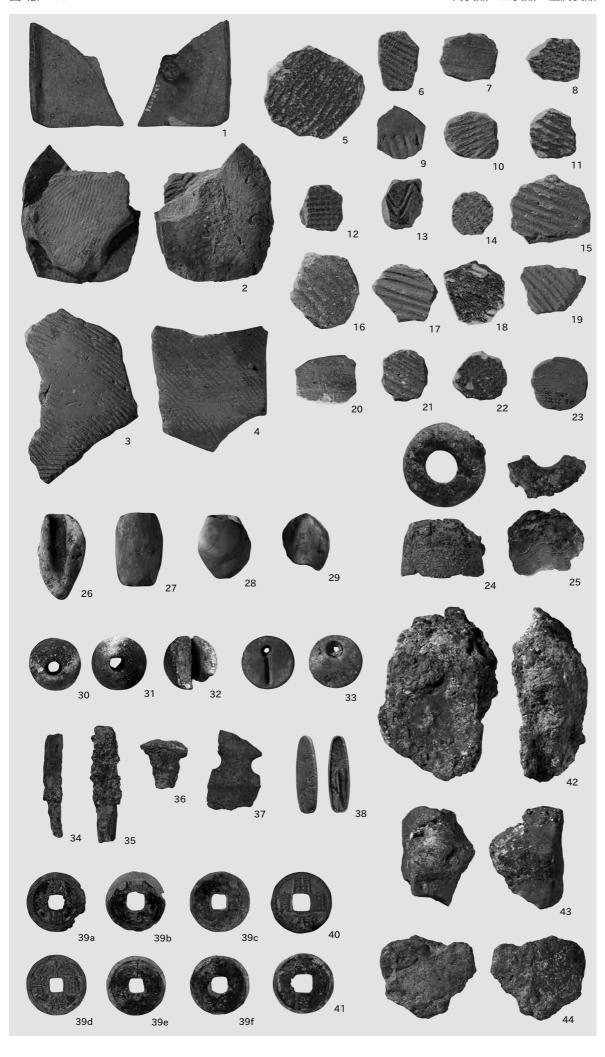


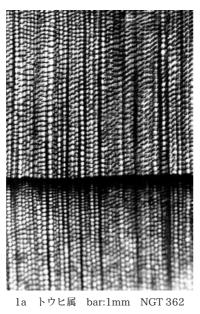
図 版 196 石器·石製品3

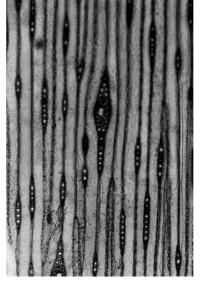


石器·石製品4 図 版 197

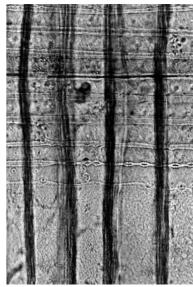




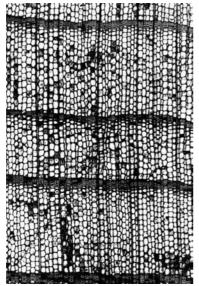




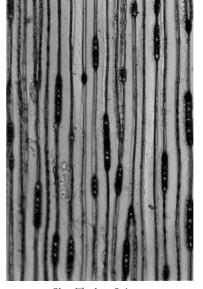
1b 同 bar:0.4mm



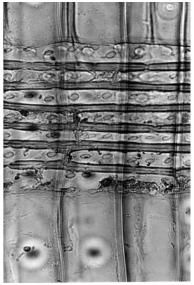
1c 同 bar:0.1mm



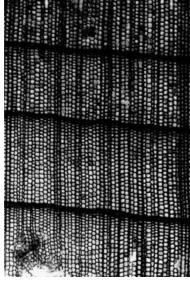
2a スギ bar:1mm NGT 381



2b 同 bar:0.4mm



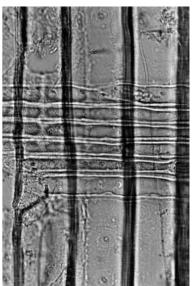
2c 同 bar:0.1mm



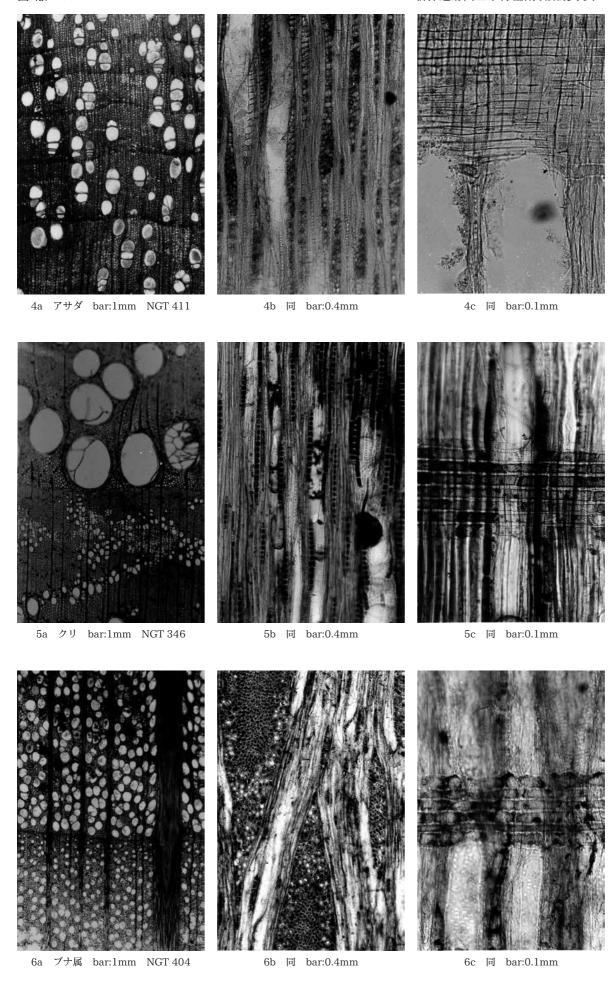
3a ヒノキ bar:1mm NGT 359



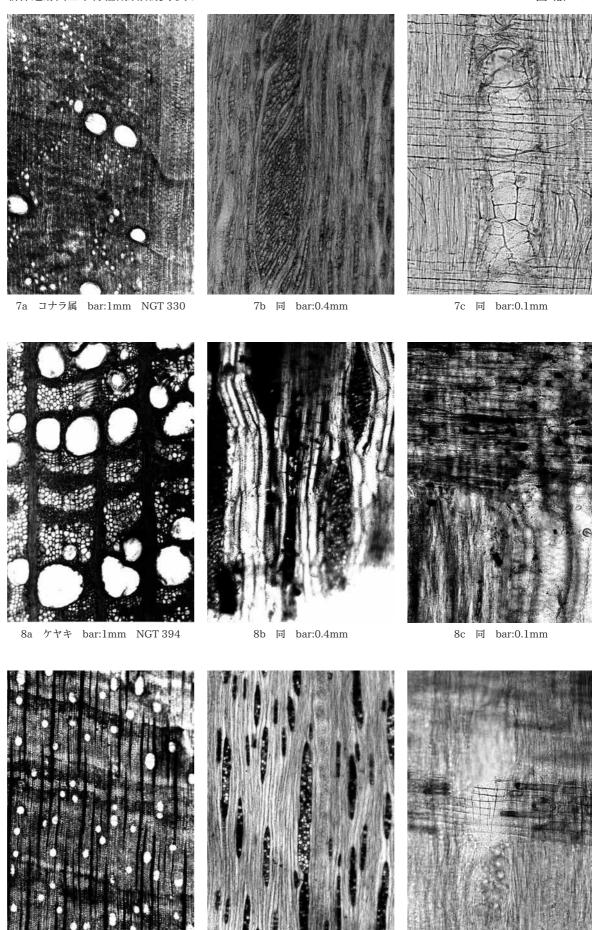
3b 同 bar:0.4mm



3c 同 bar:0.1mm



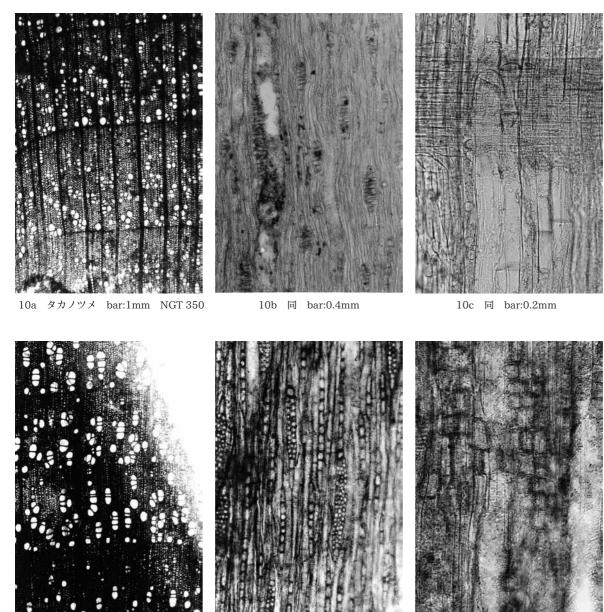
9a カエデ属 bar:1mm NGT 347



9b 同 bar:0.4mm

9c 同 bar:0.1mm

11a エゴノキ属 bar:1mm NGT 377

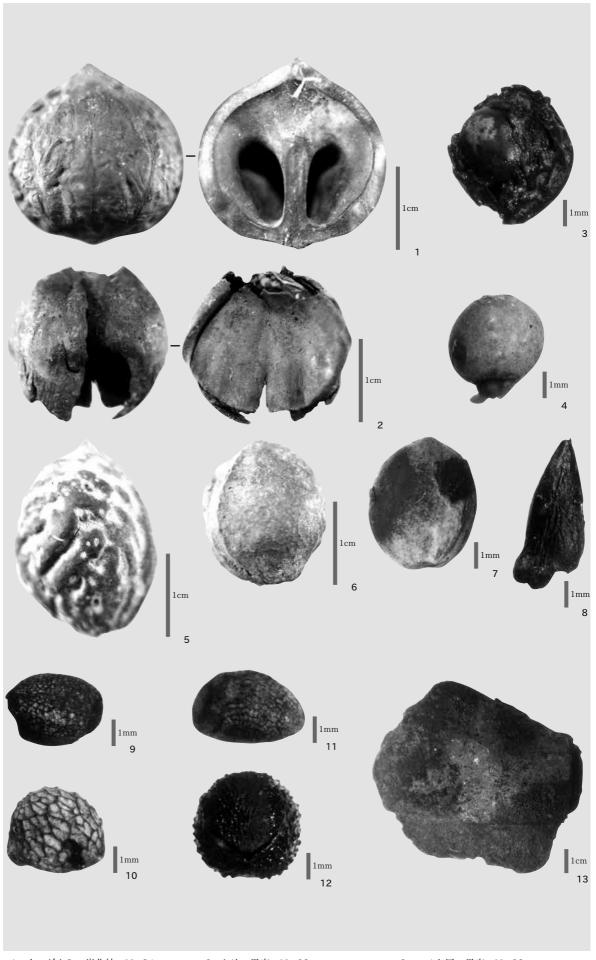


11b 同 bar:0.4mm

Bar:

11c 同 bar:0.2mm

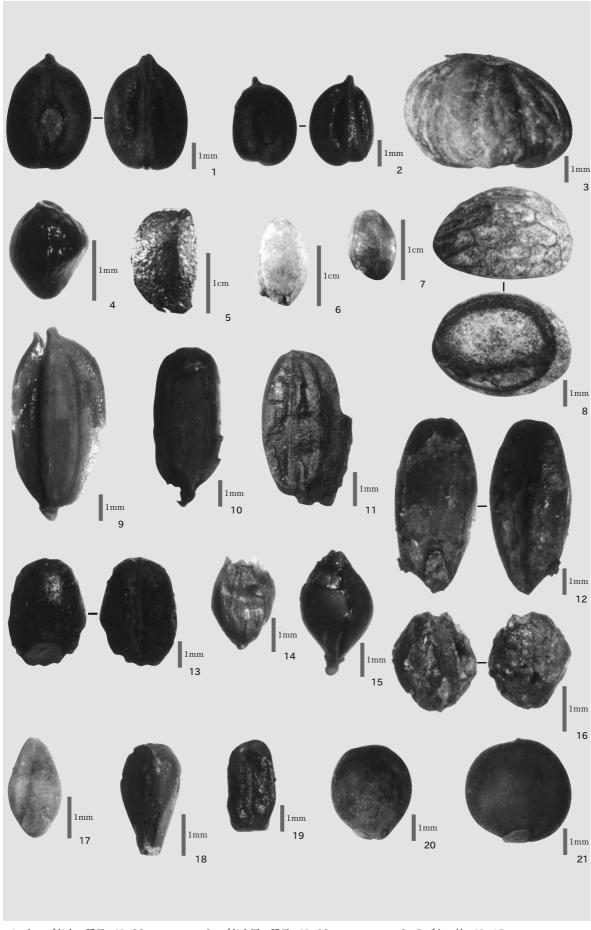
出土した大型植物化石1 図 版 203



- 1. オニグルミ、炭化核、No.84
- 4. エノキ属、核、No.15
- 7. サクラ属サクラ節、核、No.15 8. フジ属、芽、No.23 10. カラスザンショウ、種子、No.102 11. キハダ、種子、No.102
- 13. トチノキ、種子、No.92
- 2. クリ、果実、No.68
- 5. モモ、核、No.102

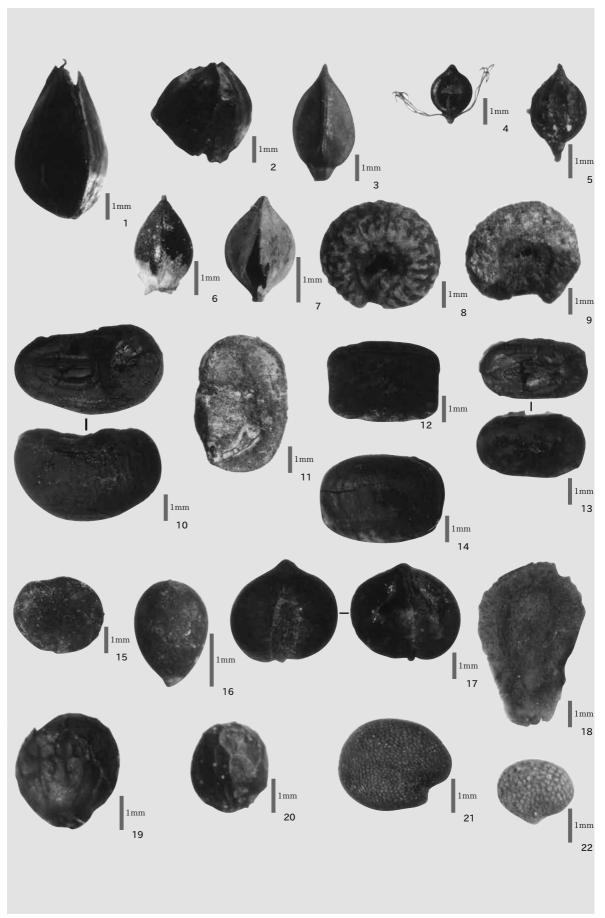
- 3. エノキ属、果実、No.23
- 6. アンズ、核、No.68
- 9. サンショウ、種子、No.15
- 12. アカメガシワ、種子、No.105

図版 204 出土した大型植物化石 2



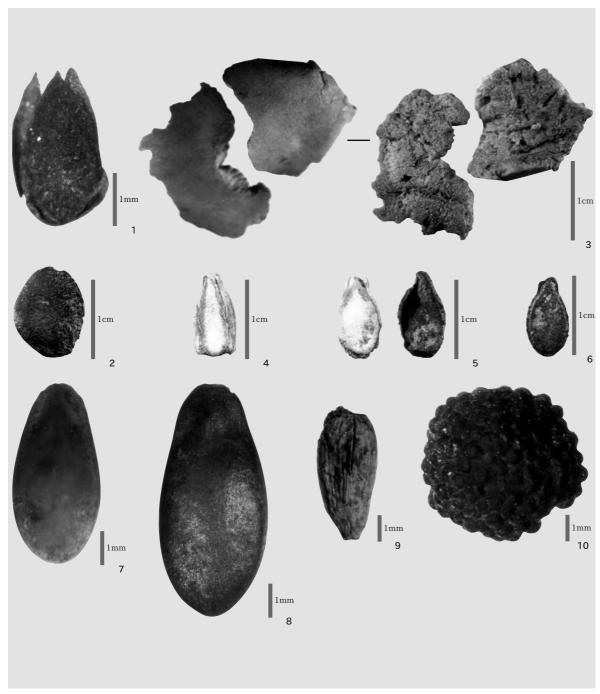
- 1. ヤマブドウ、種子、No.92
- 4. イイギリ、種子、No.102
- 7. コハクウンボク、種子、No.95
- 10. イネ、炭化穎果、No.85
- 13. コムギ、炭化胚乳、No.15
- 16. ヒエ、炭化胚乳、No.75
- 19. イボクサ、種子、No.99
- 2. ブドウ属、種子、No.92
- 5. カキノキ、種子、No.67
- 8. クサギ、核、No.23
- 11. イネ、炭化胚乳、No.87
- 14. ヒエ、穎、No.40
- 17. エノコログサ属、穎、No.75
- 20. アサ、種子、No.87
- 3. ミズキ、核、No.15
- 6. エゴノキ、種子、No.95
- 9. イネ、穎、No.85
- 12. オオムギ、炭化胚乳、No.75
- 15. ヒエ、炭化穎果、No.73
- 18. ウキヤガラ、果実、No.95
- 21. カナムグラ、種子、No.91

出土した大型植物化石3 図版 205



- 1. ソバ、果実、No.40
- 4. サナエタデ近似種、果実、No.94
- 7. ギシギシ属、果実、No.15
- 10. ササゲ属 A、炭化種子、No.91
- 13. ササゲ属 B、炭化種子、No.75
- 16. エノキグサ、種子、No.40
- 19. エゴマ近似種、果実、No.40
- 22. ナス属、種子、No.102
- 2. ソバ、炭化果実、No.15
- 5. ボントクダデ、果実、No.99
- 8. アオツヅラフジ、種子、No.73
- 11. ササゲ属 B、炭化種子、No.37
- 14. ササゲ属 B、炭化種子、No.91
- 17. ノブドウ、種子、No.15
- 20. シソ近似種、果実、No.99
- 3. ミゾソバ、果実、No.23
- 6. ヤナギタデ、果実、No.23
- 9. アオツヅラフジ、炭化種子、No.37
- 12. ササゲ属 B、炭化種子、No.56
- 15. マメ科、種子、No.37
- 18. ガガイモ、種子、No.40
- 21. ナス、種子、No.87

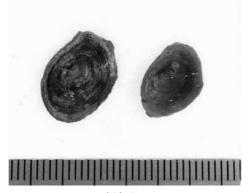
図版 206 出土した大型植物化石4



- 1. ゴマ、種子、No.75
- 3. ヒョウタン仲間、果実、No.84
- 5. カボチャまたはトウガン、種子、No.69
- 7、8. メロン仲間、種子、No.87
- 10. 菌核、No.99

- 2. キカラスウリまたはモミジカラスウリ、種子、No.23
- 4. ヒョウタン仲間、種子、No.87
- 6. カボチャまたはトウガン、種子、No.87
- 9. ゴボウ近似種、果実、No.44





3. 標本番号39



4. 標本番号 45

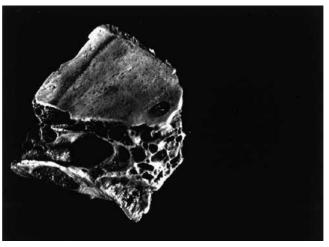
タニシ科遺体(フタ)

(左:外面 右:内面)



フィルムケース 33 陸獣骨片

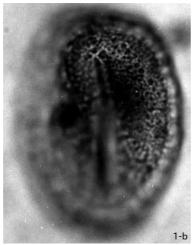
10 mm/div

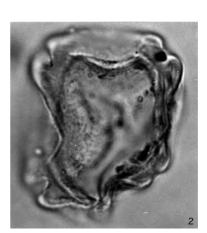


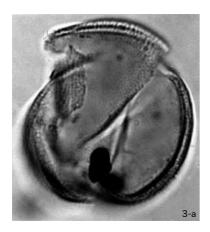
フィルムケース 78 ウマ上顎臼歯 出土した獣骨

1mm/div



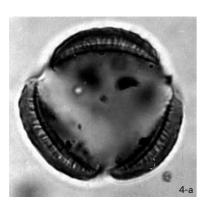


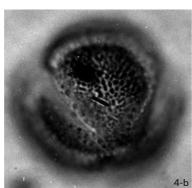


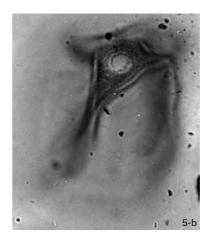








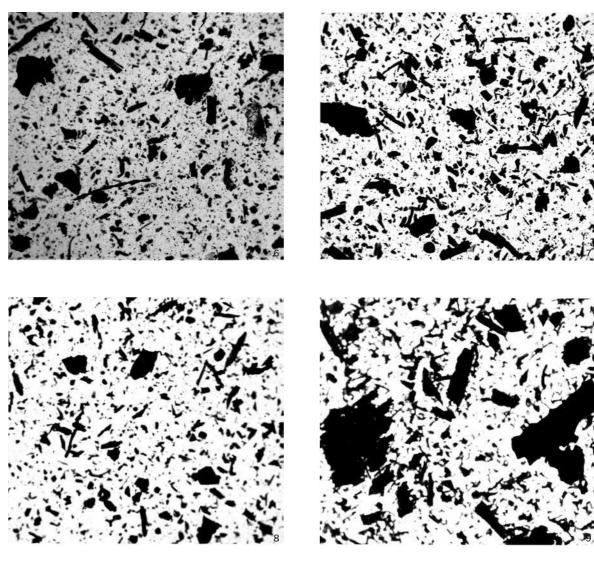




 $20~\mu$  m 1 ~ 4: ■

 $20~\mu$  m

- 1:コナラ属コナラ亜属 PLC. SS 2755
- 2:ハンノキ属 PLC. SS 2756 3:カエデ属 PLC. SS 2752 4:ヨモギ属 PLC. SS 2754
- 5:イネ科 PLC. SS 2753

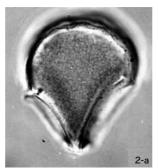


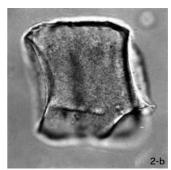
Bar: 100 μ m

6:試料A 7:試料B 8:試料C 9:試料D

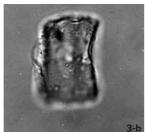


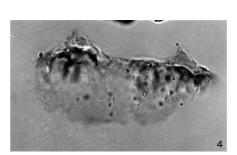


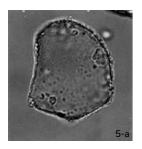




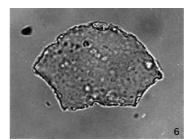


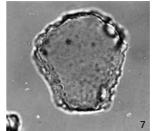


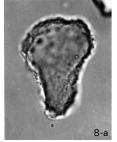
















Bar: 30 μ m

 $1 \sim 3:$  イネ(a: 断面、b: 側面) 1: A、2: B、3: C

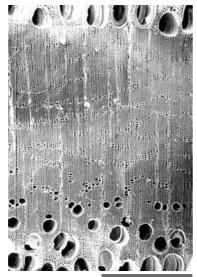
4:イネ穎部破片 C

5、6: クマザサ属型(a: 断面、b:側面) 5: B、6: A

7:ネザサ節型(断面) A

8:ウシクサ族(a:断面、b:側面) C

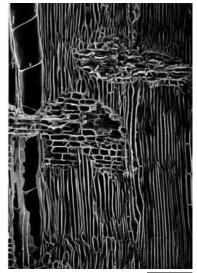
9:シバ属(断面) C



1a コウゾ属(横断面) No.1部下層 bar:0.5mm



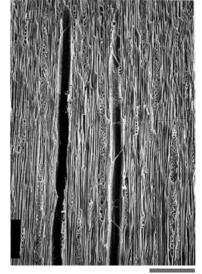
1b コウゾ属(接線断面) bar:0.1mm



1c コウゾ属(放射断面) bar:0.1mm



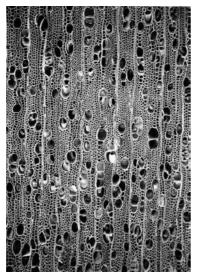
2a カエデ属(横断面) No.2部下層 bar:0.5mm



2b カエデ属(横断面) bar:0.1mm



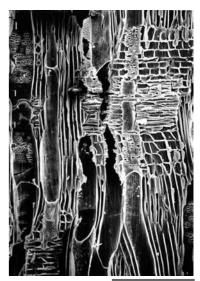
2c カエデ属 (放射断面) bar:0.1mm



3a イイギリ(横断面) No.6部下層 bar:0.5mm



3b イイギリ (接線断面) bar:0.1mm



3c イイギリ(放射断面) bar:0.1mm

## 報告書抄録

ふりがな	しんぼいせき								
書名	新保遺跡								
副書名	国営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書								
巻次									
シリーズ名	新潟県埋蔵文化財調査報告書								
シリーズ番号	第103集								
編著者名	石川智紀・高橋洋一・会田哲郎								
編集機関	財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団								
所 在 地	〒956-0845 新潟県新津市大字金津93番地1 TEL 0250 (25) 3981								
発行年月日	西暦2001 (平成13) 年3月15日								
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所 在 地	コー	一ド遺跡番号	北緯。, "	東経。, "	調査期間	調査面積 m²	調査原因	
	にいがたけんなかくびきぐん	15-85	<b>退</b> 跡留写	37度	138度	19970509	7,000	国営ほ場整備事業	
新保遺跡	新潟県中頸城郡 ************************************	15-05	47	14分	23分	~19971217	7,000	に伴う事前調査	
	柿崎町大字上直海   歩ぎょんほ   字新保1814ほか			23秒	7秒	19980413	3,900		
	子新保1814はか					~19981002			
所収遺跡名	種別 主な時代 主な遺構			主 な 遺 物			特記事項		
新保遺跡	集 落 平安時代	4,1-1	主建物10棟 須恵器・土師器・内面黒色土器・灰 木炭槨木棺墓の古墓、						
	(9C~10C				数百個体の土器が一 括廃棄された溝				
	集落中世	+	油粉 1 超		珠洲焼・中世土師器・青磁・白磁・			10元米で40751番	
	(14~16C								
		土壙墓 品・石製品・陶製品・金属製品							
	集 落 近 世	1 ****	建物3桶		肥前系陶磁器・瀬戸系陶磁器・越中				
	(17·18C)	)  井戸・	土坑・溝	京・溝 瀬戸焼・瓦器・木製品・石製品					
	散布地 古墳時代	土坑		須恵器	須恵器・古式土師器・弥生土器・縄				
	弥生時代				文土器·石器				
	縄文時代								

新潟県埋蔵文化財調査報告書 第103集

## 国営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 新 保 遺 跡

平成13年3月15日印刷 平成13年3月15日発行 発行・編集 新潟県教育委員会

〒950-8570 新潟市新光町4番地1

電話 025 (285) 5511

財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団 〒956-0845 新津市大字金津93番地1

電話 0250 (25) 3981 FAX 0250 (25) 3986

印刷・製本 (株)セビアス

〒169-0072 東京都新宿区大久保1丁目10番地8

電話 03 (5285) 3430

## 新潟県埋蔵文化財調査報告書 第103集『新保遺跡』正誤表追加

頁	位置	誤	正
抄録	市町村コード	15-85	1 5 5 4 1

## 新潟県埋蔵文化財調査報告書 第103集 国営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 新保遺跡 正誤表

頁	行・図表番号	誤	正		
5	第2図	出典欠落	国土地理院 1:50,000 「柿崎」平成5年11月		
13	上から17行目	平成9年度	平成11年度		
	下から12行目	平成10年度	平成12年度		
38	第9図	(報告 No.) 717	(報告No.) 714		
41 第10	第10図	(報告 No.) 16	(報告No.) 6		
		(報告 No.) 740	(報告 No.) 737		
		(報告No.) 738 (報告No.) 735			
		(報告 No.) 739	(報告No.) 736		
		(報告 No.) 746	(報告No.) 743		
42	第11図	(報告 No.) 741	(報告No.) 738		
	陶製品・土製品・	(報告 No.) 43	(報告No.) 44		
	金属製品観察表	(報告 No.) 44	(報告No.) 43		
図版 181	711				
			※訂正シールになっております		